

練馬区次世代育成支援行動計画策定に係る
ニーズ調査報告書

平成21年3月

練馬区

目 次

I	調査の目的	1
II	調査の構成	1
III	練馬区の少子化状況の概要調査	2
	1. 少子化の現状	2
	2. 職業と家庭の両立	14
	3. 保育サービスおよびその他の子育て支援サービス	17
	4. 母子保健等について	30
	5. 教育環境の整備	36
	6. 子どもの安全の確保	39
	7. 要保護児童への対応	41
IV	サービス利用者等へのニーズ調査	50
IV-1	就学前児童家庭の調査結果	50
	1. 調査の概要	50
	2. 調査結果の概要	53
	(1) 子どもと家族について	53
	(2) 就労状況について	56
	(3) 保育サービスの利用について	70
	(4) 病児・病後児保育について	91
	(5) 一時預かりについて	95
	(6) 一時的保育事業等について	101
	(7) 子育て支援サービスについて	111
	(8) 育児休業制度について	116
	(9) 子育ての悩み、相談等について	120
	(10) 母子保健、地域医療等について	133
	(11) 子育てに関する情報、相談、活動について	153
	(12) 子どもの遊び場、外出時の困りごとについて	157
	(13) 少子社会に対する考え方について	159
	(14) 行政サービス要望について	160

IV-2 就学児童家庭の調査結果	165
1. 調査の概要	165
2. 調査結果の概要	168
(1) 子どもと家族について	168
(2) 就労状況について	171
(3) 学童クラブの利用について	181
(4) 病児・病後児保育について	194
(5) 一時預かりについて	198
(6) 一時的保育事業等について	204
(7) 子どもの居場所について	210
(8) 子育て支援サービスについて	219
(9) 子育ての悩み、相談等について	224
(10) 母子保健、地域医療等について	237
(11) 子育てに関する情報、相談、活動について	250
(12) 子どもの遊び場、安全、防犯対策について	254
(13) 少子社会に対する考え方について	261
(14) 行政サービス要望について	262
IV-3 中学生、高校生の調査結果	267
1. 調査の概要	267
2. 調査結果の概要	271
(1) 日常の活動・生活・居場所について	271
(2) 就労・結婚・育児に関する意識について	306
(3) 心配、悩みについて	313
(4) 社会道徳、交通道徳について	317
(5) 性感染症・薬物について（高校生のみ）	324
(6) 地域との交流について	327
(7) 子どもの権利について	337
IV-4 独身及び子どものいない世帯の調査結果	341
1. 調査の概要	341
2. 調査結果の概要	343
(1) 家族及び生活について	343
(2) 現在の不安、結婚について	347
(3) 子育てや結婚について	351
(4) 労働・社会保険等による支援の周知状況について	355
(5) 地域との交流について	356
(6) 少子社会に対する考え方について	364

(7) 行政サービス要望について	365
IV-5 子育て中及び子育て終了世帯の調査結果	367
1. 調査の概要	367
2. 調査結果の概要	369
(1) 家族及び生活について	369
(2) 子育てについて	378
(3) 子育てに関する情報、相談等について	384
(4) 結婚や子育てについて意識と労働・社会保険等による支援の周知状況	387
(5) 地域との交流について	390
(6) 少子社会に対する考え方について	403
(7) 行政サービス要望について	404
IV-6 子育て関係施設従事者の調査結果	406
1. 調査の概要	406
2. 調査結果の概要	409
(1) 子育て支援に関する悩み、不安等について	409
(2) 子育てに関する情報、相談等について	413
(3) 子育て支援に関する提携・協力、虐待の状況について	427
(4) 行政サービスの重点について	431
IV-7 子育て意識の変遷と子育てに関する意識の比較	433
1. 子育て意識の変遷について	433
2. 子育てに関する意識の比較について	436
3. 仕事と子育てとの両立意識の比較について	439
4. ボランティア意識の比較について	440

資料編（調査票）

I 調査の目的

国は次世代育成支援を迅速かつ重点的に推進するため、平成 15 年 7 月に「次世代育成支援対策推進法」を制定し、地方公共団体及び事業主が行動計画を策定することを通じて、次世代育成支援対策の推進を図ってきた。一方、平成 15 年 7 月に制定された「少子化社会対策基本法」に基づき、平成 16 年 6 月に「少子化社会対策大綱」を閣議決定した。この大綱では、「若者の自立とたくましい子どもの育ち」等の 4 つの重点課題が提示され、これに沿った具体的な計画である「少子化社会対策大綱に基づく重点施策の具体的実施計画について」（子ども・子育て応援プラン）を踏まえ、様々な対策を実施してきた。しかしながら、平成 17 年に我が国は初めて総人口が減少に転じ、出生数が 106 万人及び合計特殊出生率が 1.26 と、ともに過去最低を記録するという予想以上の少子化の進行が見られた。このため、平成 18 年 6 月に少子化社会対策会議で決定された「新しい少子化対策について」を踏まえ、少子化対策の抜本的な拡充、強化を図ってきた。こうしたなかで、「子どもと家族を応援する日本」重点戦略検討会議が設置され、結婚や出産・子育てに関する国民の希望を実現するためには何が必要であるかに焦点を当てて検討を進め、平成 19 年 12 月に「子どもと家族を応援する日本」重点戦略が取りまとめられた。重点戦略では、就労と出産・子育ての二者択一構造の解消には、「働き方の見直しによる仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現」とその社会的基盤となる「包括的な次世代育成支援の枠組みの構築」を「車の両輪」として進めていく必要があるとされている。

練馬区においては、平成 10 年 3 月に「練馬区子ども家庭支援計画」を 10 年間の計画期間として策定した後、平成 13 年 9 月に練馬区長期総合計画の策定に合わせた後期事業計画をまとめ、練馬区版エンゼルプランとして子育て・子育ての支援の充実を図ってきた。

その後、「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成 17 年 3 月に平成 17 年度から 10 年間の集中的・計画的な取組を促進するため、「練馬区次世代育成支援行動計画」策定した。この計画では、計画の理念を、「①子どもの最善の利益を考えるとともに、子ども自らの「育つ力」を大切にします。」「②父親・母親を中心とした、家庭の「育てる力」を大切にします。」「③子育ての負担を家庭だけに負わせることなく、地域や職場が子どもと子育て家庭を応援します。」「④行政は、地域や職場と連携しながら、子どもと子育て家庭を応援します。」と定め、この理念を実現するための計画目標を「子育て、子育てをみんなが応援するまち ねりま」とした。そして、計画目標を達成するために策定した 7 つの基本目標に基づいてさまざまな子育て支援施策を定め、平成 17 年度から平成 21 年度までの前期計画を推進しているところである。

子どもと家庭を取り巻く現状や子育て支援に関する本ニーズ調査は、平成 22 年度から平成 26 年度までの後期行動計画策定の基礎資料とするために実施したものである。

II 調査の構成

この基礎調査報告書は大きく分けると、①練馬区の少子化の現状とその背景を整理するとともに、子育て支援事業の実施状況を整理したもの、②子育てに係る様々な状況とニーズを把握するため、ニーズ調査を実施し、結果を取りまとめたもの、の 2 つから構成されている。

Ⅲ 練馬区の少子化状況の概要調査

1. 少子化の現状

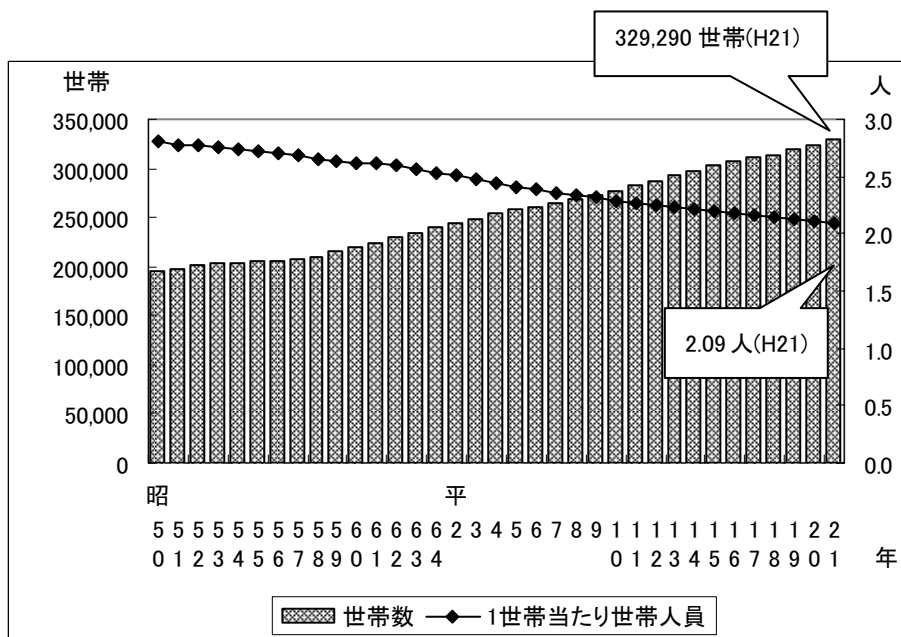
(1) 人口と世帯について

人口と世帯数は、昭和 50 年以降ほぼ一貫して増加している。一方、1世帯あたり世帯人員はここ数年下げ止まってきているものの、ほぼ一貫して減少している。背景としては、核家族化と単独世帯化が一層進んでいることが挙げられる。

人口・世帯の推移

年	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯あ たり世帯 人員 (人)
昭和 50	544,961	194,579	2.80
51	549,881	197,971	2.78
52	554,735	200,640	2.76
53	558,119	202,918	2.75
54	558,015	204,237	2.73
55	556,944	204,764	2.72
56	556,482	205,804	2.70
57	556,003	207,350	2.68
58	558,387	209,939	2.66
59	566,055	214,723	2.64
60	574,885	220,105	2.61
61	583,031	222,874	2.62
62	594,325	229,415	2.59
63	600,655	234,583	2.56
64	606,501	239,297	2.53
平成 2	609,645	243,366	2.51
3	612,975	247,600	2.48
4	618,402	253,516	2.44

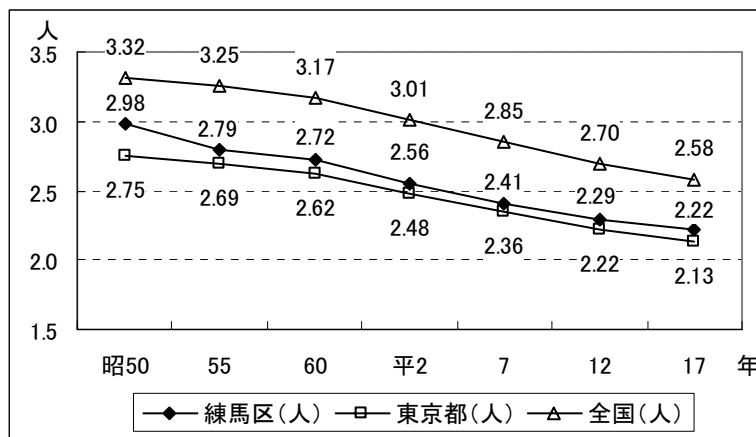
年	人口 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯あ たり世帯 人員 (人)
平成 5	621,140	258,219	2.41
6	622,415	261,193	2.38
7	624,754	264,547	2.36
8	627,662	268,548	2.34
9	631,140	272,482	2.32
10	635,827	277,532	2.29
11	641,821	282,976	2.27
12	646,729	287,745	2.25
13	651,618	292,305	2.23
14	657,377	297,517	2.21
15	662,885	302,605	2.19
16	667,512	306,942	2.17
17	672,251	310,889	2.16
18	674,123	314,248	2.15
19	678,869	318,925	2.13
20	684,107	324,194	2.11
21	689,187	329,290	2.09



(住民基本台帳、各年1月1日現在)

人口・世帯の推移における東京都、国との比較

年	練馬区			東京都	全国
	人口 (人)	世帯 (世帯)	1世帯あたり 世帯人員 (人)	1世帯あたり 世帯人員 (人)	1世帯あたり 世帯人員 (人)
昭和 50	559,665	187,801	2.98	2.75	3.32
55	564,156	202,316	2.79	2.69	3.25
60	587,887	215,909	2.72	2.62	3.17
平成 2	618,663	242,021	2.56	2.48	3.01
7	635,746	264,086	2.41	2.36	2.85
12	658,132	287,243	2.29	2.22	2.70
17	692,339	312,212	2.22	2.13	2.58



(国勢調査、各年10月1日現在)

児童の親族のいる世帯は、6歳未満、18歳未満ともに減少傾向にある。平成2年と平成17年とを比較すると、6歳未満の親族のいる世帯は3,075世帯(11.3%)の減少、18歳未満の親族のいる世帯は10,697世帯(15.4%)の減少となっている。

6歳未満・18歳未満の親族のいる世帯の推移

年	一般世帯数 (世帯)	6歳未満の親族のいる世帯			18歳未満の親族のいる世帯		
		世帯数 (世帯)	世帯人員数 (人)	6歳未満 親族人員数 (人)	世帯数 (世帯)	世帯人員数 (人)	18歳未満 親族人員数 (人)
昭和 50	180,564	41,243	168,234	55,136	85,543	349,689	150,806
55	191,950	31,020	124,841	41,168	81,269	331,408	143,102
60	215,385	28,275	112,866	37,636	77,385	314,078	131,931
平成 2	238,399	27,152	107,356	35,958	69,499	278,224	117,625
7	259,526	26,063	100,433	33,576	62,928	247,996	105,800
12	283,753	27,150	102,158	34,631	62,994	243,058	104,040
17	278,380	24,077	91,035	31,089	58,802	224,616	96,290

(国勢調査、各年10月1日現在) * 統計方法が変更されたため、昭和50年、昭和55年に関しては普通世帯数における内訳となる。

【世帯人員】世帯を構成する各人(世帯員)を合わせた数をいう。

【親族人員】世帯主および世帯主と親族関係にある世帯員を合わせた数をいいます。養子、養父母なども、子、父母と同様にみなして親族としている。

核家族世帯の推移

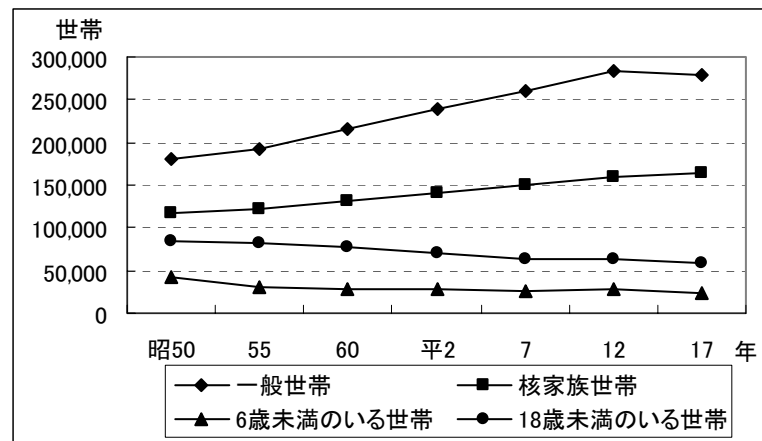
年	核家族世帯		核家族世帯内訳						
			夫婦のみ		夫婦と子ども		男親と子ども		女親と子ども
	世帯数 (世帯)	1世帯あたり 親族人員 (人)	世帯数 (世帯)	世帯数 (世帯)	1世帯あたり 親族人員 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯あたり 親族人員 (人)	世帯数 (世帯)	1世帯あたり 親族人員 (人)
昭和 50	117,251	3.39	21,223	86,179	3.83	1,308	2.56	8,541	2.53
55	122,016	3.34	24,039	86,604	3.83	1,582	2.53	9,791	2.51
60	130,569	3.26	28,954	87,896	3.80	2,043	2.50	11,676	2.49
平成 2	141,642	3.17	35,732	89,794	3.76	2,653	2.45	13,463	2.46
7	150,750	3.04	44,602	87,699	3.70	3,048	2.38	15,401	2.42
12	159,481	2.96	51,071	87,288	3.66	3,229	2.35	17,893	2.41
17	163,429	2.92	55,052	85,878	3.65	3,892	2.38	18,607	2.39

(国勢調査、各年 10 月 1 日現在)

【一般世帯と施設等の世帯】 一般世帯とは、住居と生計を共にしている人の集まりまたは一戸を構えて住んでいる単身者、これらの世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借り・下宿などの単身者および会社・団体・商店・官公庁などの寄宿舍、独身寮などに居住している単身者をいう。施設等の世帯とは、①寮・寄宿舍の学生・生徒、②病院・療養所の入院者、③社会施設の入所者、④自衛隊営舎内居住者、⑤矯正施設の入所者、⑥その他(定まった住居を持たない単身者や陸上に生活の本拠を有しない船舶乗組員など)をいう。昭和 55 年以前は普通世帯と準世帯として区分している。普通世帯とは、一般世帯から間借り・下宿などの単身者および会社などの独身寮の単身者を除いたものをいう。

【核家族世帯】 世帯の家族類型は、一般世帯を、その世帯員の世帯主との続き柄により、親族世帯(二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員のいる世帯)、非親族世帯(二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある者がいない世帯)、単独世帯(-世帯人員が一人の世帯)に分類し、さらに、親族世帯については、その親族の中で原則として最も若い世代の夫婦とその他の親族世帯員との関係によって、核家族世帯とその他の親族世帯に分類している。さらに、核家族世帯は、夫婦のみの世帯、夫婦と子どもから成る世帯、男親と子どもから成る世帯、女親と子どもから成る世帯に分類される。なお、三世帯世帯等は、その他の親族世帯に含まれる。

一般世帯、6歳未満・18歳未満の親族のいる世帯、核家族世帯の推移



(国勢調査、各年 10 月 1 日現在)

平成 20 年と平成 21 年の人口を使用したコーホート変化率法による推計人口では、0～14 歳の年少人口については、今後ゆるやかに増加する。このうち、0 歳、1～2 歳、3～5 歳は増加、6～11 歳、12～14 歳は減少するものと見込んでいる。

18 歳未満合計についてもやや増加するものと見込んでいるものの、総人口に占める割合は減少していくものと見込んでいる。

人口の実績および推計

	2003年 平15	2004年 16	2005年 17	2006年 18	2007年 19	2008年 20	2009年 21	2010年 22	2011年 23	2012年 24	2013年 25	2014年 26	2015年 27	2016年 28	2017年 29	
実数																
(人)																
年少人口 (0～14歳) (A)	88,550	88,759	88,824	89,093	89,219	89,537	89,885	90,040	90,147	90,352	90,351	90,465	90,410	90,570	90,737	
生産年齢人口 (15～64歳) (B)	475,075	476,677	476,091	476,314	477,060	479,683	480,662	485,314	487,996	488,441	488,413	488,852	489,975	491,956	494,396	
老年人口 (65歳以上) (C)	111,711	114,979	118,456	122,319	126,620	130,183	134,043	137,126	139,035	142,899	147,254	150,851	153,763	155,473	156,568	
合計(D)	675,336	680,415	683,371	687,726	692,899	699,403	704,590	712,479	717,178	721,692	726,019	730,169	734,147	737,999	741,701	
係数																
(%)																
年少人口係数(A/D)	13.1	13.0	13.0	13.0	12.9	12.8	12.8	12.6	12.6	12.5	12.4	12.4	12.3	12.3	12.2	
生産年齢人口係数(B/D)	70.3	70.1	69.7	69.3	68.8	68.6	68.2	68.1	68.0	67.7	67.3	67.0	66.7	66.7	66.7	
老年人口係数(高齢化率)(C/D)	16.5	16.9	17.3	17.8	18.3	18.6	19.0	19.2	19.4	19.8	20.3	20.7	20.9	21.1	21.1	
合計(D/D)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
指数																
(人)																
年少人口指数(A/B)	18.6	18.6	18.7	18.7	18.7	18.7	18.7	18.6	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.4	18.4	
老年人口指数(C/B)	23.5	24.1	24.9	25.7	26.5	27.1	27.9	28.3	28.5	29.3	30.1	30.9	31.4	31.6	31.7	
従属人口指数((A+C)/B)	42.2	42.7	43.5	44.4	45.2	45.8	46.6	46.8	47.0	47.8	48.6	49.4	49.8	50.0	50.0	
老年化指数(C/A)	126.2	129.5	133.4	137.3	141.9	145.4	149.1	152.3	154.2	158.2	163.0	166.8	170.1	171.7	172.6	

	2003年 平15	2004年 16	2005年 17	2006年 18	2007年 19	2008年 20	2009年 21	2010年 22	2011年 23	2012年 24	2013年 25	2014年 26	2015年 27	2016年 28	2017年 29	
実数																
(人)																
0歳	5,803	5,821	5,521	5,473	5,640	5,822	5,915	5,952	5,990	6,023	6,050	6,069	6,083	6,104	6,113	
1～2歳	12,151	12,007	11,841	11,678	11,274	11,364	11,759	12,154	12,202	12,291	12,363	12,424	12,472	12,506	12,542	
3～5歳	18,249	18,337	18,248	18,072	17,870	17,480	17,106	16,885	17,288	17,669	18,023	18,107	18,228	18,326	18,407	
6～11歳	35,120	35,575	35,913	36,339	36,399	36,744	36,669	36,398	35,952	35,341	35,001	34,961	35,077	35,251	35,741	
12～14歳	17,227	17,019	17,301	17,531	18,036	18,127	18,436	18,650	18,715	19,028	18,916	18,904	18,550	18,383	17,934	
15～17歳	17,870	17,867	17,713	17,504	17,288	17,562	17,750	18,216	18,503	18,621	18,873	18,938	19,256	19,140	19,128	
18歳未満児童合計	106,420	106,626	106,537	106,597	106,507	107,099	107,635	108,256	108,649	108,973	109,224	109,404	109,666	109,710	109,864	
割合																
(%)																
0歳	5.5	5.5	5.2	5.1	5.3	5.4	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.5	5.6	5.6	
1～2歳	11.4	11.3	11.1	11.0	10.6	10.6	10.9	11.2	11.2	11.3	11.3	11.4	11.4	11.4	11.4	
3～5歳	17.1	17.2	17.1	17.0	16.8	16.3	15.9	15.6	15.9	16.2	16.5	16.6	16.6	16.7	16.8	
6～11歳	33.0	33.4	33.7	34.1	34.2	34.3	34.1	33.6	33.1	32.4	32.0	32.0	32.0	32.1	32.5	
12～14歳	16.2	16.0	16.2	16.4	16.9	16.9	17.1	17.2	17.2	17.5	17.3	17.3	16.9	16.8	16.3	
15～17歳	16.8	16.8	16.6	16.4	16.2	16.4	16.5	16.8	17.0	17.1	17.3	17.3	17.6	17.4	17.4	
18歳未満児童合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
割合																
(%)																
0歳	0.9	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	
1～2歳	1.8	1.8	1.7	1.7	1.6	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	
3～5歳	2.7	2.7	2.7	2.6	2.6	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	
6～11歳	5.2	5.2	5.3	5.3	5.3	5.3	5.2	5.1	5.0	4.9	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8	
12～14歳	2.6	2.5	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	
15～17歳	2.6	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	
18歳未満児童合計	15.8	15.7	15.6	15.5	15.4	15.3	15.3	15.2	15.1	15.1	15.0	15.0	14.9	14.9	14.8	

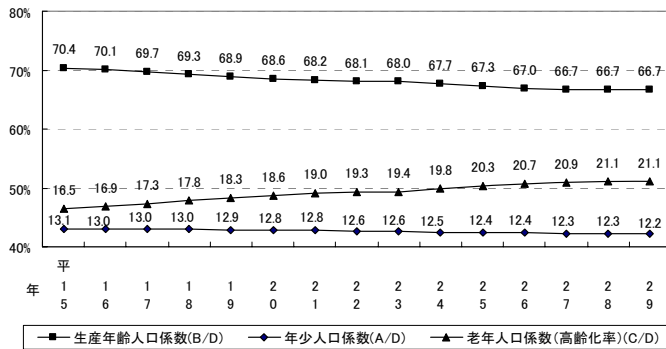
(平成15～21年1月1日現在、住民基本台帳および外国人登録原票、平成22年以降はコーホート変換率法に基づき推計値、端数処理の都合上、合計が一致しないものがある。)

(注) 年少人口係数…0歳～14歳人口割合、生産年齢人口割合、老年人口係数…15歳～64歳人口割合、老年人口係数…65歳以上人口割合

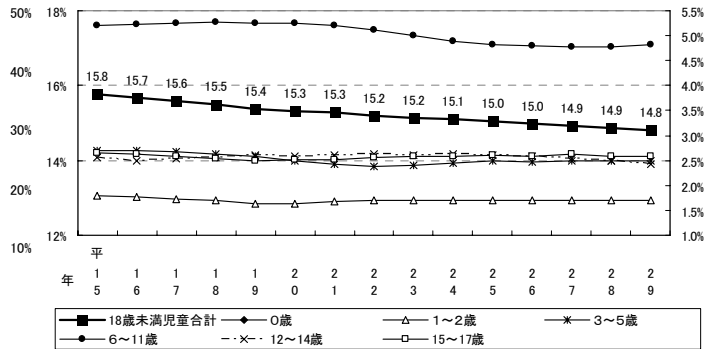
年少人口指数…年少人口÷生産年齢人口×100、老年人口指数…老年人口÷生産年齢人口×100、

従属人口指数…(年少人口+老年人口)÷生産年齢人口×100、老年化指数…老年人口÷年少人口×100

年少人口、年齢人口、老年人口の割合の推移



区人口に占める18歳未満児童の割合の推移

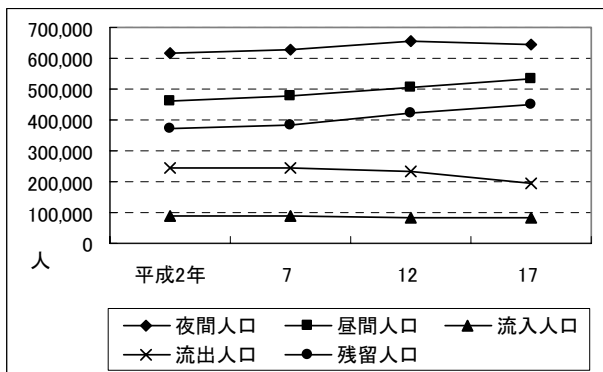


(平成15~21年4月1日現在、住民基本台帳および外国人登録原票、平成22年以降はコーホト変化率法に基づく推計値)
 (注) 年少人口係数…0歳~14歳人口割合、生産年齢人口係数…15歳~64歳人口割合、老年人口係数…65歳以上人口割合

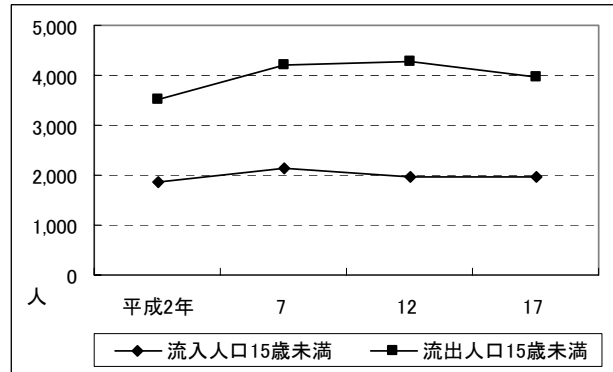
夜間人口・昼間人口・流入人口・流出人口・残留人口の推移

年	夜間人口	昼間人口	流入人口				流出人口				残留人口
			計	通勤者	通学者	うち15歳未満	計	通勤者	通学者	うち15歳未満	
平成2	614,646	461,017	88,310	72,744	15,566	1,846	241,939	198,533	43,406	3,526	372,707
7	630,366	476,777	90,779	76,505	14,274	2,146	244,368	204,872	39,496	4,199	385,998
12	654,150	507,286	85,656	73,099	12,557	1,950	232,520	197,822	34,698	4,259	421,630
17	643,687	530,628	83,285	71,629	11,656	1,953	196,344	167,532	28,812	3,960	447,343

昼間人口等の状況



15歳未満の流出人口・流入人口の状況



- 【昼間人口】 従業地・通学地による人口をいう。
- 【夜間人口】 常住地による人口をいう。国勢調査の人口総数から年齢不詳を引いたもの。
- 【流出人口】 区内に常住し区外へ流出する通勤・通学の人口をいう
- 【流入人口】 区外に常住し区内に流入する通勤・通学の人口をいう。
- 【残留人口】 労働力状態不詳を含む。

(「練馬区統計書(国勢調査)」(平成20年版)、各年10月1日現在)

(2) 出生について

出生数は、昭和 41 年の丙午を除き、昭和 40 年代には 11,000 人前後で推移していた。出生率も昭和 40 年代には人口千人あたり 20.0 を超え、全国、東京都より高い水準にあった。しかし、その後はどちらも低下を続け、平成 19 年には、出生数は 5,974 人、出生率も 8.5 となった。この数字は、東京都より高く、全国より低い。

1 人の女子が一生の間に生む子ども数に相当する合計特殊出生率は、緩やかな低下傾向を続けている。平成 17 年には過去最低の 1.02 となったが、平成 18 年 1.04、平成 19 年 1.10 と上昇している。東京都や国と比較すると、東京都よりやや高く、全国より低い。

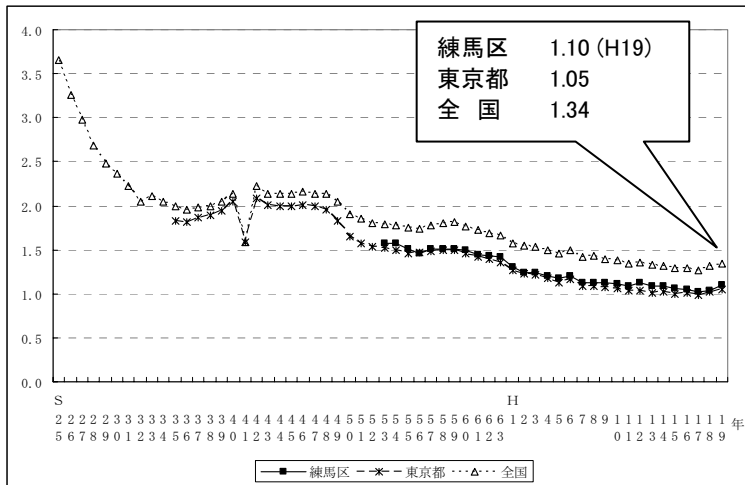
出生数・出生率の推移における東京都、国との比較

年	練馬区				東京都	全国	練馬区	東京都	全国
	出生数 (男)	出生数 (女)	出生数 (合計)	出生率	出生率	出生率	合計特殊 出生率	合計特殊 出生率	合計特殊 出生率
昭和 45	5,704	5,263	10,967	20.8	20.1	18.8		2.00	2.13
46	5,697	5,344	11,041	20.7	20.2	19.2		2.01	2.16
47	5,547	5,121	10,668	19.7	19.9	19.3		1.99	2.14
48	5,517	5,178	10,695	19.5	19.5	19.4		1.96	2.14
49	5,161	4,908	10,069	18.2	18.0	18.6		1.83	2.05
50	4,565	4,321	8,886	15.9	16.0	17.1		1.65	1.91
51	4,353	4,023	8,376	14.8	14.9	16.3		1.57	1.85
52	3,997	3,803	7,800	13.7	14.1	15.5		1.53	1.80
53	3,857	3,709	7,566	13.3	13.4	14.9	1.57	1.52	1.79
54	3,729	3,534	7,263	12.8	12.7	14.2	1.57	1.49	1.77
55	3,490	3,281	6,771	12.0	12.0	13.6	1.51	1.46	1.75
56	3,307	3,143	6,450	11.4	11.8	13.0	1.46	1.47	1.74
57	3,320	3,170	6,490	11.5	11.5	12.8	1.51	1.48	1.77
58	3,343	3,173	6,516	11.4	11.2	12.7	1.51	1.49	1.80
59	3,349	3,204	6,553	11.3	11.1	12.5	1.51	1.50	1.81
60	3,392	3,255	6,647	11.3	10.7	11.9	1.49	1.46	1.76
61	3,424	3,100	6,524	10.9	10.2	11.4	1.44	1.42	1.72
62	3,301	3,242	6,543	10.8	9.9	11.1	1.43	1.39	1.69
63	3,335	3,228	6,563	10.7	9.6	10.8	1.42	1.36	1.66
平成 1	3,143	2,907	6,050	9.8	8.9	10.2	1.30	1.27	1.57
2	3,066	2,805	5,871	9.5	8.8	10.0	1.24	1.23	1.54
3	3,055	2,883	5,938	9.5	8.7	9.9	1.24	1.21	1.53
4	2,990	2,907	5,897	9.4	8.5	9.8	1.20	1.17	1.50
5	2,918	2,864	5,782	9.2	8.3	9.6	1.17	1.13	1.46
6	3,073	2,971	6,044	9.5	8.6	10.0	1.20	1.16	1.50
7	2,977	2,815	5,792	9.1	8.2	9.6	1.13	1.09	1.42
8	2,977	2,871	5,848	9.1	8.3	9.7	1.13	1.09	1.43
9	3,017	2,897	5,914	9.2	8.3	9.5	1.12	1.07	1.39
10	3,072	2,898	5,970	9.2	8.3	9.6	1.11	1.06	1.38
11	3,030	2,927	5,957	9.1	8.2	9.4	1.09	1.04	1.34
12	3,144	2,958	6,102	9.3	8.3	9.5	1.12	1.04	1.36
13	3,060	2,879	5,939	8.9	8.1	9.3	1.08	1.01	1.33
14	3,099	2,928	6,027	9.0	8.2	9.2	1.09	1.02	1.32
15	3,013	2,841	5,854	8.7	8.0	8.9	1.06	1.00	1.29
16	3,027	2,795	5,822	8.6	8.2	8.8	1.05	1.01	1.29
17	2,853	2,706	5,559	8.1	7.8	8.4	1.02	0.98	1.26
18	2,952	2,788	5,740	8.2	8.2	8.7	1.04	1.02	1.32
19	3,211	2,763	5,974	8.5	8.3	8.6	1.10	1.05	1.34

(「東京都衛生年報」(平成 15 年以前)、「人口動態統計」(平成 16 年以降)、厚生労働省「人口動態統計」、練馬区の率については、一部再計算しているので原資料と一致しない年がある。)

【出生率】 出生数 ÷ 総人口 × 1,000 で求められる。

練馬区・東京都・全国の合計特殊出生率の推移



【合計特殊出生率】15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

(「東京都衛生年報」(平成15年以前)
「人口動態統計」(平成16年以降)
厚生労働省「人口動態統計」)

出生数の割合を母親の年齢階級別に見ると、出産時期の30歳代への移行が顕著になっている。昭和50年には、20歳代が7割超、30歳代が3割弱を占めていたが、平成19年には、30歳未満が3分の1を割り込み、反対に30歳以上が7割近くまで増加している。また、全体に占める割合は低いものの、40～44歳の割合が徐々に増加している。

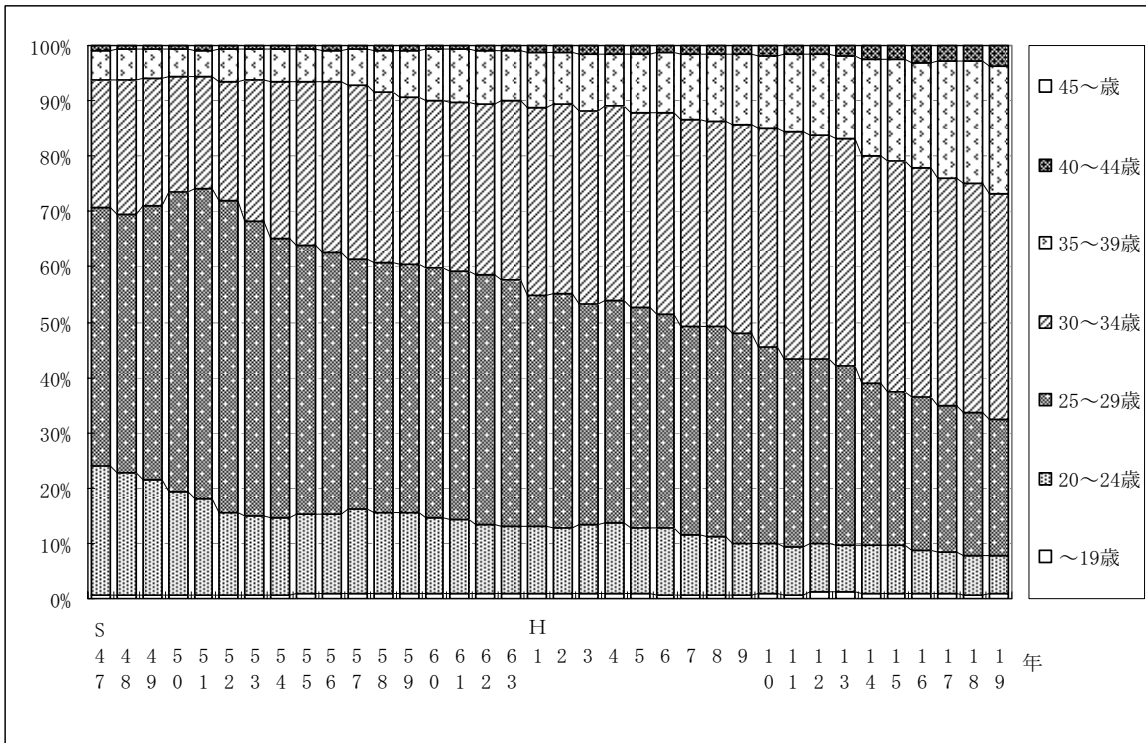
母親の年齢階級別の出生数割合の推移

		(%)							
年	総数	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～歳	
昭和 55	100.0	0.9	14.3	48.6	29.7	5.8	0.7	0.0	
56	100.0	0.9	14.4	47.3	31.0	5.6	0.8	0.0	
57	100.0	0.9	15.2	45.3	31.5	6.3	0.7	0.0	
58	100.0	1.0	14.6	45.1	31.0	7.2	1.0	0.1	
59	100.0	0.9	14.7	44.8	30.3	8.3	0.9	0.0	
60	100.0	0.9	13.8	45.1	30.1	9.3	0.7	0.0	
61	100.0	1.0	13.4	44.7	30.5	9.8	0.6	0.0	
62	100.0	1.0	12.4	45.1	30.8	9.6	1.0	0.1	
63	100.0	0.8	12.4	44.6	32.1	9.1	1.1	0.0	
平成 1	100.0	1.0	12.2	41.5	34.0	10.1	1.2	0.0	
2	100.0	1.0	11.9	42.2	34.3	9.4	1.3	0.0	
3	100.0	1.1	12.3	40.0	34.8	10.2	1.6	0.0	
4	100.0	1.1	12.6	40.1	35.4	9.4	1.4	0.1	
5	100.0	1.1	11.7	39.7	35.2	10.8	1.5	0.0	
6	100.0	0.7	12.1	38.7	36.3	11.0	1.2	0.0	
7	100.0	0.7	11.0	37.6	37.5	11.7	1.6	0.1	
8	100.0	0.7	10.4	38.3	37.0	12.3	1.3	0.1	
9	100.0	0.6	9.5	38.0	37.6	12.7	1.6	0.0	
10	100.0	0.9	8.9	35.5	39.7	13.1	1.8	0.1	
11	100.0	0.8	8.4	34.1	41.1	14.0	1.6	0.0	
12	100.0	1.3	8.5	33.6	40.4	14.6	1.5	0.0	
13	100.0	1.1	8.5	32.3	41.2	15.1	1.8	0.1	
14	100.0	1.0	8.5	29.2	41.4	17.4	2.3	0.0	
15	100.0	1.0	8.6	27.9	41.8	18.2	2.6	0.0	
16	100.0	1.0	7.6	27.9	41.4	18.8	3.1	0.1	
17	100.0	1.0	7.3	26.7	40.9	21.4	2.6	0.1	
18	100.0	0.6	7.3	25.8	41.3	22.1	2.8	0.1	
19	100.0	0.9	7.0	24.5	40.9	22.8	3.8	0.1	

(「東京都衛生年報」(平成15年以前)、「人口動態統計」(平成16年以降))

※ 端数処理の都合上、合計が100%にならないものがある。

母親の年齢階級別の出生数割合の推移(グラフ)



(3) 20歳未満の者の死亡の状況

20歳未満の者の死亡数は、ここ数年ほぼ横ばいで推移している。年齢階級別に死因を見ると、0歳は「周産期に発生した病態」、「先天奇形、変形および染色体異常」の2要因が多い。15~19歳では「自殺」が目立つ。

20歳未満の者の死亡の状況(年齢階級別、死因简单分類)

20歳未満合計

(人)

年	19歳以下合計	全死亡者数	全死亡者に占める割合 (%)
平成 15	36	4,247	0.85
16	32	4,353	0.74
17	36	4,521	0.80
18	34	4,526	0.75
19	38	4,888	0.78

(再掲) 乳児 (0歳)

(人)

年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	周産期に発生した病態	先天奇形、変形および染色体異常	不慮の事故	自殺	その他の全死因	総数	全死亡者数に占める割合 (%)
平成 15	0	0	0	0	4	10	3 (1)	0	2 (2)	19	0.45
16	0	0	1	0	3	7	0 (0)	0	6 (1)	17	0.39
17	0	1	0	0	6	5	2 (0)	0	4 (0)	18	0.40
18	0	0	0	1	3	5	0 (0)	0	7 (2)	16	0.35
19	0	0	0	0	7	8	0 (0)	0	3 (1)	18	0.37

(再掲) 1～4 歳

(人)

年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	周産期に発生した病態	先天奇形、変形および染色体異常	不慮の事故	自殺	その他の全死因	総数	全死亡者数に占める割合 (%)
平成 15	0	0	0	1	0	0	3 (1)	0	2	6	0.14
16	0	0	0	0	0	0	0 (0)	0	3	3	0.06
17	2	0	0	0	0	0	1 (0)	0	1	4	0.09
18	1	0	0	0	0	0	0 (0)	0	6	7	0.15
19	0	0	0	0	0	0	0 (0)	0	1	1	0.02

(再掲) 5～9 歳

(人)

年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	周産期に発生した病態	先天奇形、変形および染色体異常	不慮の事故	自殺	その他の全死因	総数	全死亡者数に占める割合 (%)
平成 15	0	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0.00
16	0	0	0	1	0	0	0 (0)	0	3	4	0.09
17	4	0	0	0	0	0	1 (1)	0	2	7	0.15
18	1	0	0	0	0	0	0 (0)	0	4	5	0.11
19	1	1	0	0	0	0	0 (0)	0	1	3	0.06

(再掲) 10～14 歳

(人)

年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	周産期に発生した病態	先天奇形、変形および染色体異常	不慮の事故	自殺	その他の全死因	総数	全死亡者数に占める割合 (%)
平成 15	1	0	1	0	0	0	0 (0)	2	0	4	0.09
16	0	0	0	0	0	0	0 (0)	1	0	1	0.02
17	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0	0	2	0.04
18	0	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0.00
19	1	0	0	0	0	0	2 (1)	1	1	5	0.10

(再掲) 15～19 歳

(人)

年	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	周産期に発生した病態	先天奇形、変形および染色体異常	不慮の事故	自殺	その他の全死因	総数	全死亡者数に占める割合 (%)
平成 15	0	1	0	0	0	0	2 (2)	3	1	7	0.16
16	2	0	1	0	0	0	0 (0)	2	2	7	0.16
17	1	0	1	0	0	0	0 (0)	2	1	5	0.11
18	0	1	0	1	0	0	2 (0)	1	1	6	0.13
19	1	0	0	0	0	0	6 (5)	2	2	11	0.23

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

(注) 東京都衛生年報とは統計の取り方が異なるため死亡数が一致しない年がある。

不慮の事故の()内は交通事故で内数。0歳のその他の全死因の()内は乳幼児突然死症候群で内数。

【周産期】 妊娠 22 週から生後満 7 日未満までの期間をいう。合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性があるといわれている。

(4) 低体重児と人工妊娠中絶について

低体重児出生の状況として、2500g未満の割合が合わせて8.7%となっている。
人工妊娠中絶の状況として、20歳台が半数近くを占めている。

①低体重児の状況

出生時の体重の推移

(人)

年	1000g未満	1000-1499g	1500-1999g	2000-2499g	2500-2999g	3000-3499g	3500-3999g	4000-4499g	4500-4999g	5000g以上	不詳	総数
平成15	10	28	72	377	2,174	2,508	624	62	2	0	0	5,857
16	17	32	69	448	2,253	2,354	586	52	2	0	6	5,819
17	20	26	73	401	2,136	2,303	570	48	3	0	4	5,584
18	20	31	52	409	2,264	2,348	558	35	2	0	3	5,722
19	23	27	48	421	2,395	2,451	563	46	0	0	0	5,974

(%)

年	1000g未満	1000-1499g	1500-1999g	2000-2499g	2500-2999g	3000-3499g	3500-3999g	4000-4499g	4500-4999g	5000g以上	不詳	総数
平成15	0.2	0.5	1.2	6.4	37.1	42.8	10.7	1.1	0.0	0.0	0.0	100.0
16	0.3	0.5	1.2	7.7	38.7	40.5	10.1	0.9	0.0	0.0	0.1	100.0
17	0.4	0.5	1.3	7.2	38.3	41.2	10.2	0.9	0.1	0.0	0.1	100.0
18	0.3	0.5	0.9	7.1	39.6	41.0	9.8	0.6	0.0	0.0	0.1	100.0
19	0.4	0.5	0.8	7.0	40.1	41.0	9.4	0.8	0.0	0.0	0.0	100.0

(「ねりまの保健衛生」(平成16～20年版))

(注)東京都衛生年報とは統計の取り方が異なるため出生数が一致しない年がある。

【低体重児】生まれたときの体重が2500g未満の赤ちゃんをいう。なお、体重が1000g未満の場合、超低体重児と呼ぶ。

②人工妊娠中絶の状況

人工妊娠中絶の状況

(人)

年度	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	総数
平成15	85	271	212	235	163	69	4	1,039
16	82	266	200	176	156	58	6	944
17	84	262	191	167	139	57	5	905
18	69	212	158	160	113	51	4	767
19	58	212	153	131	135	54	7	750

(%)

年度	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	総数
平成15	8.2	26.1	20.4	22.6	15.7	6.6	0.4	100.0
16	8.7	28.2	21.2	18.6	16.5	6.1	0.6	100.0
17	9.3	29.0	21.1	18.5	15.4	6.3	0.6	100.0
18	9.0	27.6	20.6	20.9	14.7	6.6	0.5	100.0
19	7.7	28.3	20.4	17.5	18.0	7.2	0.9	100.0

(「ねりまの保健衛生」(平成16～20年版))

(5) 婚姻・離婚について

婚姻率は昭和46年に人口千人あたり12.3と戦後最高となったが、その後5年間で急速に低下した。その後、平成16年までは7.0～8.0とほぼ横ばいで推移してきたが、平成19年には昭和30年以降最低の6.2となった。

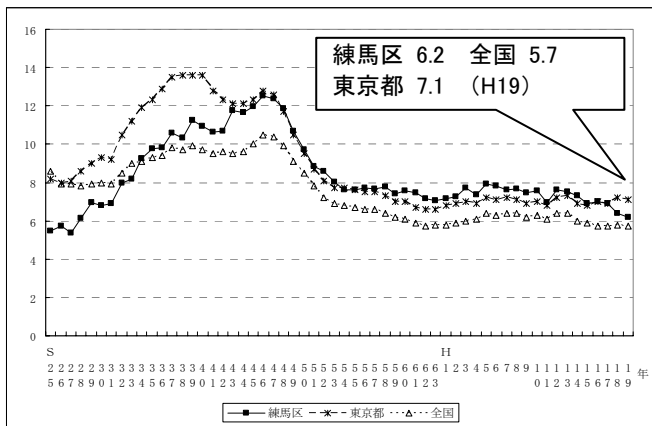
一方、離婚率は、昭和40年以降平成14年までほぼ一貫して上昇し人口千人あたり2.44と戦後最高となったが、その後は下降し、平成19年は平成7年以来の2.00を下回った。

婚姻・離婚の推移

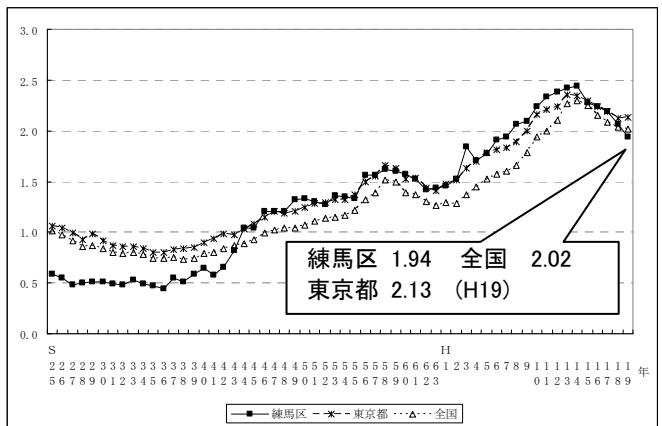
年	練馬区		東京都	全国	東京都		練馬区		東京都	全国
	婚姻数	婚姻率	婚姻率	婚姻率	平均初婚年齢(夫)	平均初婚年齢(妻)	離婚数	離婚率	離婚率	離婚率
昭和 50	5,326	9.5	9.5	8.5	27.6	25.5	729	1.30	1.24	1.07
51	4,886	8.7	8.7	7.8	27.9	25.7	719	1.27	1.28	1.11
52	4,786	8.4	8.1	7.2	28.1	25.9	710	1.25	1.29	1.14
53	4,467	7.9	7.7	6.9	28.3	26.0	756	1.33	1.32	1.15
54	4,255	7.5	7.7	6.8	28.5	26.0	752	1.32	1.32	1.17
55	4,241	7.5	7.6	6.7	28.6	26.1	740	1.31	1.37	1.22
56	4,282	7.6	7.5	6.6	28.7	26.2	869	1.54	1.50	1.32
57	4,278	7.6	7.5	6.6	28.8	26.2	872	1.54	1.55	1.39
58	4,397	7.7	7.3	6.4	28.8	26.3	914	1.60	1.66	1.51
59	4,240	7.3	7.0	6.2	28.9	26.3	917	1.58	1.63	1.50
60	4,402	7.5	7.0	6.1	29.0	26.3	915	1.56	1.52	1.39
61	4,436	7.4	6.7	5.9	29.1	26.5	904	1.51	1.53	1.37
62	4,284	7.1	6.6	5.7	29.2	26.6	852	1.40	1.44	1.30
63	4,286	7.0	6.6	5.8	29.2	26.6	872	1.42	1.41	1.26
平成 1	4,360	7.1	6.8	5.8	29.3	26.7	888	1.44	1.48	1.29
2	4,442	7.2	6.9	5.9	29.3	26.7	931	1.50	1.51	1.28
3	4,773	7.6	7.0	6.0	29.3	26.7	1,136	1.82	1.63	1.37
4	4,575	7.3	6.9	6.1	29.3	26.9	1,058	1.68	1.70	1.45
5	4,921	7.8	7.2	6.4	29.4	27.0	1,102	1.74	1.78	1.52
6	4,872	7.7	7.1	6.3	29.5	27.1	1,190	1.88	1.81	1.57
7	4,767	7.5	7.2	6.4	29.6	27.3	1,213	1.91	1.83	1.60
8	4,847	7.6	7.1	6.4	29.7	27.4	1,298	2.03	1.89	1.66
9	4,727	7.3	6.9	6.2	29.7	27.6	1,330	2.06	2.00	1.78
10	4,847	7.5	7.0	6.3	29.9	27.7	1,434	2.21	2.16	1.94
11	4,505	6.9	6.8	6.1	30.0	27.9	1,510	2.30	2.21	2.00
12	4,996	7.6	7.2	6.4	30.1	28.0	1,565	2.38	2.24	2.10
13	4,968	7.5	7.3	6.4	30.4	28.3	1,612	2.42	2.35	2.27
14	4,894	7.3	6.9	6.0	30.5	28.4	1,635	2.44	2.34	2.30
15	4,463	6.9	6.8	5.9	30.7	28.7	1,631	2.28	2.30	2.25
16	4,331	7.0	7.0	5.7	30.9	28.9	1,482	2.24	2.24	2.15
17	4,195	6.9	6.9	5.7	31.2	29.2	1,569	2.19	2.19	2.08
18	4,432	6.4	7.2	5.8	—	—	1,435	2.06	2.12	2.04
19	4,394	6.2	7.1	5.7	—	—	1,364	1.94	2.13	2.02

【婚姻率】婚姻数÷総人口×1,000 で求められる。【離婚率】離婚数÷総人口×1,000 で求められる。

練馬区・東京都・全国の婚姻率の推移



練馬区・東京都・全国の離婚率の推移



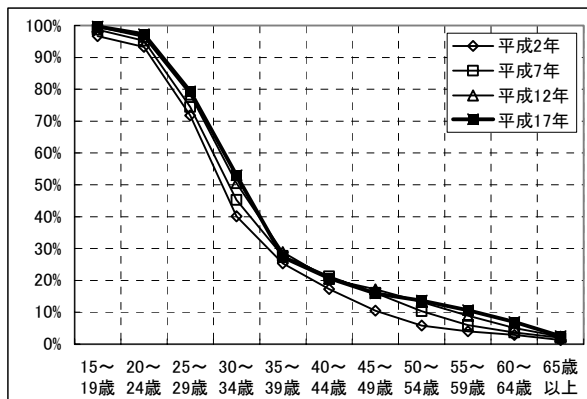
(「東京都衛生年報」(平成 15 年以前)、「人口動態統計」(平成 16 年以降)、厚生労働省「人口動態統計」)

未婚率は男女、各年齢階級とも上昇する傾向にある。平成 17 年を見ると、男性では 25～29 歳は 79.3%、30～34 歳は 53.0%、35～39 歳は 27.3%、40～44 歳の 20.7%が未婚であった。女性では 25～29 歳は 68.9%、30～34 歳は 40.7%、35～39 歳は 19.6%、40～44 歳の 14.4%が未婚であった。

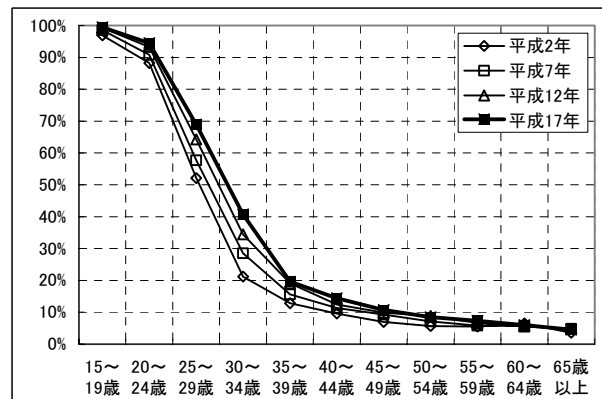
未婚率の推移

年齢階級	男							女					
	練馬区	練馬区	練馬区	練馬区	東京都	全国	練馬区	練馬区	練馬区	練馬区	東京都	全国	
	平成 2	平成 7	平成 12	平成 17	平成 17	平成 17	平成 2	平成 7	平成 12	平成 17	平成 17	平成 17	
15～19 歳	96.7	98.7	99.6	99.7	99.7	99.6	96.9	98.6	99.2	99.5	99.3	99.1	
20～24 歳	93.3	95.3	96.5	97.3	96.6	93.4	88.3	90.8	93.3	94.5	93.4	88.7	
25～29 歳	71.8	74.5	78.3	79.3	81.3	71.4	52.1	57.7	64.3	68.9	70.1	59.0	
30～34 歳	40.2	45.2	50.6	53.0	57.7	47.1	21.2	28.5	34.5	40.7	42.9	32.0	
35～39 歳	25.4	27.7	28.9	27.3	32.9	30.0	12.8	15.6	19.1	19.6	23.8	18.4	
40～44 歳	17.2	21.3	20.4	20.7	25.8	22.0	9.6	11.3	12.4	14.4	17.7	12.1	
45～49 歳	10.5	16.1	17.2	15.9	21.0	17.1	6.9	9.3	9.9	10.7	13.4	8.2	
50～54 歳	5.8	10.4	13.2	13.7	18.6	14.0	5.7	7.1	8.8	8.4	10.7	6.1	
55～59 歳	4.0	5.9	8.9	10.6	14.7	9.8	5.5	5.8	6.7	7.4	9.3	5.2	
60～64 歳	2.9	3.6	5.1	6.9	10.0	5.8	6.5	5.7	5.5	5.9	7.6	4.2	
65 歳以上	1.3	1.9	2.3	2.5	4.1	2.4	3.5	4.7	4.8	4.5	6.2	3.5	

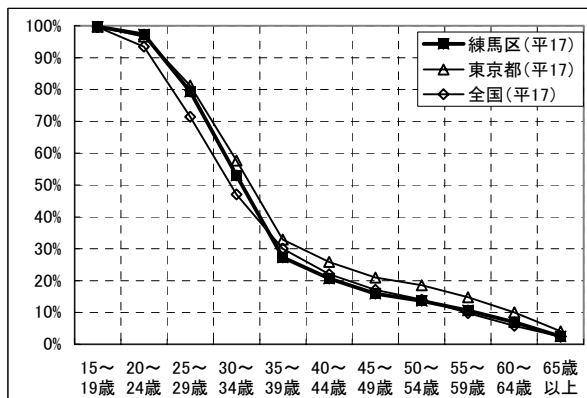
男性



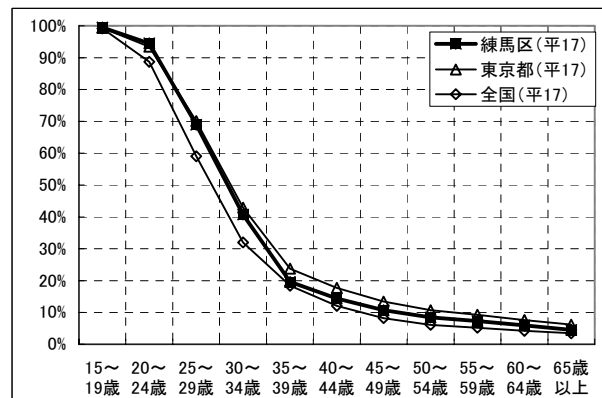
女性



男性



女性



(国勢調査、各年 10 月 1 日現在)

2. 職業と家庭の両立

(1) 労働力率

女性の労働力率を年齢階級別に比較すると、20歳代で高く、その後子育てに関わる30歳代で一旦大きく低下し、子どもが小学校高学年以降となる40歳以降で再び上昇、55歳以降で低下するいわゆる「M字曲線」を描いている。また、時系列で比較すると、平成12年までは25歳以降の全年齢階級で労働力が上昇するとともに、M字の底が浅くなる傾向が見られるたが、平成17年は再び低下した。一方、全国・東京都と比べると、30歳以降の労働力率が低く、出産で離職しそのまま職に就かない女性の割合が高い。

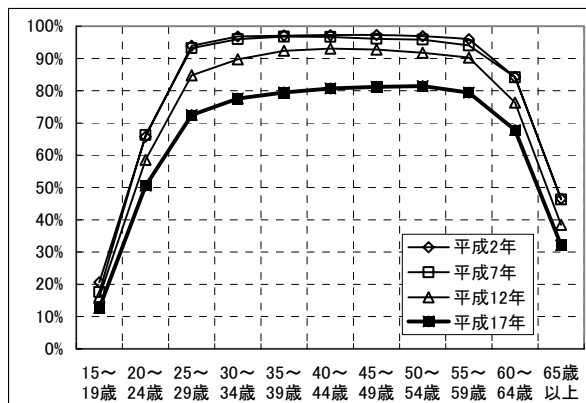
男性については、各年齢階級とも、全国・東京都より低くなっている。

労働力率の推移

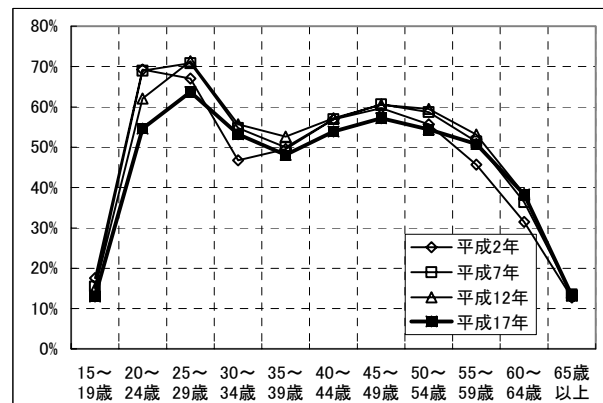
(%)

年齢階級	男						女					
	練馬区 平成2	練馬区 平成7	練馬区 平成12	練馬区 平成17	東京都 平成17	全国 平成17	練馬区 平成2	練馬区 平成7	練馬区 平成12	練馬区 平成17	東京都 平成17	全国 平成17
15～19歳	20.6	17.6	16.1	12.7	16.7	17.4	17.5	15.4	14.9	13.0	16.6	16.8
20～24歳	65.7	66.3	58.6	50.5	52.7	67.5	69.3	69.0	62.1	54.6	57.1	67.7
25～29歳	93.9	93.2	84.7	72.5	73.5	88.3	67.0	70.8	71.3	63.7	66.4	71.6
30～34歳	96.8	96.0	89.8	77.6	79.6	91.4	46.8	54.8	55.7	53.2	58.3	61.6
35～39歳	97.1	96.8	92.4	79.5	83.0	92.6	49.6	50.0	52.6	48.1	55.8	62.3
40～44歳	97.2	96.7	93.1	80.7	85.7	93.7	56.9	56.9	57.2	53.9	61.2	69.5
45～49歳	97.3	96.1	92.7	81.3	87.5	94.4	59.7	60.6	60.5	57.2	64.9	72.7
50～54歳	96.9	95.9	91.7	81.4	87.9	93.8	55.7	58.7	59.5	54.4	63.1	68.3
55～59歳	96.0	94.1	90.3	79.4	87.0	92.2	45.7	51.4	53.2	50.8	58.1	59.7
60～64歳	84.3	84.2	76.3	67.8	74.0	73.1	31.5	36.4	38.4	38.3	43.7	40.4
65歳以上	46.6	46.3	38.4	32.1	36.2	33.0	12.7	13.5	13.2	13.2	15.8	14.0

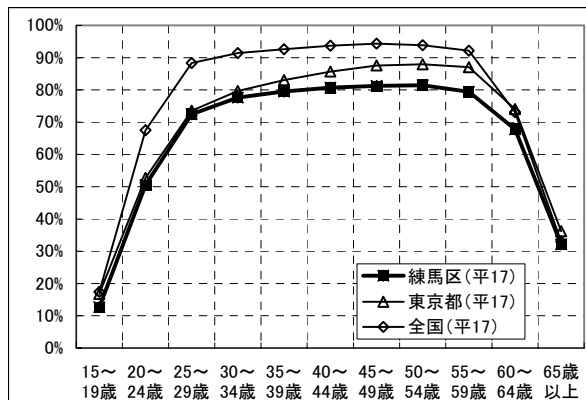
男性



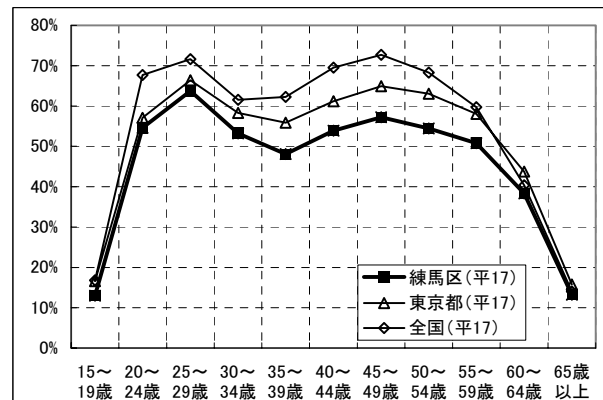
女性



男性



女性



(国勢調査、各年10月1日現在)

(2) 女性の職業の傾向

職業別の就業者数に占める女性の数は、事務従事者、サービス職業従事者の2つが6割前後と高い。なお、専門的・技術的職業従事者と管理的職業従事者の割合がわずかではあるが、増加している。

職業別の女性の15歳以上就業者数と総就業者数に占める割合

職業	平成7年			平成12年			平成17年		
	総就業者数(人)	女性		総就業者数(人)	女性		総就業者数(人)	女性	
		総数(人)	割合(%)		総数(人)	割合(%)		総数(人)	割合(%)
総数	330,557	124,885	37.8	324,075	127,026	39.2	274,192	111,966	40.8
専門的・技術的職業従事者	54,590	20,447	37.5	57,788	22,214	38.4	49,030	20,069	40.9
管理的職業従事者	18,453	1,770	9.6	11,617	1,306	11.2	8,769	1,049	12.0
事務従事者	79,783	49,221	61.7	78,149	48,396	61.9	70,053	42,410	60.5
販売従事者	60,657	19,556	32.2	59,892	18,480	30.9	47,434	14,998	31.6
サービス職業従事者	27,096	15,231	56.2	30,003	17,155	57.2	26,924	16,487	61.2
保安職業従事者	5,440	412	7.6	5,666	438	7.7	4,958	354	7.1
農林漁業作業員	1,819	591	32.5	1,570	512	32.6	1,428	471	33.0
運輸・通信従事者	11,585	678	5.9	11,025	501	4.5	8,299	348	4.2
生産工程・労務作業員	65,933	14,707	22.3	60,361	14,530	24.1	48,268	12,036	24.9
分類不能の職業	5,201	2,272	43.7	8,004	3,494	43.7	9,029	3,744	41.5

(国勢調査、各年10月1日現在)

(3) 就業の規則性と週間就業時間の状況

就業の規則性については、男性で週49時間以上就業している割合が高いのが目立つ。特に年間300日以上就業している人は、7割が週49時間以上就業している。

男 就業の規則性と週間就業時間の状況 (%)

	就業の規則性	就業の規則性別の週間就業時間								
		総数	規則的 就業			不規則的 就業	季節的 就業			
			35時間未満	35時間以上	不明					
200日未満就業者	14.8	100.0	66.1	39.3	26.4	0.4	31.5	2.2		
		総数	35時間未満	35~42時間	43~45時間	46~48時間	49~59時間	60~64時間	65時間以上	
200~249日就業者	31.9	100.0	8.0	33.1	15.3	12.0	21.9	5.3	3.8	
250~299日就業者	39.3	100.0	3.1	18.1	12.8	15.1	25.4	14.5	10.5	
300日以上就業者	12.4	100.0	4.7	8.4	5.1	9.6	20.9	16.4	34.5	

女 就業の規則性と週間就業時間の状況 (%)

	就業の規則性	就業の規則性別の週間就業時間								
		総数	規則的 就業			不規則的 就業	季節的 就業			
			35時間未満	35時間以上	不明					
200日未満就業者	30.9	100.0	72.7	61.3	11.0	0.4	25.0	2.2		
		総数	35時間未満	35~42時間	43~45時間	46~48時間	49~59時間	60~64時間	65時間以上	
200~249日就業者	34.2	100.0	25.9	40.1	13.1	6.9	9.4	2.1	1.9	
250~299日就業者	26.0	100.0	11.6	32.6	13.9	12.5	17.2	7.6	4.1	
300日以上就業者	6.9	100.0	15.0	17.3	6.4	12.1	17.3	10.1	20.2	

(平成19年就業構造基本調査、地域編(東京都)、総務省統計局)

(4) 育児休業等の状況

育児休業取得率の状況

(%)

	育児休業取得者の男女比		育児休業取得率	
	女性	男性	出産した者に占める割合 (女性)	配偶者が出産した者に占める割合 (男性)
合計	97.2	2.8	88.5	0.57
<平成15年度調査>	<97.1>	<2.9>	<73.1>	<0.44>
〔規模別〕				
301人以上	98.0	2.0	94.1	0.43
30～300人	95.9	4.1	80.2	0.80

(「平成18年度女性雇用管理基本調査」結果概要、厚生労働省)

(注) 調査対象企業において、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの1年間に出産した者または配偶者が出産した者に占める、平成18年10月1日までの間に育児休業を開始した者(育児休業開始予定の申出をしている者を含む。)の割合。

事業所規模、男女・育児休業終了後の復職者の状況(H16.4.1～H17.3.31)

(%)

	育児休業者			女性の育児休業者			男性の育児休業者		
	復職者	退職者		復職者	退職者		復職者	退職者	
総計	100.0	89.0	11.0	98.8	89.0	11.0	1.2	94.9	5.1
〔規模別〕									
500人以上	100.0	92.6	7.4	99.7	92.7	7.3	0.3	87.1	12.9
100～499人	100.0	91.2	8.8	99.7	91.2	8.8	0.3	100.0	0.0
30～99人	100.0	85.5	14.5	99.2	85.4	14.6	0.8	100.0	0.0
5～29人	100.0	87.8	12.2	97.4	87.7	12.3	2.6	94.0	6.0
再掲30人以上	100.0	89.7	10.3	99.5	89.7	10.3	0.5	97.6	2.4

(「平成17年度女性雇用管理基本調査」結果概要、厚生労働省)

育児のための勤務時間短縮等の措置の状況

(%)

	合計	制度あり	最長利用可能期間						
			3歳に達するまで	3歳～小学校就学前	小学校就学の始期に達するまで以上				その他
					小学校就学の始期に達するまで	小学校入学～小学校低学年(3年生または9歳)まで	小学校4年生～小学校卒業(または12歳)まで	小学校卒業以降も利用可能	
勤務時間短縮等措置全体	100.0	41.6	22.2	2.0	11.6	1.2	0.5	3.0	1.1
短時間勤務制度	100.0	31.4	20.3	1.0	6.9	1.0	0.2	0.8	1.1
育児の場合に利用できるフレックスタイム制度	100.0	5.8	2.8	0.3	1.1	0.2	0.1	1.2	0.1
始業・終業時刻の繰上げ・繰下げ	100.0	18.5	10.6	0.6	4.6	0.8	0.4	1.4	0.2
所定外労働の免除	100.0	23.2	11.4	1.3	8.5	0.7	0.3	0.9	0.2
事業内託児施設	100.0	1.0	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0
育児に要する経費の援助措置	100.0	1.7	0.5	0.2	0.4	0.3	0.1	0.4	0.0
1歳以上の子を対象とする育児休業制度	100.0	9.3	7.1	0.1	1.2	0.2	0.0	0.3	0.5

(「平成17年度女性雇用管理基本調査」結果概要、厚生労働省)

3. 保育サービスおよびその他の子育て支援サービス

(1) 子育てに関する相談窓口の状況

子育てに関する相談窓口としては、子ども家庭支援センターを中心に、子ども家庭総合相談を実施している。このほか、区立保育園や子育てのひろば(ぴよぴよ)といった、地域の保育園、子育て支援施設等においても子育て相談に応じている。

子ども家庭総合相談

窓 口	時 間 帯
子ども家庭支援センター ・練馬子ども家庭支援センター ・光が丘子ども家庭支援センター ・関子ども家庭支援センター	・練馬 月～土(祝休日を除く) 午前9時～午後7時 (土曜は午後5時まで) ・光が丘 月～土(祝休日を除く) 午前9時～午後5時 ・関 月～土(祝休日を除く) 午前9時～午後5時
児童虐待の通告(通報)窓口	月～土(祝休日を除く) 午前9時～午後7時(土曜は午後5時まで)
児童館(17館)	月～金(祝休日、年末年始を除く) 午前9時～午後5時
東京都児童相談センター	月～金 午前9時～午後5時 ※虐待等、緊急性のある相談には、夜間(午後5時45分以降の閉庁時間帯)、土、日、祝日(年末年始を含む)も児童相談センターで対応
東京都児童会館こども相談室	臨時休館日と年末年始を除く午前9時～午後5時 7月・8月は午前9時～午後6時
母と子の健康相談室	月～金(祝休日除く) 午後5時～午後10時 土、日、祝休日、年末年始 午前9時～午後5時
総合福祉事務所(生活相談) ・練馬総合福祉事務所 ・石神井総合福祉事務所 ・大泉総合福祉事務所 ・光が丘総合福祉事務所	月～金 午前8時30分～午後5時15分
民生(児童)委員 約520名 主任児童委員 約40名 (生活相談)	—

子育て相談

窓 口	時 間 帯
各区立保育園(60園)	電話相談 月～金 午前10時～午後3時
子育てのひろば ・練馬ぴよぴよ ・大泉ぴよぴよ ・光が丘ぴよぴよ ・関ぴよぴよ	・練馬ぴよぴよ、関ぴよぴよ、光が丘ぴよぴよ 月、火、木～土(祝休日も実施) 午前10時～午後4時 ・大泉ぴよぴよ 月～土(祝休日を除く) 午前9時～午後5時
練馬女性センター えーる	・「女性の何でも相談」において子育てに関する相談を実施 年末年始を除く毎日、午前9時～午後5時

教育相談

窓 口	時 間 帯
総合教育センター ・練馬教育相談室 ・光が丘教育相談室 ・関教育相談室	・来室相談（要予約） 午前9時～午後5時（金曜は午後6時まで） ・電話相談 午前9時～午後5時（金曜は午後6時まで） ※休室日 日、祝休日、年末年始（12月29日～1月3日）
東京都教育相談センター	・電話相談 平日 午前9時～午後9時 土、日、祝日 午前9時～午後5時 ・来所相談 平日 午前9時～午後5時 ・電子メールによる相談（返答は1回のみ）
学校教育部学務課就学相談係 （障害のある児童・生徒の就学相談）	受付期間 毎年6月上旬から

健康・子育て相談

窓 口	時 間 帯
保健所、保健相談所 ・練馬区保健所 ・豊玉保健相談所 ・石神井保健相談所 ・北保健相談所 ・大泉保健相談所 ・光が丘保健相談所 ・関保健相談所	月～金 午前8時30分～午後5時15分
医師会医療連携センター	月～金 午前9時～午後5時 土 午前9時～午後0時 ※日、祝休日、年末年始、医師会創立記念日（4月1日）は休み
母と子の健康相談室（東京都）	月～金（祝休日除く） 午後5時～午後10時 土、日、祝休日、年末年始 午前9時～午後5時 ※月～金（祝休日、年末年始除く）の昼間の相談は保健所、保健相談所で対応

（練馬区その他のホームページ等より情報取得）

福祉相談に占める子ども家庭相談の状況

年度	総数	児童福祉法 関係	母子相談	家庭相談
平成 15	119,481	5,199	3,056	1,743
16	115,195	5,487	2,125	1,551
17	106,083	5,179	1,412	1,891
18	125,147	5,872	1,981	2,118
19	134,605	5,017	2,281	2,624

（練馬区統計書（平成20年版））

(2) 認可保育園の状況

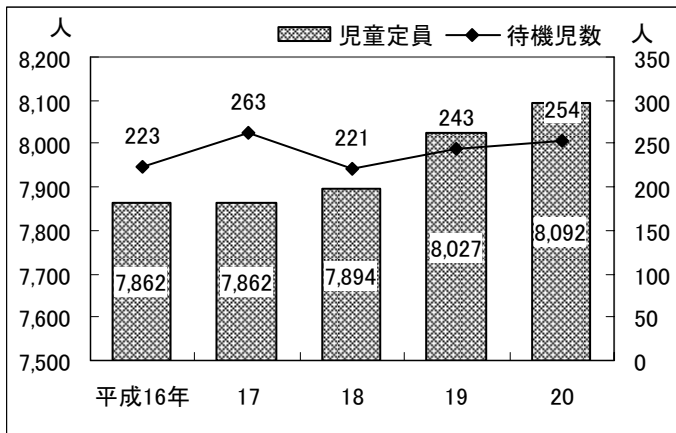
認可保育園の平成 20 年度の定員数は、平成 16 年度に比べ 230 人増加しているが、一方で、待機児数が依然として 254 人おり、待機はまだ解消されない状況にある。一方で、定員割れしている保育園も存在しており、待機児が地域的に偏って存在していることも考えられる。このほか、多様な保育のニーズに応えるため、さまざま形態の保育サービスを実施している。

保育園数・児童定員・待機児数の推移

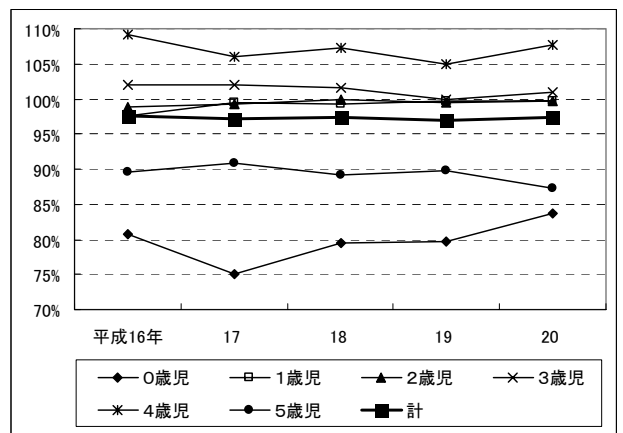
年	保育園数 (園)			児童定員 (人)			待機児 (人)
	区立	私立	合計	区立	私立	合計	
平成 16	59	18	77	6,379	1,483	7,862	223
17	59	18	77	6,379	1,483	7,862	263
18	60	18	78	6,421	1,473	7,894	221
19	60	20	80	6,410	1,617	8,027	243
20	60	21	81	6,415	1,677	8,092	254

(「練馬区勢概要」(平成 16~20 年版)、各年 4 月 1 日現在)

保育園の定員と待機児数の推移



保育園の定員充足割合の推移



児童年齢別保育園定員数、在籍児数および待機児数の状況

(人)

年齢	定員数			在籍児数			待機児数
	合計	区立	私立	合計	区立	私立	
総数	8,092	6,415	1,677	7,873	6,230	1,643	254
0歳児	665	536	129	556	442	114	8
1歳児	1,204	963	241	1,199	961	238	118
2歳児	1,416	1,113	303	1,411	1,109	302	82
3歳児	1,514	1,212	302	1,528	1,198	330	43
4歳児	1,486	1,280	206	1,601	1,255	346	3
5歳児	1,807	1,311	496	1,578	1,265	313	0

(「練馬区統計書」(平成 20 年版)、平成 20 年 4 月 1 日現在)

【認可保育園 (保育所)】 保育園は、保護者が共働き・病気等のため、家庭で十分な保育が受けられない乳幼児 (0 歳 (生後 58 日から) ~就学前) を保護者に代わって保育する施設である。

延長保育の実施状況

(人)

年	実施園数							人数		
	区立			私立				区立	私立	合計
	1時間	2時間	朝30分	1時間	2時間	2.5時間	朝30分			
平成16	17	0	0	12	1	0	0	313	161	474
17	17	0	0	12	1	0	0	296	133	429
18	15	4	4	13	1	0	0	353	175	528
19	18	4	4	12	3	0	0	384	240	624
20	18	4	4	12	3	1	1	421	199	620

(「練馬区勢概要」(平成16～20年版)、各年4月1日現在)

【延長保育】満1歳以上については全保育園で午前7時30分から午後6時30分まで(一部は午前7時から午後8時30分)まで保育を行っている。一部は0歳児についても実施している。
一旦利用承諾の決定があると退園などその必要がなくなるまで利用できる継続利用と、一日単位で利用できるスポット利用がある。

休日保育の実施状況

年度	区立	人数
平成18	4	286
19	4	478

(「練馬区勢概要」(平成20年版))

【休日保育】認可保育園が休みとなる日曜日と祝・休日(12月31日～1月3日を除く)に、仕事のため家庭で保育できないときに保護者に代わって保育する制度である。

一時保育の実施状況

年度	実施園数			延べ利用児童数		
	区立	私立	合計	区立	私立	合計
平成15	—	1	1	—	2,021	2,021
16	—	1	1	—	1,954	1,954
17	—	1	1	—	1,616	1,616
18	1	1	2	353	1,686	2,039
19	1	3	4	1,412	2,494	3,906

(「練馬区勢概要」(平成16～20年版))

【一時保育】保護者の育児疲れ解消、短時間・断続的な仕事等さまざまな理由で一時的な保育が必要などときに、保護者に代わって保育する制度である。

病後児保育の実施状況

年度	実施園数	延べ利用人数
平成15	1	50
16	1	40
17	2	658
18	4	1,480
19	4	2,463

(「練馬区勢概要」(平成16～20年版))

【病後児保育】病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間、一時的に保育する制度であり、保護者の子育てと就労の両立を支援することを目的としている。

年末保育の実施状況

年度	実施園数				延べ利用児童数			
	区立	私立	保育室	合計	区立	私立	保育室	合計
平成 15	9	4	2	15	129	79	15	223
16	9	5	2	16	173	73	22	268
17	10	5	2	17	237	76	23	336
18	11	5	1	17	178	85	11	274
19	6	4	1	11	93	35	1	129

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【年末保育】 多様な就労形態に対応するため、12 月 29・30 日の午前 7 時 30 分から午後 6 時 30 分まで保育する制度である。

地域交流事業の実施状況の推移

年度	事業数	延べ参加者数
平成 15	452	15,716
16	593	16,083
17	665	18,167
18	758	18,819
19	669	14,579

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【地域交流事業】 保育園の近隣に住む乳幼児の親子を対象に、園庭開放やふれあい給食、季節の行事に参加する事業を行っている。

(3) 認証保育所、保育室、家庭福祉員、駅型グループ保育室の状況

認証保育所が増加する一方で、保育室、家庭福祉員、駅型グループ保育室が施設数(人員数)、定員数とも減少している。定員充足率は、認証保育所、駅型グループ保育室がほぼ 100%近くであるのに対して、保育室、家庭福祉員は、80~90%で推移している。

認証保育所と定員数および年齢別受託児童数の推移

(人)

年	施設数	定員	受託児数(年間延べ人数)						定員充足割合(%)
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	計	
平成 16	6	183	646	600	320	84	71	1,721	78.4
17	12	350	940	1,396	1,097	401	179	4,013	95.5
18	18	515	1,392	1,860	1,816	604	382	6,054	98.0
19	20	573	1,656	2,301	1,852	944	476	7,229	105.1
20	22	623

(「練馬区統計書」(平成 18、20 年版))

(注)施設数、定員数は各年度4月1日現在の数値である。在籍児数は年度毎の延べ数であるため、最新年度は未計上である。
定員充足割合(在籍児数÷12÷定員)

【認証保育所】 大都市の多様化する保育ニーズに対応するため、東京都が独自の基準を満たす施設を認証し、都と区が運営費を助成する新しい保育制度で、平成 13 年度に創設された。A型(駅前基本型)とB型(小規模・家庭的保育所)の2種類があり、それぞれ利用対象者、定員規模、施設基準等が異なる。

保育室施設数と定員数および年齢別在籍児童数の推移

(人)

年	施設数 (室)	定員数	在籍児数					合計	定員充足 割合(%)
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上		
平成 16	14	289	1,219	897	702	146	113	3,077	88.7
17	14	289	1,192	972	578	235	165	3,142	90.6
18	13	265	828	792	633	183	148	2,584	81.3
19	10	187	721	456	395	133	127	1,832	81.6
20	9	169

(「練馬区統計書」(平成 20 年版))

(注)施設数、定員数は各年度4月1日現在の数値である。在籍児数は年度毎の延べ数であるため、最新年度は未計上である。

定員充足割合(在籍児数÷12÷定員)

【保育室】定員 29 人以下等一定の基準を満たす認可外保育施設を、区が保育室と認定し、一定の助成を行って利用しやすくしている民間保育施設である。現在の認可保育園では満たすことの難しい、時間延長保育、産休明け保育等の保育需要に応えることを主な役割としている。

家庭福祉員(保育ママ)数、定員数および年齢別受託児数の推移

(人)

年	家庭福祉 員数	定員数	受託児数				合計	定員充足 割合(%)
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児以上		
平成 16	49	137	616	439	373	0	1,428	86.9
17	47	133	565	633	202	0	1,400	87.7
18	47	133	413	547	499	0	1,459	91.4
19	46	131	556	492	375	0	1,423	90.5
20	42	121

(「練馬区統計書」(平成 20 年版))

(注)家庭福祉員数、定員数は各年度4月1日現在の数値である。受託児数は年度毎の延べ数であるため、最新年度は未計上である。

定員充足割合(在籍児数÷12÷定員)

【家庭福祉員(保育ママ)】保育園の家庭版として、保育士・教員・看護師等の資格を有することを条件に区が認定し、福祉員の家庭において産後 58 日以上 3 歳未満までの児童を、家庭福祉員 1 人につき 3 人まで保育する制度である。この制度は、0歳児保育、特に産休明け保育の需要に応えることを主な役割とする。

駅型グループ保育室数、定員数および年齢別受託児数の推移

(人)

年	グループ保 育室数(室)	福祉員数	定員数	受託児数					定員充足 割合(%)
				0歳児	1歳児	2歳児	3歳児以上	合計	
平成 16	8	25	75	220	341	292	0	853	94.8
17	8	25	75	218	367	269	0	854	94.9
18	8	22	66	108	350	335	0	793	100.1
19	8	22	66	177	300	295	0	772	97.5
20	8	21	63

(「練馬区統計書」(平成 20 年版))

(注)グループ保育室数、福祉員数、定員数は、4月1日現在の数値である。受託児数は年度毎の延べ数であるため、最新年度は未計上である。

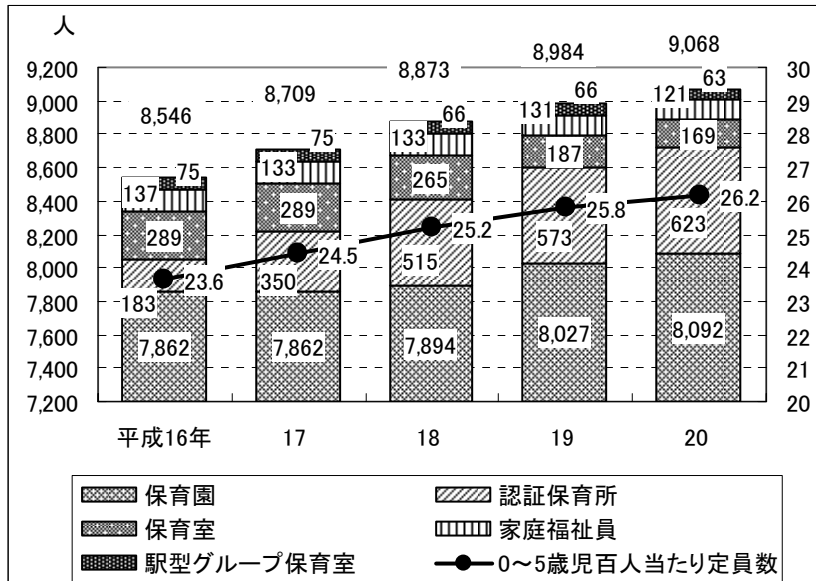
定員充足割合(在籍児数÷12÷定員)

【駅型グループ保育室】送り迎えに便利な駅周辺のマンション等の1室を区が借り上げ、駅型グループ保育室として整備したうえで、区が認定した家庭福祉員が保育する制度である。この制度は、待機児童解消策の一環として実施しているものである。

保育園、認証保育所、保育室、家庭福祉員、駅型グループ保育室の定員数の推移(総括表)

(人)

年	保育園	認証保育所	保育室	家庭福祉員	駅型グループ保育室	合計	0～5歳児人口	0～5歳児百人あたり定員数
平成 16	7,862	183	289	137	75	8,546	36,165	23.6
17	7,862	350	289	133	75	8,709	35,610	24.5
18	7,894	515	265	133	66	8,873	35,223	25.2
19	8,027	573	187	131	66	8,984	34,784	25.8
20	8,092	623	169	121	63	9,068	34,666	26.2



(「練馬区統計書」(平成20年版)ほか、人口:住民基本台帳および外国人登録者、平成20年4月1日現在)

保育園、認証保育所、保育室、家庭福祉員、駅型グループ保育室の地区別の基盤整備の現況および推計

	乳幼児割合 (%)		乳幼児100人あたり 保育所等定員数 (人)	
	平成21.4実績	平成27.4推計	平成21.4実績	平成27.4推計
練馬区全体	4.94	5.02	26.1	24.7
練馬地区	4.25	4.44	26.3	24.0
石神井地区	4.97	5.06	22.2	20.9
大泉地区	5.31	5.26	20.6	20.0
光が丘地区	5.19	5.28	33.6	32.3

(「練馬区統計書」(平成20年版)ほか、人口:住民基本台帳および外国人登録者(各地区は按分)、平成21年4月1日現在より作成、平成27年の値については、人口はコーホート変化率法による推計値(前出)、保育所等は便宜上平成20年4月1日現在の整備状況のままとしたもの)

(4) 一時預かり型保育サービス等の状況

ショートステイ(宿泊型の一時保育)、トワイライトステイ(夜間一時保育)は、平成 19 年度は利用がやや下がったものの延べ日数は平成 15 年度以降大幅に増加しており、需要の高さが伺える。緊急一時保育は、年度によって利用のばらつきが見られる。

ショートステイ(宿泊型の一時保育)・トワイライトステイ(夜間一時保育)の実施状況

(延べ日数)

年度	ショートステイ	トワイライトステイ
平成 15	342	824
16	670	792
17	1,062	1,063
18	1,081	1,851
19	903	1,741

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【ショートステイ(宿泊型の一時保育)】 保護者が出産、病気、看護、出張などで、家庭での保育が困難なときに専用の施設で保育士などが保育にあたる宿泊型一時保育制度。

【トワイライトステイ(夜間一時保育)】 保護者が残業のときなどに、子どもを午後 10 時まで預かる制度。

※ともに対象は2歳以上小学校6年生まで(石神井学園は 17 歳まで)。施設と保育園などの間の送迎サービス(有料)も利用できる。

短期特例保育(緊急一時保育)の実施状況

(人)

年度	保育室数					利用状況		
	保育員数(各定員 3 人)	保育室数等	区立保育園	私立保育園	認証保育所	延べ受託人数	延べ受託日数	1 人あたり平均日数
平成 15	8	14	59	0	0	87	1,586	18.2
16	10	14	59	0	0	117	1,672	14.3
17	12	14	59	0	7	122	1,581	13.0
18	11	12	59	0	9	115	1,845	16.0
19	10	10	60	2	11	97	1,570	16.2

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【短期特例保育(緊急一時保育)】 保護者または家庭の入院、出産等により、一時的に保育を必要とする乳幼児を保護者に代わって保育する制度である。子育ての経験を持つなど一定の要件のもとで区が認定した保育員または保育室および区立保育園が、保護者に代わって乳幼児を保育する。

乳幼児一時預かり事業の推移

年度	延べ日数
平成 17	740
18	2,199
19	2,663

(「練馬区勢概要」(平成 18~20 年版))

【乳幼児一時預かり事業】 保護者が仕事や外出等さまざまな理由で一時的な保育が必要なときに、水曜日と日曜日の週 2 回、乳幼児の短時間の保育を行っている。水曜日と日曜日の午前 10 時~午後 1 時(3 時間)、午後 1 時~午後 4 時(3 時間)の 2 単位。2 単位連続利用も可能。

(5) 幼稚園の状況

幼稚園の平成20年の在園者数は、平成16年に比べ516人減少した。特に4歳児と5歳児の在園者数が減少しているのが目立つ。なお、5つある区立幼稚園では3歳児を預かっていない。こうした中、私立幼稚園預かり保育の利用が伸びている。

幼稚園の在籍児の推移

年	幼稚園数(園)		学級数	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	区立	私立					
平成16	5	42	405	3,367	4,070	4,157	11,594
17	5	42	401	3,425	4,066	4,056	11,547
18	5	42	398	3,345	4,069	4,087	11,501
19	5	42	392	3,367	3,802	4,075	11,244
20	5	42	387	3,362	3,883	3,833	11,078

(「練馬区統計書」(平成20年版)、「練馬区勢概要」(平成16～20年版)、各年5月1日現在)
 ※ 幼稚園在籍者数は、区内幼稚園に在籍する幼児の数であるため、区外在住者が含まれている。
 また、練馬区民で、区外幼稚園に通学している幼児の数は含まれていない。

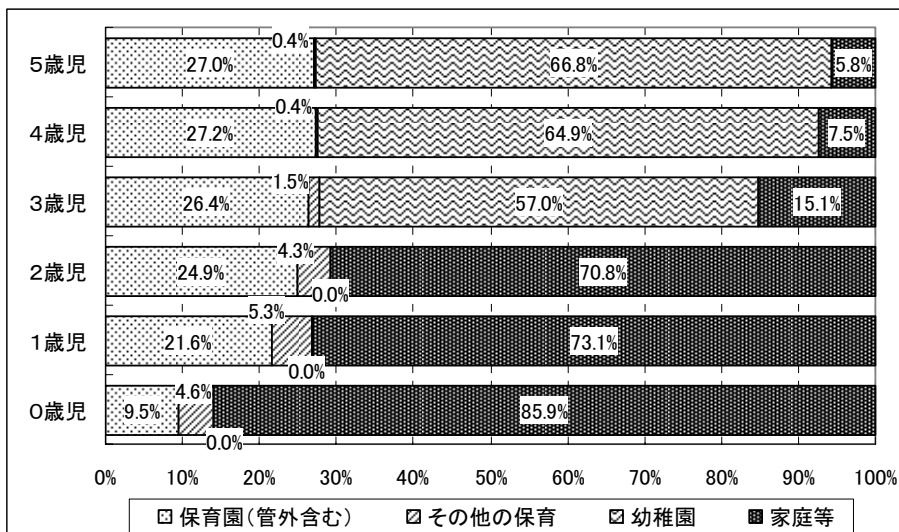
私立幼稚園預かり保育の実施状況

年度	実施園数	延べ利用人数
平成15	7	1,974
16	7	1,878
17	7	2,013
18	7	2,165
19	7	2,160

(「ねりまの福祉」(平成16、18、20年版))

【私立幼稚園預かり保育】 幼稚園の通常の教育(保育)とは別に、同じ幼稚園の中で、保護者の労働や疾病等により保育に欠ける在園児を対象に、幼稚園教育時間の前後や夏休み等の長期の休業期間に、認可保育園と同じ保育日、保育時間で保育を行う制度である。各幼稚園の定員は25人で、区は担当教諭等の人件費と、事業開始にあたっての整備費を補助している。

(参考) 就学前児童の保育等の状況



「就学前児童の保育等の状況」として、0歳児は家庭等が85.9%に対して保育園その他の保育が14.1%である。1歳児と2歳児は保育園その他の保育が26.9%～29.2%となり、幼稚園が始まる3歳児以上は幼稚園の利用が57.0%～66.8%、保育園その他の保育が27.4%～27.9%、家庭等は5.8%～15.1%となっている。

(各種資料をもとに再計算したもの。平成19年4月1日現在、幼稚園は5月1日現在)

(注) 保育園等の重複利用の有無、幼稚園と保育園で集計期日での1か月の差異はここでは考慮していない。

その他の保育: 認証保育所(4、5歳児は按分)、保育室(4、5歳児は按分)、家庭福祉員(保育ママ)、駅型グループ保育室

(6) 学童クラブ、児童館の状況

学童クラブについては、留守家庭児童数の増加に伴い、入会児童数も増加していることから、入会率はこのところ7割強と横ばいの状況が続いている。
このほか、区内には、17館の児童館と厚生文化会館児童室、また、児童が利用できる施設として、地区区民館が22か所あり、幼児や小・中学生の室内での遊び場となっている。

学童クラブの入会児童数の推移

年度	クラブ数 (か所)	留守家庭 児童数 (人)	入会児童数 (人)	入会率 (%)
平成 15	87	4,903	3,430	70.0
16	87	4,932	3,550	72.0
17	87	5,070	3,610	71.2
18	89	5,220	3,719	71.2
19	90	5,309	3,722	70.1

(「練馬区統計書(平成20年版)」、各年度10月31日現在)

【学童クラブ】 保護者の就労等により、家庭において保育に欠ける小学校1年生から3年生まで(障害児については6年生まで)に対し、指導員の適切な指導のもと児童の健全育成を図るものである。保育時間は、月～金曜日が放課後から午後6時まで(ただし、春・夏・冬休み、その他学校休業日は、午前9時から午後6時まで)、土曜日が午前9時から午後5時まで。学童クラブによっては、学校休業日と土曜日の午前8時から、一年を通して午後7時まで利用可能なところもある。なお、日曜日・祝休日と年末年始(12月29日～翌年1月3日)は保育を行っていない。

学童クラブの地区別の基盤整備の現況および推計

	小学校1～3年生割合 (%)		小学校1～3年生100人 あたり学童クラブ定員数 (人)	
	平成21.4実績	平成27.4推計	平成21.4実績	平成27.4推計
練馬区全体	2.57	2.41	19.1	19.7
練馬地区	2.04	2.00	21.1	20.5
石神井地区	2.58	2.50	18.5	18.3
大泉地区	3.00	2.69	14.5	15.5
光が丘地区	2.70	2.46	22.2	23.8

(「練馬区統計書」(平成20年版)ほか、人口:住民基本台帳および外国人登録者(各地区は按分)、平成21年4月1日現在より作成、平成27年の値については、人口はコーホート変化率法による推計値(前出)、学童クラブは便宜上平成20年4月1日現在の整備状況のままとしたもの)

児童館等の利用状況

年度	児童館	厚生文化会館 (児童室)	地区区民館 (学童クラブ室)
平成 15	632,838	27,191	139,639
16	635,750	27,834	138,608
17	655,910	22,466	151,777
18	641,322	23,054	153,151
19	643,435	22,213	150,350

(「練馬区統計書」(平成16～20年版)、「ねりまの福祉」(平成20年版))

【児童館】 学校や地域と連携しながら児童の自主的活動や遊びを通して、健康で豊かな情操を持った児童に育つよう援助している。また、図書室、工作室、音楽室、遊戯室等を利用して、各種クラブ活動や四季折々の行事を行っている。開館時間は、午前9時から午後5時まで。日曜・祝休日・年末年始は休館。なお、休館日の午前10時から午後4時まで、地域の子ども会活動や日常の児童館の活動に参加している団体を対象に児童館の休日開放も実施している。

(7) 子育て在宅家庭支援の状況

ファミリーサポート(育児支えあい)事業は、サービスの利用者数は増加しているが、一方で、提供者数、延べ利用件数が伸び悩んでいる。
 子育てのひろば(びよびよ)、民設子育てのひろば、学童クラブ活用型子育て支援事業(にこにこ)は、利用人数が大きく伸びてきている。

ファミリーサポート(育児支えあい)事業の利用状況

年度	利用者数	援助者数	延べ利用件数
平成 15	1,384	277	22,643
16	2,397	282	25,096
17	3,330	300	28,138
18	4,153	279	26,545
19	4,460	291	23,121

(「練馬区勢概要」(平成 16~20 年版)、「ねりまの福祉」(平成 20 年版)、利用者数、援助者数は各年度 3 月 31 日現在)

【ファミリーサポート(育児支えあい)事業】 地域の中で区民が相互に育児を支えあうもので、一時保育を希望する保護者に、地区リーダー等を通じ、住所地の近くや条件にあった援助会員の紹介を行っている。対象は産後 58 日以上小学校 3 年生まで、時間は午前 7 時~午後 8 時、費用は子ども 1 人あたり 1 時間 800 円~900 円、交通費などは実費。

育児支援ヘルパー事業の利用状況

年度	世帯数	延べ時間数
平成 19	73	1,739

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【育児支援ヘルパー】 核家族などで産後の体調不良などにより、家事や育児が困難なご家庭に、区が契約した事業者を通じてホームヘルパーを派遣する。対象者は、(1)出産予定日 2 か月前から出産後 4 か月までの方、(2)低体重児を出産した方、(3)多胎児を出産した方、(4)20 歳未満で出産した方である。利用限度時間は、対象者(1)は、出産後 4 か月までの間に 36 時間、(2)~(4)は、子どもの退院後 1 年以内に 104 時間のヘルパー派遣を利用できる。利用時間は、月~金曜日(平日)の午前 9 時~午後 5 時、自己負担額(1 時間につき)は、対象者(1)は 1,000 円、(2)~(4)は 500 円、区民税非課税世帯・生活保護受給世帯の方は無料。

子育てのひろば等の利用状況の推移

年度	子育てのひろば(びよびよ)		民設子育てのひろば		学童クラブ活用型子育て支援事業(にこにこ)	
	か所数	延べ利用人数	か所数	延べ利用人数	か所数	延べ利用人数
平成 15	2	32,343	24	18,619
16	2	38,505	37	24,524
17	3	50,741	54	33,836
18	4	77,231	2	4,902	61	37,479
19	4	74,257	4	9,435	61	43,795

(「ねりまの福祉」(平成 16~20 年版)、にこにこのみ「練馬区勢概要」(平成 16~20 年版))

【子育てのひろば(びよびよ)、民設子育てのひろば】 びよびよは、0 歳から 3 歳の乳幼児とその保護者の方を対象とした、親子で自由に来所できる施設である。親子で楽しく遊んだり、保護者同士の交流の場として開放している。また、子育てに関する相談も受けている。区立のひろばに、練馬びよびよ、光が丘びよびよ、関びよびよ、大泉びよびよがある。このほか、民設子育てのひろば(民間団体が運営する子育てのひろばで区が補助しているもの)がある。平成 21 年 3 月時点では、6 か所。

【学童クラブ活用型子育て支援事業(にこにこ)】 にこにこは、子育て中の親同士の交流の場として、一部の学童クラブ室を、開放しているものである。予約制で部屋を貸し切り利用できる「子育てグループ活動の場」と、当日自由に利用できる「子育て家庭集いの場」の 2 通りがある。いずれも利用は、夏休み・冬休み・春休みなどの学校休業日など学童クラブの児童が午前中から利用する日を除く。

(8) 手当等の状況

児童手当は、支給対象者の拡大、支給条件(所得)の緩和に伴い、受給者が増加している。
 児童扶養手当は、支給条件が厳しくなっているものの、母子家庭の増加に伴い、受給者が増加している。
 子ども医療費助成は、平成19年4月より、支給対象者として、所得制限を設けずに中学校3年生まで拡大した。

児童手当の支給状況

(人)

年度	児童手当	特例給付	計	支給期間等
平成15	18,485	6,397	24,882	小学校就学前まで
16	24,712	8,703	33,415	小学校3年生まで
17	25,657	8,996	34,653	小学校3年生まで
18	44,932	3,441	48,373	小学校6年生まで、所得制限緩和
19	44,842	3,541	48,383	小学校6年生まで

(「ねりまの福祉」(平成20年版)、「練馬区統計書」(平成20年))

児童扶養手当、特別児童扶養手当の支給状況

(人)

年度	児童扶養手当			特別児童扶養手当			
	全部支給	一部支給	計	身体障害	知的障害	心身の重複障害	計
平成15	2,406	1,494	3,900	305	271	12	588
16	2,517	1,522	4,039	300	276	12	588
17	2,536	1,613	4,149	302	266	13	581
18	2,531	1,667	4,198	298	290	12	600
19	2,478	1,741	4,219	283	287	12	582

(「ねりまの福祉」(平成20年版))

【児童手当】 対象者：小学校6年生までの児童(12歳になった最初の3月31日まで)を扶養している保護者で所得が一定額未満の方。
 手当額(児童1人あたり月額)：3歳の誕生日までは、10,000円(一律)、3歳の誕生日の翌月から小学校6年生までは、児童2人目までは5,000円、児童3人目以降は10,000円

【児童扶養手当】 対象者：離婚、死亡などで父がいないかまたは父が重度の障害者である児童(※1)を扶養している保護者で所得が一定額未満の方(※2)ただし、受給者や児童が公的年金(老齢福祉年金を除く)を受けていたり、児童が施設に入所しているときは原則受給できない。

※1・・・0歳から18歳になった最初の3月31日までの子(中度以上の障害のある児童は20歳の誕生日の前日まで)

※2・・・扶養義務者(同居の親族など)にも所得制限あり。

手当額(月額、平成20年度)：児童1人目 全部支給 41,720円、一部支給(10円刻み) 41,710円～9,850円、児童2人目 5,000円、児童3人目以降 3,000円

【特別児童扶養手当】 対象者：心身に一定程度(身体障害者手帳1～3級程度および一部4級程度、愛の手帳1～3度程度、その他の障害・疾病等により日常生活に著しい制限を受ける)の障害がある20歳未満の児童を扶養している保護者で所得が一定額未満の方。ただし、児童が公的年金の給付を受けていたり、児童が施設に入所しているときは原則受給できない。※配偶者・扶養義務者の方にも所得制限あり。

手当額(児童1人あたり月額、平成20年度)：特児1級 50,750円、特児2級 33,800円

児童育成手当、障害児福祉手当、愛育手当の支給状況の推移

(人)

年度	育成手当				障害児福祉手当	愛育手当
	育成手当	障害手当	うち育成と障害	計(重複除外)		
平成 15	7,726	467	79	8,114	230	74
16	7,904	486	90	8,300	209	70
17	8,091	461	89	8,463	214	81
18	8,230	462	88	8,604	206	70
19	8,305	443	87	8,661	197	102

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【育成手当(児童育成手当)】 対象者:離婚、死亡などで父または母がいないか、父または母が重度の障害者である児童(0歳から18歳になった最初の3月31日まで)を扶養している保護者で所得が一定額未満の方。手当額(月額):児童1人につき13,500円

【障害手当(児童育成手当)】 対象者:心身に一定程度(身体障害者手帳1、2級程度、愛の手帳1~3度程度、脳性マヒ、進行性筋萎縮症)の障害がある20歳未満の児童を扶養している保護者で所得が一定額未満の方。手当額(月額):児童1人に15,500円

【障害児福祉手当(国制度)】 対象者:年齢が20歳未満で別に定める程度の障害がある方。手当額(月額、平成20年度):14,380円

【愛育手当】 対象者:4月1日から7月1日まで引き続き区内に住所があり、7月1日現在、児童福祉施設、幼稚園などに入所、在籍しておらず、①4月2日から翌年4月1日までに5歳または6歳になる児童 ②病気や障害のための就学猶予・免除を受けている児童の保護者 手当額(月額):児童1人につき40,000円。平成20年度をもって事業終了

子ども医療費助成の推移

(人)

年度	乳児医療証	子ども医療証	合計	<参考> 小学生入院 医療費助成 (件数)
平成 15	41,813	...	41,813	...
16	41,461	...	41,461	...
17	40,744	...	40,744	...
18	39,745	...	39,745	200
19	39,710	52,438	92,148	28

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【子ども医療費助成】 対象者:健康保険に加入している区内在住の中学3年生まで(15歳になった後の最初の3月31日まで)の児童。小学校就学前の乳幼児にはマル乳医療証、小学校1年生から中学校3年生までの児童にはマル子医療証を発行する。

助成の内容:○保険適用の自己負担分(高額療養費に該当する場合は自己負担額まで)、○入院時食事療養費標準負担額、○小児慢性疾患・養育医療・育成医療等の医療費助成の自己負担限度額、※マル乳・マル子医療証で助成を受けられるのは、保険診療の範囲内で自己負担する分。保険のきかない健康診断料・予防接種・容器代・文書代・差額ベッド代等は対象とはならない。

3歳未満を対象に平成5年4月1日より実施。平成10年4月1日より、所得制限つきで対象を小学校就学前まで拡大、平成11年1月1日より、所得制限を撤廃。平成19年4月1日より、所得制限を設けずに、対象を中学校3年生まで拡大した。

【小学生入院医療費助成】 練馬区在住の小学生在、平成18年4月1日~平成19年3月31日までの間に入院した時の医療費を払い戻しにより助成。子ども医療費助成の対象者の拡大により、今後新規受診者はなし。

第三子誕生祝金の支給状況

年度	支給件数
平成 18	557
19	605

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【第三子誕生祝金】 対象者:練馬区内に住所を有し、平成18年4月1日以降に第3子以降のお子さんを出産した保護者の方で、次のすべてに該当する父または母。(1)今回、出生したお子さんを含めて3人以上の児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日までのお子さん)と同居し養育している。(2)第3子以降のお子さんの出生日または出生予定日の1年以上前から練馬区内に住居登録または外国人登録をしている。(3)祝い金を受給された後引き続き1年以上、第3子等の児童を含む児童とともに練馬区内に居住する意思がある。

※注1...里帰り出産などのため、練馬区外にお子さんの住居登録をされる場合、祝金の申請はできない。

※注2...外国人世帯については、在留資格のある方。ただし、在留期間が短く、生活の本拠が日本国内にあると認められない場合を除く。

支給額:第3子以降の出生した児童1人につき20万円。保護者の所得制限なし。

4. 母子保健等に関して

(1) 母親学級、パパとママの準備教室、育児学級

平成19年度の母親学級の開催回数は48回、受講者は1,515人、修了者は667人(修了率44.0%)、パパとママの準備教室の開催回数は43回、受講者は1,748人となっている。また、育児学級のうち、育児と離乳食の開催回数は64回、受講者は3,097人、子育て学習室の開催回数は14回、受講者は642人となっている。

母親学級の実施状況

年度	開催実回数	受講者人数	受講者延べ人数	修了者数	歯科健診受診者数
平成15	48	1,669	5,216	1,043	…
16	48	1,362	3,944	997	…
17	48	1,413	4,109	674	1,009
18	48	1,520	4,313	709	1,006
19	48	1,515	4,110	667	955

(「ねりまの保健衛生」(平成16～20年版))

パパとママの準備教室(旧両親学級)の実施状況

年度	開催実回数	受講者数
平成15	26	856
16	26	1,165
17	33	1,369
18	33	1,425
19	43	1,748

(「ねりまの保健衛生」(平成16～20年版))

【母親学級】 近々、母親になる方を対象に、4回シリーズで開催している。保健師、管理栄養士、助産師、歯科衛生士の講義や歯科医師による歯科健診を行う。
【パパとママの準備教室】 これから父親、母親になる方を対象に、沐浴の実演と実習等を行う。また、親同士の交流を深める。

育児学級の実施状況

年度	育児と離乳食		子育て学習室		パパとママの子育て教室		絵本教室		合計	
	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数	開催回数	受講者数
平成15	55	1,245	33	1,017	26	663	30	1,552	144	4,477
16	55	1,243	34	1,031	26	586	6	264	121	3,124
17	62	1,448	41	1,161	29	549	5	151	137	3,309
18	64	2,983	36	1,574	29	625	4	172	133	5,354
19	64	3,097	14	642	…	…	…	…	78	3,769

(「ねりまの保健衛生」(平成16～20年版))

【育児学級】 子育て支援の一環として、育児について・離乳食の進め方・歯の衛生管理などの講習会を、保健師、管理栄養士、歯科衛生士が関わり開催している。

(2) 妊婦健診、乳幼児健診

1歳6か月児健康診査は、平成19年度より全面協力医療機関への委託となったが、受診率が92.2%となっている。3歳児健康診査は、受診率が90%前後で推移している。むし歯の有病率は、平成19年度の1歳6か月児歯科健診では2.1%、3歳児歯科健診では19.8%である。

妊婦健康診査の実施状況

(人)

年度	受理数	結果通知表受理状況								
		診察所見(延べ)					保健所への連絡事項(延べ)			
		異常なし	妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)	貧血	糖尿	その他	要訪問	当院で治療指導中	要精密検査	その他
平成15	11,211	7,950	209	2,715	164	417	26	5,528	94	36
16	10,795	7,788	77	2,532	154	503	22	5,395	82	60
17	10,517	7,573	70	2,503	131	450	18	5,587	58	63
18	11,223	8,157	43	2,732	125	365	64	6,515	38	39
19	11,461	8,257	45	2,768	116	463	27	6,812	88	56

(「ねりまの保健衛生」(平成16~20年版))

【妊婦健康診査】妊娠中に14回の健康診査と1回の超音波検査が受けられる。

乳児(4か月児)健康診査の実施状況

年度	健診回数(回)	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	有所見者数(人)	有所見率(%)
平成15	166	6,080	5,871	96.6	1,618	27.6
16	166	6,083	5,883	96.7	1,620	27.5
17	180	5,765	5,543	96.1	1,591	28.7
18	173	5,893	5,691	96.6	1,767	31.0
19	173	6,078	5,881	96.8	1,776	30.2

(「ねりまの保健衛生」(平成16~20年版))

【乳児(4か月児)健康診査】乳児に対する健康診査を行い、その保護者に保健師、管理栄養士、歯科衛生士による集団・個別指導を実施し、乳児の健全な育成に努めている。また、BCG接種、アレルギースクリーニングも同時に行っている。

乳児委託健康診査の実施状況

(件)

年度	6~7か月児				9~10か月児			
	結果受理数	問題なし	問題あり	疑いあり	結果受理数	問題なし	問題あり	疑いあり
平成15	5,233	4,949	174	110	5,157	4,929	155	73
16	5,237	4,986	150	101	5,232	5,030	129	73
17	5,070	4,843	118	109	4,950	4,748	115	87
18	5,077	4,809	165	103	4,922	4,722	131	69
19	5,303	4,987	218	98	5,120	4,869	166	85

(「ねりまの保健衛生」(平成16~20年版))

【乳児委託健康診査】保健相談所で実施する4か月児健康診査のほかに、生後6~7か月児および9~10か月児の健康診査を医療機関に委託し実施している。

1歳6か月児健康診査(保健相談所実施分+委託健康診査分)の実施状況

年度	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	有所見者数 (人)	有所見率 (%)
平成 15	6,129	5,839	95.3	854	14.6
16	6,127	6,175	100.8	1,086	17.6
17	5,943	5,965	100.4	1,261	21.1
18	5,902	5,893	99.8	1,306	22.2
19	5,680	5,235	92.2

1歳6か月児健康診査心理相談・心理経過観察の実施状況

(人)

年度	1歳6か月児健康診査心理相談						1歳6か月児健康診査心理経過観察					
	判定相談 実人員	指導指示					判定相談 実人員	指導指示				
		総数	特になし	助言指示	要観察	要精密		総数	特になし	助言指示	要観察	要精密
平成 15	582	1,103	2	308	781	13	835	1,967	2	280	1,576	109
16	564	1,050	4	424	617	5	871	2,139	3	250	1,813	73
17	538	1,166	17	467	671	11	865	2,159	7	391	1,682	83
18	688	1,306	10	440	825	31	905	2,300	6	432	1,813	49
19	665	1,294	8	399	882	5	1,010	2,425	14	426	1,890	95

(「ねりまの保健衛生」(平成 16~20 年版))

【1歳6か月児健康診査】歩行や言語発達に関する標識が容易に得られる1歳6か月の時点での身体の発育および精神発達面に対する健康診査を行い、その保護者に保健師、管理栄養士による集団・個別指導を実施し、幼児の健康の保持・増進を図っている。また、同時にアレルギースクリーニングを実施している。なお、内科健康診査については、平成 19 年度から全面協力医療機関への委託となった。また、心理相談を実施し、その結果、継続的に指導していく必要が認められた者には経過観察を行っている。

1歳6か月児歯科健康診査の実施状況

年度	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	有病率 (%)	一人平均 むし歯数 (本)
平成 15	5,213	85.0	5,088	125	2.4	0.07
16	5,192	84.7	5,060	132	2.5	0.07
17	5,069	85.3	4,922	147	2.9	0.09
18	5,116	86.8	4,984	132	2.6	0.07
19	4,711	82.9	4,610	101	2.1	0.07

(「ねりまの保健衛生」(平成 16~20 年版))

【1歳6か月児歯科健康診査】歯科衛生士による個別指導および歯科医師による歯科健診を行い、健診の事後フォローとして事後措置およびハイリスク児フォローアップ事業を実施している。

3歳児健康診査の実施状況

年度	実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	有所見者数 (人)	有所見率 (%)
平成 15	142	6,306	5,685	90.2	843	14.8
16	142	6,197	5,554	89.6	894	16.1
17	142	6,030	5,404	89.6	960	17.8
18	142	5,986	5,392	90.1	1,168	21.7
19	142	5,867	5,263	89.7	1,114	21.2

3歳児健康診査心理相談・心理経過観察の実施状況

(人)

年度	3歳児健康診査心理相談						3歳児健康診査心理経過観察					
	判定相談 実人員	指導指示					判定相談 実人員	指導指示				
		総数	特になし	助言指示	要観察	要精密		総数	特になし	助言指示	要観察	要精密
平成 15	383	797	3	270	492	32	446	1,099	5	179	883	32
16	368	700	1	264	415	20	458	1,070	1	174	876	19
17	557	862	7	359	471	25	580	1,332	1	332	977	22
18	413	978	2	411	523	42	593	1,600	2	351	1,204	43
19	533	1,137	0	517	577	43	643	1,659	5	432	1,200	22

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

【3歳児健康診査】 幼児期の中で、身体発育および精神発達の面から最も重要な時期である3歳児に対し、健康診査、視力検査、聴力検査、尿検査、歯科健康診査を実施し、幼児の健全な育成を図っている。同時に、保健師、管理栄養士、歯科衛生士による集団・個別指導も行っている。
また、心理相談を実施し、その結果、継続的に指導していく必要が認められた者には経過観察を行っている。

3歳児歯科健康診査の実施状況

年度	受診者数 (人)	受診率 (%)	むし歯の ない者 (人)	むし歯の ある者 (人)	有病率 (%)	一人平均 むし歯数 (本)
平成 15	5,610	88.8	4,494	1,116	19.9	0.73
16	5,490	88.6	4,432	1,058	19.3	0.67
17	5,338	88.5	4,302	1,036	19.4	0.67
18	5,337	89.2	4,298	1,039	19.5	0.69
19	5,211	88.8	4,177	1,034	19.8	0.67

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

【3歳児歯科健康診査】 歯科衛生士による個別・集団指導、歯科医師による歯科健診を行い、健診の結果、初期のむし歯や要注意歯のある者、口腔内が清掃不良の者に対して、後日、事後指導として保健指導・予防処置を行っている。

妊産婦訪問指導の実施状況

年度	訪問指導員				保健師			
	妊婦		産婦		妊婦		産婦	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
平成 15	37	37	1,903	1,972	17	26	414	503
16	19	19	1,833	1,834	19	24	431	547
17	22	22	1,801	1,802	23	50	439	563
18	23	23	1,919	1,920	18	28	471	575
19	36	36	2,236	2,240	17	23	491	583

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

【妊産婦訪問指導】 妊産婦に対して、訪問指導員(助産師、保健師)による訪問指導を行っている。

新生児・乳幼児訪問指導の実施状況

(人)

年度	訪問指導員		保健師									
	新生児		未熟児		新生児		乳児		幼児		その他	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
平成 15	1,870	1,943	161	188	392	504	212	306	372	642	82	174
16	1,808	1,812	211	264	221	295	273	385	458	812	86	132
17	1,784	1,791	188	249	243	324	262	394	419	833	104	219
18	1,916	1,920	160	209	311	429	253	354	368	684	49	136
19	2,243	2,249	105	143	383	448	265	379	290	502	92	279

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

【新生児・乳幼児訪問指導】 新生児(生後 60 日以内)に対して、訪問指導員(助産師、保健師)による訪問指導を実施している。また、未熟児、新生児(生後 60 日以内)、乳児、幼児、その他に対して、保健師による訪問指導を実施している。

育児栄養相談の実施状況

年度	開催回数 (回)	来所者数 (人)	個別指導数 栄養相談 (人)	個別指導数 保健相談 (人)
平成 15	144	10,974	2,185	...
16	144	11,692	2,474	4,305
17	144	11,425	2,731	4,992
18	143	11,546	2,921	5,540
19	142	12,238	2,919	5,150

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

(3) 予防接種

予防接種の実施状況

(人)

年度	D P T (三種混合)			D T (二種混合)			急性灰白髄炎(小児まひ)		
	対象延人員	実施延人員	実施率 (%)	対象延人員	実施延人員	実施率 (%)	対象延人員	実施延人員	実施率 (%)
平成 15	23,776	24,942	104.9	7,119	3,942	55.4	11,920	11,390	95.6
16	23,642	24,185	102.3	5,745	3,069	53.4	11,896	11,322	95.2
17	24,231	22,325	92.1	6,578	2,559	38.9	11,659	10,661	91.4
18	22,840	22,060	96.6	5,875	2,729	46.5	11,100	10,740	96.8
19	23,555	23,339	99.1	5,989	3,269	54.6	11,309	10,949	96.8
年度	風しん			麻しん			日本脳炎		
	対象延人員	実施延人員	実施率 (%)	対象延人員	実施延人員	実施率 (%)	対象延人員	実施延人員	実施率 (%)
平成 15	6,033	6,612	109.6	6,008	6,338	105.5	31,138	24,070	77.3
16	5,962	6,654	111.6	6,008	6,039	100.5	23,608	17,530	74.3
17	5,994	8,715	145.4	5,775	5,816	100.7	4,804	3,363	70.0
年度	麻しん風しん混合								
	対象延人員	実施延人員	実施率 (%)						
平成 18		11,673		10,432		89.4	11,747	149	1.3
19		11,605		10,981		94.6	23,308	800	3.4

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

(注)平成 18 年度より、麻しんと風しんの混合ワクチンを接種している。

対象延人員は、標準的な接種年齢時期に接種を勧奨した人数である。

日本脳炎の実施者の減少は、予防接種事故の発生に伴い、国が平成 17 年 5 月に定期予防接種として、日本脳炎ワクチン接種の積極的な勧奨を差し控えたことによる。

(4) 休日・夜間の医療

休日における救急患者に対する医療対策として、練馬休日急患診療所、石神井休日急患診療所、練馬区つつじ歯科診療所、石神井歯科休日急患診療所を設置している。
小児初期救急医療事業として、毎準夜間、練馬休日急患診療所において練馬区夜間救急こどもクリニック事業を実施している。また、区内2大学病院においても委託により実施している。

休日急患診療所(医科)の利用状況

(延べ人数)

年度	練馬休日急患診療所					
	計	0歳	1～3歳	4～6歳	7～15歳	16歳以上
平成 15	12,199	1,648	4,569	2,188	1,316	2,478
16	12,017	1,495	4,297	2,306	1,500	2,419
17	11,909	1,350	4,208	2,367	1,521	2,463
18	11,248	1,262	3,974	2,179	1,602	2,231
19	11,784	1,313	3,897	2,207	1,772	2,595
年度	(再掲) 練馬区夜間救急こどもクリニック					
	計	0歳	1～3歳	4～6歳	7～15歳	16歳以上
平成 15	6,636	1,173	3,133	1,426	862	42
16	6,359	1,045	2,835	1,497	954	28
17	5,646	826	2,554	1,381	854	31
18	5,292	745	2,309	1,275	934	29
19	5,660	856	2,394	1,322	1,072	16
年度	石神井休日急患診療所					
	計	0歳	1～3歳	4～6歳	7～15歳	16歳以上
平成 15	5,023	262	1,133	838	671	2,119
16	5,539	311	1,294	928	735	2,271
17	5,996	333	1,477	985	746	2,455
18	5,904	278	1,334	973	930	2,389
19	6,322	320	1,348	1,016	963	2,675

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

休日急患診療所(歯科)の利用状況

(延べ人数)

年度	練馬区つつじ歯科診療所					
	計	0歳	1～3歳	4～6歳	7～15歳	16歳以上
平成 15	486	1	7	27	22	429
16	536	2	14	25	32	463
17	576	0	10	21	39	506
18	565	0	16	31	34	484
19	636	1	16	26	30	563
年度	石神井歯科休日急患診療所					
	計	0歳	1～3歳	4～6歳	7～15歳	16歳以上
平成 15	763	1	14	39	43	666
16	725	1	12	23	53	636
17	733	1	13	33	48	638
18	762	0	21	40	53	648
19	726	0	17	37	43	629

(「ねりまの保健衛生」(平成 16～20 年版))

区内2大学病院(小児初期救急医療事業委託)の利用状況

(延べ人数)

年度	日本大学医学部附属練馬光が丘病院					
	計	0歳	1～3歳	4～6歳	7～15歳	16歳以上
平成 18	3,689	539	1,646	793	700	11
19	3,143	460	1,341	649	679	14
年度	順天堂大学医学部附属練馬病院					
	計	0歳	1～3歳	4～6歳	7～15歳	16歳以上
平成 18	1,592	413	643	291	243	2
19	1,310	358	463	250	238	1

(「ねりまの保健衛生」(平成 19～20 年版))

5. 教育環境の整備

(1) 区立小学校、区立中学校の状況

区内には、小学校として区立 69 校、国立 1 校、私立 1 校、中学校として区立 34 校、国立 1 校、私立 3 校がある。また、高等学校として都立 9 校、私立 4 校がある。
平成 20 年は、6～11 歳人口に占める区立小学校の割合が 93.9%、12～14 歳人口に占める区立中学校の割合が 75.7%であり、4人に1人が私立中学校等へ進学している。

区立小学校、区立中学校の在籍状況

(人)

年	区立小学校 (69 校)			区立中学校 (34 校)		
	学級数	児童数	6～11 歳人口に占める割合 (%)	学級数	生徒数	12～14 歳人口に占める割合 (%)
平成 16	1,071	33,366	93.8	390	12,954	76.1
17	1,080	33,637	93.7	395	13,164	76.1
18	1,084	34,025	93.6	398	13,262	75.6
19	1,078	34,197	94.0	406	13,744	76.2
20	1,091	34,493	93.9	409	13,727	75.7

(「練馬区統計書」(平成 20 年版)、人口は住民基本台帳および外国人登録者、各年 5 月 1 日現在、人口は各年 4 月 1 日現在)

※ 児童数(生徒数)の中には、区内小中学校に在籍する児童(生徒)の数であるため、区外在住者も含まれている。
また、練馬区民で、区内小中学校に通学している児童(生徒)の数は含まれていない。

(2) 開かれた学校の状況

子どもの遊び場のうち、校庭開放については、区立小学校全 69 校で実施している。平成 19 年度の利用人数が延べ約 109 万人、1日平均 61.8 人となるなど、利用が定着している。利用形態としては、団体対個人が概ね4対6の割合となっている。

学校評議員の設置状況

年度	幼稚園	小学校	中学校
平成 16	5	43	19
17	5	53	27
18	5	64	32
19	5	54	26
20	5	69	34

【学校評議員】保護者や地域の方々の意見を校(園)長が聞き、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進するため、平成 12 年度から学校評議員制度を実施している。学校評議員は、教育に関する理解および識見を有する方のうちから、校(園)長が推薦し、教育委員会が委嘱している。

(平成 16・17 年は教育指導課調べ「練馬区教育要覧」(平成 18～20 年版)、平成 18・19 年は 8 月 1 日現在、平成 20 年は 9 月 1 日現在)

学校応援団の設置状況

年	設置小学校
平成 16	2
17	4
18	6
19	10
20	23

【学校応援団】区立小学校に町会・自治会やPTAなどの地域住民を主体とした「学校応援団」を設置し、小学校の児童および地域のために、学校教育に支障のない範囲で、学校・地域相互の人材活用および学校施設の地域活用を図ることにより、地域の核としての開かれた小学校づくりを推進している。各学校応援団が地域人材を確保し、放課後等の学校で、遊び、学び、読書などの居場所として児童が過ごせる「児童放課後等居場所づくり事業」や、登下校時の児童安全誘導等を行う「安全管理事業」、「学校開放事業」などを区の委託により実施している。

(「練馬区教育要覧」(平成 16～20 年版)、各年 4 月 1 日現在)

区立小学校の校庭開放の利用状況

年度	開放小学校数(校)	延べ開放日数(日)	利用人数			利用率等		
			計(人)	団体(人)	個人(人)	利用人数／延べ開放日数(人)	団体利用割合(%)	個人利用割合(%)
平成 15	69	16,793	1,084,763	364,796	719,967	64.6	33.6	66.4
16	69	17,526	1,121,371	395,502	725,869	64.0	35.3	64.7
17	69	17,647	1,061,890	423,260	638,630	60.2	39.9	60.1
18	69	16,661	1,057,570	447,101	610,469	63.5	42.3	57.7
19	69	17,612	1,088,381	443,881	644,500	61.8	40.8	59.2

(「練馬区統計書」(平成 20 年版))

(3) 学校保健の状況

平成 19 年度の生活習慣病検査による小学生の事後指導数の割合は、対象者数の 0.36%、中学生は 0.31%となっている。
 児童・生徒の平均体格は、平成 9 年度と平成 19 年度を比較すると、身長、体重、座高とも、大きな差異は見られない。

生活習慣病検査の実施状況の推移

(人)

年度	小学校					中学校				
	対象者数	精密検査対象者数	受診者数	事後指導数	事後指導数／対象者数(%)	対象者数	精密検査対象者数	受診者数	事後指導数	事後指導数／対象者数(%)
平成 15	32,939	655	256	134	0.41	13,253	392	83	39	0.29
16	33,366	540	224	98	0.29	12,954	343	71	31	0.24
17	33,637	494	223	91	0.27	13,164	317	71	29	0.22
18	34,038	494	224	74	0.22	13,262	314	75	26	0.20
19	34,197	524	222	123	0.36	13,744	305	98	43	0.31

(「練馬区教育要覧」(平成 16～20 年版))

【生活習慣病検査】毎年4月から6月に行われる定期健康診断において、身体計測(身長、体重)の結果、肥満度がおおむね 40%以上の児童・生徒数に対して、精密検査を実施している。

児童・生徒の平均体格の推移

男

項目	年度	小学校						中学校		
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	1 学年	2 学年	3 学年
身長 cm	平成 9	117.1	122.8	128.3	134.0	139.5	145.4	152.8	160.2	165.9
	14	116.8	123.0	128.4	133.6	139.2	145.5	153.0	160.5	166.3
	19	116.9	122.7	128.6	134.0	139.1	145.3	153.0	160.7	165.7
体重 kg	平成 9	21.7	24.5	27.6	31.0	34.8	39.4	44.7	50.3	55.4
	14	21.6	24.5	27.7	30.8	34.7	39.3	45.0	50.6	56.0
	19	21.4	24.0	27.5	30.7	34.2	38.6	44.6	50.3	54.9
座高 cm	平成 9	65.2	67.9	70.5	73.1	75.4	77.9	81.6	85.1	88.1
	14	65.0	67.9	70.6	72.8	75.3	78.0	81.4	85.4	88.6
	19	64.9	67.7	70.5	72.9	75.1	77.7	81.6	85.5	88.3

女

項目	年度	小学校						中学校		
		1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	1 学年	2 学年	3 学年
身長 cm	平成 9	116.4	121.9	127.8	133.8	140.3	146.9	152.2	155.6	157.1
	14	116.0	122.0	127.6	133.7	140.0	146.8	152.7	155.8	157.4
	19	115.9	121.7	127.7	133.5	140.4	147.1	152.4	155.5	157.1
体重 kg	平成 9	21.2	23.8	26.9	30.3	34.4	39.2	44.3	47.9	49.8
	14	21.1	23.8	26.8	30.5	34.5	39.6	44.7	48.3	50.8
	19	21.0	23.3	26.5	29.7	33.9	38.8	44.3	47.9	50.7
座高 cm	平成 9	64.7	67.5	70.3	73.1	76.1	79.2	82.4	84.1	84.9
	14	64.6	67.5	70.2	73.0	76.0	79.3	82.7	84.2	85.0
	19	64.5	67.4	70.2	72.8	76.0	79.5	82.2	84.1	85.1

(「練馬区統計書」(平成 20 年版))

(注)毎年4月～6月に実施の定期健康診断の結果による。

6. 子どもの安全の確保

(1) 街路灯、公園の状況

街路灯は、平成 20 年が 48,162 か所となっており、平成 16 年より 1,867 か所の増加となっている。公園のうち、都市公園は、平成 20 年が 201 か所となっており、平成 16 年より 41 か所の増加となっている。一方、児童遊園は 3 所の増加である。

街路灯の設置状況

年	総数	蛍光灯	水銀灯			ナトリウム灯	街路灯設置 平均間隔 (m)
		区道・私道	計	国道・都道	区道	国道・都道	
平成 16	46,295	20,213	24,859	2,873	21,986	1,223	23.8
17	47,125	20,946	24,918	2,789	22,129	1,261	23.5
18	47,343	20,761	25,174	2,905	22,269	1,408	23.4
19	47,925	20,998	25,253	2,905	22,348	1,674	23.2
20	48,162	21,174	25,314	2,896	22,418	1,674	23.2

(「練馬区統計書」(平成 20 年版)、各年 4 月 1 日現在)

(注)「街路灯設置平均間隔」=「総数」÷「公道の舗装状況の総数(総延長)」として算出した。

都市公園と児童遊園の設置状況

年	総数		都市公園		児童遊園	
	数	面積 (m ²)	数	面積 (m ²)	数	面積 (m ²)
平成 16	574	1,871,093	360	1,782,481	214	88,612
17	582	1,874,336	366	1,784,436	216	89,900
18	598	1,888,638	382	1,798,949	216	89,689
19	614	1,905,647	397	1,815,832	217	89,816
20	618	1,919,899	401	1,830,060	217	89,839

(「練馬区統計書」(平成 20 年版)、各年 4 月 1 日現在)

(2) 交通事故、犯罪の状況

中学生以下の子どもの交通事故は、平成 19 年には発生件数が 247 件、死者数が 1 件、負傷者数が 291 件となっており、平成 15 年と比較すると件数は 67 件、21.3%の減少となっている。
 刑法犯は全体としては減少しているが、大部分は窃盗犯の減少によるものであり、凶悪犯、風俗犯、知能犯、粗暴犯の発生状況は、大きく変わっていない。

子どもの交通事故発生状況

(件)

年および警察署	発生件数				死者数				負傷者数			
	計	幼児	小学生	中学生	計	幼児	小学生	中学生	計	幼児	小学生	中学生
平成 15	314	40	207	67	0	0	0	0	362	90	210	62
16	328	42	220	66	0	0	0	0	404	111	229	64
17	316	45	207	64	1	0	1	0	373	87	216	70
18	274	26	184	64	0	0	0	0	329	68	196	65
19	247	24	169	54	1	0	1	0	291	69	171	51
練馬警察署	65	7	42	16	0	0	0	0	66	10	40	16
光が丘警察署	65	6	47	12	1	0	1	0	90	29	49	12
石神井警察署	117	11	80	26	0	0	0	0	135	30	82	23

(「練馬区統計書」(平成 20 年版))

(注) 件数は、子どもが第一・第二当事者となった事故件数で、死傷者数は、車両同乗者等を含む全被害者数を計上した。

練馬警察署、光が丘警察署、石神井警察署の取扱い件数であるため、区内の発生件数とは一致しない。

刑法犯の種類別の発生状況

(件)

年および警察署	総数	凶悪犯	窃盗犯	風俗犯	知能犯	粗暴犯	その他
平成 15	13,638	73	10,513	77	383	339	2,253
16	13,213	46	9,897	70	556	356	2,288
17	11,307	39	8,042	47	511	385	2,283
18	11,457	55	8,353	62	528	382	2,077
19	10,750	56	8,027	93	554	355	1,665
練馬警察署	3,479	24	2,519	21	203	116	596
光が丘警察署	2,866	16	2,156	27	173	79	415
石神井警察署	4,405	16	3,352	45	178	160	654

(「練馬区統計書」(平成 20 年版))

(注) (注) 凶悪犯: 殺人、強盗、放火、強姦、窃盗犯: 侵入窃盗、非侵入窃盗、風俗犯: 賭博、わいせつ

知能犯: 詐欺、横領、偽造、汚職、背任、粗暴犯: 暴行、傷害、脅迫、恐喝、業務上等過失致死傷(交通関係)事件は除く。

「暴行」には凶器準備集合を含み、「傷害」には傷害致死を含む。警察署別は、それぞれの管轄区域内の数値である。

7. 要保護児童への対応

(1) 母子家庭、父子家庭の状況

国勢調査における平成17年の母子世帯総数は2,815世帯であり、平成12年より減少したものの平成2年の1.11倍となっている。特に6歳未満の子どもがいる世帯が541世帯と、平成2年より大きく伸びている。

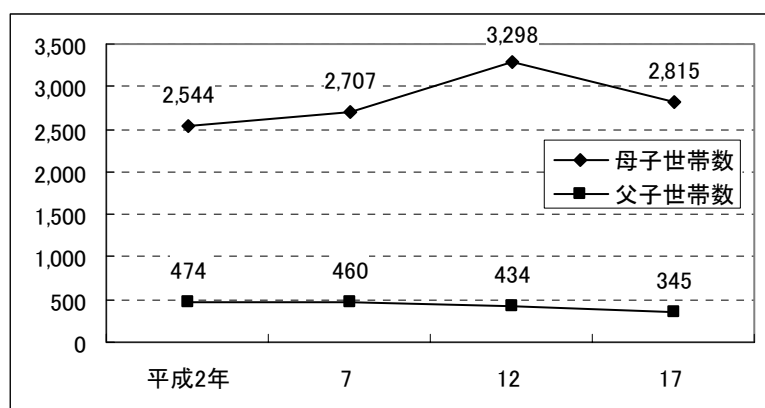
一方、父子世帯総数は345世帯であり、平成2年の0.73倍となっている。ただし、6歳未満の子どもがいる世帯は33世帯であり、平成2年よりやや多い。

母子家庭数の推移

年	母子世帯数（世帯）					母子世帯人員（人）					1世帯あたり子どもの数（人）
	総数	子どもが1人	子どもが2人	子どもが3人以上	(再掲) 6歳未満の子どもがいる世帯	総数	子どもが1人	子どもが2人	子どもが3人以上	(再掲) 6歳未満の子どもがいる世帯	
平成2	2,544	1,350	954	240	344	6,544	2,700	2,862	982	914	1.6
7	2,707	1,512	955	240	495	6,874	3,024	2,865	985	1,276	1.5
12	3,298	1,784	1,178	336	708	8,520	3,568	3,534	1,418	1,928	1.6
17	2,815	1,476	1,039	300	541	7,349	2,952	3,117	1,280	1,507	1.6

父子家庭数の推移

年	父子世帯数（世帯）					父子世帯人員（人）					1世帯あたり子どもの数（人）
	総数	子どもが1人	子どもが2人	子どもが3人以上	(再掲) 6歳未満の子どもがいる世帯	総数	子どもが1人	子どもが2人	子どもが3人以上	(再掲) 6歳未満の子どもがいる世帯	
平成2	474	268	161	45	24	1,204	536	483	185	71	1.5
7	460	263	155	42	46	1,163	526	465	172	122	1.5
12	434	239	152	43	54	1,110	478	456	176	145	1.6
17	345	207	110	28	33	862	414	330	118	94	1.5



(国勢調査、各年10月1日現在)

(2) ひとり親家庭への支援

母子自立支援員の相談指導の実施状況

年度	相談実人数	相談指導件数
平成 15	1,954	3,837
16	1,973	4,087
17	1,641	3,681
18	1,952	4,314
19	2,357	4,968

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

母子福祉資金の貸付の実施状況

年度	総数 件数 (件)	(再掲) 子育てに関する貸付件数(件)				
		修学	修業	就学支度	児童扶養	計
平成 15	706	487	6	133	3	629
16	719	517	5	148	0	670
17	689	511	2	129	0	642
18	728	541	1	158	0	700
19	702	548	0	131	0	679

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【母子福祉資金の貸付】 配偶者のいない女性で、20 歳未満の児童を扶養している方に対して、その経済的自立と生活意欲の助長を図り、また扶養している児童の福祉の増進を図ることを目的として、各種の必要資金を貸し付けている。

ひとり親家庭ホームヘルパーの派遣の実施状況

年度	派遣回数	派遣世帯数	派遣時間数
平成 15	5,190	239	17,933
16	5,687	255	20,230
17	5,705	250	21,228
18	5,342	281	21,183
19	5,733	286	23,036

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【ひとり親家庭ホームヘルプ(家事・介護等の援助)サービス】 ひとり親家庭の親または子どもが、一時的な傷病などで日常生活にお困りのときや、ひとり親家庭になった直後で生活が不安定な世帯(主に、中学生以下の児童がいるひとり親家庭)に対し、食事や家事の援助を行うホームヘルパーを、月 12 回を限度として派遣している。所得に応じて費用負担あり。

ひとり親家庭等医療費助成の実施状況

(人)

年度	母子世帯		父子世帯		養育者家庭		計	
	世帯数	受給者数	世帯数	受給者数	世帯数	受給者数	世帯数	受給者数
平成 15	3,317	7,214	84	182	23	46	3,424	7,442
16	3,394	7,408	91	192	24	49	3,509	7,649
17	3,234	6,974	83	202	19	38	3,336	7,214
18	3,475	7,700	85	179	20	42	3,580	7,921
19	3,437	5,091	89	133	18	22	3,544	5,246

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【ひとり親家庭等医療費助成】 対象者：離婚、死亡などで父または母がいないか、父または母が重度の障害者である児童(※)を扶養している保護者で所得が一定額未満の方。ただし、生活保護を受けている世帯、児童が施設に入所している世帯、申請者または扶養義務者の所得が限度額を超えている世帯は助成されない。また、子ども医療証、心身障害者医療費助成等の医療証をお持ちの方はそちらが優先される。

※0 歳から 18 歳になった後の最初の 3 月 31 日までのお子さん(中度以上の障害のある児童は 20 歳の誕生日の前日まで)

助成の内容：健康保険の自己負担分から老人保健法に準じた一部負担金(1 割)を差し引いた額を助成、ただし、入院時食事療養費標準負担額は助成なし。(住民税非課税の世帯は、健康保険の自己負担分から入院時食事療養費標準負担額を差し引いた額を助成) なお、平成 20 年 3 月 31 日に「老人保健法」は廃止されたため、4 月 1 日以降、同医療助成は同法を引き継いだ「高齢者の医療の確保に関する法律」に準じて実施している。

※ひとり親医療証で助成を受けられるのは、保険診療の範囲内で自己負担する分。保険の対象とならない健康診断料・予防接種・容器代・文書代・差額ベッド代等は対象とならない。

ひとり親家庭等休養ホームの利用状況

年度	利用者数
平成 15	657
16	695
17	649
18	730
19	529

【ひとり親家庭等休養ホーム】 ひとり親家庭および寡婦の方のレクリエーションと休養のために、宿泊施設を指定し、利用料の助成をしている。
利用回数：1 人年度内 3 泊まで、助成限度額：大人(中学生以上) 6,500 円まで、子ども(小学生以下) 5,800 円まで。

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

母子生活支援施設への入所、助産施設への入所の実施状況

年度	母子生活支援施設への入所			助産施設への入所
	入所世帯数	退所世帯数	年間実利用世帯数	入所世帯数
平成 15	14	11	30	66
16	8	11	27	60
17	12	10	28	57
18	13	13	31	51
19	9	10	27	52

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

【母子生活支援施設への入所】 児童福祉法に基づく児童福祉施設で、配偶者がなく(またはこれに準ずる)、18 歳未満の児童のいる母子を入所させて自立に必要な生活指導を行い、併せて児童の健全育成を図ることを目的としている。

【助産施設への入所】 区内に居住する妊産婦が、保健上必要があるにもかかわらず経済的理由により入院して出産することができない場合に、指定の助産施設に入所して、無料または低額な費用で出産できるようにする制度である。

(3) 低所得者家庭への支援

生活保護の被保護世帯、被保護人員の推移

年度	総数		(再掲) 教育扶助		(再掲) 生業扶助		(再掲) 出産扶助	
	世帯数	人員数	世帯数	人員数	世帯数	人員数	世帯数	人員数
平成 15	7,335	10,828	721	1,040	5	6	3	3
16	7,872	11,636	771	1,114	67	73	2	2
17	8,254	12,112	802	1,151	314	368	5	5
18	8,491	12,326	820	1,178	366	420	6	6
19	8,638	12,363	796	1,127	383	443	5	5

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

就学援助費支給状況の推移

(人)

年度	小学校				中学校			
	要保護者	準要保護者	計	支給者割合 (%)	要保護者	準要保護者	計	支給者割合 (%)
平成 15	715	7,628	8,343	25.33	414	3,166	3,580	27.01
16	608	8,031	8,639	25.89	365	3,342	3,707	28.62
17	685	7,903	8,588	25.53	402	3,436	3,838	29.16
18	697	7,906	8,603	25.28	408	3,597	4,005	30.20
19	718	7,481	8,199	23.87	451	3,628	4,079	29.68

(「各年度決算資料」)

(4) 障害児と障害児保育の状況

18 歳未満の身体障害者数は、ここ数年ほぼ横ばいである。部位別に見ると、平成 19 年度末は肢体不自由が 53.7%、聴覚または平衡機能障害が 22.2%と高い。一方、18 歳未満の知的障害者数は、支援費制度の導入および障害者自立支援法の施行に伴い増加傾向にある。最重度と重度を合わせ、28.3%を占めているが、このところは軽度の割合が増えている。両者を合わせた出現率は、人口比 1.32%程度(重複は考慮しないもの)となっている。

障害児保育については、平成 20 年 4 月 1 日現在において、区立保育園と私立保育園を合わせ、182 人を受け入れている。子どもの年齢別では、障害の状況がある程度判明してくる3~5歳児で全体の 94.5%となっている。学童クラブは 83 か所が 149 人を受け入れている。

平成 20 年 4 月 1 日現在の特別支援学級は、小学校が 17 校で 69 学級、619 人、中学校が 11 校で 28 学級、190 人となっている。このほか、区内には都立 3 校、私立 1 校の特別支援学校がある。

18 歳未満の身体障害者名簿登録数の推移

年度	総数		視覚障害		聴覚または 平衡機能障害		音声または 言語機能障害		肢体不自由		内部障害	
	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)	人数	割合 (%)
平成 15	472	100.0	16	3.4	108	22.9	1	0.2	278	58.9	69	14.6
16	470	100.0	17	3.6	107	22.8	1	0.2	271	57.7	74	15.7
17	459	100.0	14	3.1	99	21.6	1	0.2	263	57.3	82	17.9
18	481	100.0	20	4.2	106	22.0	2	0.4	263	54.7	90	18.7
19	469	100.0	19	4.1	104	22.2	3	0.6	252	53.7	91	19.4

(「練馬区統計書」(平成 20 年版)、各年度末現在)

18歳未満の知的障害者名簿登録数の推移

年度	総数		最重度		重度		中度		軽度	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)	人数	割合(%)
平成 15	793	100.0	33	4.2	213	26.9	261	32.9	286	36.1
16	824	100.0	32	3.9	222	26.9	260	31.6	310	37.6
17	863	100.0	28	3.2	221	25.6	262	30.4	352	40.8
18	915	100.0	31	3.4	231	25.2	270	29.5	383	41.9
19	939	100.0	22	2.3	244	26.0	261	27.8	412	43.9

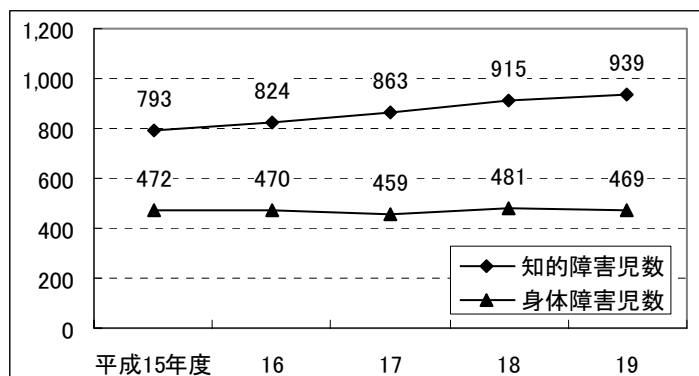
(「練馬区統計書」(平成 20 年版)、各年度末現在)

18歳未満人口に対する障害児の割合の推移

(%)

年度	身体障害児	知的障害児
平成 15	0.44	0.74
16	0.44	0.77
17	0.43	0.81
18	0.45	0.86
19	0.44	0.88

(人口(住民基本台帳、外国人登録者)を翌年度 4 月 1 日現在として算定した。)



心身障害者福祉センター(18歳未満)の利用状況

年度	相談・検査件数					訓練件数	
	新規来所	一般相談	専門相談	脳波検査	聴力検査	個別指導	集団訓練
平成 15	272	1,577	2,846	101	0	5,002	6,289
16	185	1,008	2,330	55	0	3,873	5,093
17	260	1,167	2,892	67	1	2,602	5,944
18	302	1,124	2,989	80	0	1,394	9,579
19	330	1,338	3,380	78	2	944	10,556

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版))

障害児保育の受入児童数の推移

年	区立		私立		合計		
	施設数	児童数	施設数	児童数	施設数	児童数	1か所平均人数
平成 16	58	156	11	38	69	194	2.8
17	57	150	13	41	70	191	2.7
18	58	152	12	35	70	187	2.7
19	59	162	11	38	70	200	2.9
20	58	144	13	38	71	182	2.6

(「練馬区勢概要」(平成 16~20 年版)、「ねりまの福祉」(平成 20 年版)、各年度 4 月 1 日現在)

障害児保育の受入状況(年齢別・男女別内訳)

(人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	男	女	計
区立	0	5	3	37	43	56	107	37	144
私立	0	0	2	13	15	8	29	9	38
合計	0	5	5	50	58	64	136	46	182

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版)、平成 20 年 4 月 1 日現在)

特別支援学級、児童・生徒・教員数の推移

年	小学校				中学校			
	学校数	学級数	児童数	教員数	学校数	学級数	生徒数	教員数
平成 16	15	48	471	68	9	21	151	30
17	16	51	474	72	9	22	143	32
18	17	58	522	80	9	23	157	33
19	17	65	583	88	9	24	179	36
20	17	69	619	93	11	28	190	42

(「練馬区教育要覧」(平成 16～20 年版)、各年 5 月 1 日現在)

学童クラブでの障害児の受け入れ状況

年	受け入れクラブ数	障害児数	1 か所平均人数
平成 16	65	104	1.6
17	72	114	1.6
18	82	146	1.8
19	82	149	1.8
20	83	149	1.8

(「ねりまの福祉」(平成 20 年版)、各年 4 月 1 日現在)

(5) 不登校、いじめ、少年非行等の状況

長期欠席児童・生徒数は、平成 19 年度は平成 15 年度に比べると減少している。
小学生は病気による理由が 36.3%、不登校が 41.2%、一方、中学生は不登校が 82.3%となっている。

理由別長期欠席児童・生徒数の推移

年度	小学校					中学校				
	病気	経済的理由	不登校	その他	計	病気	経済的理由	不登校	その他	計
平成 15	181	0	122	78	381	58	0	434	65	557
16	146	0	124	77	347	67	0	405	72	544
17	124	1	103	73	301	68	0	384	37	489
18	173	1	123	86	383	57	2	397	28	484
19	120	0	136	74	330	40	1	375	37	453

(「練馬区教育要覧」(平成 16～20 年版))

【長期欠席児童】1 年間に 30 日以上欠席した児童・生徒をいう。

不登校児童生徒の学校復帰支援の実施状況

年度	フリーマインド		トライ	
	参加者数	開催日数	参加者数	開催日数
平成 15	26	190	71	184
16	25	184	98	179
17	39	187	107	182
18	45	186	106	186
19	40	184	122	192

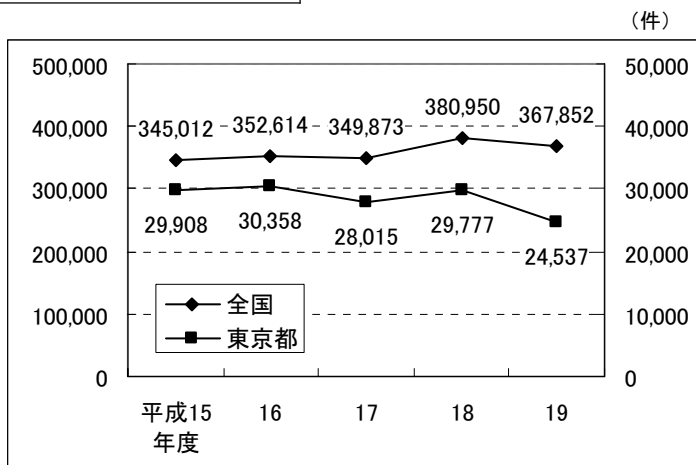
(「練馬区教育要覧」(平成 16～20 年版))

児童相談所の相談件数は、全国、東京都ともここ数年は横ばいの状況となっている。こうした中、東京都の状況として、不登校(園)は減少、非行(ぐ犯、触法)は横ばいとなっている一方で、いじめの件数は平成17年度に平成15年度以来最低となったが、以後増加に転じた。

児童相談所の相談件数の推移(全国、東京都)

年度	全国	東京都		
	総相談件数	総相談件数	一般相談数	電話相談数
平成15	345,012	29,908	18,262	11,646
16	352,614	30,358	19,061	11,297
17	349,873	28,015	17,775	10,240
18	380,950	29,777	19,993	9,784
19	367,852	24,537	16,222	8,315

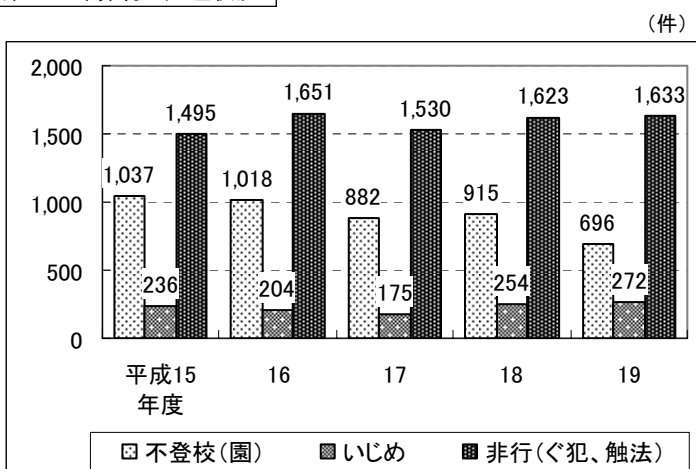
(「東京都児童相談所事業概要」(2008年(平成20年)版))



東京都の不登校、いじめ、非行の処理状況

年度	不登校(園)	いじめ	非行(ぐ犯、触法)
平成15	1,037	236	1,495
16	1,018	204	1,651
17	882	175	1,530
18	915	254	1,623
19	696	272	1,633

(「東京都児童相談所事業概要」(2008年(平成20年)版))



東京都の児童相談所の相談件数の推移(平成19年度、対象者の年齢別)

	合計	内訳(再掲)				
		被虐待	障害	不登校(園)	いじめ	非行
合計	24,537	3,216	6,193	696	272	1,633
0~5歳	7,885	1,278	1,869	25	8	0
6~11歳	7,765	1,233	2,106	160	129	206
12~14歳	5,259	477	1,215	360	109	1,053
15歳以上	3,628	228	1,003	151	26	374

(「東京都児童相談所事業概要」(2008年(平成20年)版))

※ 内訳(再掲)は、抜粋して表示している。

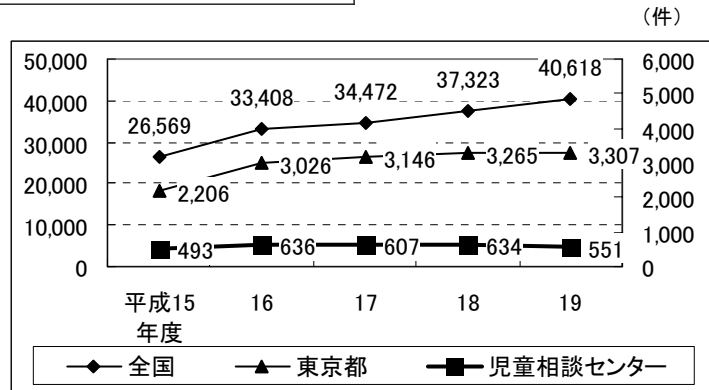
(6) 児童虐待の状況

児童相談所における児童虐待の相談件数は、全国、東京都とも増加しており、平成 19 年度は過去最高となっている。平成 19 年度の東京都の児童虐待の相談件数に関して、虐待内容別では身体的虐待が 1,722 件(52.1%)、保護の怠慢・拒否(ネグレクト)が 843 件(25.5%)、また、主たる虐待者別では実母が 1,743 件(52.7%)、実父が 540 件(16.3%)などとなっている。

児童相談所の相談件数の推移(全国、東京都)

年度	全国	東京都	児童相談センター
平成 15	26,569	2,206	493
16	33,408	3,026	636
17	34,472	3,146	607
18	37,323	3,265	634
19	40,618	3,307	551

(「東京都児童相談所事業概要」(2008年(平成20年)版))



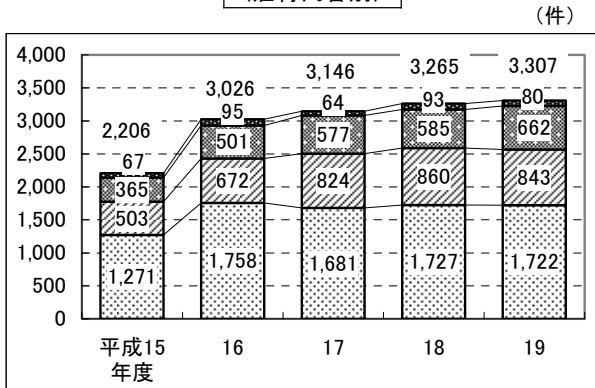
東京都の児童相談所における虐待相談の状況(虐待内容別)

年度	合計	身体的	保護の怠慢・拒否(ネグレクト)	心理的	性的
平成 15	2,206	1,271	503	365	67
16	3,026	1,758	672	501	95
17	3,146	1,681	824	577	64
18	3,265	1,727	860	585	93
19	3,307	1,722	843	662	80

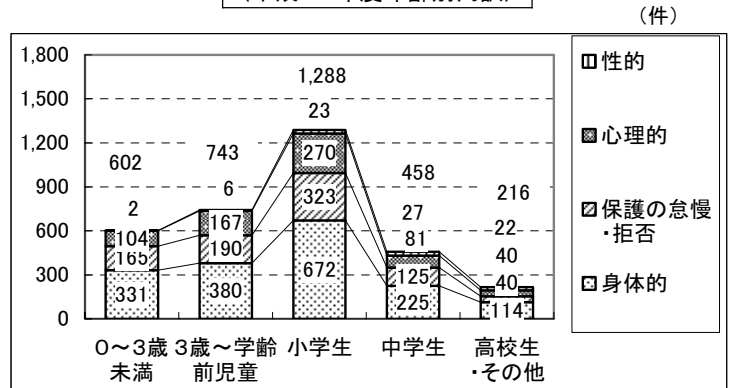
平成 19 年度年齢別内訳

0～3歳未満	602	331	165	104	2
3歳～学齢前児童	743	380	190	167	6
小学生	1,288	672	323	270	23
中学生	458	225	125	81	27
高校生・その他	216	114	40	40	22

(虐待内容別)



(平成 19 年度年齢別内訳)



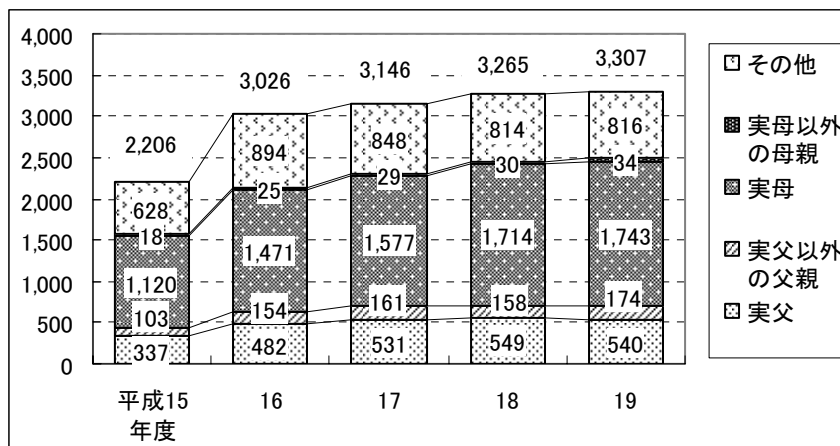
(「東京都児童相談所事業概要」(2008年(平成20年)版))

東京都の児童相談所における虐待相談の状況(主たる虐待者別)

(件)

年度	合計	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他
平成 15	2,206	337	103	1,120	18	628
16	3,026	482	154	1,471	25	894
17	3,146	531	161	1,577	29	848
18	3,265	549	158	1,714	30	814
19	3,307	540	174	1,743	34	816

(件)



(「東京都児童相談所事業概要」(2008年(平成20年)版))

練馬区の保健相談所における児童虐待(疑い含む)相談件数の推移

(件)

年度	合計	身体的	保護の怠慢・拒否	心理的	性的	その他	不明
平成 15	89	33	38	26	1	7	3
16	63	17	26	19	1	0	0
17	123	42	54	24	2	1	1
18	71	19	35	17	0	0	0
19	71	21	31	19	0	0	0

(「ねりまの保健衛生」(平成16~20年版))

IV サービス利用者等へのニーズ調査

IV-1 就学前児童家庭の調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

区内に在住する未就学児童の保護者に対して、子育て支援に関する生活実態や要望・意見などを把握し、平成 21 年度「練馬区次世代育成支援対策行動計画（後期）」を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ①子どもと家族について
- ②就労状況について
- ③保育サービスの利用について
- ④病児・病後児保育について
- ⑤一時預かりについて
- ⑥一時的保育事業等について
- ⑦子育て支援サービスについて
- ⑧育児休業制度について
- ⑨子育ての悩みや相談等について
- ⑩母子保健、地域医療等について
- ⑪子育てに関する情報、相談、活動について
- ⑫子どもの遊び場、外出時の困りごとについて
- ⑬少子社会に対する考え方について
- ⑭行政サービス要望について

(3) 調査仕様

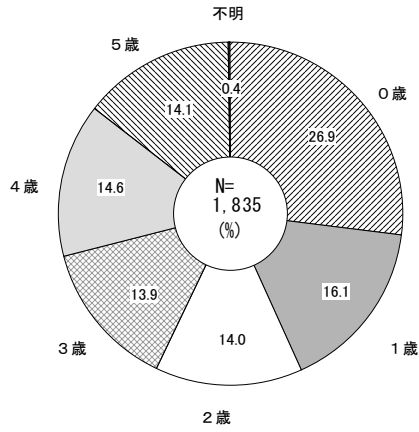
- | | |
|-------|--|
| ①調査地域 | 区全域 |
| ②調査対象 | 区内に在住する就学前児童（0歳から6歳）の保護者 |
| ③標本数 | 3,000件 |
| ④抽出方法 | 住民基本台帳登録者のうち、平成21年1月1日現在、0歳から6歳の子どもを持つ保護者を無作為抽出。 |
| ⑤調査方法 | 郵送配布・回収法 |
| ⑥調査期間 | 平成21年1月26日～2月9日 |

(4) 回収数・回収率

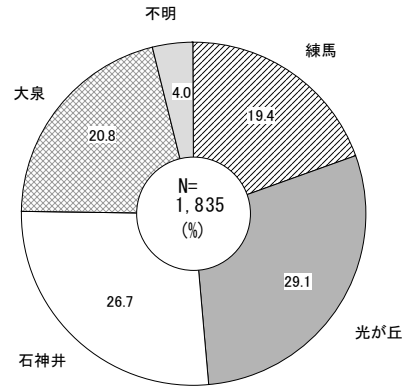
1,835件 有効回答率=61.2%

(5) 基本属性

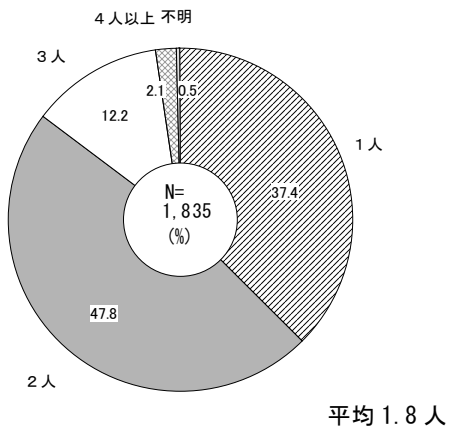
子どもの年齢



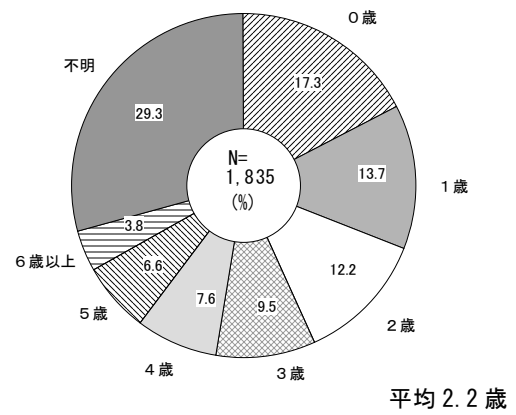
居住地区



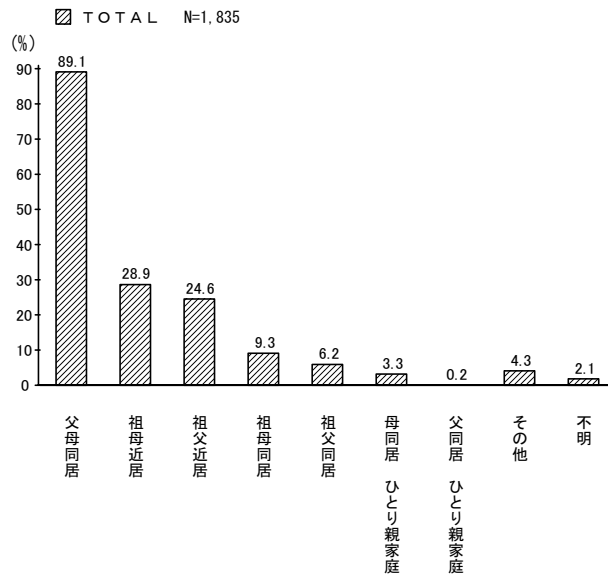
子どもの数



末子年齢



同居・近居状況



◆本報告書における調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びNで示している。
- 回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の間のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。
- 調査による標本誤差については、次の通りである。

■標本誤差の算出式

標本誤差の算出式は、次の通りである。

$F = k \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$	但し、F=誤差 N=母集団 P=回答の比率 n=標本数 k=信頼度を高める定数 ⇒信頼度95%の場合 k=1.96≒2 (一般的な世論調査)
--	--

回答の比率については、F(誤差)が最大となる50%(P=0.5)を最大誤差とし誤差を算出した。回答の比率が10~90%の各場合については、次のようになる。

■回答比率ごとの誤差

		回答比率P(%)				
		10%又は 90%前後	20%又は 80%前後	30%又は 70%前後	40%又は 60%前後	50%前後
標本数n	1,835	1.37	1.82	2.09	2.23	2.28
	1,500	1.52	2.03	2.32	2.48	2.53
	1,000	1.87	2.50	2.86	3.06	3.12
	500	2.67	3.56	4.07	4.35	4.44

- 調査結果の「居住地区」は総合福祉事務所管轄で区分している(他の調査も同様)。

地 区	町 名
練馬	旭丘、向山、小竹町、栄町、桜台、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村、中村北、中村南、貫井、練馬、羽沢
光が丘	旭町、春日町、北町、田柄、高松、土支田、錦、早宮、氷川台、光が丘、平和台
石神井	上石神井、上石神井南町、下石神井、石神井台、石神井町、関町北、関町東、関町南、高野台、立野町、富士見台、南田中、三原台、谷原
大泉	大泉学園町、大泉町、西大泉、西大泉町、東大泉、南大泉

2. 調査結果の概要

(1) 子どもと家族について

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(複数回答)

問4-1 [問4で1. 2を選択] 祖父母等に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

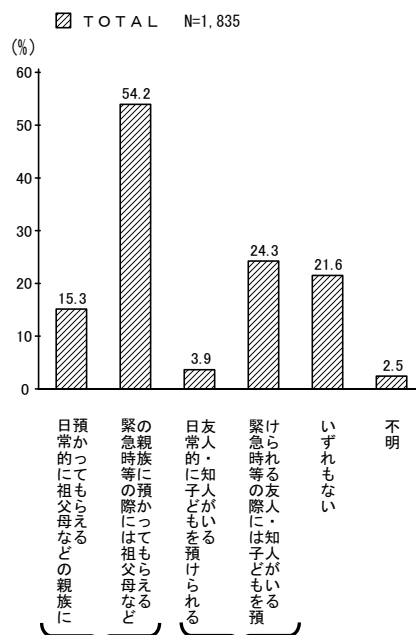
問4-2 [問4で3. 4を選択] 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

日ごろ子どもを預かってくれる人について聞いたところ、「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が54.2%で最も多く、続いて「緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる」が24.3%である。

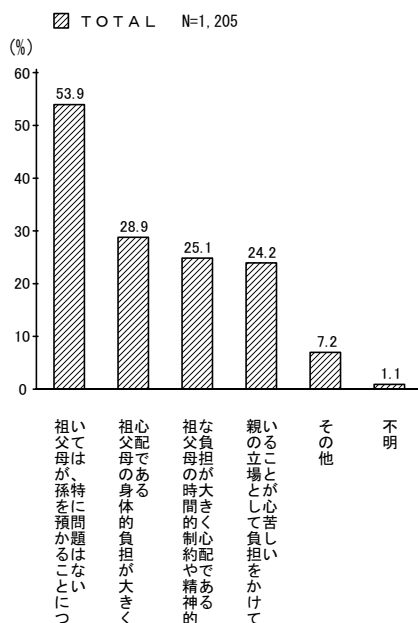
そこで、『緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる』などと回答した人に、その状況について聞いたところ、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」が53.9%で最も多くなっているが、「祖父母の身体的負担が大きく心配である」も28.9%の回答があった。

また、『緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる』などと回答した人に、その状況について聞いたところ、「友人等に預かってもらうことについては、特に問題はない」が42.8%で最も多くなっているが、「親の立場として負担をかけていることが心苦しい」も35.7%の回答があった。

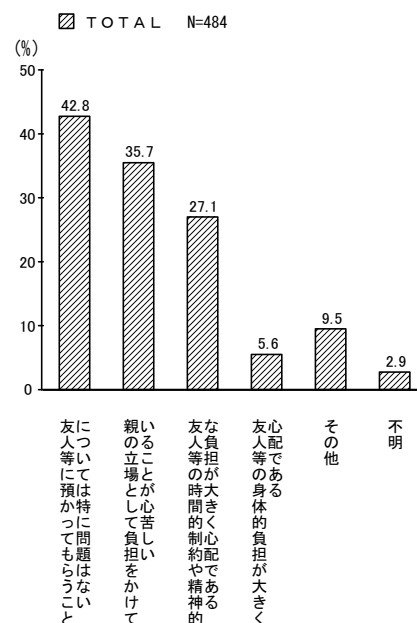
日ごろ子どもを預かってくれる人



親族に子どもを預かってくれる状況への認識



友人・知人に子どもを預かってくれる状況への認識



日ごろ子どもを預かってくれる人(子どもの年齢別)

日ごろ子どもを預かってくれる人について聞いたところ、子どもの年齢別に見ると、いずれの年齢でも「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多く、「4歳」「5歳」では「緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる」も多い。

	TOTAL	て母緊知も緊る親日るら日 も急急人急も急る族常的 ら急時人がを急急る親常的 えの時がを預急急るに預的 の等のいを預けいけ等預に預 の親のるの預けらるの預に預 族際の際にに預は友はは友は にににににににににににに 預ははははははははははは か祖祖祖祖祖祖祖祖祖祖 っ父父父父父父父父父父父	24.3	15.3	3.9	21.6	2.5
TOTAL	1835	54.2	24.3	15.3	3.9	21.6	2.5
0歳	494	52.2	14.8	15.0	1.8	29.1	2.4
1歳	296	59.5	17.9	13.9	4.7	19.3	2.4
2歳	257	53.7	23.3	14.4	3.9	20.6	1.6
3歳	255	56.5	29.4	16.1	3.5	15.3	2.0
4歳	267	53.9	35.6	13.1	3.0	20.2	4.1
5歳	258	51.9	34.5	19.8	8.1	17.8	2.3

(注) 網掛けは 30%以上。また表側の「不明」は除く。

子どもの数別に見ると、いずれの場合でも「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多く、「3人」「4人以上」では「緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる」も多い。

日ごろ子どもを預かってくれる人(子どもの数別)

	TOTAL	て母緊知も緊る親日るら日 も急急人急も急る族常的 ら急時人がを急急るに預的 えの時がを預けいけ等預に預 の親のるの預けらるの預に預 族際の際にに預は友はは友は にににににににににににに 預ははははははははははは か祖祖祖祖祖祖祖祖祖祖 っ父父父父父父父父父父父	24.3	15.3	3.9	21.6	2.5
TOTAL	1835	54.2	24.3	15.3	3.9	21.6	2.5
1人	687	54.0	16.2	15.3	2.9	26.2	2.3
2人	877	54.5	28.7	14.6	4.2	18.8	2.7
3人	223	55.6	30.0	18.8	6.3	17.5	2.2
4人以上	38	47.4	36.8	13.2	0.0	26.3	0.0

(注) 網掛けは 30%以上。また表側の「不明」は除く。

同居・近居状況別に見ると、いずれの場合でも「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多く、祖父母が同居している場合は「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」が多い。

日ごろ子どもを預かってくれる人(同居・近居状況別)

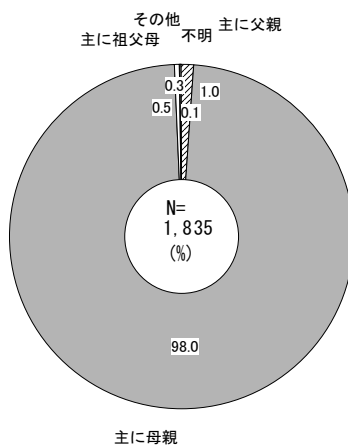
	TOTAL	て母緊知も緊る親日るら日 も急急人急も急る族常的 ら急時人がを急急るに預的 えの時がを預けいけ等預に預 の親のるの預けらるの預に預 族際の際にに預は友はは友は にににににににににににに 預ははははははははははは か祖祖祖祖祖祖祖祖祖祖 っ父父父父父父父父父父父	24.3	15.3	3.9	21.6	2.5
TOTAL	1835	54.2	24.3	15.3	3.9	21.6	2.5
父母同居	1635	54.1	25.1	14.7	3.6	21.7	2.4
父同居(ひとり親家庭)	3	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
母同居(ひとり親家庭)	61	54.1	14.8	21.3	1.6	14.8	4.9
祖父同居	114	57.9	16.7	43.9	2.6	3.5	0.9
祖母同居	170	56.5	14.7	47.6	1.8	1.8	3.5
祖父近居	452	73.7	22.8	28.1	4.9	2.9	2.9
祖母近居	531	73.3	22.4	26.7	4.7	3.2	3.0
その他	78	50.0	20.5	19.2	6.4	25.6	1.3

(注) 網掛けは 30%以上。「父同居(ひとり親家庭)」は参考値とする。また表側の「不明」は除く。

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの身の回りの世話などを主にしている人について聞いたところ、「主に母親」が98.0%で圧倒的に多くなっている。

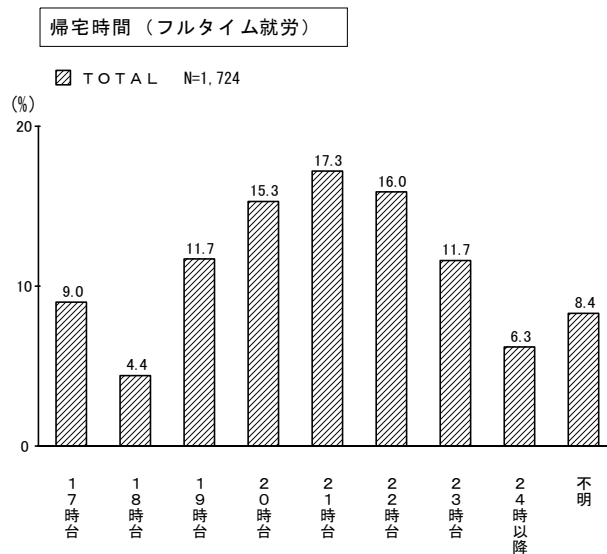
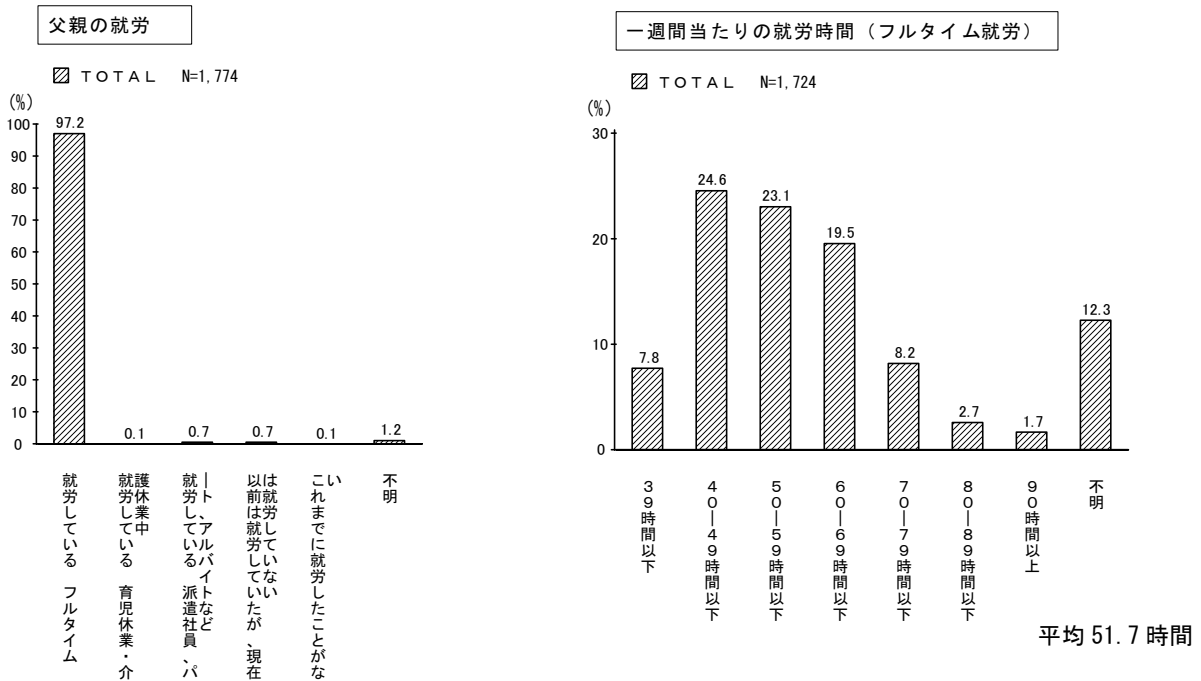
主に身の回りの世話をしている人



(2) 就労状況について

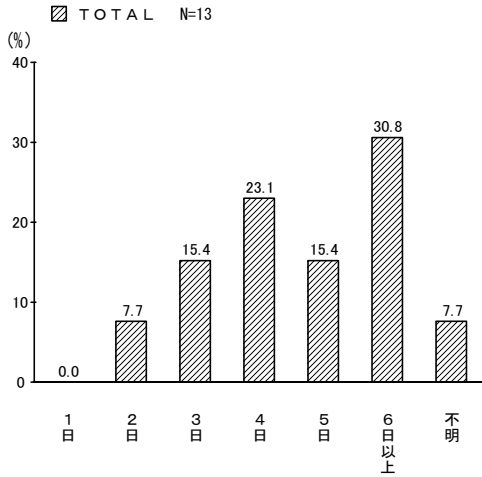
問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。＜父親＞

はじめに父親の就労状況について聞いたところ、主に「就労している フルタイム」が 97.2%で圧倒的に多く、週平均 51.7 時間、20 時台から 22 時台に帰宅している。



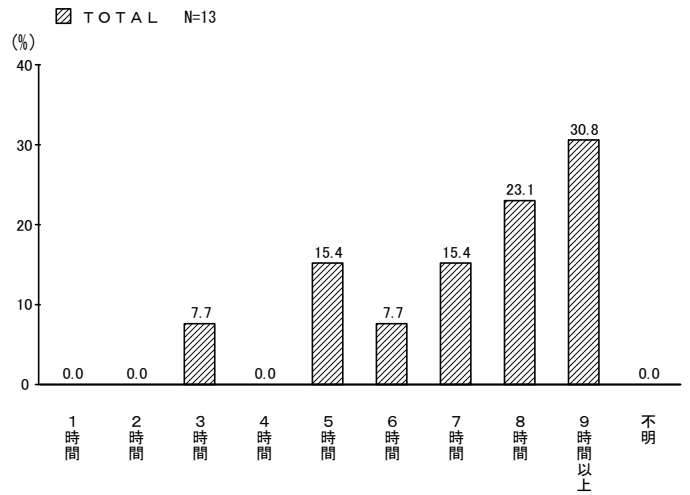
派遣・パート・アルバイト等就労の人については、週平均 4.5 日、7.8 時間勤務となっている。
 そこで、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、「希望はない」が多くなっているが、母数自体が少なくなっている。

一週間当たりの就労日（派遣・パート・アルバイト等就労）



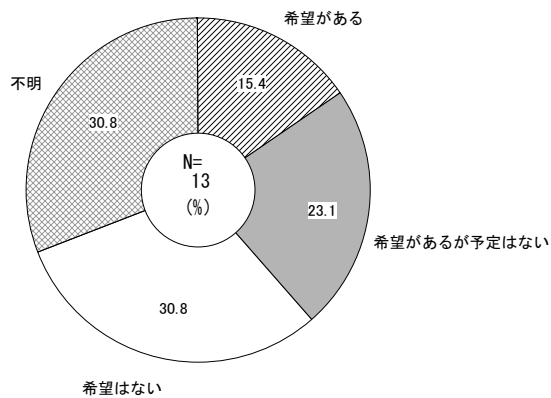
平均 4.5 日

一日当たりの就労時間（派遣・パート・アルバイト等就労）



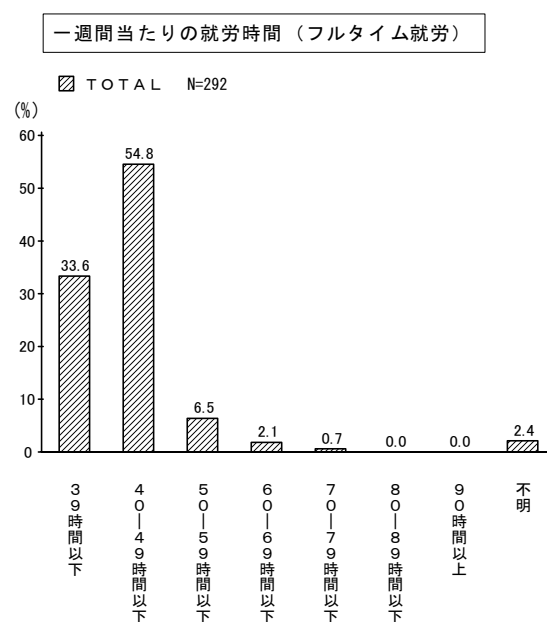
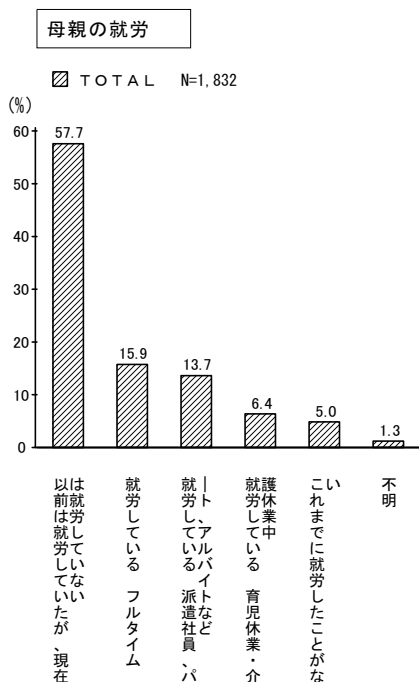
平均 7.8 時間

フルタイムへの転換希望

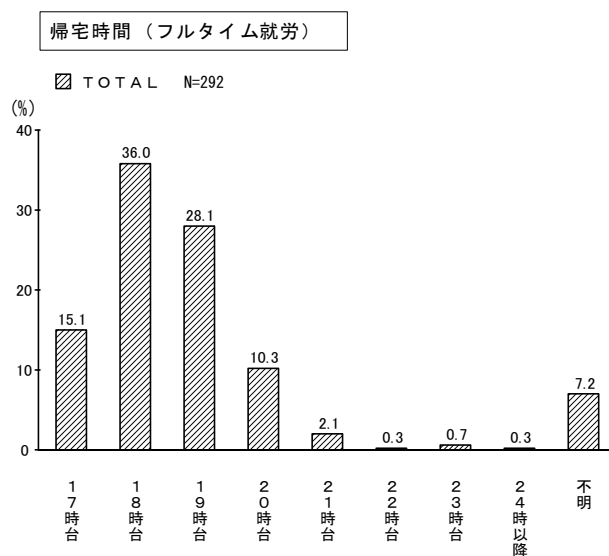


問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。＜母親＞

母親の就労状況については、主に「以前は就労していたが、現在は就労していない」が57.7%で圧倒的に多い。「就労している フルタイム」の人に一週間当たりの就労時間について聞いたところ、週平均38.4時間、18時台から19時台に帰宅している。



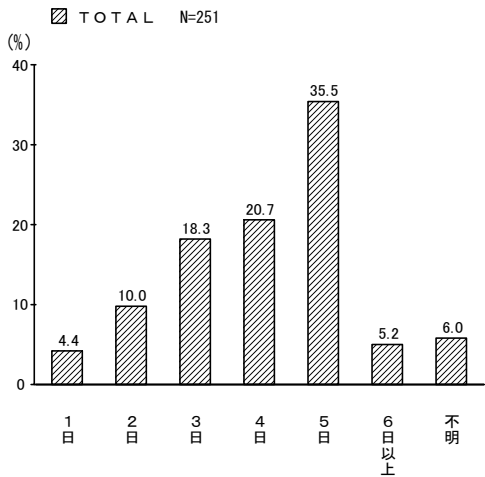
平均 38.4 時間



派遣・パート・アルバイト等就労の人については、週平均 3.9 日、5.7 時間勤務となっている。

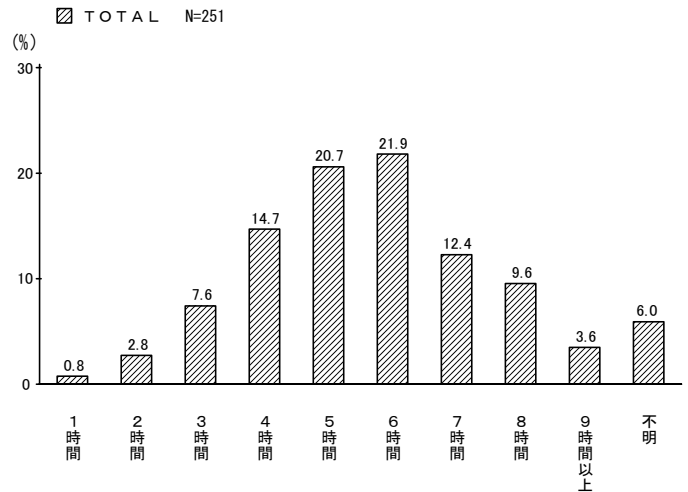
そこで、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、「希望があるが予定はない」が最も多くなっているが、「希望はない」も次に多くなっている。

一週間当たりの就労日（派遣・パート・アルバイト等就労）



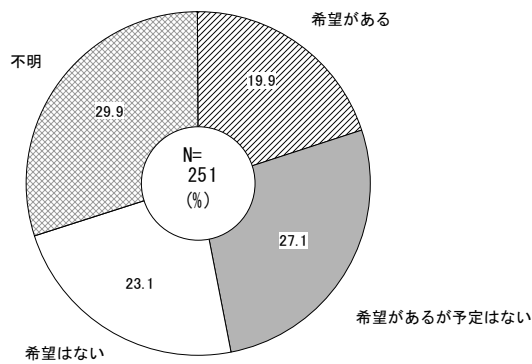
平均 3.9 日

一日当たりの就労時間（派遣・パート・アルバイト等就労）



平均 5.7 時間

フルタイムへの転換希望

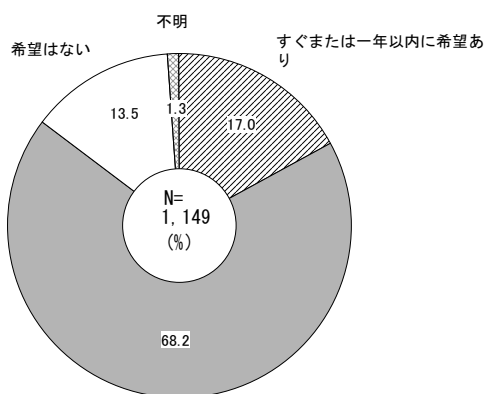


問8 [問7の「(2) 母親」で4または5を選択] 母親の就労希望はありますか。
問8-1 [問8で1. 2を選択] 就労希望の形態はどのようなものですか。

母親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」か「これまでに就労したことがない」と回答した人に、就労希望を聞いたところ、「子どもがある程度大きくなったら」が68.2%で最も多くなっている。

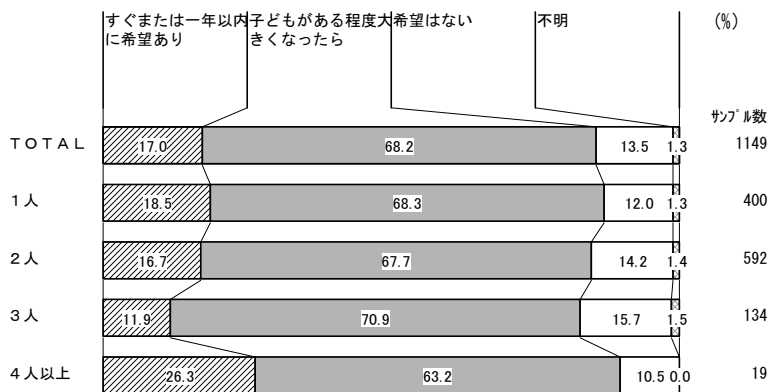
子どもの数別に見てみると、全体的には「子どもがある程度大きくなったら」が多くなっているが、4人以上では「すぐにまたは一年以内に希望あり」も他の「子ども数」と比べると、やや多くなっている。

母親の就労希望



子どもがある程度大きくな
たら

母親の就労希望 (子どもの数別)

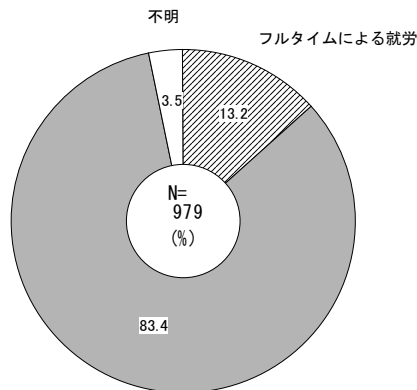


(注) 表側の「不明」は除く。

そこで、就労希望のある母親に対して希望形態について聞いたところ、「派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労」が83.4%で圧倒的に多くなっている。

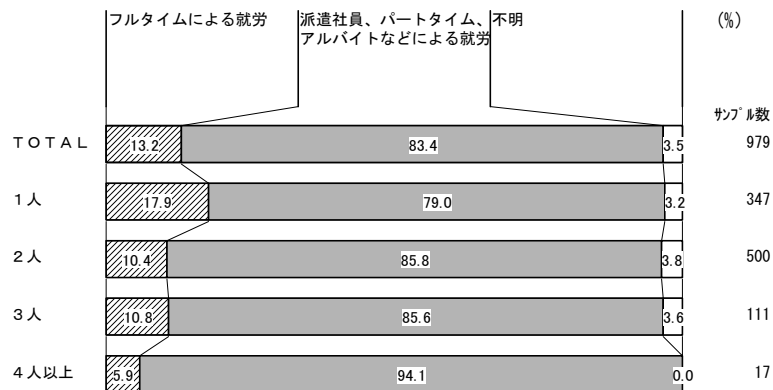
子どもの数別に見てみると、全体的に「派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労」は多くなっているが、子どもの数に反比例する形で「フルタイムによる就労」が少なくなっている。

希望する就労形態



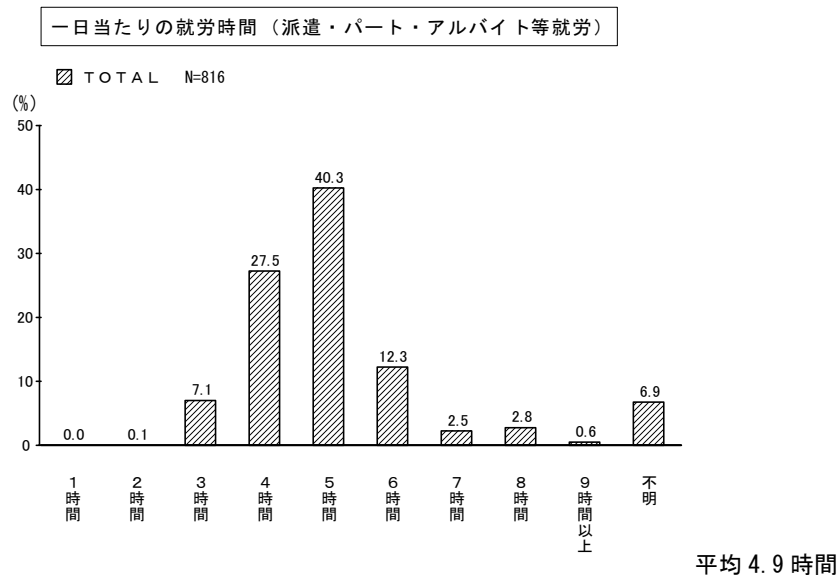
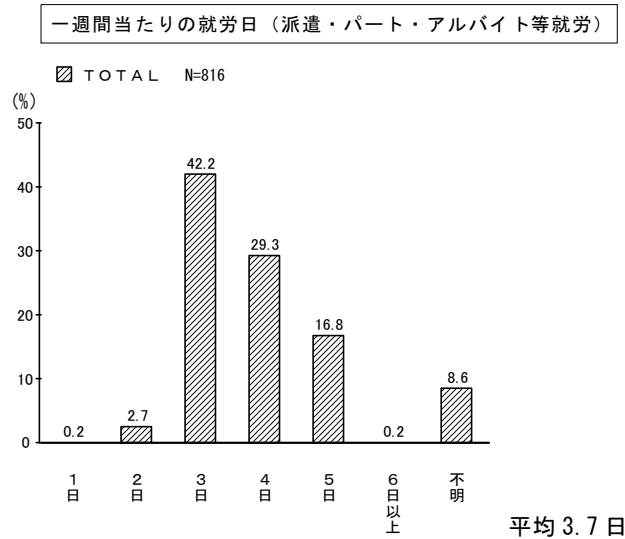
派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労

希望する就労形態（子どもの数別）



(注) 表側の「不明」は除く。

『派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労』を希望している母親に、一週間当たりの就労希望日数を聞いたところ、平均 3.7 日で、また一日当たりの就労希望時間については、平均 4.9 時間となっている。

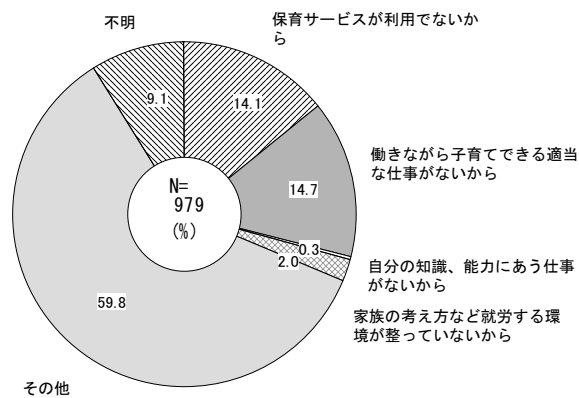


問8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

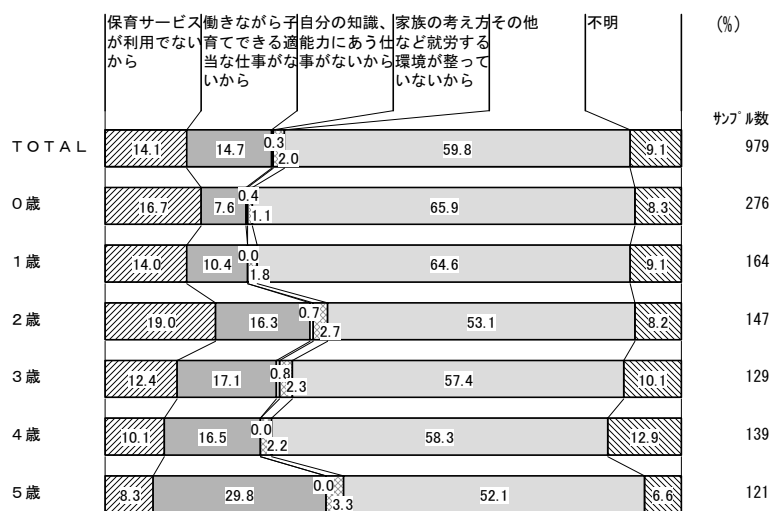
母親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」か「これまでに就労したことがない」と回答した人に、就労希望がありながら働いていない理由を聞いたところ、「その他」が59.8%で最も多くなっており、続いて「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が14.7%などとなっている。

子どもの年齢別に見てみると、全体的に「その他」が多くなっているが、5歳児では「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が他の年齢の子どもと比べると、やや多くなっている。

就職希望がありながら働いていない理由



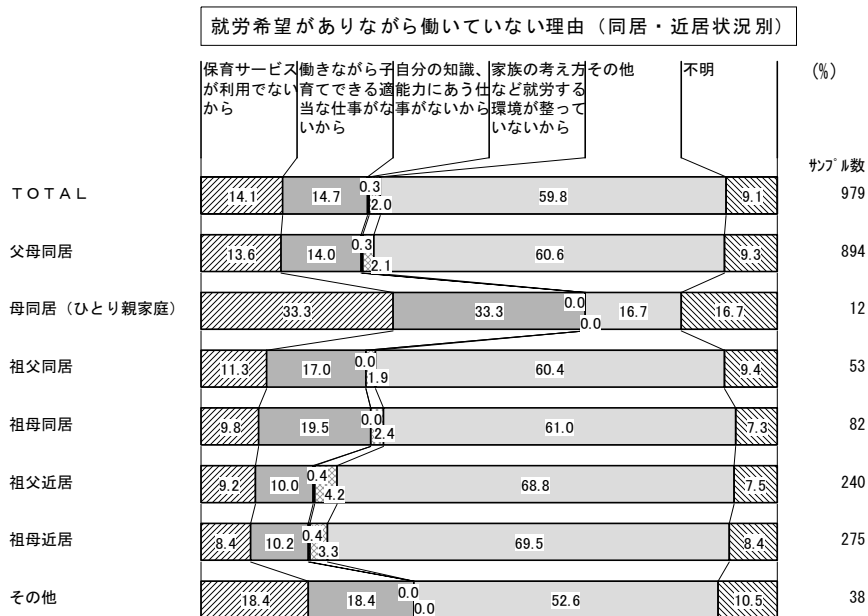
就職希望がありながら働いていない理由（子どもの年齢別）



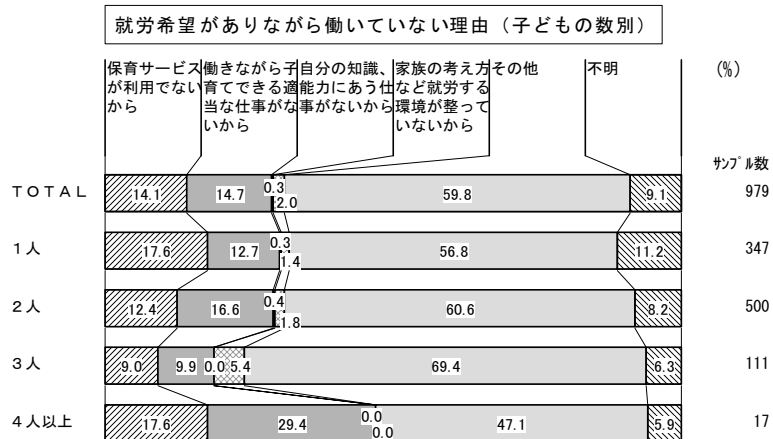
(注) 表側の「不明」は除く。

同居・近居状況別に見ると、いずれの場合も「その他」が多くなっているが、母同居（ひとり親家庭）では、「保育サービスが利用できないから」や「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が多くなっている（注：「母同居（ひとり親家庭）」のサンプル自体が少ないことを留意）。

子どもの数別に見ると、いずれの場合も「その他」が多くなっているが、子どもが4人以上では「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」がやや多くなっている。



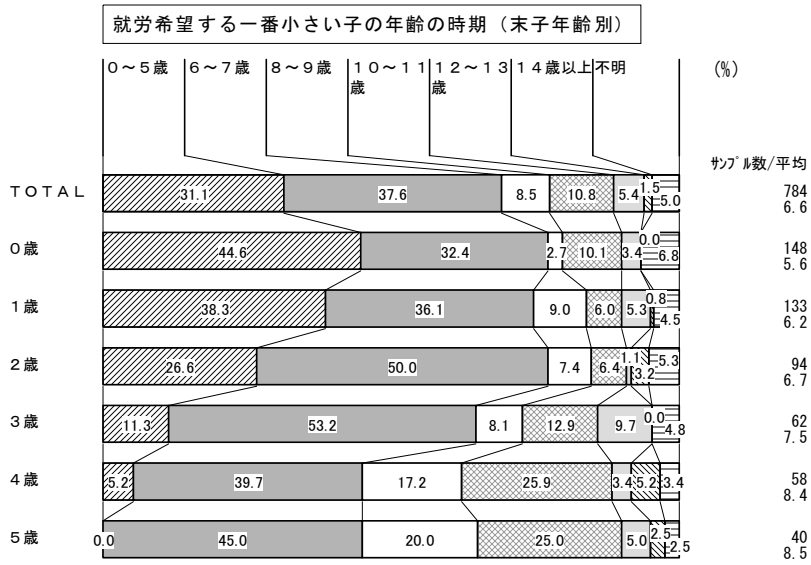
（注）表側の「不明」は除く。



（注）表側の「不明」は除く。

問 8-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

『1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい』と回答した人に、一番小さな子どもが何歳になったときに就労を希望するのかについて聞いたところ、6～7歳が多く、平均6.6歳となっている。

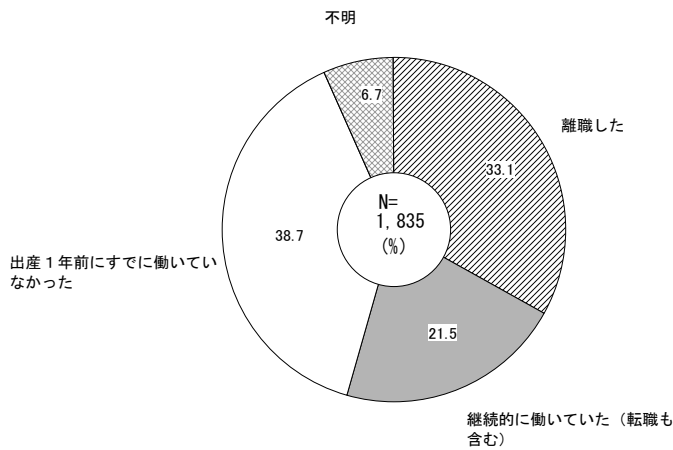


問9 封筒の宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。

子どもに出産前後に、母親の離職の有無を聞いたところ、「出産一年前にすでに働いていなかった」が38.7%で最も多くなっているが、「離職した」も33.1%で3割を占めている。

子どもの年齢別に見ると、いずれの場合も「出産一年前にすでに働いていなかった」が最も多くなっており、特に4歳児で多くなっている。

出産前後の離職の有無(母親)



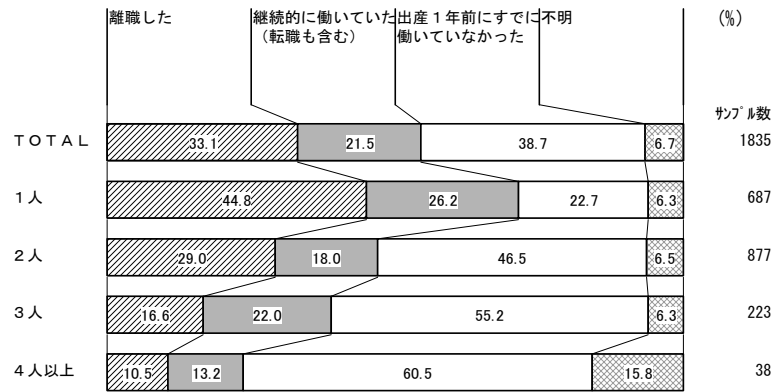
出産前後の離職の有無(母親) (子どもの年齢別)

子どもの年齢	離職した (%)	継続的に働いていた(転職も含む) (%)	出産1年前にすでに働いていなかった (%)	不明 (%)	サンプル数
TOTAL	33.1	21.5	38.7	6.7	1835
0歳	32.0	27.1	36.2	4.7	494
1歳	37.2	20.6	34.5	7.8	296
2歳	33.9	20.6	37.4	8.2	257
3歳	34.9	16.5	42.4	6.3	255
4歳	31.8	16.1	44.9	7.1	267
5歳	30.2	22.1	39.5	8.1	258

(注) 表側の「不明」は除く。

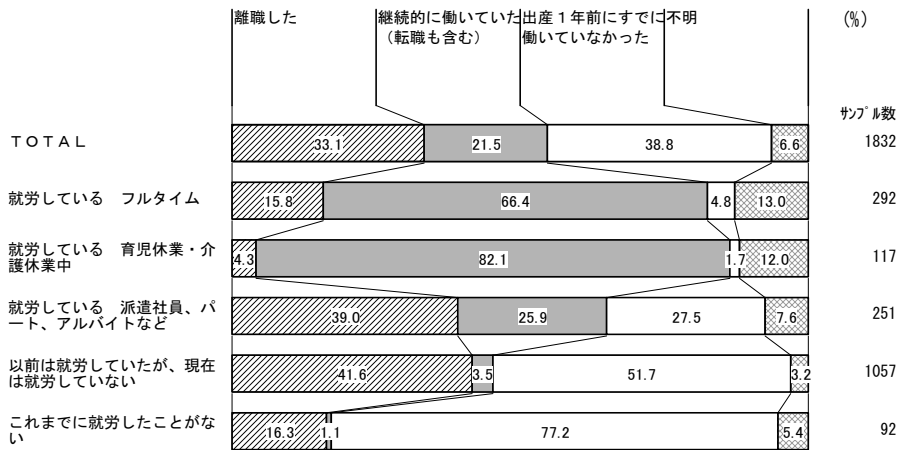
子どもの数別に見ると、子どもの人数に比例して「出産一年前にすでに働いていなかった」が多くなっており、一方、子どもの数に反比例して「離職した」が多くなっている。

出産前後の離職の有無(母親) (子どもの数別)



(注) 表側の「不明」は除く。

出産前後の離職の有無(母親) (母親の就労別)



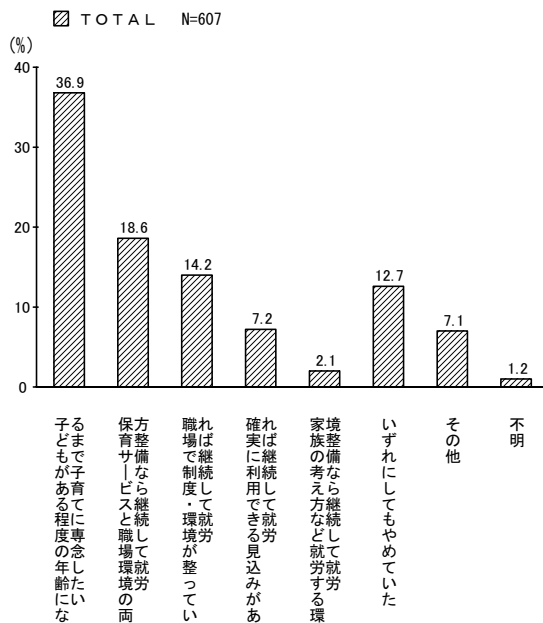
(注) 表側の「不明」は除く。

問9-1 [問9で1を選択] 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。

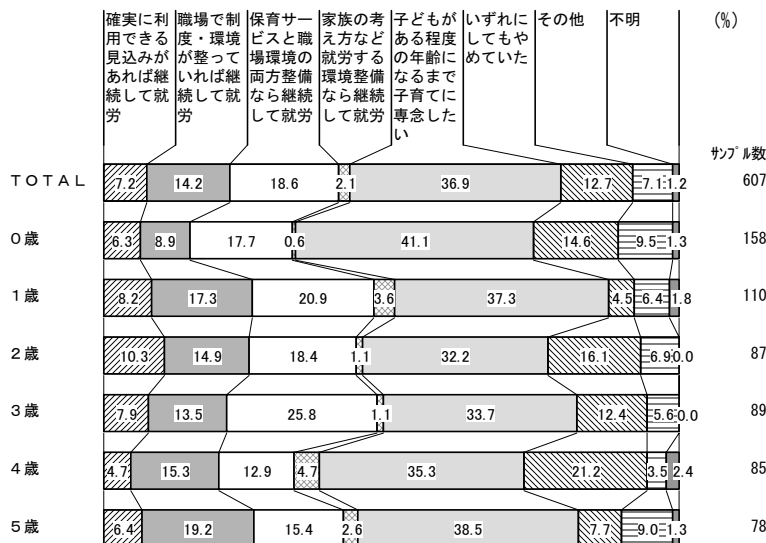
出産に伴い「離職した」と回答した人に、仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていた場合の就労継続の可能性について聞いたところ、「子どもがある程度の年齢になるまで子育てに専念したい」が36.9%で最も多くなっているが、「保育サービスと職場環境の両方整備なら継続して就労」も18.6%で2番目に多くなっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれも「子どもがある程度の年齢になるまで子育てに専念したい」が最も多くなっているが、3歳児では「保育サービスと職場環境の両方整備なら継続して就労」、4歳児では「いずれにしてもやめていた」もやや多くなっている。

仕事と家庭の両立支援環境があった場合の就労継続可能性



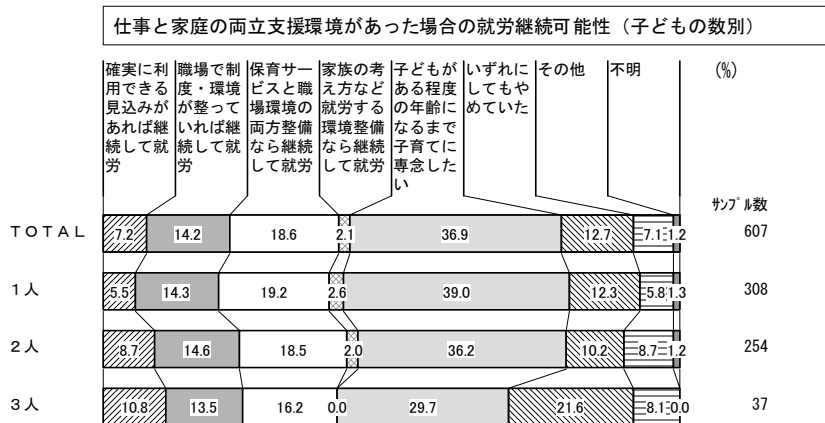
仕事と家庭の両立支援環境があった場合の就労継続可能性（子どもの年齢別）



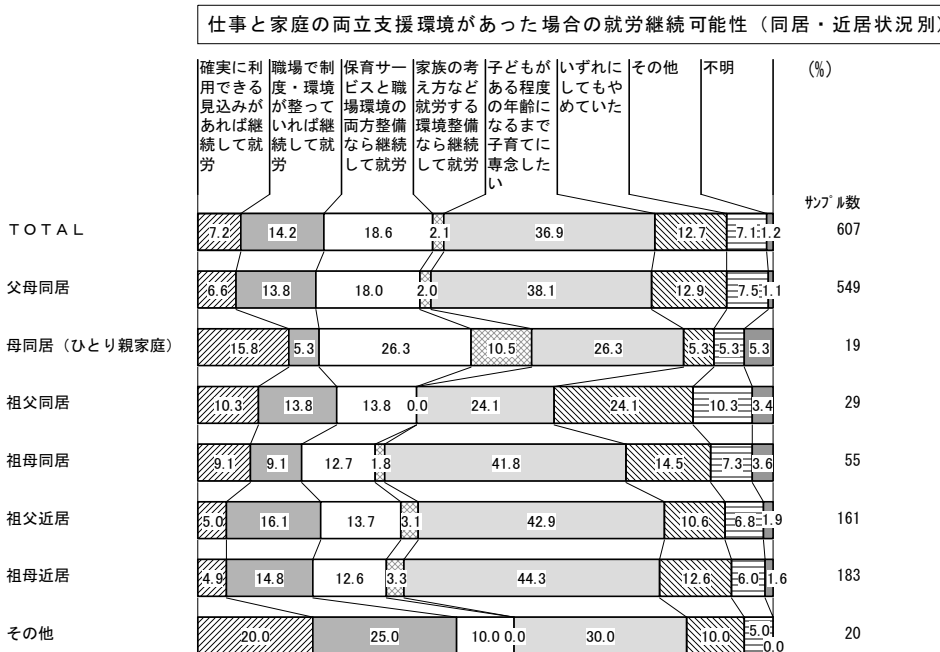
(注) 表側の「不明」は除く。

子どもの数別に見ると、いずれも「子どもがある程度の年齢になるまで子育てに専念したい」が最も多くなっているが、子どもが3人では「いずれにしてもやめていた」もやや多くなっている。

同居・近居状況別に見ると、いずれの場合もおよそ「子どもがある程度の年齢になるまで子育てに専念したい」が最も多くなっているが、母同居（ひとり親家庭）では「保育サービスと職場環境の両方整備なら継続して就労」、祖父同居では「いずれにしてもやめていた」もやや多くなっている。



(注) 表側の「4人」はサンプル数が少ないため除く。表側の「不明」も除く。



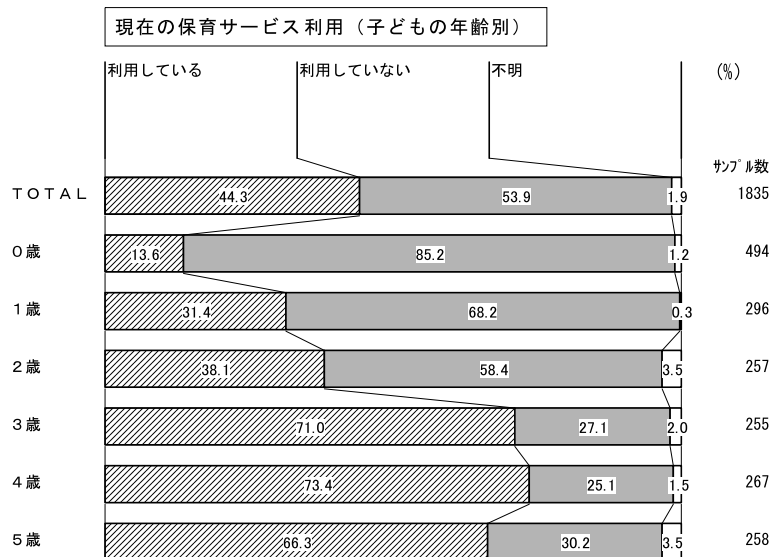
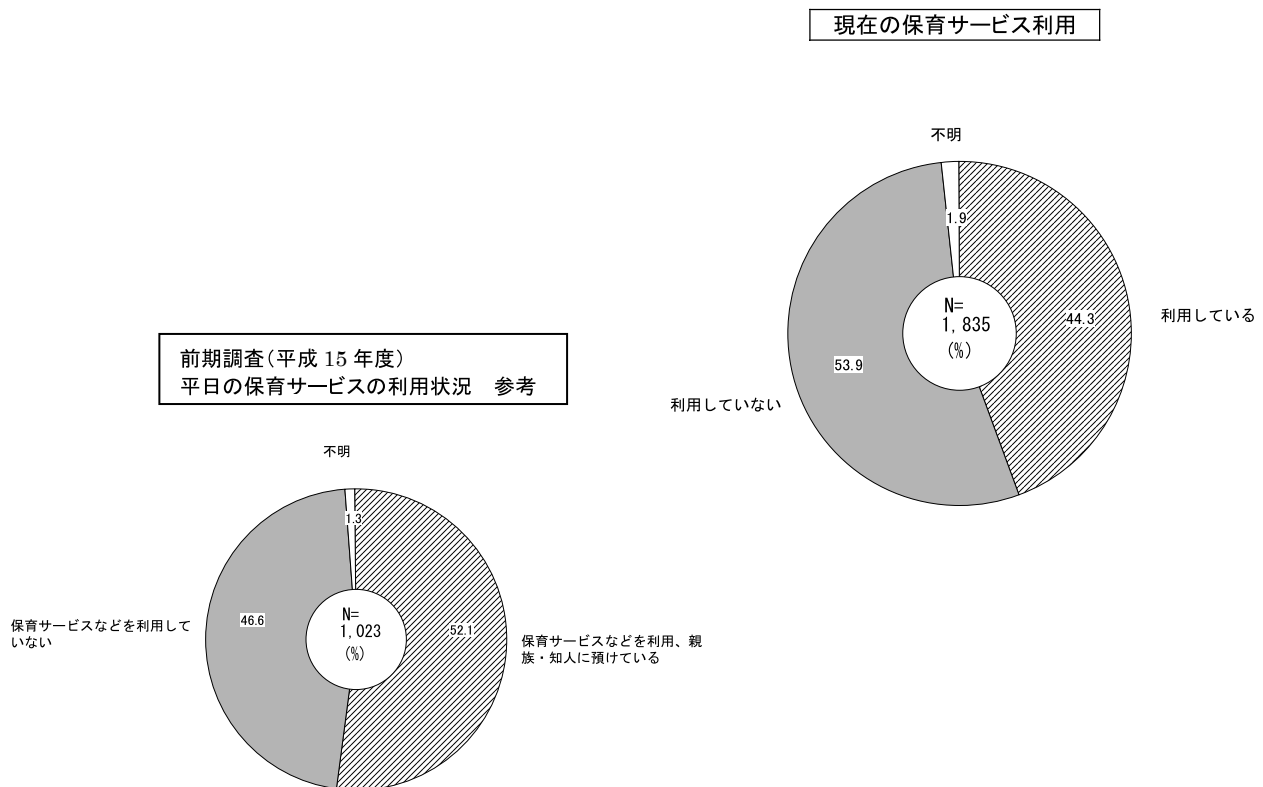
(注) 表側の「不明」は除く。

(3) 保育サービスの利用について

問10 封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービスの利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していらっしゃいますか。

現在の保育サービスの利用の有無について聞いたところ、「利用している」が44.3%、「利用していない」が53.9%となっている。なお、前期調査（平成15年度）では、「保育サービスなどを利用、親族・知人に預けている」は52.1%だった。

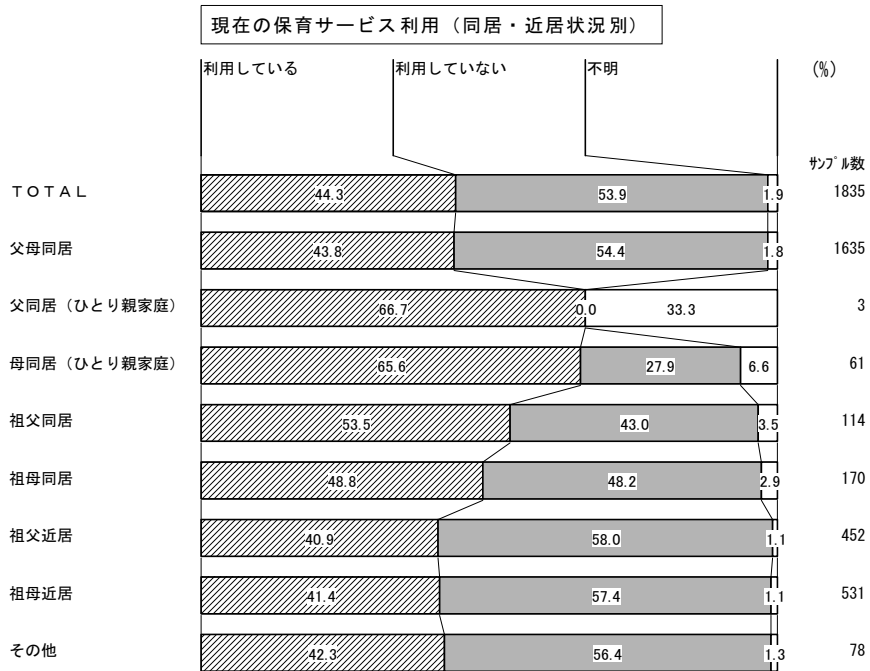
子どもの年齢別に見ると、およそ年齢が高くなるに従って「利用している」の割合が大きくなっている。



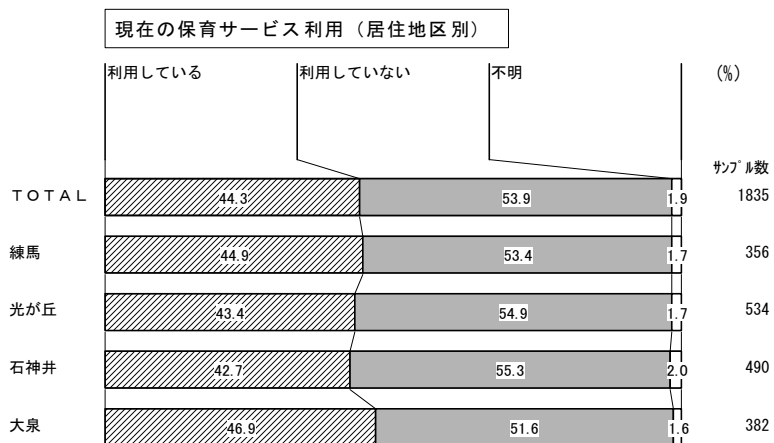
(注) 表側の「不明」は除く。

同居・近居状況別に見ると、「利用していない」がやや多い程度で、「利用している」「利用していない」がおおよそ拮抗しているが、ひとり親家庭などでは「利用している」が多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「利用していない」がやや多い程度で、「利用している」「利用していない」がおおよそ拮抗している。



（注）表側の「父同居」はサンプル数が少ないため参考値とする。
表側の「不明」は除く。

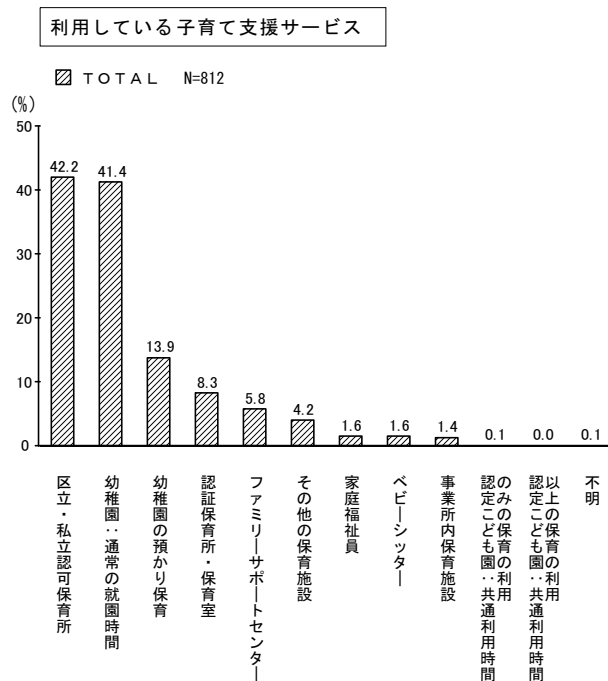


（注）表側の「不明」は除く。

問10-1 [問10で1を選択] 封筒の宛名のおさんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。(複数回答)

現在の保育サービスを利用していると回答した人に、どのようなサービスを利用しているのかについて聞いたところ、「区立・私立認可保育所」が42.2%で最も多く、続いて「幼稚園：通常の就園時間」が41.4%となっている。

子どもの年齢別に見ると、0歳では「区立・私立認可保育所」と「認証保育所・保育室」、1、2歳では「区立・私立認可保育所」、3～5歳では「幼稚園：通常の就園時間」が多くなっている。



利用している子育て支援サービス(子どもの年齢別)

	TOTAL	区立・私立認可保育所	幼稚園：通常の就園時間	幼稚園の預かり保育	認証保育所・保育室	ファミリーサポートセンター	その他の保育施設	家庭福祉員	ベビーシッター	事業所内保育施設	認定こども園：共通利用時間	認定こども園：共通利用時間	不明
TOTAL	812	42.2	41.4	13.9	8.3	5.8	4.2	1.6	1.6	1.4	0.1	0.0	0.1
0歳	67	38.8	1.5	0.0	32.8	19.4	7.5	6.0	1.5	6.0	0.0	0.0	0.0
1歳	93	63.4	4.3	2.2	14.0	10.8	7.5	4.3	1.1	3.2	0.0	0.0	0.0
2歳	98	63.3	8.2	3.1	16.3	7.1	11.2	3.1	2.0	3.1	0.0	0.0	0.0
3歳	181	32.0	60.2	22.1	2.8	2.2	1.7	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.6
4歳	196	31.1	63.3	18.4	3.1	1.5	2.6	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0
5歳	171	42.7	52.6	18.7	2.3	5.8	1.2	0.0	1.8	0.0	0.6	0.0	0.0

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「区立・私立認可保育所」および「幼稚園：通常の就園時間」が多くなっている。

子どもの数別に見ると、いずれの場合も「区立・私立認可保育所」および「幼稚園：通常の就園時間」が多くなっている。

利用している子育て支援サービス(居住地区別)

	TOTAL	区立・私立認可保育所	幼稚園：通常の就園時間	幼稚園の預かり保育	認証保育所・保育室	ファミリーサポートセンター	その他の保育施設	家庭福祉員	ベビーシッター	事業所内保育施設	時間のみの保育の活用	認定こども園：共通利用	時間以上の保育の活用	認定こども園：共通利用	不明
TOTAL	812	42.2	41.4	13.9	8.3	5.8	4.2	1.6	1.6	1.4	0.1	0.0	0.0	0.1	
練馬	160	41.3	40.0	18.8	10.6	8.8	3.1	2.5	2.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	
光が丘	232	50.0	33.2	10.8	5.2	5.6	4.3	0.4	0.4	1.7	0.0	0.0	0.0	0.4	
石神井	209	35.9	45.9	13.9	9.6	5.7	4.8	1.9	2.4	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
大泉	179	40.2	49.2	13.4	7.3	3.9	2.8	2.2	1.1	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注)網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

利用している子育て支援サービス(子どもの数別)

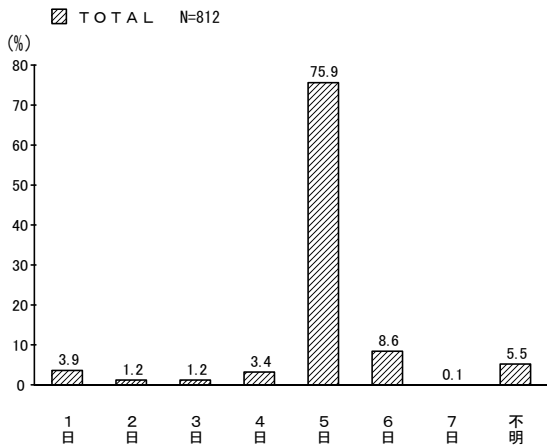
	TOTAL	区立・私立認可保育所	幼稚園：通常の就園時間	幼稚園の預かり保育	認証保育所・保育室	ファミリーサポートセンター	その他の保育施設	家庭福祉員	ベビーシッター	事業所内保育施設	時間のみの保育の活用	認定こども園：共通利用	時間以上の保育の活用	認定こども園：共通利用	不明
TOTAL	812	42.2	41.4	13.9	8.3	5.8	4.2	1.6	1.6	1.4	0.1	0.0	0.0	0.1	
1人	262	46.2	26.0	12.2	14.5	8.4	8.0	2.7	2.3	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
2人	417	37.2	51.1	15.1	5.8	4.6	2.9	0.7	0.7	1.4	0.2	0.0	0.0	0.2	
3人	106	49.1	42.5	13.2	3.8	5.7	0.9	2.8	2.8	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
4人以上	20	55.0	40.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

(注)網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

問10-2 [問10-1で1~9を選択] 現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用していますか。枠内に具体的な数字でお答えください。

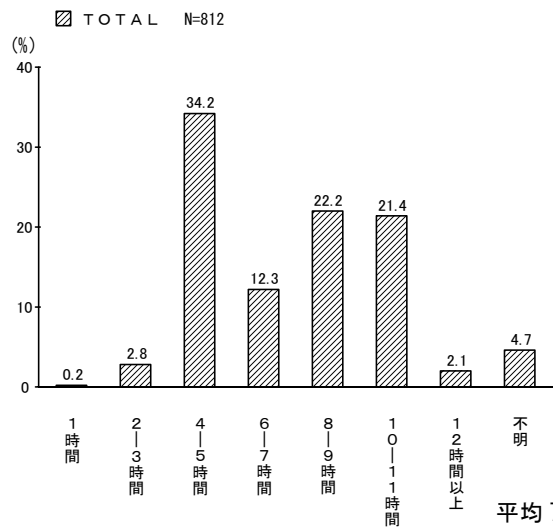
現在の保育サービスの利用状況について聞いたところ、一週間当たり平均 4.8 日、一日当たり 7.3 時間で、午前の9時頃から、午後の2時または5～6時頃までのサービスを利用している。

現在の保育サービス利用（一週間当たり）



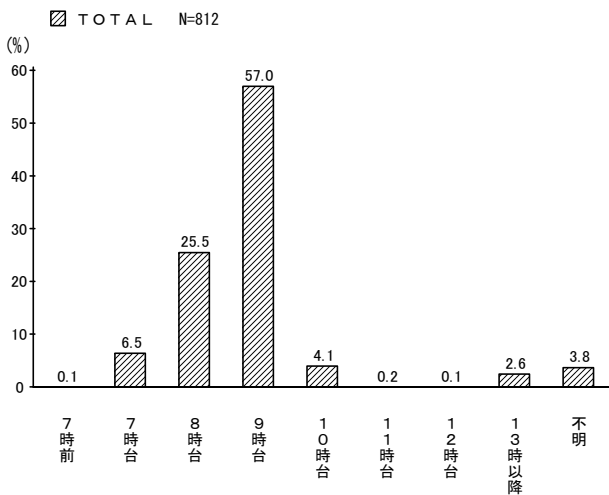
平均 4.8 日

現在の保育サービス利用（一日当たり）

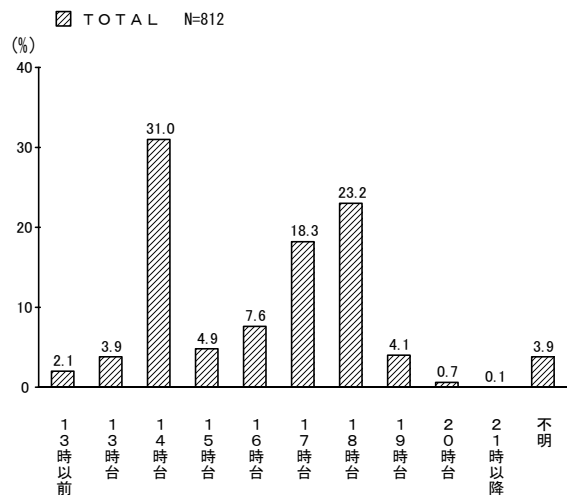


平均 7.3 時間

現在の保育サービス利用（一日当たり開始時間）



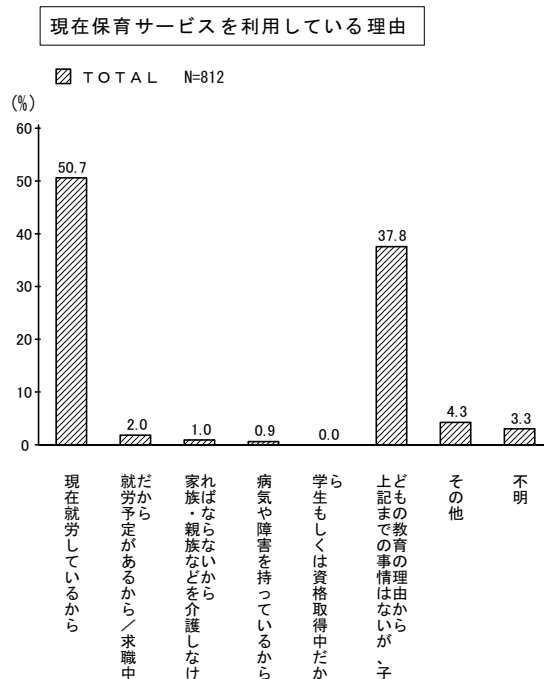
現在の保育サービス利用（一日当たり終了時間）



問10-3 [問10-1で1~9を選択] (現在) 利用されている理由についてお伺いします。

現在保育サービスを利用している理由について聞いたところ、「現在就労しているから」が50.7%で最も多く、続いて「上記までの事情はないが、子どもの教育の理由から」が37.8%などとなっている。

子どもの年齢別に見ると、いずれも「現在就労しているから」が多くなっているが、3歳～5歳では「上記までの事情はないが、子どもの教育の理由から」が最も多くなっている。



現在保育サービスを利用している理由(子どもの年齢別)

	TOTAL	現在就労しているから	就労予定があるから／求職中だから	家族・親族などを介護しなければならぬから	病気や障害を持っているから	学生もしくは資格取得中だから	上記までの事情はないが、子どもの教育の理由から	その他	不明
TOTAL	812	50.7	2.0	1.0	0.9	0.0	37.8	4.3	3.3
0歳	67	77.6	4.5	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0	11.9
1歳	93	84.9	2.2	0.0	0.0	0.0	5.4	3.2	4.3
2歳	98	71.4	0.0	1.0	3.1	0.0	13.3	7.1	4.1
3歳	181	38.1	0.6	0.6	0.0	0.0	54.7	4.4	1.7
4歳	196	30.6	4.6	1.5	0.5	0.0	55.1	4.6	3.1
5歳	171	45.0	0.6	0.6	1.2	0.0	46.8	4.7	1.2

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

母親の就労別に見ると、就労している場合は「現在就労しているから」が多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまでに就労したことがない」の場合は「上記までの事情はないが、子どもの教育の理由から」が多くなっている。

利用している子育て支援サービス(母親の就労別)		(%)								
	TOTAL	現在就労しているから	中だから	就労予定があるから／求職	家族・親族などを介護しないから	病気や障害を持っているから	学生もしくは資格取得中だから	上記までの教育事情はないが、	その他	不明
TOTAL	810	50.6	2.0	1.0	0.9	0.0	37.9	4.3	3.3	
就労している フルタイム	264	95.1	0.4	0.0	0.0	0.0	1.9	0.4	2.3	
就労している 育児休業・介護休業中	29	55.2	17.2	3.4	0.0	0.0	13.8	6.9	3.4	
就労している 派遣社員、パート、アルバイトなど	180	77.8	0.6	0.0	0.6	0.0	16.1	2.8	2.2	
以前は就労していたが、現在は就労していない	297	0.7	3.0	1.7	2.0	0.0	80.5	8.1	4.0	
これまでに就労したことがない	30	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	76.7	3.3	13.3	

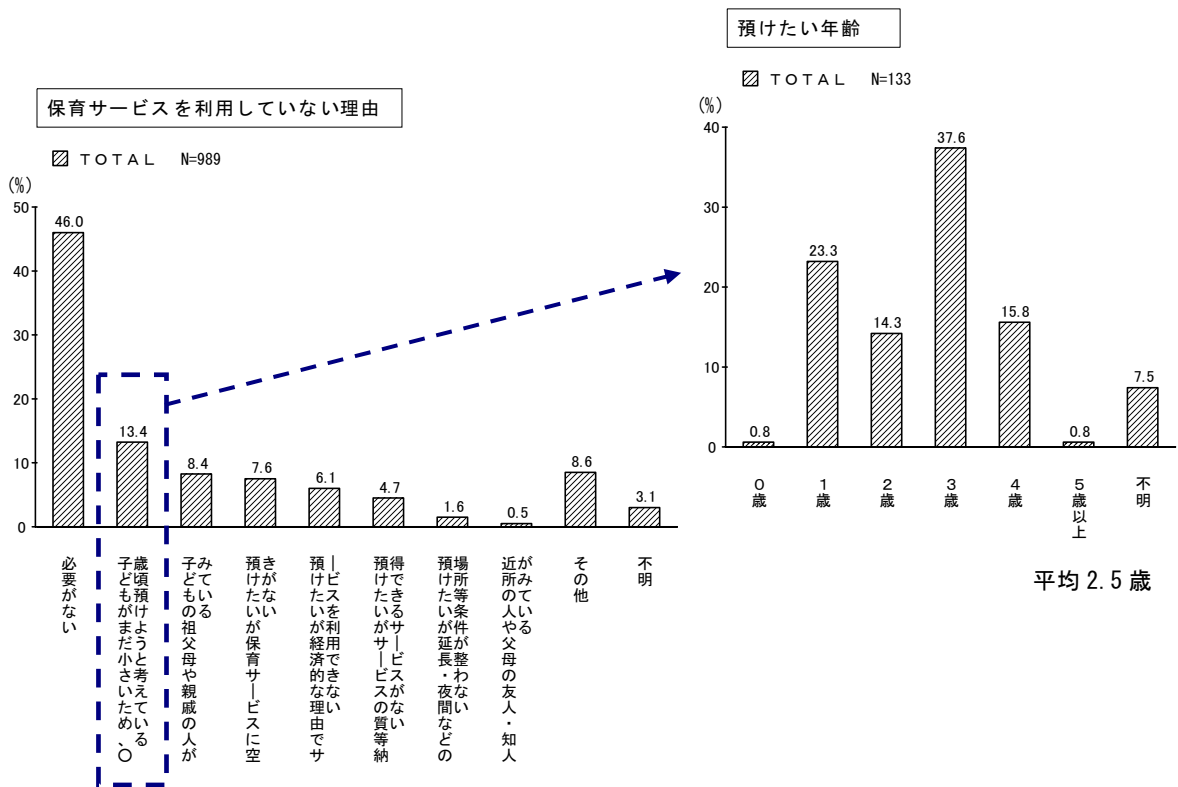
(注) 網掛けは 30%以上。また表側の「不明」は除く。

問10-4 [問10で2を選択] 保育サービスを利用していない理由は何ですか。

現在保育サービスを利用していない人に、その理由を聞いたところ、「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が46.0%で最も多く、続いて「子どもがまだ小さいため、()歳頃預けようと考えている」が13.4%などとなっている。

そこで、『子どもがまだ小さいため、()歳頃預けようと考えている』と回答した人に、預けたい年齢について聞いたところ、「3歳」が37.6%で最も多く、平均は2.5歳であった。

現在保育サービスを利用していない理由について、同居・近居状況別を聞いたところ、いずれの場合もおよそ「(子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 必要がない」が多くなっている。



保育サービスを利用していない理由(同居・近居状況別)

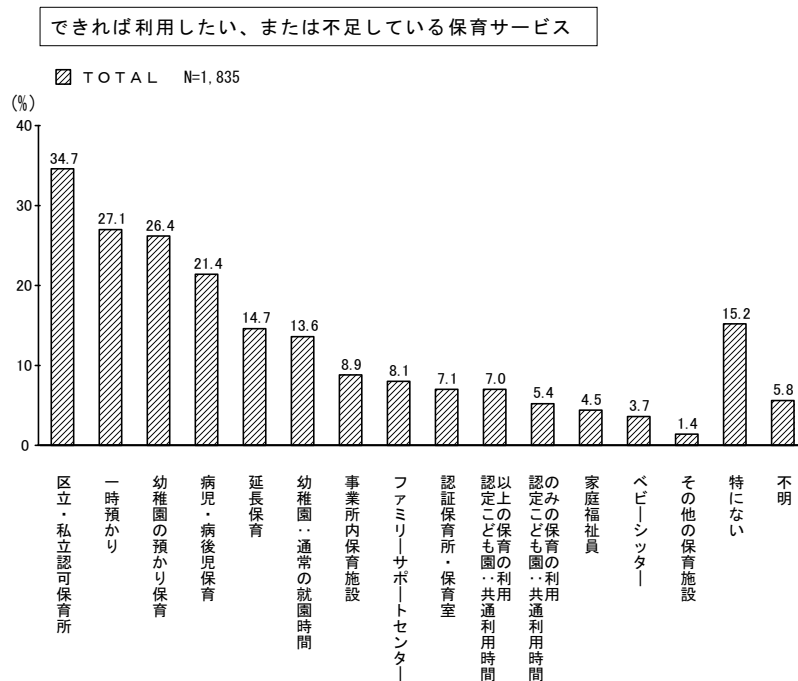
	TOTAL	必要がない	子どもがまだ小さいため、○歳頃預けようと考えている	子どもの祖父母や親戚の人がみている	預けたいが保育サービスに空きがない	サービスを利用できない理由で預けたいがサービスの質等納得できない	場所等条件が延長・夜間などの預けたいがサービスがない	近所の人や父母の友人・知人がみている	その他	不明	
TOTAL	989	46.0	13.4	8.4	7.6	6.1	4.7	1.6	0.5	8.6	3.1
父母同居	890	47.8	13.7	8.2	7.5	5.6	4.5	1.5	0.4	8.0	2.8
母同居(ひとり親家庭)	17	5.9	0.0	11.8	11.8	17.6	5.9	5.9	0.0	35.3	5.9
祖父同居	49	55.1	6.1	12.2	6.1	2.0	2.0	0.0	14.3	2.0	
祖母同居	82	52.4	7.3	15.9	6.1	2.4	2.4	1.2	0.0	9.8	2.4
祖父近居	262	51.9	13.7	14.5	4.2	2.3	2.3	1.1	0.8	6.1	3.1
祖母近居	305	50.5	14.1	13.8	4.6	3.3	2.0	1.0	0.7	6.9	3.3
その他	44	34.1	18.2	9.1	11.4	13.6	0.0	0.0	2.3	9.1	2.3

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

問 1 1 封筒の宛名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が)足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。(複数回答)

今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が)足りていないと思う保育サービスについて聞いたところ、「区立・私立認可保育所」が34.7%で最も多く、続いて「一時預かり」が27.1%、「幼稚園の預かり保育」が26.4%となっている。

子どもの年齢別に見ると、いずれも「区立・私立認可保育所」「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」が多くなっているが、3歳では「病児・病後児保育」も多くなっている。



できれば利用したい、または不足している保育サービス(子どもの年齢別)

	TOTAL	区立・私立認可保育所	一時預かり	幼稚園の預かり保育	病児・病後児保育	延長保育	幼稚園・通常の就園時間	事業所内保育施設	ファミリーサポートセンター	認証保育所・保育室	認定子ども園・共通利用時間	以上の保育の利用	認定子ども園・共通利用時間	家庭福祉員	ベビーシッター	その他の保育施設	特になし	不明
TOTAL	1835	34.7	27.1	26.4	21.4	14.7	13.6	8.9	8.1	7.1	7.0	5.4	4.5	3.7	1.4	15.2	5.8	
0歳	494	56.7	24.5	20.2	20.2	16.6	18.4	10.1	11.1	12.6	8.3	6.7	6.5	4.7	1.4	9.1	2.4	
1歳	296	39.5	35.1	28.4	18.9	14.2	22.0	13.5	7.1	10.8	9.8	9.5	7.1	2.7	3.0	8.8	6.1	
2歳	257	30.7	31.5	35.8	23.0	14.8	17.9	5.4	6.2	4.7	6.6	5.1	3.1	1.9	1.2	10.1	6.6	
3歳	255	24.7	29.4	28.6	26.7	13.7	6.3	9.0	7.5	3.5	5.1	3.5	2.7	6.3	0.0	18.4	7.1	
4歳	267	18.0	22.5	27.0	17.6	15.4	7.5	7.1	5.6	2.2	6.7	3.7	1.5	3.0	1.9	24.0	7.5	
5歳	258	19.0	21.3	23.3	24.0	11.6	4.7	6.2	8.5	2.7	3.9	2.3	3.9	2.3	0.8	26.7	7.8	

(注)網掛けは20%以上。また表側の「不明」は除く。

子どもの数別に見ると、子どもの数が1～3人の場合は「区立・私立認可保育所」「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」、そして「病児・病後児保育」が多くなっている。

同居・近居状況別に見ると、いずれの場合もおよそ「区立・私立認可保育所」「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」などが多くなっているが、母同居（ひとり親家庭）では「病児・病後児保育」や「延長保育」も多くなっている。

できれば利用したい、または不足している保育サービス(子どもの数別)

	TOTAL	区立・私立認可保育所	一時預かり	幼稚園の預かり保育	病児・病後児保育	延長保育	幼稚園：通常の就園時間	事業所内保育施設	ファミリーサポートセンター	認証保育所・保育室	認定こども園：共通利用	認定こども園：共通利用	認定こども園：共通利用	家庭福祉員	ベビーシッター	その他の保育施設	特にない	不明
TOTAL	1835	34.7	27.1	26.4	21.4	14.7	13.6	8.9	8.1	7.1	7.0	5.4	4.5	3.7	1.4	15.2	5.8	
1人	687	45.1	28.8	25.8	21.5	16.9	14.7	12.8	10.0	10.9	8.3	6.3	6.1	6.0	1.7	10.2	4.9	
2人	877	29.0	26.7	28.5	21.3	14.5	12.5	6.7	7.1	5.4	6.5	5.0	3.2	2.6	1.4	17.9	5.9	
3人	223	28.7	25.6	21.5	22.9	9.9	13.0	6.3	7.2	3.6	5.4	3.6	4.9	0.9	0.4	20.2	5.4	
4人以上	38	15.8	15.8	18.4	13.2	10.5	21.1	5.3	2.6	0.0	7.9	10.5	5.3	0.0	2.6	15.8	15.8	

(注)網掛けは20%以上。また表側の「不明」は除く。

できれば利用したい、または不足している保育サービス(同居・近居状況別)

	TOTAL	区立・私立認可保育所	一時預かり	幼稚園の預かり保育	病児・病後児保育	延長保育	幼稚園：通常の就園時間	事業所内保育施設	ファミリーサポートセンター	認証保育所・保育室	認定こども園：共通利用	認定こども園：共通利用	認定こども園：共通利用	家庭福祉員	ベビーシッター	その他の保育施設	特にない	不明
TOTAL	1835	34.7	27.1	26.4	21.4	14.7	13.6	8.9	8.1	7.1	7.0	5.4	4.5	3.7	1.4	15.2	5.8	
父母同居	1635	35.0	27.2	26.7	21.8	14.8	14.3	9.1	8.3	7.3	7.0	5.7	4.5	3.3	1.3	15.2	5.3	
父同居(ひとり親家庭)	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	
母同居(ひとり親家庭)	61	36.1	26.2	14.8	29.5	24.6	6.6	11.5	8.2	4.9	6.6	0.0	1.6	13.1	1.6	9.8	14.8	
祖父同居	114	28.1	17.5	21.1	16.7	12.3	8.8	5.3	7.0	6.1	6.1	3.5	2.6	5.3	0.0	21.1	8.8	
祖母同居	170	29.4	19.4	20.0	17.6	12.4	10.6	5.3	4.7	5.3	6.5	4.1	1.2	3.5	0.0	22.9	7.1	
祖父近居	452	32.1	25.0	26.8	18.8	13.5	19.9	10.0	5.8	6.0	7.7	5.5	4.6	3.3	1.8	16.4	5.8	
祖母近居	531	32.4	24.5	25.4	19.0	12.8	18.6	10.0	6.0	6.2	7.9	5.5	4.5	3.4	1.7	16.9	6.2	
その他	78	41.0	25.6	37.2	26.9	23.1	12.8	7.7	6.4	6.4	10.3	6.4	6.4	2.6	6.4	15.4	2.6	

(注)網掛けは20%以上。また表側の「不明」は除く。

問11-1 [問11で1~11を選択] 今後の利用希望についてお伺いします。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を希望しますか。

各サービスの今後の利用希望について聞いたところ、ほとんどのサービスは一週間当たり「5日」が多いが、「ベビーシッター」について「1日」「2日」も多い。

一日当たりの利用希望時間は、「区立・私立認可保育所」「事業所内保育施設」「認定こども園・共通利用時間以上の保育の利用」「認証保育所・保育室」については「5～6時間」となっており、「ベビーシッター」については「2～3時間」となっている。

今後利用希望ある保育サービス(一週間当たり)

	TOTAL	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	不明	(%)
幼稚園の預かり保育	307	8.1	10.4	18.2	8.5	48.5	3.9	0.3	2.0	
区立・私立認可保育所	282	0.7	1.8	5.0	4.3	67.0	14.9	1.4	5.0	
幼稚園・通常の就園時間	123	0.0	0.8	3.3	4.9	87.0	2.4	0.8	0.8	
延長保育	97	11.3	10.3	25.8	5.2	38.1	5.2	2.1	2.1	
事業所内保育施設	69	1.4	0.0	10.1	7.2	72.5	5.8	2.9	0.0	
認証保育所・保育室	49	4.1	2.0	6.1	8.2	61.2	12.2	4.1	2.0	
認定こども園・共通利用時間以上の保育の利用	48	6.3	6.3	6.3	2.1	70.8	6.3	0.0	2.1	
ベビーシッター	35	31.4	25.7	17.1	2.9	17.1	0.0	2.9	2.9	
認定こども園・共通利用時間のみの保育の利用	26	0.0	3.8	19.2	0.0	73.1	3.8	0.0	0.0	
家庭福祉員	22	13.6	4.5	13.6	4.5	50.0	9.1	4.5	0.0	
その他の保育施設	5	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	

(注) 網掛けは20%以上。また表側の「その他の保育施設」はサンプルが少ないため参考値とする。表側の「不明」は除く。

今後利用希望ある保育サービス(一日当たり)

	TOTAL	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間	不明	(%)
幼稚園の預かり保育	307	1.0	39.7	21.5	7.2	16.0	9.1	2.3	3.3	
区立・私立認可保育所	282	0.0	0.7	4.3	8.2	36.5	34.0	11.3	5.0	
幼稚園・通常の就園時間	123	0.0	1.6	43.1	36.6	14.6	0.0	2.4	1.6	
延長保育	97	11.3	44.3	9.3	6.2	6.2	14.4	6.2	2.1	
事業所内保育施設	69	0.0	1.4	13.0	15.9	40.6	21.7	7.2	0.0	
認証保育所・保育室	49	0.0	2.0	2.0	8.2	32.7	36.7	16.3	2.0	
認定こども園・共通利用時間以上の保育の利用	48	0.0	0.0	8.3	18.8	27.1	33.3	8.3	4.2	
ベビーシッター	35	2.9	51.4	17.1	5.7	17.1	2.9	0.0	2.9	
認定こども園・共通利用時間のみの保育の利用	26	0.0	3.8	23.1	26.9	26.9	19.2	0.0	0.0	
家庭福祉員	22	0.0	27.3	22.7	9.1	9.1	22.7	4.5	4.5	
その他の保育施設	5	0.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	

(注) 網掛けは20%以上。また表側の「その他の保育施設」はサンプルが少ないため参考値とする。表側の「不明」は除く。

今後利用希望ある保育サービスの日当たり開始時間は、多くのサービスが「8～9時」となっているが、「幼稚園の預かり保育」は「10～16時」が多くなっている。

終了時間については、全体的には「午後5～6時頃」が多くなっているが、「幼稚園・通常の就園時間」では「午後2～3時」、「延長保育」では「午後7～8時」も多くなっている。

今後利用希望ある保育サービス(一日当たり開始時間)

	TOTAL	6時	7時	8時	9時	10時	10～16時	16～19時	19時以降	不明	(%)
幼稚園の預かり保育	307	1.0	2.6	10.1	24.8	1.3	57.7	0.3	0.0	2.3	
区立・私立認可保育所	282	0.0	20.2	33.3	36.5	2.8	1.4	1.1	0.0	4.6	
幼稚園・通常の就園時間	123	0.0	0.8	8.1	79.7	8.9	1.6	0.0	0.0	0.8	
延長保育	97	1.0	8.2	4.1	16.5	1.0	32.0	29.9	6.2	1.0	
事業所内保育施設	69	1.4	1.4	29.0	53.6	13.0	0.0	1.4	0.0	0.0	
認証保育所・保育室	49	4.1	12.2	42.9	30.6	6.1	2.0	0.0	0.0	2.0	
認定こども園・共通利用時間以上の保育の利用	48	0.0	10.4	35.4	41.7	8.3	2.1	0.0	0.0	2.1	
ベビーシッター	35	0.0	0.0	5.7	20.0	11.4	31.4	17.1	8.6	5.7	
認定こども園・共通利用時間みの保育の利用	26	0.0	3.8	26.9	50.0	3.8	15.4	0.0	0.0	0.0	
家庭福祉員	22	0.0	9.1	18.2	36.4	9.1	13.6	13.6	0.0	0.0	
その他の保育施設	5	0.0	0.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	

(注) 網掛けは20%以上。また表側の「その他の保育施設」はサンプルが少ないため参考値とする。表側の「不明」は除く。

今後利用希望ある保育サービス(一日当たり終了時間)

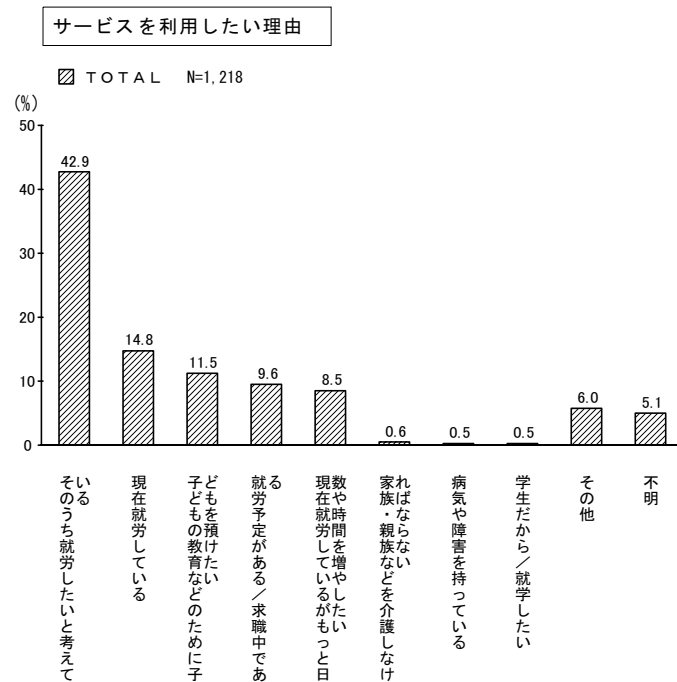
	TOTAL	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時以降	不明	(%)
幼稚園の預かり保育	307	2.3	4.9	16.6	34.5	29.3	7.8	2.9	0.0	1.6	
区立・私立認可保育所	282	4.6	2.8	6.7	22.7	35.5	17.0	4.3	1.8	4.6	
幼稚園・通常の就園時間	123	43.9	30.1	9.8	9.8	3.3	0.8	0.8	0.8	0.8	
延長保育	97	2.1	2.1	13.4	17.5	9.3	27.8	19.6	7.2	1.0	
事業所内保育施設	69	8.7	5.8	10.1	23.2	36.2	8.7	4.3	2.9	0.0	
認証保育所・保育室	49	4.1	2.0	4.1	20.4	36.7	22.4	6.1	2.0	2.0	
認定こども園・共通利用時間以上の保育の利用	48	6.3	12.5	6.3	20.8	27.1	16.7	6.3	2.1	2.1	
ベビーシッター	35	8.6	2.9	8.6	22.9	25.7	5.7	2.9	17.1	5.7	
認定こども園・共通利用時間みの保育の利用	26	11.5	3.8	30.8	23.1	23.1	7.7	0.0	0.0	0.0	
家庭福祉員	22	27.3	4.5	9.1	13.6	22.7	13.6	9.1	0.0	0.0	
その他の保育施設	5	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	

(注) 網掛けは20%以上。また表側の「その他の保育施設」はサンプルが少ないため参考値とする。表側の「不明」は除く。

問11-2 [問11で1~11を選択] サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。
次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

子育て支援サービスを利用したい理由を聞いたところ、「そのうち就労したいと考えている」が42.9%で最も多くなっている。

子どもの年齢別に見ると、いずれも「そのうち就労したいと考えている」が最も多くなっている。



サービスを利用したい理由(子どもの年齢別)

	TOTAL	そのうち就労したいと考えている	現在就労している	子どもを預けたい	就労予定がある／求職中である	もっと日数や時間を増やしたい	現在就労しているが家族・親族などを介護しなければならぬ	病気や障害を持っている	学生だから／就学したい	その他	不明
TOTAL	1218	42.9	14.8	11.5	9.6	8.5	0.6	0.5	0.5	6.0	5.1
0歳	395	44.1	11.9	10.9	19.0	3.8	0.0	0.5	0.8	5.6	3.5
1歳	213	45.1	13.6	16.9	5.6	9.9	0.0	0.0	0.0	4.2	4.7
2歳	178	41.6	12.9	13.5	6.7	10.7	1.1	0.6	1.1	5.1	6.7
3歳	153	41.2	20.3	9.2	3.3	9.2	1.3	1.3	0.0	7.8	6.5
4歳	153	41.2	17.6	8.5	5.2	14.4	0.7	0.0	0.0	7.2	5.2
5歳	121	41.3	18.2	8.3	4.1	9.9	1.7	0.8	0.8	8.3	6.6

(注) 網掛けは20%以上。また表側の「不明」は除く。

同居・近居状況別に見たところ、全体的には「そのうち就労したいと考えている」が最も多くなっているが、母同居（ひとり親家庭）では「現在就労している」が最も多くなっている。

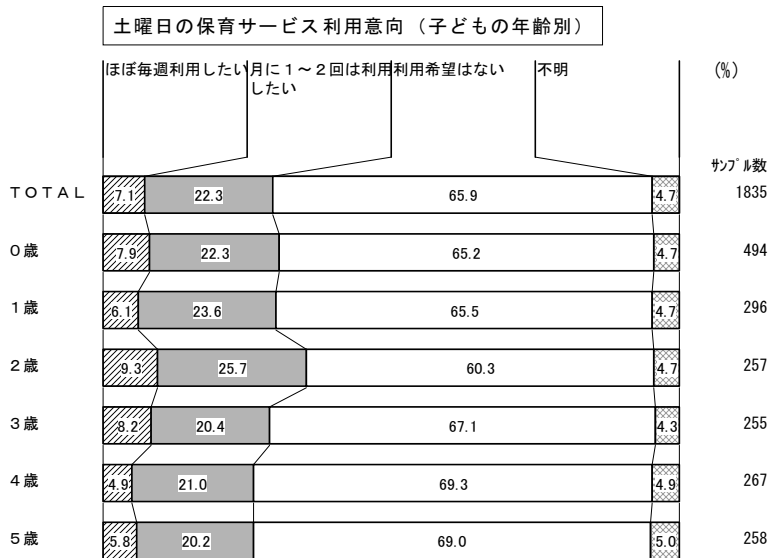
サービスを利用したい理由(同居・近居状況別)												
	TOTAL	そのうち就労したいと	現在就労している	子どもに子どもを預けたの	就労予定がある／求職中である	もともと日数や時間を増やしたい	現在就労しているが	家族・親族などを介護しなければならぬ	病気や障害を持っている	学生だから／就学した	その他	不明
TOTAL	1218	42.9	14.8	11.5	9.6	8.5	0.6	0.5	0.5	6	5.1	
父母同居	1096	44.4	14.2	11.6	9	8.3	0.6	0.5	0.5	6	4.7	
母同居(ひとり親家庭)	38	15.8	28.9	7.9	15.8	18.4	0	0	0	5.3	7.9	
祖父同居	66	33.3	19.7	13.6	7.6	9.1	3	0	0	4.5	9.1	
祖母同居	95	33.7	17.9	12.6	10.5	10.5	3.2	0	0	3.2	8.4	
祖父近居	306	38.6	16.7	17	6.9	9.2	0	0.3	0.7	5.9	4.9	
祖母近居	351	39.3	16	16.8	7.1	9.1	0.3	0.3	0.6	5.7	4.8	
その他	57	33.3	17.5	15.8	15.8	10.5	0	0	0	7	0	

(注) 網掛けは 20%以上。また表側の「父同居(ひとり親家庭)」はサンプルが少ないため除く。「不明」も除く。

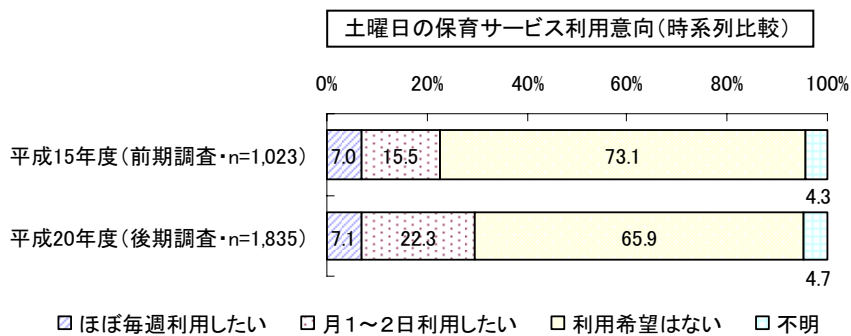
問12 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

土曜日の保育サービスの利用意向については全体的に低くなっている。

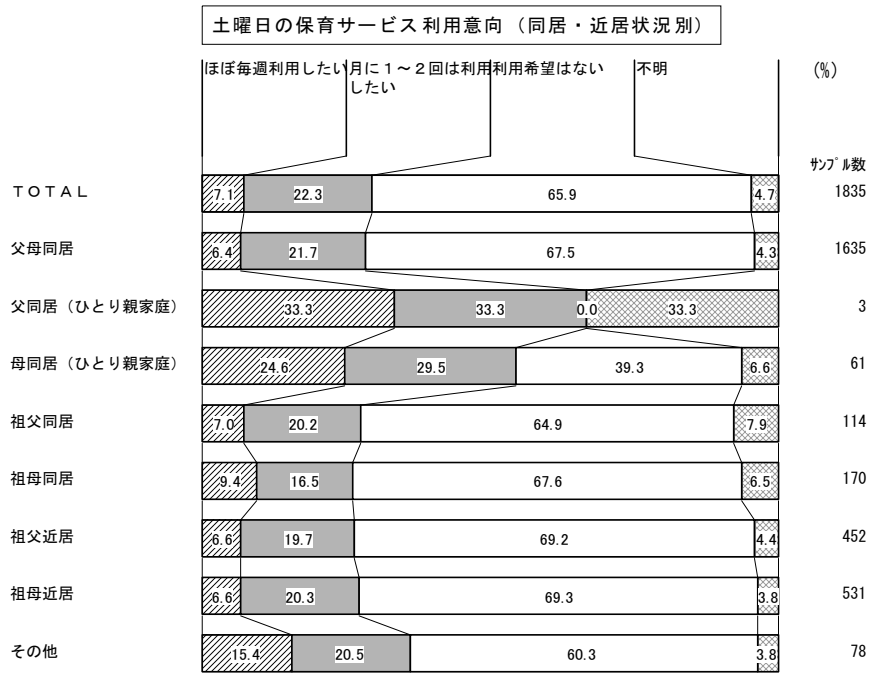
平成15年度（前期調査）と比較すると、「月に1～2回は利用したい」の割合が大きくなっており、以前と比べると意向は増加している。



（注）表側の「不明」は除く。

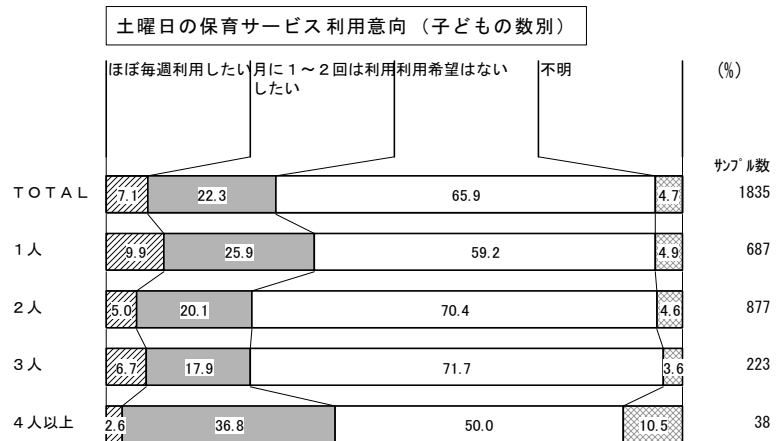


子どもの年齢別、同居・近居状況別に見てみると、全体的には意向は低くなっているが、「2歳児」、同居・近居状況別ではひとり親家庭での意向が高くなっている。



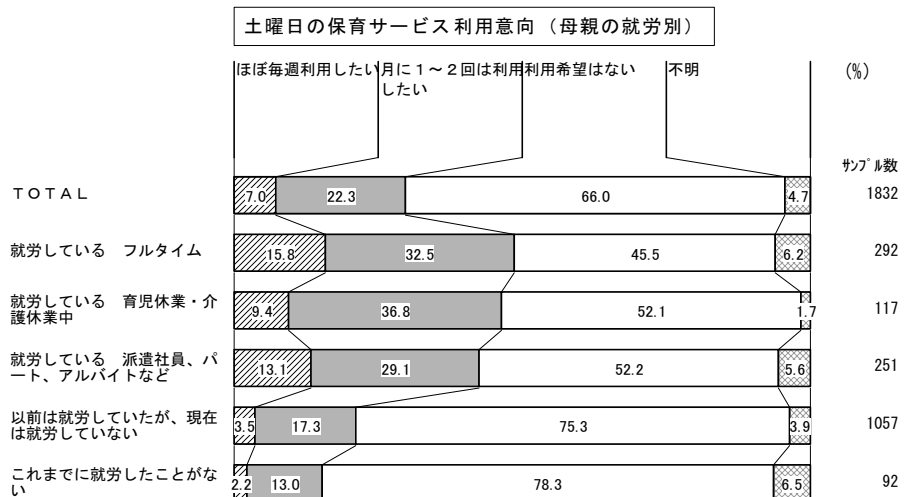
（注）表側の「不明」は除く。

子どもの数別に見ると、全体的には意向は低くなっているが、子どもが1人、4人以上のところでは「月に1～2回は利用したい」もやや高くなっている。



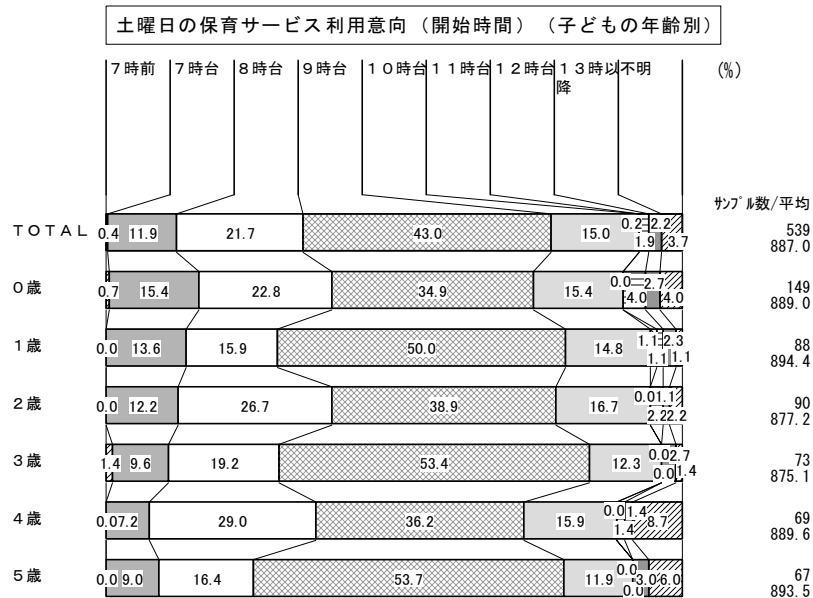
（注）表側の「不明」は除く。

母親の就労別に見ると、就労している場合は「月に1～2回は利用したい」が多く、就労していない場合は「利用希望はない」が多くなっている。

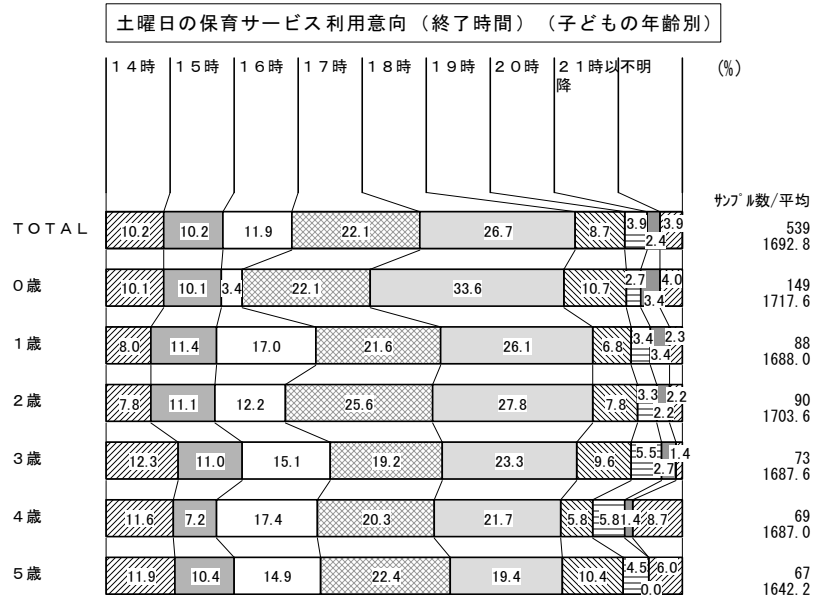


（注）表側の「不明」は除く。

土曜日の保育サービスの利用希望があると回答した人に、利用希望時間を聞いたところ、開始時間は午前8時台、9時台から、終了時間は午後5時台、6時台頃までとなっている。

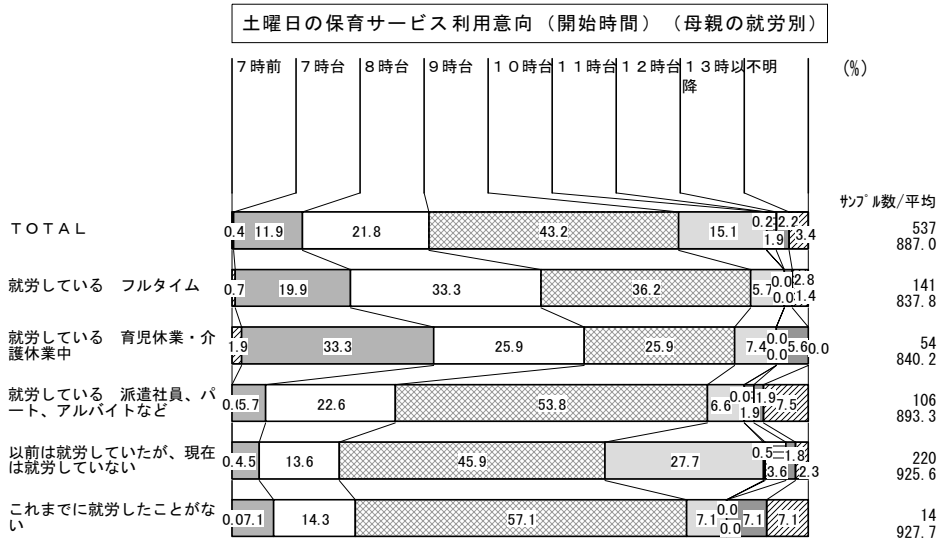


（注）表側の「不明」は除く。

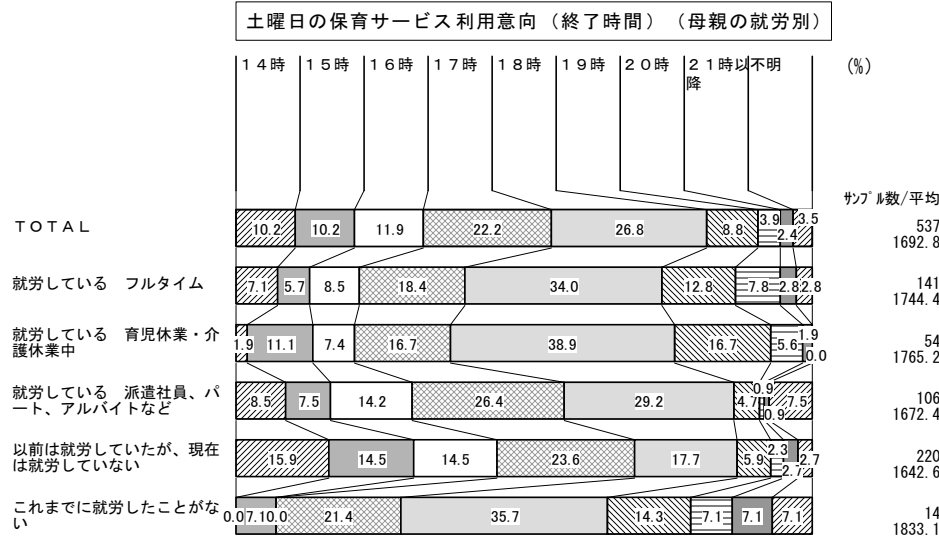


（注）表側の「不明」は除く。

母親の就労別に見てみると、就労している場合は7時台、8時台、していない場合は午前8時台、9時台となっており、終了時間については、およそ6時台頃となっている。



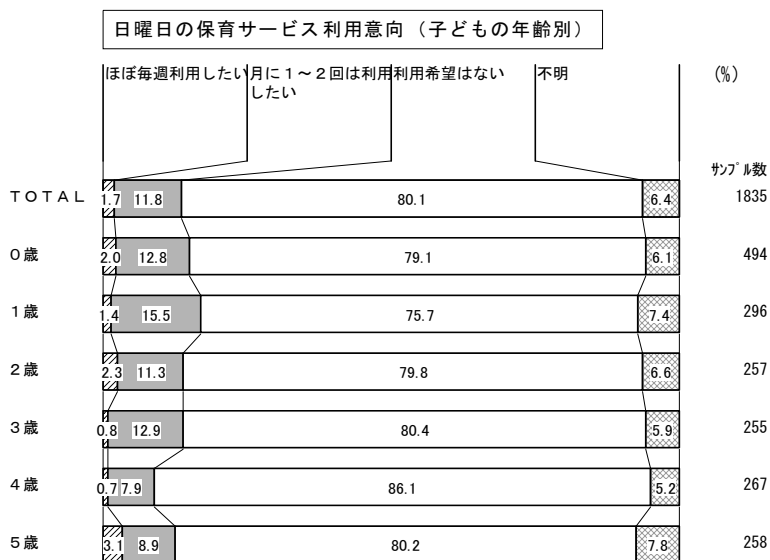
（注）表側の「不明」は除く。



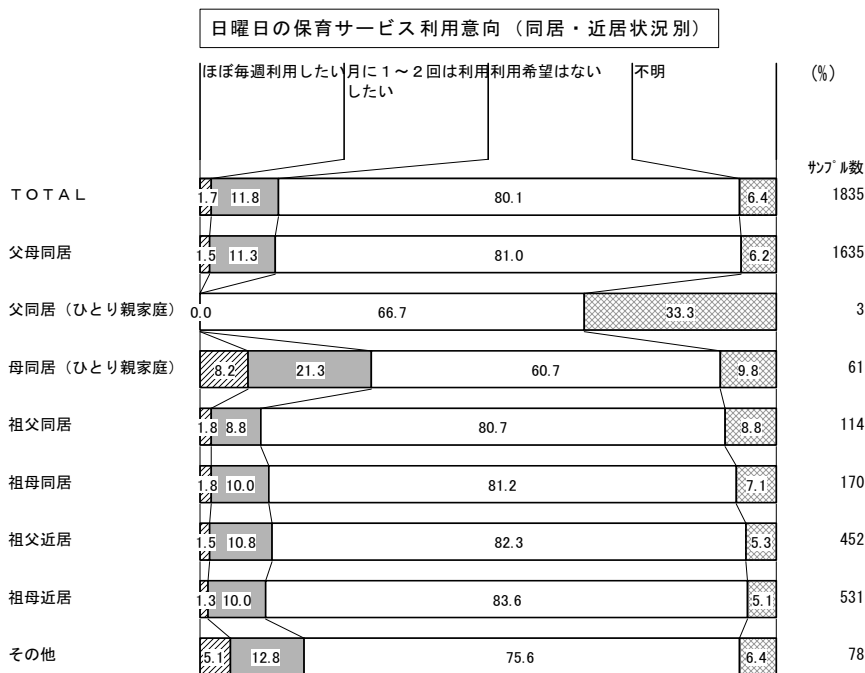
（注）表側の「不明」は除く。

日曜日についても、全体的には希望が少なくなっている。

子どもの年齢別、同居・近居状況別に見てみると、全体的には意向は低くなっているが、同居・近居状況別では母同居（ひとり親家庭）での意向が高くなっている。



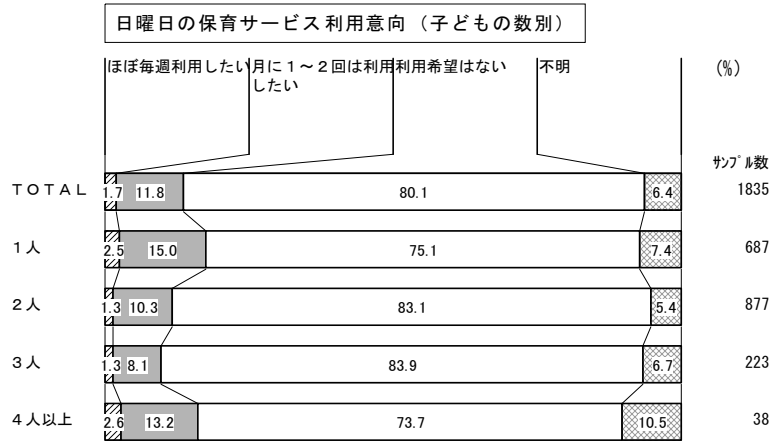
(注) 表側の「不明」は除く。



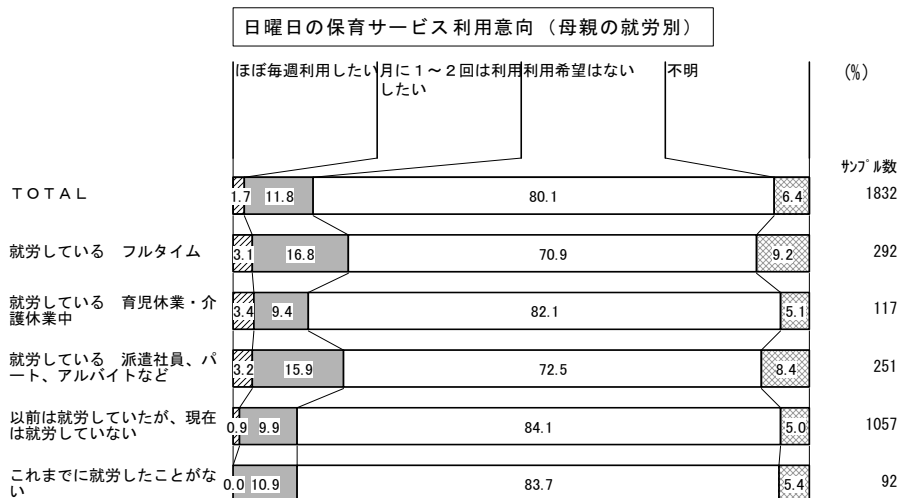
(注) 表側の「不明」は除く。

子どもの数別に見ると、全体的には意向は低くなっているが、子どもが1人、4人以上のところでは「月に1～2回は利用したい」もやや高くなっている。

母親の就労別に見ると、就労している場合は「月に1～2回は利用したい」が多く、就労していない場合は「利用希望はない」が多くなっている。



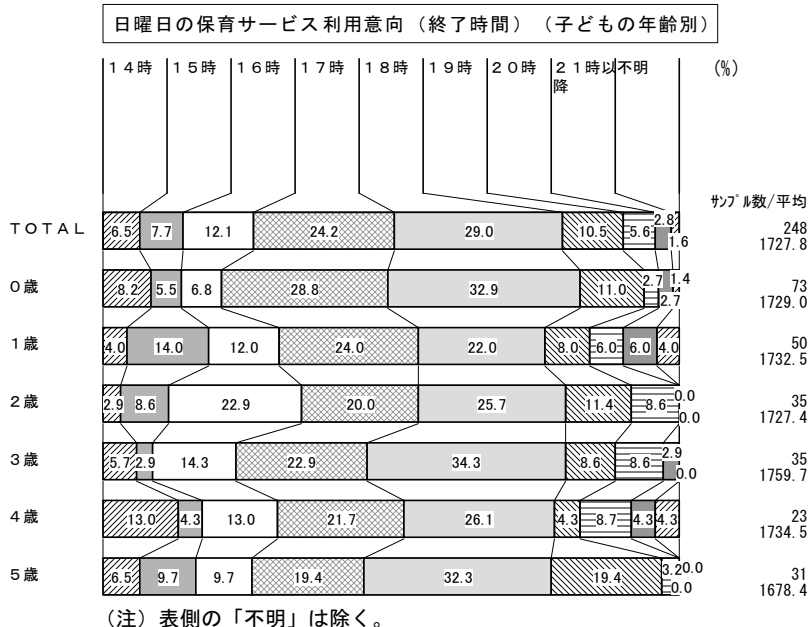
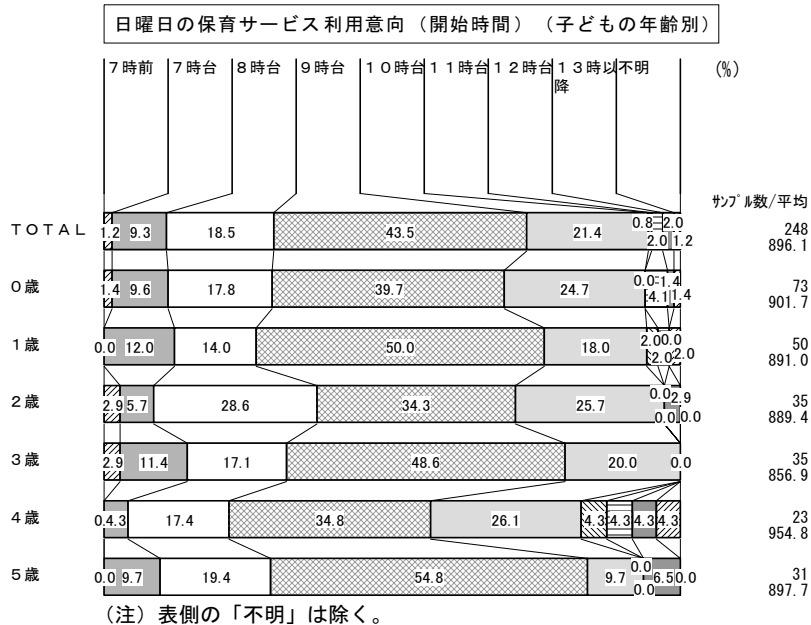
(注) 表側の「不明」は除く。



(注) 表側の「不明」は除く。

日曜日の保育サービスの利用希望があると回答した人に、利用希望時間を聞いたところ、開始時間は午前9時台から、終了時間は午後5時台、6時台頃までとなっている。

子どもの年齢別に見てみると、全体的には開始時間は午前9時台から、終了時間は午後5時台、6時台頃までとなっている。



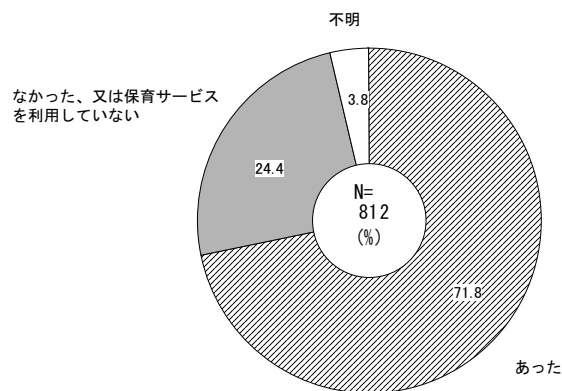
(4) 病児・病後児保育について

問13 保育サービスを利用している保護者の方にお伺いします。この1年間に宛名のお子さんが病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことはありますか。

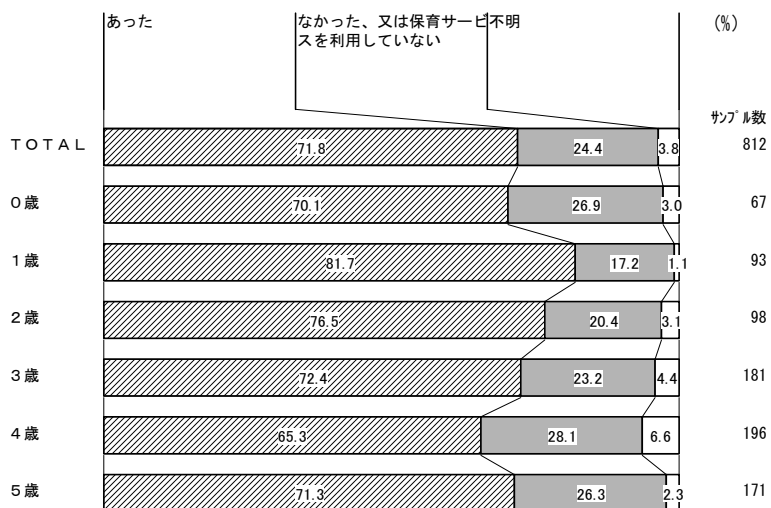
この1年間で、病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかったことがあるのかについて聞いたところ、71.8%が「あった」としている。

子どもの年齢別に見ると、いずれも「あった」が多くなっており、特に1歳児が多くなっている。

一年間に病気等で通常保育サービスが利用できなかった経験



一年間に病気等で通常保育サービスが利用できなかった経験（子どもの年齢別）



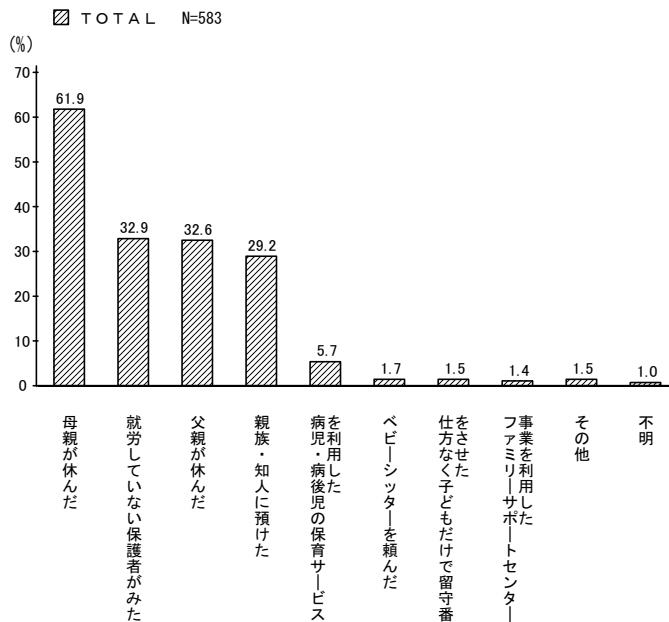
(注) 表側の「不明」は除く。

問 1 3 - 1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(複数回答)

病気やケガで通常の保育サービスが利用できなかった時の対処方法については、「母親が休んだ」が61.9%で最も多くなっており、続いて「就労していない保護者がみた」が32.9%、「父親が休んだ」が32.6%となっている。

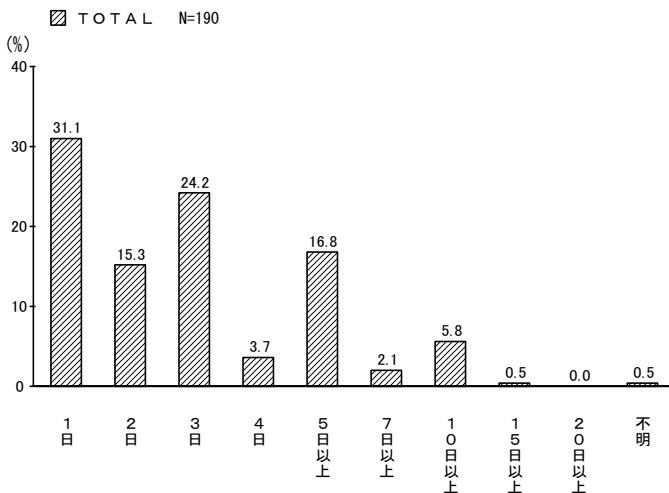
対処方法として「父親が休んだ」については、平均すると3.1日(年間)、「母親が休んだ」については、平均すると8.9日(年間)、「親族・知人に預けた」については、平均すると6.7日(年間)、「就労していない保護者がみた」については、平均すると8.2日(年間)、「病児・病後児の保育サービス」については、平均すると3.7日(年間)、「ベビーシッターを頼んだ」については、平均すると3.1日(年間)、「ファミリーサポートセンター事業を利用した」については、平均すると2.4日(年間)、そして「仕方なく子どもだけで留守番させた」については、平均すると1.9日(年間)となっている。

病気等で通常保育サービスが利用できなかった時の対処方法



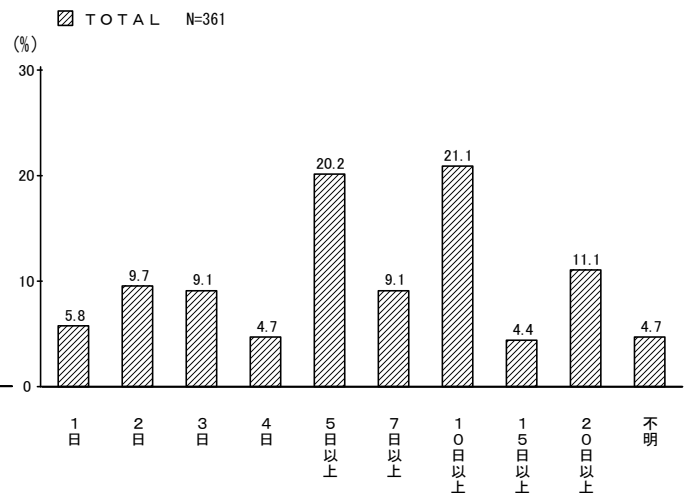
父親が休んだ日数

平均 3.1 日



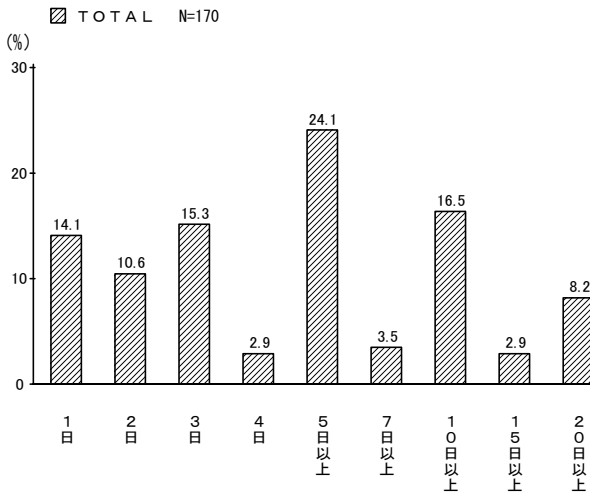
母親が休んだ日数

平均 8.9 日



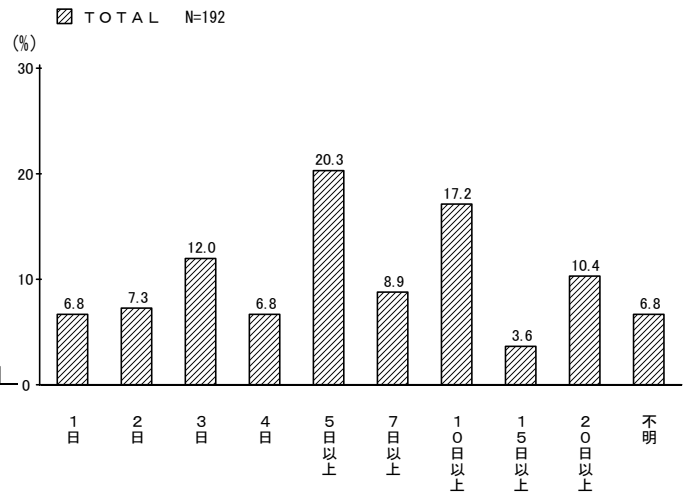
親族・知人に預けた日数

平均 6.7 日



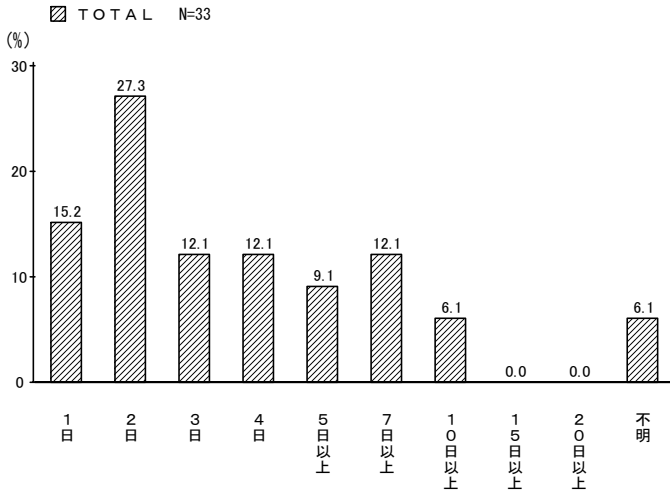
就労していない保護者が見た

平均 8.2 日



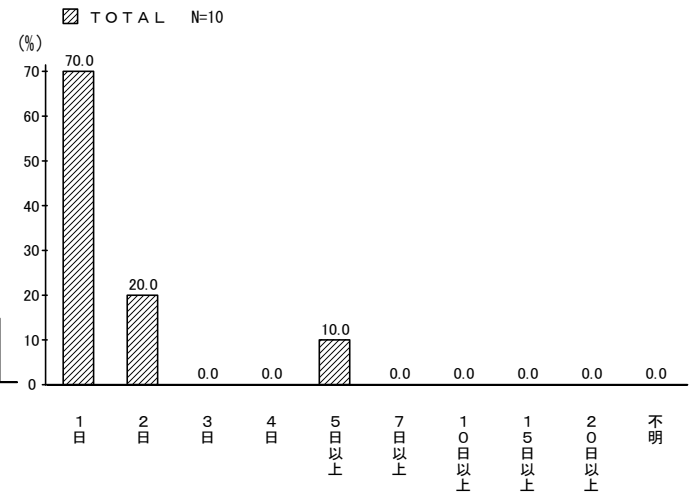
病時・病後児の保育サービスを利用した

平均 3.7 日



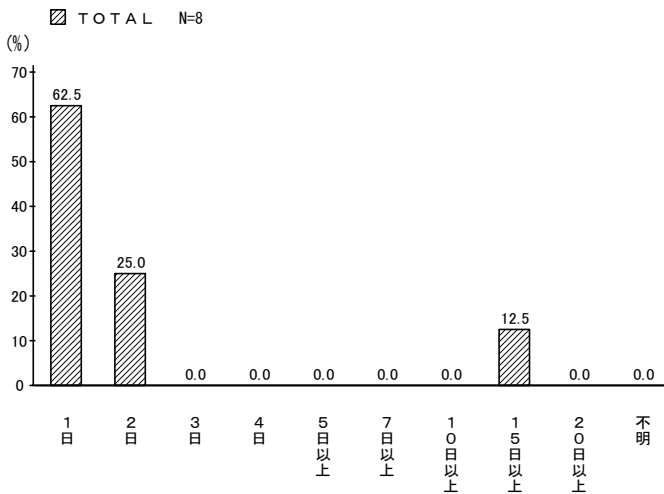
ベビーシッターを頼んだ

平均 3.1 日



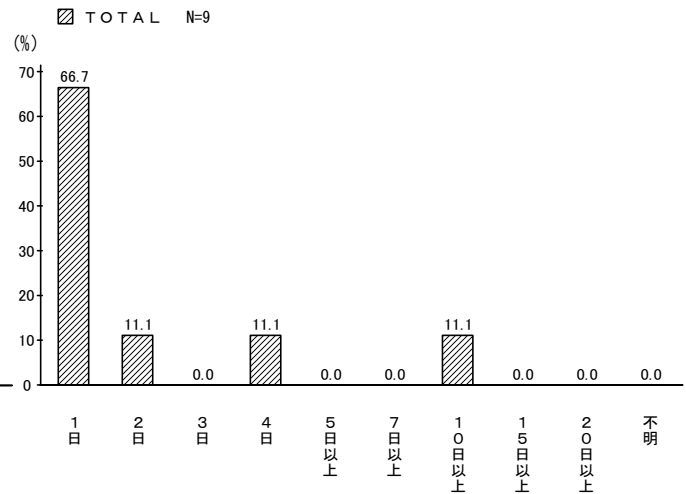
ファミリーサポートセンター事業を利用した

平均 2.4 日



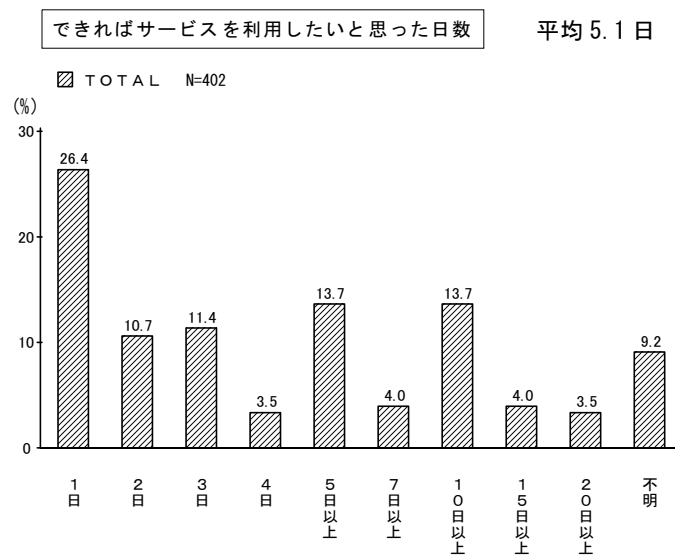
仕方なく子どもだけで留守番をさせた

平均 1.9 日



問13-2 「父親または母親が休んだ」「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

「父親または母親が休んだ」「親族・知人に預けた」と回答した人に、できれば施設に預けたいと思われた日数を聞いたところ、平均5.1日となった。



(5) 一時預かりについて

問14 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やりフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

私用やりフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験について聞いたところ、「ある」は34.2%、「ない」は64.5%となっている。

子どもの年齢別に見ると、いずれも「ない」が多く、特に0歳で多くなっている。

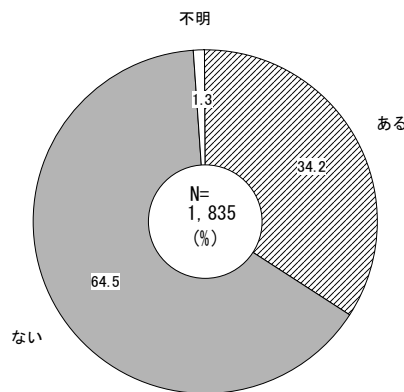
子どもの数別に見ると、いずれも「ない」が多く、特に4人以上で多くなっている。

母親の就労別に見ると、いずれも「ない」が多く、特に就労しているが育児休業・介護休業中の場合が多くなっている。

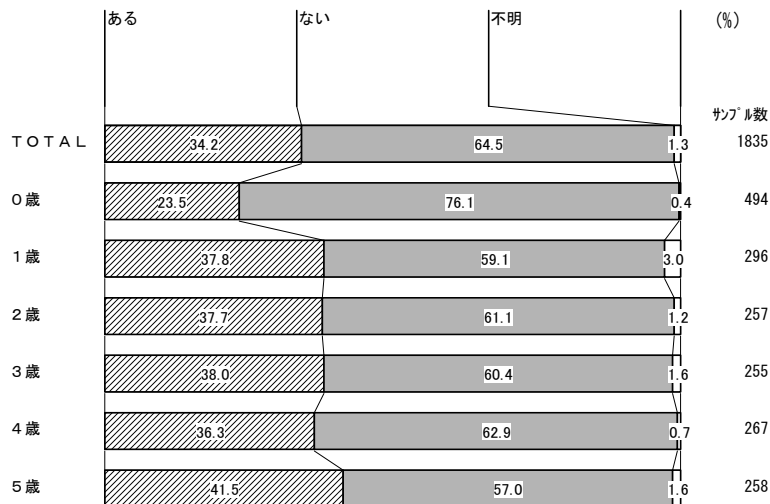
そこで、一時預かりの利用経験日数を聞いたところ、平均14.5日であった。

私用で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数（「不明」サンプルを除く）は、平均7.1日、冠婚葬祭・子どもの病気で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数（「不明」サンプルを除く）は、平均5.0日、そして就労で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数（「不明」サンプルを除く）は、平均23.6日となっている。

私用やりフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験

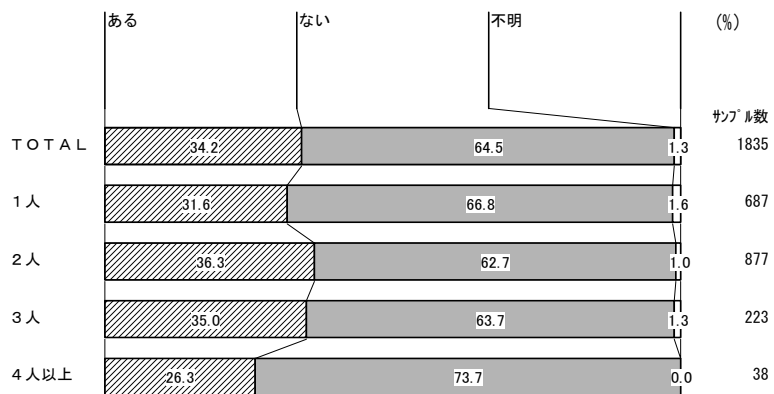


私用やりフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験（子どもの年齢別）



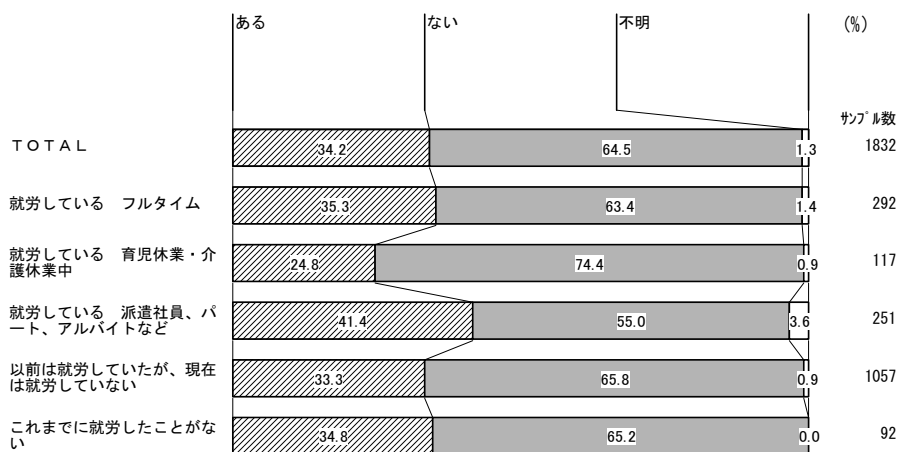
(注) 表側の「不明」は除く。

私用やリフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験（子どもの数別）



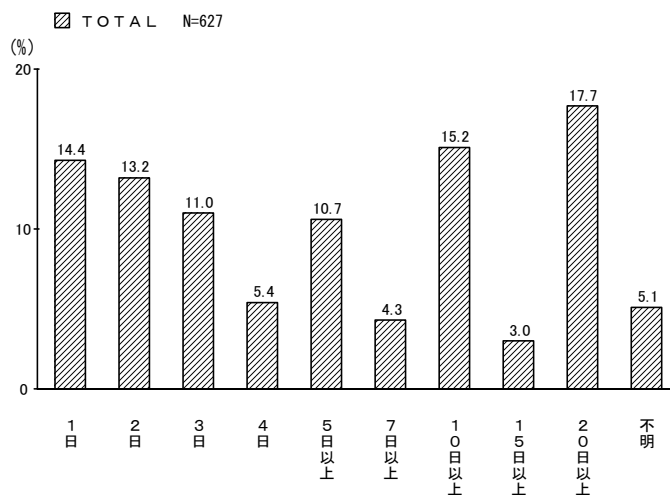
(注) 表側の「不明」は除く。

私用やリフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験（母親の就労別）



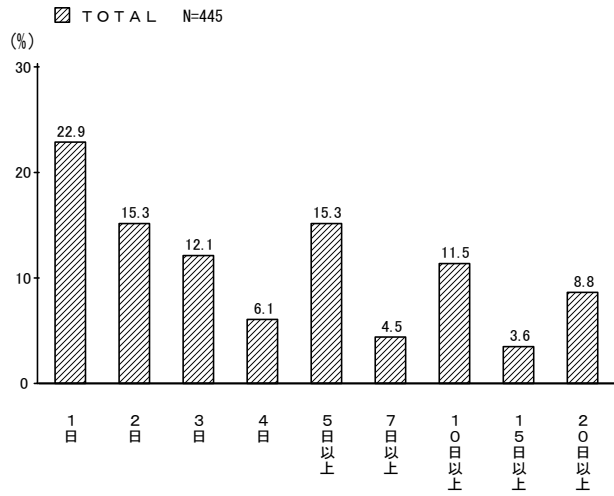
(注) 表側の「不明」は除く。

私用やリフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



平均 14.5 日

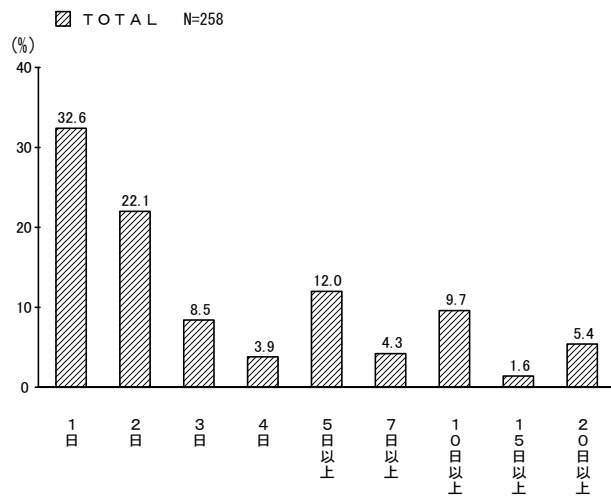
私用で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



平均 7.1 日

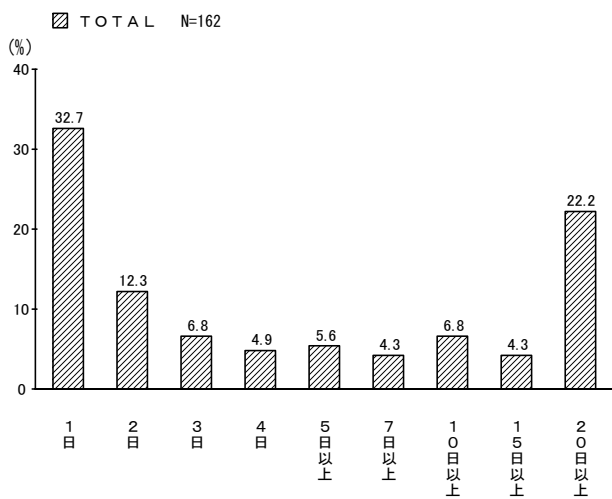
(注)「不明」は除く。以下同じ。

冠婚葬祭・子どもの病気で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



平均 5.0 日

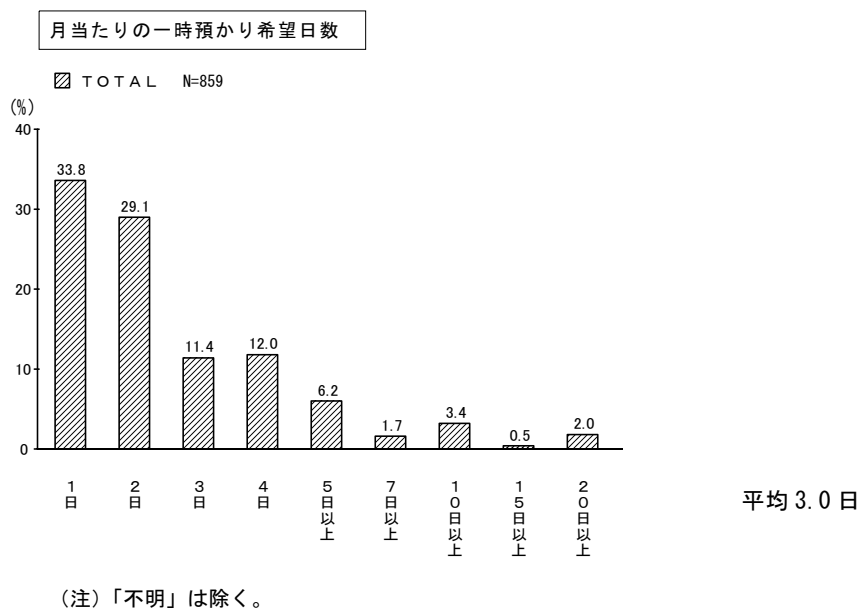
就労で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



平均 23.6 日

問15 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。

子どもを家族以外に一時的に預けたいと思う年間日数（「不明」サンプルを除く）については、平均3.0日となっている。



問16 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

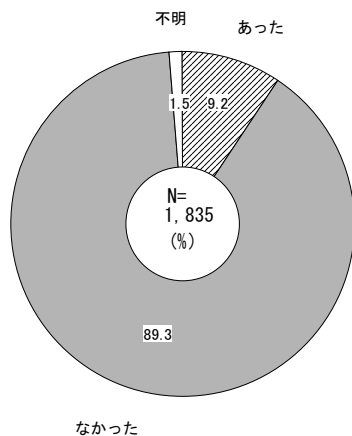
問16-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。(複数回答)

問16-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。

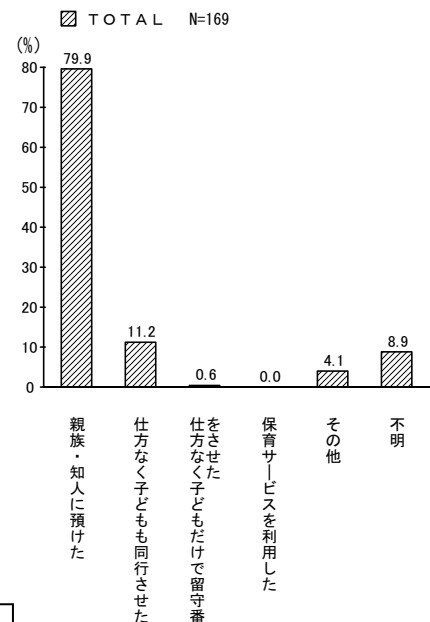
保護者の用事などにより子どもを泊まりがけで、家族以外に預けなければならなくなったことの有無について聞いたところ、9.2%が「あった」としており、その際の対処方法については、「親族・知人に預けた」が79.9%で最も多く、続いて「仕方なく子どもも同行させた」が11.2%となっている。

一年間に子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験について子どもの年齢別に見ると、いずれも「なかった」が多くなっている。

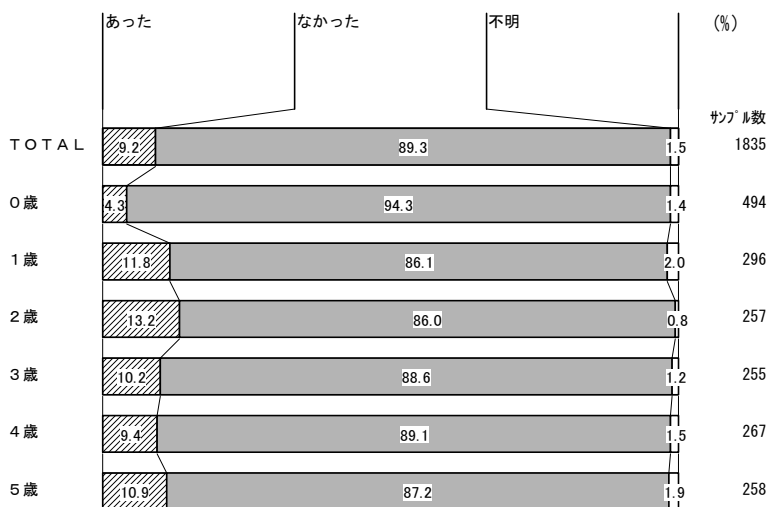
一年間に子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかった経験



預け先



一年間に子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならなかった経験 (子どもの年齢別)

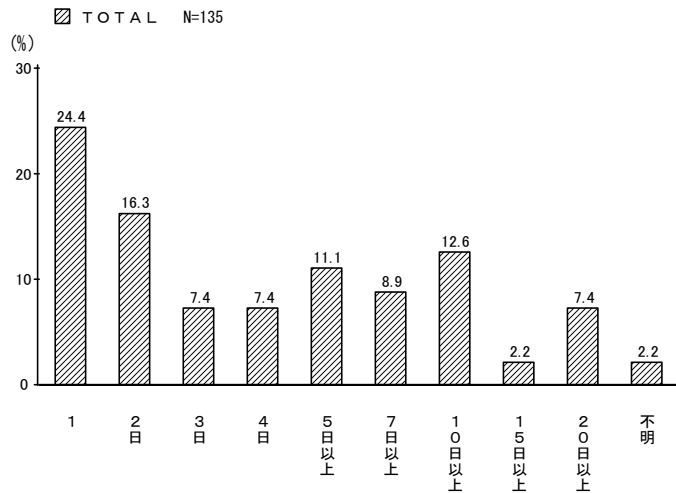


(注) 表側の「不明」は除く。

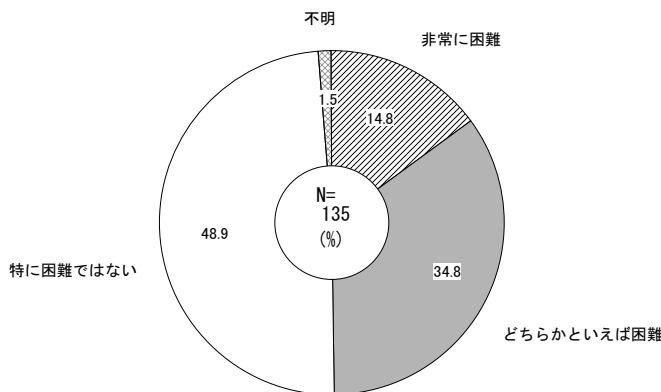
対処方法として最も回答が多かった「親族・知人に預けた」については、平均すると 7.5 泊（年間）を数え、その困難度合は、「非常に困難」が 14.8%、「どちらかという困難」が 34.8%となっており、合計すると 49.6%が困難としている。

対処方法として次に回答が多かった「仕方なく子どもも同行させた」については、平均すると 2.2 泊（年間）を数える。

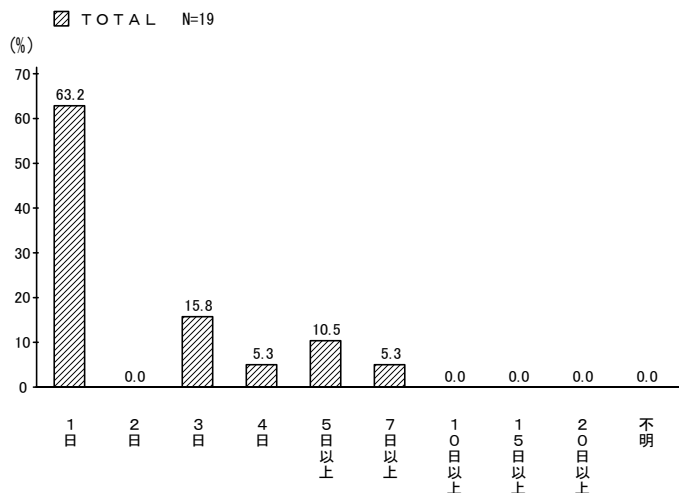
親族・知人に預けた 平均 7.5 泊



親族・知人に預けた困難度



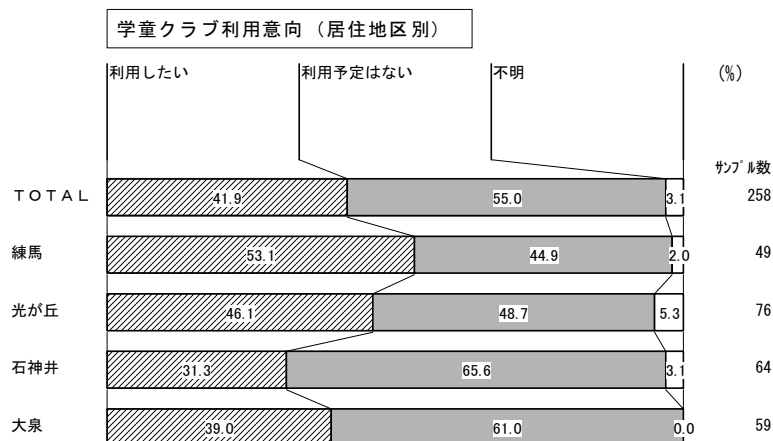
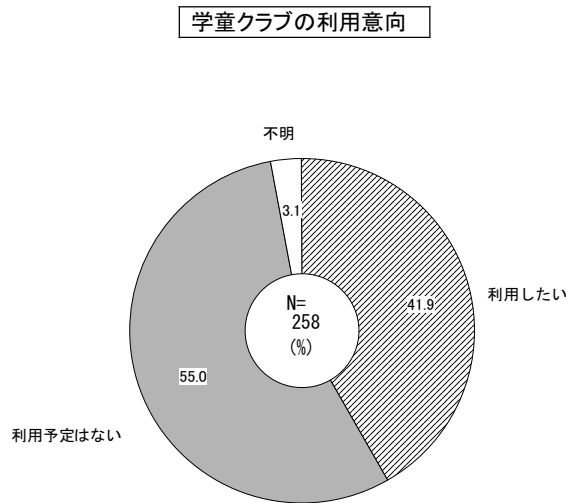
仕方なく子どもも同行させた 平均 2.2 泊



(6) 一時的保育事業等について

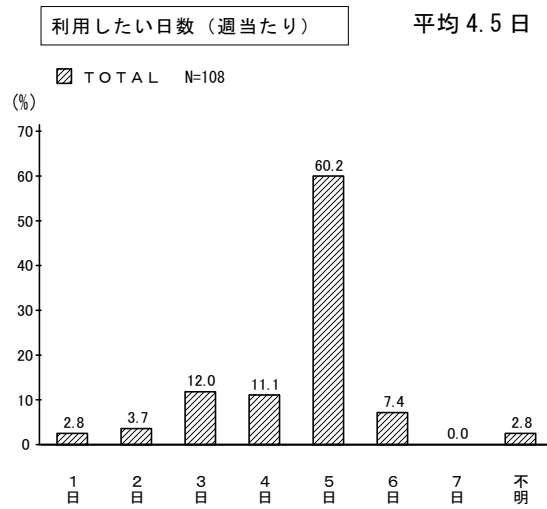
問17 宛名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童クラブを利用したいと思いますか。

子どもが小学校入学以降の放課後の過ごし方として学童クラブの利用意向について聞いたところ、「利用したい」が41.9%、「利用予定はない」が55.0%となっている。
学童クラブの利用意向について、居住地区別に聞いたところ、「練馬地区」で高くなっている。



(注) 表側の「不明」は除く。

「ある」と回答した人に、週あたりに利用した日数を聞いたところ、平均 4.5 日の希望となっている。



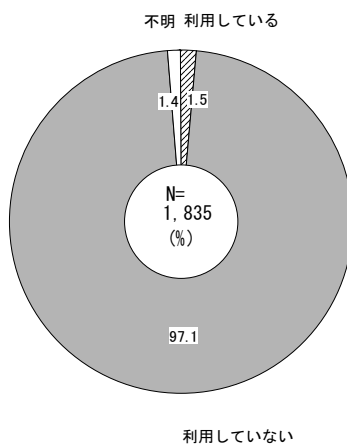
問18 ベビーシッターを利用していますか。

問18-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。(複数回答)

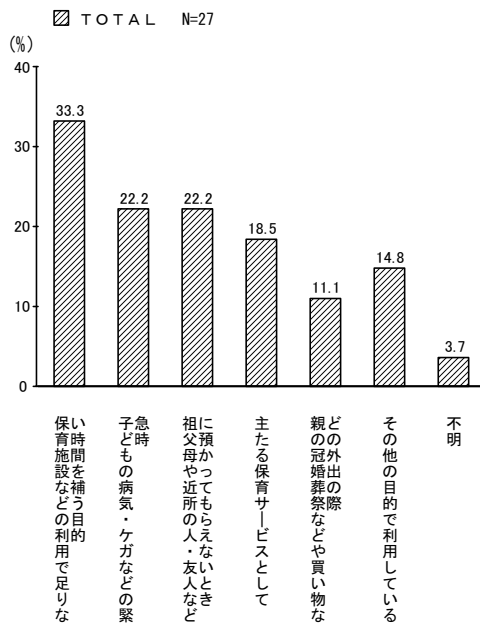
問18-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。

ベビーシッターの利用について聞いたところ、「利用していない」が97.1%を占めている。
ベビーシッターを利用している人に利用目的を聞いたところ、「保育施設などの利用で足りない時間を補う目的」が33.3%で最も多く、続いて「子どもの病気・ケガなどの緊急時」が22.2%となっている。

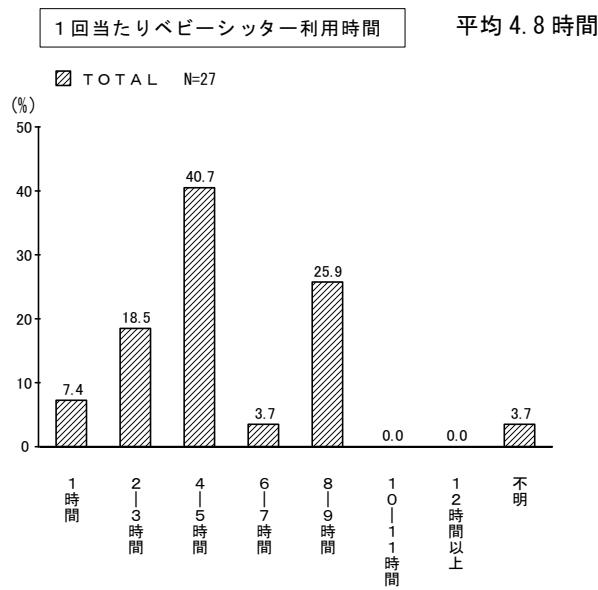
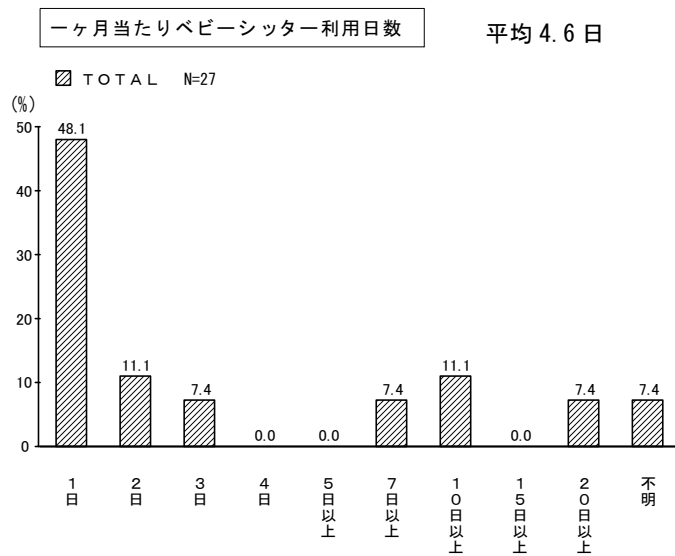
ベビーシッターの利用



ベビーシッターの利用目的



ベビーシッターを利用している人に一ヶ月当たりの利用日数を聞いたところ、平均 4.6 日、1 回当たりの利用時間を聞いたところ、平均 4.8 時間となっている。



- 問19 ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業を利用していますか。
 問19-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。(複数回答)
 問19-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。
 問19-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。

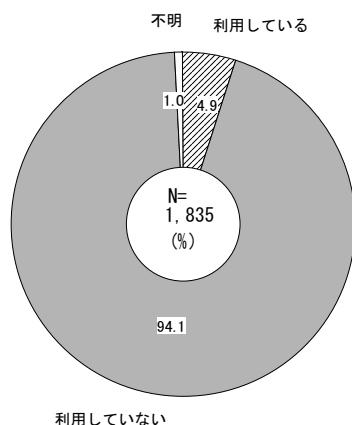
ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業の利用について聞いたところ、「利用していない」が94.1%を占めた。

ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業を利用している人に利用目的を聞いたところ、「祖父母や近所の人・友人などに預かってもらえないとき」が35.6%で最も多く、続いて「保育施設などの利用で足りない時間を補う目的」が30.0%であった。

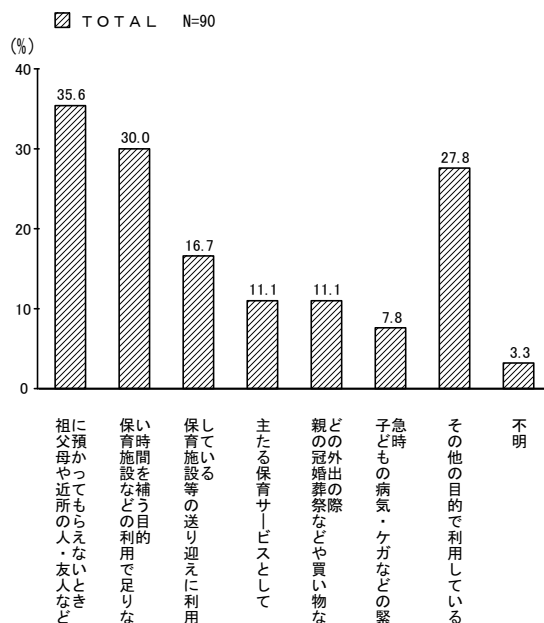
ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業を利用している人に一ヶ月当たりの利用日数を聞いたところ、平均2.3日、1回当たりの利用時間を聞いたところ、平均3.2時間であった。

そこで、ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業の利用を一ヶ月何時間増やしたいか(「不明」サンプルを除く)については、平均7.4時間となっている。

ファミリーサポートセンター事業の利用

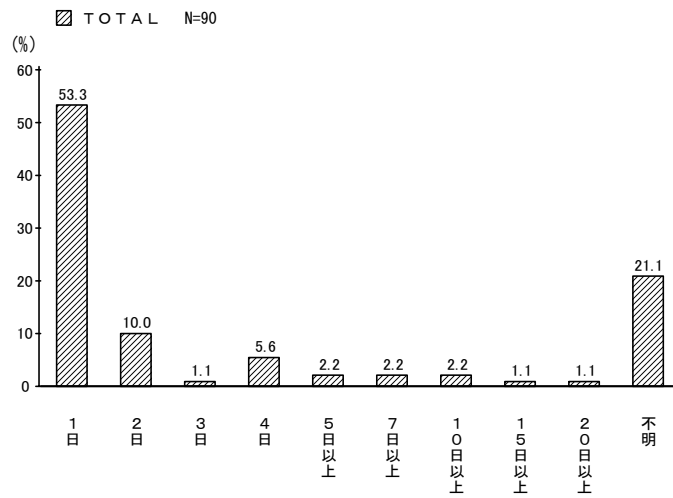


ファミリーサポートセンター事業の利用目的



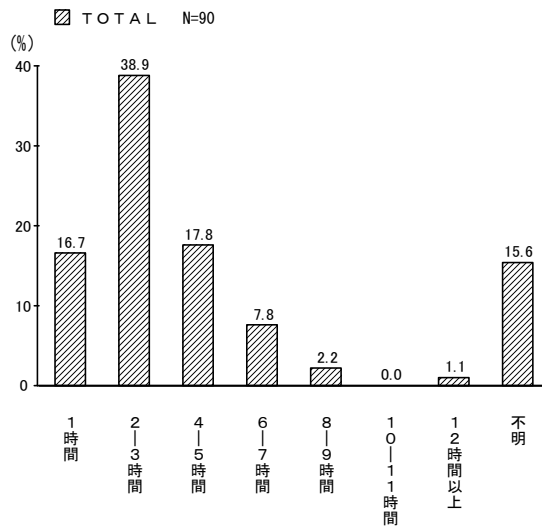
一ヶ月当たりファミリーサポートセンター事業利用日数

平均 2.3 日



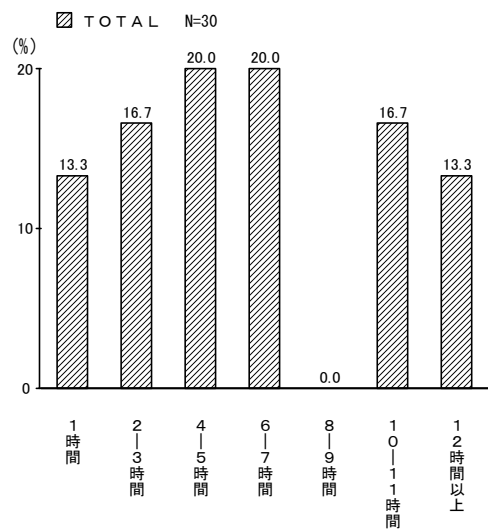
1回当たりファミリーサポートセンター事業利用時間

平均 3.2 時間



一ヶ月当たりファミリーサポートセンター事業利用意向時間

平均 7.4 時間



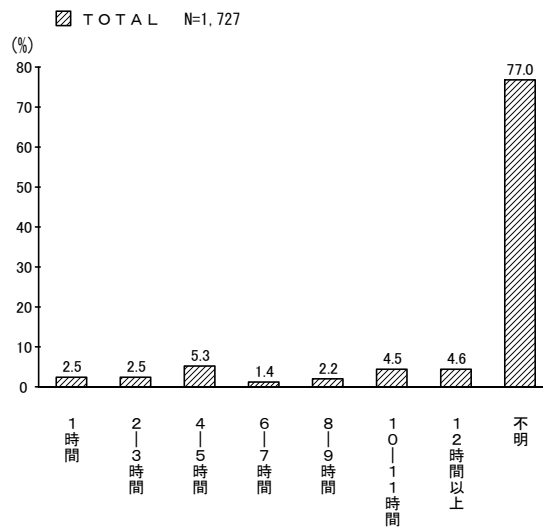
(注)「不明」は除く。

問19-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業について、今は利用していないが、できれば利用したい人に、利用希望時間を聞いたところ、「不明(無回答)」が多く、利用意向がある人の平均希望時間は9.3時間となっている。

現在非利用者の一ヶ月当たりファミリーサポートセンター事業利用意向時間

平均 9.3 時間

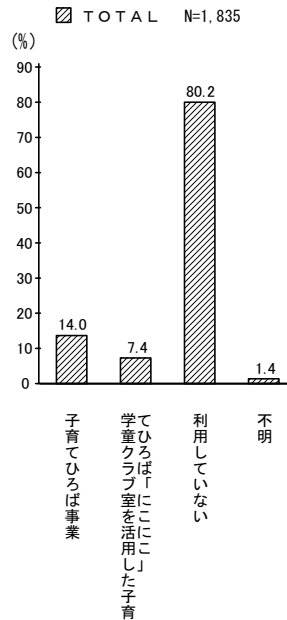


問20 封筒の宛名のお子さんは、現在、子育てのひろば（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、ぴよぴよ、民設子育てのひろば、児童館の乳幼児を対象とした子育て支援事業）を利用していますか。（複数回答）

子育てひろば事業で利用しているものについて聞いたところ、「利用していない」が80.2%で最も多くなっている。

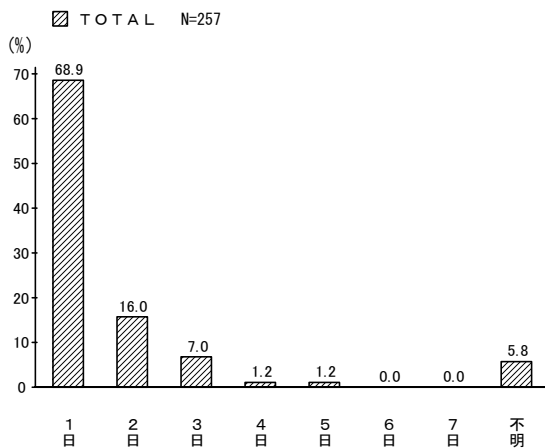
子育てひろば事業を利用している人の平均利用日数は1.3日、学童クラブ室を活用した子育てひろば「にこにこ」は平均1.4日利用している。

子育てひろば事業で利用しているもの



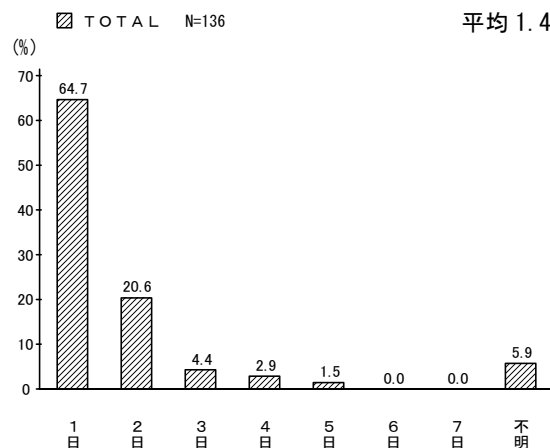
子育てひろば事業

平均 1.3 日



学童クラブ室を活用した子育てひろば「にこにこ」

平均 1.4 日

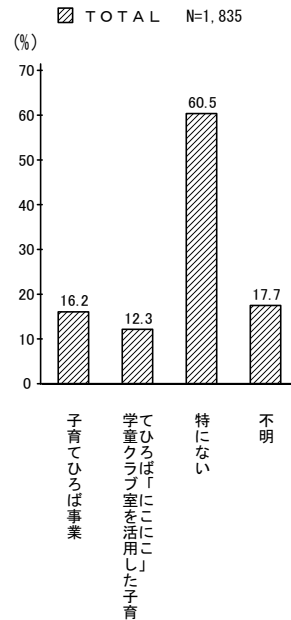


問 2 1 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。

子育てひろば事業について、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思っているものについて聞いたところ、「特にない」が 60.5%で最も多くなっており、続いて「子育てひろば事業」が 16.2%となっている。

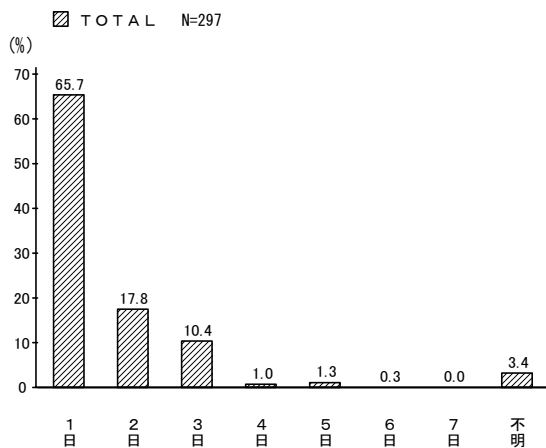
子育てひろば事業の利用ニーズの平均日数は 1.5 日、学童クラブ室を活用した子育てひろば「にこにこ」は平均 1.5 日利用ニーズがある。

利用者・子育てひろば事業の中で利用したいもの



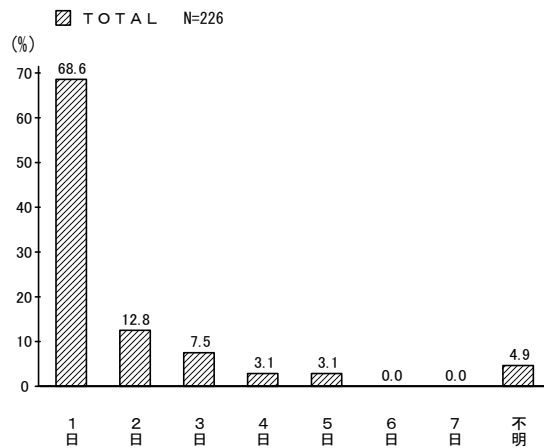
子育てひろば事業ニーズ

平均 1.5 日



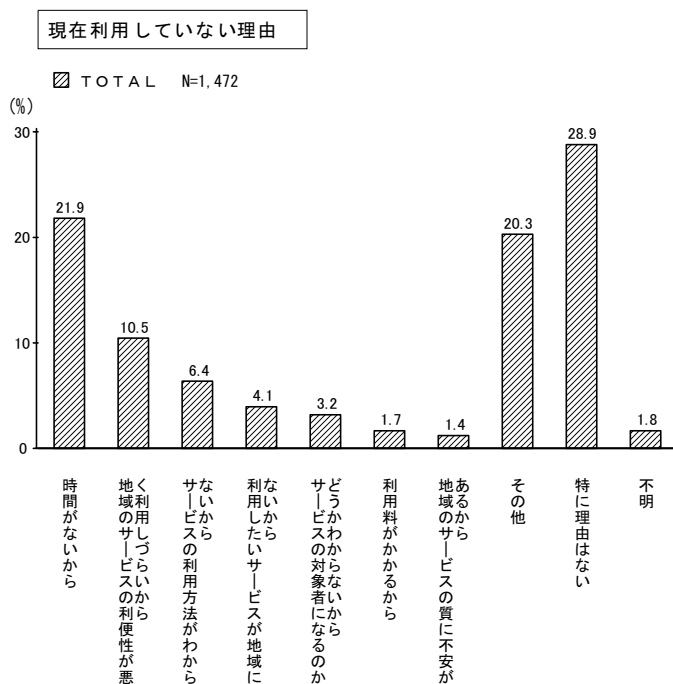
学童クラブ室を活用した子育てひろば「にこにこ」ニーズ

平均 1.5 日



問21-1 [問20で3を選択] 現在利用していない理由はどのようなことですか。

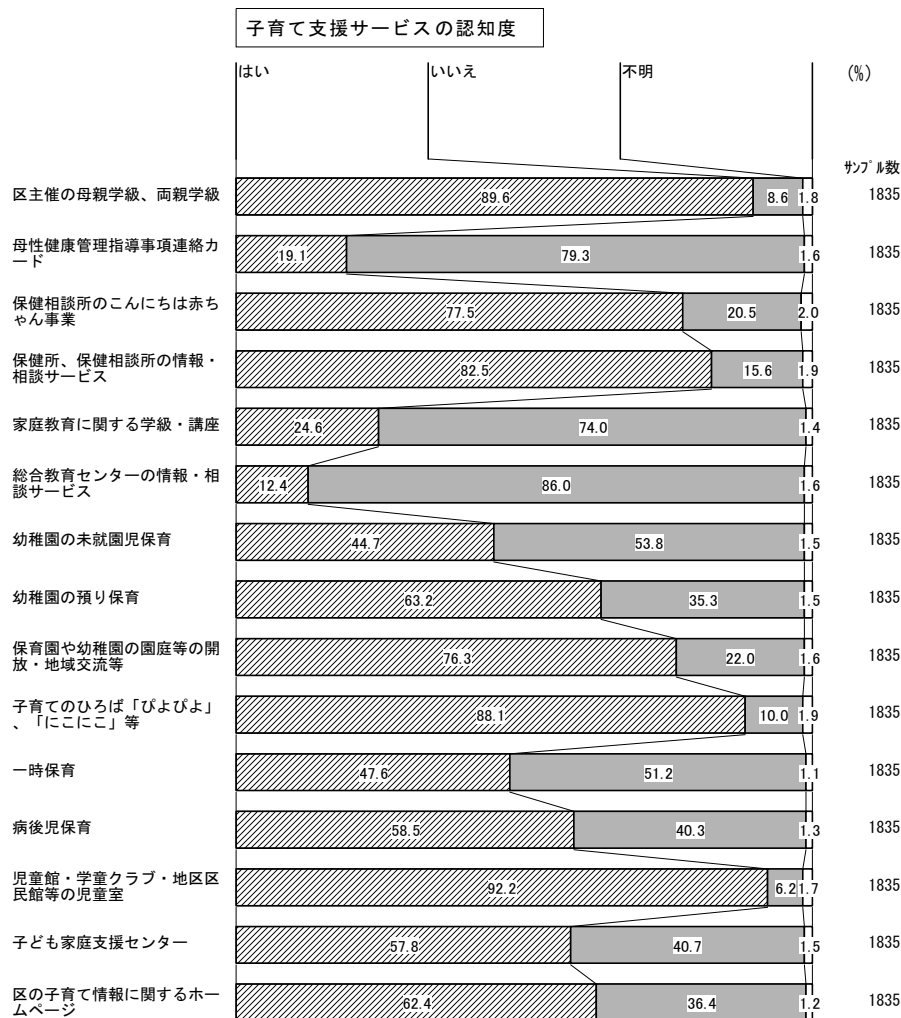
子育てひろば事業について、現在利用していない理由を聞いたところ、「特に理由はない」は28.9%で最も多くなっており、続いて「時間がないから」が21.9%となっている。



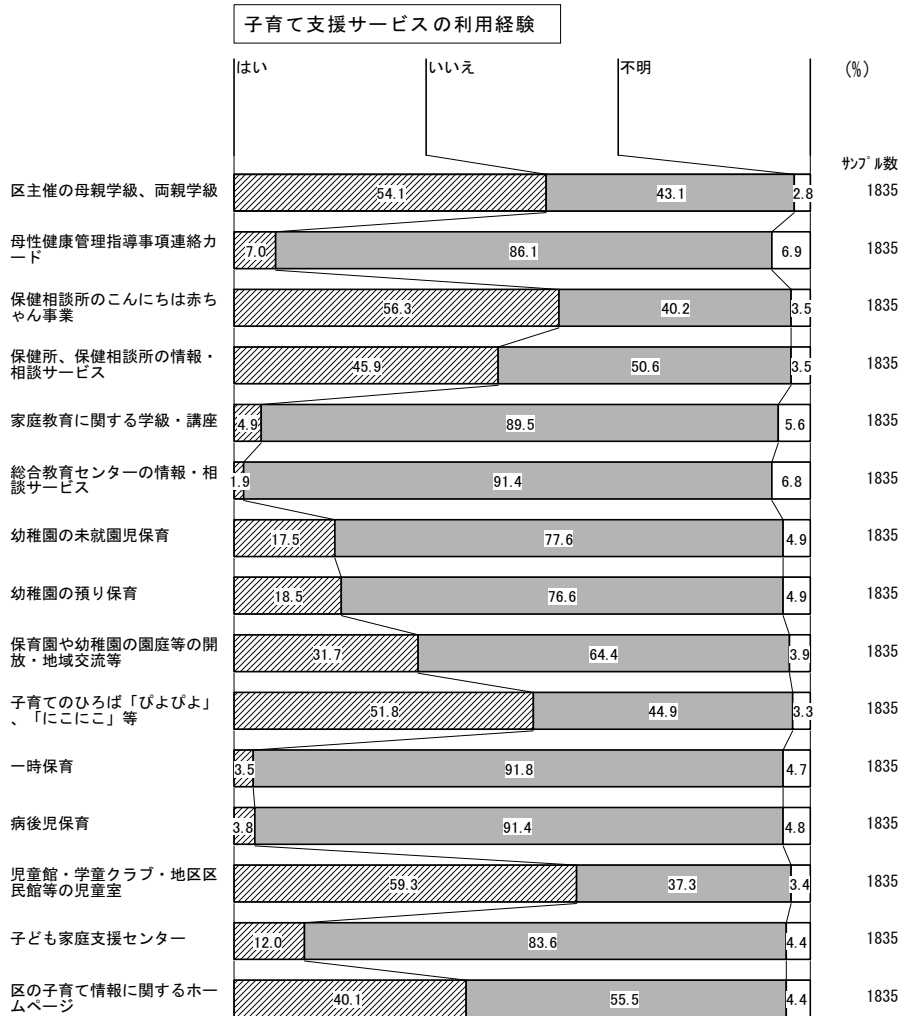
(7) 子育て支援サービスについて

問22 サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

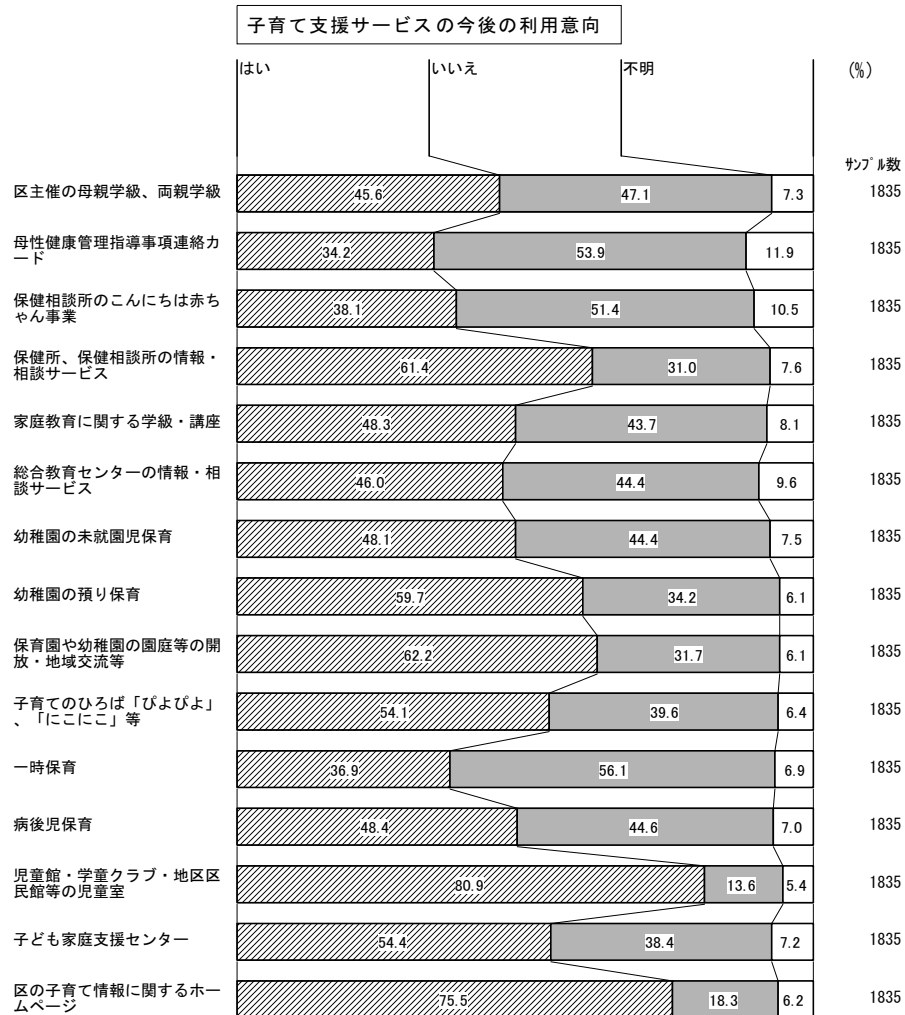
子育て支援サービスの認知度・利用度について、それぞれのサービス内容別に聞いたところ、「児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」(92.2%)、「区主催の母親学級、両親学級」(89.6%)、「子育てのひろば「びよびよ」「にこにこ」等」(88.1%)、「保健所、保健相談所の情報・相談サービス」(82.5%)が多くなっている。



子育て支援サービスの利用経験について、それぞれのサービス内容別に聞いたところ、「児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」(59.3%)、「保健相談所のこんにちは赤ちゃん事業」(56.3%)、「区主催の母親学級、両親学級」(54.1%)が多くなっている。

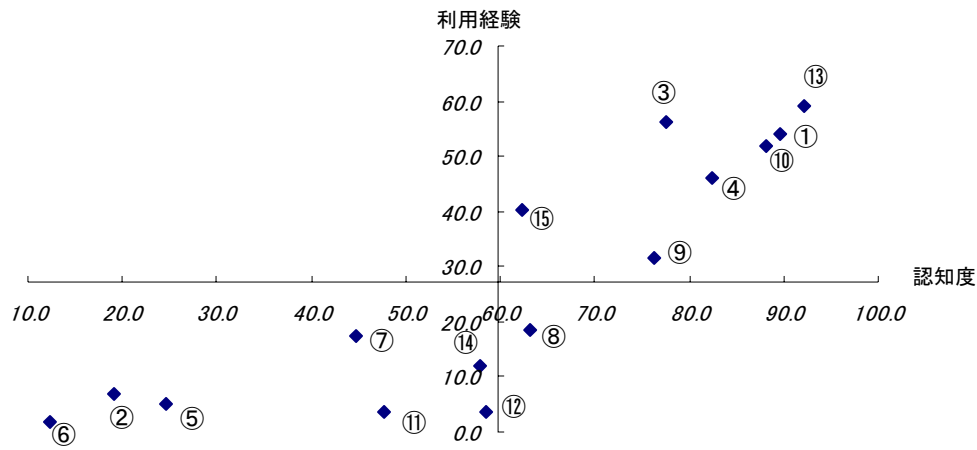


子育て支援サービスの利用意向について、それぞれのサービス内容別に聞いたところ、「児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」(80.9%)、「区の子育て情報に関するホームページ」(75.5%)、「保育園や幼稚園の園庭等の開放、地域交流等」(62.2%)、「保健所、保健相談所の情報・相談サービス」(61.4%)が多くなっている。



子育て支援サービスの認知度、利用経験、利用意向について聞いたところ、「⑬児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」や「①区主催の母親学級、両親学級」や「⑩子育てのひろば「ぴよぴよ」「にこにこ」等」、などの認知度と利用経験が高く、一方「⑥総合教育センターの情報・相談サービス」「②母性健康管理指導事項連絡カード」などがいずれも低くなっている。

子育て支援サービスの認知度&利用経験マトリックス

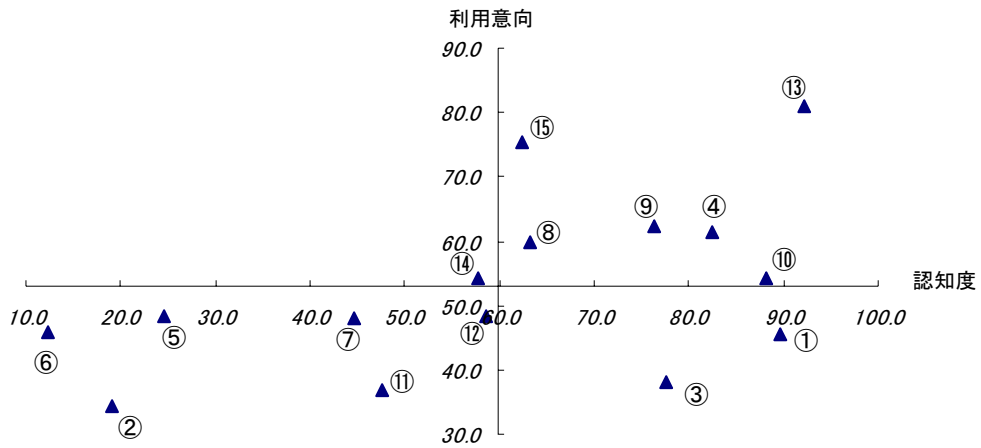


- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①区主催の母親学級、両親学級 | ⑨保育園や幼稚園の園庭等の開放・地域交流等 |
| ②母性健康管理指導事項連絡カード | ⑩子育てのひろば「ぴよぴよ」、「にこにこ」等 |
| ③保健相談所のこんには赤ちゃん事業 | ⑪一時保育 |
| ④保健所、保健相談所の情報・相談サービス | ⑫病後児保育 |
| ⑤家庭教育に関する学級・講座 | ⑬児童館・学童クラブ・地区区民館等の児童室 |
| ⑥総合教育センターの情報・相談サービス | ⑭子ども家庭支援センター |
| ⑦幼稚園の未就園児保育 | ⑮区の子育て情報に関するホームページ |
| ⑧幼稚園の預り保育 | |

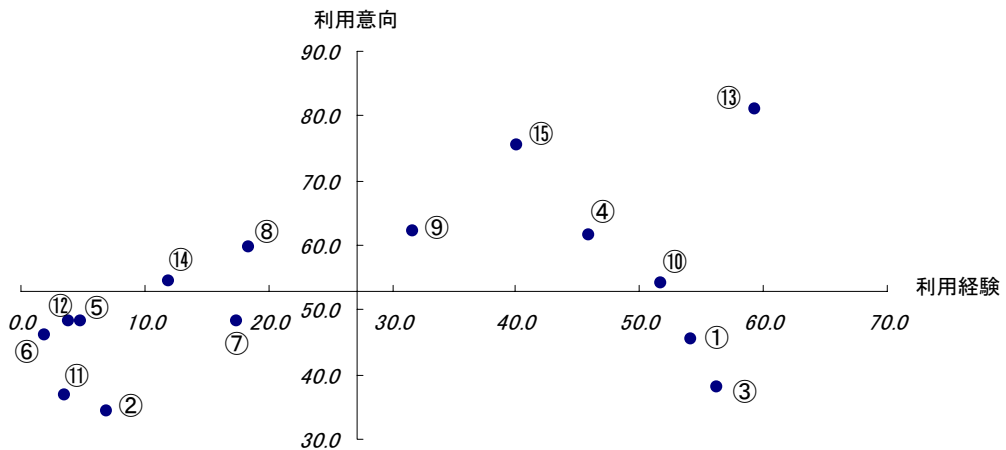
次に認知度と利用意向との関係で見ると、やはり「⑬児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」などについては認知、利用意向ともに高くなっているが、「⑥総合教育センターの情報・相談サービス」「②母性健康管理指導事項連絡カード」などがいずれも低くなっている。また「③保健相談所のこんには赤ちゃん事業」については、認知度が高い一方、利用意向はやや低くなっている。

最後に利用経験と利用意向との関係で見ると、同様に「⑬児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」などについては利用経験、利用意向ともに高くなっているが、「②母性健康管理指導事項連絡カード」「⑪一時保育」などがいずれも低くなっている。また「③保健相談所のこんには赤ちゃん事業」については、利用経験が高い一方、利用意向はやや低くなっており、「⑧幼稚園の預り保育」などについては、利用経験が低い一方、利用意向は高くなっている。

子育て支援サービスの認知度&利用意向マトリックス



子育て支援サービスの利用経験&利用意向マトリックス



- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①区主催の母親学級、両親学級 | ⑨保育園や幼稚園の園庭等の開放・地域交流等 |
| ②母性健康管理指導事項連絡カード | ⑩子育てのひろば「ぴよぴよ」、「にこにこ」等 |
| ③保健相談所のこんにちは赤ちゃん事業 | ⑪一時保育 |
| ④保健所、保健相談所の情報・相談サービス | ⑫病後児保育 |
| ⑤家庭教育に関する学級・講座 | ⑬児童館・学童クラブ・地区区民館等の児童室 |
| ⑥総合教育センターの情報・相談サービス | ⑭子ども家庭支援センター |
| ⑦幼稚園の未就園児保育 | ⑮区の子育て情報に関するホームページ |
| ⑧幼稚園の預り保育 | |

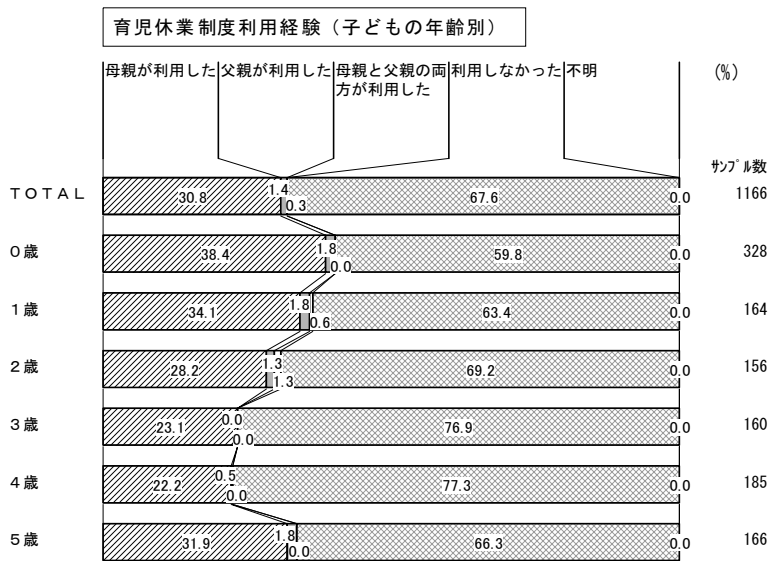
(8) 育児休業制度について

問23 封筒の宛名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。
問23-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。

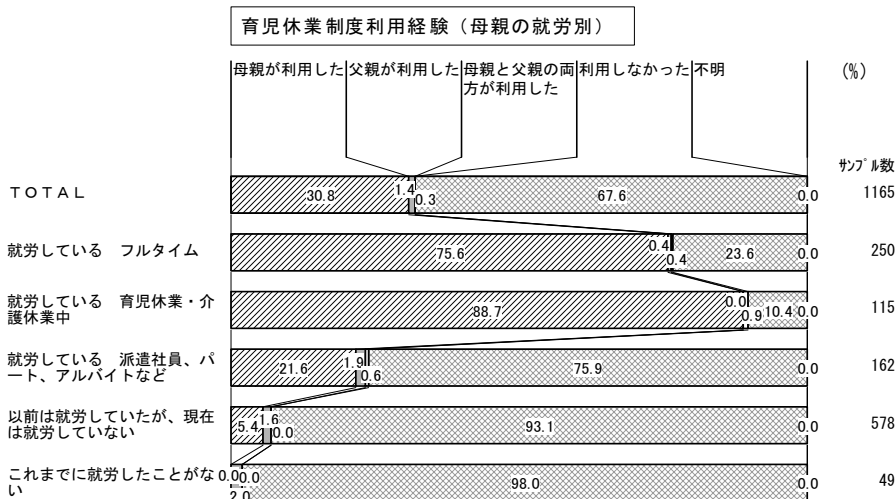
母親又は父親の育児休業制度利用経験について聞いたところ、「利用しなかった」が67.6%で最も多く、続いて「母親が利用した」が30.8%となっている。

子どもの年齢別に見ると、全体的に「利用しなかった」が多くなっており、特に「3歳」「4歳」で多くなっている。

母親の就労別に見ると、就労している場合は「母親が利用」が多く、以前は就労していたが現在は就労していないなどの場合は、「利用しなかった」が多くなっている。



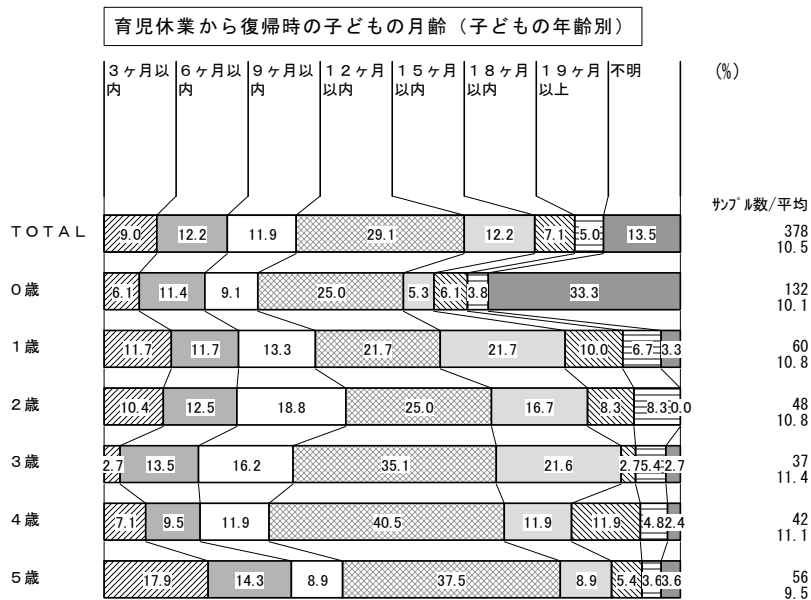
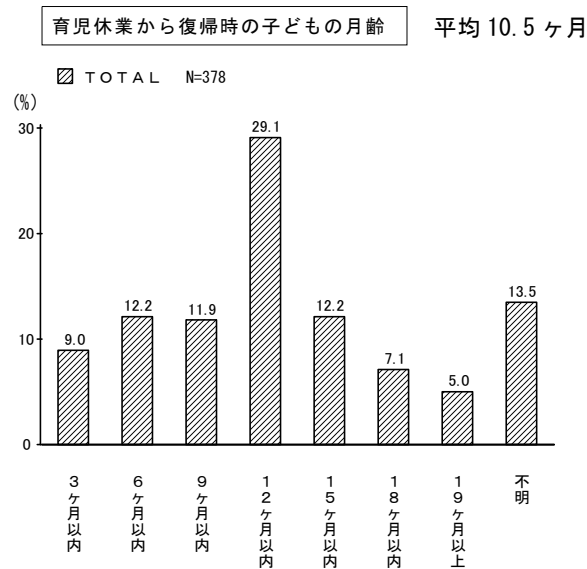
(注) 表頭、表側の「不明」は除く。



(注) 表頭、表側の「不明」は除く。

育児休業制度を利用したと回答した人に、復帰時の子どもの月齢を聞いたところ、平均 10.5 ヶ月であった。

子どもの年齢別に見ると、全体的には「12ヶ月以内」が最も多くなっているが、5歳児では「3ヶ月以内」などもやや多くなっている。

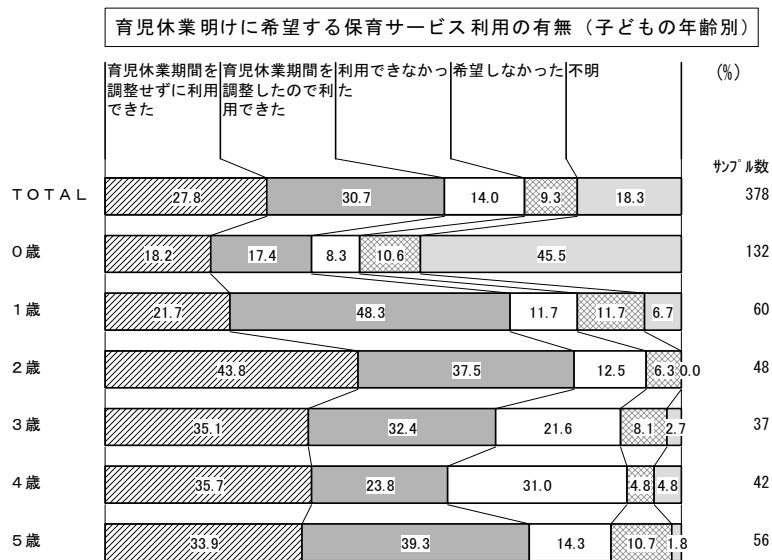


- 問23-2 [問23で1~3を選択] 育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できましたか。
 問23-3 [問23-2で2を選択] 育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。
 問23-4 [問23-2で3を選択] どのように対応されましたか。

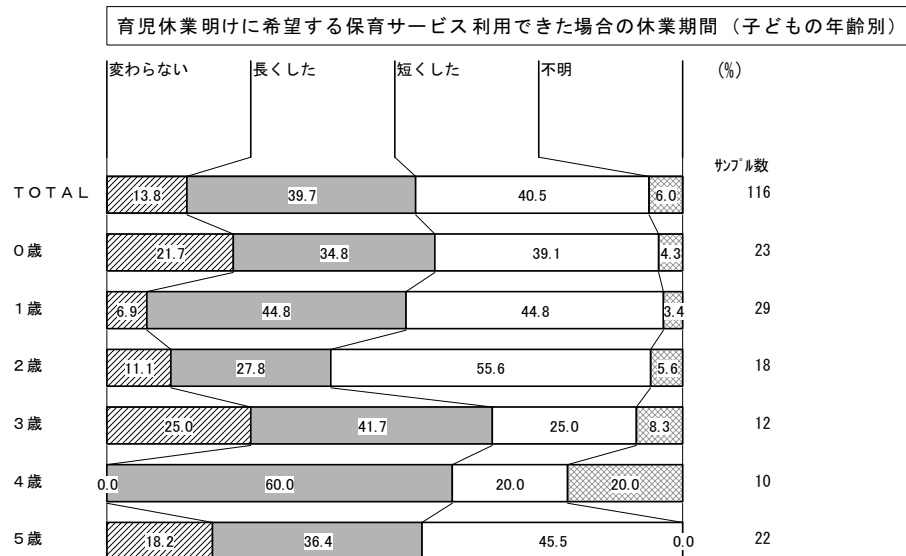
育児休業制度を利用したと回答した人に、育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できたかを聞いたところ、「育児休業期間を調整したので利用できた」が30.7%で最も多く、続いて「育児休業期間を調整せずに利用できた」が27.8%となっている。

子どもの年齢別に見てみると、「育児休業期間を調整したので利用できた」や「育児休業期間を調整せずに利用できた」は、2歳児の親の場合特に多くなっている。

育児休業明けに希望する保育サービス利用できた場合の休業期間を聞いたところ、「短くした」が40.5%、「長くした」が39.7%となっている。



(注) 表側の「不明」は除く。

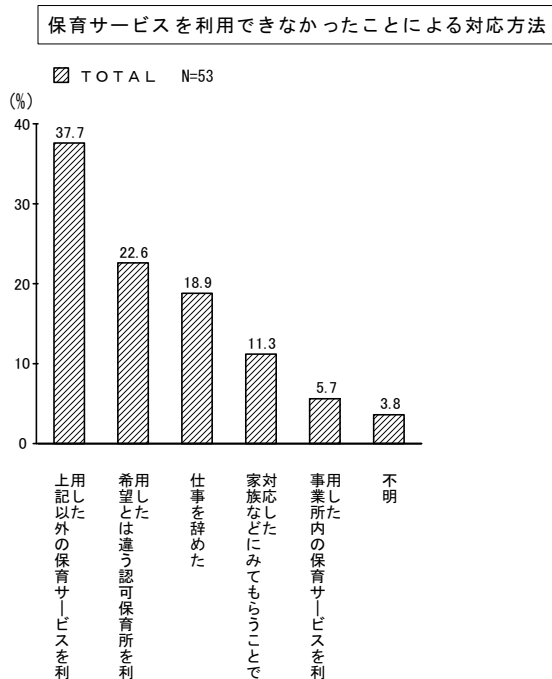
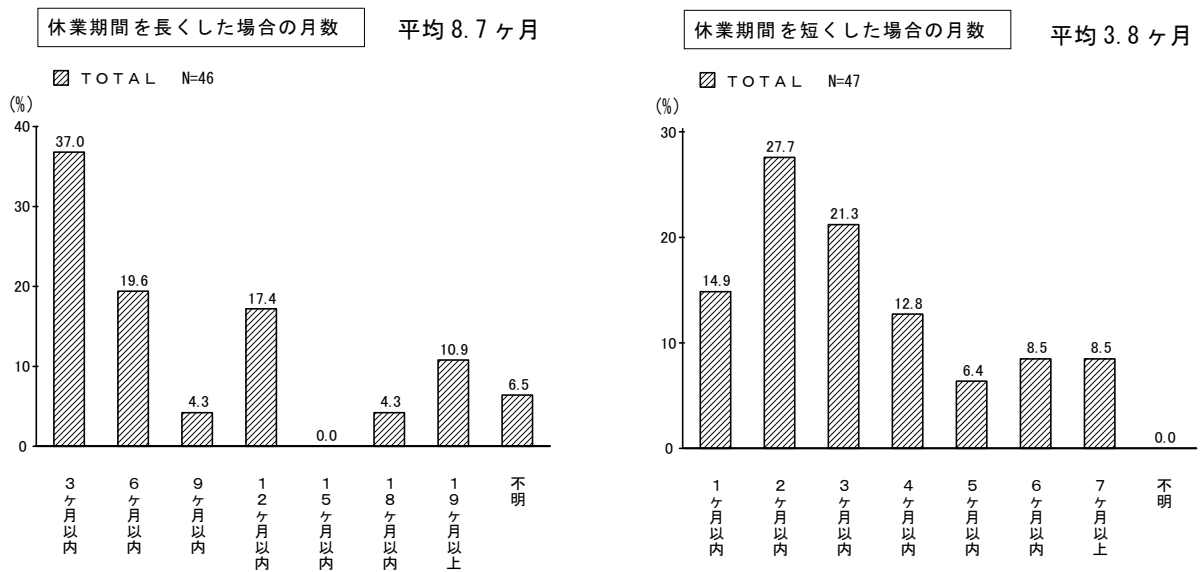


(注) 表側の「不明」は除く。

育児休業明けに希望する保育サービス利用できた場合の休業期間を「長くした」と回答した人に、その月数を聞いたところ、平均8.7ヶ月となっている。

育児休業明けに希望する保育サービス利用できた場合の休業期間を「短くした」と回答した人に、その月数を聞いたところ、平均3.8ヶ月となっている。

育児休業明けに、希望する保育サービスをすぐ利用できなかったと回答した人に、対応方法を聞いたところ、「上記以外の保育サービスを利用した」が37.7%で最も多く、続いて「希望とは違う認可保育所を利用した」が22.6%となっている。



(9) 子育ての悩み、相談等について

- 問24** あなたは子育てに関して、不安感や負担感などを、どの程度お感じになっていますか。
問25 あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。(複数回答)
問26 あなたが子育てをするうえで、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。(複数回答)

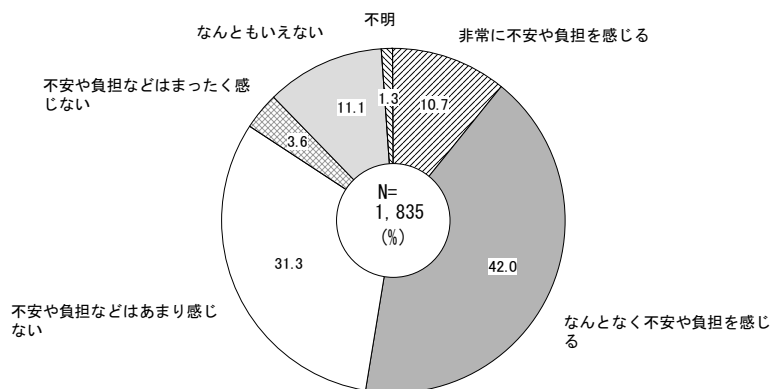
子育てに関する不安感や負担感については、不安や負担を感じる(「非常に不安や負担を感じる」+「なんとなく不安や負担を感じる」)は52.7%、不安や負担などは感じない(「あまり不安や負担などは感じない」+「不安や負担などはまったく感じない」)は34.9%となっている。(なお、以降で行う「不安感や負担感の有無タイプ分析」では、前者を『不安や負担を感じる』タイプ、後者を『不安や負担などは感じない』タイプとして分析している)。

平成15年度(前期調査)と比較すると、不安感や負担感は増加傾向にある。

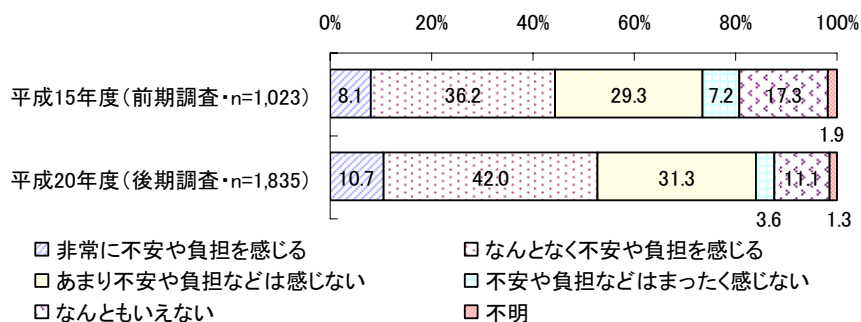
子どもの年齢別に見てみると、不安や負担を感じているのは「2歳児」「3歳児」の世帯でやや多くなっている。

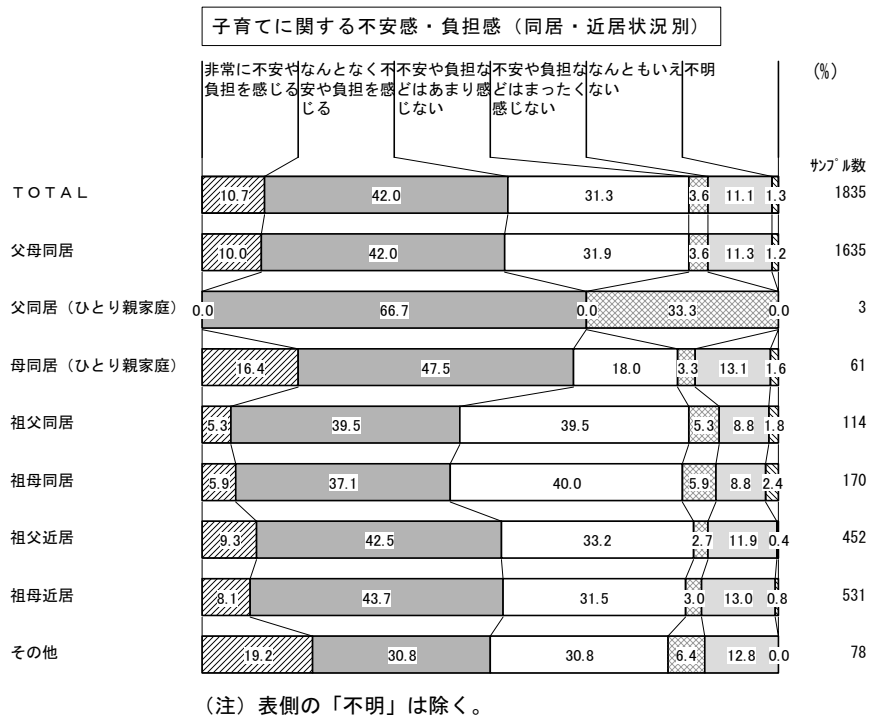
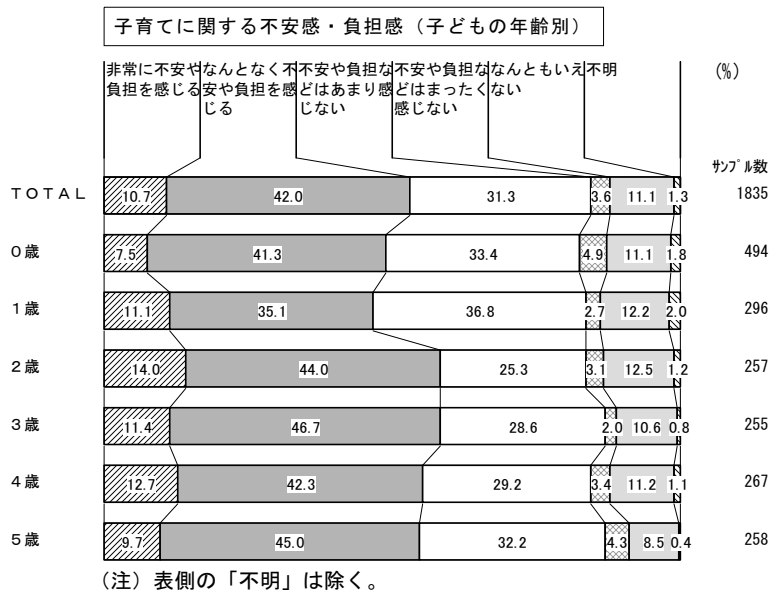
同居・近居状況別に見ると、ひとり親家庭で多くなっている。

子育てに関する不安感や負担感



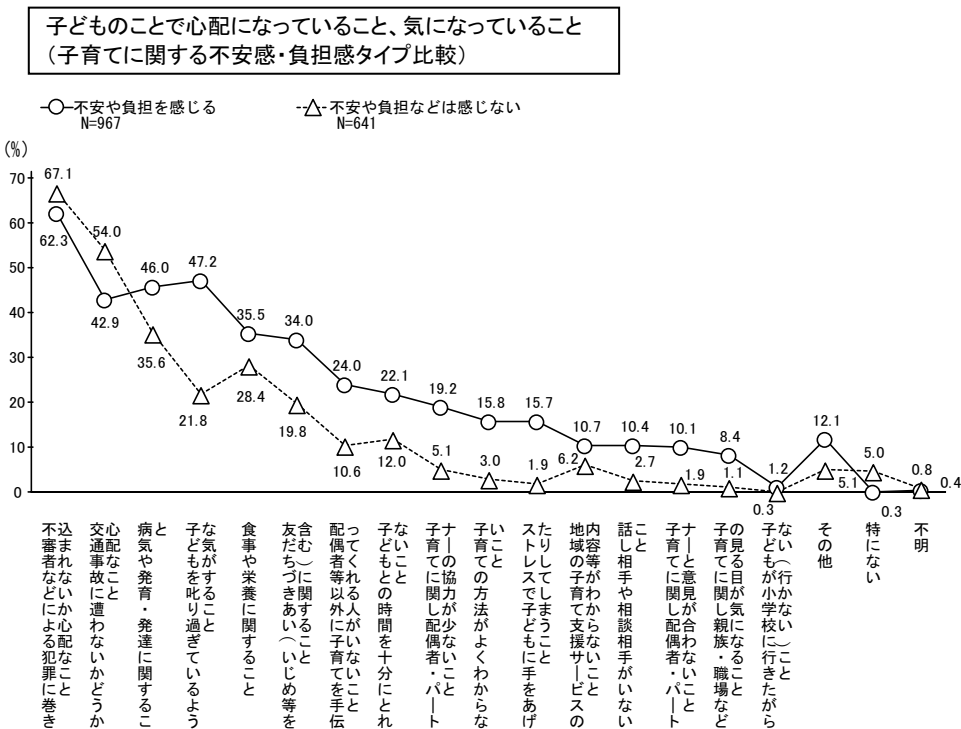
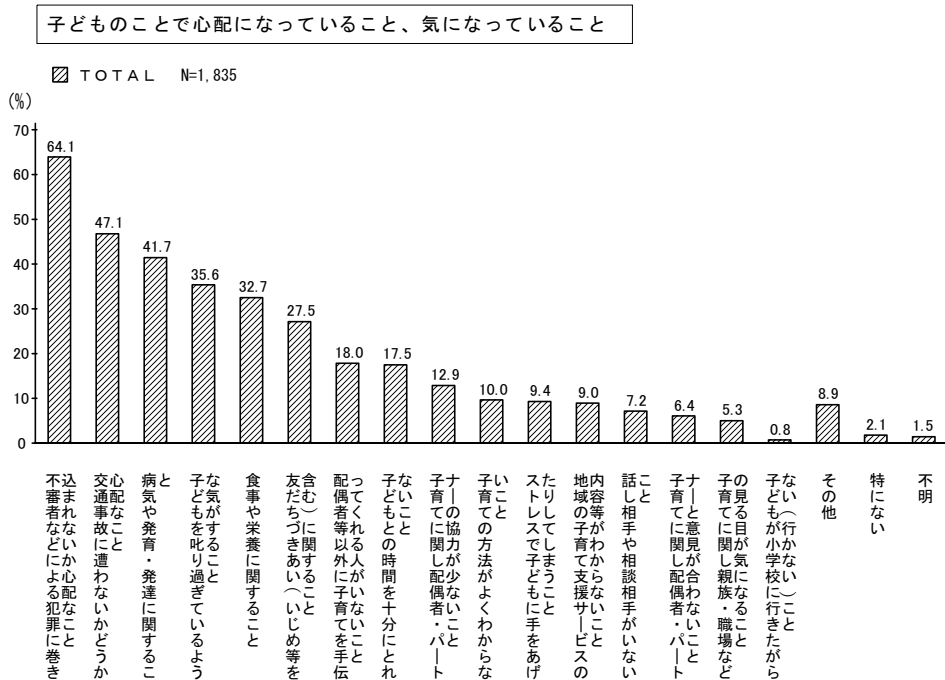
子育てに関する不安感や負担感(時系列比較)





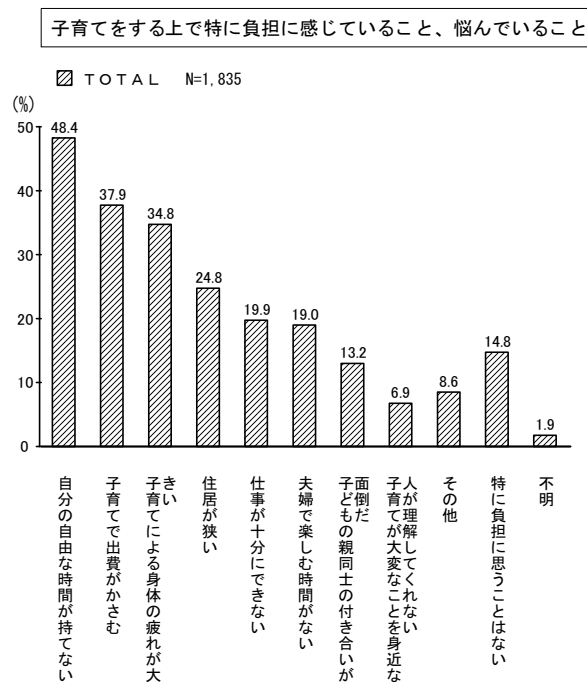
子どものことで心配に感じていること、気になっていることについて見てみると、「不審者などによる犯罪に巻き込まれないか心配なこと」が64.1%で最も多くなっており、続いて「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」が47.1%、「病気や発育・発達に関すること」が41.7%となっている。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、いずれも「犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと」が最も多くなっているが、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べて多くなっている。



子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいることについて見てみると、「自分の自由な時間が持てない」が48.4%、「子育てで出費がかさむ」が37.9%、「子育てによる身体の疲れが大きい」が34.8%となっている。

子どもの数別に見てみると、いずれの場合も「自分の自由な時間が持てない」や「子育てで出費がかさむ」が多くなっているが、4人以上の家庭などでは「住居が狭い」が多くなっている。



子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいること(子どもの数別)

	TOTAL	自分の自由な時間が持てない	子育てで出費がかさむ	子育てによる身体の疲れが大きい	住居が狭い	仕事が多忙すぎてできない	夫婦で楽しむ時間がない	子どもの親同士の付き合いが面倒だ	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	その他	特に負担に思うことはない	不明
TOTAL	1835	48.4	37.9	34.8	24.8	19.9	19.0	13.2	6.9	8.6	14.8	1.9
1人	687	47.5	33.6	37.8	23.0	21.3	18.6	13.0	8.6	9.5	15.1	2.5
2人	877	49.1	37.9	32.3	23.9	17.8	20.2	14.1	5.7	8.7	15.7	1.7
3人	223	48.0	45.7	39.0	31.4	22.9	17.0	12.6	5.8	5.8	11.7	0.9
4人以上	38	47.4	68.4	13.2	34.2	21.1	10.5	2.6	7.9	7.9	10.5	2.6

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいることについて、子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「自分の自由な時間が持てない」や「子育てで出費がかさむ」が多くなっており、年齢による大きな差はない。

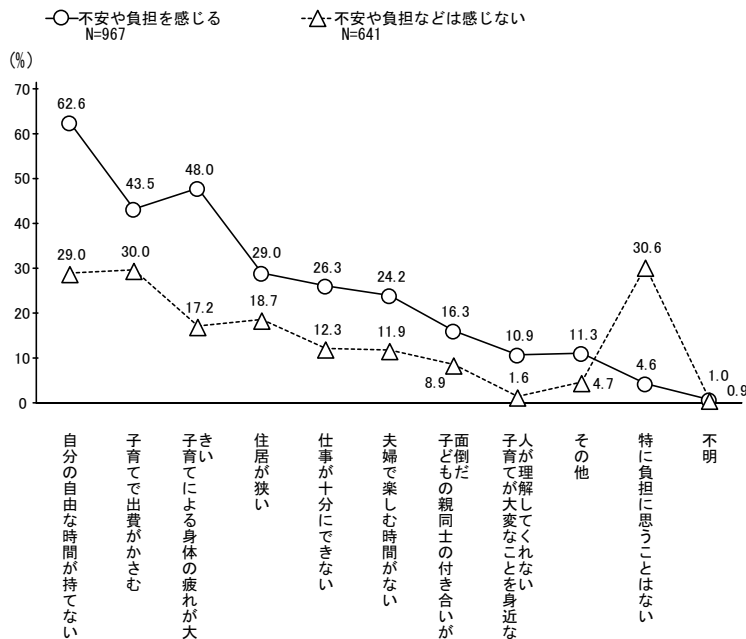
不安感や負担感の有無タイプで見えてみると、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べて2倍程度多くなっている。

子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいること(子どもの年齢別)

	TOTAL	自分の自由な時間が持てない	子育てで出費がかさむ	子育てによる身体の疲れが大きい	住居が狭い	仕事が多すぎてできない	夫婦で楽しむ時間がない	子どもの親同士の付き合いが面倒だ	近所の人が大変なことを身が理解してくれない	その他	特に負担に思うことはない	不明
TOTAL	1835	48.4	37.9	34.8	24.8	19.9	19.0	13.2	6.9	8.6	14.8	1.9
0歳	494	52.0	36.2	39.5	28.3	17.4	21.9	9.7	5.7	7.5	14.4	2.2
1歳	296	51.4	33.1	38.9	23.0	18.6	21.6	11.1	6.1	10.1	13.5	2.4
2歳	257	56.8	36.6	40.5	25.3	18.3	18.7	13.6	8.2	8.9	10.1	1.6
3歳	255	46.3	40.8	33.7	23.1	23.5	19.2	13.7	9.4	10.6	14.1	1.6
4歳	267	41.6	42.7	25.8	21.3	21.0	15.0	17.6	5.6	9.0	18.0	1.9
5歳	258	38.8	39.9	25.6	24.0	23.6	14.7	16.7	7.4	6.2	19.4	1.6

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

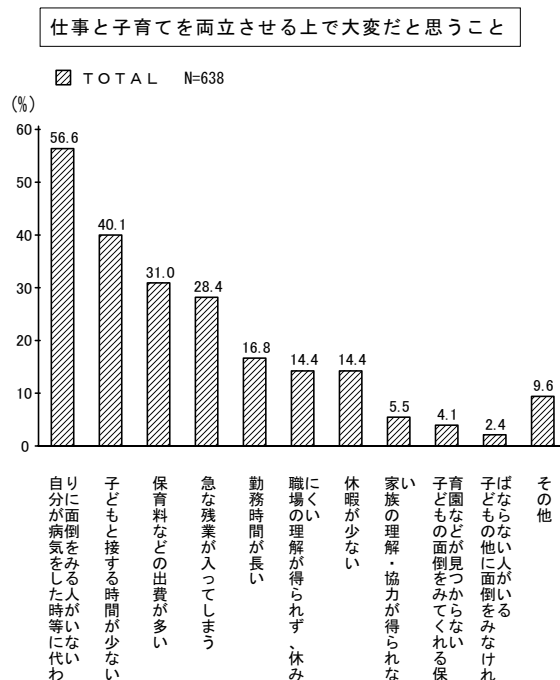
子育てをする上で特に負担に感じていること、悩んでいること
(子育てに関する不安感・負担感タイプ比較)



- 問27 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。(3つまで)
- 問28 あなたが仕事と子育てを両立させるために職場に望むことは、どのようなことですか。(2つまで)

仕事と子育てとを両立させる上で大変だと感じていることについては（「不明」サンプルを除く）、「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」が56.6%で最も多く、続いて「子どもと接する時間が少ない」が40.1%となっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」「子どもと接する時間が少ない」が多くなっているが、「2歳児」では「急な残業が入ってしまう」などが多くなっている。



(注)「不明」は除く。以下同じ。

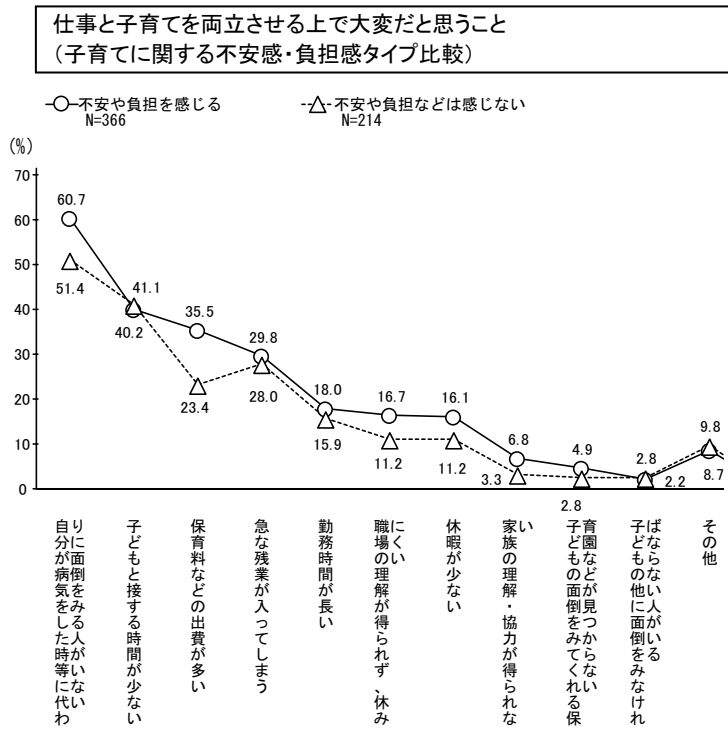
仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じること (子どもの年齢別)

	TOTAL	自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない	子どもと接する時間が少ない	保育料などの出費が多い	急な残業が入ってしまう	勤務時間が長い	ににくい	職場の理解が得られず、休み	休暇が少ない	家族の理解・協力が得られない	保育園などが見つかからない	子どもがいない人がいる	その他
TOTAL	638	56.6	40.1	31.0	28.4	16.8	14.4	14.4	5.5	4.1	2.4	9.6	
0歳	136	58.8	33.8	33.8	34.6	26.5	17.6	19.1	5.9	1.5	2.9	6.6	
1歳	99	59.6	36.4	43.4	24.2	9.1	6.1	10.1	5.1	7.1	2.0	9.1	
2歳	85	55.3	54.1	28.2	35.3	17.6	11.8	11.8	5.9	0.0	2.4	11.8	
3歳	102	53.9	41.2	32.4	24.5	15.7	20.6	17.6	4.9	3.9	2.0	9.8	
4歳	101	56.4	33.7	27.7	26.7	10.9	12.9	12.9	6.9	5.9	2.0	11.9	
5歳	110	54.5	43.6	20.0	22.7	18.2	16.4	12.7	4.5	6.4	2.7	10.0	

(注)網掛けは30%以上。また表頭、表側の「不明」は除く。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べてやや多くなっており、特に「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」「保育料などの出費が多い」についての両者の開きが大きくなっている。

母親の就労別に見てみると、いずれの場合でも「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」「子どもと接する時間が少ない」が多くなっているが、就労している場合には「急な残業が入ってしまう」が多くなっている。



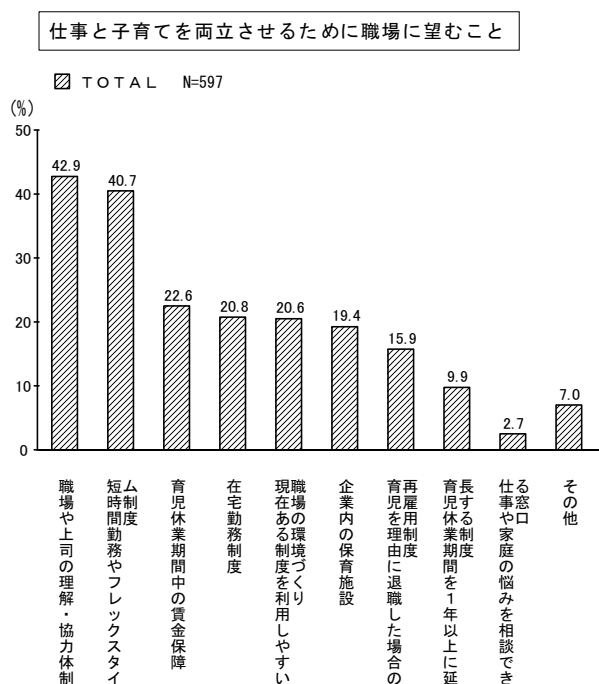
仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じること (母親の就労別)

	TOTAL	自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない	子どもと接する時間が少ない	保育料などの出費が多い	急な残業が入ってしまう	勤務時間が長い	職場の理解が得られず、休みにくい	休暇が少ない	家族の理解・協力が得られない	保育園などが見つけられない	子どもなどの面倒をみなければならぬ	その他
TOTAL	635	56.5	40.0	31.2	28.3	16.7	14.5	14.3	5.5	4.1	2.4	9.6
就労している フルタイム	280	58.9	49.6	26.1	32.5	21.8	13.9	18.6	2.5	3.9	2.5	8.9
就労している 育児休業・介護休業中	69	62.3	43.5	27.5	47.8	24.6	26.1	17.4	5.8	2.9	4.3	11.6
就労している 派遣社員、パート、アルバイトなど	218	57.3	26.6	40.8	17.4	3.7	11.5	6.0	9.6	3.7	1.8	10.6
以前は就労していたが、現在は就労していない	53	41.5	39.6	22.6	30.2	32.1	13.2	20.8	3.8	7.5	1.9	7.5
これまでに就労したことがない	6	33.3	50.0	50.0	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「これまでに就労したことがない」はサンプルが少ないため参考値とする。表側の「不明」は除く。

仕事と子育てを両立させるために職場に望むことについて聞いたところ（「不明」サンプルは除く）、
「職場や上司の理解・協力体制」が42.9%で最も多く、続いて「短時間勤務やフレックスタイム制度」
が40.7%となっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「職場や上司の理解・協力体制」や「短時間勤務
やフレックスタイム制度」が多くなっているが、「5歳児」については「在宅勤務制度」も多くなっ
ている。



(注)「不明」は除く。以下同じ。

仕事と子育てを両立させるために職場に望むこと（子どもの年齢別）

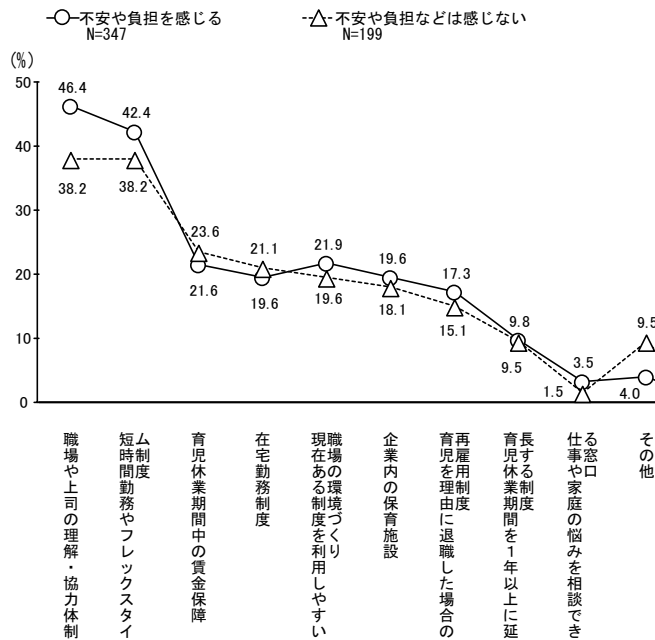
	TOTAL	職場や上司の理解・協力体制	短時間勤務やフレックスタイム制度	育児休業期間中の賃金保障	在宅勤務制度	現在ある職場の環境を利用しやすい	企業内の保育施設	育児を理由に退職した場合の再雇用制度	育児休業期間を1年以上に延長する制度	仕事や家庭の悩みを相談できる窓口	その他
TOTAL	597	42.9	40.7	22.6	20.8	20.6	19.4	15.9	9.9	2.7	7.0
0歳	133	42.9	42.1	26.3	25.6	17.3	27.1	10.5	14.3	0.8	6.0
1歳	90	35.6	41.1	27.8	17.8	24.4	14.4	16.7	11.1	4.4	6.7
2歳	82	35.4	35.4	29.3	20.7	24.4	14.6	19.5	13.4	1.2	7.3
3歳	94	50.0	39.4	21.3	10.6	25.5	23.4	19.1	11.7	4.3	7.4
4歳	92	44.6	33.7	21.7	16.3	19.6	25.0	15.2	3.3	4.3	10.9
5歳	102	47.1	51.0	8.8	30.4	13.7	9.8	17.6	3.9	2.0	4.9

(注)網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べて多くなっており、特に「職場や上司の理解・協力体制」についての両者の開きが大きくなっている。

母親の就労別に見ると、全体的に「職場や上司の理解・協力体制」「短時間勤務やフレックスタイム制度」が多くなっているが、就労している場合については「在宅勤務制度」も多くなっている。

仕事と子育てを両立させるために職場に望むこと
(子育てに関する不安感・負担感タイプ比較)



仕事と子育てを両立させるために職場に望むこと (母親の就労別)

	TOTAL	職場や上司の理解・協力体制	短時間勤務やフレックスタイム制度	育児休業期間中の賃金保障	在宅勤務制度	現在ある制度を利用しやすい	企業内の保育施設	育児を理由に退職した場合	育児休業期間を1年以上に延長する制度	仕事や家庭の悩みを相談できる窓口	その他
TOTAL	596	42.8	40.8	22.7	20.8	20.6	19.5	15.9	9.9	2.7	7.0
就労している フルタイム	263	39.5	45.2	24.7	19.0	20.5	17.1	11.0	12.2	2.3	8.7
就労している 育児休業・介護休業中	72	55.6	47.2	26.4	29.2	18.1	25.0	15.3	9.7	1.4	1.4
就労している 派遣社員、パート、アルバイトなど	192	42.2	32.8	21.4	18.8	23.4	22.4	25.5	7.8	4.2	6.3
以前は就労していたが、現在は就労していない	57	42.1	38.6	15.8	28.1	17.5	14.0	8.8	7.0	1.8	7.0
これまでに就労したことがない	6	33.3	66.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「これまでに就労したことがない」はサンプルが少ないため参考値とする。表側の「不明」は除く。

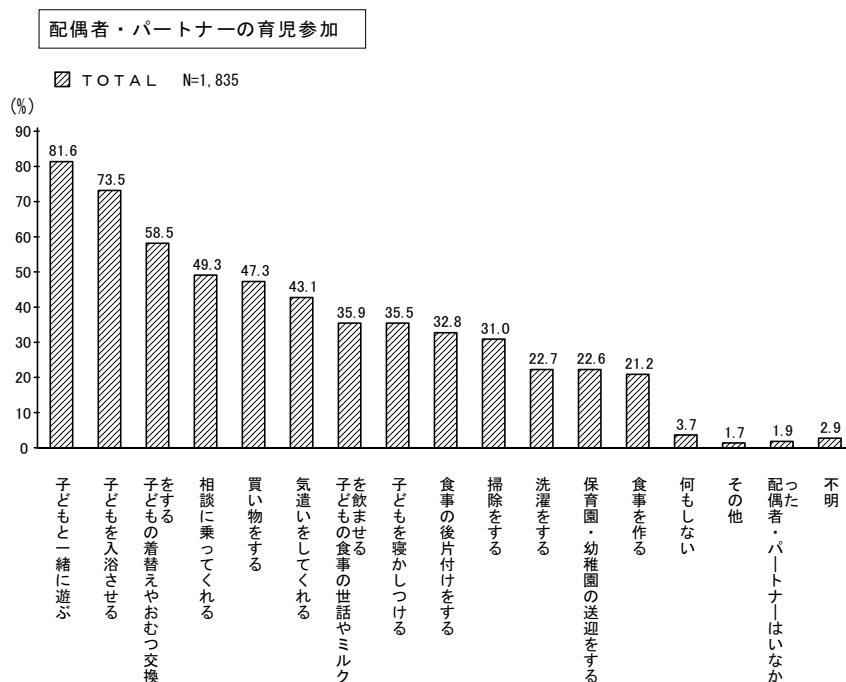
問29 あなたの配偶者・パートナーは、育児（おおむね3歳以下）にどのような形で参加していますか（いましたか）。（複数回答）

問29-1 配偶者・パートナーの育児参加の仕方に満足していますか（いましたか）。

問29-2 あなた自身が配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいと思う（思った）ことを挙げてください。（複数回答）

配偶者・パートナーの育児へ参加形態について聞いたところ、「子どもと一緒に遊ぶ」が81.6%で最も多く、続いて「子どもを入浴させる」が73.5%となっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「子どもと一緒に遊ぶ」「子どもを入浴させる」が多くなっている。



配偶者・パートナーの育児への参加形態（子どもの年齢別）

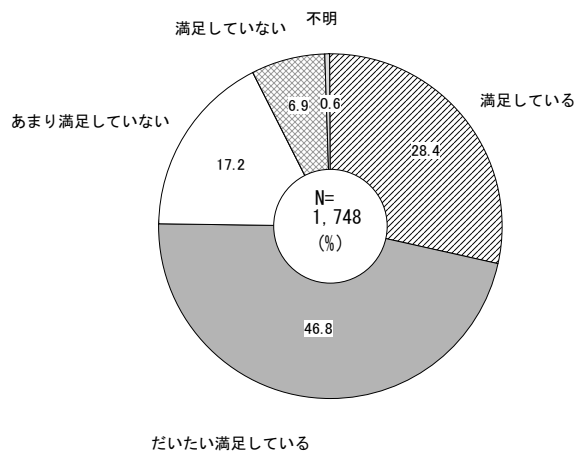
	TOTAL	子どもと一緒に遊ぶ	子どもを入浴させる	子どもの着替えやおむつ交換をする	相談に乗ってくれる	買い物をする	気遣いをしてくれる	子どもの食事の世話やミルクを飲ませる	子どもを寝かしつける	食事の後片付けをする	掃除をする	洗濯をする	保育園・幼稚園の送迎をする	食事を作る	何もしない	その他	配偶者・パートナーはいない	不明
TOTAL	1835	81.6	73.5	58.5	49.3	47.3	43.1	35.9	35.5	32.8	31.0	22.7	22.6	21.2	3.7	1.7	1.9	2.9
0歳	494	87.0	79.8	68.4	53.6	50.6	49.0	43.7	39.5	35.8	32.8	24.5	14.8	20.2	1.8	1.6	1.2	1.6
1歳	296	86.8	74.0	66.6	53.4	49.0	49.0	42.2	32.4	35.5	32.1	24.7	18.9	21.6	3.7	1.7	1.0	2.7
2歳	257	77.0	69.3	50.2	44.4	39.3	36.2	26.1	31.9	27.6	30.0	22.2	19.8	21.4	3.9	2.3	2.7	3.5
3歳	255	79.2	70.6	52.5	45.9	45.5	40.0	29.8	36.5	31.0	29.8	19.2	29.8	21.6	5.5	1.2	2.0	4.3
4歳	267	79.0	72.7	54.3	44.6	49.1	36.3	32.6	33.7	29.2	27.7	19.5	31.5	19.1	4.5	1.1	2.2	1.9
5歳	258	75.2	69.4	49.6	49.6	46.5	41.9	33.3	36.0	34.5	31.0	24.4	27.9	24.4	4.3	2.7	2.3	5.0

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

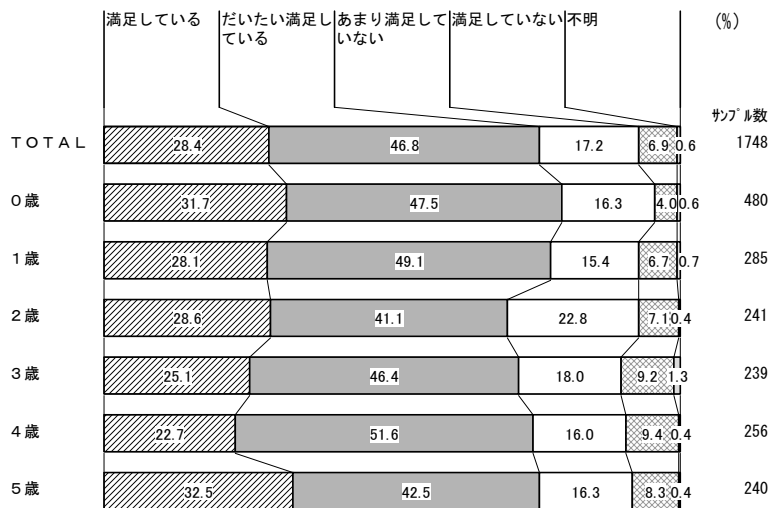
配偶者・パートナーの育児参加の仕方への満足度を聞いたところ、「満足している」28.4%、「だいたい満足している」46.8%となっており、合計75.2%が満足していることがわかる。一方「あまり満足していない」17.2%、「満足していない」6.9%となっており、合計24.1%が満足していない（なお、以降で行う「子育て参加形式への満足度タイプ分析」では、前者を『満足している』タイプ、後者を『満足していない』タイプとして分析している）。

子どもの年齢別に見てみると、0～1歳児では比較的満足度が高くなっている。

配偶者・パートナーの育児参加への満足度



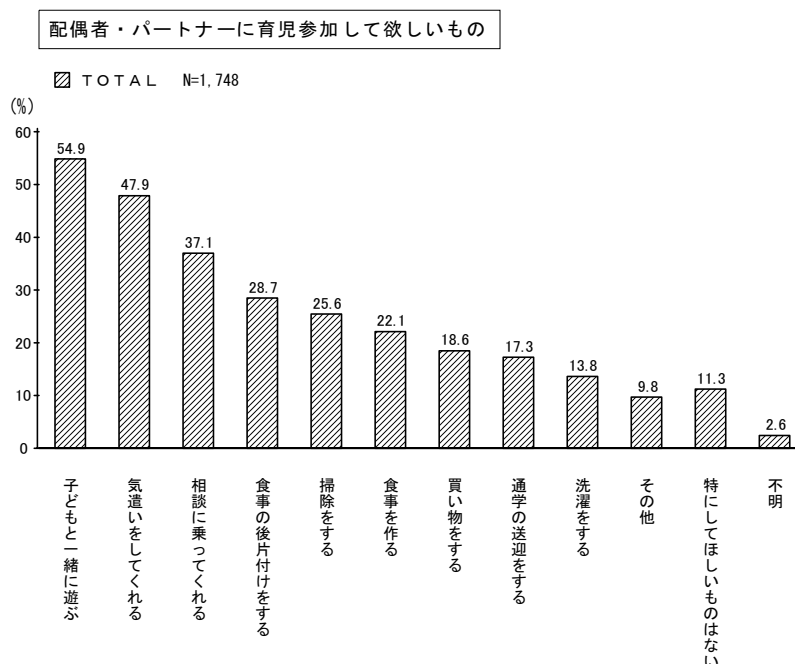
配偶者・パートナーの育児参加への満足度（子どもの年齢別）



(注) 表側の「不明」は除く。

配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいと思う（思った）ことについて聞いたところ、「子どもと一緒に遊ぶ」が 54.9%で最も多くなっており、続いて「気遣いをしてくれる」が 47.9%、「相談に乗ってくれる」が 37.1%となっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「子どもと一緒に遊ぶ」または「気遣いをしてくれる」が多くなっており、年齢による大きな差はない。



配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいもの（子どもの年齢別）

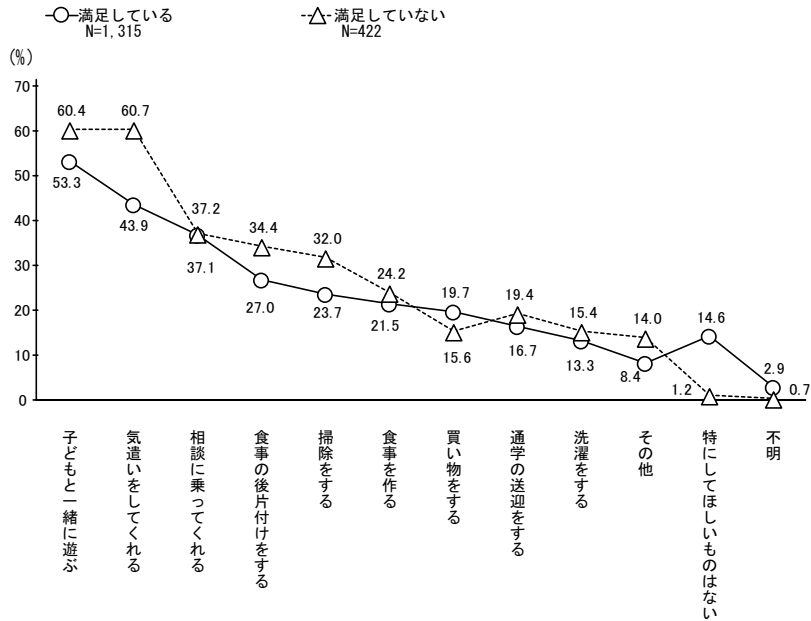
	TOTAL	子どもと一緒に遊ぶ	気遣いをしてくれる	相談に乗ってくれる	食事の後片付けをする	掃除をする	食事を作る	買い物をする	通学の送迎をする	洗濯をする	その他	特にしてほしいものはない	不明
TOTAL	1748	54.9	47.9	37.1	28.7	25.6	22.1	18.6	17.3	13.8	9.8	11.3	2.6
0歳	480	50.4	47.5	37.9	31.9	30.0	22.7	20.0	15.4	16.0	10.6	13.5	2.7
1歳	285	52.3	50.9	38.2	27.7	22.8	23.5	17.5	17.2	13.3	11.9	10.9	2.5
2歳	241	59.8	50.2	36.9	33.6	27.8	20.3	19.5	16.2	13.3	9.1	8.3	3.3
3歳	239	57.7	43.9	36.8	25.1	24.7	22.2	17.6	17.2	10.5	10.5	8.8	1.7
4歳	256	60.9	52.0	37.9	25.8	24.2	21.5	19.5	18.8	13.7	5.5	12.9	2.0
5歳	240	53.3	42.5	34.2	24.6	20.4	21.7	16.7	21.3	14.2	10.4	11.3	3.8

(注) 網掛けは 40%以上。また表側の「不明」は除く。

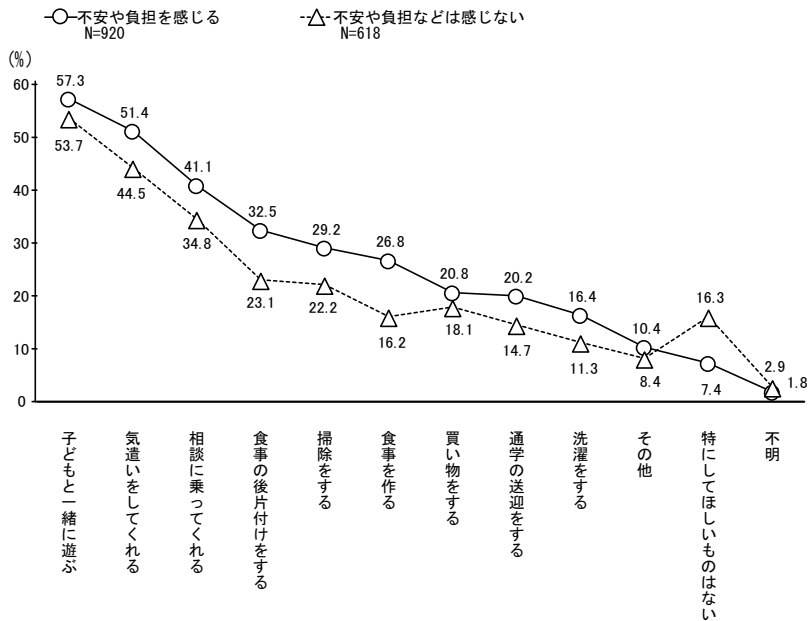
前記の満足度についての評価をもとに、配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいと思う（思った）ことについて聞いたところ、全体的に満足していない人の要望が満足している人を上回っている。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、同様に「特にして欲しいことはない」以外は、全ての項目について不安や負担を感じる人が不安や負担を感じない人を上回っている。

配偶者・パートナーに育児参加して欲しいもの
(配偶者・パートナーの育児参加への満足度比較)



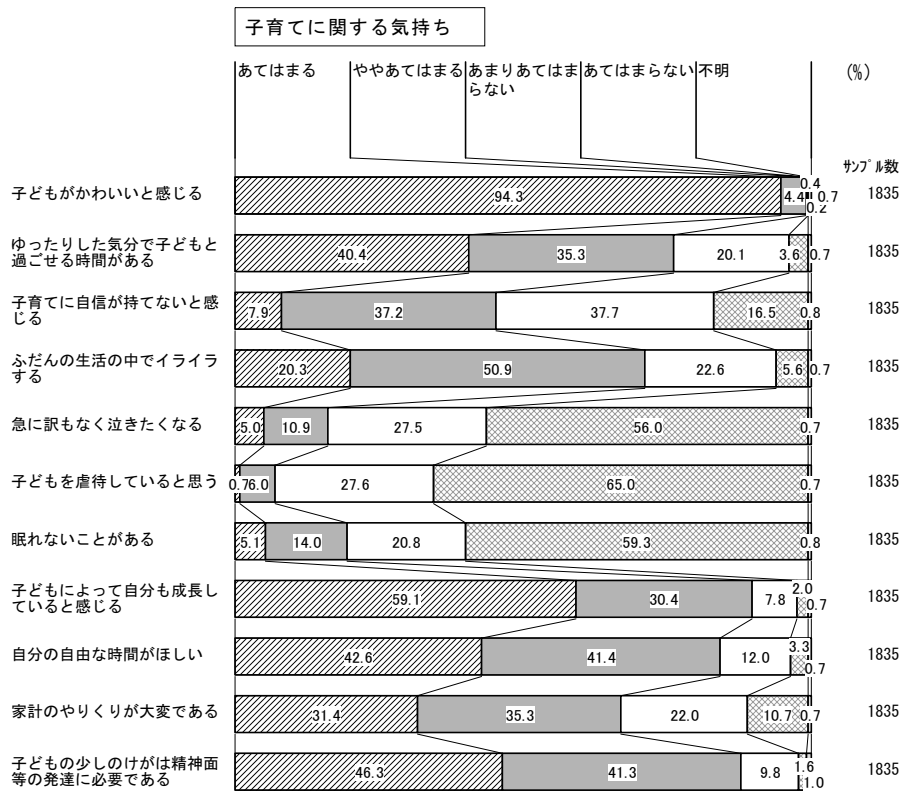
配偶者・パートナーに育児参加して欲しいもの
(子育てに関する不安感・負担感タイプ比較)



(10) 母子保健、地域医療等について

問30 次のそれぞれについて、今のあなたの気持ちに一番あてはまる（あてはまった）ものをお知らせください。

子育てについての意識について、様々な角度から聞いたところ、全体的には子育てについてプラスの意識を持っているが、自分の自由な時間や家計のやりくりについては、苦労があるようだ。

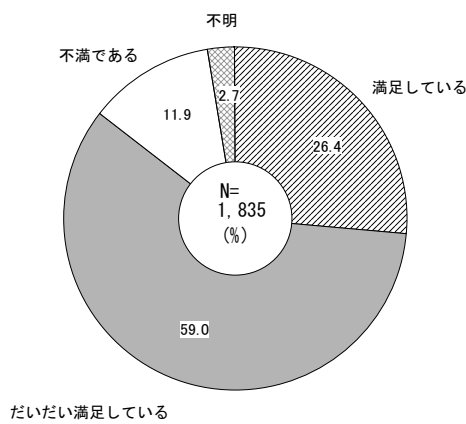


- 問3 1** 乳幼児健診（4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診）の内容や方法に、満足していますか。
- 問3 2** 乳幼児健診（4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診）に期待することは、どのようなことですか。（複数回答）

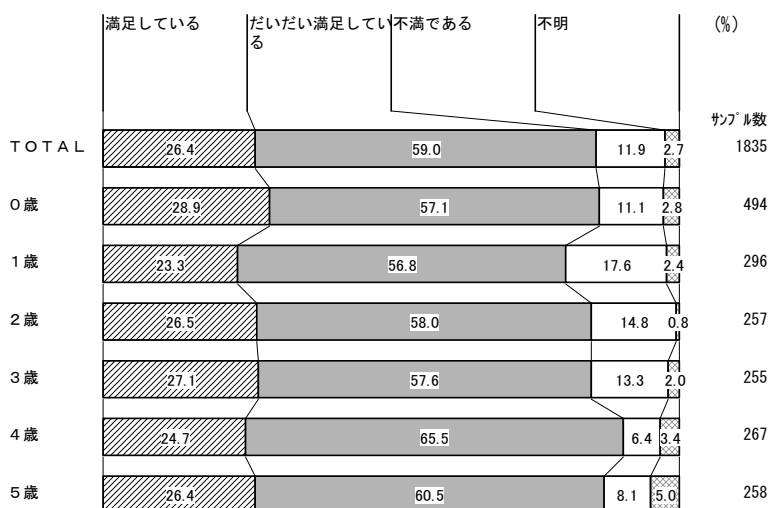
乳幼児健診については「満足している」が26.4%、「だいたい満足している」が59.0%となっており、合計すると85.4%となる。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも満足度は高くなっているが、「1歳児」では「不満である」がやや多くなっている。

乳幼児健診の内容・方法への満足度



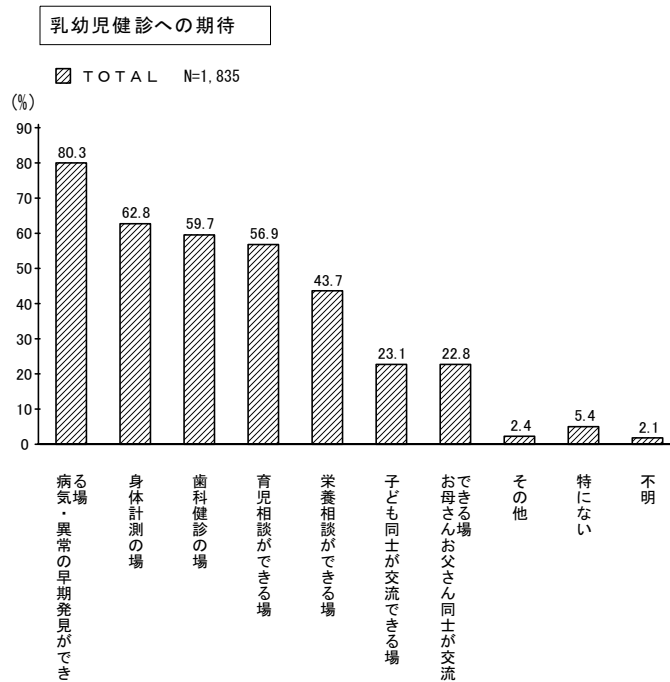
乳幼児健診の内容・方法への満足度（子どもの年齢別）



(注)「表側」の不明は除く。

乳幼児健診へ期待することについて見てみると、「病気・異常の早期発見ができる場」が80.3%で最も多く、続いて「身体計測の場」が62.8%、「歯科検診の場」が59.7%となっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「病気・異常の早期発見ができる場」が最も多く、「0歳児」について「栄養相談ができる場」への期待が他年齢の子どもの保護者割合より多い。



乳幼児健診への期待(子どもの年齢別)

	TOTAL	病気・異常の早期発見 ができる場	身体計測の場	歯科健診の場	育児相談ができる場	栄養相談ができる場	子ども同士が交流できる場	お母さんお父さん同士 が交流できる場	その他	特にない	不明
TOTAL	1835	80.3	62.8	59.7	56.9	43.7	23.1	22.8	2.4	5.4	2.1
0歳	494	85.4	69.4	63.8	63.8	54.9	27.7	27.9	2.6	2.8	1.4
1歳	296	79.7	65.2	58.4	54.1	43.9	29.1	23.3	3.0	6.4	2.0
2歳	257	77.0	58.0	59.9	53.3	38.1	20.2	19.5	5.1	5.1	1.6
3歳	255	81.6	63.1	61.6	56.9	38.0	20.8	22.4	1.2	5.1	1.6
4歳	267	80.5	58.1	61.0	54.3	41.9	18.4	18.7	1.9	7.1	2.6
5歳	258	72.9	58.1	49.6	53.5	34.9	17.8	20.9	0.4	8.5	4.3

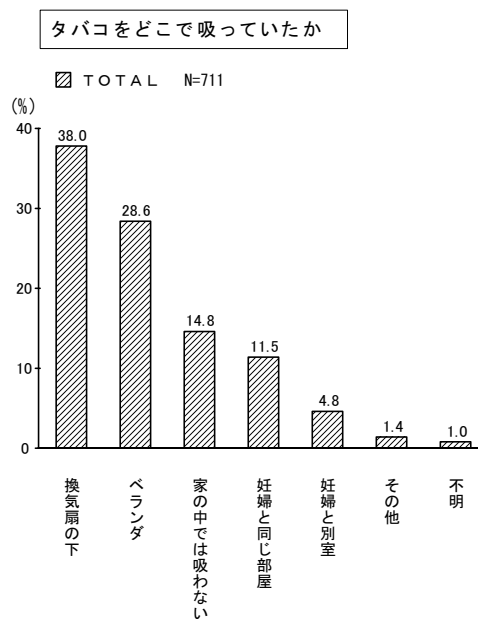
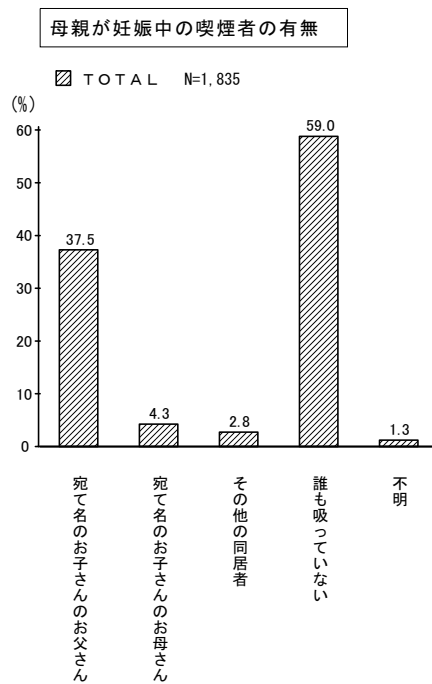
(注) 網掛けは50%以上。また表側の「不明」は除く。

問33 宛名のお子さんのお母さんが妊娠中に、家の中でたばこを吸っている人がいましたか。(複数回答)

問33-1 [問33で2. 3を選択] たばこはどこで吸っていましたか。(複数回答)

妊娠中の喫煙の有無については、「誰も吸っていない」が59.0%で最も多いが、「宛名のお子さんのお父さん」についても37.5%となっている。

喫煙していたと回答した人に、どこで吸っていたかを聞いたところ、「換気扇の下」が38.0%で最も多く、続いて「ベランダ」が28.6%となっている。

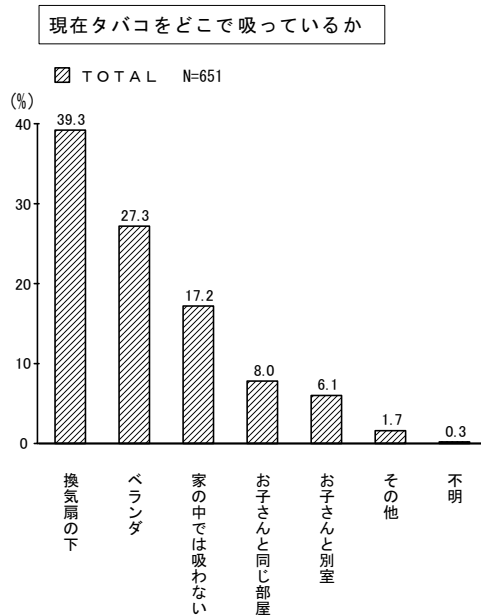
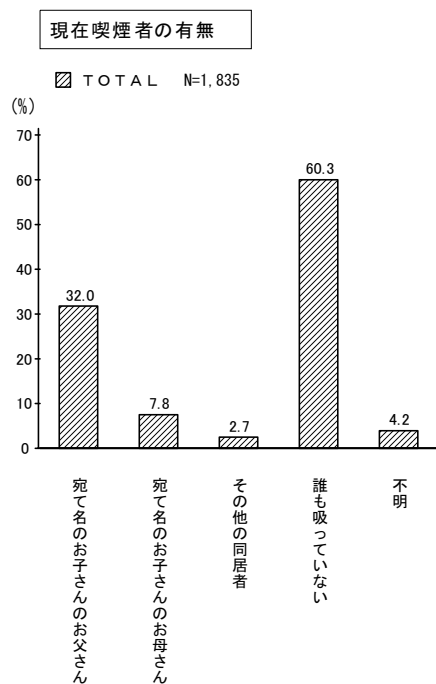


問33-2 現在、家の中でたばこを吸っている人がいますか。(複数回答)

問33-3 [問33-2で1~3を選択] たばこはどこで吸っていましたか。

現在家の中での喫煙の有無については、「誰も吸っていない」が60.3%で最も多いが、続いて「宛名のお子さんのお父さん」が32.0%となっている。

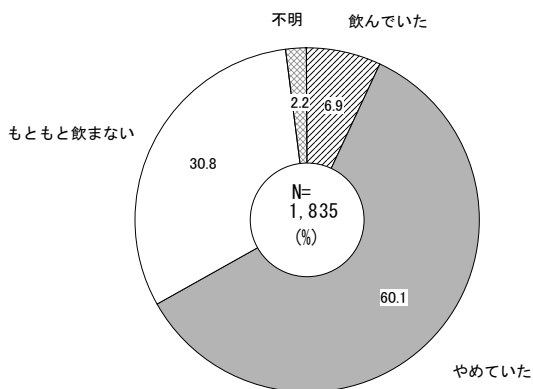
現在喫煙していると回答した人に、どこで吸っているかを聞いたところ、「換気扇の下」が39.3%で最も多く、続いて「ベランダ」が27.3%となっている。



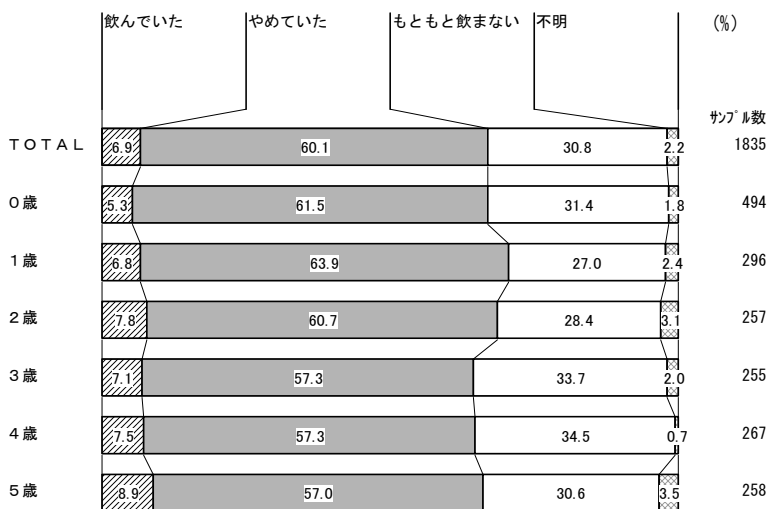
問34 お子さんのお母さんは、妊娠中にお酒を飲んでいましたか。

母親が妊娠中に飲酒の有無について聞いたところ、「やめていた」が60.1%となっている。
 子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「やめていた」が多く、年齢による差は見られない。

母親の妊娠中の飲酒



母親の妊娠中の飲酒（子どもの年齢別）



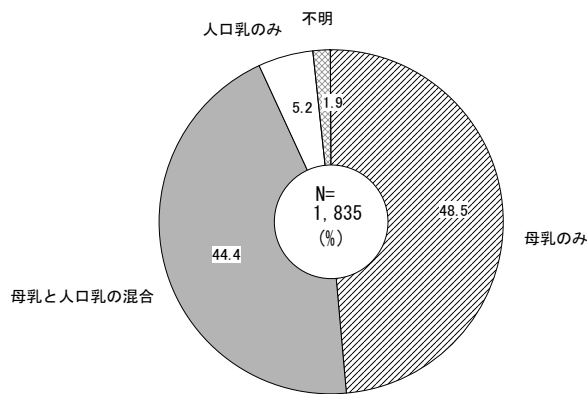
(注) 表側の「不明」は除く。

問35 宛名の子さんのお母さんは、産後1か月時に次のどれをお子さんに与えていましたか。

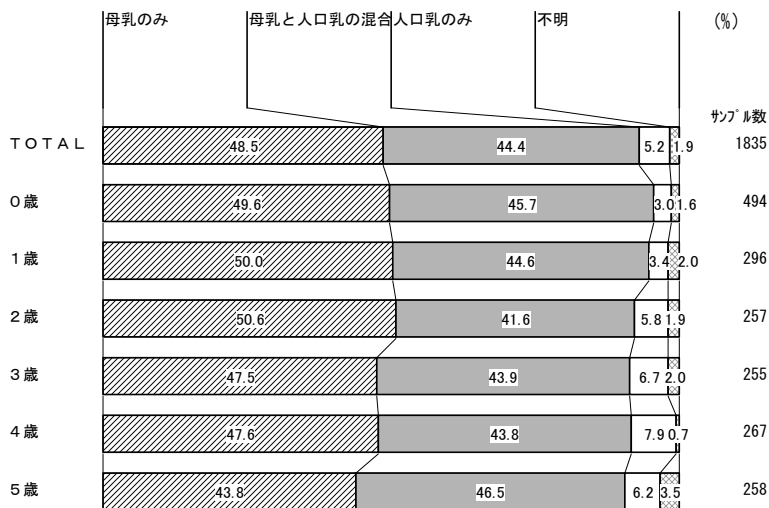
産後1か月時に与えていたものについては「母乳のみ」と「母乳と人工乳の混合」がそれぞれ5割弱となっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「母乳のみ」と「母乳と人工乳の混合」が拮抗している。

母親が産後一ヶ月時で子どもに与えていたもの



母親が産後一ヶ月時で子どもに与えていたもの（子どもの年齢別）



(注) 表側の「不明」は除く。

問36 (1) 小児科のかかりつけ医を持っていますか。(2) かかりつけ医に満足していますか。(3) かかりつけ医を持っていない理由。

かかりつけ医の有無について見てみると、88.7%が持っている（「はい」と回答している）。
 居住地区別に見てみると、いずれの地区でも持っている割合は大きく、地区による差は見られない。
 子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも持っている割合は大きく、年齢による差は見られない。

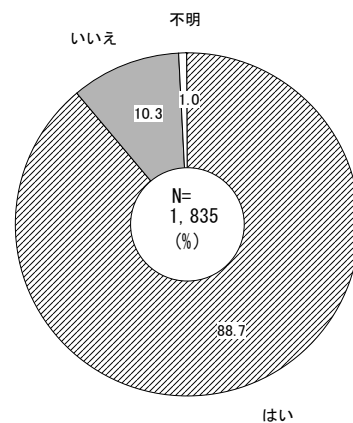
そこで『かかりつけ医を持っている』と回答した人に満足度について聞いたところ、「満足している」が34.9%、「だいたい満足している」が56.4%となっており、合計すると91.3%となる。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも満足度は高くなっている。

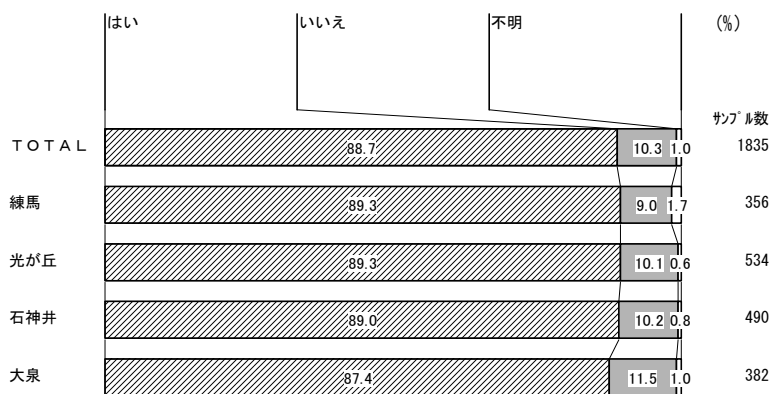
子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも満足度が高く、「3歳児」では特に高くなっている。

一方『かかりつけ医を持っていない』と回答している人にその理由を聞いたところ、特に「必要に応じてかかる病院・医院を決めればよいから」が31.2%で最も多く、居住地区別では「石神井」「光が丘」地区で30%を超えている。

小児科かかりつけ医の有無

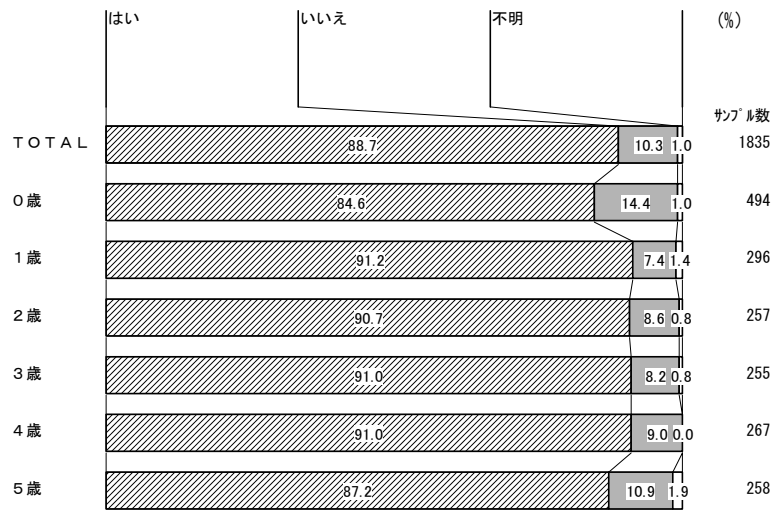


小児科かかりつけ医の有無（居住地区別）



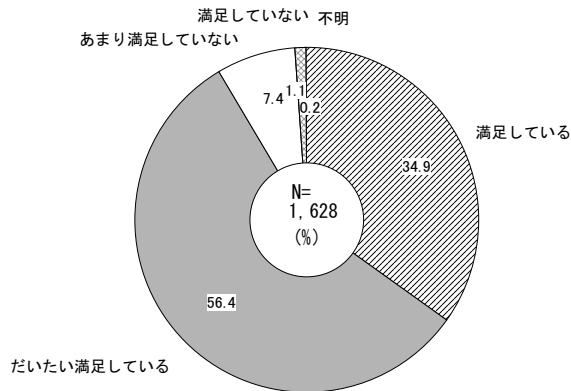
(注) 表側の「不明」は除く。

小児科かかりつけ医の有無（子どもの年齢別）



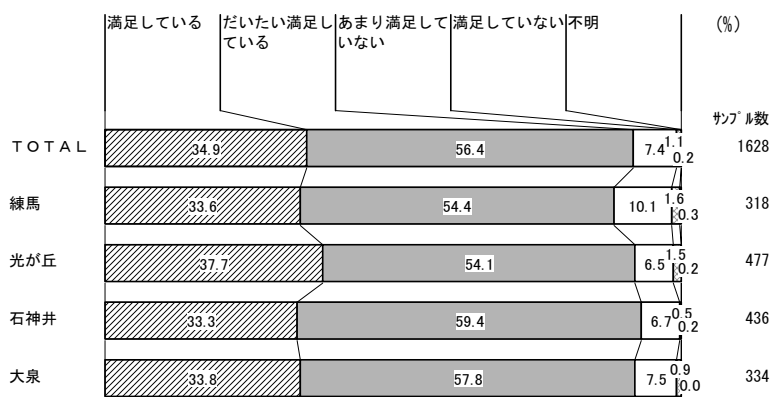
(注) 表側の不明は除く。

小児科かかりつけ医への満足度



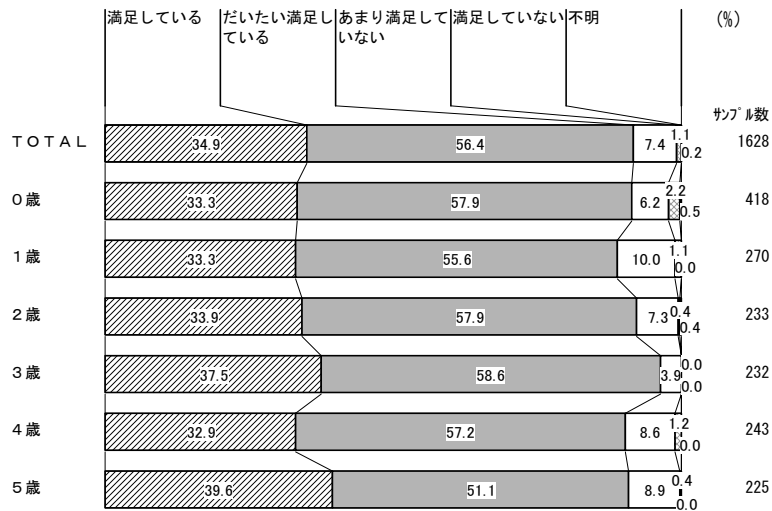
だいたい満足している

小児科かかりつけ医への満足度（居住地区別）



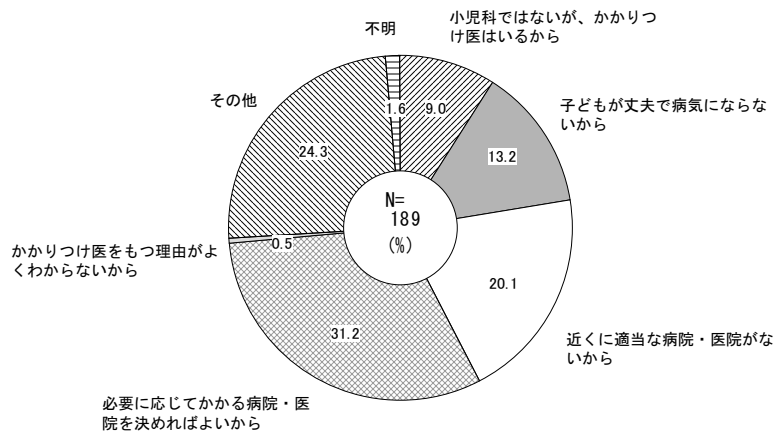
(注) 表側の「不明」は除く。

小児科かかりつけ医への満足度（子どもの年齢別）

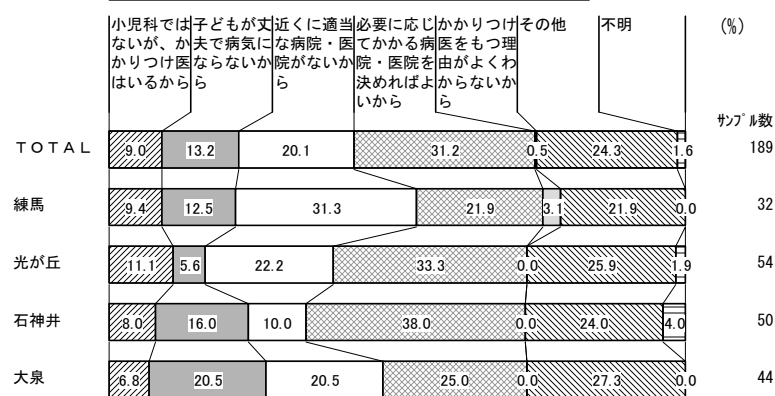


(注) 表側の「不明」は除く。

小児科かかりつけ医を持っていない理由



小児科かかりつけ医がない理由（居住地区別）

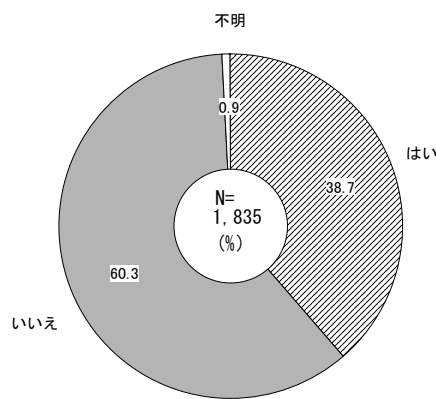


(注) 表側の「不明」は除く。

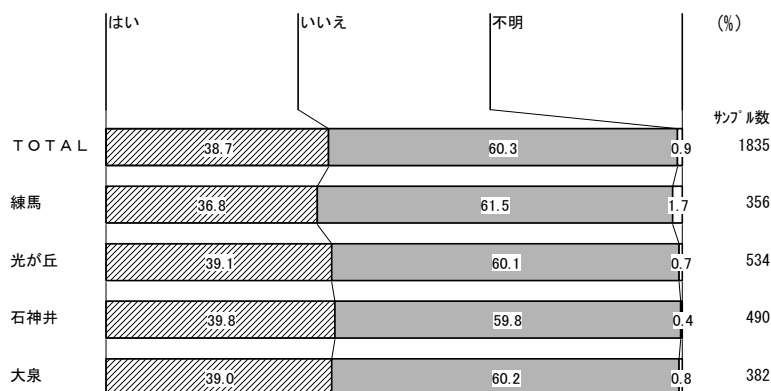
問37 (1) 宛名のお子さんは歯科のかかりつけ医を持っていますか。(2) かかりつけ歯科医では主にどんな内容のことをしていますか。(複数回答)

歯科のかかりつけ医の有無について見てみると、38.7%が持っている（「はい」）と回答している。居住地区別に見てみると、いずれの地区でも4割弱となっており、地区による差は見られない。子どもの年齢別に見てみると、年齢が上がるのに比例してかかりつけ医がいる。そこで『歯医者かかりつけ医を持っている』と回答した人にしてもらうことについて聞いたところ、「むし歯があるかないか見てもらう」が83.4%で最も多く、続いて「フッ素塗布」が71.9%となっている。

歯医者かかりつけ医の有無

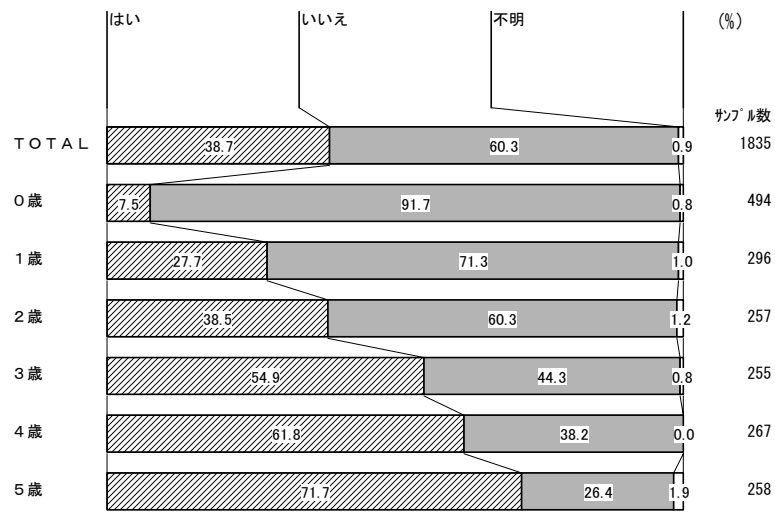


歯医者かかりつけ医の有無（居住地区別）



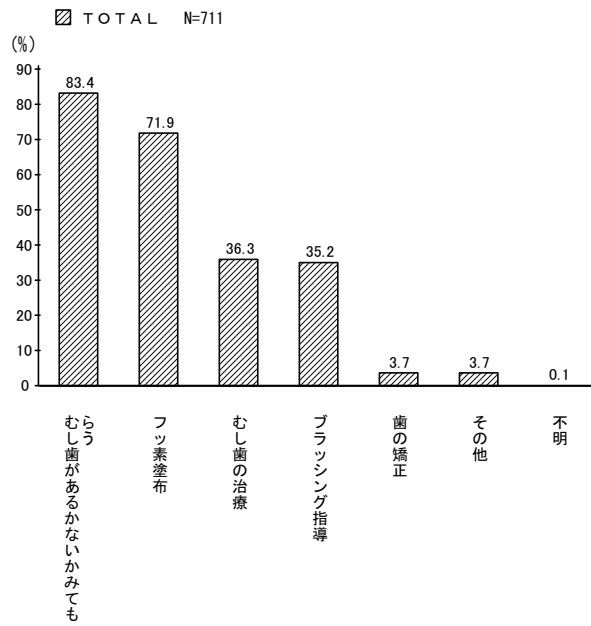
(注) 表側の「不明」は除く。

歯医者かかりつけ医の有無（子どもの年齢別）



(注) 表側の「不明」は除く。

歯医者かかりつけ医にしてもらうこと



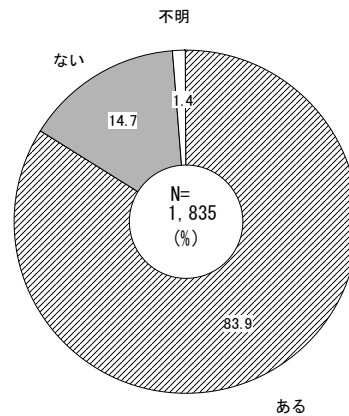
問38 (1) あなたは、お子さんが休日・夜間に具合が悪くなったとき受診できる小児救急医療機関がありますか。(2) また、それはどこですか。(複数回答)

休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無について見てみると、83.9%が「ある」と回答している。

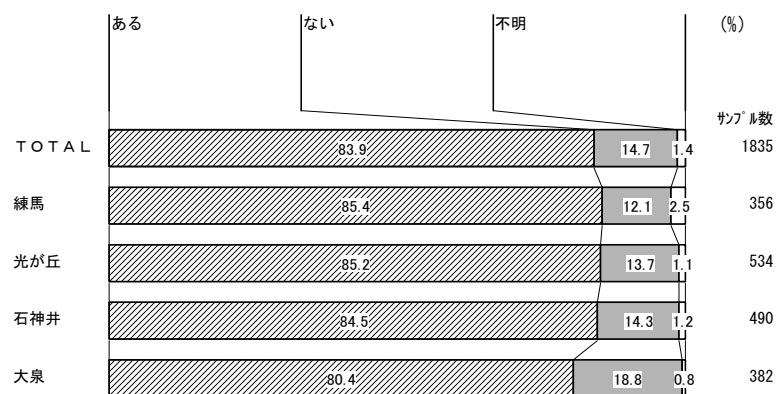
居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「ある」が多くなっている。また、「大泉」地区では他地区と比べると、「ない」がやや多くなっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも認知度が高くなっているが、「0歳児」では「ない」が他年齢より多くなっている。

休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無

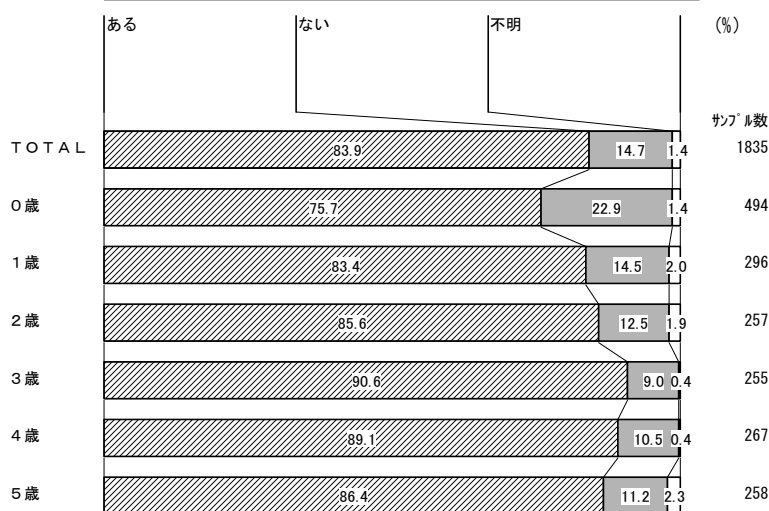


休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無 (居住地区別)



(注) 表側の「不明」は除く。

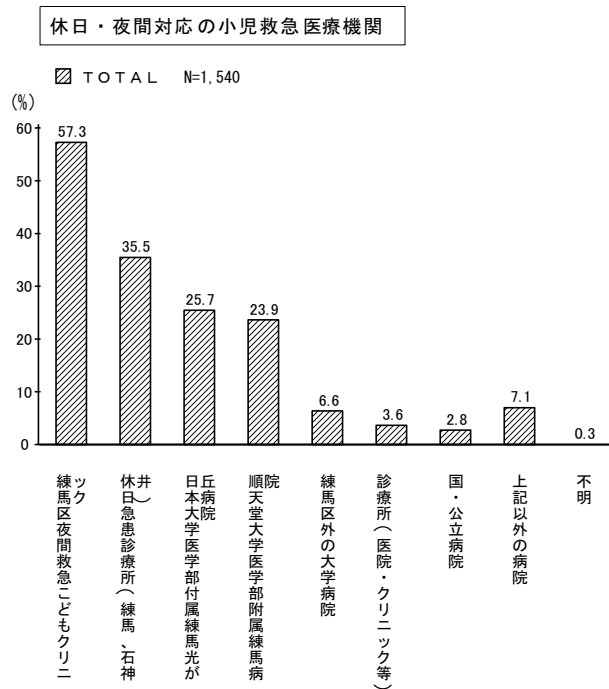
休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無 (子どもの年齢別)



(注) 表側の「不明」は除く。

小児救急医療機関が「ある」と回答した人に、その場所について聞いたところ「練馬区夜間救急子どもクリニック」が57.3%で最も多くなっており、続いて「休日急患診療所（練馬、石神井）」が35.5%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「練馬区夜間救急子どもクリニック」が多くなっているが、「光が丘」地区では「日本大学医学部付属練馬光が丘病院」、「石神井」地区では「休日急患診療所（練馬、石神井）」が多くなっている。



休日・夜間対応の小児救急医療機関（居住地区別）

	TOTAL	練馬区夜間救急子どもクリニック	馬、石神井）休日急患診療所（練馬、石神井）	馬光が丘病院	日本大学医学部付属練馬病	順天堂大学医学部付属練馬病	練馬区外の大学病院	診療所（医院・クリニック等）	国・公立病院	上記以外の病院	不明
TOTAL	1540	57.3	35.5	25.7	23.9	6.6	3.6	2.8	7.1	0.3	
練馬	304	80.6	18.4	16.1	16.1	11.8	2.6	1.3	5.9	0.0	
光が丘	455	64.0	15.8	46.8	14.1	7.7	2.6	2.4	4.4	0.2	
石神井	414	38.4	57.0	14.7	36.7	3.6	2.7	3.1	8.0	0.2	
大泉	307	51.5	51.1	21.8	30.9	2.9	7.2	3.9	9.1	0.7	

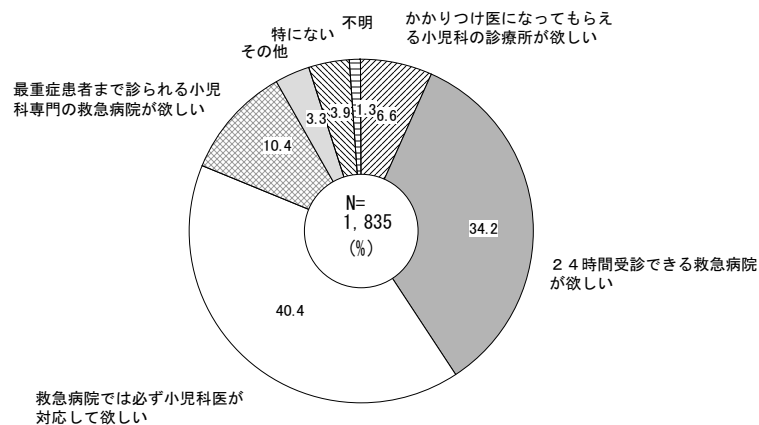
(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

問 3 9 あなたが、お子さんの休日・夜間の救急医療に一番望むことは何ですか。

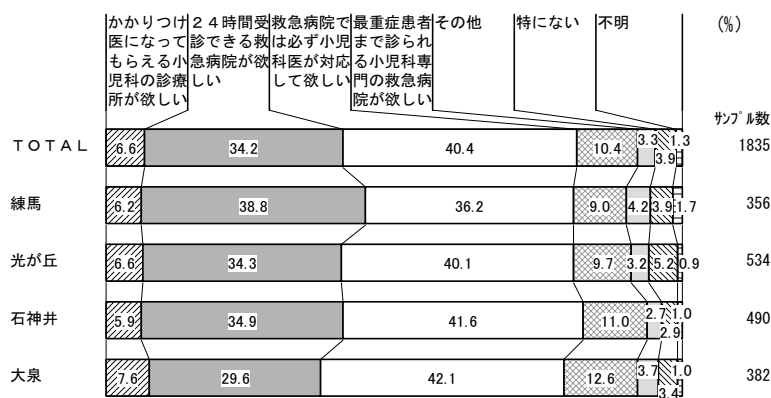
休日・夜間の救急医療に一番望むことについて聞いたところ、「救急病院では必ず小児科医が対応して欲しい」が 40.4%で最も多くなっており、続いて「24時間受診できる救急病院が欲しい」が 34.2%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「救急病院では必ず小児科医が対応して欲しい」および「24時間受診できる救急病院が欲しい」が多くなっており、地区による大きな差は見られない。

休日・夜間対応の小児救急医療機関に一番望むこと



休日・夜間対応の小児救急医療機関に一番望むこと（居住地区別）



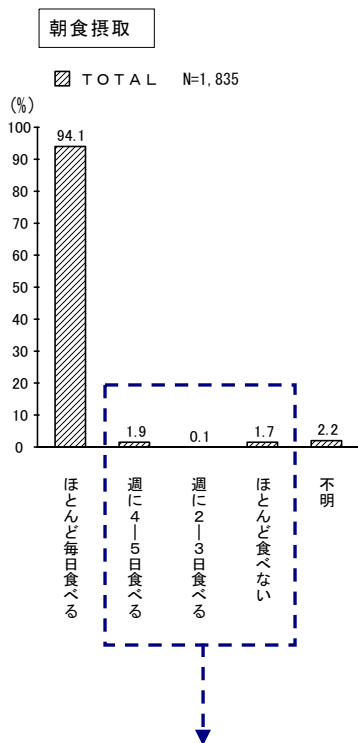
(注) 表側の「不明」は除く。

問40 宛名のお子さんは朝食をとっていますか。宛て名のお子さんが0歳児の場合はお母さんについてお答えください。

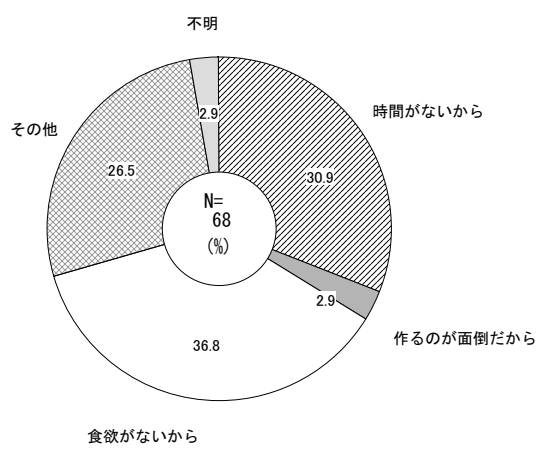
問40-1 その理由は何ですか。

子どもの朝食摂取状況については、「ほとんど毎日食べる」が94.1%となっている。

朝食の摂取について「ほとんど毎日食べる」と回答した人以外に、朝食を摂取しない理由について聞いたところ、「食欲がないから」が36.8%で最も多くなっており、続いて「時間がないから」が30.9%となっている。



朝食をあまり摂取しない理由



問4 1 [1歳以上] お子さんに間食を与えていますか。

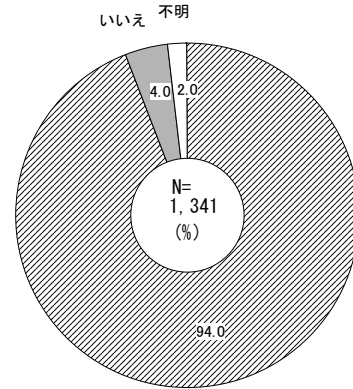
問4 1-1 [1歳以上] 間食ではどのようなものを与えていますか。(3つまで)

子どもの間食の有無について聞いたところ、「はい」が94.0%となっている。

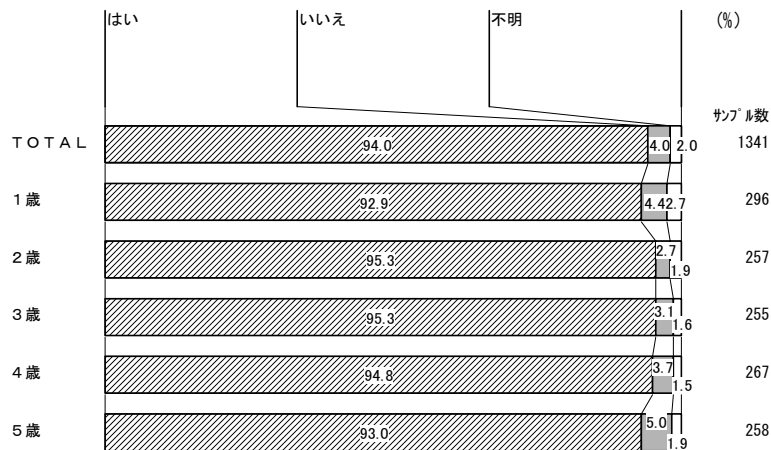
子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも9割を超えて間食している。

そこで間食している場合の回数を聞いたところ、平均1.4回であった。

間食摂取

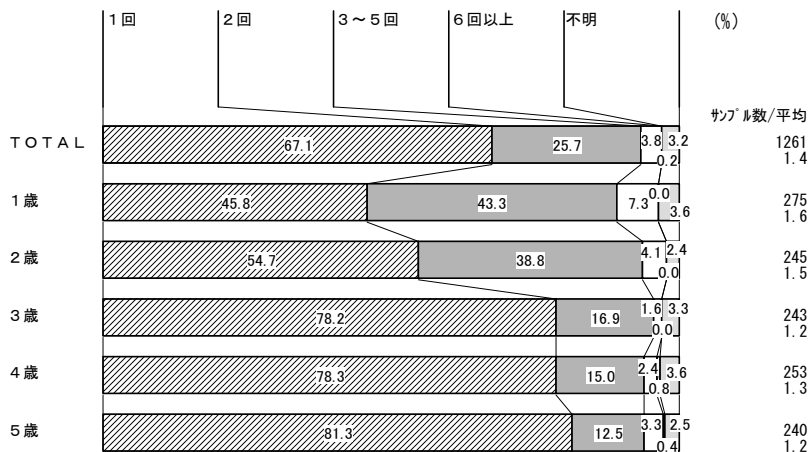


間食摂取 (子どもの年齢別)



(注) 表側の「不明」は除く。

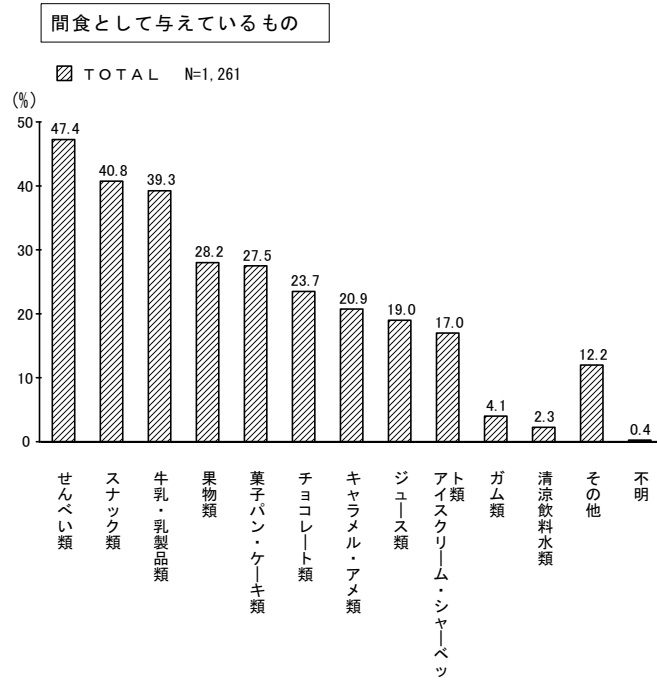
間食を与える頻度 (子どもの年齢別)



(注) 表側の「不明」は除く。

間食で与えているものについて見てみると、「せんべい類」が47.4%で最も多く、続いて「スナック類」が40.8%、「牛乳・乳製品」が39.3%となっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「せんべい類」が多く、「4歳児」「5歳児」では「スナック類」、「1歳児」「2歳児」では「牛乳・乳製品」も多くなっている。



間食で与えているもの(子どもの年齢別)

	TOTAL	せんべい類	スナック類	牛乳・乳製品類	果物類	菓子パン・ケーキ類	チョコレート類	キャラメル・アメ類	ジュース類	アイスクリーム・シャーベット類	ガム類	清涼飲料水類	その他	不明
TOTAL	1261	47.4	40.8	39.3	28.2	27.5	23.7	20.9	19.0	17.0	4.1	2.3	12.2	0.4
1歳	275	54.2	31.3	49.8	41.8	26.9	13.8	14.2	23.3	10.2	0.7	1.5	14.2	0.4
2歳	245	49.0	33.9	42.0	29.0	25.3	20.4	26.1	23.7	16.3	3.3	2.0	11.0	0.0
3歳	243	46.1	39.9	37.9	23.9	26.3	30.5	21.4	16.9	23.0	3.7	0.4	15.6	0.4
4歳	253	41.1	46.2	37.5	24.9	30.4	26.9	19.4	17.4	18.6	8.3	4.3	9.9	0.4
5歳	240	46.7	54.2	28.3	19.6	27.9	28.8	24.6	13.3	17.9	5.0	3.3	9.6	0.8

(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

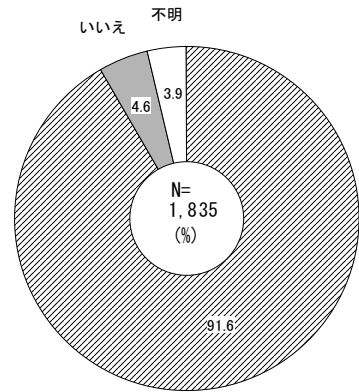
問4 2 宛て名のお子さんの事故防止対策を実施していますか。
問4 2-1 どのような事故防止対策を実施していますか。(複数回答)

子どもの事故防止対策の実施について聞いたところ、「はい」が91.6%となっている。

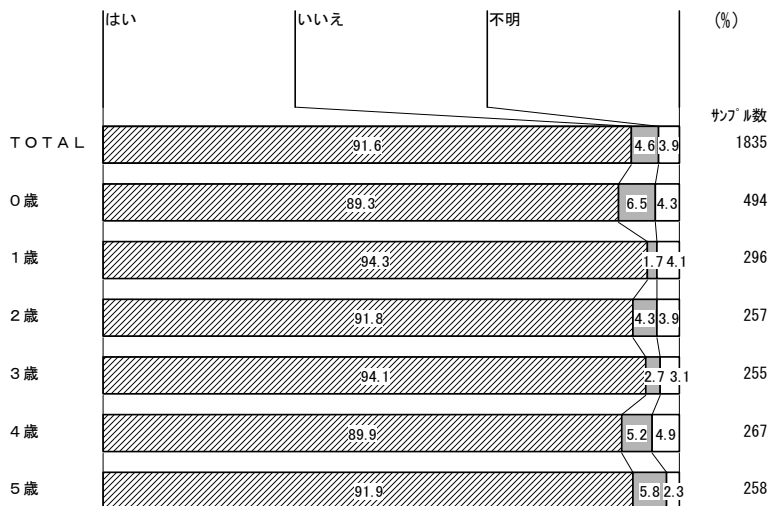
子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも9割前後が「はい」と回答している。

居住地区別に聞いたところ、いずれの地区でも9割以上が「はい」と回答している。

事故防止対策実施の有無

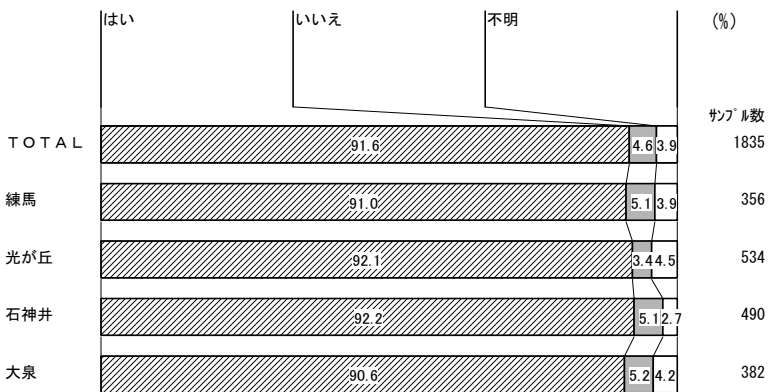


事故防止対策実施の有無 (子どもの年齢別)



(注) 表側の「不明」は除く。

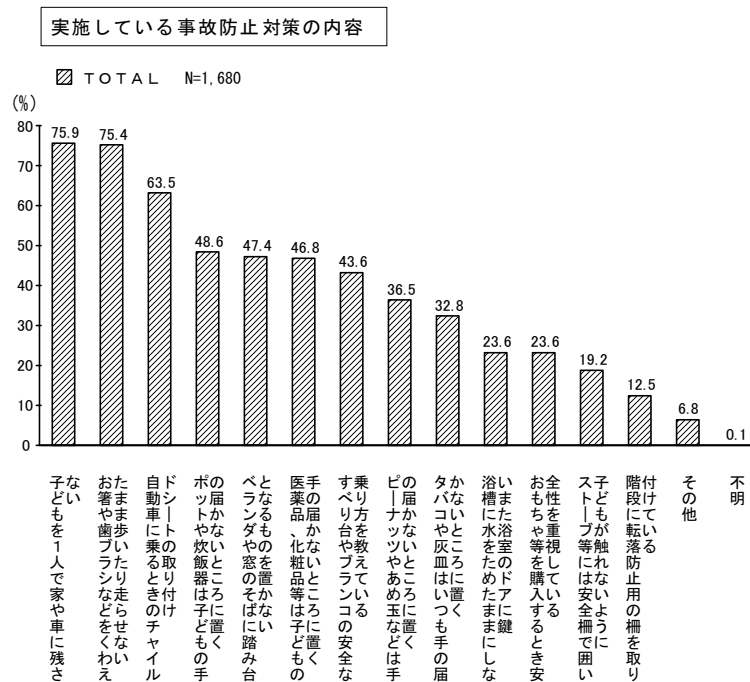
事故防止対策実施の有無 (居住地区別)



(注) 表側の「不明」は除く。

子どもの事故防止対策の実施について「はい」と回答した人に、どのような事故防止対策をしているのかについて聞いたところ、「子どもを1人で家や車に残さない」が75.9%で最も多く、続いて「お箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩いたり走らせない」が75.4%、「自動車に乗るときのチャイルドシートの取り付け」が63.5%となっている。

子どもの年齢別に見ると、いずれの年齢でもおよそ「子どもを1人で家や車に残さない」「お箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩いたり走らせない」「自動車に乗るときのチャイルドシートの取り付け」が多くなっている。



実施している事故防止対策の内容(子どもの年齢別)

	TOTAL	子どもを1人で家や車に残さない	お箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩いたり走らせない	自動車に乗るときのチャイルドシートの取り付け	ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く	ベランダや窓のそばに踏み台となるものを置かない	医薬品、化粧品等は子どもの手の届かないところに置く	乗り方を教えている	すべり台やブランコの安全な乗り方を教えている	ビーンツやあめ玉などは手の届かないところに置く	タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く	いまた浴室のドアに鍵	全性を重視している	おもちゃ等を購入するとき安	子どもが触れないように	ストープ等には安全柵で囲い	階段に転落防止用の柵を取り付けている	その他	不明
TOTAL	1680	75.9	75.4	63.5	48.6	47.4	46.8	43.6	36.5	32.8	23.6	23.6	19.2	12.5	6.8	0.1			
0歳	441	81.9	47.8	68.5	58.5	36.1	59.9	18.6	55.8	39.0	25.6	34.5	26.3	12.9	6.6	0.2			
1歳	279	83.5	77.8	64.2	55.9	54.1	57.0	47.3	50.9	45.2	30.8	25.8	24.0	19.4	5.7	0.0			
2歳	236	77.5	89.4	61.9	53.4	50.8	50.4	56.8	36.9	37.7	30.9	23.3	18.6	11.0	8.1	0.0			
3歳	240	72.5	85.8	63.8	43.3	52.5	37.9	51.7	28.3	24.2	18.8	16.7	11.7	12.9	5.4	0.4			
4歳	240	67.1	92.1	59.6	34.6	50.4	35.4	58.3	15.8	25.0	19.2	17.5	14.6	9.2	8.8	0.0			
5歳	237	65.8	83.5	59.9	36.3	48.9	27.8	49.4	13.1	18.6	12.2	13.5	12.2	8.4	6.8	0.0			

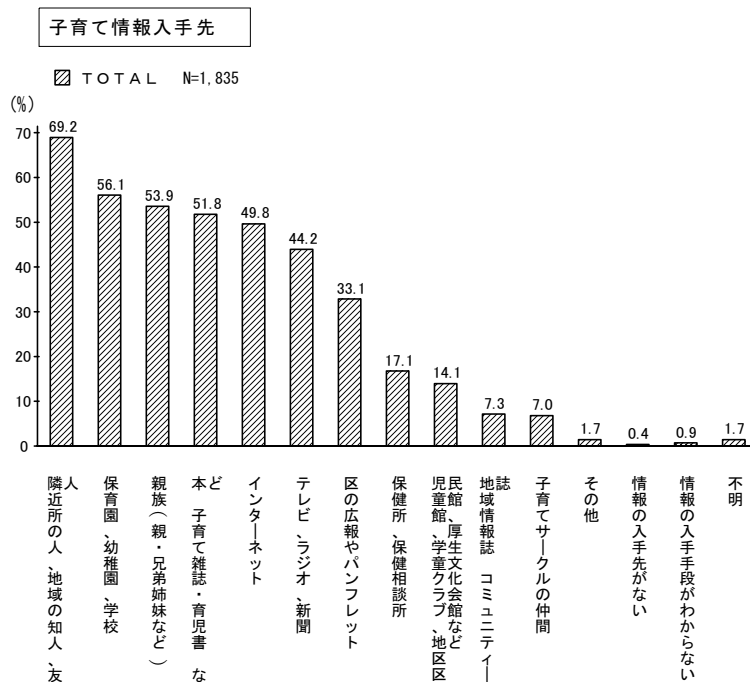
(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

(11) 子育てに関する情報、相談、活動について

- 問43 あなたは子育てに関する情報を、どのようにして入手していますか。(複数回答)
 問44 あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。(複数回答)

子育て情報の入手先について見てみると、「隣近所の人、地域の知人、友人」が69.2%で最も多く、続いて「保育園、幼稚園、学校」が56.1%、「親族(親・兄弟姉妹など)」が53.9%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「隣近所の人、地域の知人、友人」「保育園、幼稚園、学校」「親族(親・兄弟姉妹など)」が多くなっているが、「練馬」「光が丘」地区では「本(子育て雑誌・育児書)など」「インターネット」なども多くなっている。



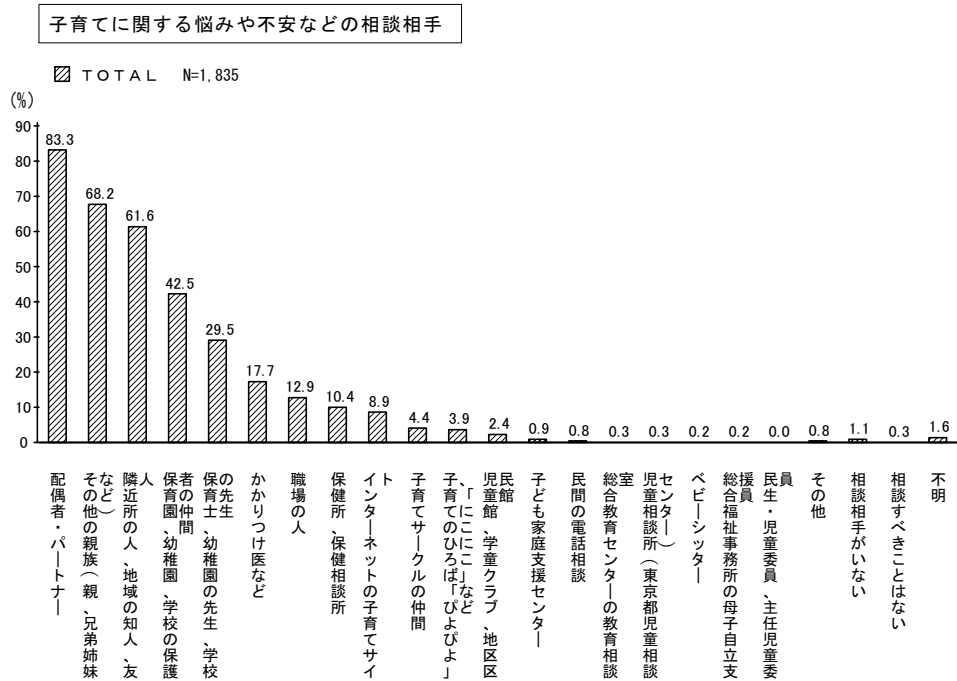
子育て情報入手先(居住地区別)

	TOTAL	隣近所の人、地域の知人、友人	保育園、幼稚園、学校	親族(親・兄弟姉妹など)	本(子育て雑誌・育児書)など	インターネット	テレビ、ラジオ、新聞	区の広報やパンフレット	保健所、保健相談所	児童館、厚生文化会館など	地域情報誌(コミュニティ誌)	子育てサークルの仲間	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	不明
TOTAL	1835	69.2	56.1	53.9	51.8	49.8	44.2	33.1	17.1	14.1	7.3	7.0	1.7	0.4	0.9	1.7
練馬	356	70.2	53.7	53.4	54.5	55.3	44.7	33.4	18.3	11.8	6.7	5.9	1.7	0.6	0.8	2.0
光が丘	534	71.0	56.7	54.3	53.0	50.2	42.7	32.8	19.1	17.8	7.9	6.9	1.1	0.2	0.7	2.2
石神井	490	66.9	58.0	53.5	48.6	48.6	45.7	31.6	14.3	14.1	7.3	8.2	2.7	0.8	0.8	1.2
大泉	382	69.6	56.5	54.5	49.7	44.5	44.2	34.8	15.4	11.8	7.3	6.8	1.8	0.3	1.3	1.3

(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

子育てに関する悩みや不安などの相談相手について見てみると、「配偶者・パートナー」が83.3%で最も多く、続いて「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が68.2%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が61.6%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「配偶者・パートナー」「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」「隣近所の人、地域の知人、友人」が多く、地区により大きな差は見られない。



子育てに関する悩みや不安などの相談相手（居住地区別）

	TOTAL	配偶者・パートナー	その他の親族（親、兄弟姉妹など）	隣近所の人、地域の知人、友人	保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	保育士、幼稚園の先生、学校の先生	かかりつけ医など	職場の人	保健所、保健相談所	インターネットの子育てサイト	子育てサークルの仲間	子育てのひろば「びよびよ」	児童館、学童クラブ、地区児童館	子ども家庭支援センター	民間の電話相談	総合教育センターの教育相談室	児童相談所（東京都児童相談センター）	ベビーシッター	総合福祉事務所の母子自立支援員	民生・児童委員、主任児童委員	その他	相談相手がない	相談すべきことはない	不明
TOTAL	1835	83.3	68.2	61.6	42.5	29.5	17.7	12.9	10.4	8.9	4.4	3.9	2.4	0.9	0.8	0.3	0.3	0.2	0.2	0.0	0.8	1.1	0.3	1.6
練馬	356	82.3	69.7	66.0	42.4	31.2	18.8	13.8	11.0	9.6	3.4	2.8	2.2	0.6	0.6	0.3	0.8	0.6	0.0	0.0	0.6	0.8	0.0	1.7
光が丘	534	82.8	68.2	60.3	41.6	31.8	17.4	12.7	12.7	9.7	4.3	3.7	2.6	1.3	0.6	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.1	0.2	0.4	2.4
石神井	490	84.9	68.2	59.8	44.7	28.6	16.7	12.7	8.0	7.6	5.9	5.9	2.7	1.0	1.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.0	0.8	1.4	0.6	1.2
大泉	382	83.5	67.5	62.8	41.6	27.0	17.0	13.1	9.4	8.9	3.7	1.6	1.6	0.5	1.0	0.5	0.0	0.3	0.5	0.0	0.8	2.1	0.3	0.8

（注）網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

問45 あなたは子育てに関するサークルなど、自主的な活動に参加していますか。

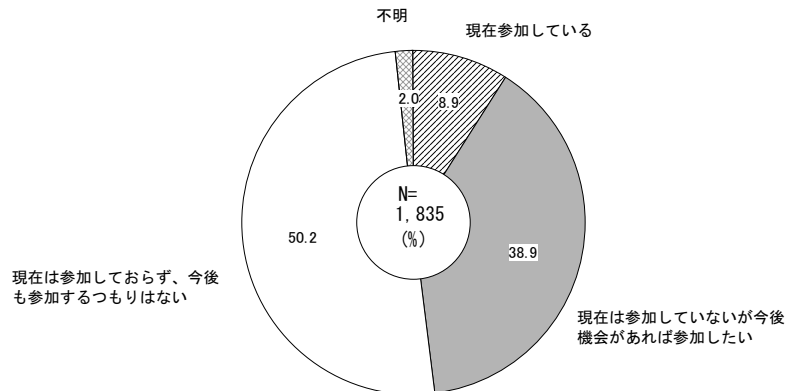
問45-1 自主的な活動を進めていくうえで、行政に行きたくしたい支援はどのようなことですか。(複数回答)

子育てサークルなど自主的活動への参加については、「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が50.2%で、「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」が38.9%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない」が多く、続いて「現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい」となっている。

不安感や負担感の有無タイプ別で見ると、「不安や負担を感じる」タイプがやや参加意向が高い。

自主的活動への参加



自主的な活動への参加 (居住地区別)

居住地区	現在参加している (%)	現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい (%)	現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない (%)	不明 (%)	サンプル数
TOTAL	8.9	38.9	50.2	2.0	1835
練馬	8.1	38.5	51.1	2.2	356
光が丘	8.6	39.1	50.0	2.2	534
石神井	9.6	37.8	51.0	1.6	490
大泉	9.7	40.8	47.6	1.8	382

(注) 表側の「不明」は除く。

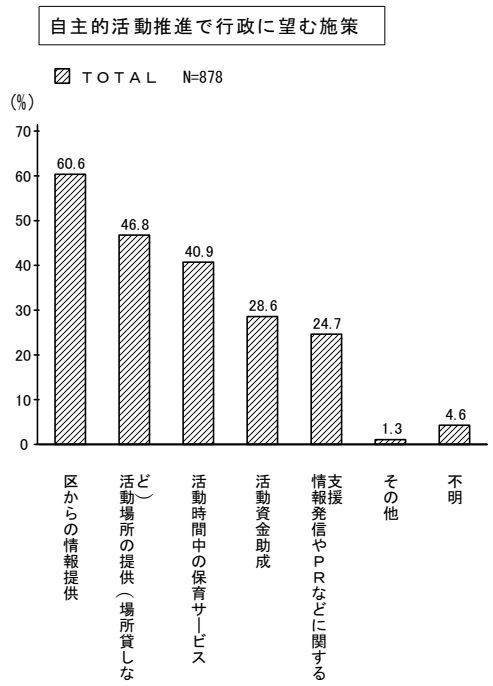
自主的な活動への参加 (子育てに関する不安感・負担感タイプ別)

不安感・負担感タイプ	現在参加している (%)	現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい (%)	現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない (%)	不明 (%)	サンプル数
TOTAL	8.9	38.9	50.2	2.0	1835
不安や負担を感じる	9.4	40.4	48.6	1.6	967
不安や負担などは感じない	8.4	37.8	52.1	1.7	641
その他	7.9	35.5	53.2	3.4	203

(注) 表側の「不明」は除く。

自主的な活動を進めていく上で、行政への支援要望について聞いたところ、「区からの情報提供」が60.6%で最も多く、続いて「活動場所の提供（場所貸しなど）」が46.8%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「区からの情報提供」または「活動場所の提供（場所貸しなど）」が多く、「石神井」地区では「活動時間中の保育サービス」も他の地区と比べてやや多くなっている。



自主的活動推進で行政に望む施策(居住地区別)

(%)

	TOTAL	区からの情報提供	活動場所の提供（場所貸しなど）	活動時間中の保育サービス	活動資金助成	情報発信やPRなどに関する支援	その他	不明
TOTAL	878	60.6	46.8	40.9	28.6	24.7	1.3	4.6
練馬	166	62.7	46.4	41.0	26.5	22.3	0.6	4.8
光が丘	255	61.2	44.7	39.6	29.4	26.3	1.2	5.5
石神井	232	57.3	48.7	42.7	27.6	23.7	0.9	3.0
大泉	193	61.7	47.7	38.9	31.6	24.9	2.6	5.2

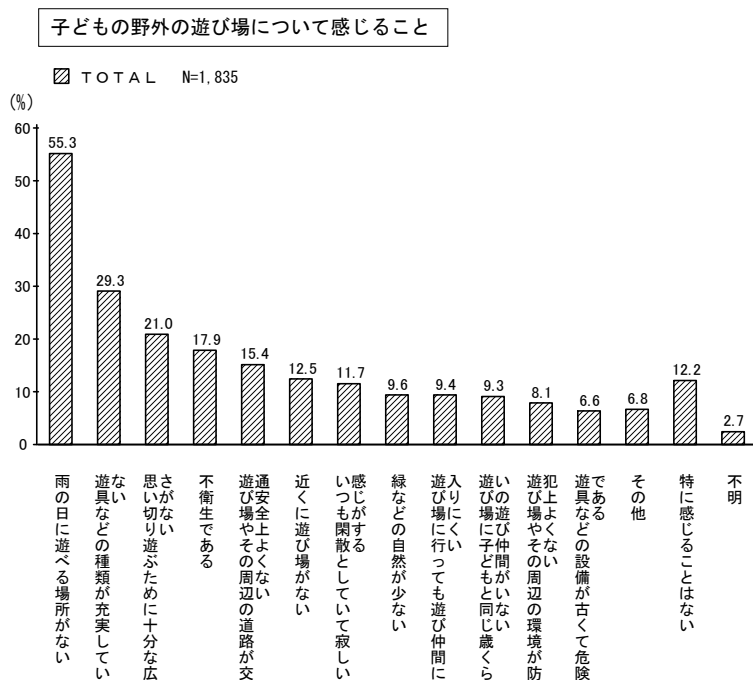
(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

(12) 子どもの遊び場、外出時の困りごとについて

問46 あなたは家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(3つまで)
 問47 あなたはお子さんとの外出の際、困ると感じたことや困ったと感じたことはありますか。(3つまで)

子どもの屋外の遊び場について感じることを聞いたところ、「雨の日に遊べる場所がない」が55.3%で最も多く、続いて「遊具などの種類が充実していない」が29.3%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が21.0%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「雨の日に遊べる場所がない」が最も多くなっているが、「石神井」「大泉」地区では「遊具などの種類が充実していない」がやや多くなっている。



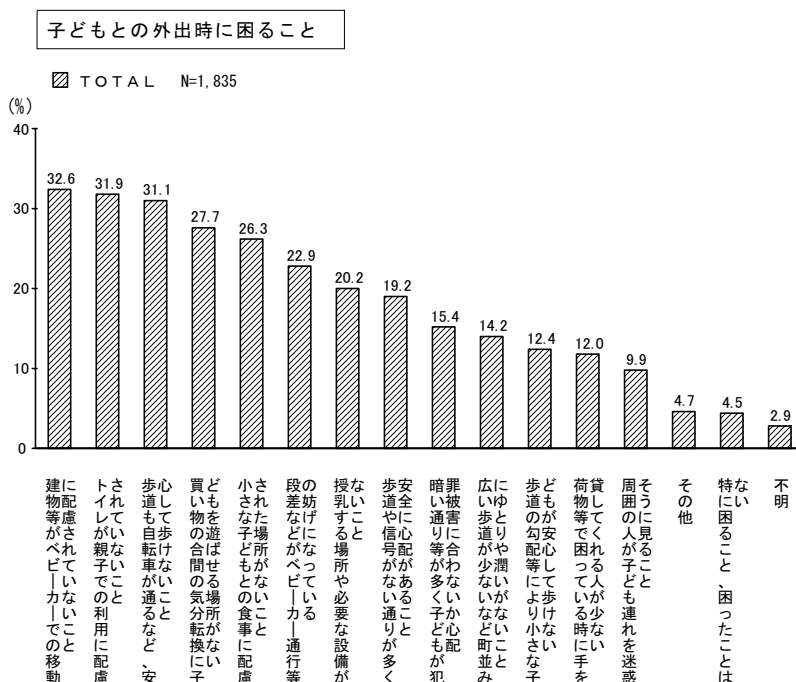
子どもの野外の遊び場について感じること (居住地区別)

	TOTAL	雨の日に遊べる場所がない	遊具などの種類が充実していない	広さがない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	不衛生である	交通安全上よくない	近くに遊び場がない	いつも閑散としていて寂しい感じがする	緑などの自然が少ない	遊び場に行っても遊び仲間に入りにくい	遊び場に子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない	遊び場やその周辺の環境が防犯上よくない	遊具などの設備が古くて危険である	その他	特に感じることはない	不明
TOTAL	1835	55.3	29.3	21.0	17.9	15.4	12.5	11.7	9.6	9.4	9.3	8.1	6.6	6.8	12.2	2.7	
練馬	356	61.2	27.8	24.2	22.8	12.9	12.4	11.8	15.4	8.7	9.3	10.1	5.6	8.4	9.3	2.2	
光が丘	534	50.4	23.6	16.1	18.2	14.8	9.2	8.6	7.7	8.6	7.5	8.2	6.2	6.9	15.9	3.9	
石神井	490	56.3	30.4	23.1	16.1	15.3	13.3	10.0	9.2	8.4	9.2	6.7	7.8	6.1	12.2	1.4	
大泉	382	57.3	37.2	21.7	16.2	18.1	16.8	16.0	7.9	12.0	10.7	7.9	6.8	5.5	10.7	2.4	

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

子どもと外出の際の困りごとについては、「建物などがベビーカーでの移動に配慮されていないこと」が32.6%で最も多く、続いて「トイレにオムツ替えなど利用に配慮されていないこと」が31.9%、「歩道も自転車が通るなど、安心して歩けないこと」が31.1%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「建物などがベビーカーでの移動に配慮されていないこと」「トイレにオムツ替えなど利用に配慮されていないこと」「歩道も自転車が通るなど、安心して歩けないこと」が多くなっているが、「石神井」「大泉」地区では「買い物の合間の気分転換に子どもを遊ばせる場所がない」などが他の地区と比べて多くなっている。



子どもと外出時に困ること（居住地区別）

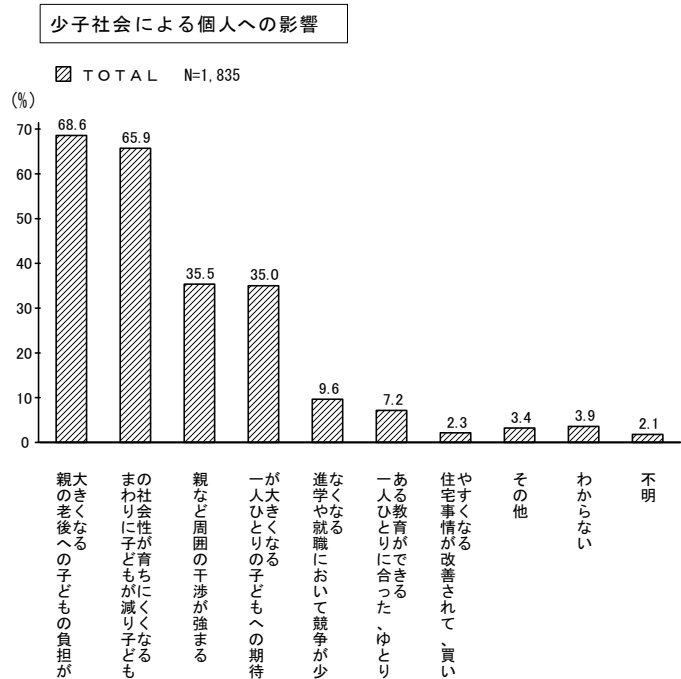
	TOTAL	32.6	31.9	31.1	27.7	26.3	22.9	20.2	19.2	15.4	14.2	12.4	12.0	9.9	4.7	4.5	2.9
TOTAL	1835	32.6	31.9	31.1	27.7	26.3	22.9	20.2	19.2	15.4	14.2	12.4	12.0	9.9	4.7	4.5	2.9
練馬	356	37.4	32.9	31.5	28.9	27.8	26.1	23.3	12.9	15.7	16.0	13.2	10.4	9.6	6.5	3.9	2.2
光が丘	534	31.8	31.8	31.1	20.6	26.6	22.3	18.5	18.4	14.0	10.7	12.4	12.4	11.6	4.3	5.4	3.6
石神井	490	33.5	33.9	30.4	31.4	29.8	21.0	21.2	19.0	15.5	15.5	10.8	12.2	9.8	4.7	4.3	2.0
大泉	382	28.3	27.5	33.8	31.4	21.2	24.6	19.1	26.7	16.8	15.7	14.4	11.5	8.6	3.7	4.5	3.1

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

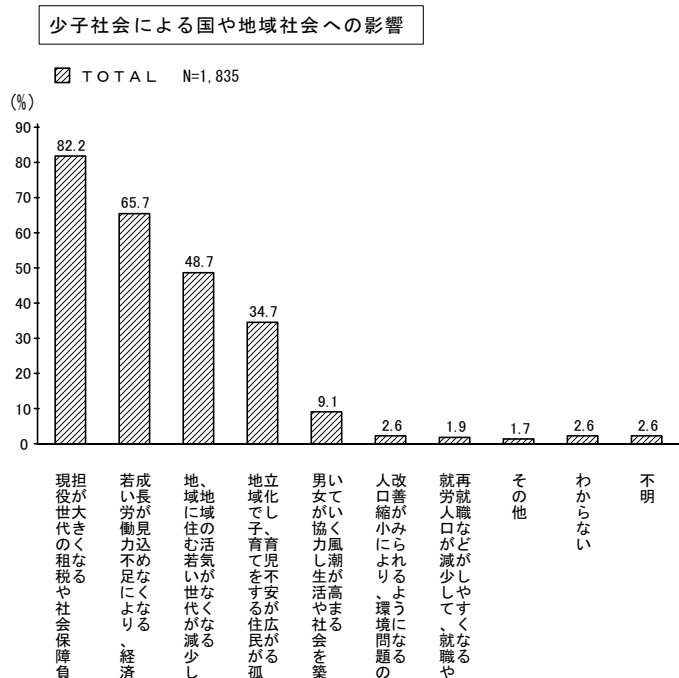
(13) 少子社会に対する考え方について

- 問48** あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。（3つまで）
- 問49** あなたは、少子社会が国や地域社会にはどのような影響を与えますか。（3つまで）

少子社会の個人生活への影響について見てみると、「親の老後への子どもの負担が大きくなる」が68.6%で最も多く、続いて「まわりに子どもが減り子どもの社会性が育ちにくくなる」が65.9%、「親など周囲の干渉が強まる」が35.5%となっている。



少子社会による国、地域社会への影響について見てみると、「現役世代の租税や社会保障負担が大きくなる」が82.2%で最も多く、続いて「若い労働力不足により、経済成長が見込めなくなる」が65.7%、「地域に住む若い世代が減少し、地域の活力がなくなる」が48.7%となっている。



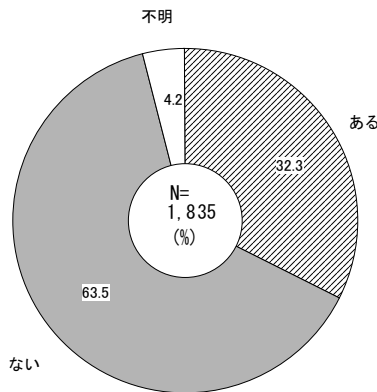
(14) 行政サービス要望について

問50 あなたは出産、育児に関する区の担当者の対応について、不満に思ったことはありますか。
 問50-1 どのような点に不満を感じましたか。(複数回答)
 問51 あなたは親と子が健やかに育ち合うようにするために、子育て支援施策に対して、行政としてどこに力を入れていくといいと思いますか。(複数回答)

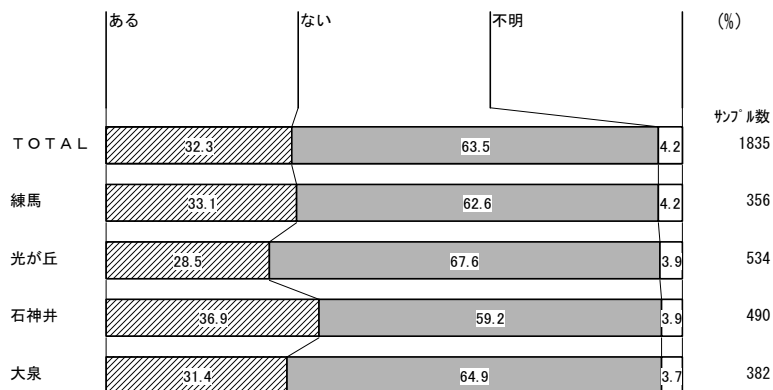
子育てに関する担当者の対応への不満について見てみると、「ある」は32.3%、「ない」は63.5%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「ある」は3割前後となっている。

出産、育児に関する区担当者への不満



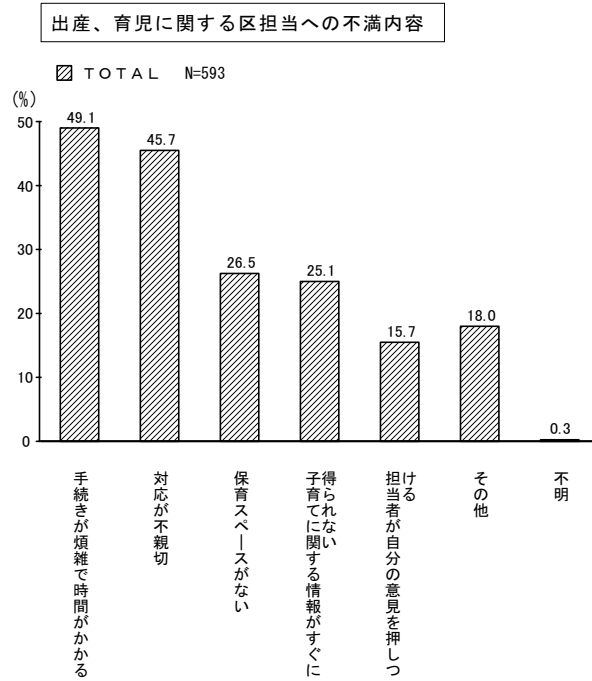
出産、育児に関する区担当者への不満 (居住地区別)



(注) 表側の「不明」は除く。

そこで不満に思った内容について見てみると、「手続きが煩雑で時間がかかる」が49.1%で最も多くなっており、続いて「対応が不親切」が45.7%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「手続きが煩雑で時間がかかる」または「対応が不親切」が多くなっているが、「光が丘」地区では「対応が不親切」が他の地区と比べて多くなっている。



出産、育児に関する区担当への不満内容（居住地区別）

	TOTAL	手続きが煩雑で時間がかかる	対応が不親切	保育スペースがない	子育てに関する情報がすぐに得られない	担当者が自分の意見を押しつける	その他	不明
TOTAL	593	49.1	45.7	26.5	25.1	15.7	18.0	0.3
練馬	118	50.0	39.0	31.4	22.0	11.0	15.3	0.0
光が丘	152	43.4	53.3	23.7	23.0	17.1	16.4	0.0
石神井	181	46.4	43.6	25.4	28.2	16.0	21.0	1.1
大泉	120	60.8	47.5	28.3	25.0	19.2	15.8	0.0

(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

子育て支援要望について見てみると、「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」が71.3%で最も多く、続いて「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が62.4%、「保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい」が57.2%となっている。

前期調査(平成15年度)では、「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」が75.7%で最も多く、続いて「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」が54.1%、「交通事故に遭わないよう交通安全対策を強化して欲しい」が53.7%となっており、全体的に安心・安全に関する要望が強い。

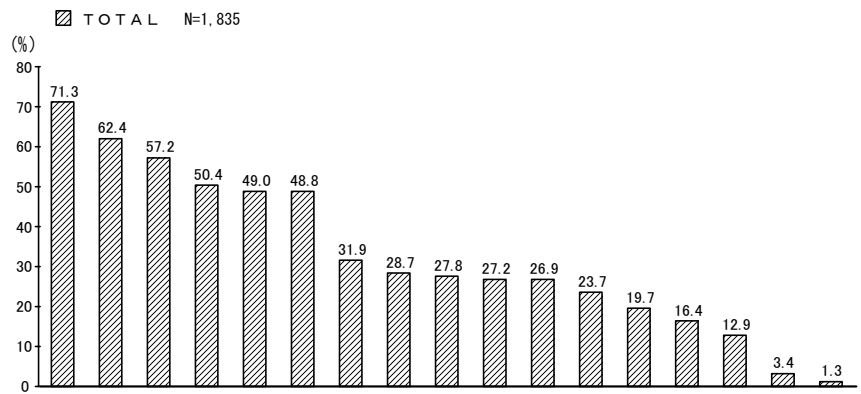
居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」が最も多くなっているが、「練馬」「石神井」地区では「保育園を増やしたり、利用日数等を拡充して欲しい」が他の地区と比べて多くなっている。

子どもの年齢別に見てみると、いずれの年齢でも「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」が多く、「0歳児」については「保育園を増やしたり、利用日数等を拡充して欲しい」が多くなっている。

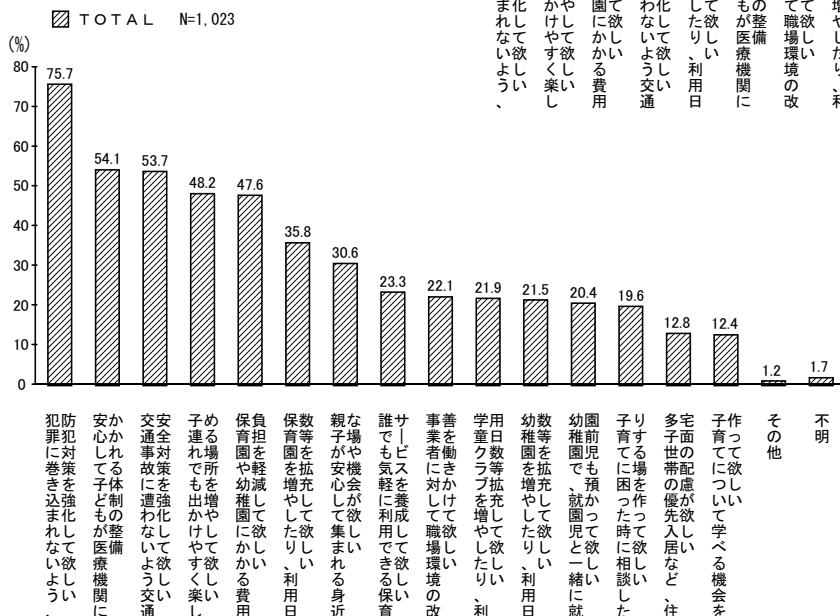
同居・近居状況別に見てみると、いずれの場合でも「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」「安心して子どもが医療機関にかかる体制の整備」について多くなっている。

不安感や負担感の有無タイプ比較を行うと、どちらもほぼ同じ傾向となっているが、「不安や負担を感じる」タイプで「保育園を増やしたり、利用日数等を拡充して欲しい」が特に多くなっている。

重視すべき子育て支援施策



前期調査(平成15年度) 重視すべき子育て支援施策 参考



重視すべき子育て支援施策（居住地区別）

	TOTAL	防犯対策を強化して欲しい	犯罪に巻き込まれないよう、める場所を増やして欲しい	子連れでも出かけやすく楽しい場所を増やして欲しい	負担を軽減して欲しい	保育園や幼稚園にかかる費用	交通安全に遭わないよう交通	交通安全に遭わないよう交通	数等を拡充して欲しい	保育園を増やしたり、利用日	かかれる体制の整備	安心して子どもが医療機関に	善を働きかけて欲しい	事業者に対して職場環境の改	用日数等拡充して欲しい	学童クラブを増やしたり、利	な場や機会が欲しい	親子が安心して集まれる身近	数等を拡充して欲しい	幼稚園を増やしたり、利用日	サービスを養成して欲しい	誰でも気軽に利用できる保育	園前児も預かって欲しい	幼稚園で、就園児と一緒に就	りする場を作った時に相談した	子育てに困った時に相談した	宅面の配慮が欲しい	多子世帯の優先入居など、住	作って欲しい	子育てについて学べる機会を	その他	不明
TOTAL	1835	71.3	62.4	57.2	50.4	49.0	48.8	31.9	28.7	27.8	27.2	26.9	23.7	19.7	16.4	12.9	3.4	1.3														
練馬	356	71.3	64.6	58.1	51.4	53.4	49.2	33.4	29.5	28.1	27.5	28.4	24.7	21.9	16.3	13.5	3.9	1.4														
光が丘	534	71.2	60.5	52.4	48.9	46.4	44.0	31.6	27.2	25.3	22.7	26.4	25.8	17.8	14.6	13.5	3.0	1.3														
石神井	490	68.8	62.2	60.4	49.0	50.0	51.6	32.0	30.2	29.6	29.2	31.6	21.0	20.6	19.8	12.4	3.3	2.2														
大泉	382	73.0	62.6	60.5	51.3	47.6	49.0	30.6	27.0	28.0	30.1	20.4	22.3	19.9	16.2	11.8	3.7	0.0														

(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

重視すべき子育て支援施策（子どもの年齢別）

	TOTAL	防犯対策を強化して欲しい	犯罪に巻き込まれないよう、める場所を増やして欲しい	子連れでも出かけやすく楽しい場所を増やして欲しい	負担を軽減して欲しい	保育園や幼稚園にかかる費用	交通安全に遭わないよう交通	交通安全に遭わないよう交通	数等を拡充して欲しい	保育園を増やしたり、利用日	かかれる体制の整備	安心して子どもが医療機関に	善を働きかけて欲しい	事業者に対して職場環境の改	用日数等拡充して欲しい	学童クラブを増やしたり、利	な場や機会が欲しい	親子が安心して集まれる身近	数等を拡充して欲しい	幼稚園を増やしたり、利用日	サービスを養成して欲しい	誰でも気軽に利用できる保育	園前児も預かって欲しい	幼稚園で、就園児と一緒に就	りする場を作った時に相談した	子育てに困った時に相談した	宅面の配慮が欲しい	多子世帯の優先入居など、住	作って欲しい	子育てについて学べる機会を	その他	不明
TOTAL	1835	71.3	62.4	57.2	50.4	49.0	48.8	31.9	28.7	27.8	27.2	26.9	23.7	19.7	16.4	12.9	3.4	1.3														
0歳	494	65.6	71.3	61.7	44.5	60.5	54.7	38.9	22.5	37.7	29.8	22.9	22.9	21.3	16.2	17.0	3.4	1.4														
1歳	296	69.3	68.9	63.5	51.0	54.7	49.0	30.7	24.0	31.1	31.1	27.4	32.8	21.6	16.9	16.6	2.7	1.4														
2歳	257	68.5	65.8	57.6	47.9	45.1	38.9	29.2	23.3	25.3	23.0	29.2	28.4	22.2	16.7	11.7	1.9	0.8														
3歳	255	77.3	60.0	59.2	47.1	47.5	47.1	33.7	33.3	22.4	27.1	32.5	20.8	19.2	19.6	12.2	3.5	0.8														
4歳	267	74.2	55.1	56.9	55.8	37.8	49.1	28.5	34.5	25.8	31.5	24.7	18.4	16.1	16.1	8.6	2.6	1.9														
5歳	258	78.7	45.0	40.3	61.6	37.2	48.4	24.4	39.5	15.9	18.2	28.3	19.0	16.7	13.2	7.8	6.2	1.2														

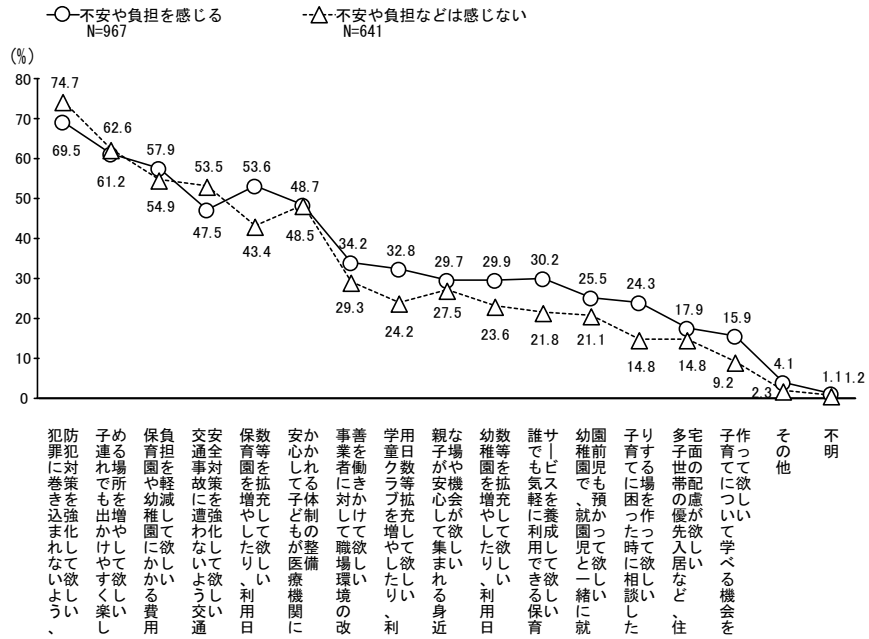
(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

重視すべき子育て支援施策（同居・近居状況別）

	TOTAL	防犯対策を強化して欲しい	犯罪に巻き込まれないよう、める場所を増やして欲しい	子連れでも出かけやすく楽しい場所を増やして欲しい	負担を軽減して欲しい	保育園や幼稚園にかかる費用	交通安全に遭わないよう交通	交通安全に遭わないよう交通	数等を拡充して欲しい	保育園を増やしたり、利用日	かかれる体制の整備	安心して子どもが医療機関に	善を働きかけて欲しい	事業者に対して職場環境の改	用日数等拡充して欲しい	学童クラブを増やしたり、利	な場や機会が欲しい	親子が安心して集まれる身近	数等を拡充して欲しい	幼稚園を増やしたり、利用日	サービスを養成して欲しい	誰でも気軽に利用できる保育	園前児も預かって欲しい	幼稚園で、就園児と一緒に就	りする場を作った時に相談した	子育てに困った時に相談した	宅面の配慮が欲しい	多子世帯の優先入居など、住	作って欲しい	子育てについて学べる機会を	その他	不明
TOTAL	1835	71.3	62.4	57.2	50.4	49.0	48.8	31.9	28.7	27.8	27.2	26.9	23.7	19.7	16.4	12.9	3.4	1.3														
父母同居	1635	71.9	62.7	57.8	51.1	48.7	48.9	32.2	28.1	28.0	27.5	27.8	24.0	19.9	16.5	13.1	3.4	1.2														
父同居(ひとり親家庭)	3	66.7	66.7	0.0	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0														
母同居(ひとり親家庭)	61	72.1	59.0	52.5	45.9	63.9	55.7	34.4	44.3	21.3	26.2	14.8	8.2	16.4	14.8	11.5	1.6	3.3														
祖父同居	114	74.6	64.0	63.2	52.6	49.1	55.3	36.0	21.9	24.6	27.2	29.8	18.4	17.5	17.5	13.2	2.6	1.8														
祖母同居	170	74.7	66.5	61.8	54.1	48.8	53.5	32.4	24.1	23.5	24.1	25.9	20.6	17.6	15.3	10.6	2.4	1.2														
祖父近居	452	74.1	65.3	59.1	54.2	45.4	50.9	29.0	28.1	31.2	28.8	27.0	25.2	19.5	19.0	12.8	3.8	1.1														
祖母近居	531	74.8	62.9	59.9	53.7	45.6	52.2	29.4	27.7	28.6	27.1	27.3	25.0	18.6	18.5	12.1	4.3	0.9														
その他	78	73.1	73.1	61.5	57.7	56.4	57.7	42.3	34.6	28.2	37.2	19.2	28.2	16.7	30.8	15.4	3.8	1.3														

(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

重視すべき子育て支援施策（子育てに関する不安感・負担感タイプ比較）



IV-2 就学児童家庭の調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

区内に在住する就学児童の保護者に対して、子育て支援に関する生活実態や要望・意見などを把握し、平成 21 年度「練馬区次世代育成支援対策行動計画（後期）」を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ①子どもと家族について
- ②就労状況について
- ③学童クラブの利用について
- ④病時・病後時保育について
- ⑤一時預かりについて
- ⑥一時的保育事業等について
- ⑦子どもの居場所について
- ⑧子育て支援サービスについて
- ⑨子育ての悩みや相談等について
- ⑩母子保健、地域医療等について
- ⑪子育てに関する情報、相談、活動について
- ⑫子どもの遊び場、安全、防犯対策について
- ⑬少子社会に対する考え方について
- ⑭行政サービス要望について

(3) 調査仕様

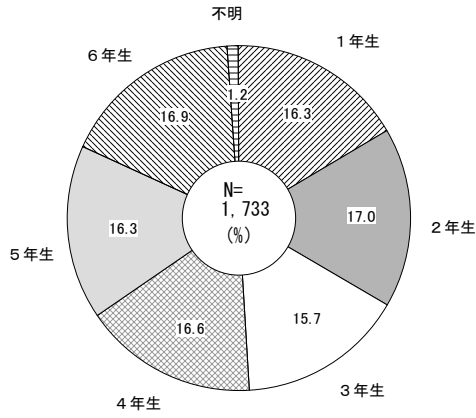
- | | |
|-------|-------------------------------------|
| ①調査地域 | 区全域 |
| ②調査対象 | 区内の 12 小学校の各学年より選定した 1 クラス全員の児童の保護者 |
| ③標本数 | 2,000 件 |
| ④抽出方法 | 住各地区の対象児童の人口バランスを考慮し、それぞれ 1～2 校選定 |
| ⑤調査方法 | 学校を經由して配布、回収 |
| ⑥調査期間 | 平成 21 年 1 月 26 日～2 月 9 日 |

(4) 回収数・回収率

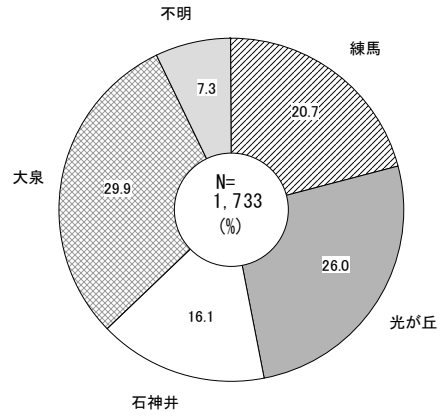
1,733 件 有効回答率=86.7%

(5) 基本属性

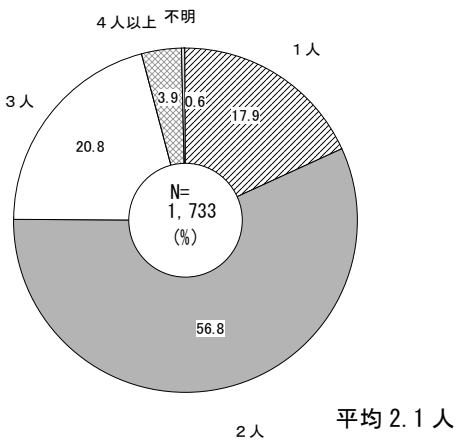
学年



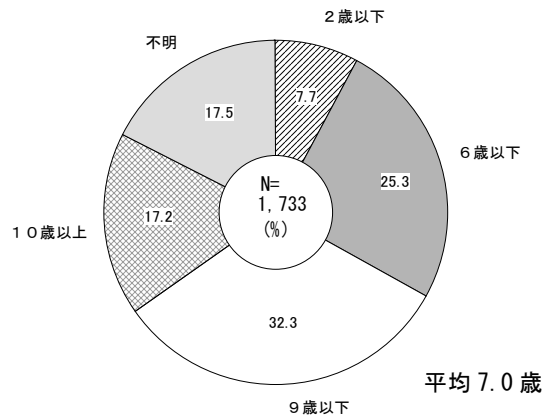
居住地区



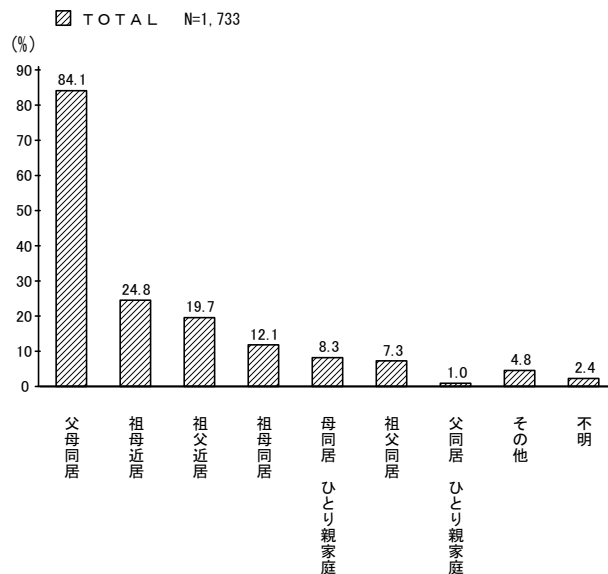
子どもの数



末子年齢



同居・近居状況



◆本報告書における調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びNで示している。
- 回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の間のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。
- 調査による標本誤差については、次の通りである。

■標本誤差の算出式

標本誤差の算出式は、次の通りである。

$$F = k \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

但し、F=誤差
 N=母集団
 P=回答の比率
 n=標本数
 k=信頼度を高める定数
 ⇒信頼度95%の場合 k=1.96≒2
 (一般的な世論調査)

回

回答の比率については、F(誤差)が最大となる50%(P=0.5)を最大誤差とし誤差を算出した。回答の比率が10~90%の各場合については、次のようになる。

■各回答比率ごとの誤差

		回答比率P(%)				
		10%又は 90%前後	20%又は 80%前後	30%又は 70%前後	40%又は 60%前後	50%前後
標本数n	1,733	1.40	1.87	2.15	2.29	2.34
	1,500	1.52	2.02	2.31	2.47	2.53
	1,000	1.87	2.49	2.86	3.05	3.12
	500	2.66	3.55	4.07	4.35	4.44

- 調査結果の「居住地区」は総合福祉事務所管轄で区分している(他の調査も同様)。

地区	町名
練馬	旭丘、向山、小竹町、栄町、桜台、豊玉上、豊玉北、豊玉中、豊玉南、中村、中村北、中村南、貫井、練馬、羽沢
光が丘	旭町、春日町、北町、田柄、高松、土支田、錦、早宮、氷川台、光が丘、平和台
石神井	上石神井、上石神井南町、下石神井、石神井台、石神井町、関町北、関町東、関町南、高野台、立野町、富士見台、南田中、三原台、谷原
大泉	大泉学園町、大泉町、西大泉、西大泉町、東大泉、南大泉

2. 調査結果の概要

(1) 子どもと家族について

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。(複数回答)

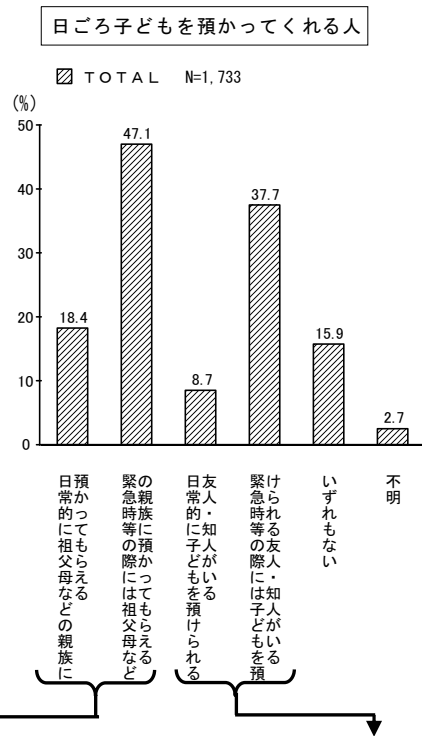
問4-1 [問4で1. 2を選択] 祖父母等に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

問4-2 [問4で3. 4を選択] 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。(複数回答)

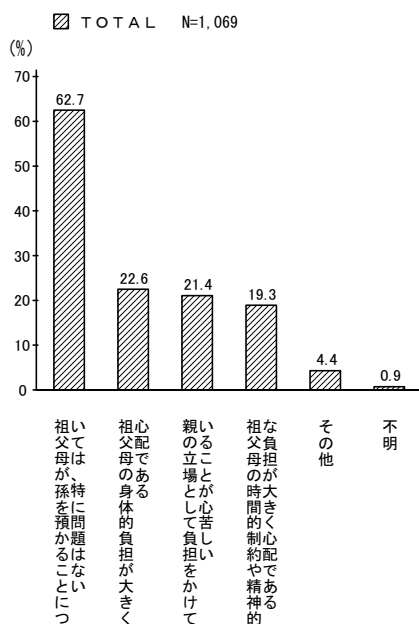
日ごろ子どもを預かってくれる人について聞いたところ、「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が47.1%で最も多く、続いて「緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる」が37.7%となっている。

そこで、『緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる』などと回答した人に、その状況について聞いたところ、「祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない」が72.7%で最も多くなっているが、「祖父母の身体的負担が大きく心配である」も22.6%の回答があった。

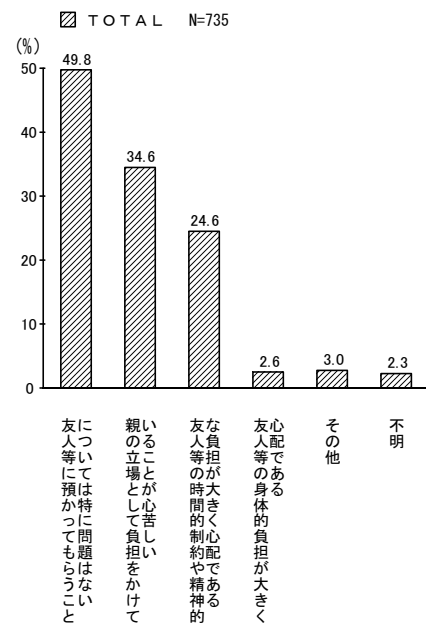
また、『緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる』などと回答した人に、その状況について聞いたところ、「友人等に預かってもらうことについては、特に問題はない」が49.8%で最も多くなっているが、「親の立場として負担をかけていることが心苦しい」も34.6%の回答があった。



親族に子どもを預かってくれる状況への認識



友人・知人に子どもを預かってくれる状況への認識



日ごろ子どもを預かってくれる人について、学年別に聞いたところ、いずれの学年でも「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多くなっており、「3年生」などでは「緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる」もやや多くなっている。

日ごろ子どもを預かってくれる人(学年別)

	TOTAL	ても母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日
	TOTAL	ても母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日
TOTAL	1733	47.1	37.7	18.4	8.7	15.9	2.7		
1年生	283	50.9	40.3	20.8	8.5	12.4	2.8		
2年生	294	49.7	33.0	18.7	10.2	14.6	3.4		
3年生	272	47.4	41.2	18.0	5.5	16.9	1.5		
4年生	287	49.1	40.1	18.1	9.8	12.9	3.1		
5年生	283	43.1	35.3	17.0	7.4	19.1	1.4		
6年生	293	42.3	36.5	18.8	10.2	19.8	3.1		

(注) 網掛けは40%以上。また表側の「不明」は除く。

子どもの数別に聞いたところ、いずれの場合でも「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多く、「4人以上」では「緊急時等の際には子供を預けられる友人・知人がいる」が多くなっている。

日ごろ子どもを預かってくれる人(子どもの数別)

	TOTAL	ても母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日
	TOTAL	ても母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日
TOTAL	1733	47.1	37.7	18.4	8.7	15.9	2.7		
1人	311	43.1	32.8	20.3	7.4	17.0	2.9		
2人	985	49.2	37.9	18.4	8.1	14.7	2.8		
3人	360	46.4	38.9	16.9	10.6	19.7	1.1		
4人以上	117	43.3	50.7	19.9	10.4	10.4	4.5		

(注) 網掛けは40%以上。また表側の「不明」は除く。

同居・近居状況別に聞いたところ、父母同居などでは「緊急時等の際には祖父母などの親族に預かってもらえる」が最も多く、祖父母が同居している場合は「日常的に祖父母などの親族に預かってもらえる」が多くなっている。

日ごろ子どもを預かってくれる人(同居・近居状況別)

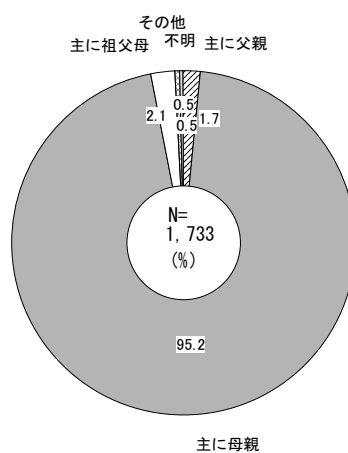
	TOTAL	ても母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日
	TOTAL	ても母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日	も母緊知も緊る親日るら日
TOTAL	1733	47.1	37.7	18.4	8.7	15.9	2.7		
父母同居	1458	48.3	39.8	16.8	8.7	15.6	2.4		
父同居(ひとり親家庭)	18	22.2	16.7	50.0	11.1	22.2	5.6		
母同居(ひとり親家庭)	144	34.7	22.2	31.3	6.9	21.5	2.1		
祖母同居	127	37.0	29.1	63.8	11.0	2.4	0.0		
祖母同居	210	38.6	22.9	61.9	8.6	2.9	1.9		
祖父近居	341	72.7	34.9	27.6	6.5	3.5	2.6		
祖母近居	430	73.3	34.9	27.7	6.0	3.5	2.6		
その他	117	60.2	47.0	31.3	12.0	7.2	0.0		

(注) 網掛けは40%以上。また表側の「不明」は除く。

問5 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

子どもの身の回りの世話などを主にしている人について聞いたところ、「主に母親」が95.2%で圧倒的に多くなっている。

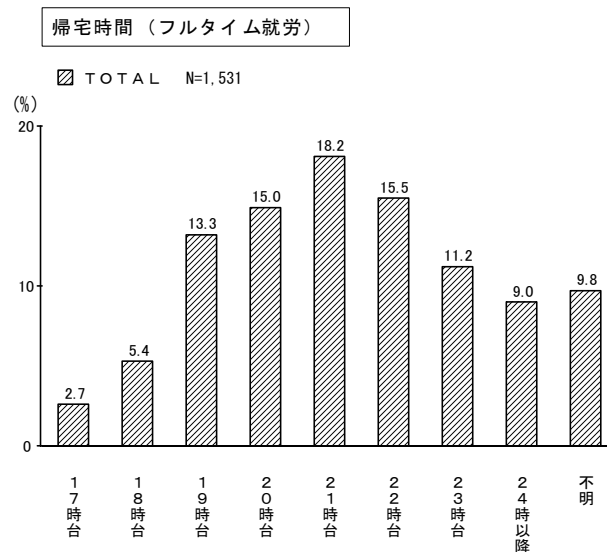
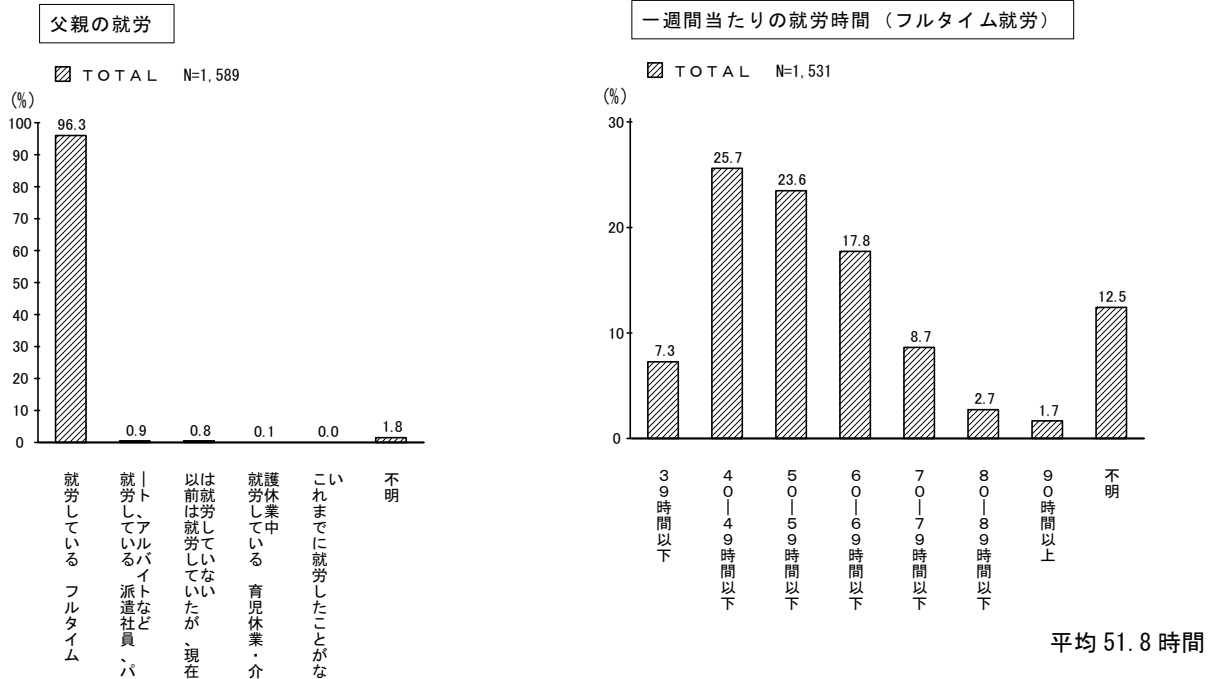
主に身の回りの世話をしている人



(2) 就労状況について

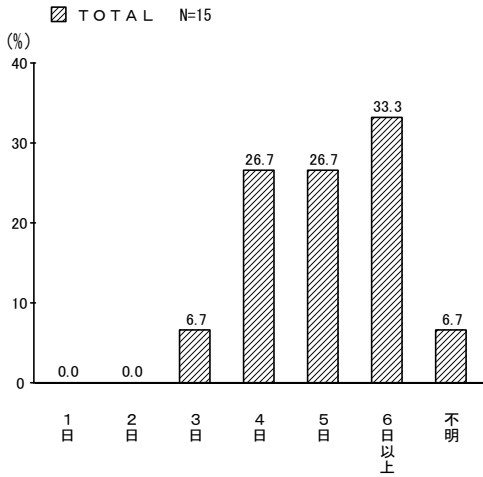
問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。＜父親＞

はじめに父親の就労状況について聞いたところ、主に「就労している フルタイム」が 96.3%で圧倒的に多く、週平均 51.8 時間、20 時台から 22 時台に帰宅している。



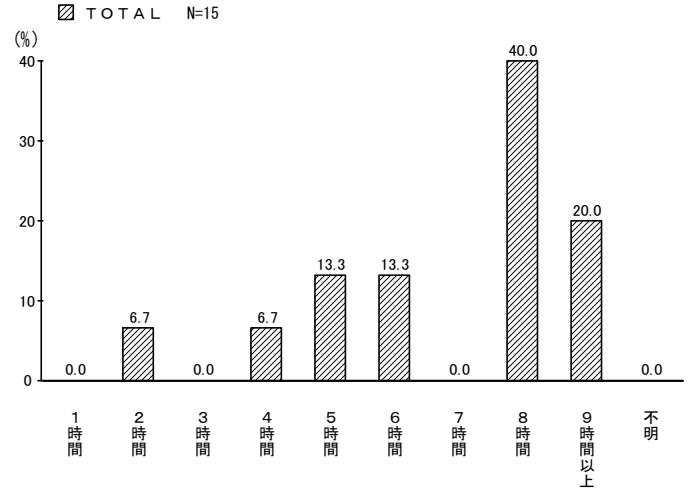
派遣・パート・アルバイト等就労の人については、週平均 4.9 日、6.9 時間勤務となっている。
 そこで、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、希望の有る・無し意見が3通りに分かれているが、母数自体が少ない。

一週間当たりの就労日（派遣・パート・アルバイト等就労）



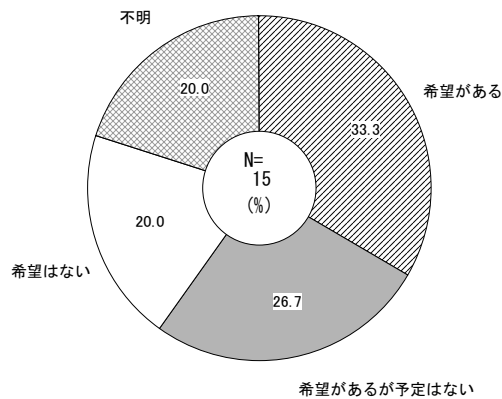
平均 4.9 日

一日当たりの就労時間（派遣・パート・アルバイト等就労）



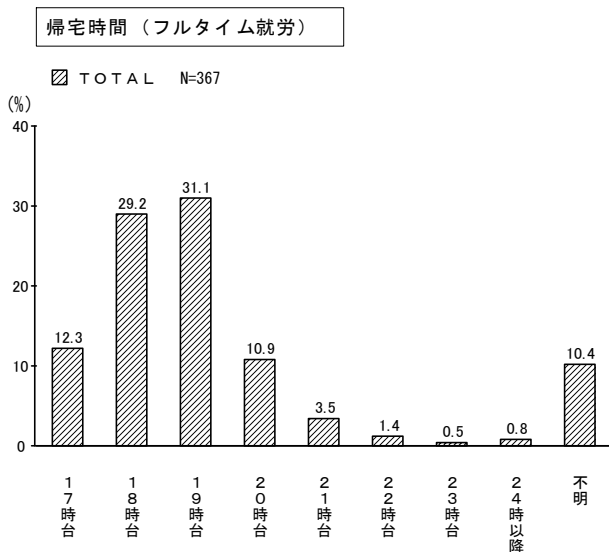
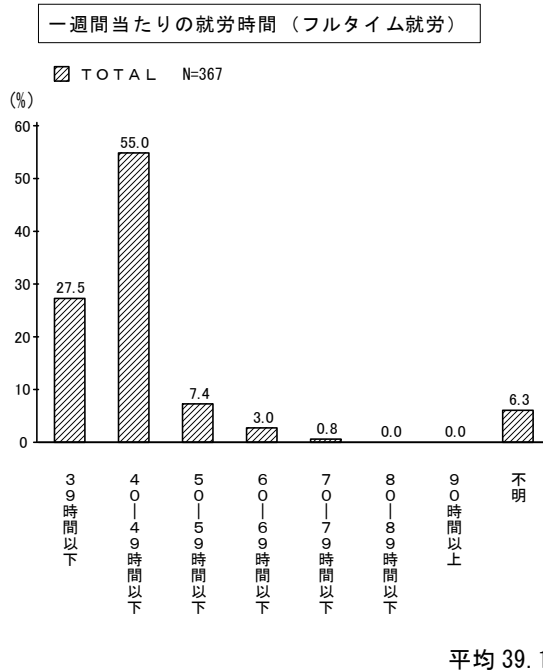
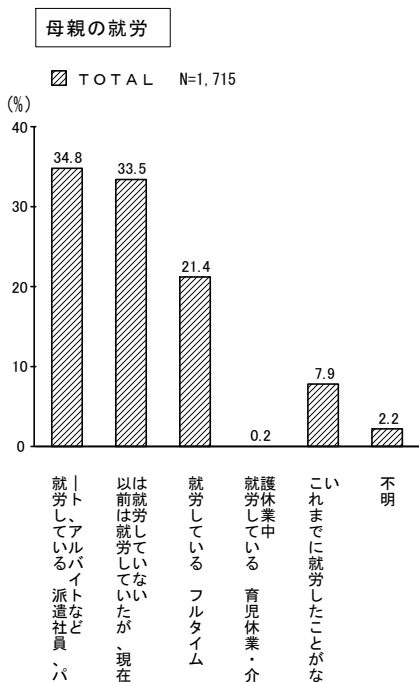
平均 6.9 時間

フルタイムへの転換希望



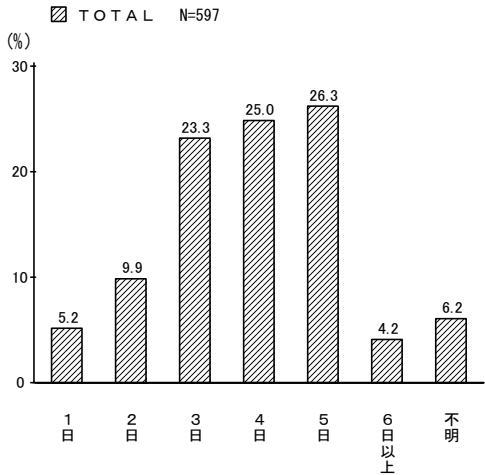
問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）お伺いします。＜母親＞

母親の就労状況については、「就労している 派遣社員、パート、アルバイトなど」が 34.8%で最も多く、続いて「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 33.5%となっている。「就労している フルタイム」の人に一週間当たりの就労時間について聞いたところ、週平均 39.1 時間、18 時台から 19 時台に帰宅している。



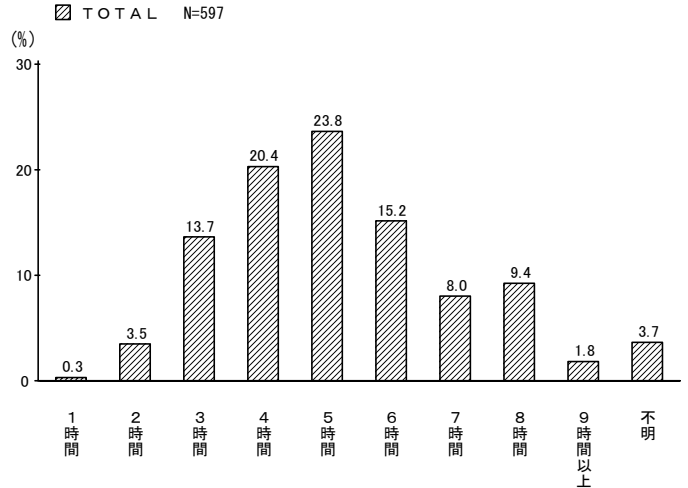
派遣・パート・アルバイト等就労の人については、週平均 3.7 日、5.1 時間勤務となっている。
 そこで、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、「希望はない」が最も多く、「希望があるが予定はない」が続いている。

一週間当たりの就労日（派遣・パート・アルバイト等就労）



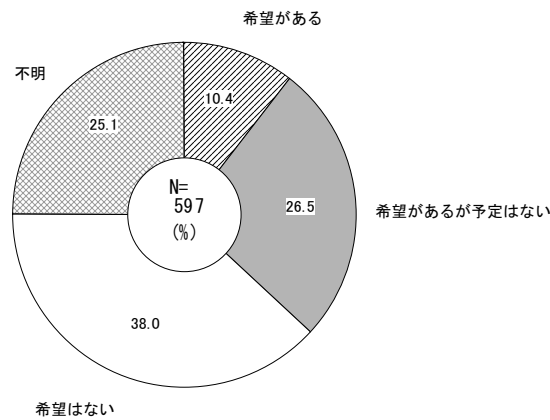
平均 3.7 日

一日当たりの就労時間（派遣・パート・アルバイト等就労）



平均 5.1 時間

フルタイムへの転換希望

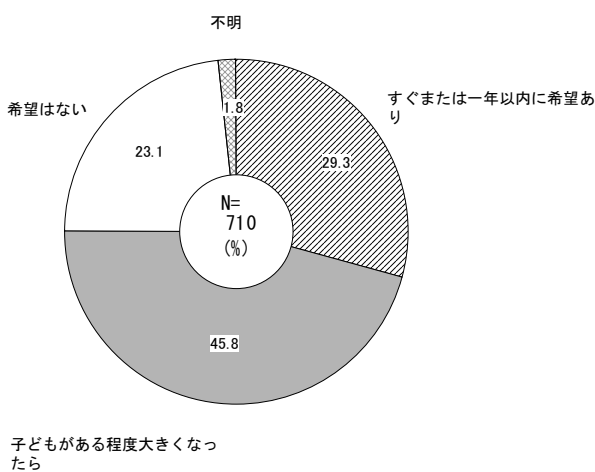


問8 [問7の「(2) 母親」で4または5を選択] 母親の就労希望はありますか。
問8-1 [問8で1. 2を選択] 就労希望の形態はどのようなものですか。

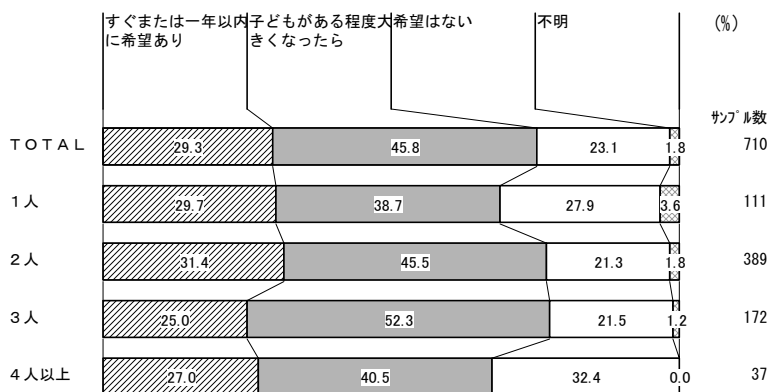
母親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」か「これまでに就労したことがない」と回答した人に、就労希望を聞いたところ、「子どもがある程度大きくなったら」が45.8%で最も多くなっている。

子どもの数別に見てみると、全体的に「子どもがある程度大きくなったら」が多くなっているが、4人以上では「希望はない」もやや多くなっている。

母親の就労希望



母親の就労希望 (子どもの数別)

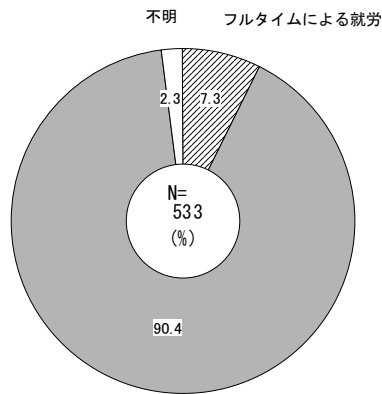


(注) 表側の「不明」は除く。

そこで、就労希望のある母親に対して希望形態について聞いたところ、「派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労」が90.4%で圧倒的に多くなっている。

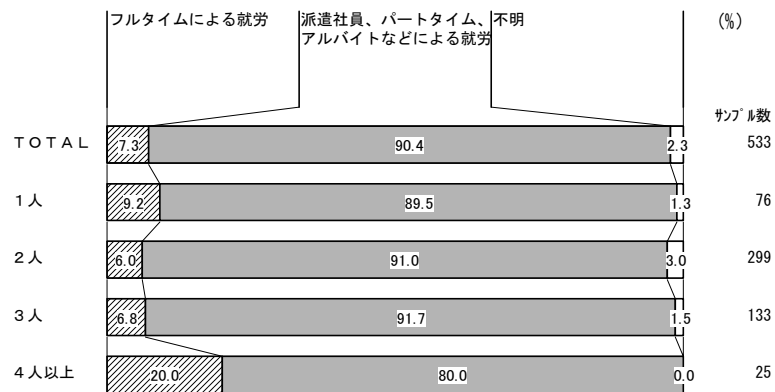
子どもの数別に見てみると、全体的に「派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労」が多くなっているが、子どもの数が4人以上では「フルタイムによる就労」がやや多くなっている。

希望する就労形態



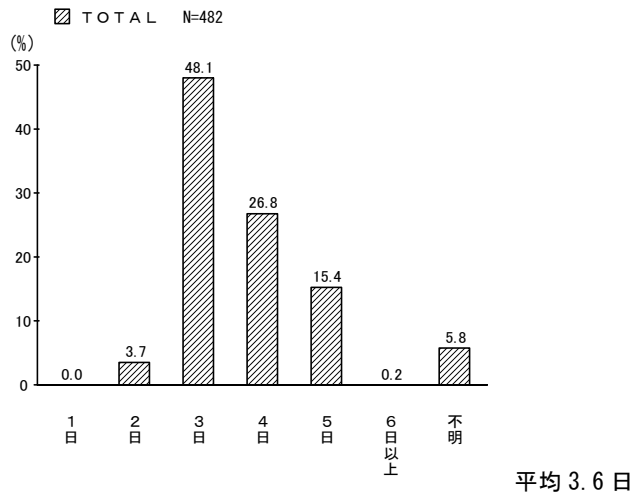
派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労

希望する就労形態（子どもの数別）

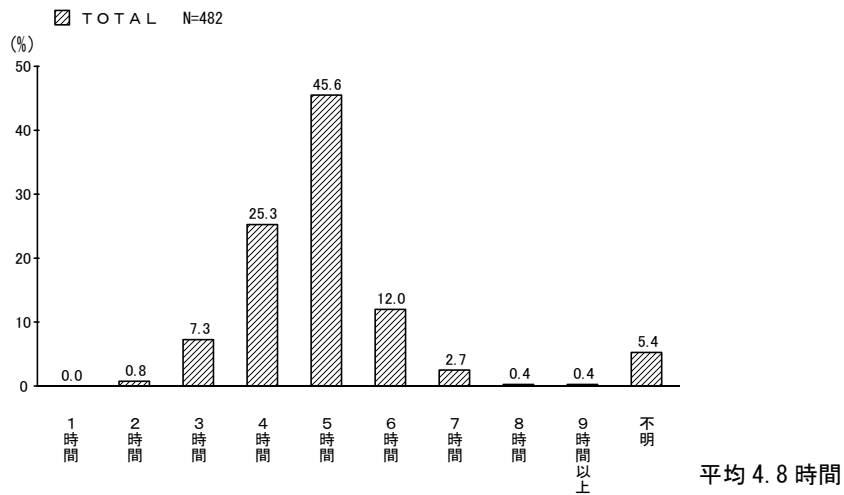


『派遣社員、パートタイム、アルバイトなどによる就労』を希望している母親に、一週間当たりの就労希望日数を聞いたところ、平均 3.6 日で、また一日当たりの就労希望時間については、平均 4.8 時間となっている。

一週間当たりの就労日（派遣・パート・アルバイト等就労）



一日当たりの就労時間（派遣・パート・アルバイト等就労）

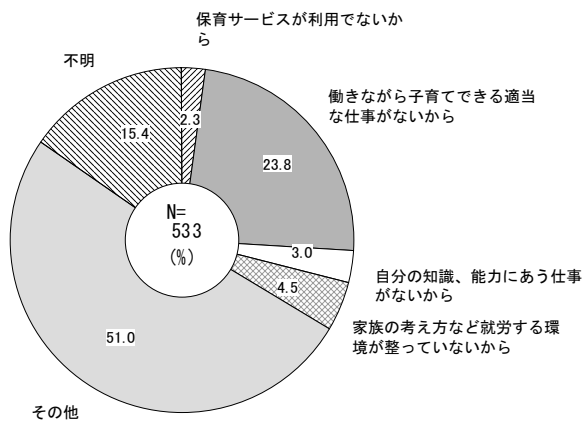


問 8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。

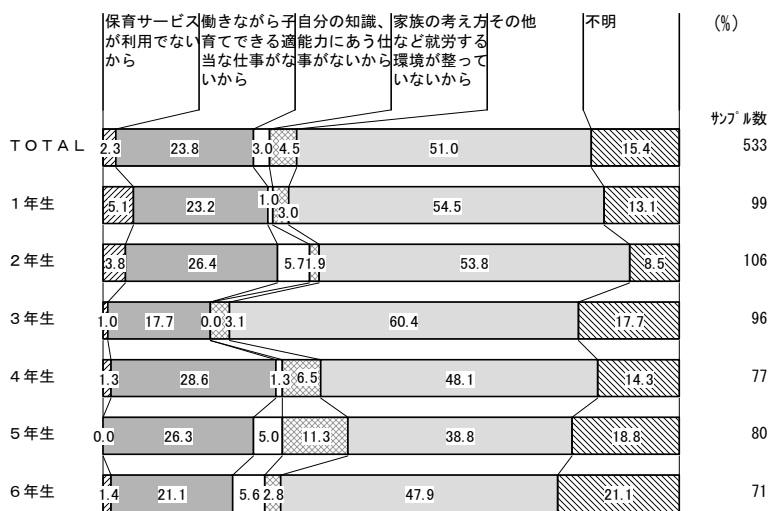
母親で「以前は就労していたが、現在は就労していない」か「これまでに就労したことがない」と回答した人に、就労希望がありながら働いていない理由を聞いたところ、「その他」が51.0%で最も多くなっており、続いて「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」が23.8%となっている。

学年別に見てみると、全体的に「その他」が多く、4年生では「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」がやや多くなっている。

就職希望がありながら働いていない理由



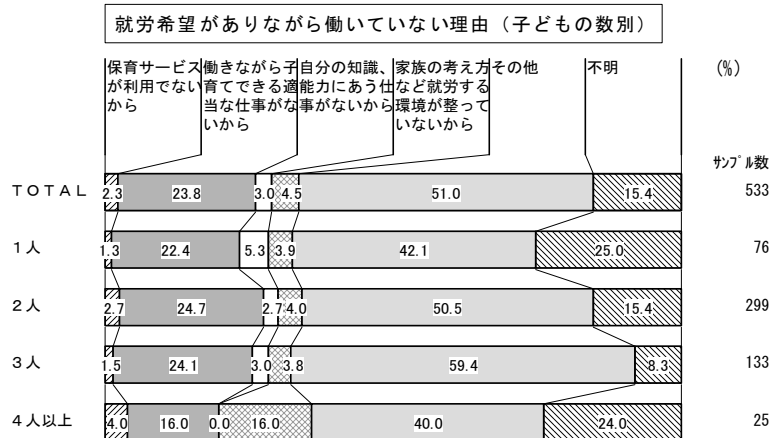
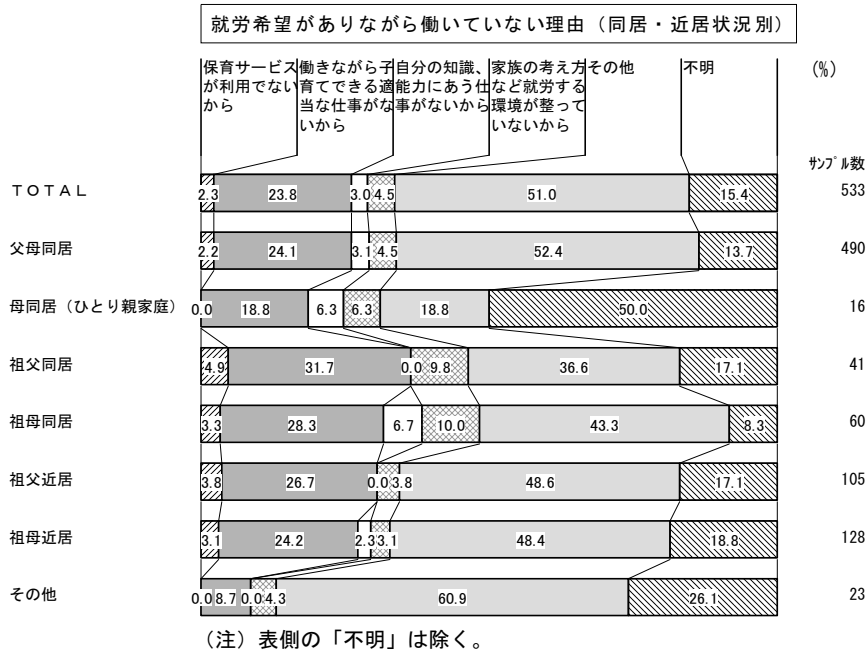
就職希望がありながら働いていない理由 (学年別)



(注) 表側の「不明」は除く。

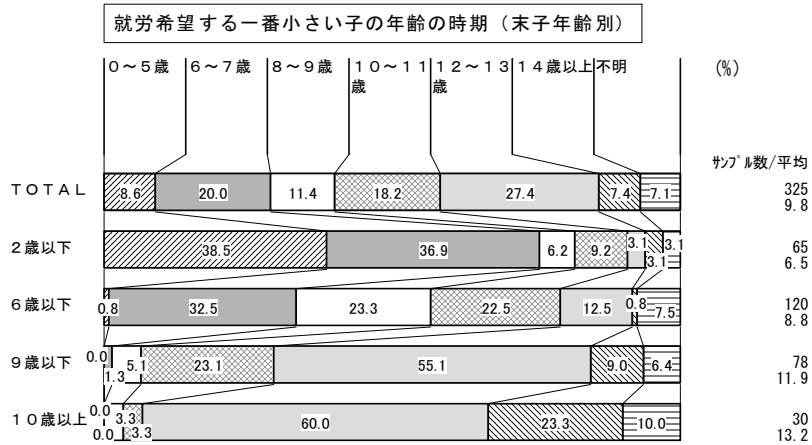
同居・近居状況別に見ると、全体的に「その他」が多く、祖父同居では、「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」もやや多くなっている。

子どもの数別に見ると、いずれの場合も「その他」が多く、子どもが4人以上では「家族の考え方など就労する環境が整っていないから」も多くなっている。



問 8-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

『1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい』と回答した人に、一番小さな子どもが何歳になったときに就労を希望するのかについて聞いたところ、12～13歳が多く、平均 9.8 歳となっている。



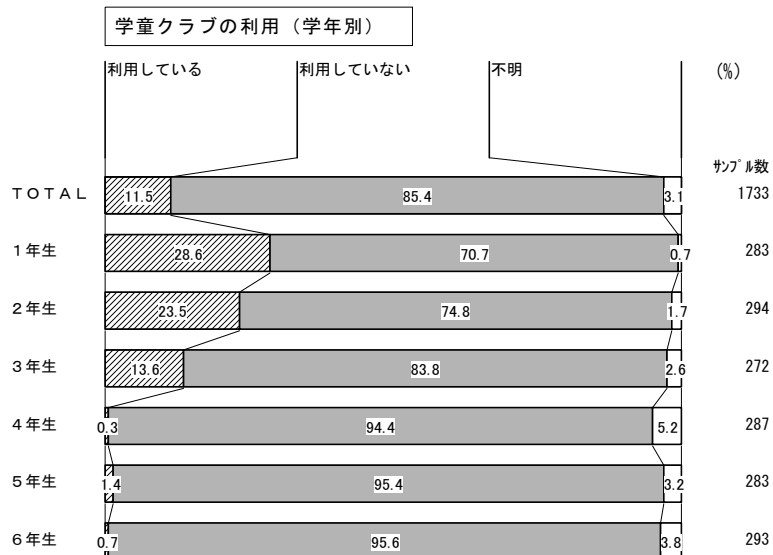
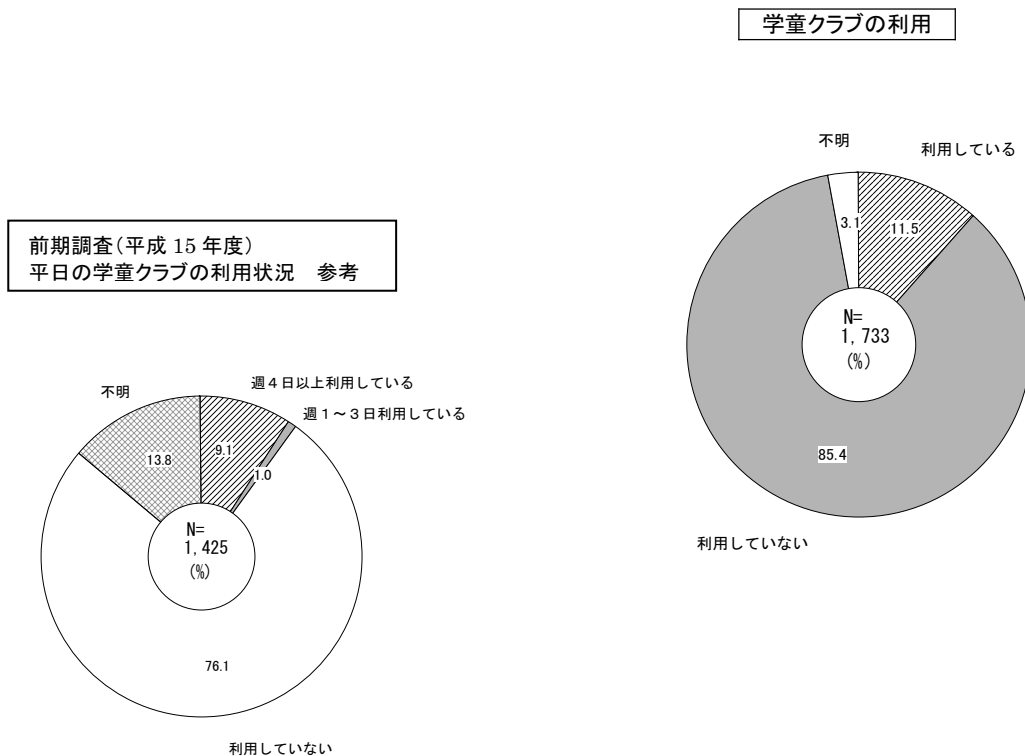
（注）表側の「不明」は除く。

(3) 学童クラブの利用について

問9 宛名のお子さんについて、現在、学童クラブを利用していますか。

現在の学童クラブの利用の有無について聞いたところ、「利用している」が11.5%、「利用していない」が85.4%となっている。なお、前期調査(平成15年度)では、「週4回以上利用している」は9.1%、「週1～3日利用している」は1.0%で、8割弱は利用していなかった。

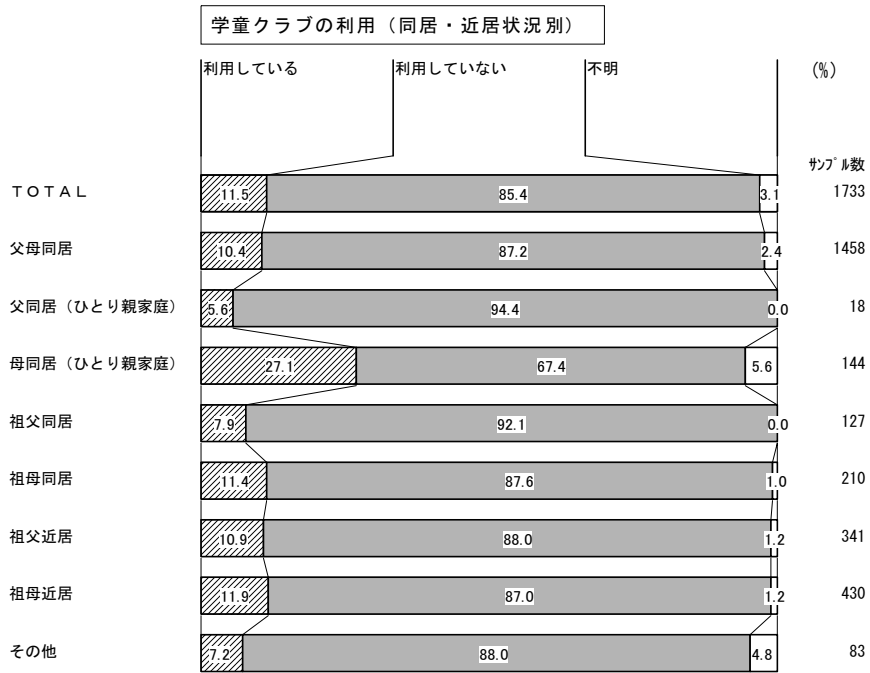
学年別に見ると、1年生から3年生では、学年が高くなるに従って「利用している」割合が小さくなっていく。



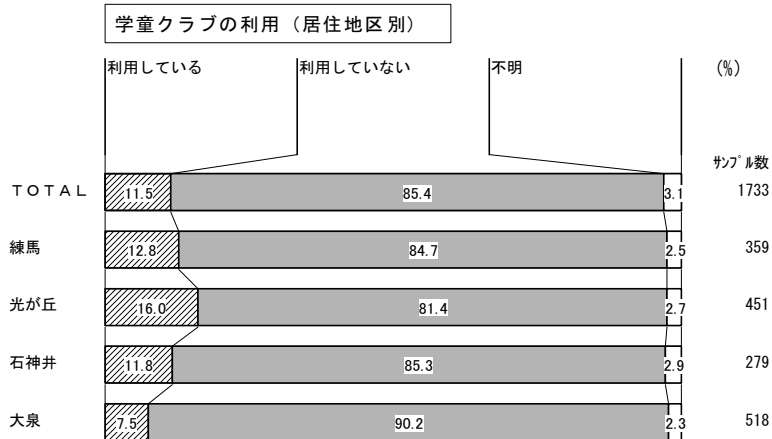
(注) 表側の「不明」は除く。

同居・近居状況別に見ると、「利用していない」が多く、母同居（ひとり親家庭）では「利用している」が他と比べて多くなっている。

居住地別に見ると、いずれの地区でも「利用していない」が多いが、光が丘地区では「利用している」がやや多くなっている。



(注) 表側の「不明」は除く。

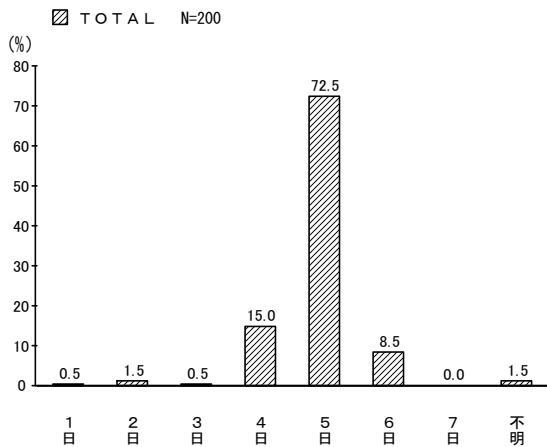


(注) 表側の「不明」は除く。

問9-1 [問9で1を選択] 宛名のお子さんについて、学童クラブの利用日数はどれくらいですか。また利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

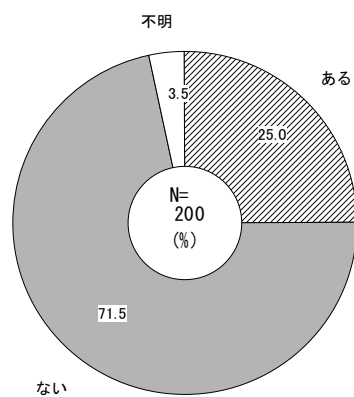
現在の学童クラブの利用状況について聞いたところ、一週間当たり平均4.9日、土日の利用は25.0%が「ある」と回答しており、利用する理由としては「現在就労しているから」が94.0%で圧倒的に多くなっている。

現在の学童クラブの利用（一週間当たり）

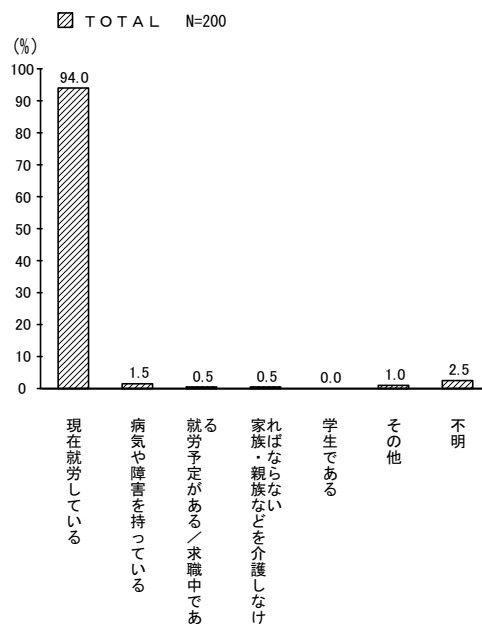


平均 4.9 日

土・日の利用



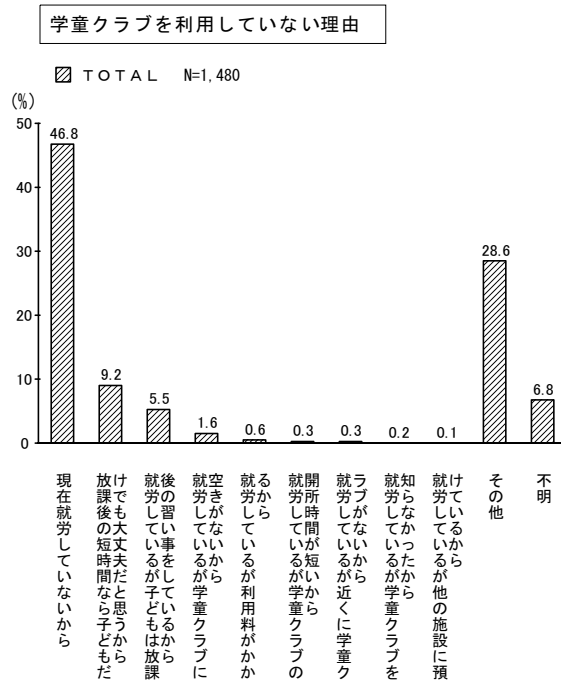
学童クラブを利用する理由



問9-2 [問9で2を選択] 利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

現在が学童クラブを利用していない人に、その理由を聞いたところ、「現在就労していないから」が48.6%で最も多く、続いて「その他」が28.6%となっている。

同居・近居状況別に聞いたところ、全体的には「現在就労していないから」が多く、母同居（ひとり親家庭）では「その他」も多くなっている。



学童クラブを利用していない理由(同居・近居状況別)

	TOTAL	現在就労していないから	放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから	後の習い事をしていないから	就労しているが子どもは放課後の習い事をしていないから	就労しているが学童クラブに空きがないから	就労しているが利用料がかから	就労しているが他の施設に預けられているから	就労しているが近くに学童クラブがないから	就労しているが学童クラブの開所時間が短いから	就労しているが利用料がかかるから	その他	不明
TOTAL	1480	46.8	9.2	5.5	1.6	0.6	0.3	0.3	0.2	0.1	28.6	6.8	
父母同居	1271	50.0	8.7	5.2	1.3	0.4	0.4	0.2	0.2	0.2	26.9	6.4	
父同居(ひとり親家庭)	17	17.6	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3	29.4	
母同居(ひとり親家庭)	97	17.5	12.4	5.2	6.2	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	49.5	7.2	
祖父同居	117	47.9	4.3	4.3	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	31.6	10.3	
祖母同居	184	49.5	4.9	3.3	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0	32.1	8.7	
祖父近居	300	47.0	6.7	7.7	1.0	0.7	0.0	1.0	0.0	0.0	31.7	4.3	
祖母近居	374	46.0	8.6	6.4	1.3	0.5	0.0	0.5	0.0	0.0	32.1	4.5	
その他	73	45.2	11.0	1.4	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	30.1	9.6	

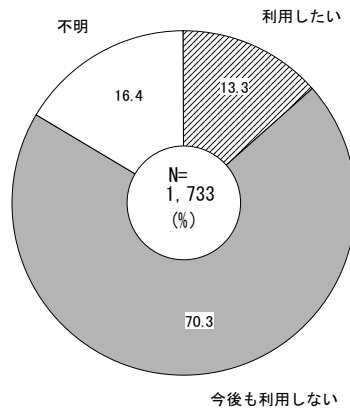
(注) 網掛けは40%以上。また表側の「不明」は除く。

問9-3 今後、学童クラブを利用したいとお考えですか。

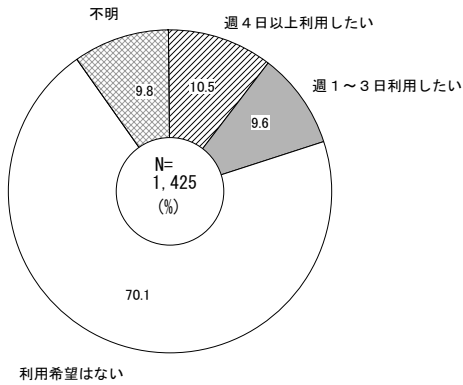
今後、学童クラブを利用したいかについて聞いたところ、「今後も利用しない」が70.3%、「利用したい」が13.3%となっている。なお、前期調査（平成15年度）では、平日の学童クラブの利用意向については、「週4日以上利用したい」が10.5%、「週1～3回利用したい」が9.6%となっていた。

学年別に見ると、全体的には「今後も利用しない」が多いが、1年生、2年生では利用意向がやや多くなっている。

今後の学童クラブの利用意向



**前期調査(平成15年度)
平日の学童クラブの利用希望 参考**



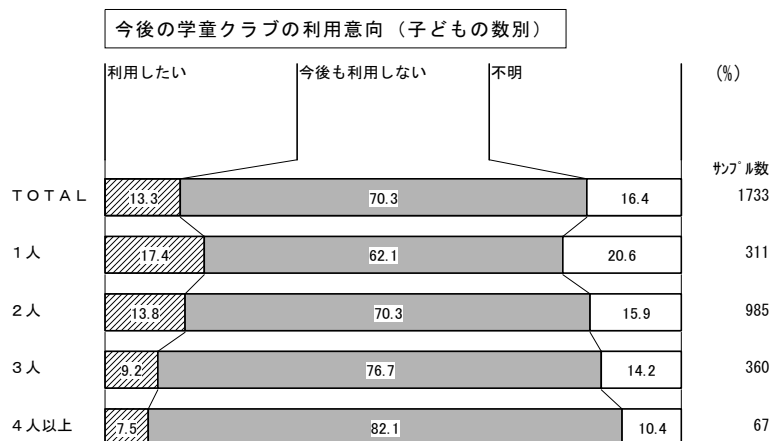
今後の学童クラブの利用意向（学年別）

	利用したい (%)	今後も利用しない (%)	不明 (%)	サンプル数
TOTAL	13.3	70.3	16.4	1733
1年生	24.7	55.5	19.8	283
2年生	24.5	58.8	16.7	294
3年生	12.9	73.5	13.6	272
4年生	9.4	77.4	13.2	287
5年生	4.9	79.2	15.9	283
6年生	2.7	79.2	18.1	293

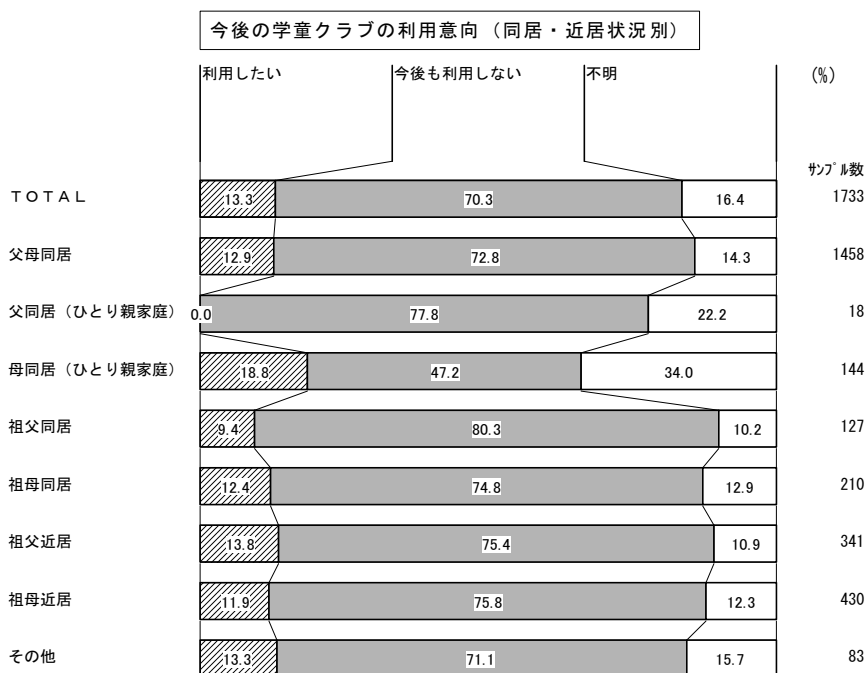
(注) 表側の「不明」は除く。

子どもの数別に見ると、子どもの数が増えるに連れて「今後も利用しない」が多くなっている。

同居・近居状況別に見ると、いずれの場合も「今後も利用しない」が多いが、母同居（ひとり親家庭）では「利用したい」がやや多くなっている。

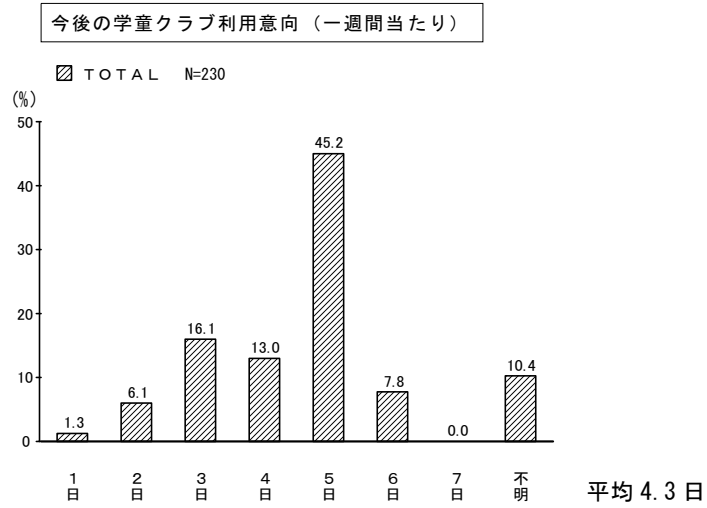


(注) 表側の「不明」は除く。

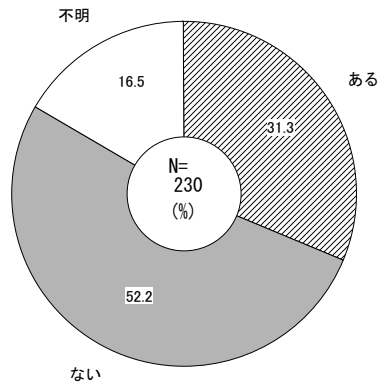


(注) 表側の「不明」は除く。

今後の学童クラブの利用意向について聞いたところ、一週間当たり平均 4.3 日、土日の利用は 31.3% が「ある」と回答している。

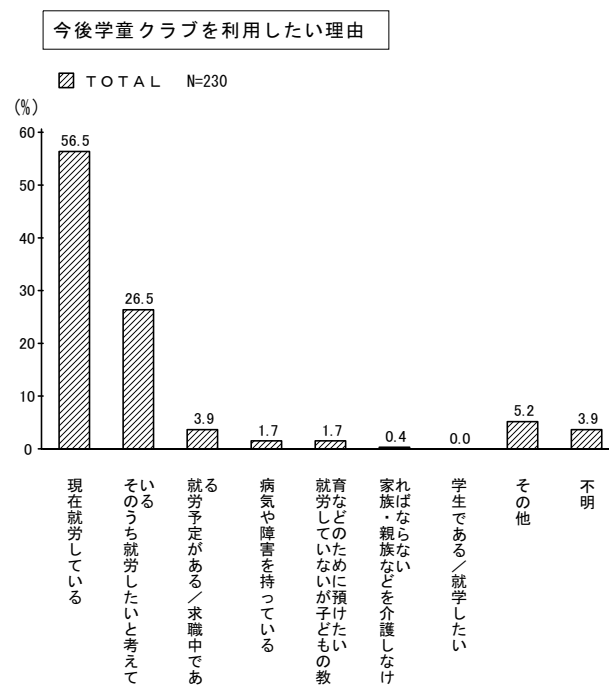


土・日の利用意向



問9-4 [問9-3で1を選択] 今後、学童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

今後、学童クラブを利用したい理由については、「現在就労しているから」が56.5%で最も多く、続いて「そのうち就労したいと考えている」が26.5%となっている。



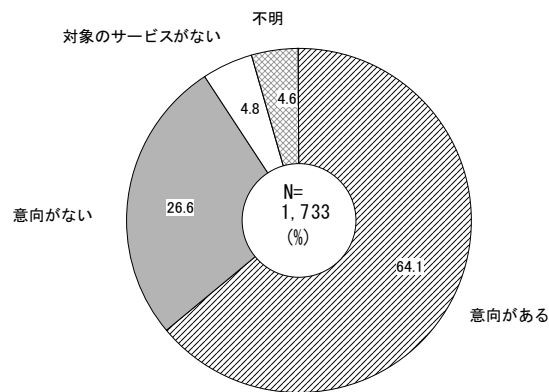
問9-5 地域によっては、学童クラブと連携して行うサービスとして、学校応援団が運営する「児童放課後等居場所づくり（ひろば）事業」がありますが、その利用意向はありますか。
 問9-6 [問9-5で6を選択] 理由をお聞かせください。

学校応援団が運営する「児童放課後等居場所づくり（ひろば）事業」の利用希望について聞いたところ、「意向がある」が64.1%となっている。

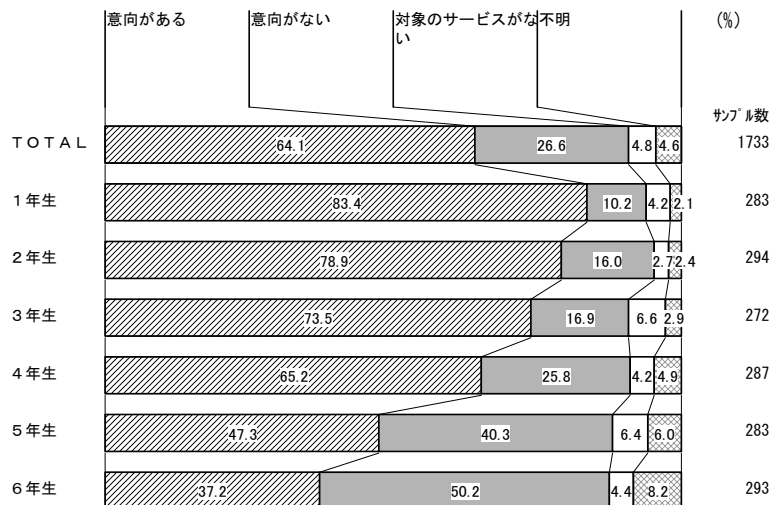
学年別に見てみると、低学年では「意向がある」が多くなっているが、高学年になるにつれて少なくなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「意向がある」が多くなっている。

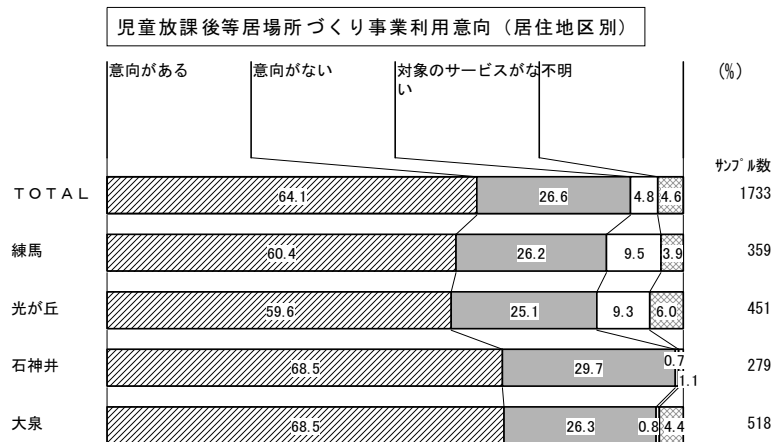
児童放課後等居場所づくり事業利用意向



児童放課後等居場所づくり事業利用意向（学年別）



(注) 表側の「不明」は除く。



(注) 表側の「不明」は除く。

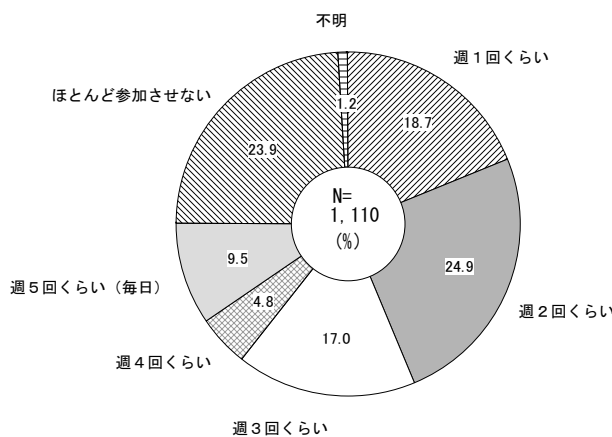
児童放課後等居場所づくり事業の利用意向のある人に、その頻度を聞いたところ、「週2回くらい」が24.9%で最も多いが、「ほとんど参加させない」も23.9%となっている。

学年別に見ると、3年生、4年生で頻度が高くなっている。

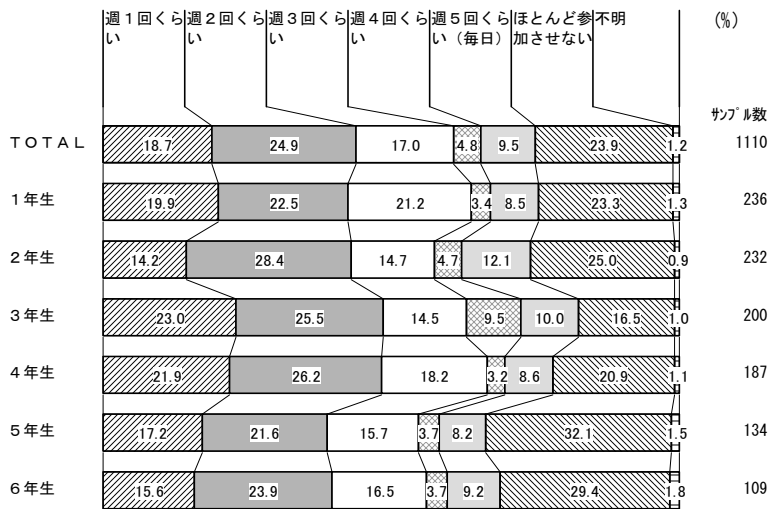
居住地区別で見ると、石神井地区、大泉地区で高くなっている。

また、『児童放課後等居場所づくり事業に参加させたくない』と回答している人に、その理由を聞いたところ、「塾や習い事、スポーツクラブ等に通っているから」が48.7%で最も多く、学年別に見ると、学年が上がるにつれて、『塾や習い事、スポーツクラブ等に通っているから』の理由が多くなっている。

児童放課後等居場所づくり事業を利用したい頻度

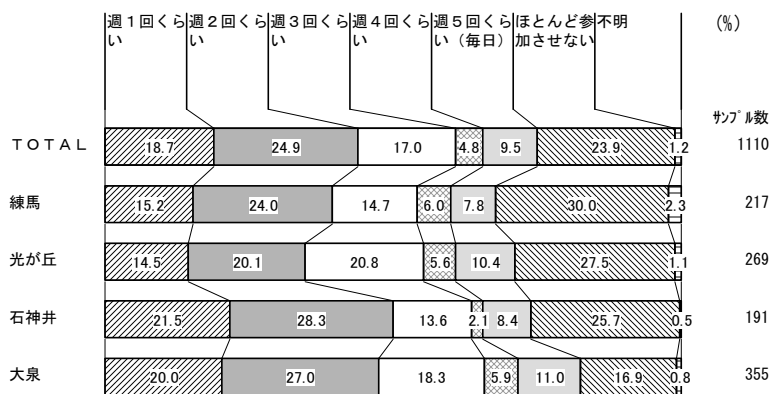


児童放課後等居場所づくり事業を利用したい頻度（学年別）



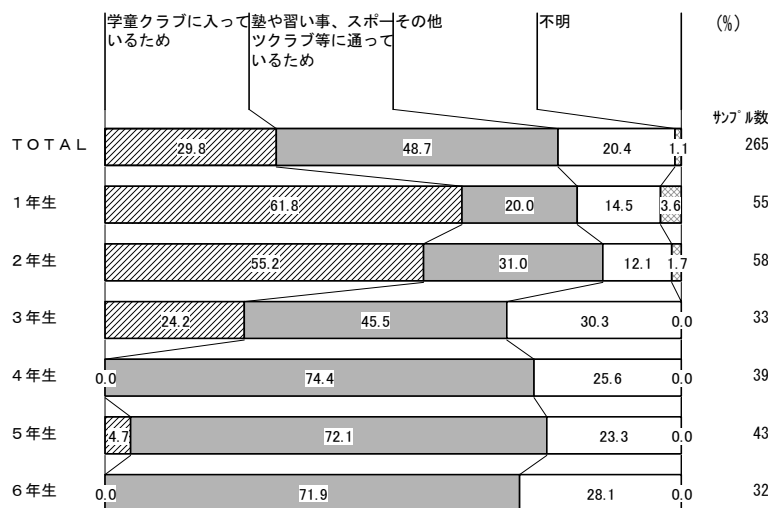
(注) 表側の「不明」は除く。

児童放課後等居場所づくり事業を利用したい頻度（居住地区別）



(注) 表側の「不明」は除く。

児童放課後等居場所づくり事業に参加させたくない理由（学年別）



(注) 表側の「不明」は除く。

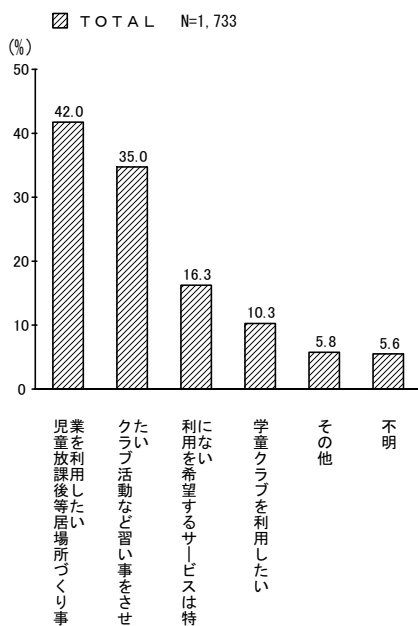
問 10 小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。(複数回答)

小学4年生以降の放課後の過ごし方について聞いたところ、「児童放課後等居場所づくり事業を利用したい」が42.0%で最も多く、続いて「クラブ活動など習い事をさせたい」が35.0%となっている。

学年別に見てみると、全体的には「児童放課後等居場所づくり事業を利用したい」「クラブ活動など習い事をさせたい」が多いが、高学年になると「児童放課後等居場所づくり事業を利用したい」がやや低くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「児童放課後等居場所づくり事業を利用したい」「クラブ活動など習い事をさせたい」が多くなっている。

4年生以降の放課後の過ごし方への希望



4年生以降の放課後の過ごし方への希望(学年別)

	TOTAL	児童放課後等居場所づくり事業を利用したい	クラブ活動など習い事をさせたい	利用を希望するサービスは特にない	児童クラブを利用したい	その他	不明
TOTAL	1733	42.0	35.0	16.3	10.3	5.8	5.6
1年生	283	60.1	35.7	6.7	13.4	3.9	3.9
2年生	294	51.0	34.7	8.8	15.6	5.1	3.7
3年生	272	51.1	37.1	15.1	8.5	5.1	2.6
4年生	287	40.8	32.4	17.1	10.5	3.8	6.6
5年生	283	26.9	35.3	26.1	6.7	7.4	6.7
6年生	293	23.5	35.2	24.2	6.5	9.2	9.2

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

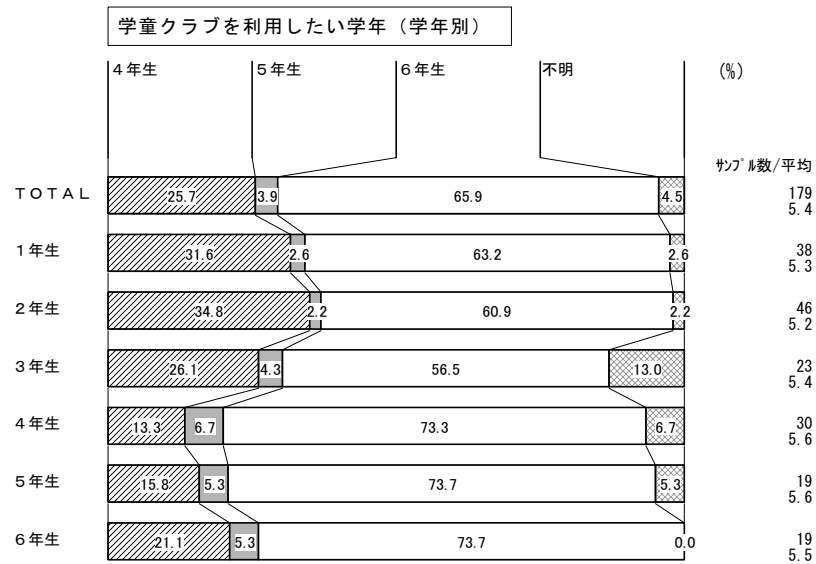
4年生以降の放課後の過ごし方への希望(居住地区別)

	TOTAL	児童放課後等居場所づくり事業を利用したい	クラブ活動など習い事をさせたい	利用を希望するサービスは特にない	児童クラブを利用したい	その他	不明
TOTAL	1733	42.0	35.0	16.3	10.3	5.8	5.6
練馬	359	37.0	43.5	15.3	9.2	7.8	3.3
光が丘	451	42.4	29.7	16.2	14.2	6.2	6.9
石神井	279	40.1	34.1	19.0	10.4	3.9	3.6
大泉	518	47.3	31.9	15.6	8.7	5.8	5.4

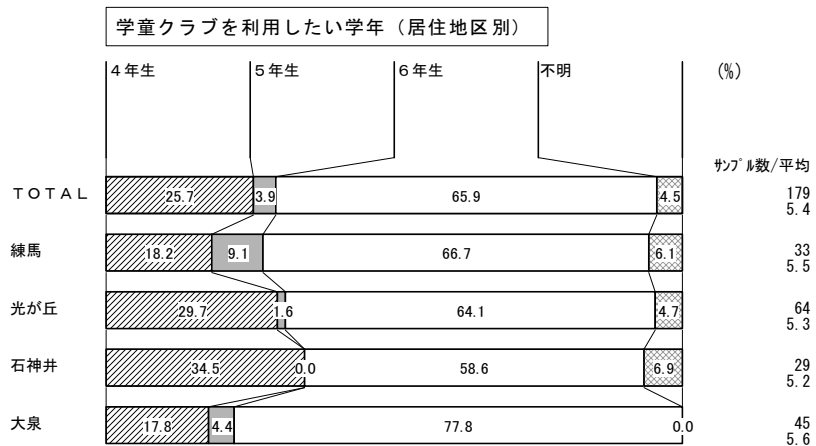
(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

小学4年生以降の放課後の過ごし方について聞いたところ、「学童クラブを利用したい」と回答した人に、利用したい学年を聞いたところ、「6年生」が65.9%で最も多く、学年別に見ると、低学年で多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「6年生」が最も多く、石神井地区などでは「4年生」もやや多くなっている。



(注) 表側の「不明」は除く。



(注) 表側の「不明」は除く。

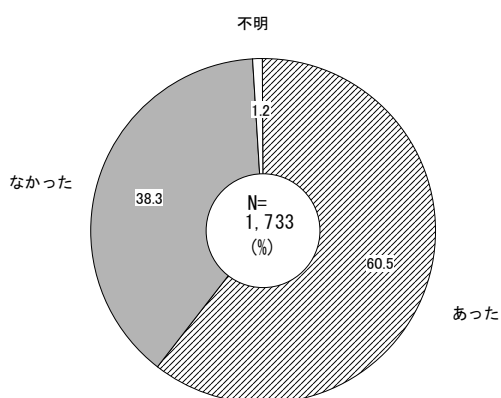
(4) 病児・病後児保育について

問 1 1 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

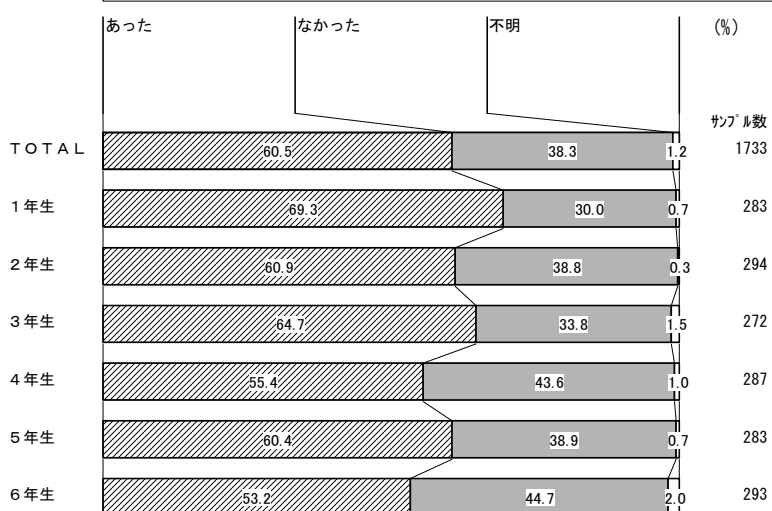
この1年間で、病気やケガで学校を休まなければならなかったことがあるのかについて聞いたところ、60.5%が「あった」としている。

学年別に見ると、いずれも「あった」が多く、特に1年生が多くなっている。

一年間に病気等で学校を休まなければならなかったことの有無



一年間に病気等で学校を休まなければならなかったことの有無 (学年別)

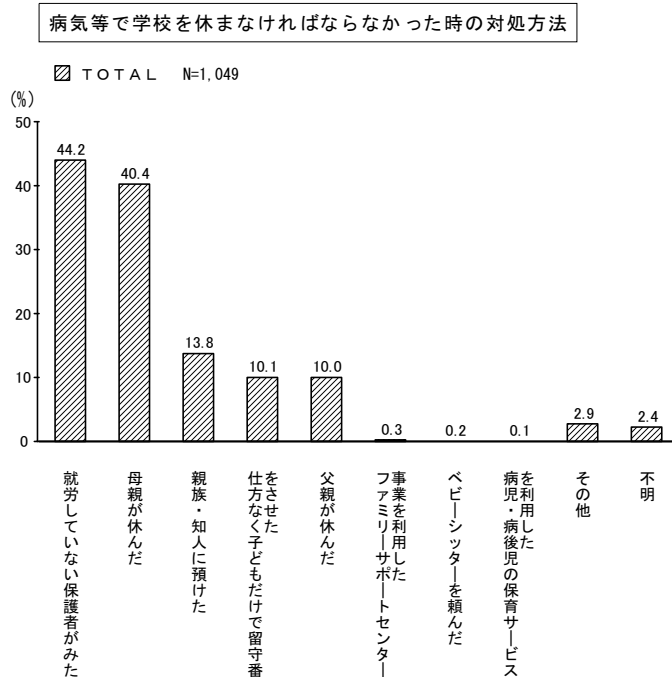


(注) 表側の「不明」は除く。

問 1 1 - 1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。(複数回答)

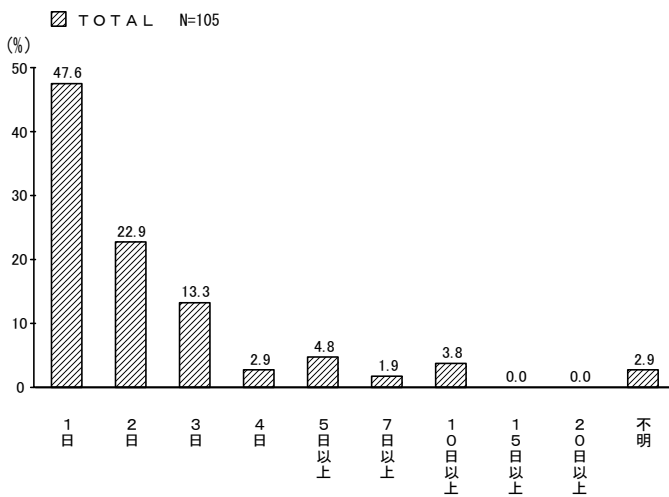
病気やケガで学校を休まなければならなかった時の対処方法については、「就労していない保護者がみた」が 44.2%で最も多く、続いて「母親が休んだ」が 40.4%、「親族・知人に預けた」が 13.8%となっている。

対処方法として「父親が休んだ」については、平均すると 2.3 日(年間)、「母親が休んだ」については、平均すると 4.4 日(年間)、「親族・知人に預けた」については、平均すると 3.2 日(年間)、「就労していない保護者がみた」については、平均すると 4.4 日(年間)、そして「仕方なく子どもだけで留守番させた」については、平均すると 3.0 日(年間)となっている。



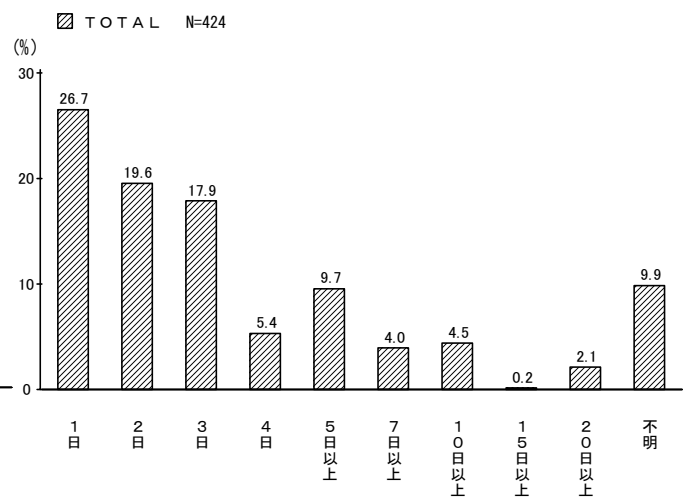
父親が休んだ日数

平均 2.3 日



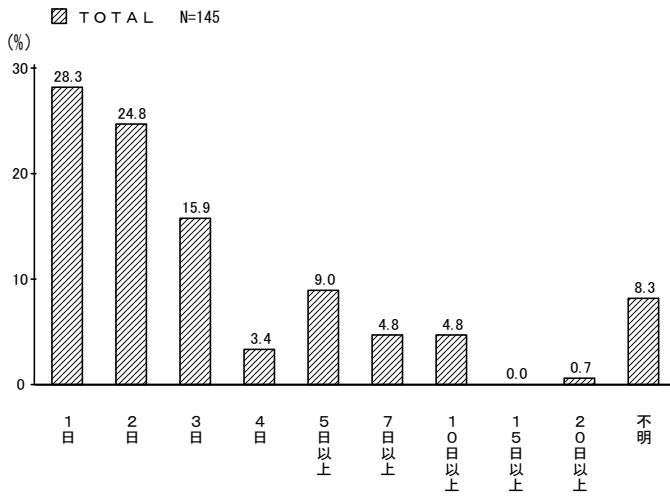
母親が休んだ日数

平均 4.4 日



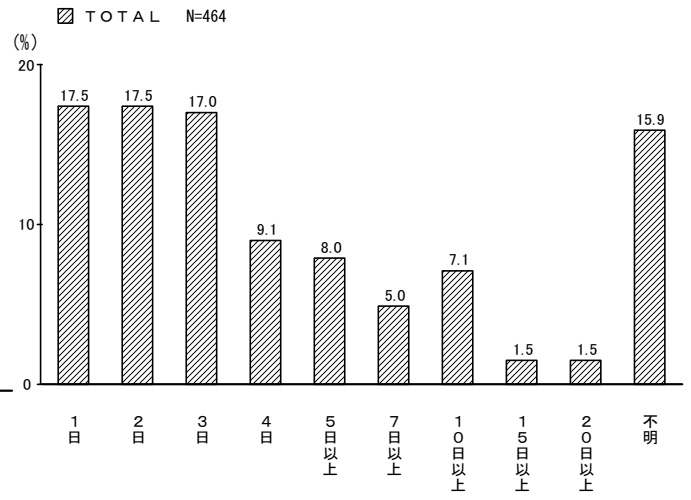
親族・知人に預けた日数

平均 3.2 日



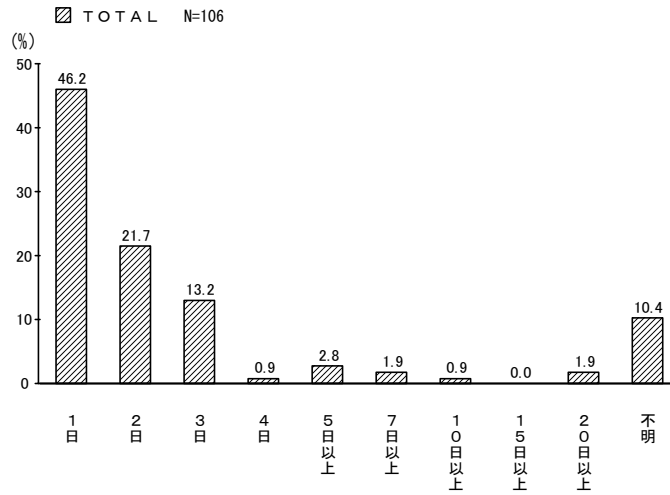
就労していない保護者が見た

平均 4.4 日



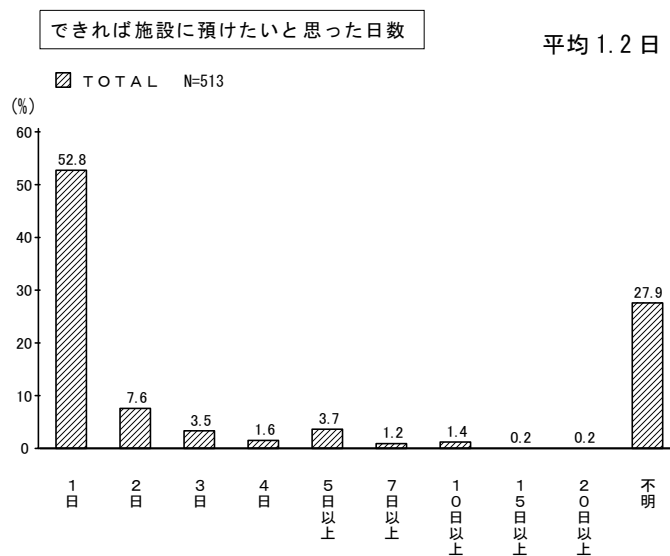
仕方なく子どもだけで留守番をさせた

平均 3.0 日



問 1 1 - 2 「父親または母親が休んだ」「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

「父親または母親が休んだ」「親族・知人に預けた」と回答した人に、できれば施設に預けたいと思われた日数を聞いたところ、平均 1.2 日となっている。



(5) 一時預かりについて

問12 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やりフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

私用やりフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験について聞いたところ、「ある」は22.4%、「ない」は75.4%となっている。

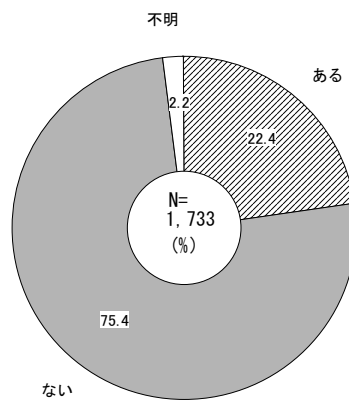
学年別に見ると、いずれも「ない」が多く、特に6年生で多くなっている。

子どもの数別に見ると、いずれも「ない」が多く、特に4人以上で多くなっている。

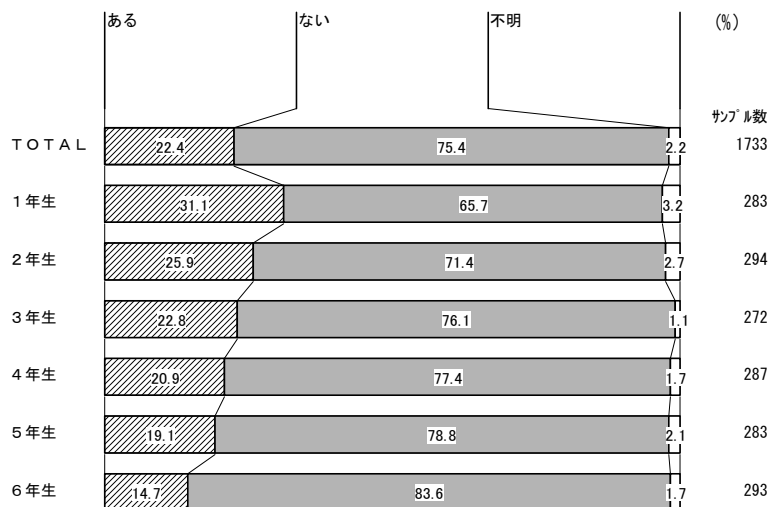
そこで、一時預かりの利用経験日数を聞いたところ、平均14.4日となっている。

私用で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数（「不明」サンプルを除く）は、平均9.0日、冠婚葬祭・子どもの病気で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数（「不明」サンプルを除く）は、平均5.0日、そして就労で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数（「不明」サンプルを除く）は、平均16.6日となっている。

私用やりフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験

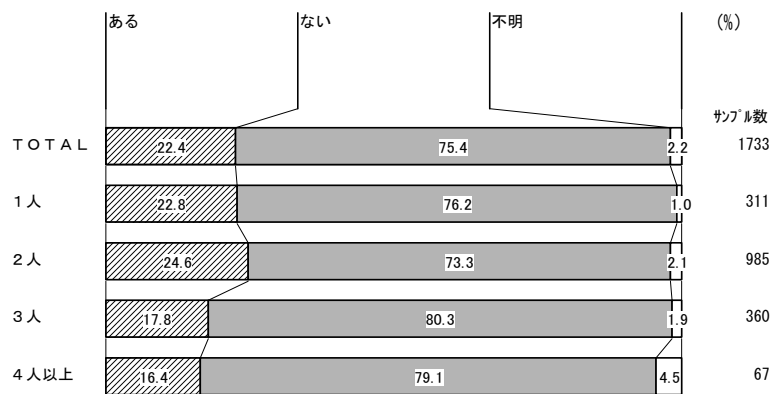


私用やりフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験（学年別）



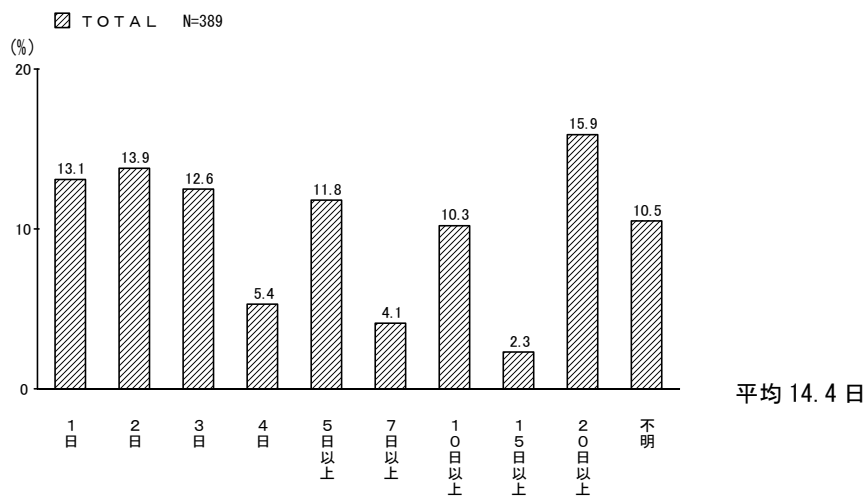
(注) 表側の「不明」は除く。

私用やリフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験（子どもの数別）

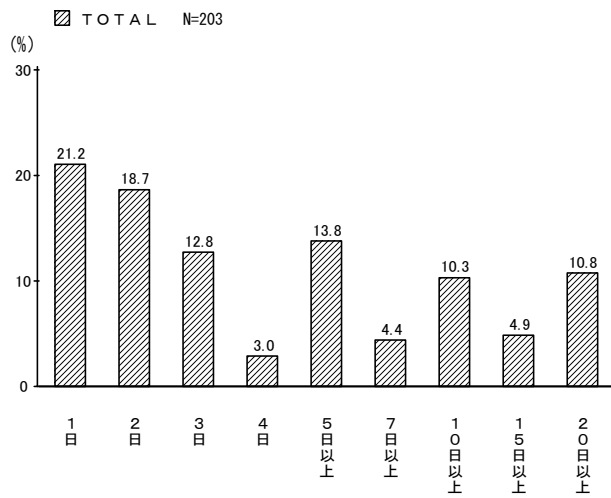


(注) 表側の「不明」は除く。

私用やリフレッシュ目的等で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



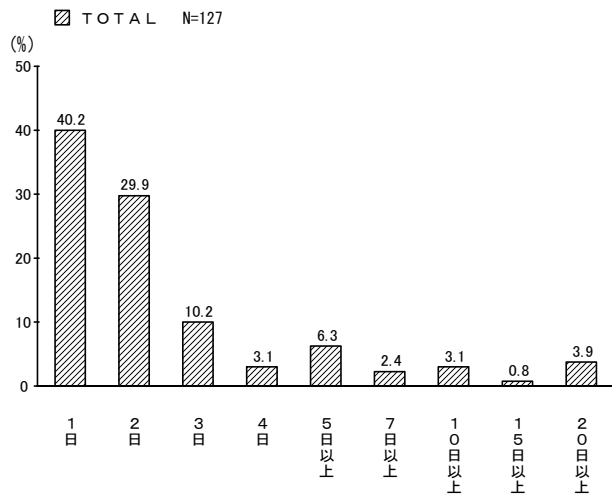
私用で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



平均 9.0 日

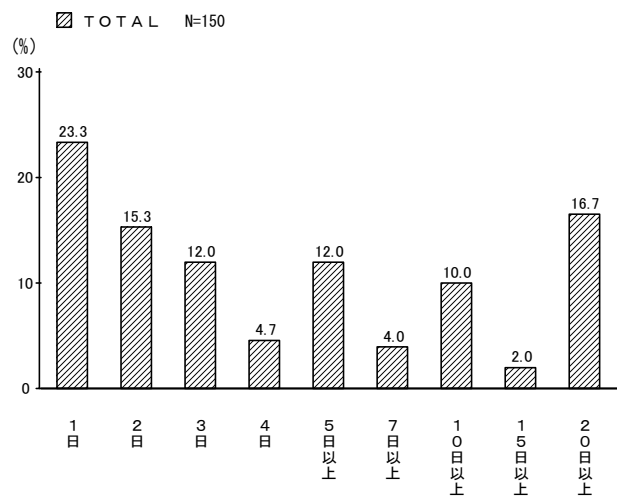
(注)「不明」は除く。以下同じ。

冠婚葬祭・子どもの病気で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



平均 5.0 日

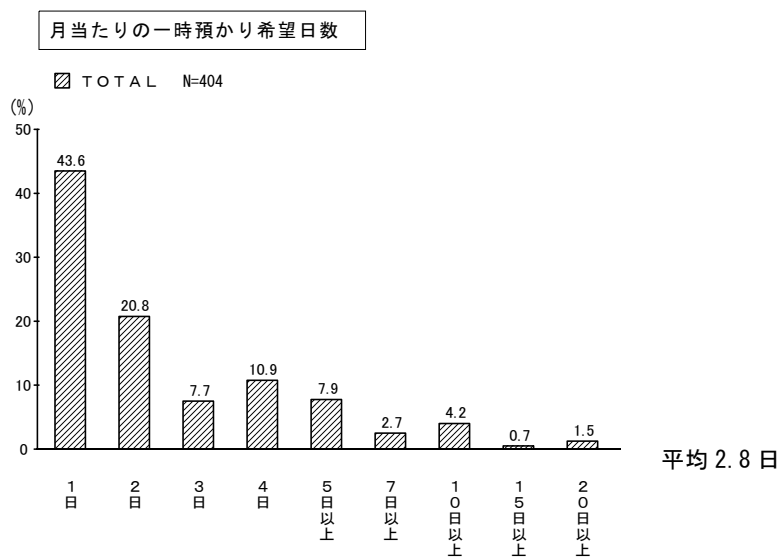
就労で子どもを家族以外に一時的に預けた経験の年間日数



平均 16.6 日

問13 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。

子どもを家族以外に一時的に預けたいと思う年間日数（「不明」サンプルを除く）については、平均2.8日となっている。



(注)「不明」は除く。

問14 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならぬことはありましたか。

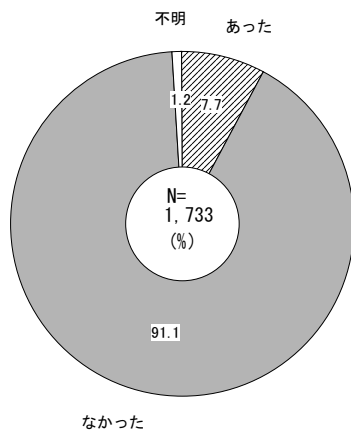
問14-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。(複数回答)

問14-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。

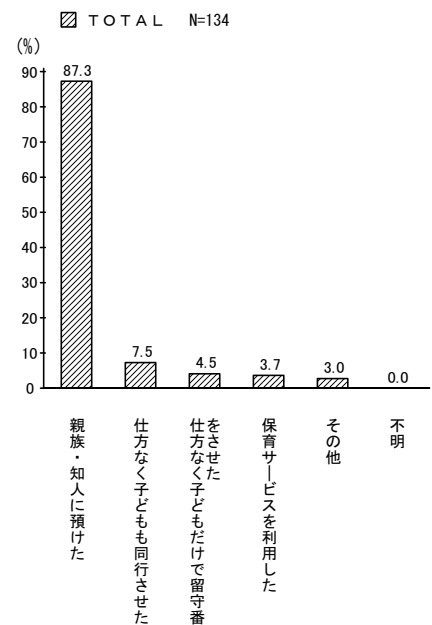
保護者の用事などにより子どもを泊りがけで、家族以外に預けなければならぬことの有無について聞いたところ、7.7%が「あった」としており、その際の対処方法については、「親族・知人に預けた」が87.3%で最も多く、続いて「仕方なく子どもも同行させた」が7.5%となっている。

一年間に子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならぬ経験について学年別に見ると、いずれも「なかった」が多く、特に6年生が多くなっている。

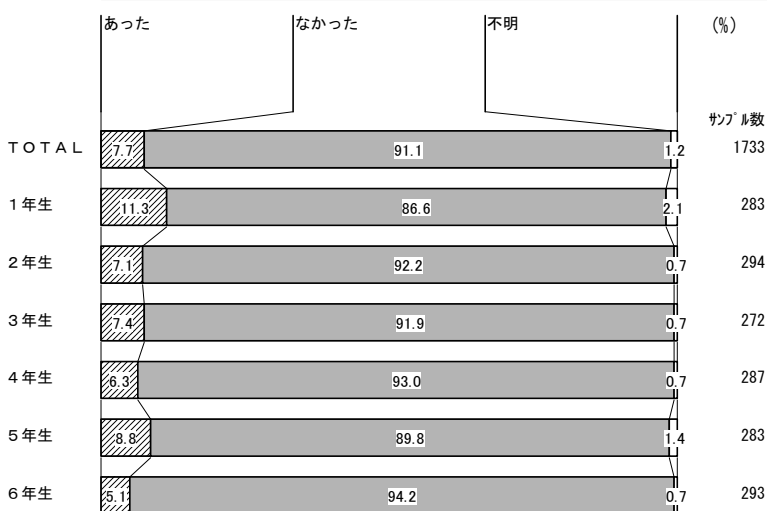
一年間に子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならぬ経験



預け先



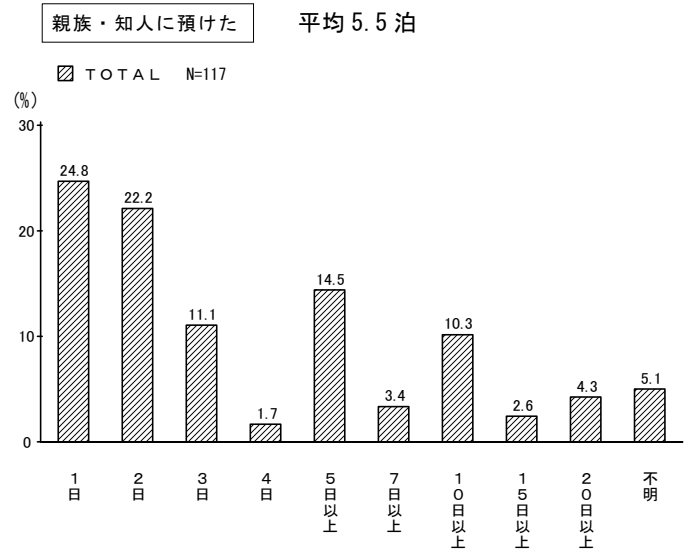
一年間に子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならぬ経験 (学年別)



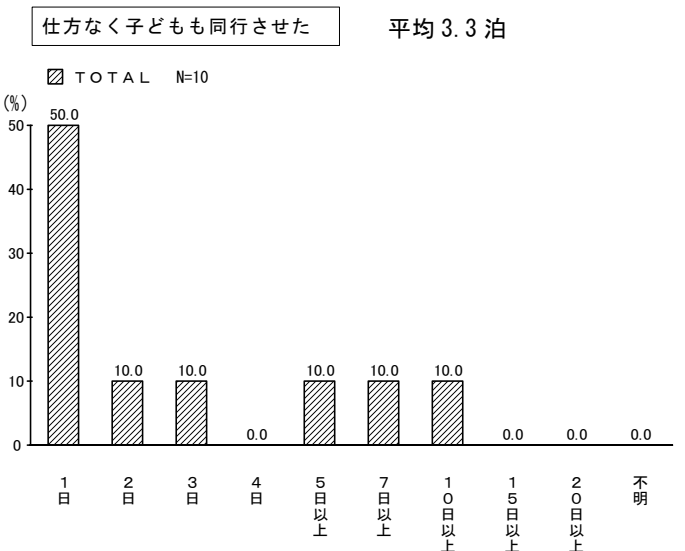
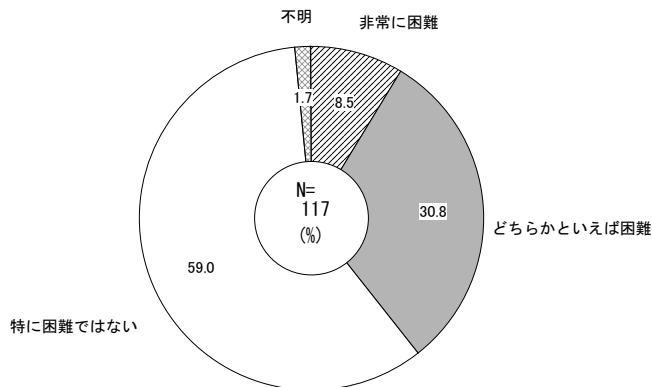
(注) 表側の「不明」は除く。

対処方法として最も回答が多かった「親族・知人に預けた」については、平均すると 5.5 泊（年間）を数え、その困難度合は、「非常に困難」が 8.5%、「どちらかといえば困難」が 30.8%となっており、合計すると 39.3%が困難としている。

対処方法として次に回答が多かった「仕方なく子どもも同行させた」については、平均すると 3.3 泊（年間）を数える。



親族・知人に預けた困難度

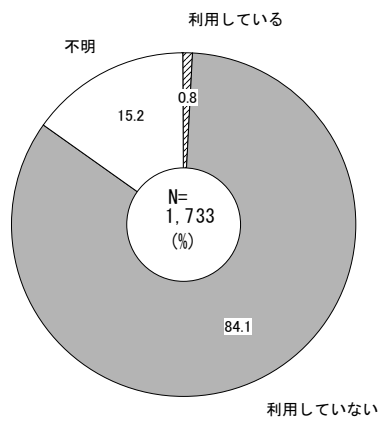


(6) 一時的保育事業等について

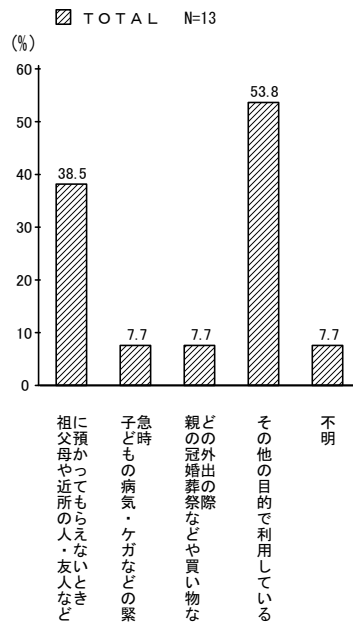
- 問15 ベビーシッターを利用していますか。
 問15-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。(複数回答)
 問15-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。

ベビーシッターの利用について聞いたところ、「利用していない」が84.1%を占めている。
 ベビーシッターを利用している人に利用目的を聞いたところ、「その他の目的」が53.8%で最も多く、
 続いて「祖父母や近所の人・友人などに預かってもらえないとき」が38.5%となっている。

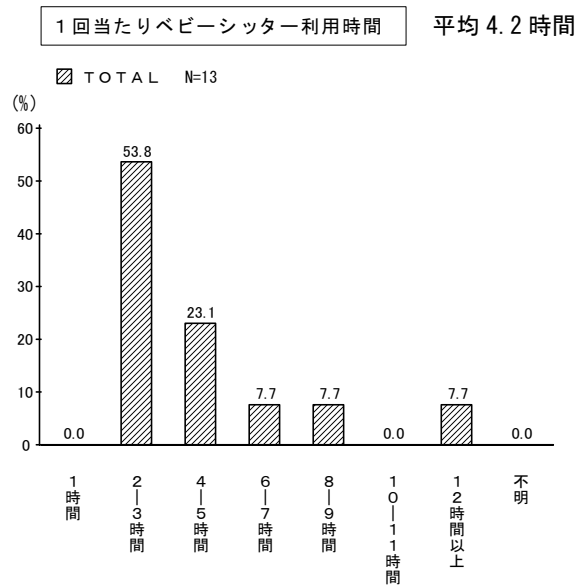
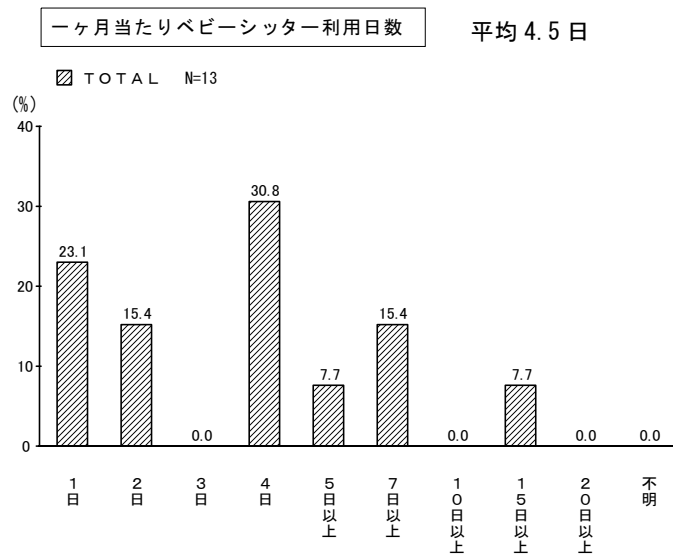
ベビーシッターの利用



ベビーシッターの利用目的

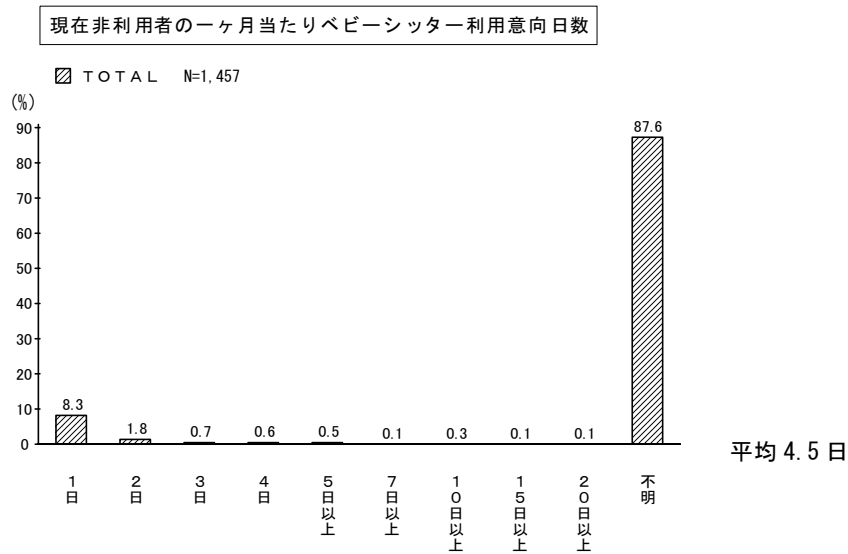


ベビーシッターを利用している人に一ヶ月当たりの利用日数を聞いたところ、平均 4.5 日、1 回当たりの利用時間を聞いたところ、平均 4.2 時間となっている。



問16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。

今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますかについて聞いたところ、利用希望がある人の平均希望日数は4.5日となっているが、全体的には「不明（無回答）」が多くなっている。



- 問17 ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業を利用していますか。
 問17-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。(複数回答)
 問17-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。
 問17-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。

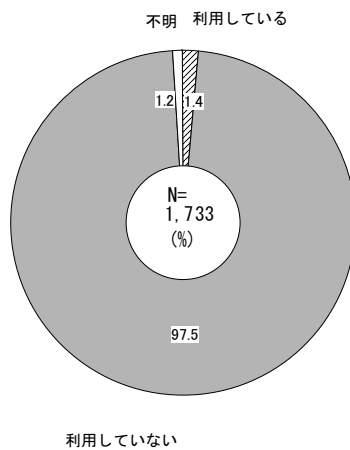
ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業の利用について聞いたところ、「利用していない」が97.5%を占めている。

ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業を利用している人に利用目的を聞いたところ、「祖父母や近所の人・友人などに預かってもらえないとき」が41.7%で最も多く、続いて「保育施設などの利用で足りない時間を補う目的」が25.0%となっている。

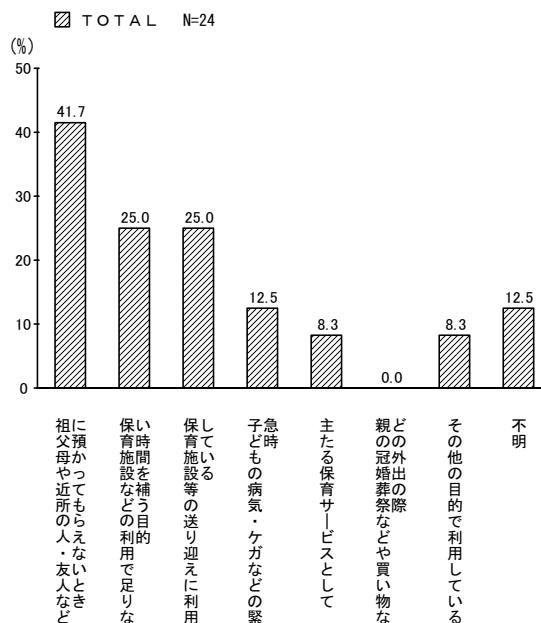
ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業を利用している人に一ヶ月当たりの利用日数を聞いたところ、平均3.7日、1回当たりの利用時間を聞いたところ、平均3.2時間となっている。

そこで、ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業の利用を増やしたい意向(「不明」サンプルを除く)については、平均11.0時間となっている。

ファミリーサポートセンター事業の利用

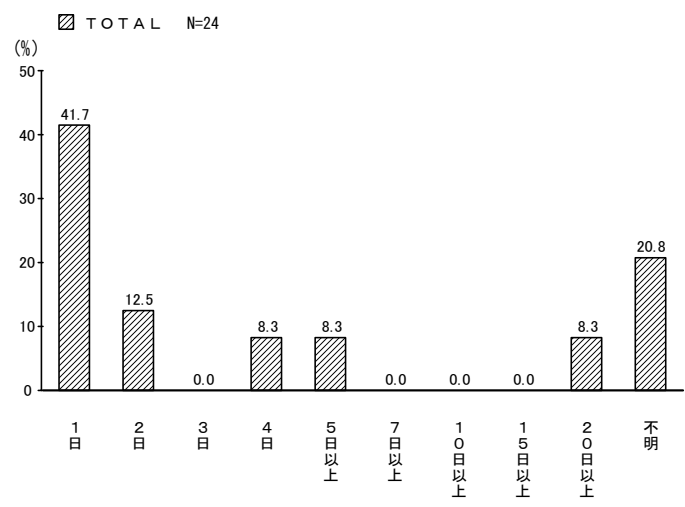


ファミリーサポートセンター事業の利用目的



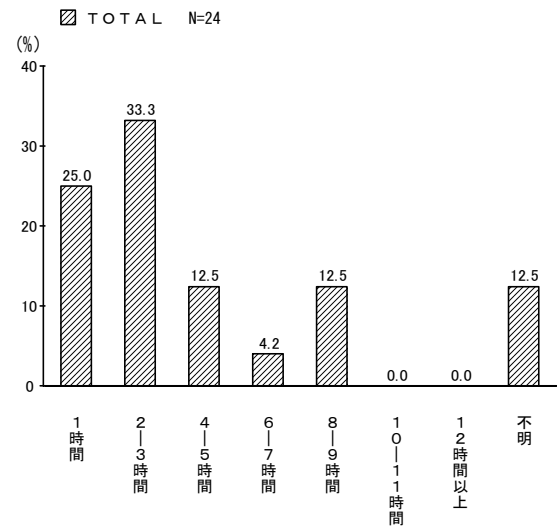
一ヶ月当たりファミリーサポートセンター事業利用日数

平均 3.7 日



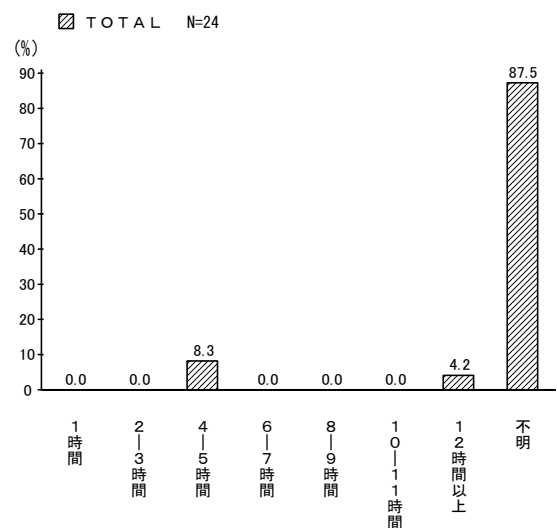
1 回当たりファミリーサポートセンター事業利用時間

平均 3.2 時間



一ヶ月当たりファミリーサポートセンター事業利用意向時間

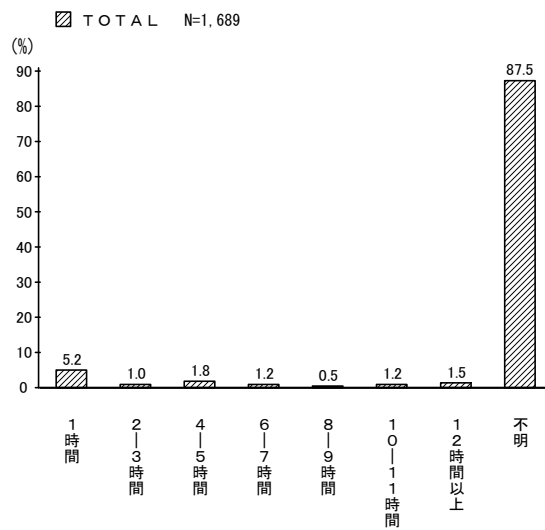
平均 11.0 時間



問17-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

ファミリーサポートセンター(育児支援あい)事業について、今は利用していないが、できれば利用したい人に、利用希望時間を聞いたところ、「不明(無回答)」が多く、利用意向がある人の平均希望時間は5.8時間となっている。

現在非利用者の一ヶ月当たりファミリーサポートセンター事業利用意向時間



平均 5.8 時間

(7) 子どもの居場所について

問18 この前の金曜日の放課後、調査対象のお子さんは、どのように過ごしていましたか。選択肢のうちから時間帯ごとに主な過ごし方の番号を記入してください。

直近の金曜日の子どもの居場所について、時間帯ごとに聞いたところ、いずれの時間帯とも「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多くなっている。

ただし、午後4時～8時については、「塾や習いごと、スポーツクラブに行った」もやや多くなっている。

1～3年生について見てみると、いずれの時間帯とも「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多く、午後3時～6時では「学童クラブ」や「塾や習いごと、スポーツクラブに行った」もやや多くなっている。

4～6年生について見てみると、ほとんどの時間帯で「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多く、午後4時～8時では「塾や習いごと、スポーツクラブに行った」などもやや多くなっている。

	居保 し護 たして る者 や祖 父母 等 の同 居	塾 や 習 い ご と 、 ス ポ ー ツ ク ラ ブ に 行 っ た	に 参 加 し た 事 業 、 ク ラ ブ 活 動	学 童 ク ラ ブ に い た	友 だ ち の 家 に い た	自 宅 で 一 人 で 過 ご し た	子 ど も と ち だ け で 自 宅 に い た	や 同 居 し て い な い と 祖 父 母 と 一 緒 に い た	地 域 の 施 設 に い た （ 図 書 館 な ど ）	就 寝 し て い た	そ の 他	不 明
TOTAL	37.6	11.6	6.8	5.6	3.1	2.3	1.8	1.6	1.6	0.4	8.5	19.0
13時～14時	5.7	0.3	14.4	7.0	0.8	1.0	0.6	0.3	0.5	0.1	20.6	48.7
14時～15時	12.2	1.3	14.8	8.9	2.3	1.5	0.9	0.6	1.6	0.1	17.7	38.3
15時～16時	21.6	7.7	12.7	10.0	7.4	3.6	2.4	1.0	4.3	0.1	10.7	18.5
16時～17時	29.8	23.2	5.4	8.8	8.5	3.8	2.9	1.9	3.9	0.2	5.6	6.1
17時～18時	48.4	26.5	0.3	4.4	2.3	3.1	3.1	2.9	0.3	0.2	2.3	6.3
18時～19時	67.9	15.3	0.0	0.1	0.3	2.2	2.3	2.7	0.2	0.3	1.4	7.4
19時～20時	78.1	7.1	0.0	0.1	0.3	0.6	0.8	1.8	0.1	1.7	1.4	8.0

(注) 網掛けは20%以上。

この前の金曜日の放課後の居場所（1～3年生）

	居保 した して る 家 族 と 過 ご し た	学 童 ク ラ ブ に い た	塾 や 習 い ご と 、 ス ポ ー ツ ク ラ ブ に 行 っ た	く り 事 業 、 ク ラ ブ 活 動 に 参 加 し た	児 童 放 課 後 等 居 場 所 づ く り 事 業 、 ク ラ ブ 活 動	友 だ ち の 家 に い た	地 域 の 施 設 に い た	児 童 館 や 図 書 館 な ど の	や 同 居 し て い な い 祖 父 母 と い た	自 宅 で 一 人 で 過 ご し た	子 ど も た ち だ け で 自 宅 で 過 ご し た	就 寝 し て い た	そ の 他	不 明
13時～14時	7.9	13.7	0.4	12.4	0.9	0.7	0.5	0.9	0.0	0.0	18.5	44.2		
14時～15時	17.8	17.3	1.5	13.2	3.1	2.5	0.8	1.4	0.2	0.1	13.7	28.4		
15時～16時	26.9	19.4	10.7	11.2	8.8	5.8	1.1	1.8	1.5	0.1	6.1	6.6		
16時～17時	27.7	17.2	23.6	6.0	7.8	5.1	1.8	1.3	0.8	0.2	4.6	4.0		
17時～18時	56.5	8.5	18.0	0.0	1.5	0.4	3.4	1.6	2.1	0.2	1.9	5.8		
18時～19時	78.0	0.1	6.1	0.0	0.6	0.2	2.7	1.6	2.0	0.5	1.5	6.6		
19時～20時	83.6	0.1	1.9	0.0	0.4	0.1	2.1	0.7	0.4	2.7	1.2	6.8		

(注) 網掛けは20%以上。

この前の金曜日の放課後の居場所（4～6年生）

	居保 した して る 家 族 と 過 ご し た	学 童 ク ラ ブ に い た	塾 や 習 い ご と 、 ス ポ ー ツ ク ラ ブ に 行 っ た	く り 事 業 、 ク ラ ブ 活 動 に 参 加 し た	自 宅 で 一 人 で 過 ご し た	友 だ ち の 家 に い た	地 域 の 施 設 に い た	児 童 館 や 図 書 館 な ど の	や 同 居 し て い な い 祖 父 母 と い た	自 宅 で 一 人 で 過 ご し た	子 ど も た ち だ け で 自 宅 で 過 ご し た	就 寝 し て い た	学 童 ク ラ ブ に い た	そ の 他	不 明
13時～14時	3.5	0.3	16.3	1.2	0.6	1.2	0.2	0.3	0.1	0.1	23.1	53.1			
14時～15時	6.8	1.0	16.3	1.6	1.5	1.5	0.3	0.8	0.1	0.2	21.9	47.7			
15時～16時	16.5	4.6	14.1	5.6	6.1	3.2	0.9	2.9	0.1	0.3	15.5	30.0			
16時～17時	32.2	22.8	5.0	6.3	9.4	5.0	2.1	2.7	0.1	0.2	6.5	7.8			
17時～18時	40.8	34.9	0.7	4.5	3.0	4.2	2.4	0.3	0.1	0.1	2.4	6.5			
18時～19時	58.3	24.6	0.0	2.7	0.1	2.5	2.5	0.1	0.2	0.0	1.2	7.8			
19時～20時	73.0	12.3	0.0	0.6	0.3	1.2	1.5	0.1	0.8	0.0	1.5	8.7			

(注) 網掛けは20%以上。

問 19 この前の土曜日、調査対象のお子さんは、どのように過ごしていましたか。選択肢のうちから時間帯ごとに主な過ごし方の番号を記入してください。

直近の土曜日の子どもの居場所について、時間帯ごとに聞いたところ、いずれの時間帯とも「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多くなっている。

ただし、午前10時～午後5時については、「塾や習いごと、スポーツクラブに行った」もやや多くなっている。

1～3年生について見てみると、いずれの時間帯とも「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多く、午前10時～12時では「塾や習いごと、スポーツクラブに行った」もやや多くなっている。

4～6年生について見てみると、ほとんどの時間帯で「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多く、午前9時～午後6時では「塾や習いごと、スポーツクラブに行った」もやや多くなっている。

この前の土曜日の居場所

	し居保 た護 し者 てや る祖 家父 族母 と等 過の ご同	ツ塾 クや ラ習 ブい に行 った と、 スポ	参ね 加り しま 遊遊 したス スク ール に	や同 知居 人し 等て のい 大な 人と とい 祖父 母	友だ ちの 家に いた	にく り事 参加 した ク ラ ブ 活 動	児童 放課 後等 居場 所づ で 過ご した ただ けで 自宅	地 域の 施設 に書 いた 館な どの	就 寝し ていた	学 童ク ラブ にいた	自 宅で 一人 で過 ごした	そ の他	不 明
TOTAL	66.1	9.8	2.7	2.5	2.1	1.9	1.4	1.4	1.3	1.2	0.9	4.3	4.4
8時～9時	72.1	5.3	3.0	1.5	0.0	1.7	0.8	0.1	7.0	0.3	0.5	2.7	5.1
9時～10時	67.9	9.9	2.8	1.8	0.3	2.5	1.5	0.6	1.8	1.8	0.9	3.6	4.6
10時～11時	61.7	13.6	2.7	2.2	0.8	2.9	2.0	1.5	0.9	1.8	1.2	4.7	4.2
11時～12時	60.1	13.6	2.6	2.6	1.0	2.9	2.3	2.0	0.6	1.8	1.4	5.1	4.2
12時～13時	66.4	10.0	2.7	3.1	1.3	2.3	1.4	0.9	0.5	1.8	1.4	4.1	4.0
13時～14時	60.4	10.3	2.4	2.7	4.5	2.4	1.7	2.8	0.6	1.8	1.2	5.3	3.9
14時～15時	53.8	12.5	2.4	2.7	6.0	3.0	2.0	3.3	0.6	1.8	1.2	6.8	3.9
15時～16時	53.5	13.3	2.5	2.9	6.2	2.5	2.0	3.4	0.6	1.6	0.9	6.6	4.0
16時～17時	60.0	12.2	2.4	2.9	4.3	1.4	1.4	2.4	0.6	1.3	0.8	6.2	4.2
17時～18時	74.1	8.8	2.9	2.9	1.0	0.3	1.2	0.1	0.4	0.0	0.8	2.9	4.5
18時～19時	80.5	5.6	3.0	2.6	0.1	0.2	0.5	0.0	0.4	0.0	0.5	1.9	4.8
19時～20時	82.9	2.5	3.2	2.1	0.1	0.0	0.3	0.0	2.0	0.0	0.1	1.7	5.0

(注) 網掛けは20%以上。

この前の土曜日の放課後の居場所（1～3年生）

	居保 した護 してい る者 家族 と等 過ご した	ツ塾 クや ラ習 ブい に行 った と、 スポ ー	や同 知居 人し 等て のい 大な 人と とい た母	参ね 加り したま 遊遊 スク ール に	学童 クラ ブに いた	友だ ちの 家に いた	地児童 域館 のや 施設 に図 いた書 館な どの	に児 参童 加放 した課 後等 居場 所づ	就寝 してい た	子ど もた ちだ けで 自宅 で過 ごし た	自宅 で一 人で 過ご した	そ の 他	不 明
8時～9時	75.9	4.0	2.2	3.3	0.7	0.0	0.0	1.8	5.1	0.2	0.7	1.8	4.4
9時～10時	71.1	8.1	2.4	3.2	3.5	0.5	0.4	2.1	0.7	0.8	0.5	2.8	3.9
10時～11時	63.8	11.1	3.2	3.2	3.7	0.9	1.6	2.7	0.6	1.2	0.6	4.0	3.4
11時～12時	62.7	10.5	3.9	3.1	3.7	1.3	2.4	2.5	0.6	1.3	0.6	4.2	3.4
12時～13時	68.4	7.4	4.7	2.9	3.4	1.4	1.5	1.9	0.5	0.4	0.7	3.4	3.3
13時～14時	63.8	7.1	4.0	2.6	3.3	3.7	3.5	2.0	0.5	0.8	0.4	4.8	3.5
14時～15時	57.2	9.2	4.0	2.8	3.3	4.9	4.0	2.4	0.6	1.5	0.5	5.8	3.8
15時～16時	58.2	9.2	4.6	2.9	2.9	5.2	4.2	1.6	0.4	1.3	0.4	5.4	3.7
16時～17時	65.7	6.8	4.6	2.7	2.5	2.6	3.1	0.9	0.2	0.9	0.4	5.5	4.0
17時～18時	80.8	2.9	4.2	3.2	0.0	0.4	0.1	0.0	0.2	0.5	0.8	2.6	4.2
18時～19時	84.3	1.2	4.0	3.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.4	0.2	0.6	1.6	4.1
19時～20時	83.5	0.9	3.2	3.5	0.0	0.1	0.0	0.0	2.6	0.2	0.2	1.6	4.0

(注) 網掛けは20%以上。

この前の土曜日の放課後の居場所（4～6年生）

	居保 した護 してい る者 家族 と等 過ご した	ツ塾 クや ラ習 ブい に行 った と、 スポ ー	友だ ちの 家に いた	参ね 加り したま 遊遊 スク ール に	に児 参童 加放 した課 後等 居場 所づ	で子 ども たち だけ で自 宅	就寝 してい た	や同 知居 人し 等て のい 大な 人と とい た母	自 宅 で 一 人 で 過 ご し た	地児童 域館 のや 施設 に図 いた書 館な どの	学童 クラ ブに いた	そ の 他	不 明
8時～9時	68.7	6.4	0.0	2.8	1.7	1.3	8.9	0.8	0.3	0.1	0.0	3.5	5.4
9時～10時	65.0	11.6	0.2	2.5	3.0	2.2	2.8	1.3	1.4	0.8	0.1	4.3	4.8
10時～11時	59.8	15.9	0.6	2.2	3.2	2.9	1.2	1.3	1.7	1.4	0.1	5.3	4.4
11時～12時	57.8	16.5	0.7	2.2	3.4	3.1	0.6	1.4	2.2	1.6	0.1	5.9	4.5
12時～13時	64.7	12.6	1.3	2.4	2.7	2.3	0.6	1.5	2.1	0.3	0.3	4.8	4.4
13時～14時	57.5	13.6	5.3	2.2	2.7	2.5	0.7	1.5	2.0	2.1	0.3	5.8	3.8
14時～15時	50.6	15.9	7.1	2.1	3.5	2.4	0.7	1.5	2.0	2.7	0.2	7.8	3.6
15時～16時	49.4	17.4	7.2	2.1	3.1	2.7	0.9	1.3	1.3	2.7	0.2	7.9	3.9
16時～17時	54.7	17.4	5.8	2.2	1.9	1.9	0.9	1.4	1.2	1.9	0.2	6.7	3.9
17時～18時	67.9	14.6	1.6	2.7	0.5	2.0	0.6	1.7	0.8	0.1	0.0	3.1	4.4
18時～19時	77.3	9.8	0.0	2.7	0.2	0.8	0.5	1.2	0.3	0.0	0.0	2.1	5.1
19時～20時	83.0	3.9	0.0	2.9	0.0	0.3	1.5	1.0	0.0	0.0	0.0	1.7	5.6

(注) 網掛けは20%以上。

問20 この前の日曜日、調査対象のお子さんは、どのように過ごしていましたか。選択肢のうちから時間帯ごとに主な過ごし方の番号を記入してください。

直近の日曜日の子どもの居場所について、時間帯ごとに聞いたところ、いずれの時間帯とも「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多くなっている。

1～3年生について見てみると、いずれの時間帯とも「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多くなっている。

4～6年生について見てみると、ほとんどの時間帯で「保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした」が多く、午前9時～午後2時では「塾や習いごと、スポーツクラブに行った」もやや多くなっている。

この前の日曜日の居場所												(%)				
	居たし保護者や祖父母等との同	や知人等でない祖父母	同居している大人と祖父	塾や習いごと、スポーツ	クラブ活動、学校開放	などで学校にいた	友だちの家にいた	就寝していた	地域の施設にいた	児童館や図書館などの	子どもたちだけで自宅	自宅で一人で過ごした	参加した遊遊スクールに	ねりま遊遊スクールに	その他	不明
8時～9時	70.6	6.3	5.8	2.0	0.0	7.3	0.4	0.4	0.2	0.0	2.7	4.3	9.4	3.3	4.4	4.2
9時～10時	69.4	6.3	9.9	3.2	0.1	1.8	0.8	0.5	0.3	0.0	3.3	4.4	4.2	4.4	4.2	4.3
10時～11時	65.8	6.6	11.7	3.8	0.5	0.8	1.2	0.6	0.5	0.0	4.4	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3
11時～12時	64.8	7.2	11.3	3.3	0.9	0.3	1.2	0.8	0.6	0.1	5.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
12時～13時	67.0	7.1	9.1	3.2	0.8	0.3	1.3	0.7	0.6	0.1	5.5	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
13時～14時	62.6	7.0	7.0	3.5	3.5	0.3	2.0	1.0	0.5	0.0	8.5	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2
14時～15時	59.8	6.9	6.7	3.8	4.4	0.2	2.5	1.2	0.9	0.1	9.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3
15時～16時	61.2	6.7	6.3	3.5	4.4	0.2	1.8	1.3	0.6	0.1	9.3	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
16時～17時	68.8	6.8	4.5	2.3	3.3	0.1	1.3	0.9	0.5	0.1	6.9	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6
17時～18時	81.8	6.8	1.7	0.2	0.4	0.1	0.1	0.5	0.5	0.0	3.2	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
18時～19時	84.9	6.2	1.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.2	0.3	0.0	2.3	4.8	4.8	4.8	4.8	4.8
19時～20時	85.0	5.7	0.6	0.0	0.1	1.6	0.0	0.1	0.2	0.0	1.9	4.9	4.9	4.9	4.9	4.9

(注) 網掛けは20%以上。

この前の日曜日の放課後の居場所（1～3年生）

	居たし	保護者や祖父母等と過ごした	や知人等の大人といた	同居していない祖父母	塾や習いごと、スポーツ	ツク	クラブ活動、学校開放	などで学校にいた	友だちの家にいた	就寝していた	地域の施設にいた	児童館や図書館などの	子どもたちだけで自宅	自宅で一人で過ごした	参加した	ねりま遊遊スクールに	その他	不明
8時～9時	76.0	7.8	4.2	1.6	0.0	0.0	4.5	0.7	0.1	0.0	2.0	3.1	0.0	0.0	0.0	2.2	3.2	3.1
9時～10時	73.9	7.9	8.2	2.8	0.1	0.1	0.5	0.7	0.4	0.0	2.2	3.2	0.0	0.0	0.0	2.2	3.2	3.1
10時～11時	68.6	8.1	9.9	4.1	0.6	0.6	0.1	0.9	0.4	0.0	3.7	3.1	0.0	0.0	0.0	3.7	3.1	3.1
11時～12時	67.3	8.2	9.1	3.7	1.2	1.1	0.1	0.7	0.4	0.1	5.1	3.2	0.0	0.0	0.0	5.1	3.2	3.2
12時～13時	70.1	8.0	6.8	3.4	0.9	1.3	0.2	0.6	0.4	0.1	5.1	3.1	0.0	0.0	0.0	5.1	3.1	3.1
13時～14時	66.2	8.1	4.1	3.3	4.2	2.0	0.0	0.8	0.5	0.0	7.7	3.1	0.0	0.0	0.0	7.7	3.1	3.1
14時～15時	64.3	7.9	3.9	3.4	4.9	2.2	0.0	0.9	0.6	0.2	8.4	3.2	0.0	0.0	0.0	8.4	3.2	3.2
15時～16時	65.1	8.1	3.3	2.8	4.7	2.0	0.1	0.7	0.2	0.2	9.1	3.5	0.0	0.0	0.0	9.1	3.5	3.5
16時～17時	72.9	8.1	1.9	1.6	2.9	1.2	0.0	0.7	0.2	0.1	6.7	3.5	0.0	0.0	0.0	6.7	3.5	3.5
17時～18時	84.2	8.0	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0	2.8	3.9	0.0	0.0	0.0	2.8	3.9	3.9
18時～19時	86.1	7.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.2	0.0	2.1	3.7	0.0	0.0	0.0	2.1	3.7	3.7
19時～20時	85.9	6.5	0.1	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.1	0.0	1.4	3.9	0.0	0.0	0.0	1.4	3.9	3.9

(注) 網掛けは20%以上。

この前の日曜日の放課後の居場所（4～6年生）

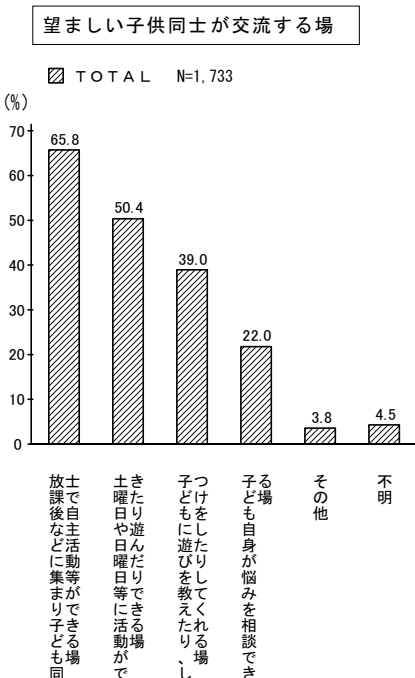
	居たし	保護者や祖父母等と過ごした	や知人等の大人といた	同居していない祖父母	塾や習いごと、スポーツ	ツク	クラブ活動、学校開放	などで学校にいた	就寝していた	友だちの家にいた	地域の施設にいた	児童館や図書館などの	子どもたちだけで自宅	自宅で一人で過ごした	参加した	ねりま遊遊スクールに	その他	不明
8時～9時	65.7	7.3	5.0	2.3	10.2	0.0	0.8	0.1	0.2	0.0	3.4	5.0	0.0	0.0	0.0	3.4	5.0	5.0
9時～10時	65.4	11.4	4.9	3.5	3.2	0.1	1.4	0.2	0.3	0.1	4.4	5.2	0.0	0.0	0.0	4.4	5.2	5.2
10時～11時	63.5	13.4	5.3	3.5	1.4	0.3	1.7	0.2	0.6	0.3	5.2	4.8	0.0	0.0	0.0	5.2	4.8	4.8
11時～12時	62.8	13.3	6.3	2.9	0.6	0.7	1.4	0.7	0.8	0.7	5.6	5.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.0	5.0
12時～13時	64.4	11.4	6.3	3.0	0.5	0.6	1.3	0.7	0.9	0.0	6.0	5.0	0.0	0.0	0.0	6.0	5.0	5.0
13時～14時	59.6	10.0	6.0	3.6	0.6	2.5	2.0	1.2	0.5	0.0	9.3	4.9	0.0	0.0	0.0	9.3	4.9	4.9
14時～15時	55.7	9.5	6.0	4.1	0.3	3.6	2.8	1.5	1.3	0.0	10.2	5.0	0.0	0.0	0.0	10.2	5.0	5.0
15時～16時	57.8	9.3	5.4	3.9	0.2	3.9	1.7	1.9	1.0	0.0	9.5	5.2	0.0	0.0	0.0	9.5	5.2	5.2
16時～17時	65.2	7.1	5.6	2.8	0.1	3.6	1.4	1.2	0.7	0.0	7.2	5.2	0.0	0.0	0.0	7.2	5.2	5.2
17時～18時	80.0	2.9	5.7	0.2	0.1	0.7	0.2	0.6	0.8	0.0	3.5	5.3	0.0	0.0	0.0	3.5	5.3	5.3
18時～19時	84.2	1.6	5.3	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.5	0.0	2.4	5.4	0.0	0.0	0.0	2.4	5.4	5.4
19時～20時	84.7	0.9	5.1	0.0	1.0	0.1	0.0	0.1	0.2	0.0	2.3	5.4	0.0	0.0	0.0	2.3	5.4	5.4

(注) 網掛けは20%以上。

問21 あなたは、身近な地域で子ども同士が交流等を行うことができる場として、どのようなものがあれば望ましいとお考えですか。(複数回答)

問22 調査対象のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。

問22-1 どんな活動ですか。(複数回答)

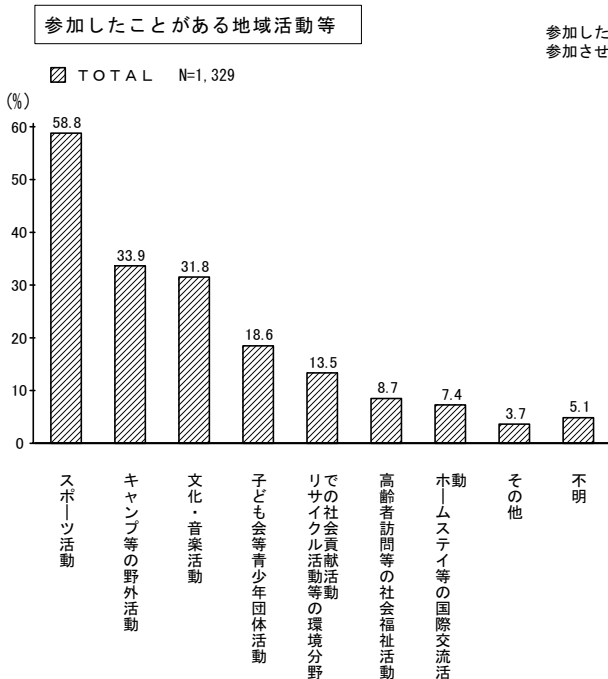
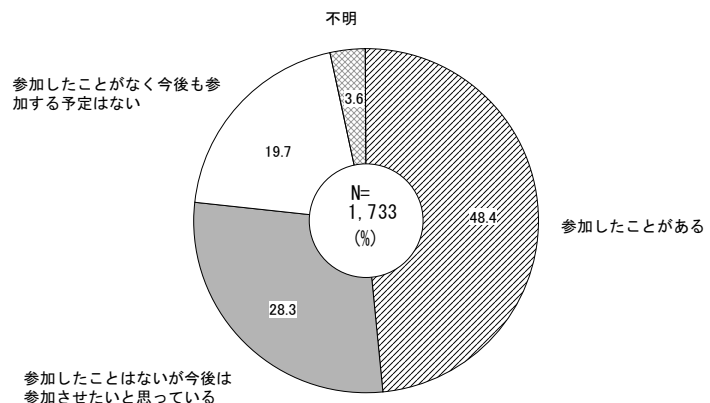


子ども同士が交流等を行う場に必要なことについて見てみると、「放課後などに子ども同士で自主活動などができる場」が65.8%で最も多く、続いて「土曜日や日曜日・祝日に活動できたりする場」が50.4%となっている。

地域活動等への参加について、参加の状況について聞いたところ、「参加したことがある」が48.4%で、「参加したことはないが、今後は参加させたい」も28.3%となっている。

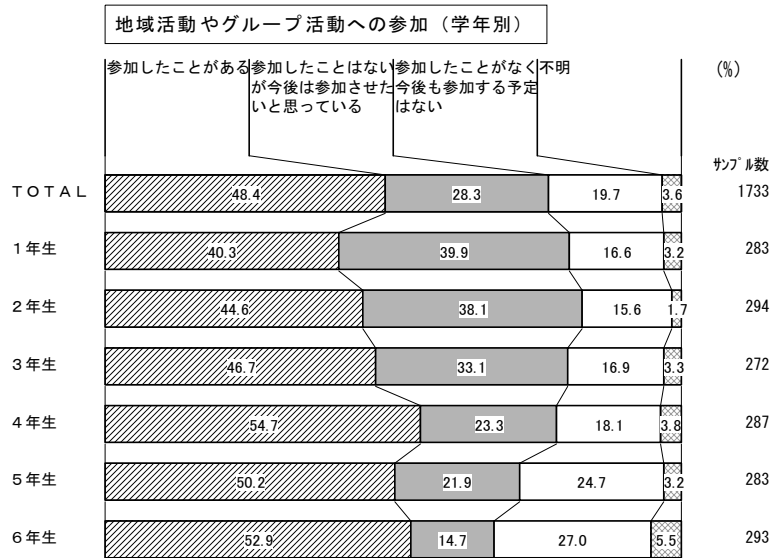
そこで参加してことがある(してみたい)活動について見てみると、「スポーツ活動」が58.8%で最も多く、続いて「キャンプ等の野外活動」が33.9%となっている。

地域活動等への参加状況

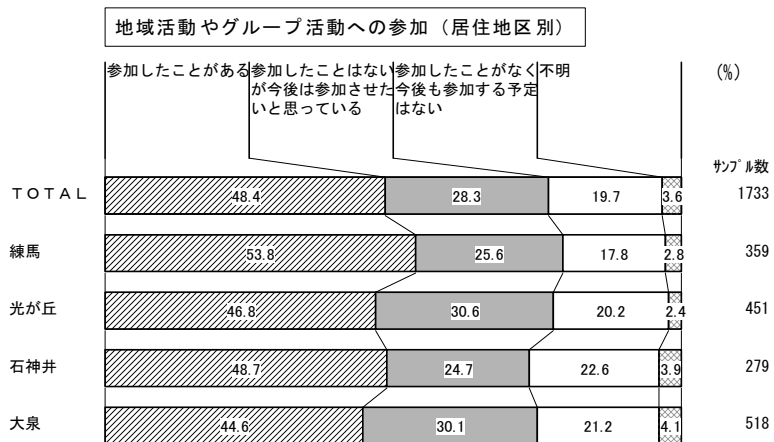


地域活動等への参加状況について学年別に見てみると、いずれも「参加したことがある」が最も多く、6年生の参加率がやや高い。1年生も意向が高くなっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「参加したことがある」が最も多いが、比べると「練馬」地区では参加率がやや高く、「大泉」地区ではやや低くなっている。



(注) 表側の不明は除く。



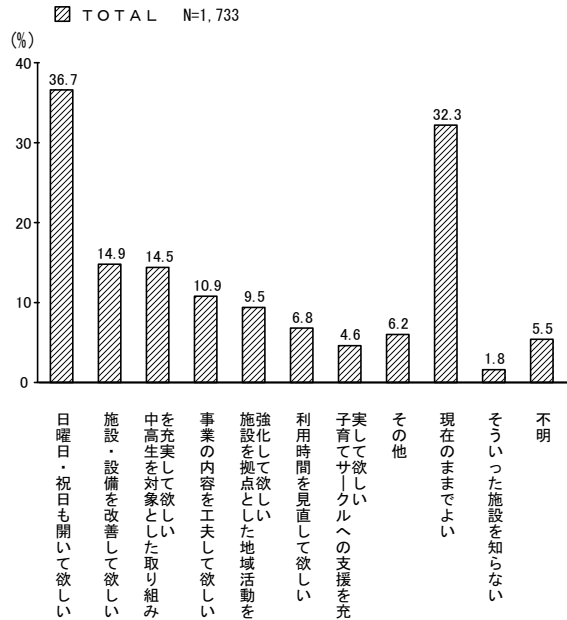
(注) 表側の不明は除く。

問 2 3 区内には、児童館が17館、児童館の機能を有する地区区民館が22館、厚生文化会館が1館あります。これらの施設に対して、あなたはどのように感じていますか。(複数回答)

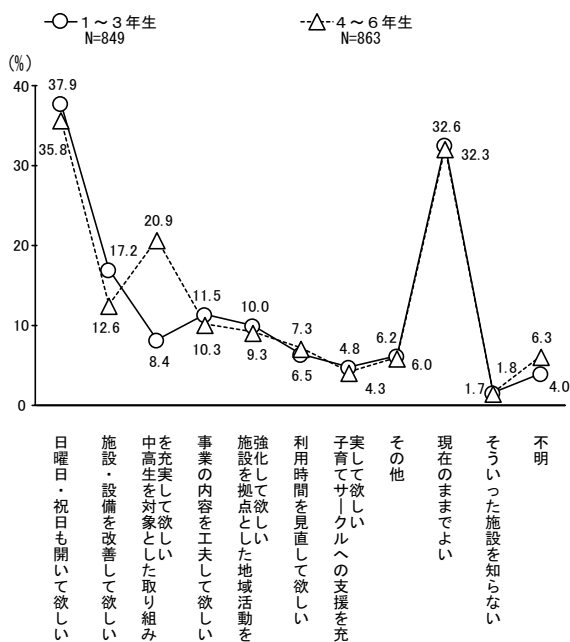
児童館、地区区民館、厚生文化会館への要望については、「日曜日・祝日も開いて欲しい」が36.7%で最も多く、続いて「現在のままでよい」が32.3%となっている。

低学年と高学年とで学年別に比較を行うと、いずれの学年も全体的にはほとんど同じ傾向になっているが、「中高生を対象とした取り組みを充実して欲しい」については「4～6年生」の要望が多くなっている。

児童館等について感じていること



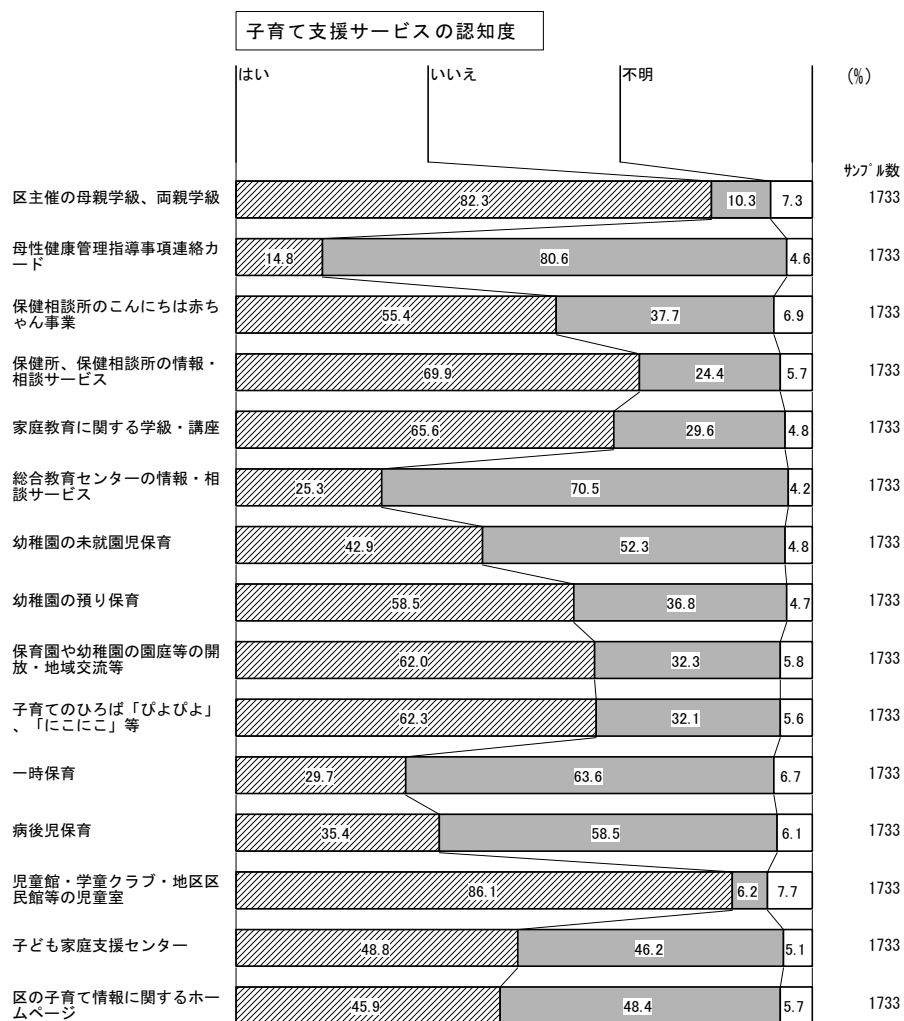
児童館等について感じていること (学年別)



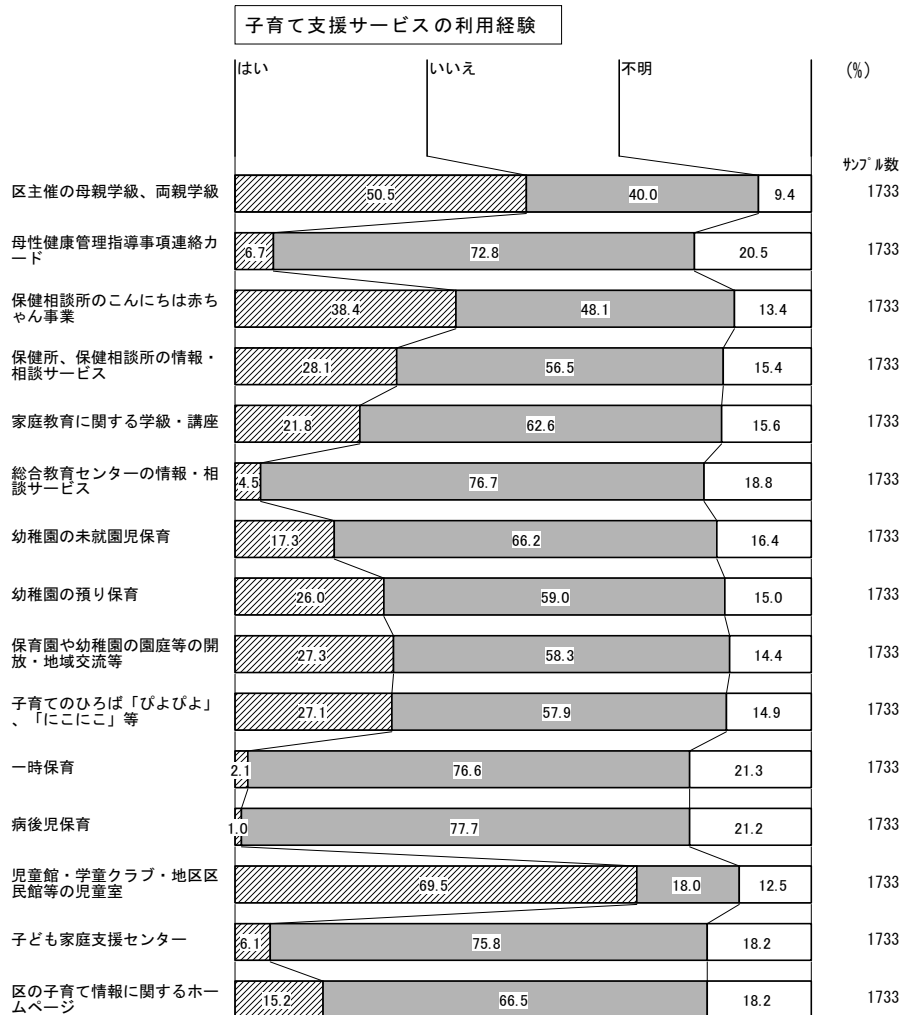
(8) 子育て支援サービスについて

問24 サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

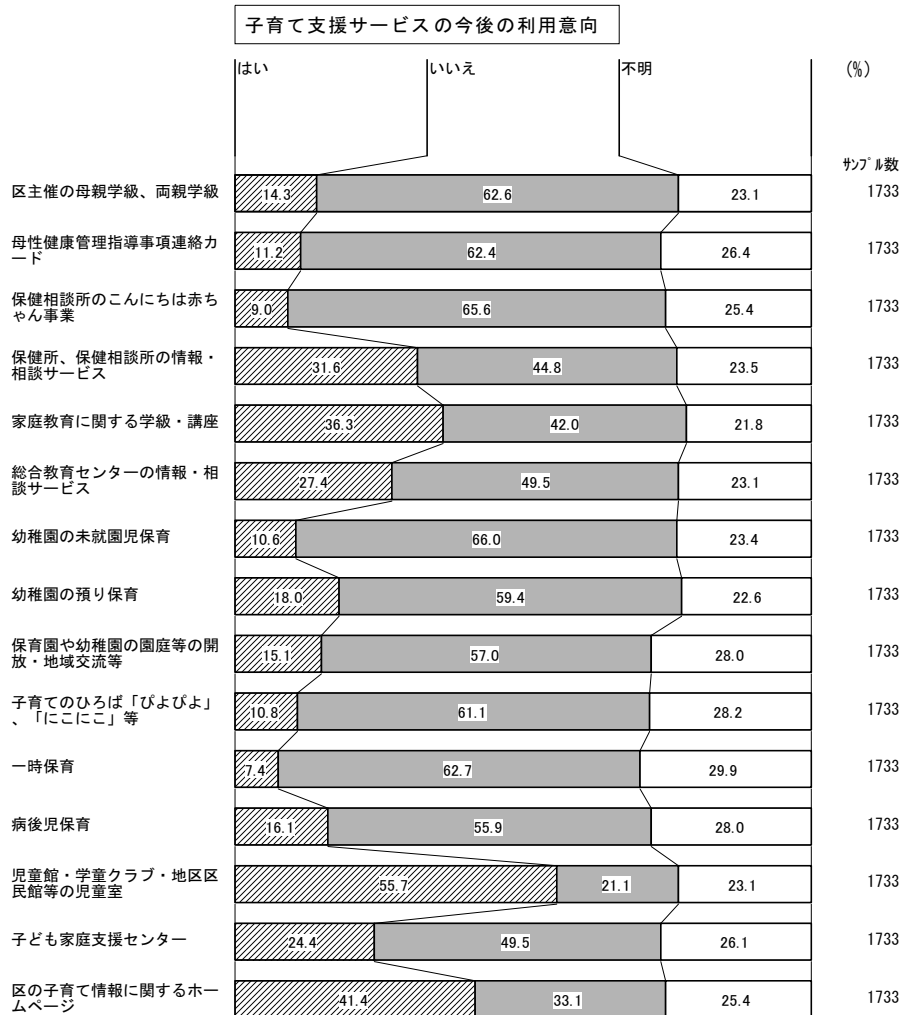
子育て支援サービスの認知度・利用度について、それぞれのサービス内容別に聞いたところ、「児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」(86.1%)、「区主催の母親学級、両親学級」(82.3%)、「保健所、保健相談所の情報・相談サービス」(69.9%)、「家庭教育に関する学級・講座」(65.6%)が多くなっている。



子育て支援サービスの利用経験について、それぞれのサービス内容別に聞いたところ、「児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」(69.5%)「区主催の母親学級、両親学級」(50.5%)、「保健相談所のこんには赤ちゃん事業」(38.4%)が多くなっている。

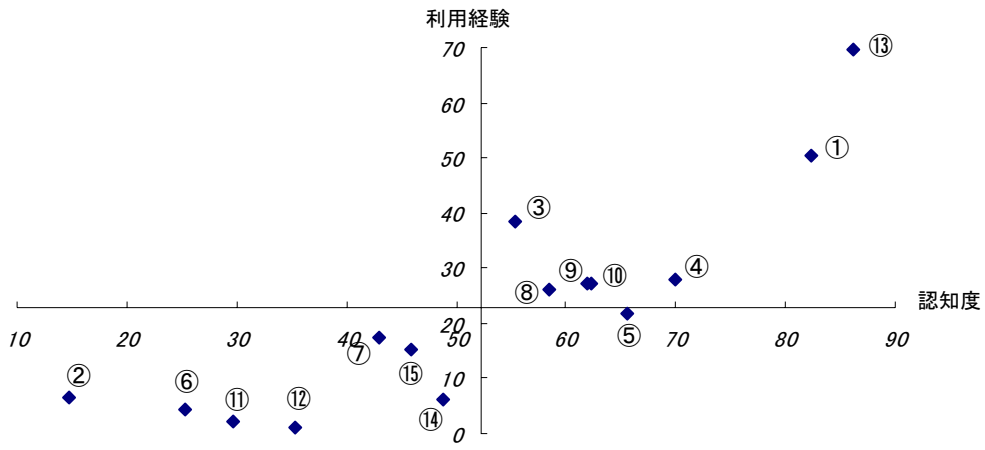


子育て支援サービスの利用意向について、それぞれのサービス内容別に聞いたところ、「児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」(55.7%)、「区の子育て情報に関するホームページ」(41.4%)、「家庭教育に関する学級・講座」(36.3%)、「保健所、保健相談所の情報・相談サービス」(31.6%)が多くなっている。



子育て支援サービスの認知度、利用経験、利用意向について聞いたところ、「⑬児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」や「①区主催の母親学級、両親学級」などの認知度と利用経験が高く、一方「②母性健康管理指導事項連絡カード」などがいずれも低くなっている。

子育て支援サービスの認知度&利用経験マトリックス

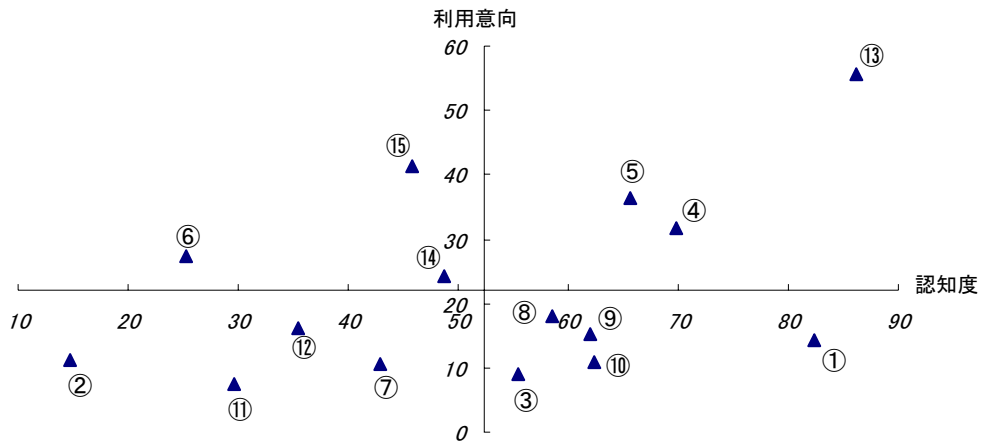


- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①区主催の母親学級、両親学級 | ⑨保育園や幼稚園の園庭等の開放・地域交流等 |
| ②母性健康管理指導事項連絡カード | ⑩子育てのひろば「ぴよぴよ」、「にこにこ」等 |
| ③保健相談所のこんにちは赤ちゃん事業 | ⑪一時保育 |
| ④保健所、保健相談所の情報・相談サービス | ⑫病後児保育 |
| ⑤家庭教育に関する学級・講座 | ⑬児童館・学童クラブ・地区区民館等の児童室 |
| ⑥総合教育センターの情報・相談サービス | ⑭子ども家庭支援センター |
| ⑦幼稚園の未就園児保育 | ⑮区の子育て情報に関するホームページ |
| ⑧幼稚園の預り保育 | |

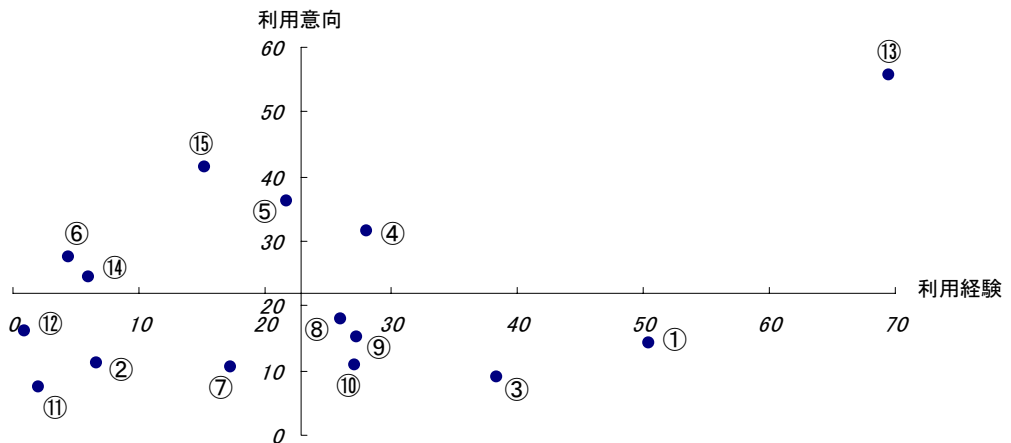
次に認知度と利用意向との関係で見ると、「⑬児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」などについては認知、利用意向ともに高くなっているが、「②母性健康管理指導事項連絡カード」などがいずれも低くなっている。また「⑥総合教育センターの情報・相談サービス」については、認知度が低い一方、利用意向はやや高くなっている。

最後に利用経験と利用意向との関係で見ると、同様に「⑬児童館、学童クラブ、地区区民館等の児童室」などについては利用経験、利用意向ともに高くなっているが、「⑪一時保育」などがいずれも低くなっている。また「③保健相談所のこんにちは赤ちゃん事業」については、利用経験が高い一方、利用意向はやや低くなっており、「⑮区の子育て情報に関するホームページ」などについては、利用経験が低い一方、利用意向は高くなっている。

子育て支援サービスの認知度&利用意向マトリックス



子育て支援サービスの利用経験&利用意向マトリックス



- | | |
|----------------------|------------------------|
| ①区主催の母親学級、両親学級 | ⑨保育園や幼稚園の園庭等の開放・地域交流等 |
| ②母性健康管理指導事項連絡カード | ⑩子育てのひろば「びよびよ」、「にこにこ」等 |
| ③保健相談所のこんにちは赤ちゃん事業 | ⑪一時保育 |
| ④保健所、保健相談所の情報・相談サービス | ⑫病後児保育 |
| ⑤家庭教育に関する学級・講座 | ⑬児童館・学童クラブ・地区区民館等の児童室 |
| ⑥総合教育センターの情報・相談サービス | ⑭子ども家庭支援センター |
| ⑦幼稚園の未就園児保育 | ⑮区の子育て情報に関するホームページ |
| ⑧幼稚園の預り保育 | |

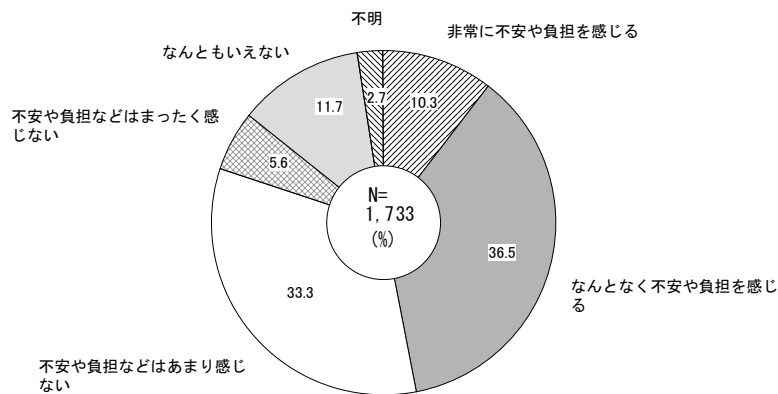
(9) 子育ての悩み、相談等について

- 問25** あなたは子育てに関して、不安感や負担感などを、どの程度お感じになっていますか。
問26 あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。
 (複数回答)
問27 あなたが子育てをするうえで、特に不安に思っていることや悩んでいることはどのようなことですか。(複数回答)

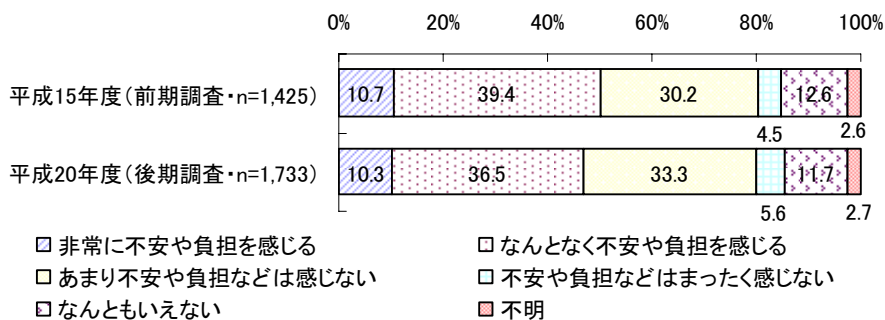
子育てに関する不安感や負担感については、不安や負担を感じる(「非常に不安や負担を感じる」＋「なんとなく不安や負担を感じる」)は46.8%、不安や負担などは感じない(「あまり不安や負担などは感じない」＋「不安や負担などはまったく感じない」)は38.9%となっている。(なお、以降で行う「不安感や負担感の有無タイプ分析」では、前者を『不安や負担を感じる』タイプ、後者を『不安や負担などは感じない』タイプとして分析している)。

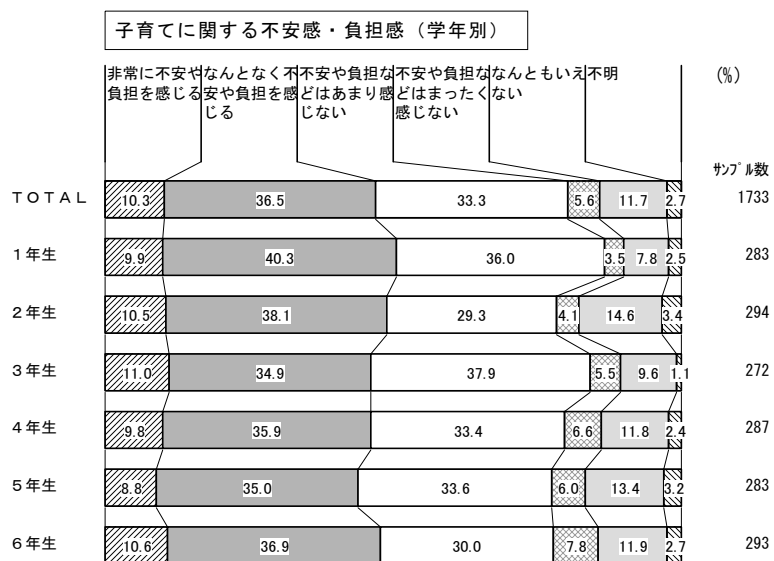
平成15年度(前期調査)と比較すると、不安感や負担感については大きな変化は見られない。学年別に見てみると、不安や負担を感じているのは一年生の世帯で多少多くなっている。同居・近居状況別に見ると、ひとり親家庭が特に多くなっている。

子育てに関する不安感や負担感

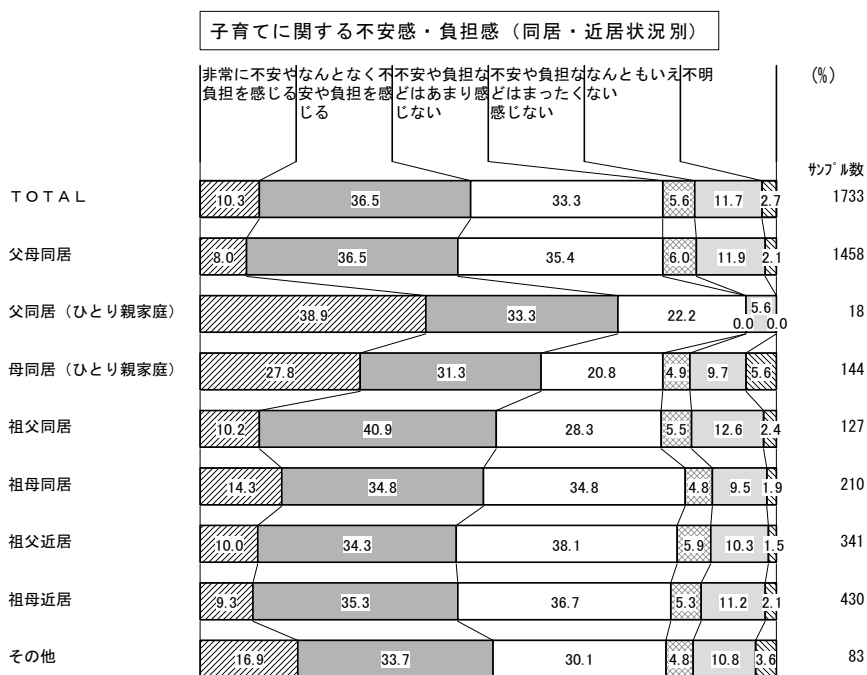


子育てに関する不安感や負担感(時系列比較)





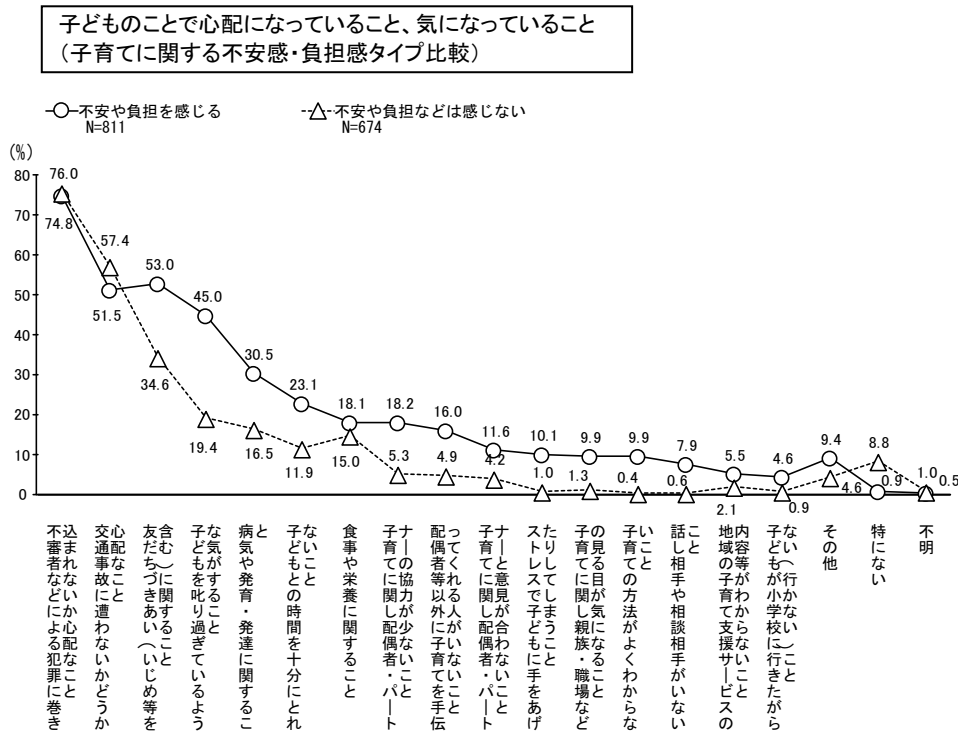
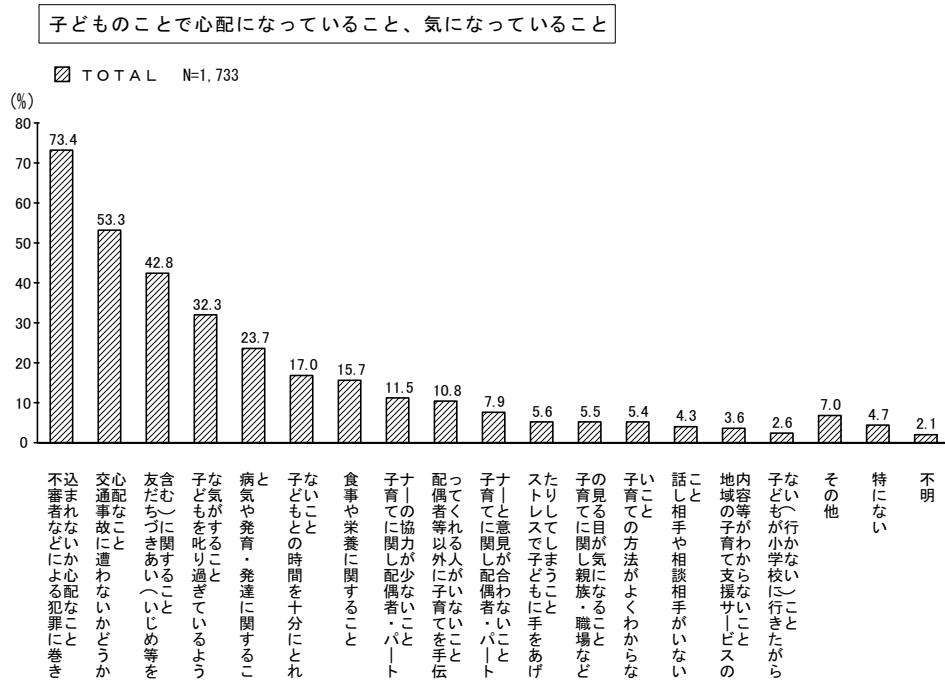
(注) 表側の「不明」は除く。



(注) 表側の「不明」は除く。

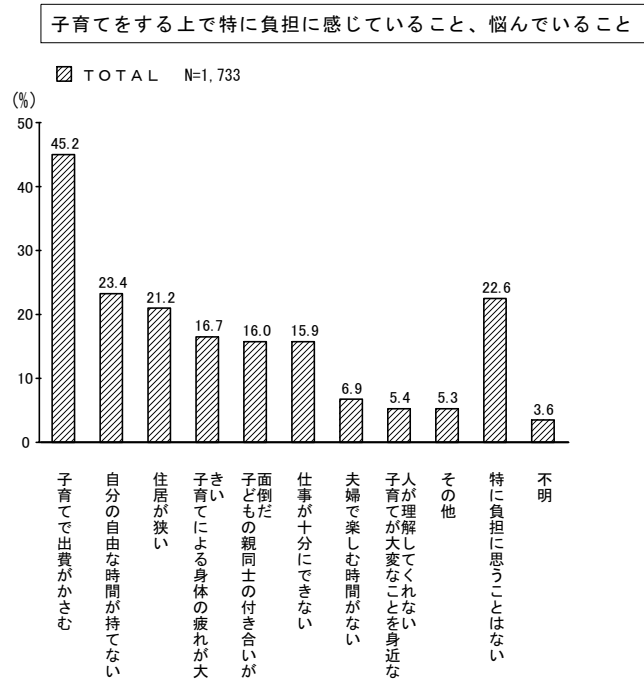
子どものことで心配に感じていること、気になっていることについて見てみると、「不審者などによる犯罪に巻き込まれないか心配なこと」が73.4%で最も多く、続いて「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」が53.3%、「友達つきあい（いじめ等を含む）に関すること」が42.8%となっている。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、いずれも「犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと」が最も多く、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べて多くなっている。



子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいることについて見てみると、「子育てで出費がかさむ」が45.2%で最も多く、続いて「特に負担に思うことはない」が22.6%、「自分の自由な時間が持てない」が23.4%となっている。

子どもの数別に見てみると、いずれの場合も「子育てで出費がかさむ」や「特に負担に思うことはない」が多くなっており、人数が増えるにしたがって出費についての負担感が大きくなっている。



子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいること(子どもの数別)

	TOTAL	子育てで出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	住居が狭い	子育てによる身体の疲れが大きい	面倒だ	仕事が多すぎてできない	夫婦で楽しむ時間がない	人が理解してくれない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	その他	特に負担に思うことはない	不明
TOTAL	1733	45.2	23.4	21.2	16.7	16.0	15.9	6.9	5.4	5.3	22.6	3.6	
1人	311	31.2	21.5	15.1	15.1	21.9	19.0	3.9	6.8	5.8	28.0	4.8	
2人	985	46.0	22.9	20.5	16.1	14.5	16.1	7.3	4.5	5.5	22.6	2.9	
3人	360	52.8	25.3	26.1	17.2	13.9	13.1	8.1	5.6	5.0	18.6	3.9	

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

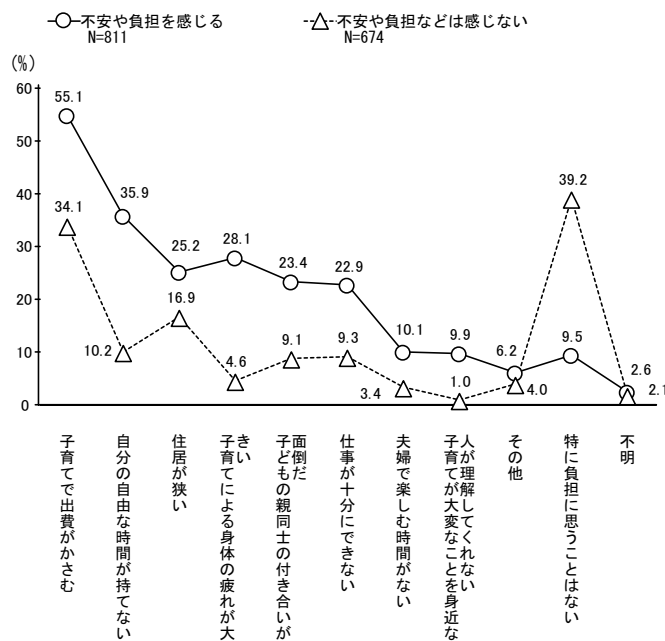
子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいることについて、学年別に見てみると、いずれの学年でも「自分の自由な時間が持てない」や「子育てで出費がかさむ」が多くなっており、年齢による大きな差はない。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べて2倍程度多くなっている。

	TOTAL	子育てで出費がかさむ	自分の自由な時間が持てない	住居が狭い	子育てによる身体の疲れが大きい	子どもの親同士の付き合いが面倒だ	仕事が多忙にできない	夫婦で楽しむ時間がない	近所の人や親戚が理解してくれない	子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない	その他	特に負担に思うことはない	不明
TOTAL	1733	45.2	23.4	21.2	16.7	16.0	15.9	6.9	5.4	5.3	22.6	3.6	
1年生	283	41.3	32.2	22.6	22.3	15.2	18.0	10.2	4.6	5.3	23.3	3.2	
2年生	294	38.4	26.2	19.7	18.7	16.7	15.3	6.8	5.1	6.8	21.1	4.1	
3年生	272	44.9	23.2	20.6	16.5	15.8	15.8	6.6	6.6	4.4	23.9	3.3	
4年生	287	47.4	19.9	23.7	14.6	14.6	15.3	7.3	5.2	6.3	24.0	3.1	
5年生	283	48.1	19.4	20.8	14.5	18.0	17.3	4.2	6.0	4.2	19.8	3.9	
6年生	293	52.2	20.5	19.5	14.3	15.4	14.3	5.5	5.1	4.1	23.9	3.1	

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

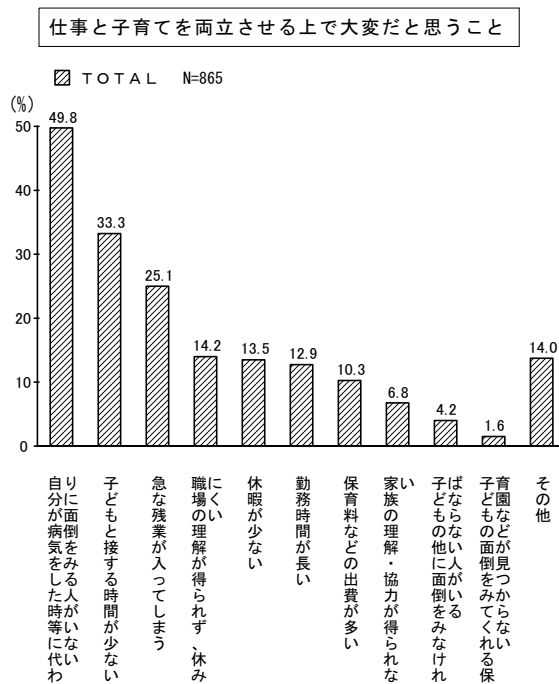
子育てをする上で特に負担を感じていること、悩んでいること
(子育てに関する不安感・負担感タイプ比較)



- 問28 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。(3つまで)
- 問29 あなたが仕事と子育てを両立させるために職場に望むことは、どのようなことですか。(2つまで)

仕事と子育てとを両立させる上で大変だと感じていることについては（「不明」サンプルを除く）、「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」が49.8%で最も多く、続いて「子どもと接する時間が少ない」が33.3%となっている。

学年別に見てみると、いずれの学年でも「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」「子どもと接する時間が少ない」が多くなっているが、「急な残業が入ってしまう」もやや多くなっている。



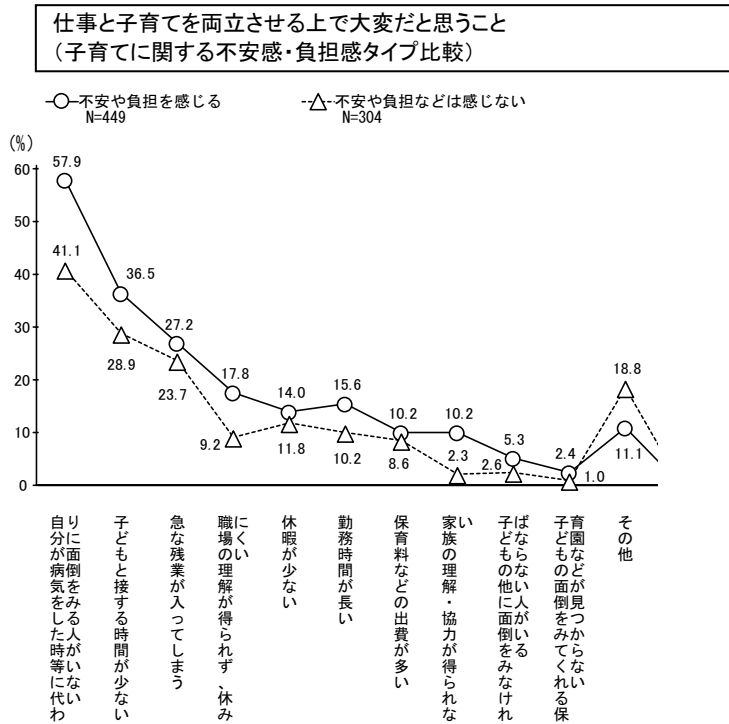
(注)「不明」は除く。

仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じること (子どもの年齢別)

	TOTAL	自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない	子どもと接する時間が少ない	急な残業が入ってしまう	職場の理解が得られず、休みにくい	休暇が少ない	勤務時間が長い	保育料などの出費が多い	家族の理解・協力が得られない	ばならない他に面倒をみなければならぬ人がいる	保育園などが見つからない	その他
TOTAL	865	49.8	33.3	25.1	14.2	13.5	12.9	10.3	6.8	4.2	1.6	14.0
1年生	134	41.8	38.1	26.1	12.7	14.2	12.7	17.9	4.5	3.7	3.0	15.7
2年生	131	51.1	32.1	26.0	15.3	16.0	12.2	12.2	6.1	4.6	3.8	13.7
3年生	126	52.4	32.5	23.8	12.7	19.8	16.7	7.1	7.9	1.6	0.8	15.1
4年生	150	53.3	32.7	24.7	14.0	10.7	7.3	11.3	4.0	6.0	1.3	15.3
5年生	153	52.3	32.7	26.8	16.3	11.8	14.4	4.6	8.5	2.6	0.0	7.2
6年生	163	49.1	33.1	23.9	13.5	11.0	15.3	9.2	9.2	6.1	1.2	16.0

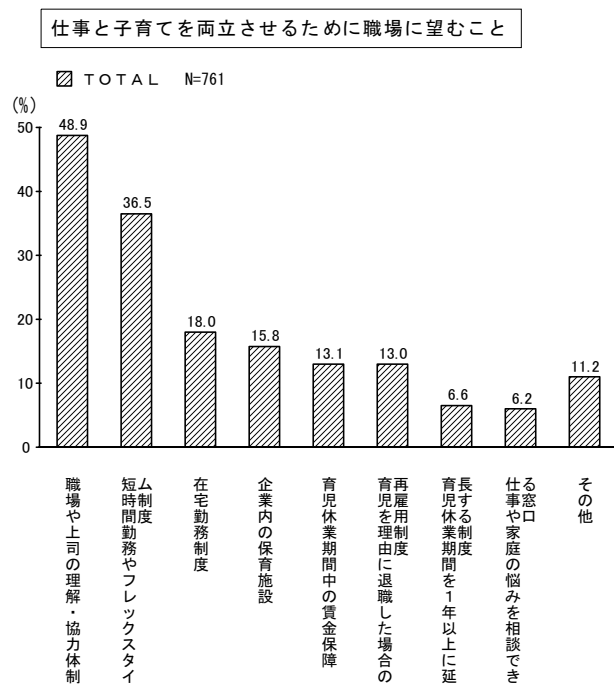
(注)網掛けは30%以上。また表頭、表側の「不明」は除く。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べてやや多くなっており、特に「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」「職場の理解が得られず、休みにくい」についての両者の開きが大きくなっている。



仕事と子育てを両立させるために職場に望むことについて聞いたところ（「不明」サンプルは除く）、「職場や上司の理解・協力体制」が48.9%で最も多く、続いて「短時間勤務やフレックスタイム制度」が36.5%となっている。

学年別に見てみると、いずれの学年でも「職場や上司の理解・協力体制」や「短時間勤務やフレックスタイム制度」が多く、低学年では「在宅勤務制度」も多くなっている。



(注)「不明」は除く。以下同じ。

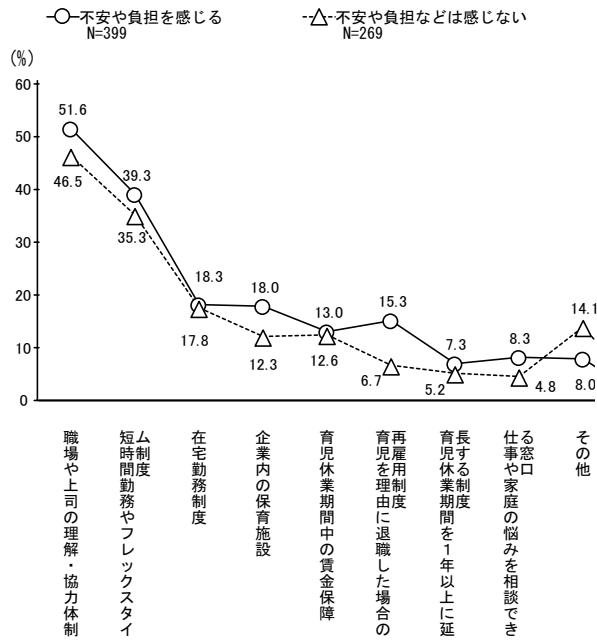
仕事と子育てを両立させるために職場に望むこと（学年別）

	TOTAL	職場や上司の理解・協力体制	短時間勤務やフレックスタイム制度	在宅勤務制度	企業内の保育施設	育児休業期間中の賃金保障	育児を理由に退職した場合の再雇用制度	育児休業期間を1年以上に延長する制度	仕事や家庭の悩みを相談できる窓口	その他
TOTAL	761	48.9	36.5	18.0	15.8	13.1	13.0	6.6	6.2	11.2
1年生	116	41.4	39.7	20.7	17.2	17.2	12.1	9.5	3.4	13.8
2年生	119	51.3	33.6	21.8	16.8	13.4	13.4	9.2	4.2	12.6
3年生	107	52.3	35.5	19.6	11.2	10.3	15.0	6.5	4.7	11.2
4年生	129	53.5	33.3	14.0	20.9	15.5	10.1	7.0	6.2	10.1
5年生	133	47.4	39.8	17.3	12.8	10.5	16.5	1.5	9.0	9.0
6年生	149	49.0	36.9	16.1	14.1	12.8	11.4	6.0	8.1	10.7

(注) 網掛けは30%以上。また表側の「不明」は除く。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、全体的に不安や負担を感じる人の方が、感じない人に比べて多くなっており、特に「育児を理由に退職した場合の再雇用制度」についての両者の開きが大きくなっている。

仕事と子育てを両立させるために職場に望むこと
(子育てに関する不安感・負担感タイプ比較)



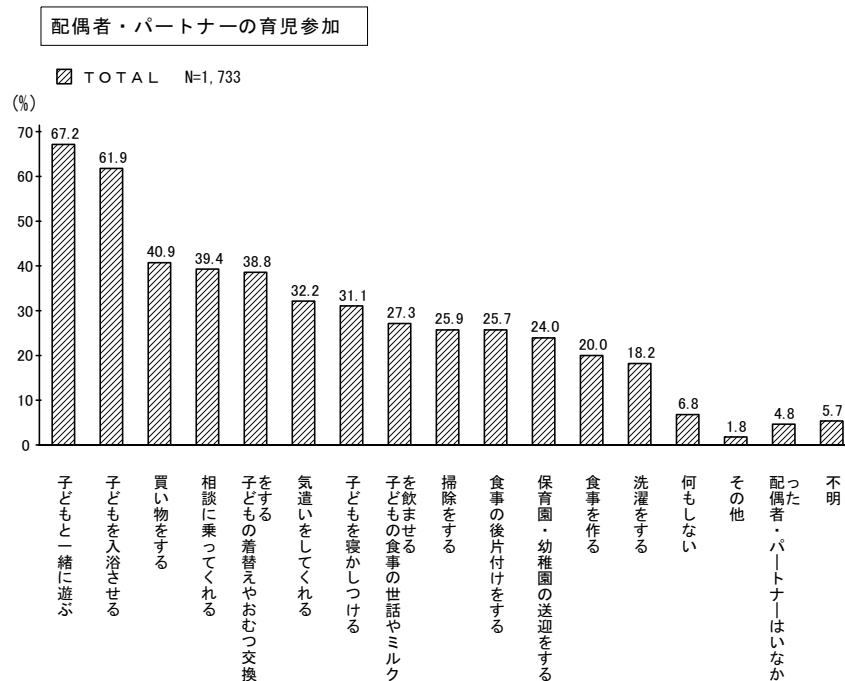
問30 あなたの配偶者・パートナーは、育児（おおむね3歳以下）にどのような形で参加していますか（いましたか）。（複数回答）

問30-1 配偶者・パートナーの育児参加の仕方に満足していますか（いましたか）。

問30-2 あなた自身が配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいと思う（思った）ことを挙げてください。（複数回答）

配偶者・パートナーの育児へ参加形態について聞いたところ、「子どもと一緒に遊ぶ」が67.2%で最も多くなっており、続いて「子どもを入浴させる」が61.9%となっている。

学年別に見てみると、いずれの学年でも「子どもと一緒に遊ぶ」「子どもを入浴させる」などが多くなっている。



配偶者・パートナーの育児への参加形態（子どもの年齢別）

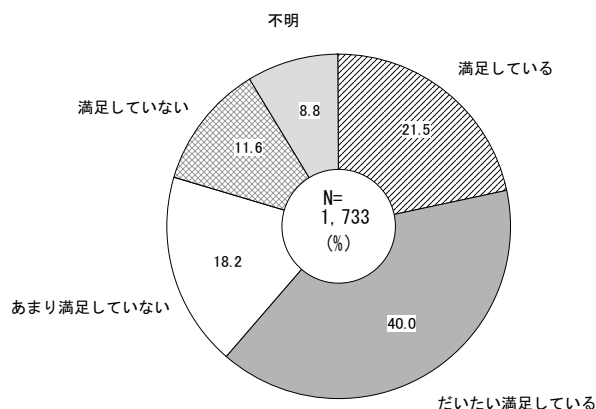
	TOTAL	子どもと一緒に遊ぶ	子どもを入浴させる	買い物をする	相談に乗ってくれる	子どもの着替えやおむつ交換をする	気遣いをしてくれる	子どもを寝かしつける	子どもの食事の世話やミルクを飲ませる	掃除をする	食事の後片付けをする	保育園・幼稚園の送迎をする	食事を作る	洗濯をする	何もしない	その他	配偶者・パートナーはいない	不明
TOTAL	1733	67.2	61.9	40.9	39.4	38.8	32.2	31.1	27.3	25.9	25.7	24.0	20.0	18.2	6.8	1.8	4.8	5.7
1年生	283	71.4	60.8	41.3	45.6	41.3	39.2	35.7	30.4	29.3	27.6	26.9	23.3	21.2	5.3	1.8	4.2	5.3
2年生	294	71.4	66.3	40.5	41.2	43.9	32.3	36.1	30.6	24.5	26.9	26.9	18.0	18.0	6.1	1.4	4.4	4.8
3年生	272	69.1	61.0	39.3	41.9	40.8	33.8	30.5	29.0	25.7	27.9	21.0	20.6	17.6	5.9	1.1	4.8	4.8
4年生	287	69.3	66.2	43.6	41.1	38.0	35.2	31.4	25.1	26.5	24.7	22.6	20.2	20.6	6.3	2.1	3.8	5.2
5年生	283	63.3	60.8	40.6	38.9	33.2	27.2	25.8	24.4	26.9	26.1	20.5	20.5	17.7	6.4	2.5	4.6	7.1
6年生	293	58.7	56.3	38.6	28.3	34.5	26.3	27.0	24.2	22.5	21.2	24.6	18.1	14.7	10.6	2.0	7.2	6.1

(注) 網掛けは40%以上。また表側の「不明」は除く。

配偶者・パートナーの育児参加の仕方への満足度を聞いたところ、「満足している」21.5%、「だいたい満足している」40.0%となっており、合計は61.5%である。一方「あまり満足していない」が18.2%、「満足していない」が11.6%となっており、合計は29.8%である（なお、以降で行う「子育て参加形式への満足度タイプ分析」では、前者を『満足している』タイプ、後者を『満足していない』タイプとして分析している）。

学年別に見てみると、6年生ではやや満足度が低くなっている。

配偶者・パートナーの育児参加への満足度



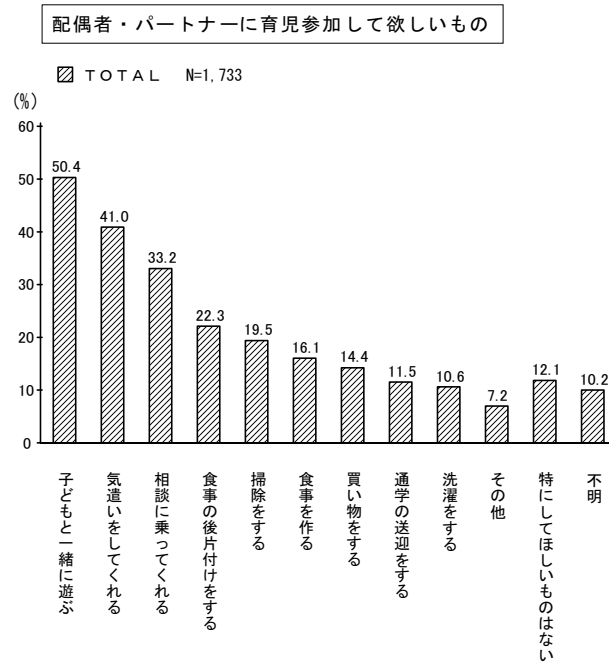
配偶者・パートナーの育児参加への満足度（学年別）

	満足している	だいたい満足している	あまり満足していない	満足していない	不明	サンプル数
TOTAL	21.5	40.0	18.2	11.6	8.8	1733
1年生	24.0	40.3	14.1	12.4	9.2	283
2年生	25.9	36.1	22.1	8.5	7.5	294
3年生	21.0	42.3	19.9	9.9	7.0	272
4年生	21.3	42.2	16.7	12.2	7.7	287
5年生	19.4	43.8	17.0	9.5	10.2	283
6年生	17.4	35.8	19.1	17.4	10.2	293

(注) 表側の「不明」は除く。

配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいと思う（思った）ことについて聞いたところ、「子どもと一緒に遊ぶ」が 50.4%で最も多く、続いて「気遣いをしてくれる」が 41.0%、「相談に乗ってくれる」が 33.2%となっている。

学年別に見てみると、いずれの学年でも「子どもと一緒に遊ぶ」または「気遣いをしてくれる」などが多く、学年による大きな差はない。



配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいもの（学年別）

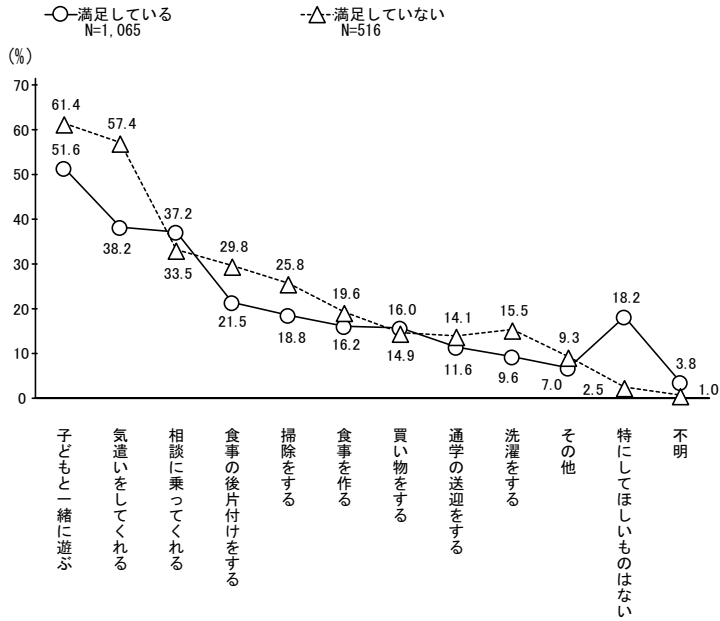
	TOTAL	子どもと一緒に遊ぶ	気遣いをしてくれる	相談に乗ってくれる	食事の後片付けをする	掃除をする	食事を作る	買い物をする	通学の送迎をする	洗濯をする	その他	特にしてほしいものはない	不明
TOTAL	1733	50.4	41.0	33.2	22.3	19.5	16.1	14.4	11.5	10.6	7.2	12.1	10.2
1年生	283	53.7	41.7	33.2	20.5	20.8	15.2	14.8	13.1	11.0	8.8	14.1	10.2
2年生	294	51.0	39.8	32.3	21.8	19.7	18.4	11.9	13.6	11.9	6.5	12.9	8.2
3年生	272	52.9	41.9	36.8	23.5	18.8	16.9	15.8	10.7	9.9	6.3	12.1	10.3
4年生	287	52.3	38.0	35.5	26.1	22.0	18.5	15.3	12.2	12.9	7.7	9.8	8.7
5年生	283	48.8	42.0	31.1	23.3	19.1	14.8	15.9	9.5	8.8	6.0	11.3	11.3
6年生	293	44.7	43.0	31.4	19.8	17.4	14.0	13.0	10.2	9.6	7.8	12.6	10.9

(注) 網掛けは 40%以上。また表側の「不明」は除く。

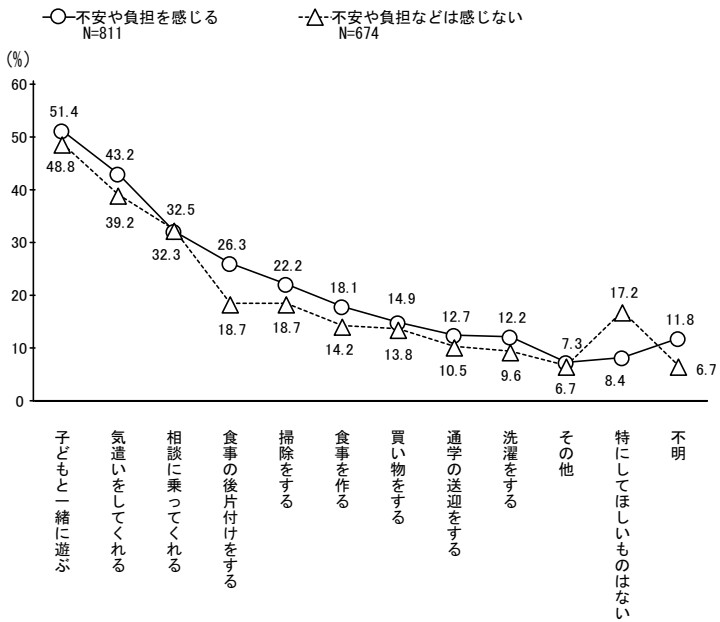
前記の満足度についての評価をもとに、配偶者・パートナーに育児参加をして欲しいと思う（思った）ことについて聞いたところ、全体的に満足していない人の要望が満足している人を上回っている。

不安感や負担感の有無タイプで見ると、同様に「特にして欲しいことはない」以外は、全ての項目について不安や負担を感じる人が不安や負担を感じない人を上回っている。

配偶者・パートナーに育児参加して欲しいもの
(配偶者・パートナーの育児参加への満足度比較)



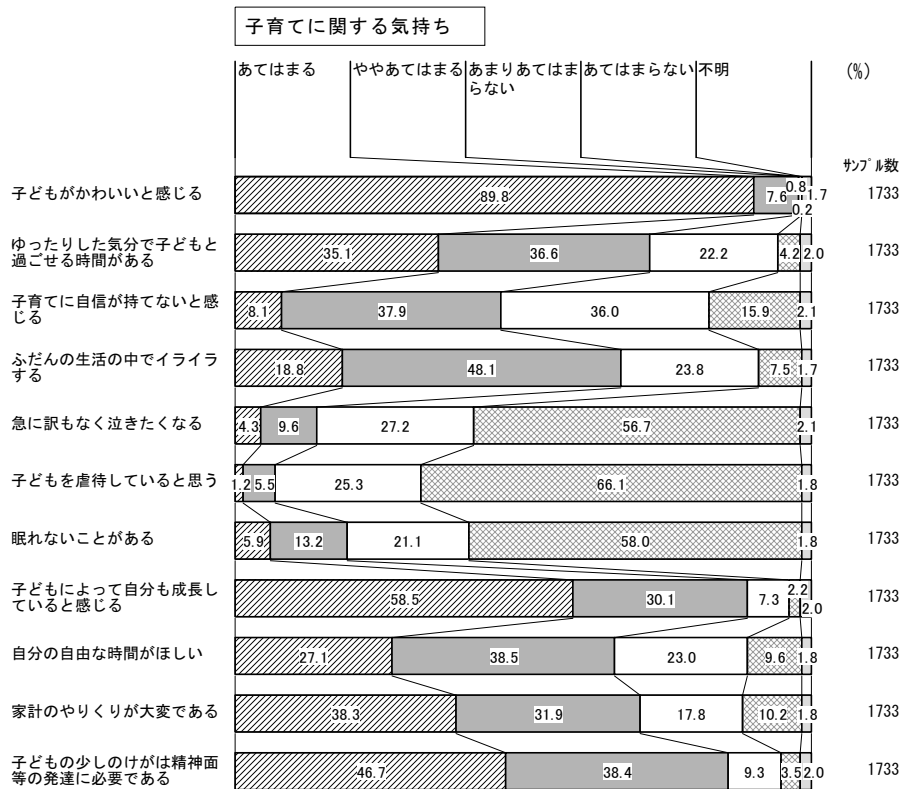
配偶者・パートナーに育児参加して欲しいもの
(子育てに関する不安感・負担感タイプ比較)



(10) 母子保健、地域医療等について

問31 次のそれぞれについて、今のあなたの気持ちに一番あてはまる（あてはまった）ものをお知らせください。

子育てについての意識について、様々な角度から聞いたところ、全体的には子育てについてプラスの意識を持っているが、自分の自由な時間や家計のやりくりなどについては、苦勞しているようだ。



問32 (1) 小児科のかかりつけ医を持っていますか。(2) かかりつけ医に満足していますか。(3) かかりつけ医を持っていない理由。

かかりつけ医の有無について見てみると、83.3%が持っている（「はい」）と回答している。居住地区別に見てみると、いずれの地区でも持っている割合は大きく、地区による差は見られない。学年別に見てみると、いずれの学年でも持っている割合は大きいですが、5年生、6年生では「いいえ」がやや多くなっている。

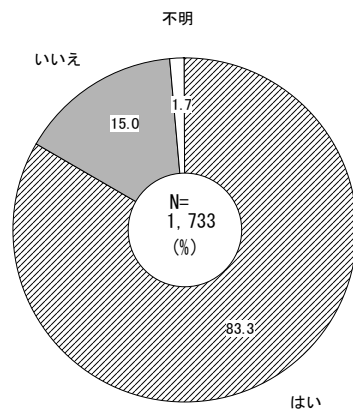
そこで『かかりつけ医を持っている』と回答した人に満足度について聞いたところ、「満足している」が36.6%、「だいたい満足している」が56.4%となっており、合計すると93.0%となる。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも満足度は高く、地区による差は見られない。

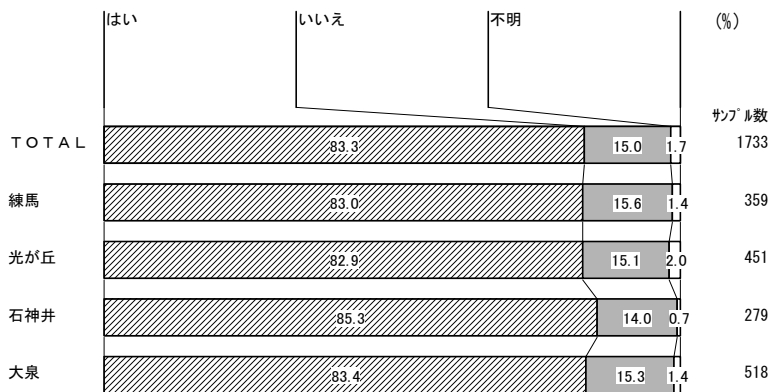
学年別に見てみると、いずれの学年でも満足度が高く、学年による差は見られない。

一方『かかりつけ医を持っていない』と回答している人にその理由を聞いたところ、特に「必要に応じてかかる病院・医院を決めればよいから」が28.8%で最も多く、居住地区別では「石神井」地区で多くなっている。

小児科かかりつけ医の有無

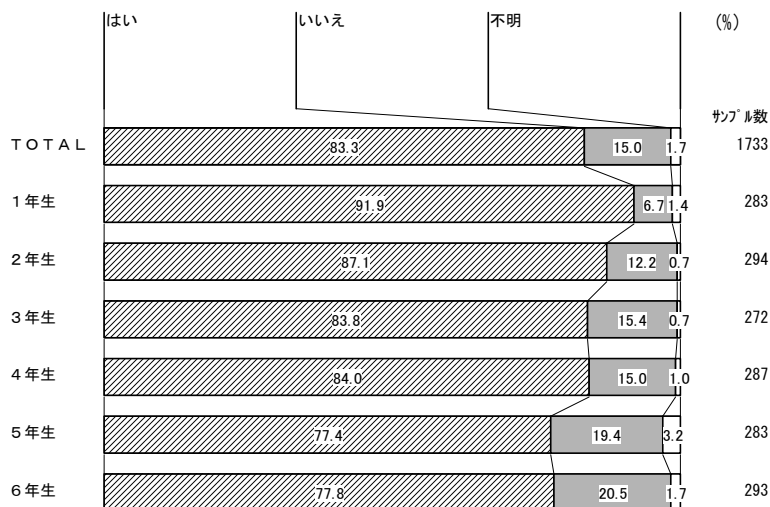


小児科かかりつけ医の有無（居住地区別）



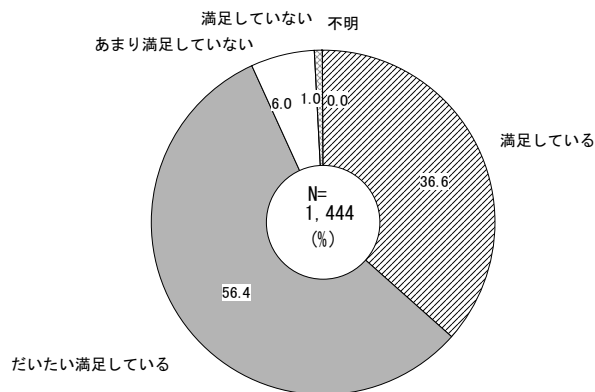
(注) 表側の「不明」は除く。

小児科かかりつけ医の有無（学年別）



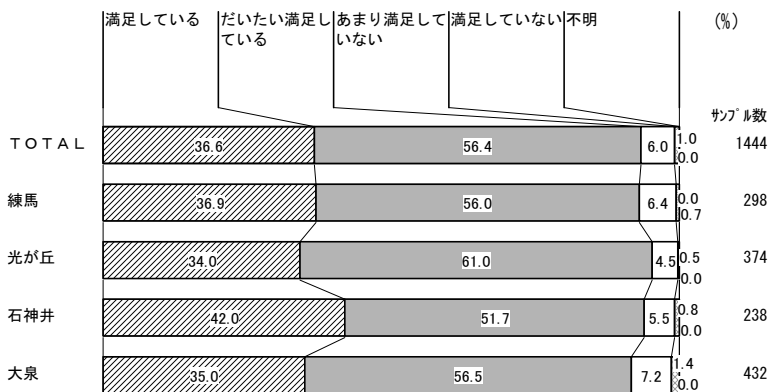
(注) 表側の不明は除く。

小児科かかりつけ医への満足度



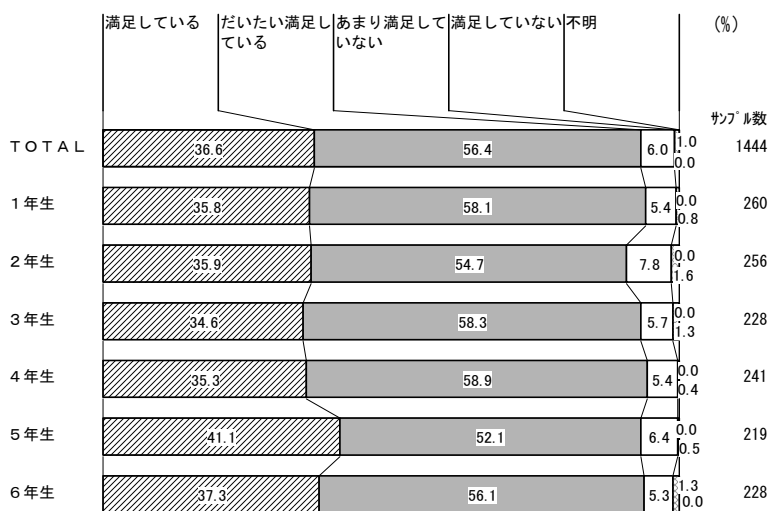
だいたい満足している

小児科かかりつけ医への満足度（居住地区別）



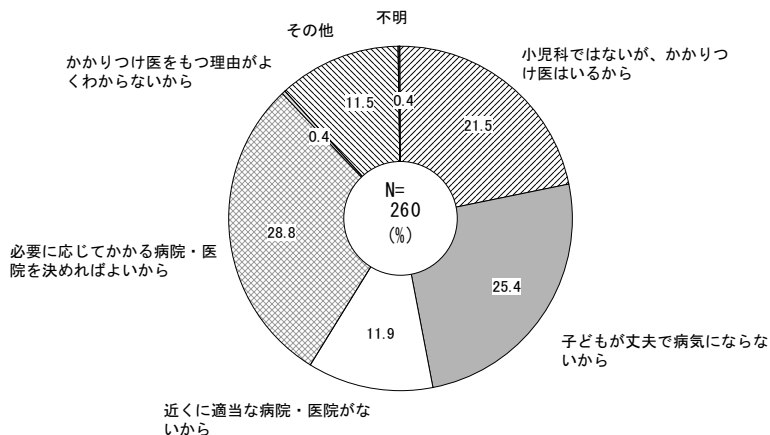
(注) 表側の「不明」は除く。

小児科かかりつけ医への満足度（学年別）

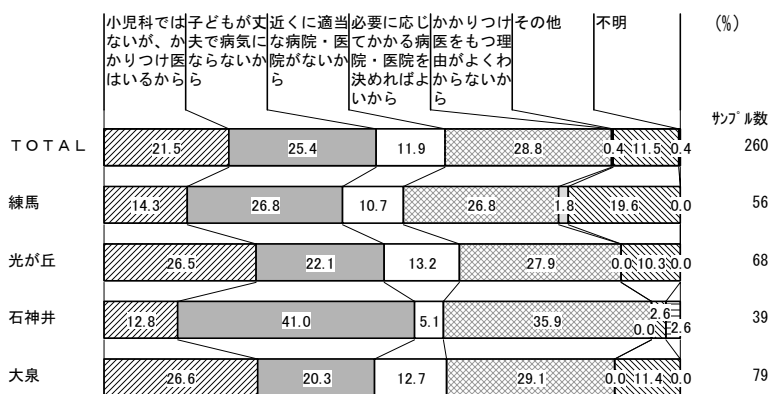


(注) 表側の「不明」は除く。

小児科かかりつけ医を持っていない理由



小児科かかりつけ医がない理由（居住地区別）



(注) 表側の「不明」は除く。

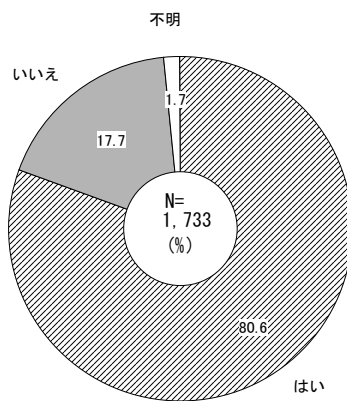
問33 (1) 宛名のお子さんは歯科のかかりつけ医を持っていますか。(2) かかりつけ歯科医では主にどんな内容のことをしていますか。(複数回答)

歯科のかかりつけ医の有無について見てみると、80.6%が持っている（「はい」）と回答している。居住地区別に見てみると、いずれの地区でも8割前後が「はい」と回答しており、地区による差は見られない。

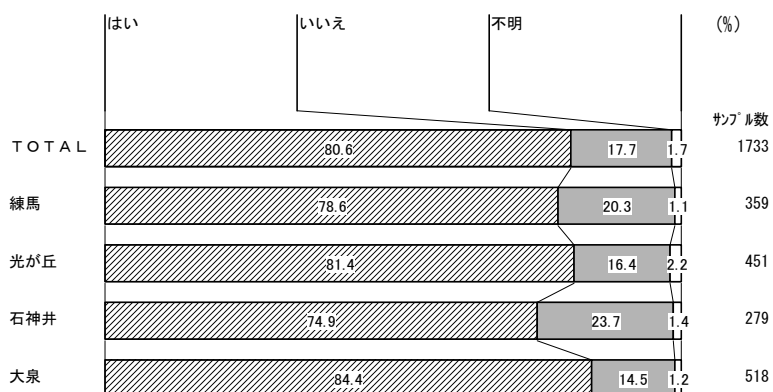
学年別に見てみると、いずれの学年でも、かかりつけ医がいる児童が多いことがわかる。

そこで『歯医者かかりつけ医を持っている』と回答した人にしてもらうことについて聞いたところ、「むし歯があるかないか見てもらう」が75.2%で最も多く、続いて「むし歯の治療」が67.4%となっている。

歯医者かかりつけ医の有無

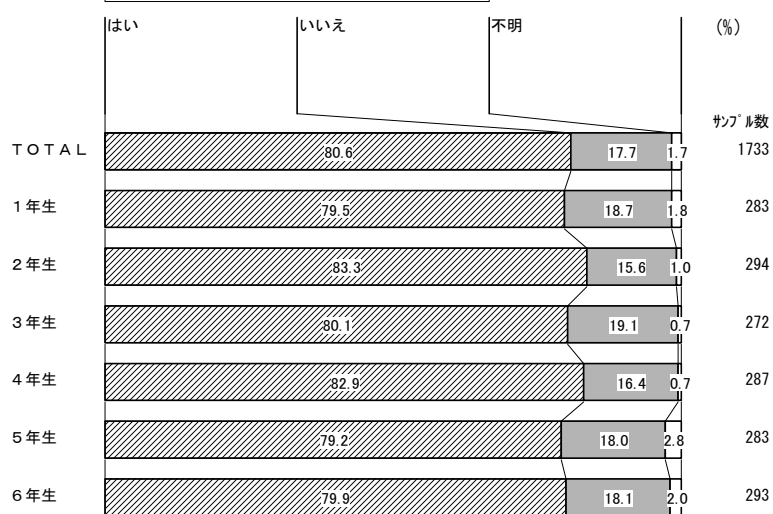


歯医者かかりつけ医の有無（居住地区別）



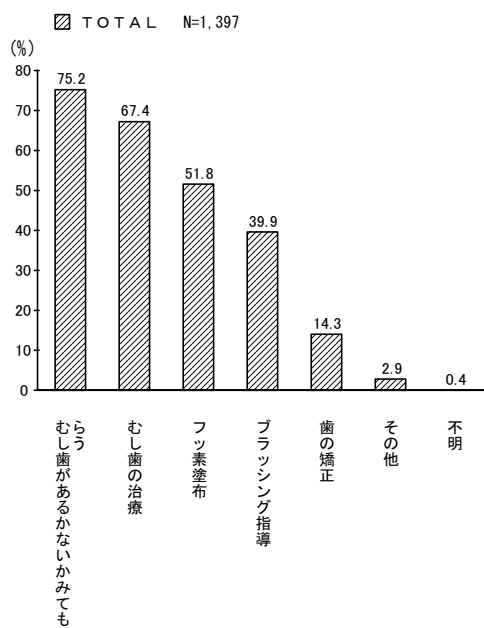
(注) 表側の「不明」は除く。

歯医者かかりつけ医の有無（学年別）



(注) 表側の「不明」は除く。

歯医者かかりつけ医にしてみらうこと



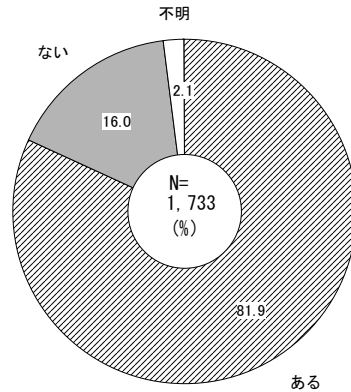
問34 (1) あなたは、お子さんが休日・夜間に具合が悪くなったとき受診できる小児救急医療機関がありますか。(2) また、それはどこですか。(複数回答)

休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無について見てみると、81.9%が「ある」と回答している。

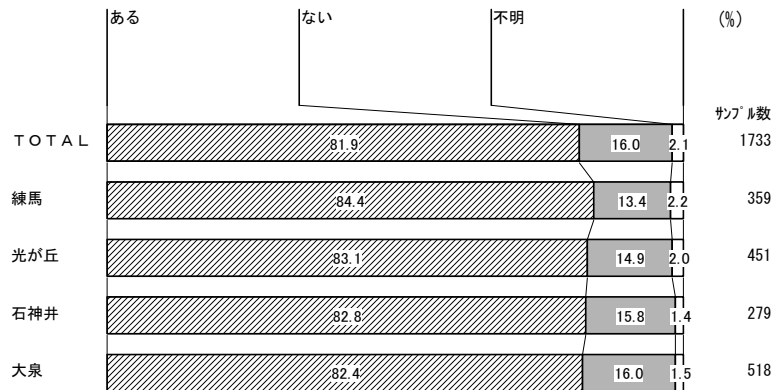
居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「ある」が多くなっており、地区による差は見られない。

学年別に見てみると、いずれの学年でも認知度は高いが、5年生では「ない」がやや多くなっている。

休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無

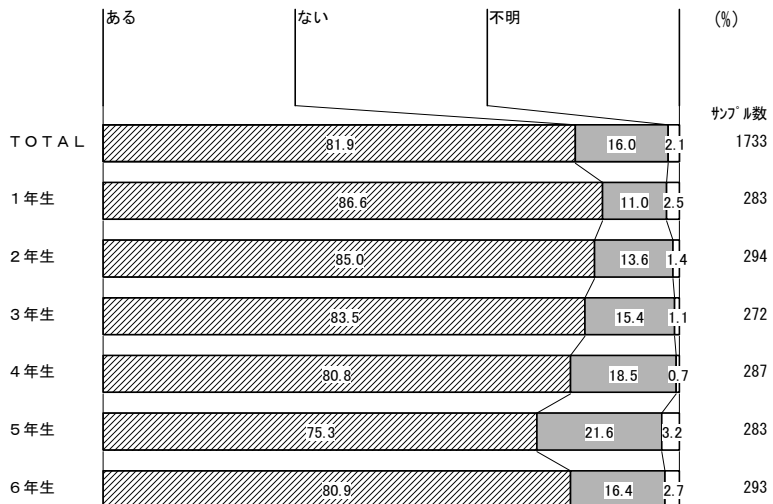


休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無 (居住地区別)



(注) 表側の「不明」は除く。

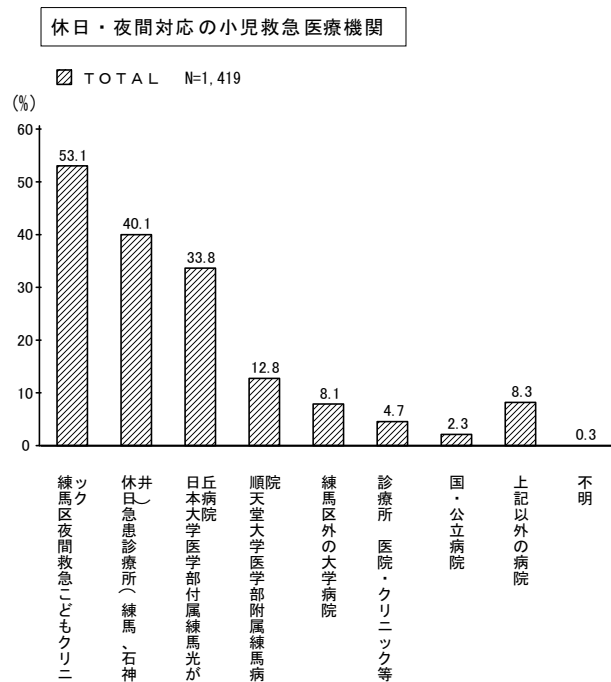
休日・夜間対応の小児救急医療機関の有無 (学年別)



(注) 表側の「不明」は除く。

小児救急医療機関が「ある」と回答した人に、その場所について聞いたところ「練馬区夜間救急こどもクリニック」が 53.1%で最も多く、続いて「休日急患診療所（練馬、石神井）」が 40.1%となっている。

居住地区別に見てみると、「石神井」地区以外の地区では「練馬区夜間救急こどもクリニック」、「石神井」地区では「休日急患診療所（練馬、石神井）」が多くなっている。また「光が丘」地区では「日本大学医学部附属練馬光が丘病院」もやや多くなっている。



休日・夜間対応の小児救急医療機関(居住地区別)

	TOTAL	練馬区夜間救急こどもクリニック	休日急患診療所（練馬、石神井）	日本大学医学部附属練馬光が丘病院	順天堂大学医学部附属練馬病院	練馬区外の大学病院	診療所（医院・クリニック等）	国・公立病院	上記以外の病院	不明
TOTAL	1419	53.1	40.1	33.8	12.8	8.1	4.7	2.3	8.3	0.3
練馬	303	87.1	22.4	18.2	9.6	10.6	4.0	0.7	5.9	0.3
光が丘	375	58.1	19.2	52.3	6.4	13.3	2.1	1.1	5.6	0.3
石神井	231	29.4	68.4	16.9	22.9	3.5	3.9	1.3	13.0	0.0
大泉	427	42.4	56.2	43.3	17.1	3.5	6.3	4.4	4.4	0.5

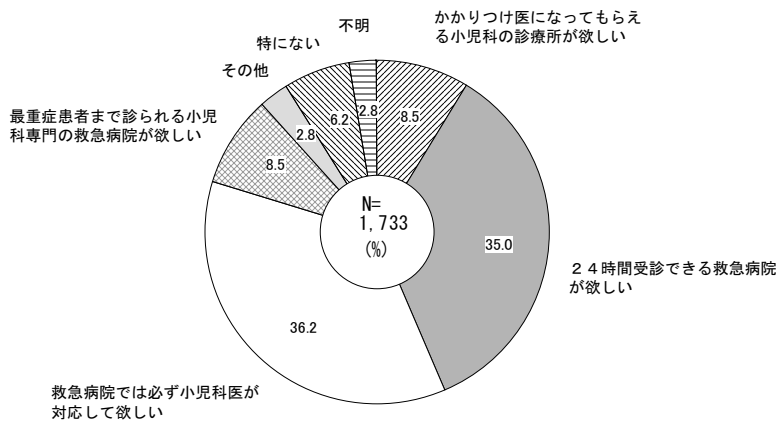
(注) 網掛けは 30%以上。また表側の「不明」は除く。

問35 あなたが、お子さんの休日・夜間の救急医療に一番望むことは何ですか。

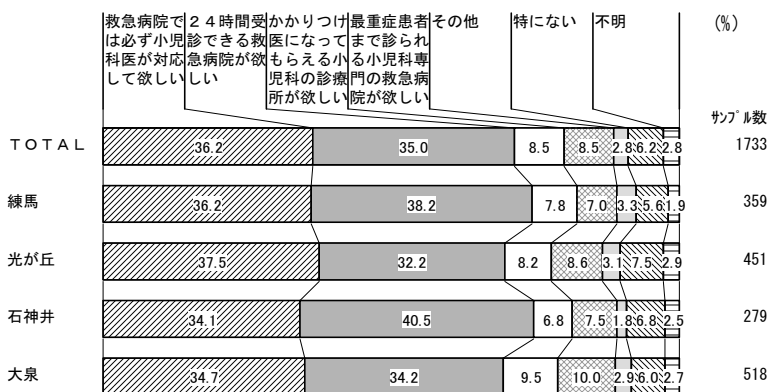
休日・夜間の救急医療に一番望むことについて聞いたところ、「救急病院では必ず小児科医が対応して欲しい」が36.2%で最も多く、続いて「24時間受診できる救急病院が欲しい」が35.0%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「救急病院では必ず小児科医が対応して欲しい」および「24時間受診できる救急病院が欲しい」が多く、地区による大きな差は見られない。

休日・夜間対応の小児救急医療機関に一番望むこと



休日・夜間対応の小児救急医療機関に一番望むこと（居住地区別）

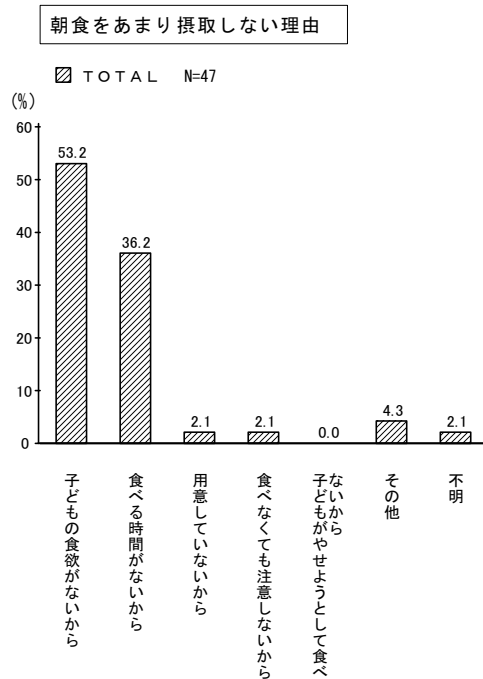
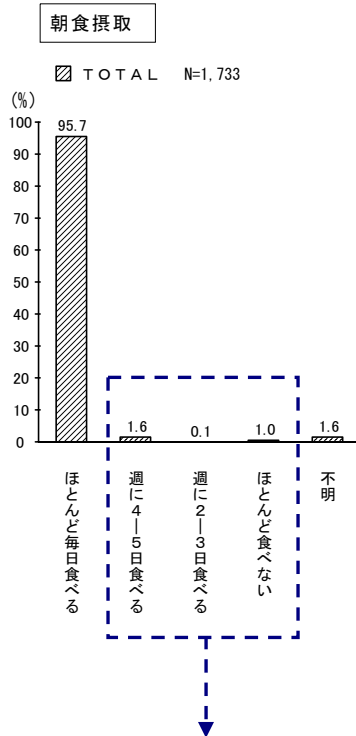


(注) 表側の「不明」は除く。

問36 宛名のおさんは朝食をとっていますか。
問36-1 その理由は何ですか。

子どもの朝食摂取状況については、「ほとんど毎日食べる」が95.7%となっている。

朝食の摂取について「ほとんど毎日食べる」と回答した人以外に、朝食を摂取しない理由について聞いたところ、「子どもの食欲がないから」が53.2%で最も多く、続いて「食べる時間がないから」が36.2%となっている。



問37 お子さんに間食を与えていますか。

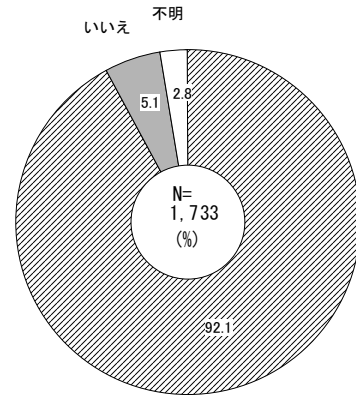
問37-1 間食ではどのようなものを与えていますか。(3つまで)

子どもの間食の有無について聞いたところ、「はい」が92.1%となっている。

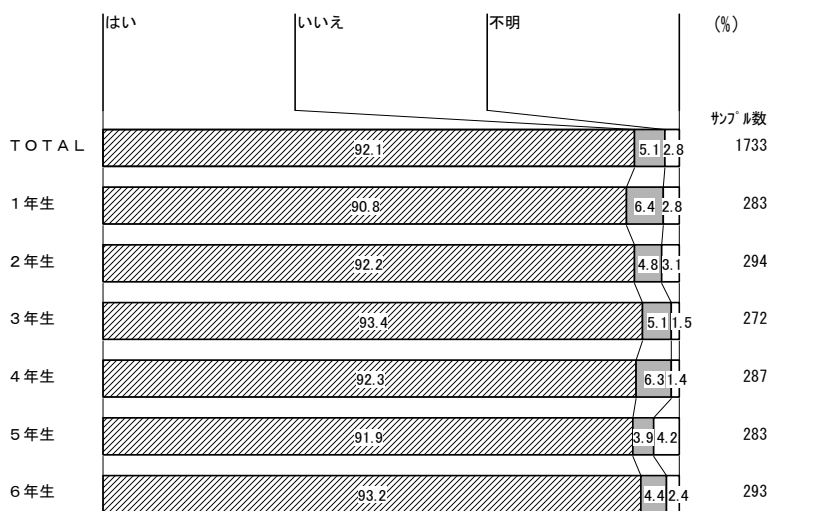
学年別に見てみると、いずれの学年でも9割を超えて間食している。

そこで間食している場合の回数を聞いたところ、平均1.1回となっている。

間食摂取

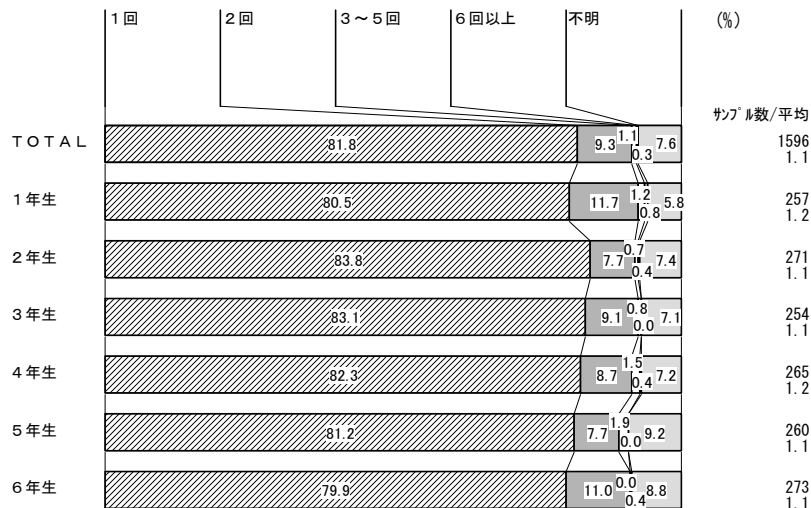


間食摂取 (学年別)



(注) 表側の「不明」は除く。

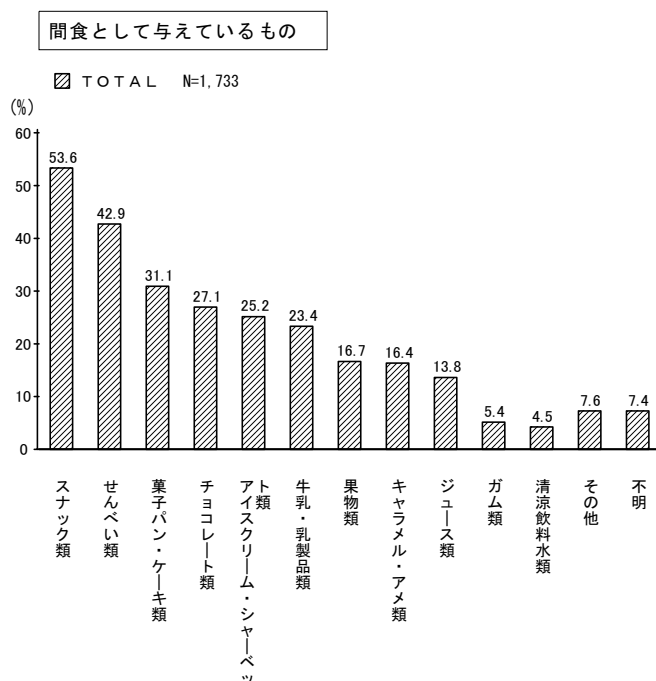
間食を与える頻度 (学年別)



(注) 表側の「不明」は除く。

間食で与えているものについて見てみると、「スナック類」が53.6%で最も多くなっており、続いて「せんべい類」が42.9%、「菓子パン・ケーキ類」が31.1%となっている。

学年別に見てみると、いずれの学年でも「スナック類」「せんべい類」が多くなっている。



間食で与えているもの(子どもの年齢別)

	TOTAL	スナック類	せんべい類	菓子パン・ケーキ類	チョコレート類	アイスクリーム・シャーベット類	牛乳・乳製品類	果物類	キャラメル・アメ類	ジュース類	ガム類	清涼飲料水類	その他	不明
TOTAL	1733	53.6	42.9	31.1	27.1	25.2	23.4	16.7	16.4	13.8	5.4	4.5	7.6	7.4
1年生	283	56.2	48.8	21.9	23.7	27.6	20.1	19.8	20.5	11.7	7.8	4.2	6.7	8.8
2年生	294	56.1	43.9	35.0	25.5	21.4	25.5	17.0	21.4	14.6	5.1	3.1	7.1	6.5
3年生	272	55.1	43.0	32.7	28.7	25.4	23.5	16.2	14.0	13.6	4.0	3.3	7.0	6.3
4年生	287	49.5	45.3	30.0	27.2	25.1	23.0	17.8	19.2	16.0	4.5	7.7	6.3	7.7
5年生	283	55.1	40.6	32.2	29.3	23.7	23.0	14.5	14.1	12.4	5.3	3.9	8.5	7.8
6年生	293	51.5	36.9	35.2	29.7	28.3	25.9	15.4	9.9	14.7	5.5	5.1	8.9	6.1

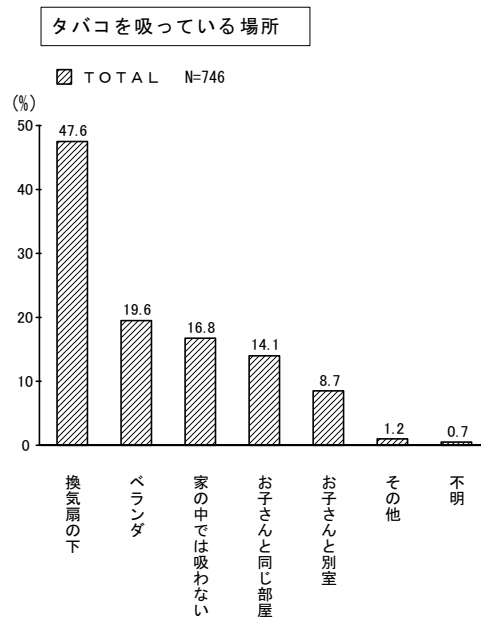
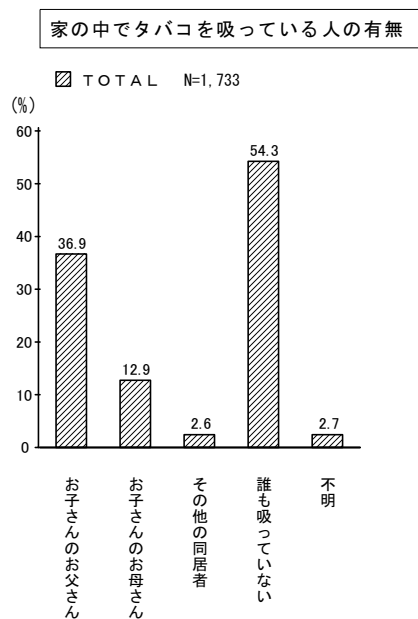
(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

問38 家の中でたばこを吸っている人がいますか。(複数回答)

問38-1 [問38で1~3を選択] たばこはどこで吸っていましたか。(複数回答)

現在家の中での喫煙の有無については、「誰も吸っていない」が54.3%で最も多いが、「宛名のお子さんのお父さん」については36.9%となっている。

『喫煙している』と回答した人に、どこで吸っているかを聞いたところ、「換気扇の下」が47.6%で最も多く、続いて「ベランダ」が19.6%となっている。

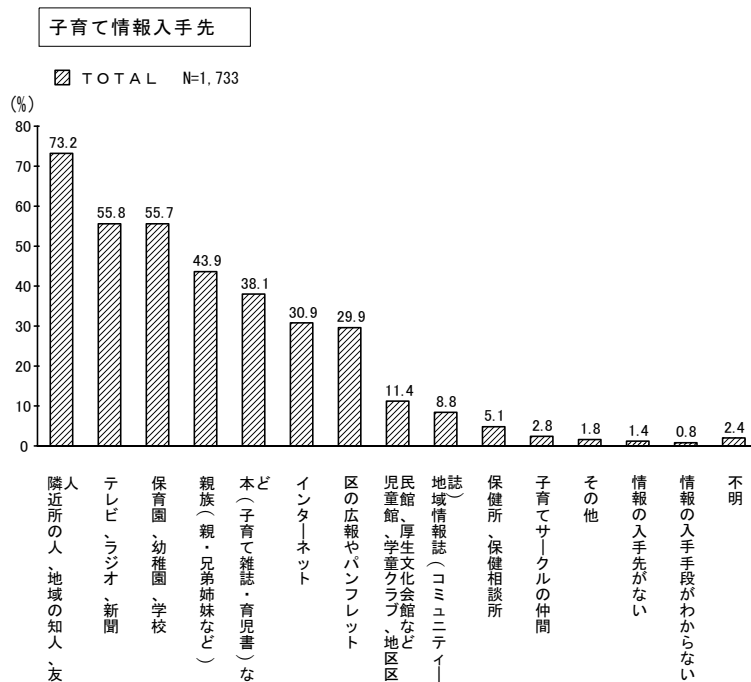


(11) 子育てに関する情報、相談、活動について

問39 あなたは子育てに関する情報を、どのようにして入手していますか。(複数回答)
 問40 あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。(複数回答)

子育て情報の入手先について見てみると、「隣近所の人、地域の知人、友人」が73.2%で最も多く、続いて「テレビ、ラジオ、新聞」が55.8%、「保育園、幼稚園、学校」が55.7%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「隣近所の人、地域の知人、友人」「テレビ、ラジオ、新聞」「保育園、幼稚園、学校」などが多く、「石神井」地区では「親族(親・兄弟姉妹など)」なども多くなっている。

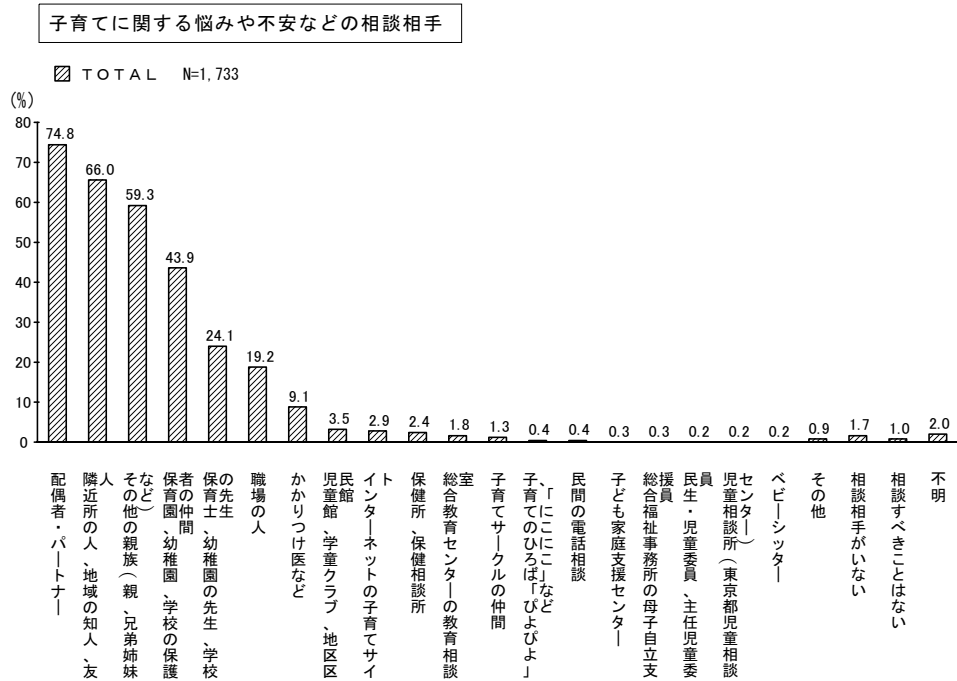


	TOTAL	友人、隣近所の人、地域の知人	テレビ、ラジオ、新聞	保育園、幼稚園、学校	親族(親・兄弟姉妹など)	本(子育て雑誌・育児書)など	インターネット	区の広報やパンフレット	児童館、厚生文化会館など	地域情報誌(コミュニティ誌)	保健所、保健相談所	子育てサークルの仲間	その他	情報の入手先がない	情報の入手手段がわからない	不明
TOTAL	1733	73.2	55.8	55.7	43.9	38.1	30.9	29.9	11.4	8.8	5.1	2.8	1.8	1.4	0.8	2.4
練馬	359	75.2	51.8	52.9	41.5	41.2	35.7	30.1	10.3	7.2	4.2	1.9	1.1	1.9	2.2	1.7
光が丘	451	71.0	53.9	57.0	45.2	37.7	29.5	32.2	13.7	12.0	4.4	2.0	1.8	0.9	0.2	2.4
石神井	279	75.6	65.6	58.8	50.2	39.4	35.1	30.8	12.9	10.4	5.7	3.6	2.2	1.4	0.7	1.1
大泉	518	73.0	55.2	55.6	42.9	36.9	28.2	28.0	8.1	5.8	6.0	4.2	2.1	1.4	0.4	2.9

(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

子育てに関する悩みや不安などの相談相手について見てみると、「配偶者・パートナー」が74.8%で最も多く、続いて「隣近所の人、地域の知人、友人」が66.0%、「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が59.3%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「配偶者・パートナー」「隣近所の人、地域の知人、友人」「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が多く、地区により大きな差は見られない。



子育てに関する悩みや不安などの相談相手（居住地区別）

	TOTAL	配偶者・パートナー	隣近所の人、地域の知人、友人	その他の親族（親、兄弟姉妹など）	保育者の仲間	保育士、幼稚園の先生、学校の先生	職場の人	かかりつけ医など	児童館、学童クラブ、地区区民館	インターネットの子育てサイト	保健所、保健相談所	総合教育センターの教育相談室	子育てサークルの仲間	子育てのひろば「びよびよ」	「にっこ」など	民間の電話相談	子ども家庭支援センター	立支援員	民生・児童委員、主任児童委員	児童相談所（東京都児童相談センター）	ベビーシッター	その他	相談相手がいない	相談すべきことはない	不明
TOTAL	1733	74.8	66.0	59.3	43.9	24.1	19.2	9.1	3.5	2.9	2.4	1.8	1.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.9	1.7	1.0	2.0
練馬	359	73.8	64.3	55.4	42.1	19.8	15.0	12.0	4.2	2.5	1.9	2.2	0.8	0.3	1.7	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	1.9	2.5	1.1	1.4
光が丘	451	76.5	64.5	59.4	43.2	27.1	23.9	9.1	4.2	4.0	3.5	1.6	0.4	0.7	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2	0.7	1.1	2.2
石神井	279	77.4	69.5	61.3	49.5	23.7	18.3	9.0	3.6	2.9	2.2	1.1	1.4	0.4	0.4	1.1	0.4	0.0	0.0	0.4	0.7	1.8	1.1	1.1	
大泉	518	72.2	66.2	61.0	43.4	23.9	19.5	7.7	2.3	2.3	2.3	2.1	2.5	0.4	0.0	0.0	0.4	0.2	0.0	0.0	1.0	1.9	1.0	1.9	

（注）網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

問4-1 あなたは子育てに関するサークルなど、自主的な活動に参加していますか。

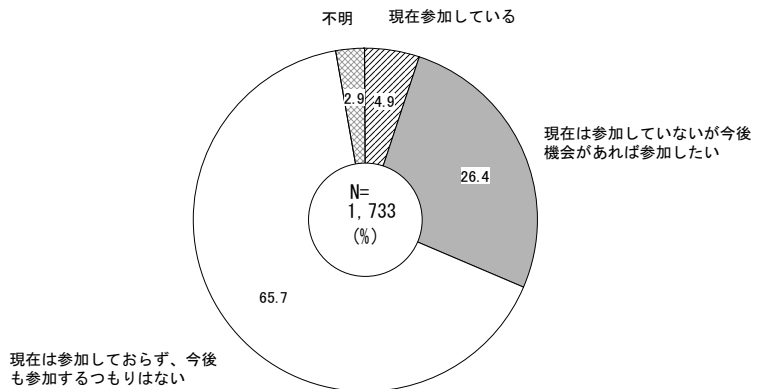
問4-1-1 自主的な活動を進めていくうえで、行政に行って欲しい支援はどのようなことですか。（複数回答）

子育てサークルなど自主的
活動への参加については、
「現在は参加しておらず、
今後も参加するつもりはない」
が65.7%で、「現在は参加
していないが、今後機会
があれば参加したい」が
26.4%である。

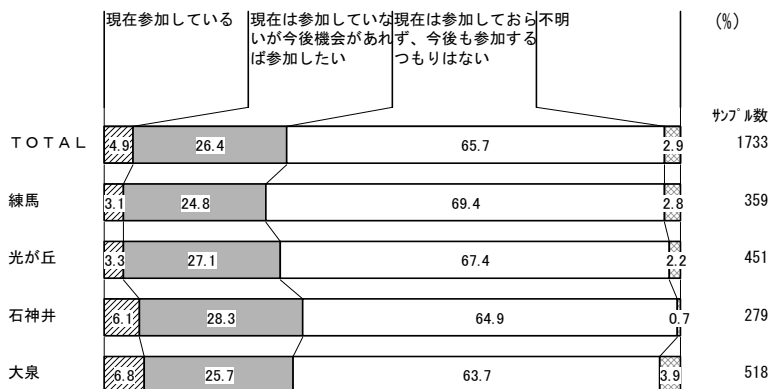
居住地区別に見てみると、
いずれの地区でも「現在は
参加しておらず、今後も参
加するつもりはない」が多
く、続いて「現在は参加し
ていないが、今後機会があ
れば参加したい」となって
いる。

不安感や負担感の有無タ
イプ別で見ると、「不安
や負担を感じる」タイプ
がやや参加意欲が高くなっ
ている。

自主的活動への参加

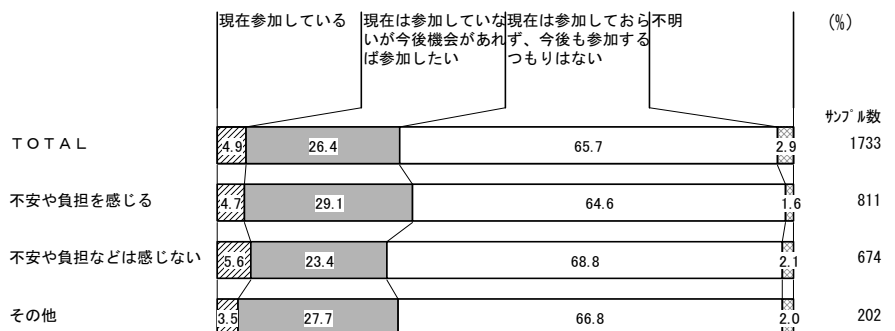


自主的な活動への参加（居住地区別）



(注) 表側の「不明」は除く。

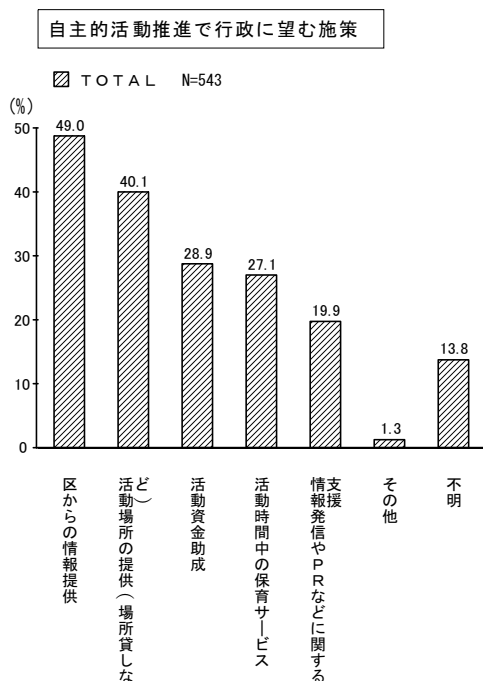
自主的な活動への参加（子育てに関する不安感・負担感タイプ別）



(注) 表側の「不明」は除く。

自主的な活動を進めていく上で、行政への支援要望について聞いたところ、「区からの情報提供」が49.0%で最も多く、続いて「活動場所の提供（場所貸しなど）」が40.1%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「区からの情報提供」または「活動場所の提供（場所貸しなど）」が多く、「光が丘」地区では「活動時間中の保育サービス」も他の地区と比べてやや多くなっている。



自主的活動推進で行政に望む施策（居住地区別）

	TOTAL	区からの情報提供	活動場所の提供（場所貸しなど）	活動資金助成	活動時間中の保育サービス	情報発信やPRなどに関する支援	その他	不明
TOTAL	543	49.0	40.1	28.9	27.1	19.9	1.3	13.8
練馬	100	61.0	38.0	30.0	24.0	15.0	1.0	10.0
光が丘	137	53.3	35.0	28.5	31.4	26.3	2.9	19.0
石神井	96	37.5	45.8	28.1	26.0	12.5	1.0	15.6
大泉	168	47.0	42.9	29.8	28.0	23.2	0.6	10.7

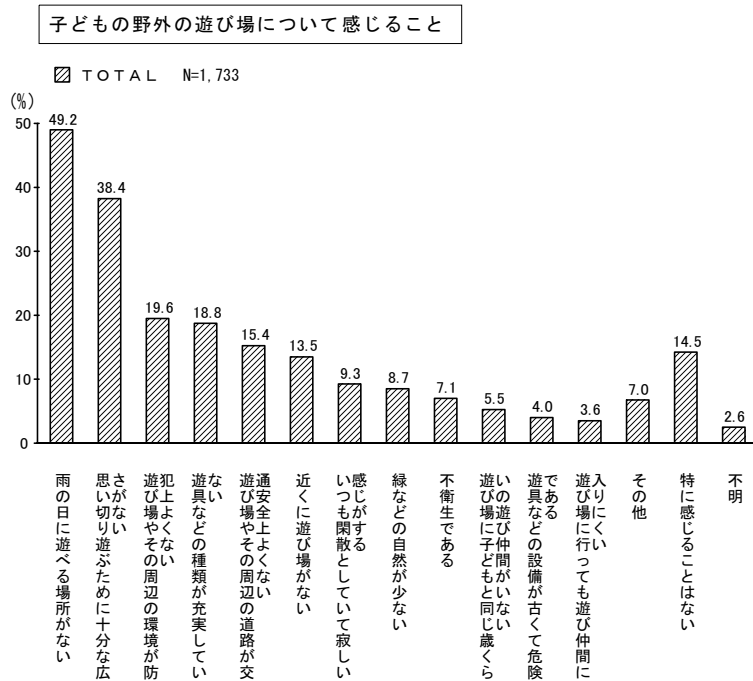
（注）網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

(12) 子どもの遊び場、安全、防犯対策について

問42 あなたは家の近くの子どもの遊び場について、日頃感じていることがありますか。(3つまで)

子どもの屋外の遊び場について感じることを聞いたところ、「雨の日に遊べる場所がない」が49.2%で最も多くなっており、続いて「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が38.4%などとなっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「雨の日に遊べる場所がない」や「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が多くなっているが、「光が丘」地区では「特に感じることはない」がやや多くなっている。



子どもの野外の遊び場について感じること (居住地区別)

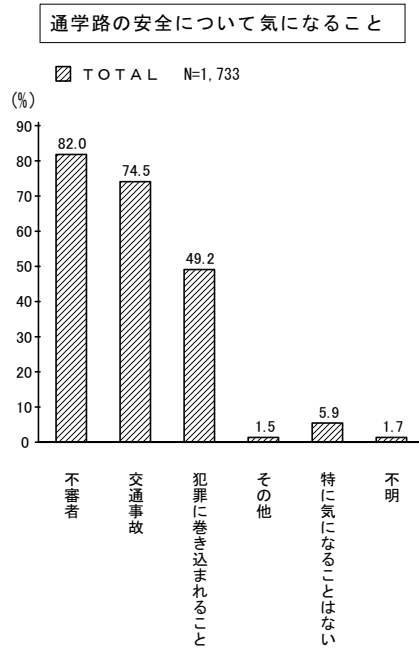
	TOTAL	雨の日に遊べる場所がない	広さが足りない	思い切り遊ぶために十分な広さがない	遊び場やその周辺の環境が防犯上よくない	遊具などの種類が充実していない	交通安全上よくない	近くに遊び場がない	いつも閑散としていて寂しい感じがする	緑などの自然が少ない	不衛生である	遊び場に子どもと同じ歳くらいの子もいない	遊び場に行っても遊び仲間に入りにくい	その他	特に感じることはない	不明
TOTAL	1733	49.2	38.4	19.6	18.8	15.4	13.5	9.3	8.7	7.1	5.5	4.0	3.6	7.0	14.5	2.6
練馬	359	46.5	47.9	19.5	23.1	15.9	18.7	12.0	13.4	5.8	6.4	3.6	3.6	8.4	9.2	1.7
光が丘	451	43.5	27.3	20.4	14.0	10.0	8.2	8.0	3.5	9.1	3.5	3.8	4.7	8.0	22.0	3.1
石神井	279	58.8	43.0	14.7	18.3	15.8	12.2	8.2	9.0	3.9	7.5	3.2	3.6	7.9	12.9	1.4
大泉	518	50.4	39.8	22.2	20.3	20.8	16.0	7.3	9.7	6.9	6.0	4.1	2.9	4.6	12.7	3.1

(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

問43 あなたは、通学路の安全について気になることがありますか。(複数回答)

通学路の安全について気になることについては、「不審者」が82.0%で最も多く、続いて「交通事故」が74.5%、「犯罪に巻き込まれること」が49.2%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「不審者」「交通事故」「犯罪に巻き込まれること」が多く、地区による大きな差は見られない。



通学路の安全について気になること (居住地区別)

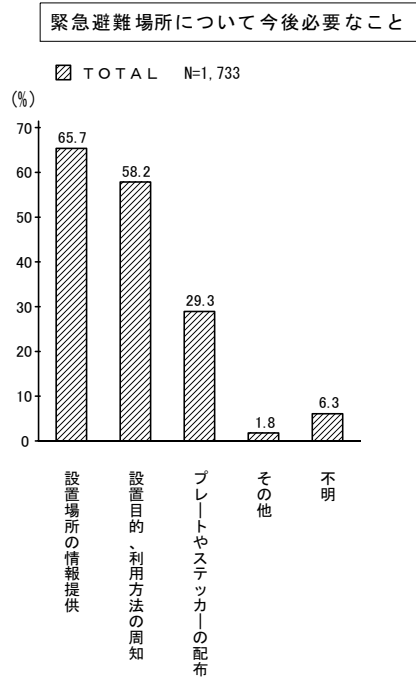
	TOTAL	不審者	交通事故	犯罪に巻き込まれること	その他	特に気になることはない	不明
TOTAL	1733	82.0	74.5	49.2	1.5	5.9	1.7
練馬	359	85.5	74.9	52.6	1.4	5.0	1.1
光が丘	451	76.7	64.3	44.8	2.0	9.1	2.0
石神井	279	78.5	76.7	45.9	2.9	6.1	1.8
大泉	518	84.7	81.9	52.5	0.8	4.1	1.2

(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

問4 4 あなたは、緊急避難場所に関して、今後何が必要だとお考えですか。（複数回答）

緊急避難場所について今後必要なことについては、「設置場所の情報提供」が65.7%で最も多く、続いて「設置目的、利用方法の周知」が58.2%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「設置場所の情報提供」「設置目的、利用方法の周知」が多くなっており、地区による大きな差は見られない。



緊急避難場所について今後必要なこと（居住地区別）

	TOTAL	設置場所の情報提供	設置目的、利用方法の周知	プレートの配布やステッカー	その他	不明
TOTAL	1733	65.7	58.2	29.3	1.8	6.3
練馬	359	60.2	56.3	25.1	1.9	8.6
光が丘	451	60.5	54.3	25.3	2.7	8.4
石神井	279	71.7	64.5	32.6	0.7	2.5
大泉	518	71.6	59.3	33.8	1.9	4.1

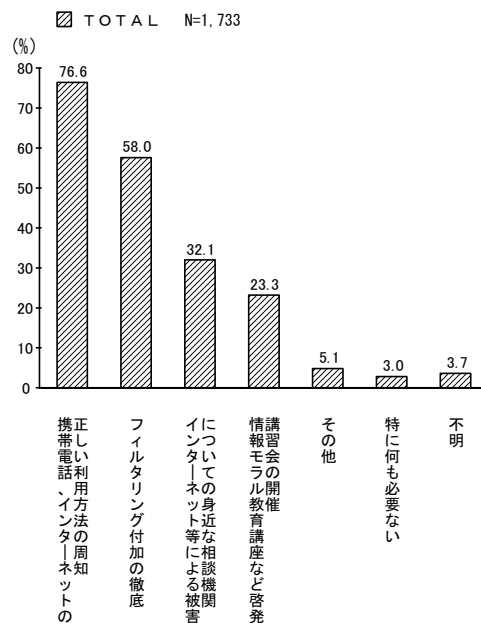
（注）網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

問45 あなたは、携帯電話やインターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取組みとして何が必要だとお考えですか。(複数回答)

携帯電話やインターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取組みについては、「携帯電話、インターネットの正しい利用方法の周知」が76.6%で最も多く、続いて「フィルタリング付加の徹底」が58.0%、「インターネット等による被害についての身近な相談機関」が32.1%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「携帯電話、インターネットの正しい利用方法の周知」「フィルタリング付加の徹底」などが多い。

インターネット等利用により有害情報から子どもを守る取組として必要なこと



インターネット等利用により有害情報から子どもを守る取組として必要なこと (居住地区別)

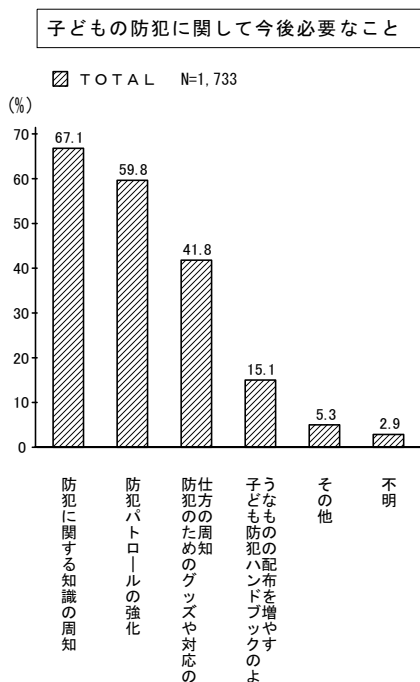
	TOTAL	携帯電話、インターネットの正しい利用方法の周知	フィルタリング付加の徹底	インターネット等による被害についての身近な相談機関	講習会の開催	情報モラル教育講座など啓発	その他	特に何も必要ない	不明
TOTAL	1733	76.6	58.0	32.1	23.3	5.1	3.0	3.7	
1年生	283	73.1	55.5	25.1	18.0	7.1	3.2	4.9	
2年生	294	75.5	56.1	36.7	23.5	5.4	1.7	2.7	
3年生	272	77.2	55.1	30.1	25.4	3.7	4.0	2.9	
4年生	287	77.7	57.8	29.6	21.3	5.6	5.6	3.1	
5年生	283	76.7	60.1	31.8	24.0	4.9	2.5	3.9	
6年生	293	80.9	63.5	38.9	26.6	4.1	1.0	3.8	

(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

問46 あなたは、子どもの防犯に関して、今後何が必要だとお考えですか。（複数回答）

子どもの防犯については、「防犯に関する知識の周知」が67.1%で最も多く、続いて「防犯パトロールの強化」が59.8%、「防犯のためのグッズや対応の仕方の周知」が41.8%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「防犯に関する知識の周知」「防犯パトロールの強化」が多い。



子どもの防犯に関して今後必要なこと（居住地区別）

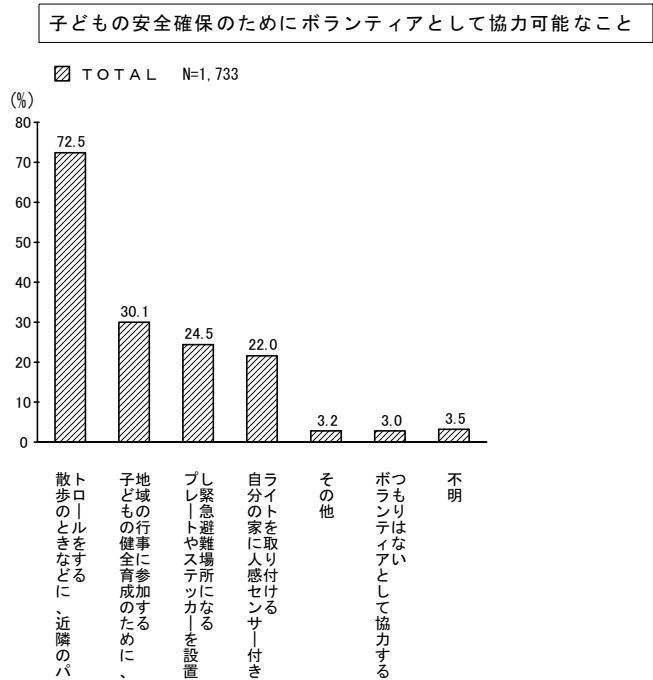
	TOTAL	防犯に関する知識の周知	防犯パトロールの強化	防犯のためのグッズや対応の仕方の周知	子ども防犯ハンドブックの配布を増やす	その他	不明
TOTAL	1733	67.1	59.8	41.8	15.1	5.3	2.9
練馬	359	66.6	55.4	40.1	15.3	5.3	2.2
光が丘	451	69.6	55.0	41.5	13.5	5.8	4.0
石神井	279	66.7	66.7	40.9	14.0	7.2	1.8
大泉	518	65.1	63.9	42.9	16.4	3.9	2.5

(注) 網掛けは50%以上。表側の「不明」は除く。

問47 子どもの安全を確保するために、あなたがボランティアとして協力していただけることは何ですか。(複数回答)

子どもの安全を確保するために、ボランティアとして協力する可能性については、「散歩のときなどに、近隣のパトロールをする」が72.5%で最も多く、続いて「子どもの健全育成のために、地域の行事に参加する」が30.1%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「散歩のときなどに、近隣のパトロールをする」「子どもの健全育成のために、地域の行事に参加する」が多く、「練馬」地区では「プレートやステッカーを設置し緊急避難場所になる」が他の地区と比べてやや多くなっている。



子どもの安全確保のためにボランティアとして協力可能なこと (居住地区別)

	TOTAL	散歩のときなどに、近隣のパトロールをする	子どもの健全育成のために、地域の行事に参加する	プレートやステッカーを設置し緊急避難場所になる	ライトを取り付ける自分の家の人感センサー付き	その他	ボランティアとして協力するつもりはない	不明
TOTAL	1733	72.5	30.1	24.5	22.0	3.2	3.0	3.5
練馬	359	73.0	28.7	34.0	19.8	4.7	1.9	1.9
光が丘	451	69.4	31.7	21.7	20.8	3.3	3.5	4.2
石神井	279	73.1	35.8	18.6	21.1	3.2	1.8	3.6
大泉	518	73.2	27.8	24.9	26.6	2.3	3.7	2.7

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

問48 (1) あなたは、子どもの安全を確保するために、設立した学校応援団（※問24参照）が、登下校時の交通安全誘導や通学路でのあいさつなどの声かけを、地域のボランティアパワーによって実施していくことについてどうお考えになりますか。

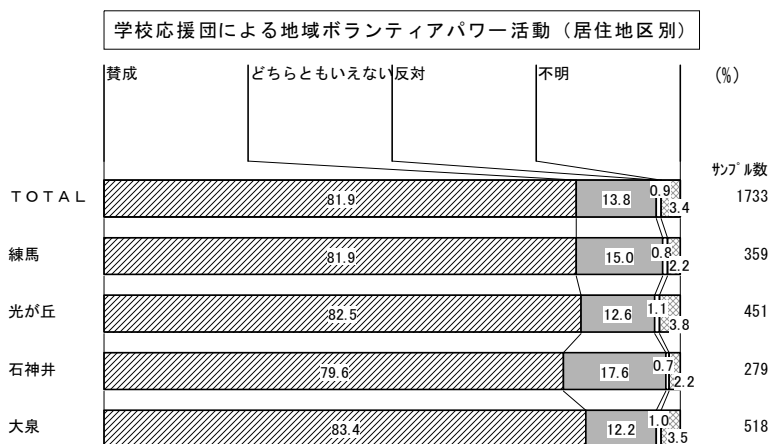
問48 (2) ボランティアとして活動することができますか。

学校応援団による登下校時の交通安全誘導や通学路でのあいさつなどの声かけを、地域のボランティアパワーによって実施していくことについては、「賛成」が81.9%を占めている。

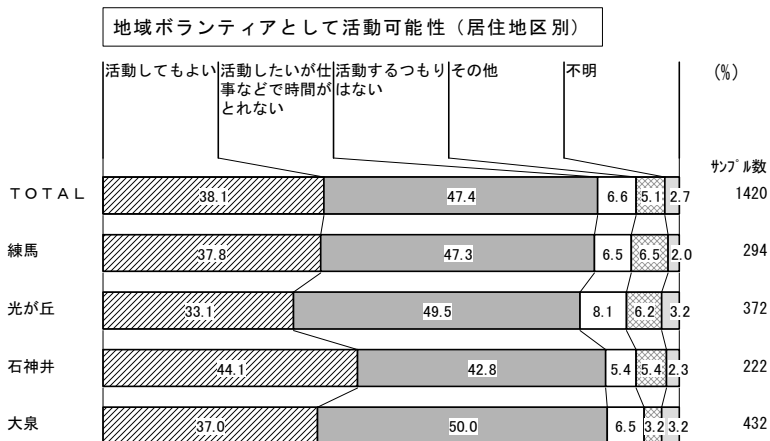
居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「賛成」が多くなっている。

そこで、地域ボランティアとして活動することの可能性を聞いたところ、「活動してもよい」が38.1%、「活動したいが仕事などで時間がとれない」が47.4%となっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「活動してもよい」と「活動したいが仕事などで時間がとれない」が多く、特に「石神井」地区では「活動してもよい」が他の地区と比べて多くなっている。



(注) 表側の「不明」は除く。

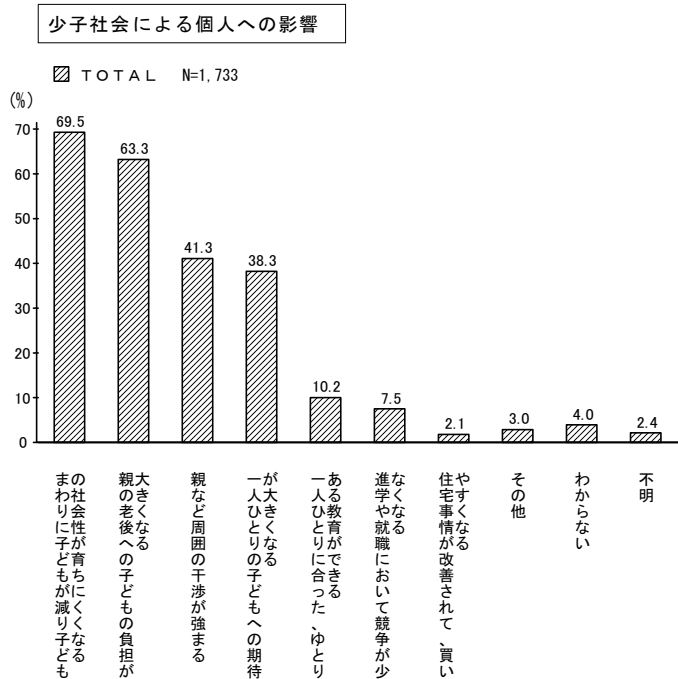


(注) 表側の「不明」は除く。

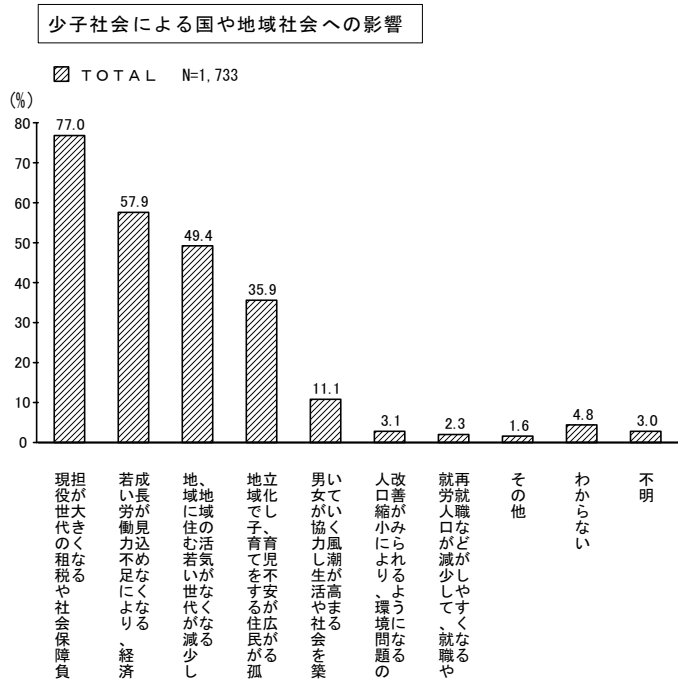
(13) 少子社会に対する考え方について

- 問49** あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。（3つまで）
- 問50** あなたは、少子社会が国や地域社会にはどのような影響を与えますか。（3つまで）

少子社会の個人生活への影響について見てみると、「まわりに子どもが減り子どもの社会性が育ちにくくなる」が69.5%で最も多く、続いて「親の老後への子どもへの負担が大きくなる」が63.3%、「親など周囲の干渉が強まる」が41.3%となっている。



少子社会の国、地域社会への影響について見てみると、「現役世代の租税や社会保障負担が大きくなる」が77.0%で最も多く、続いて「若い労働力不足により、経済成長が見込めなくなる」が57.9%、「地域に住む若い世代が減少し、地域の活力がなくなる」が49.4%となっている。



(14) 行政サービス要望について

問5 1 あなたは出産、育児に関する区の担当者の対応について、不満に思ったことはありますか。

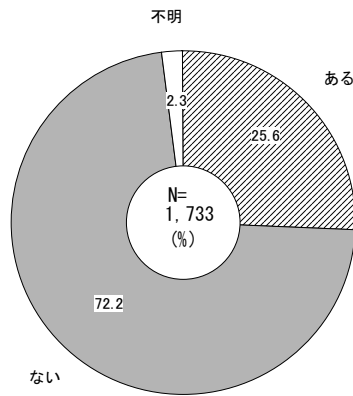
問5 1-1 どのような点に不満を感じましたか。(複数回答)

問5 2 あなたは親と子が健やかに育ち合うようにするために、子育て支援施策に対して、行政としてどこに力を入れていくといいと思いますか。(複数回答)

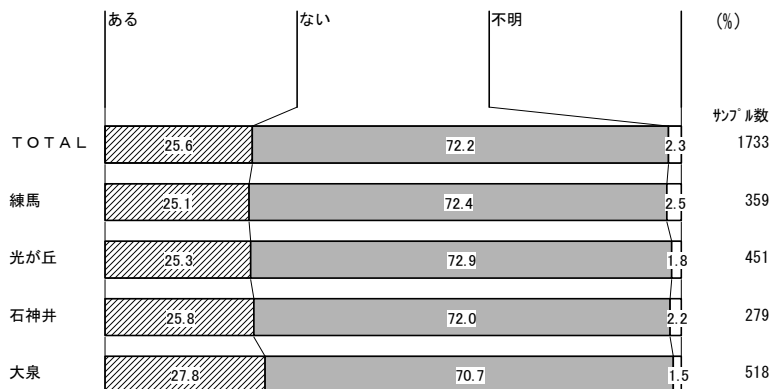
子育てに関する担当者の対応への不満について見てみると、「ある」は25.6%、「ない」は72.2%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「ある」は25%前後となっている。

出産、育児に関する区担当者への不満



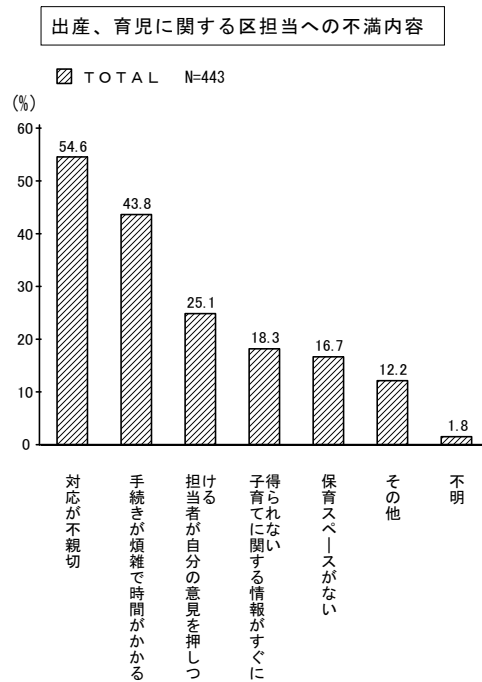
出産、育児に関する区担当者への不満 (居住地区別)



(注) 表側の「不明」は除く。

そこで不満に思った内容について見てみると、「対応が不親切」が54.6%で最も多く、続いて「手続きが煩雑で時間がかかる」が43.8%となっている。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「対応が不親切」または「手続きが煩雑で時間がかかる」が多く、「石神井」地区では「担当者が自分の意見を押し付ける」が他の地区と比べてやや多くなっている。



出産、育児に関する区担当への不満内容（居住地区別）

	TOTAL	対応が不親切	手続きが煩雑で時間がかかる	担当者が自分の意見を押し付ける	子育てに関する情報がすぐに得られない	保育スペースがない	その他	不明
TOTAL	443	54.6	43.8	25.1	18.3	16.7	12.2	1.8
練馬	90	44.4	42.2	20.0	15.6	18.9	16.7	2.2
光が丘	114	57.0	50.0	22.8	14.9	13.2	13.2	1.8
石神井	72	56.9	38.9	34.7	23.6	20.8	9.7	0.0
大泉	144	58.3	42.4	23.6	17.4	17.4	10.4	2.8

(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

子育て支援要望について見てみると、「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」が70.2%で最も多く、続いて「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が48.9%、「交通事故に遭わないよう交通安全対策を強化してほしい」が48.7%となっている。

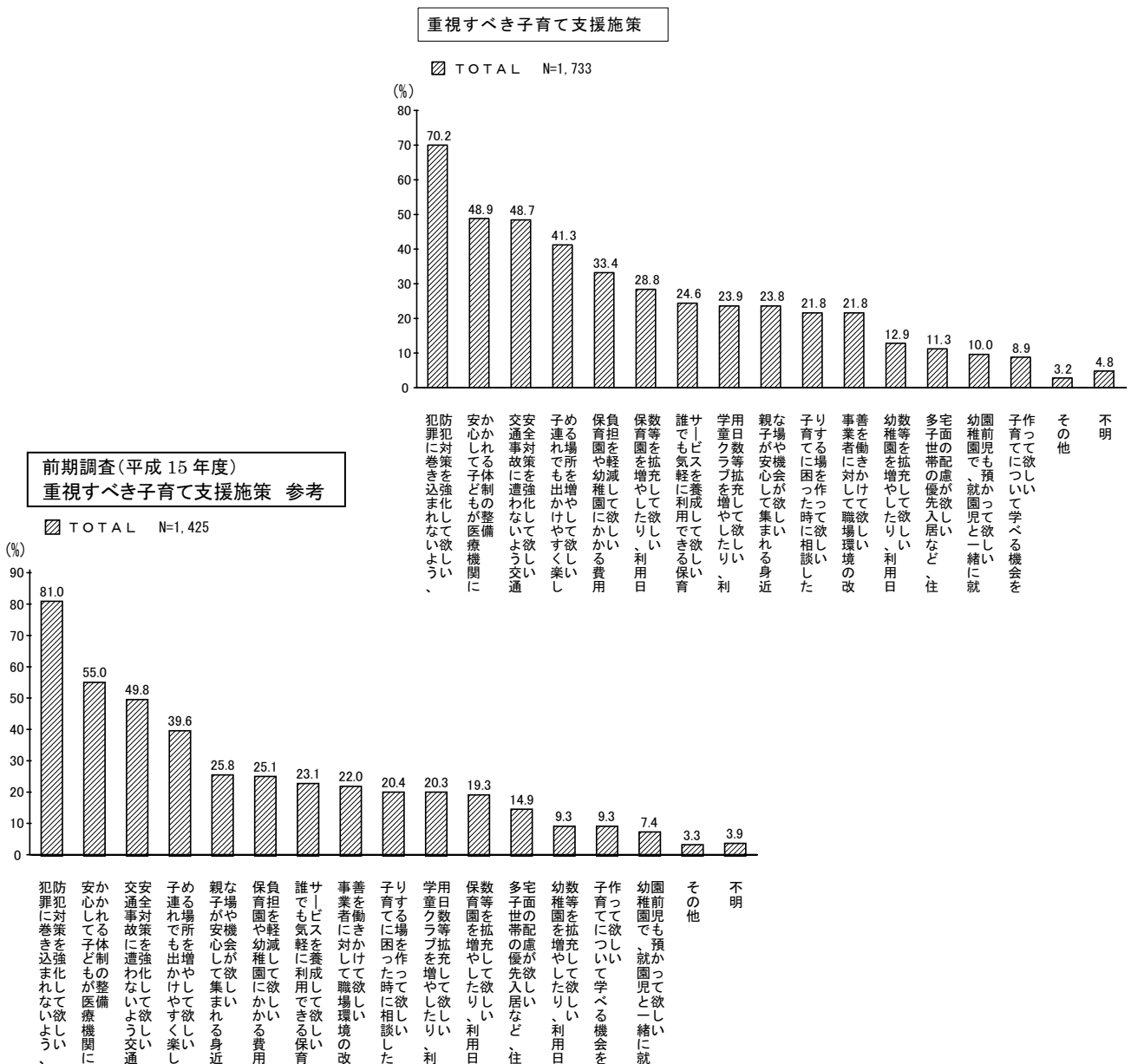
前期調査(平成15年度)では、「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」が81.0%で最も多く、続いて「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が55.0%、「交通事故に遭わないよう交通安全対策を強化して欲しい」が49.8%となっており、全体的に安心・安全に関する要望が強い。

居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が多くなっている。

学年別に見てみると、いずれの学年でも「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」が多く、低学年については「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」などもやや多くなっている。

同居・近居状況別に見てみると、いずれの場合でも「犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい」「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が多くなっている。

不安感や負担感の有無タイプ比較を行うと、どちらもほぼ同じ傾向となっているが、「不安や負担を感じる」タイプでは「保育園を増やしたり、利用日数等を拡充して欲しい」などがやや多くなっている。



重視すべき子育て支援施策（居住地区別）

	TOTAL	防犯対策を強化して欲しい	犯罪に巻き込まれないように、かかれる体制の整備	安心して子どもが医療機関に	交通安全事故に遭わないよう交通	交通安全事故に遭わないよう交通	める場所を増やして欲しい	子ども連れでも出かけやすく楽しい場所を増やして欲しい	負担を軽減して欲しい	保育園や幼稚園にかかる費用	数等を拡充して欲しい	誰でも気軽に利用できる保育サービス	利用日数を養成して欲しい	学童クラブを増やして欲しい	な場や機会が欲しい	親子が安心して集まれる身近	子育てに困った時に相談したりする場を作った時に相談したい	善業者に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい	数等を拡充して欲しい	幼稚園を増やして欲しい	多子世帯の優先入居など、住宅面の配慮が欲しい	幼稚園も預かって欲しい	幼稚園で、就園児と一緒に就	作って欲しい	子育てについて学べる機会を	その他	不明
TOTAL	1733	70.2	48.9	48.7	41.3	33.4	28.8	24.6	23.9	23.8	21.8	21.8	12.9	11.3	10.0	8.9	3.2	4.8									
練馬	359	74.7	52.1	52.9	42.1	32.9	29.8	28.1	22.6	23.4	23.7	20.6	12.5	8.9	8.4	8.9	3.1	2.5									
光が丘	451	67.4	46.3	46.6	39.9	31.3	26.4	23.5	28.2	25.7	20.0	23.3	11.3	15.5	11.5	8.4	2.9	5.1									
石神井	279	71.0	48.0	44.8	41.2	30.8	28.7	26.5	22.9	22.6	24.7	22.6	12.9	12.2	10.4	8.2	3.9	3.2									
大泉	518	71.0	51.4	51.0	42.9	37.8	31.3	21.8	23.0	23.9	21.6	22.0	13.7	9.3	9.3	9.5	3.5	5.0									

(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

重視すべき子育て支援施策（学年別）

	TOTAL	防犯対策を強化して欲しい	犯罪に巻き込まれないように、かかれる体制の整備	安心して子どもが医療機関に	交通安全事故に遭わないよう交通	交通安全事故に遭わないよう交通	める場所を増やして欲しい	子ども連れでも出かけやすく楽しい場所を増やして欲しい	負担を軽減して欲しい	保育園や幼稚園にかかる費用	数等を拡充して欲しい	誰でも気軽に利用できる保育サービス	利用日数を養成して欲しい	学童クラブを増やして欲しい	な場や機会が欲しい	親子が安心して集まれる身近	子育てに困った時に相談したりする場を作った時に相談したい	善業者に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい	数等を拡充して欲しい	幼稚園を増やして欲しい	多子世帯の優先入居など、住宅面の配慮が欲しい	幼稚園も預かって欲しい	幼稚園で、就園児と一緒に就	作って欲しい	子育てについて学べる機会を	その他	不明
TOTAL	1733	70.2	48.9	48.7	41.3	33.4	28.8	24.6	23.9	23.8	21.8	21.8	12.9	11.3	10.0	8.9	3.2	4.8									
1年生	283	72.1	46.6	50.5	47.7	37.1	29.7	26.5	31.1	28.3	17.0	20.1	13.8	10.6	13.1	7.4	4.9	4.6									
2年生	294	72.8	42.9	52.0	40.8	41.8	32.3	29.3	26.2	22.1	22.4	23.1	17.3	11.6	8.5	11.9	3.4	5.1									
3年生	272	69.5	52.6	51.1	46.7	34.2	26.1	28.3	22.8	21.7	22.4	26.8	12.5	14.0	12.5	7.7	3.3	2.9									
4年生	287	73.2	51.2	49.5	39.7	30.0	25.4	25.4	18.1	25.8	20.2	22.3	13.2	12.2	11.8	8.0	3.5	4.9									
5年生	283	65.4	51.2	45.9	36.7	27.6	26.9	18.7	23.7	25.1	23.0	22.4	18.4	10.2	9.5	6.0	10.2	2.8	5.3								
6年生	293	69.6	50.2	45.1	36.9	29.4	33.4	19.8	20.8	19.5	25.9	20.1	10.9	10.9	7.5	8.2	1.4	5.1									

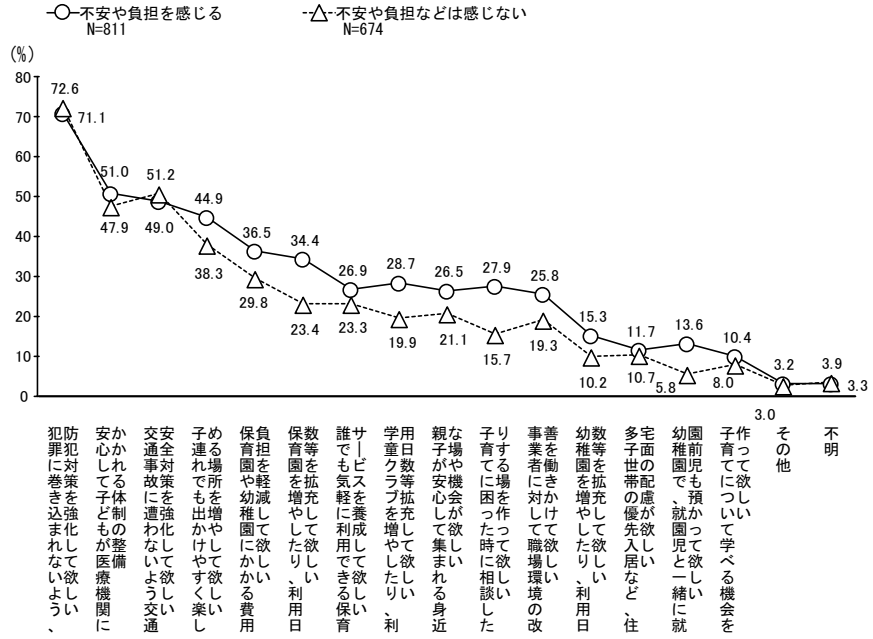
(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

重視すべき子育て支援施策（同居・近居状況別）

	TOTAL	防犯対策を強化して欲しい	犯罪に巻き込まれないように、かかれる体制の整備	安心して子どもが医療機関に	交通安全事故に遭わないよう交通	交通安全事故に遭わないよう交通	める場所を増やして欲しい	子ども連れでも出かけやすく楽しい場所を増やして欲しい	負担を軽減して欲しい	保育園や幼稚園にかかる費用	数等を拡充して欲しい	誰でも気軽に利用できる保育サービス	利用日数を養成して欲しい	学童クラブを増やして欲しい	な場や機会が欲しい	親子が安心して集まれる身近	子育てに困った時に相談したりする場を作った時に相談したい	善業者に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい	数等を拡充して欲しい	幼稚園を増やして欲しい	多子世帯の優先入居など、住宅面の配慮が欲しい	幼稚園も預かって欲しい	幼稚園で、就園児と一緒に就	作って欲しい	子育てについて学べる機会を	その他	不明
TOTAL	1733	70.2	48.9	48.7	41.3	33.4	28.8	24.6	23.9	23.8	21.8	21.8	12.9	11.3	10.0	8.9	3.2	4.8									
父母同居	1458	70.4	49.5	48.6	41.2	34.2	28.2	26.5	22.7	23.8	21.0	21.1	13.2	10.5	10.2	9.7	3.5	4.2									
父同居(ひとり親家庭)	18	72.2	33.3	66.7	44.4	27.8	11.1	16.7	16.7	44.4	27.8	27.8	11.1	16.7	0.0	0.0	0.0	11.1									
母同居(ひとり親家庭)	144	72.2	47.9	52.1	44.4	25.7	34.0	6.9	31.9	21.5	24.3	27.7	8.3	16.7	6.3	4.2	0.7	6.9									
祖父同居	127	71.7	53.5	49.6	48.8	36.2	22.0	17.3	15.0	18.1	19.7	21.3	5.5	11.8	5.5	8.7	5.5	5.5									
祖母同居	210	74.3	53.3	54.3	50.5	36.7	26.2	20.0	20.0	23.8	22.4	24.8	9.0	12.4	10.5	9.5	3.3	5.7									
祖父近居	341	74.8	46.6	51.6	43.4	38.4	33.4	26.7	28.7	27.0	23.8	22.0	13.5	10.6	7.9	7.0	2.6	4.7									
祖母近居	430	72.6	48.1	51.2	43.0	36.3	33.5	25.6	28.1	24.2	22.6	22.8	12.6	11.2	9.3	7.9	4.2	4.4									
その他	83	73.5	54.2	57.8	53.0	42.2	32.5	36.1	24.1	30.1	21.7	24.1	21.7	20.5	14.5	8.4	3.6	6.0									

(注) 網掛けは40%以上。表側の「不明」は除く。

重視すべき子育て支援施策（子育てに関する不安感・負担感タイプ比較）



IV-3 中学生、高校生の調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

区内に居住する中学生、区内の高等学校に通学する高校生に対して、生活実態や要望・意見などを把握し、平成 21 年度「練馬区次世代育成支援対策行動計画（後期）」を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ①家族について
- ②日常の活動・生活・居場所について
- ③将来の仕事・結婚・子育ての意識について
- ④心配、悩みのことについて
- ⑤社会道徳、交通道徳について
- ⑥性感染症・薬物について（高校生のみ）
- ⑦地域との交流について
- ⑧子どもの権利について

(3) 調査仕様

- | | |
|-------|--|
| ①調査地域 | 区内の中学校、高等学校 |
| ②調査対象 | 中学生：区内の中学校に通学する 2 年生（10 クラス）
高校生：練馬区に所在する高校に通学する 2 年生（10 クラス） |
| ③標本数 | 853 件（中学生 393 件 高校生 460 件） |
| ④抽出方法 | 地域別に生徒数などを勘案し中学校 11 校、高校 5 校抽出 |
| ⑤調査方法 | 学校を經由して配布、回収 |
| ⑥調査期間 | 平成 21 年 1 月 26 日～2 月 9 日 |

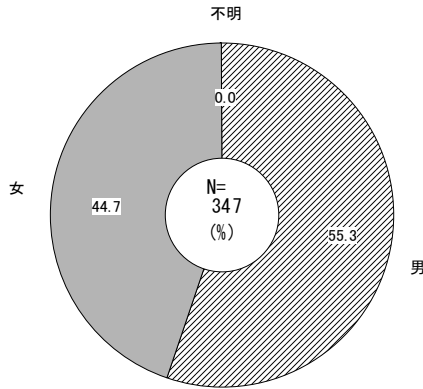
(4) 回収数・回収率

中学生	回収数：347 件	回収率：88.3%
高校生	回収数：426 件	回収率：92.6%

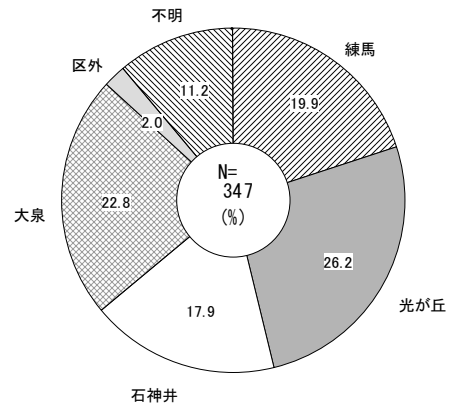
(5) 基本属性

①中学生

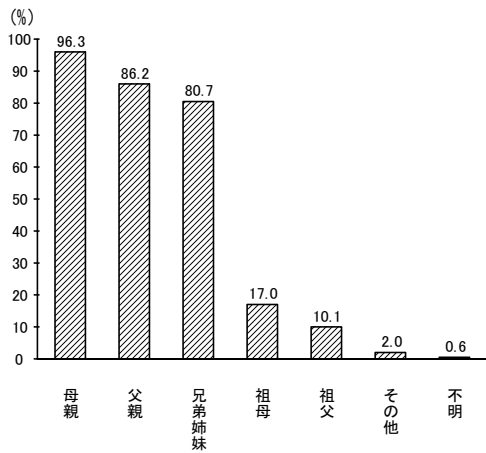
性別



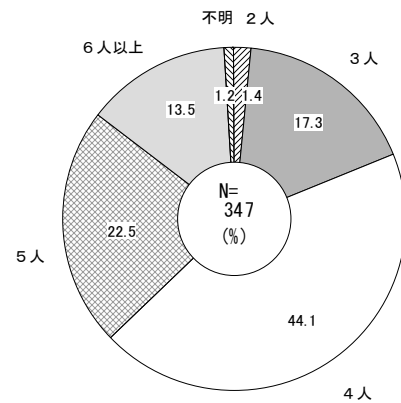
居住地区



家族構成

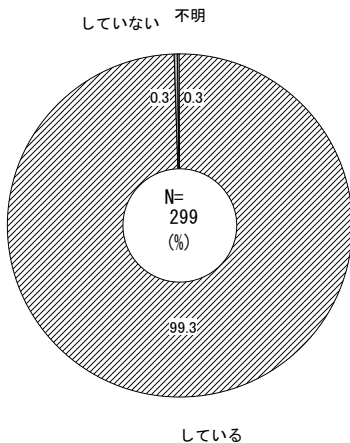


家族数

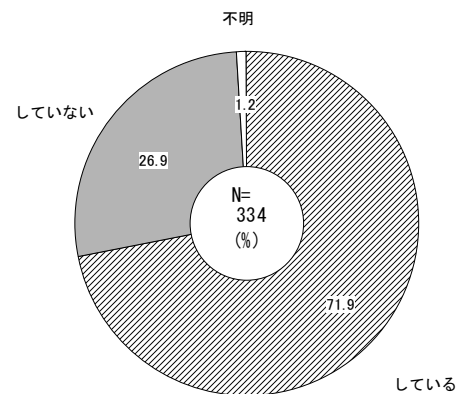


平均 4.4 人

就労の有無(父親)

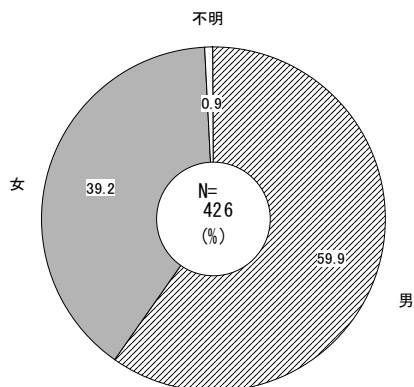


就労の有無(母親)

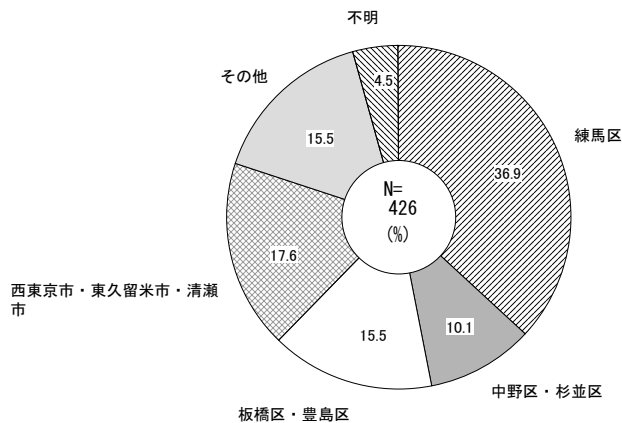


②高校生

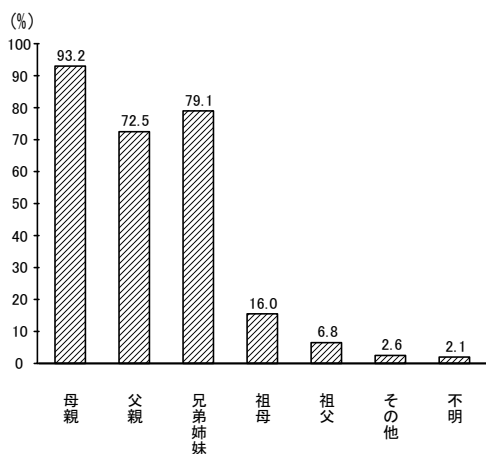
性別



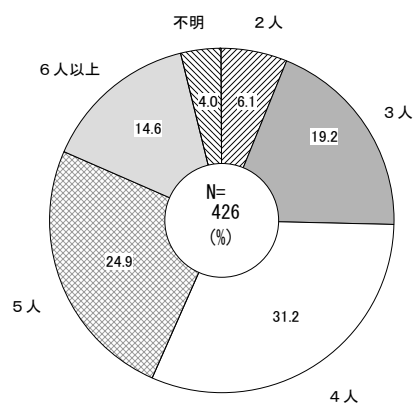
居住地



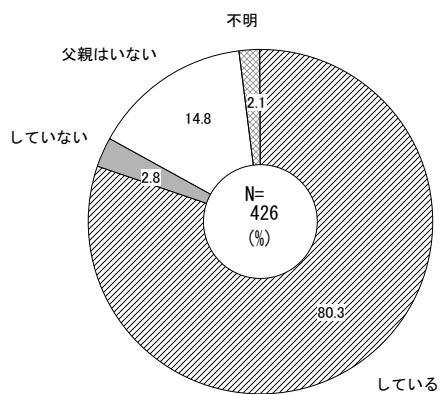
家族構成



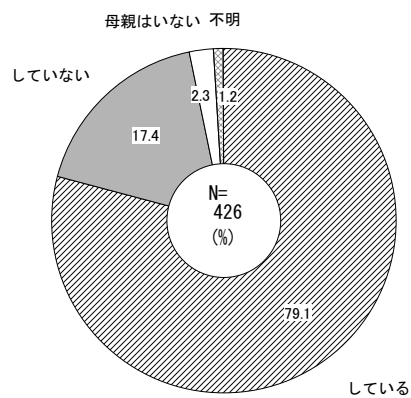
家族数



就労の有無(父親)



就労の有無(母親)



◆本報告書における調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びNで示している。
- 回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の間のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。

2. 調査結果の概要

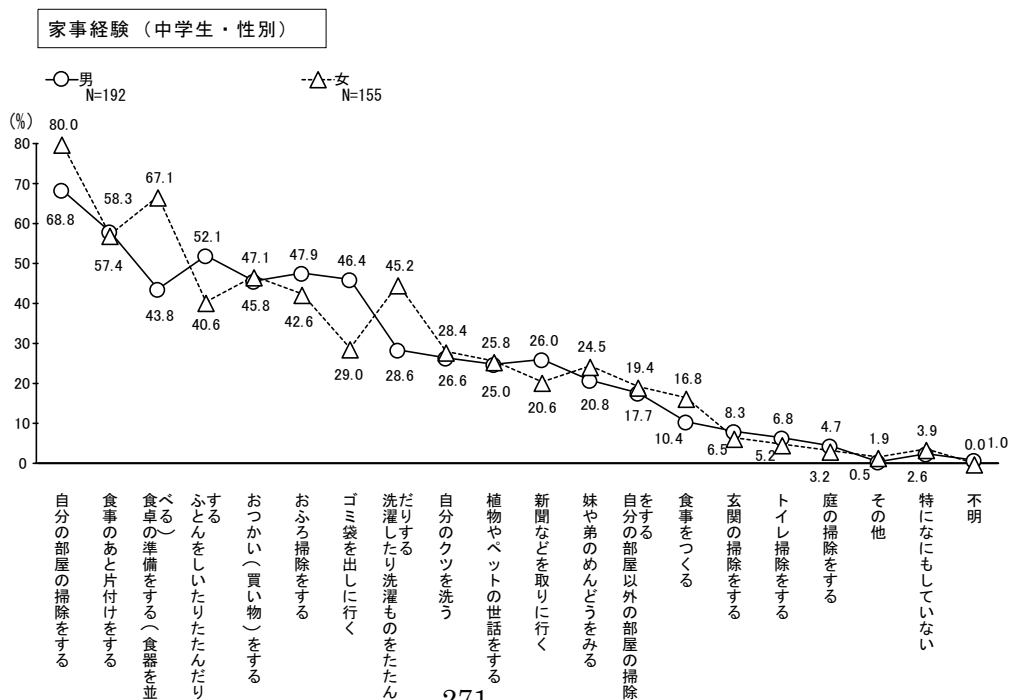
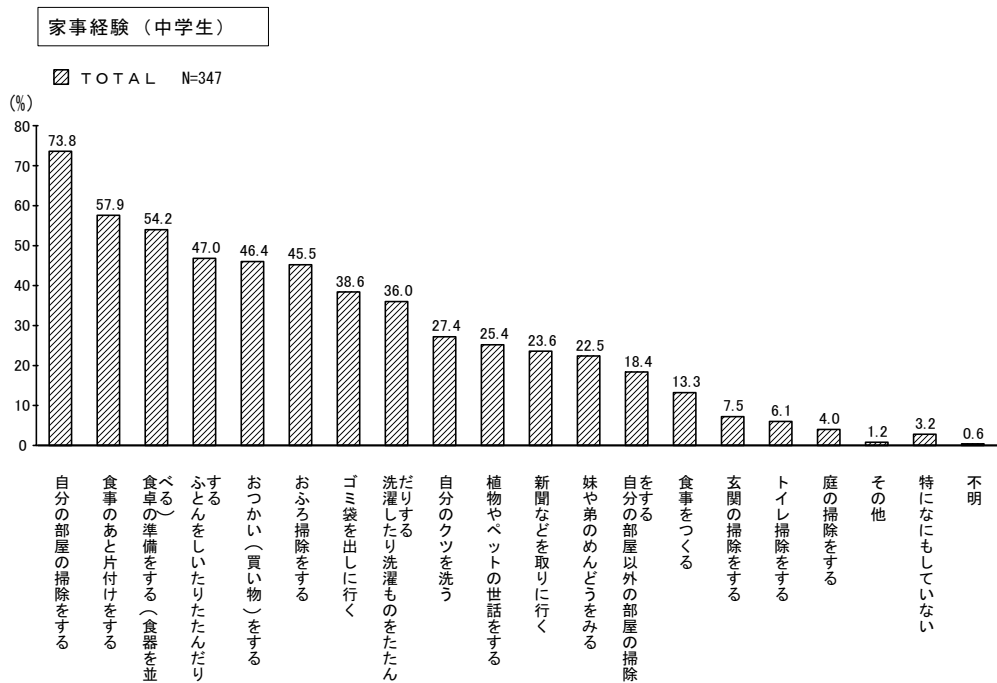
(1) 日常の活動・生活・居場所について

問3 あなたは、次のようなことを、自分でやっていますか。(複数回答)

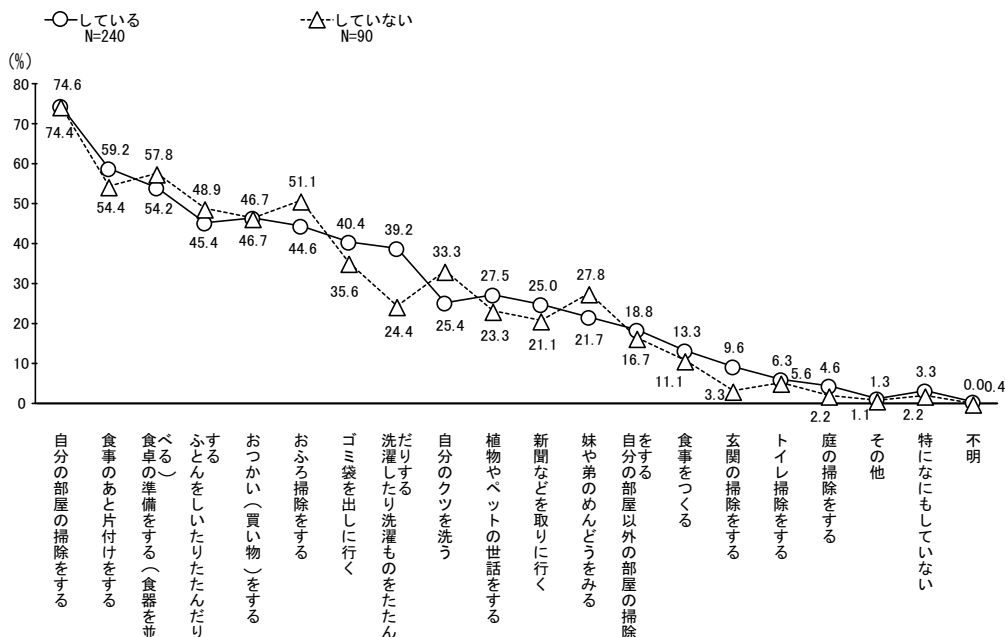
中学生に家事経験について聞いたところ、「自分の部屋の掃除」が73.8%で最も多くなっており、続いて「食事のあと片付けをする」が57.9%、「食卓の準備をする(食器を並べる)」が54.2%などとなっている。

性別で見ると、全体的には女子生徒の方が家事経験が多くなっており、特に「食卓の準備をする(食器を並べる)」「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」は、男子生徒と比べて多くなっている。一方、「ゴミ袋を出しに行く」などについては男子生徒のほうが多くなっている。

母親の就労の有無別に見ると、全体的に同じ傾向となっているが、「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」などについては「(就労)している」の方が多くなっている。



家事経験（中学生・就労の有無（母親）別）

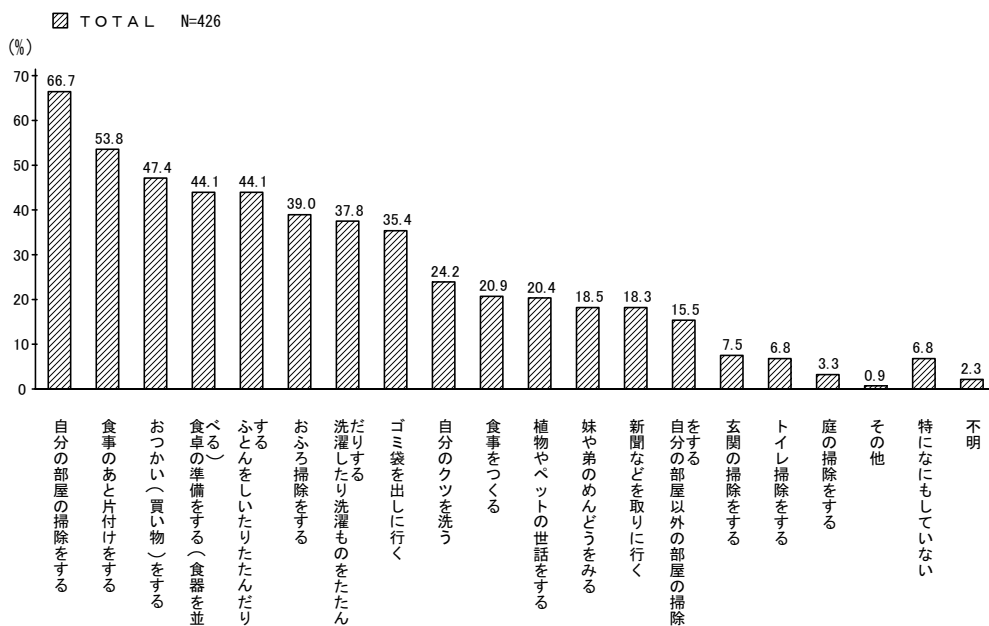


高校生に家事経験について聞いたところ、「自分の部屋の掃除」が66.7%で最も多く、続いて「食事のあと片付けをする」が53.8%、「おつかい（買い物）をする」が47.4%となっている。

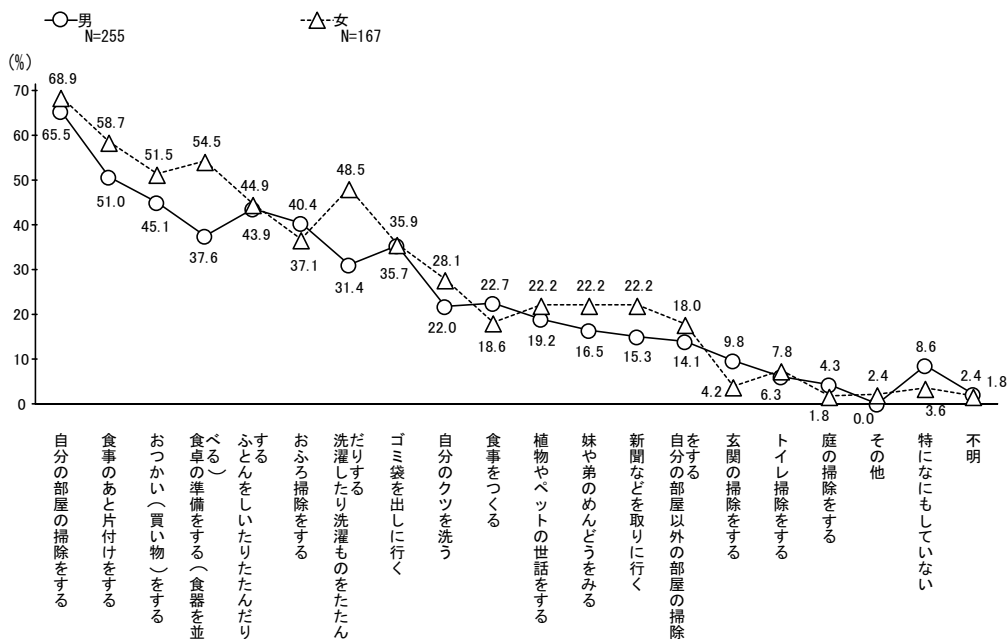
性別で見ると、全体的には女子生徒の方が家事経験が多く、特に「食卓の準備をする（食器を並べる）」「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」は、男子生徒と比べて多くなっている。

母親の就労の有無別に見てみると、全体的には「(就労) している」方が家事経験が多く、「ふとんをしいたりたたんだりする」「洗濯したり洗濯ものをたたんだりする」については特に多くなっている。

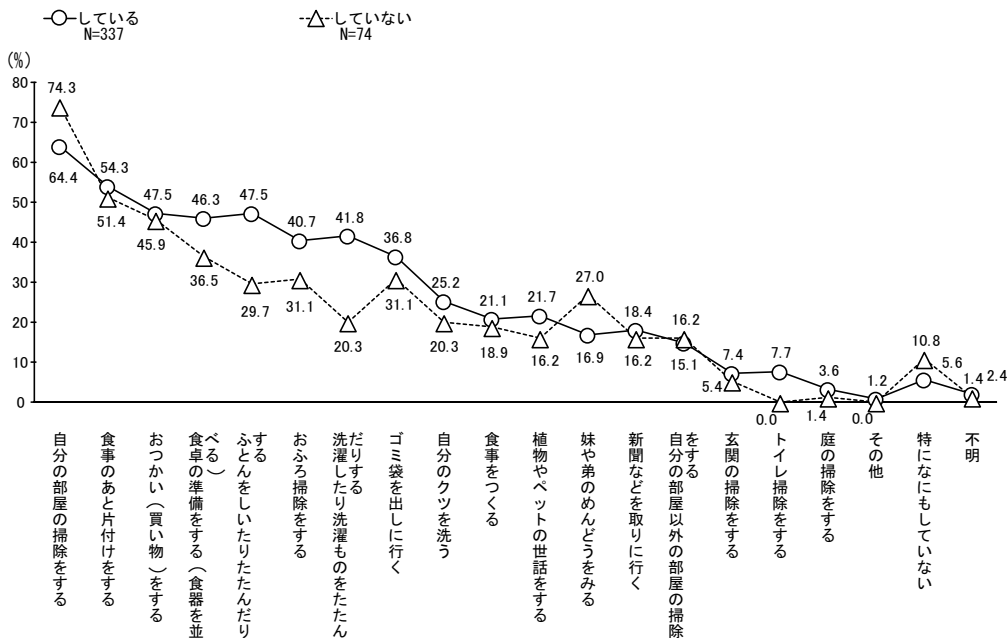
家事経験（高校生）



家事経験（高校生・性別）



家事経験（高校生・就労の有無（母親）別）



問4 あなたは、朝食をとっていますか。

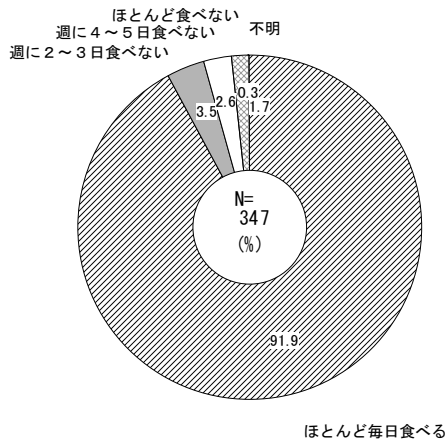
問4(1) 問4で「2~4」と答えた人へ、その理由は何ですか。

中学生の朝食摂取状況については、91.9%が「ほとんど毎日食べる」と回答している。一方、「週2~3日食べない」が3.5%となっており、全体の1割弱程度が朝食を食べていない状況にある。

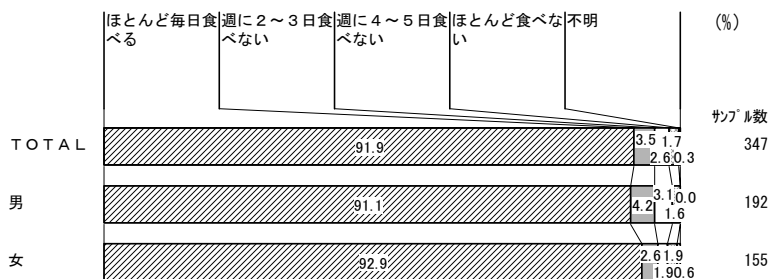
性別で見たとら、いずれも9割を超えて摂取している

朝食の摂取について「ほとんど毎日食べる」と回答した人以外に、朝食を摂取しない理由について聞いたところ、「時間がないから」が70.4%で最も多く、続いて「食欲がないから」が18.5%となっている。

朝食摂取の有無(中学生)

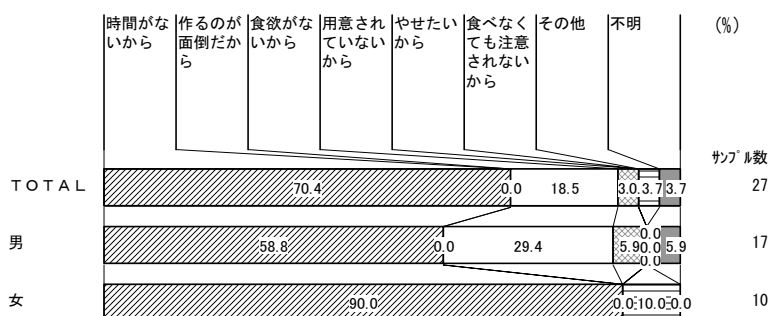


朝食摂取の有無(中学校・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

朝食摂取しない理由(中学生・性別)



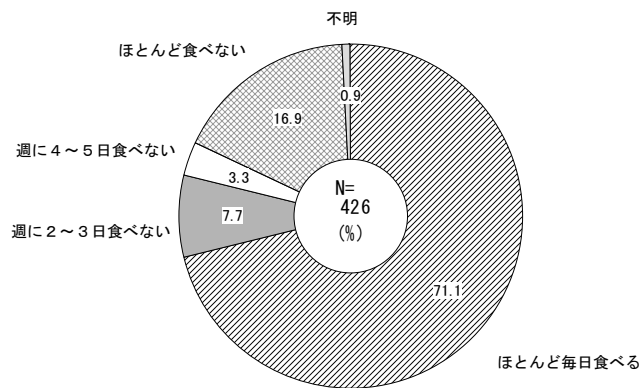
(注) 表側の「不明」は除く。

高校生の朝食摂取状況については、71.1%が「ほとんど毎日食べる」と回答している。一方、「週2～3日食べない」が7.7%、「週4～5日食べない」が3.3%、「ほとんど食べない」が16.9%となっており、全体の3割弱は朝食を食べていない。

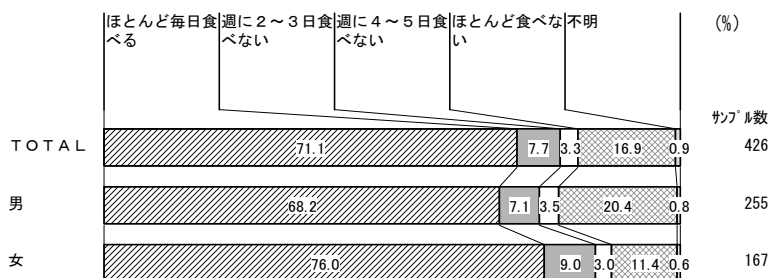
性別で見ると、いずれも「ほとんど毎日食べる」が多いが、男子生徒については「ほとんど食べない」も2割を占めている。

朝食の摂取について「ほとんど毎日食べる」と回答した人以外に、朝食を摂取しない理由について聞いたところ、「時間がないから」が67.2%で最も多く、続いて「食欲がないから」が18.5%となっている。

朝食摂取の有無(高校生)

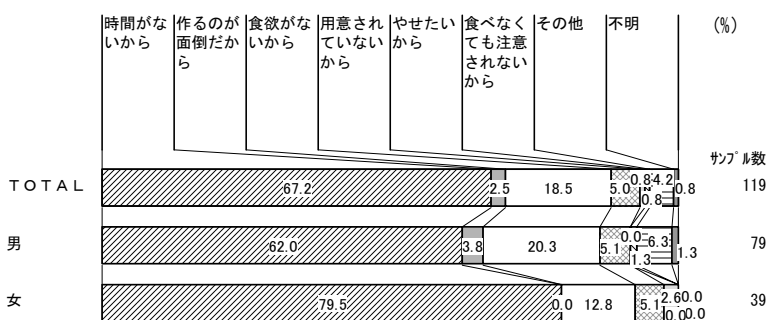


朝食摂取の有無(高校生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

朝食摂取しない理由(高校生・性別)



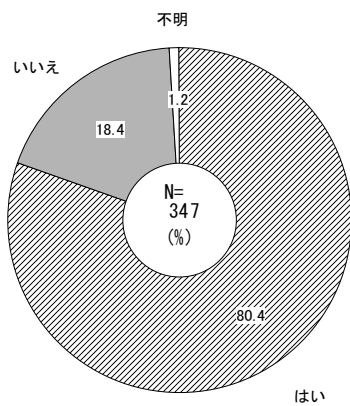
(注) 表側の「不明」は除く。

問5 あなたは、間食をしていますか。

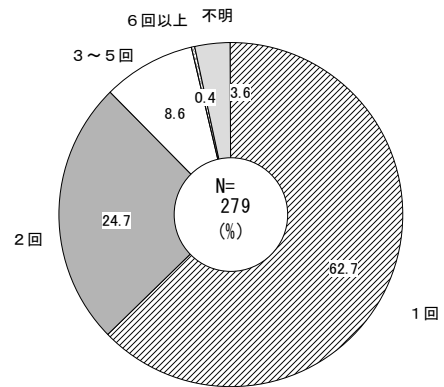
問5 (1) 問5で「1 はい」と答えた人へ、間食ではどのようなものを食べていますか。(3つまで)

間食の有無について中学生に聞いたところ、80.4%が「はい」と回答している。
 性別で見ると、女子生徒の8割以上が間食しているが、男子生徒は「いいえ」がやや多くなっている。
 そこで間食している場合の回数を聞いたところ、平均で1.5回であった。

間食の有無(中学生)

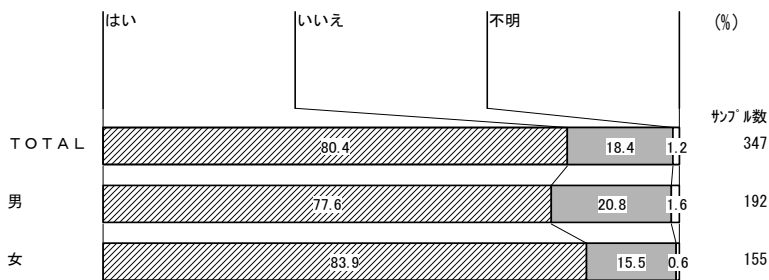


間食の回数(中学生)



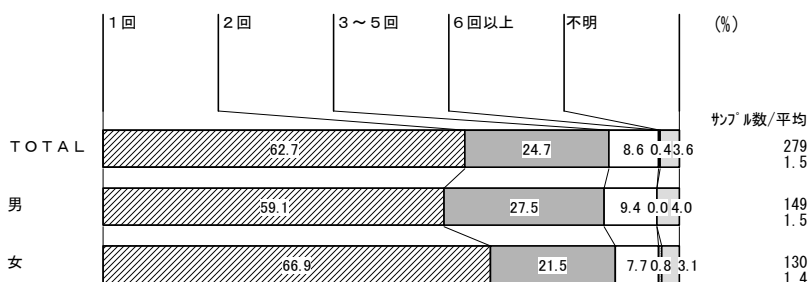
平均 1.5 回

間食の有無(中学生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

間食の回数(中学生・性別)

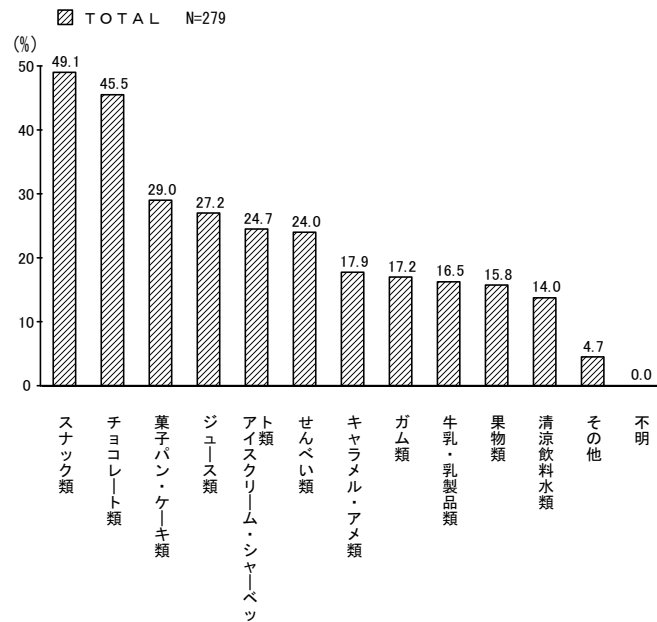


(注) 表側の「不明」は除く。

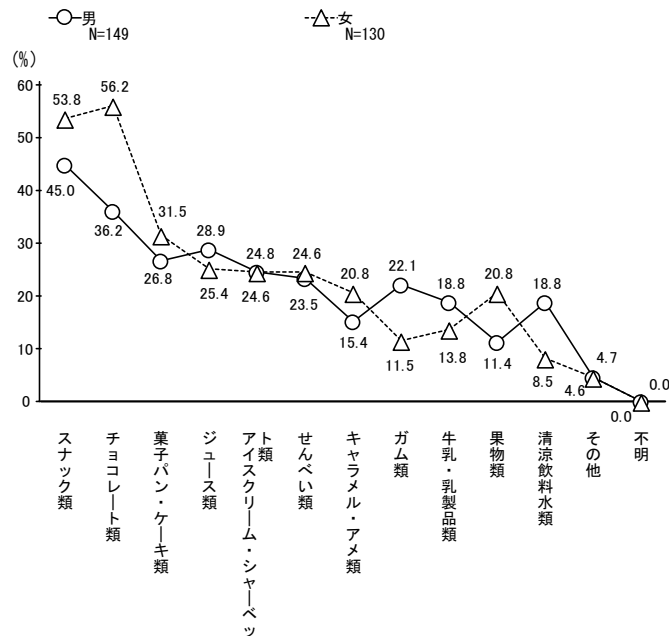
中学生が間食で食しているものについて見てみると、「スナック類」が49.1%で最も多く、続いて「チョコレート類」が45.5%、「菓子パン・ケーキ類」が29.0%となっている。

性別に見てみると、男女共に「スナック類」や「チョコレート」が多く、いずれも「女子生徒」が多くなっている。

間食で食しているもの（中学生）

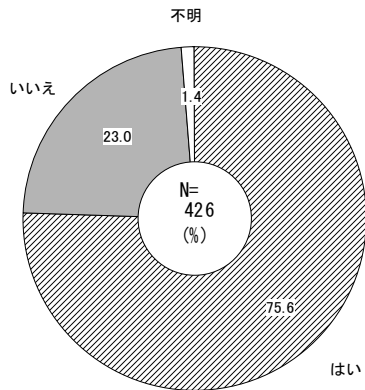


間食で食しているもの（中学生・性別）

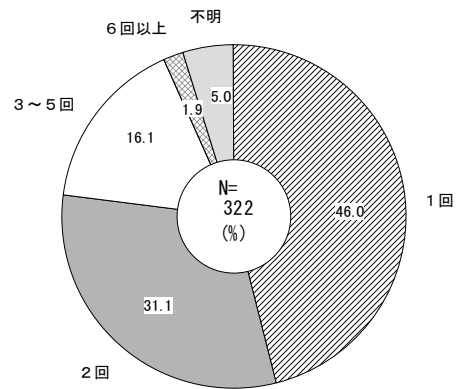


間食の有無について高校生に聞いたところ、75.6%が「はい」と回答している。
 性別で見ると、女子生徒の8割以上が間食しているが、男子生徒は「いいえ」がやや多くなっている。
 そこで間食している場合の回数を聞いたところ、平均で1.9回であった。

間食の有無(高校生)

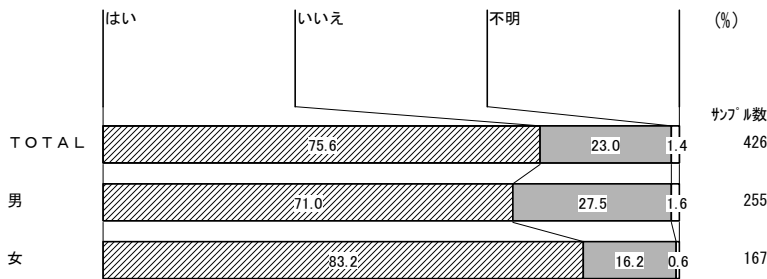


間食の回数(高校生)



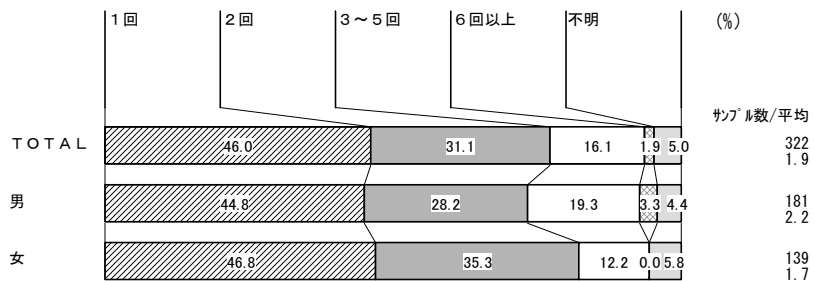
平均 1.9 回

間食の有無(高校生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

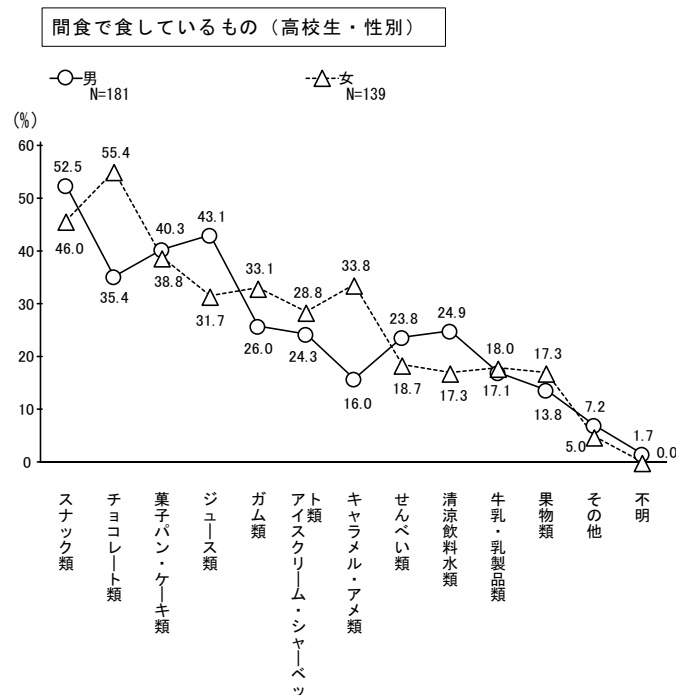
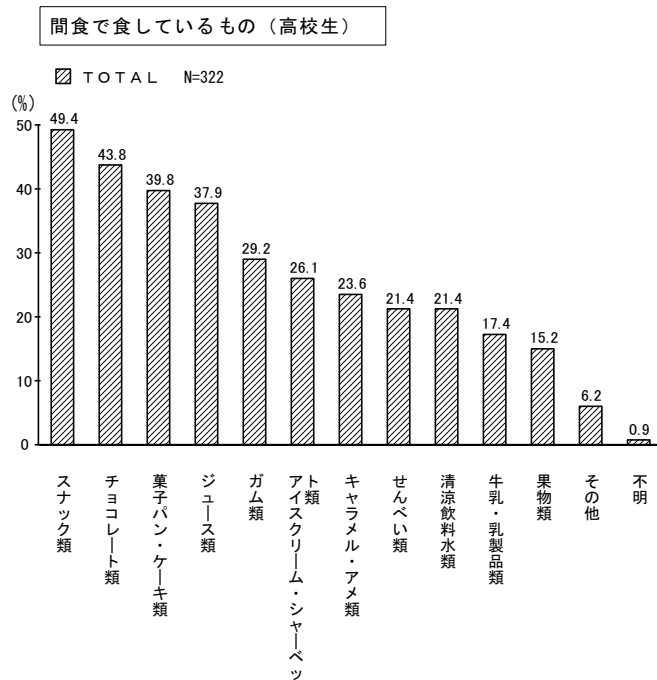
間食の回数(高校生・性別)



(注) 表側の「不明」は除く。

高校生が間食で食しているものについて見てみると、「スナック類」が49.4%で最も多く、続いて「チョコレート類」が43.8%、「菓子パン・ケーキ類」が39.8%となっている。

性別に見てみると、「男子生徒」は「スナック類」、「女子生徒」は「チョコレート」が最も多く、「男子生徒」は「ジュース類」、「女子生徒」は「スナック類」や「キャラメル、アメ類」もやや多くなっている。

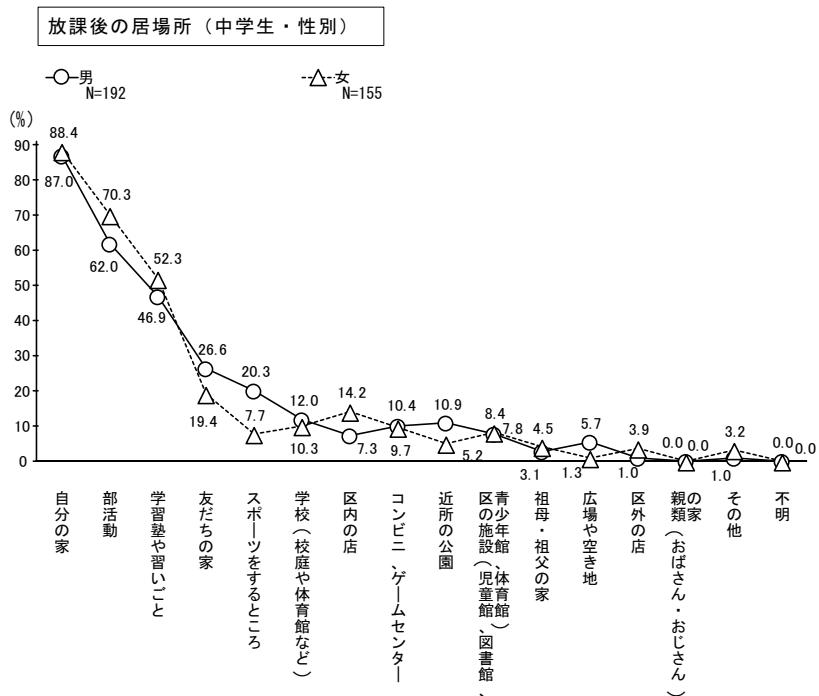
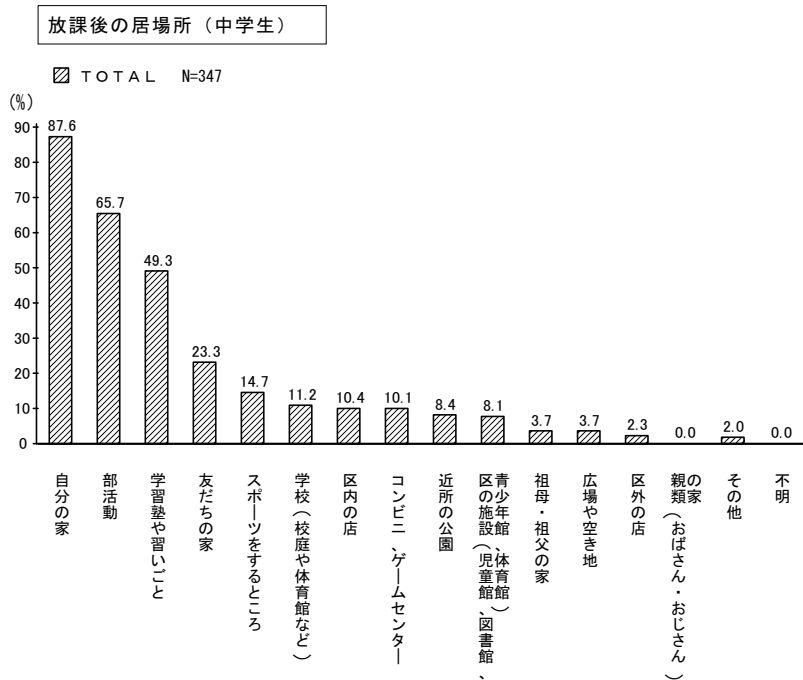


問6 あなたは平日、学校が終わってから、どこにすることが多いですか。(5つまで)

問6(1) 問6で「10 区の施設(児童館、図書館、青少年館、体育館)」「11 学習塾や習いごと」「12 アルバイト・仕事先(高校生のみ)」「13 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。

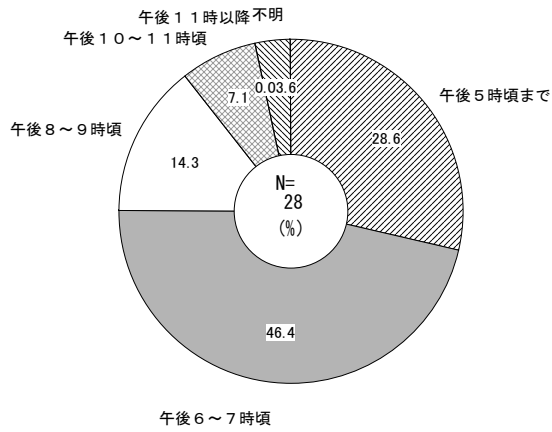
平日の放課後の居場所について中学生に聞いたところ、「自分の家」が87.6%で最も多く、続いて「部活動」が65.7%、「学習塾や習いごと」が49.3%となっている。

性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「スポーツをするところ」については男子生徒が多くなっている。

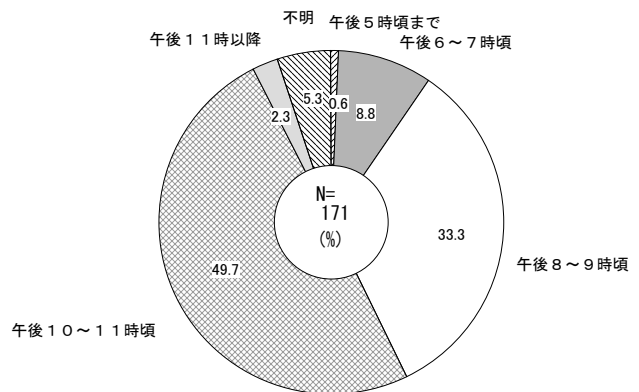


中学生の『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、およそ午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時が多くなっている。

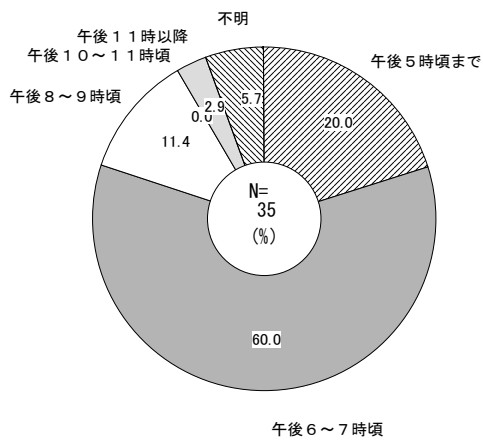
区の施設で過ごした後の帰宅時間(中学生)



学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(中学生)

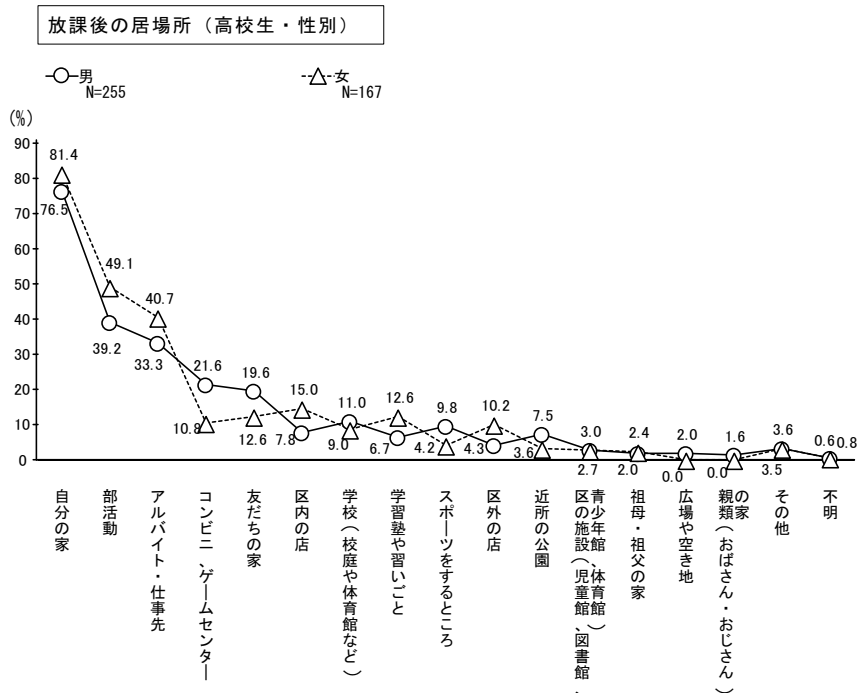
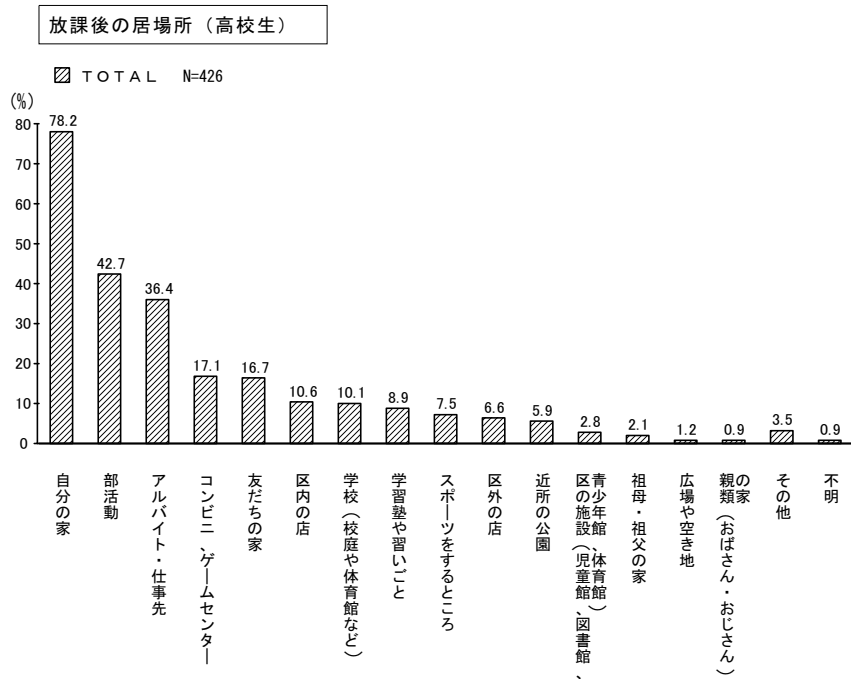


コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(中学生)



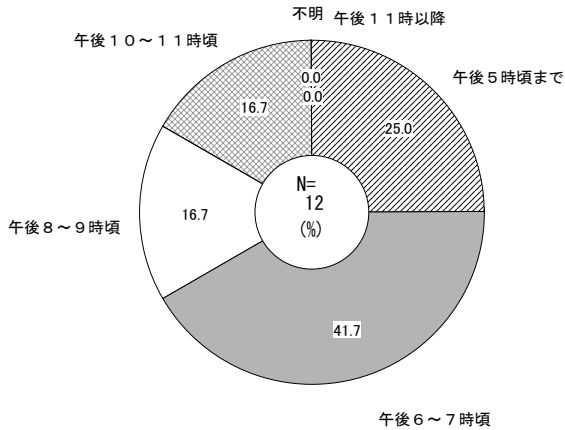
平日の放課後の居場所について高校生に聞いたところ、「自分の家」が78.2%で最も多く、続いて「部活動」が42.7%、「アルバイト・仕事先」が36.4%となっている。

性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「コンビニ、ゲームセンター」「友だちの家」については男子生徒がやや多くなっている。

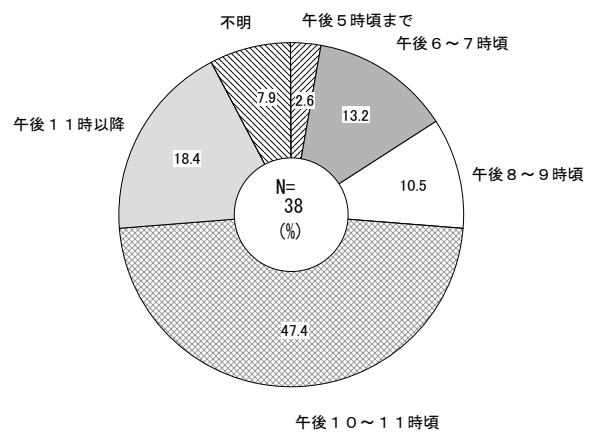


『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、およそ午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、『アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時、または午後8～9時が多くなっている。

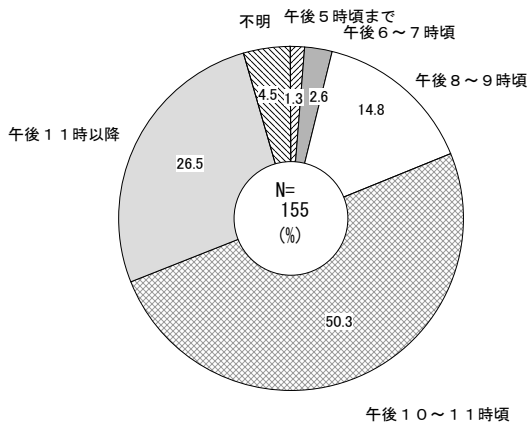
区の施設で過ごした後の帰宅時間(高校生)



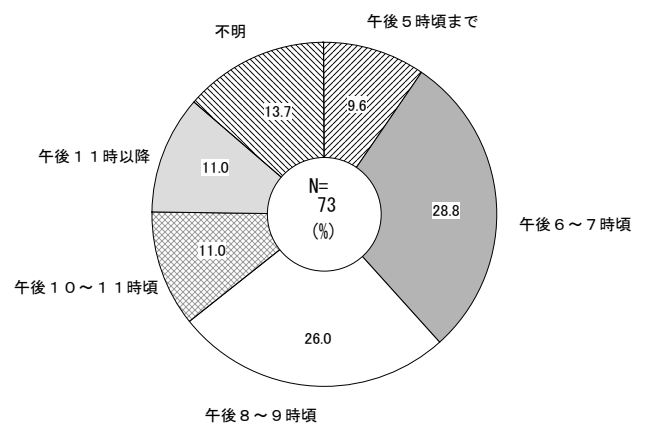
学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(高校生)



アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間(高校生)



コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(高校生)



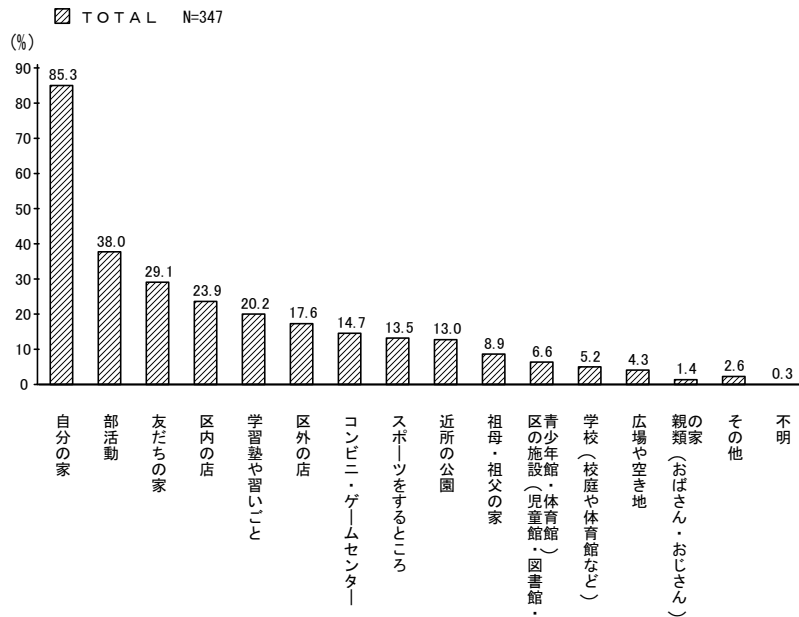
問7 あなたは学校が休みの日、どこにすることが多いですか。(5つまで)

問7(1) 問7で「10 区の施設(児童館、図書館、青少年館、体育館)」「11 学習塾や習いごと」「12 アルバイト・仕事先(高校生のみ)」「13 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。

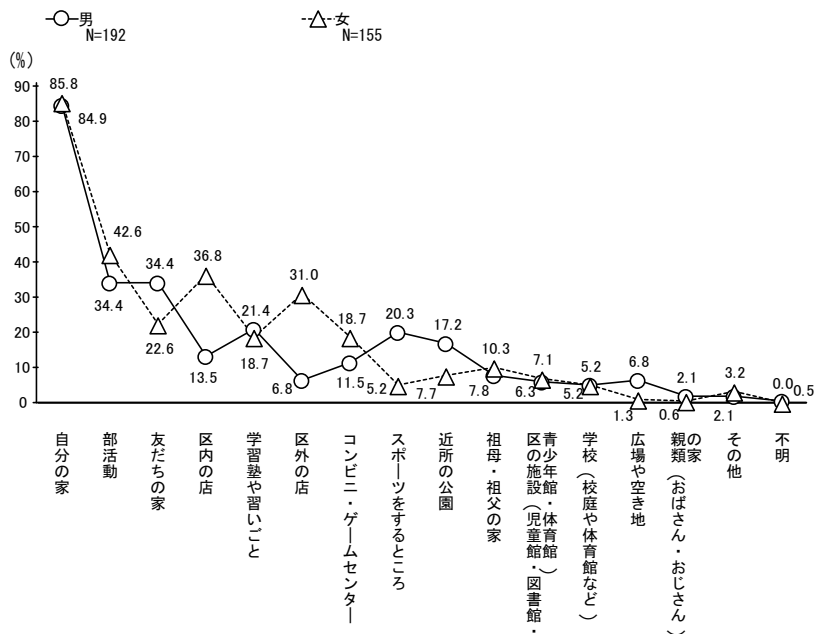
休日の放課後の居場所について中学生に聞いたところ、「自分の家」が85.3%で最も多く、続いて「部活動」が38.0%、「友だちの家」が29.1%となっている。

性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「スポーツをするところ」については男子生徒、「区内の店」や「区外の店」については女子生徒が多くなっている。

休日の居場所(中学生)

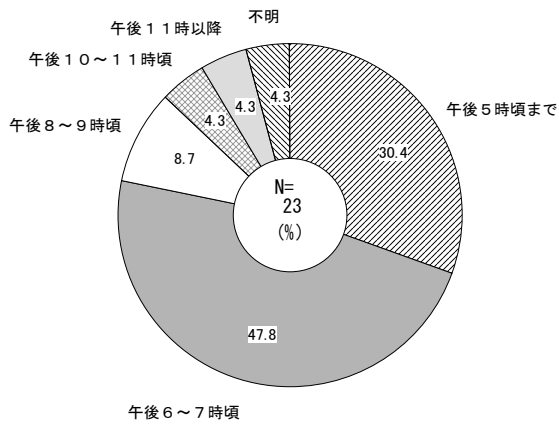


休日の居場所(中学生・性別)

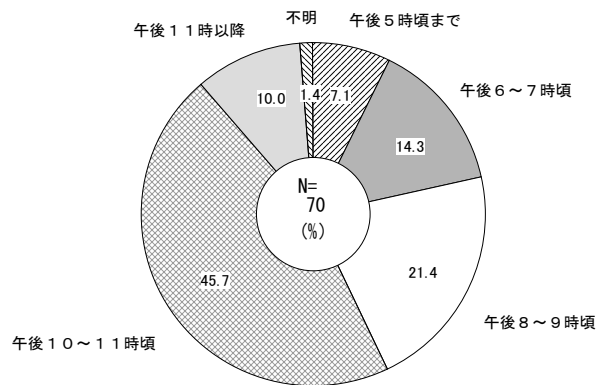


中学生の『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、およそ午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時が多くなっている。

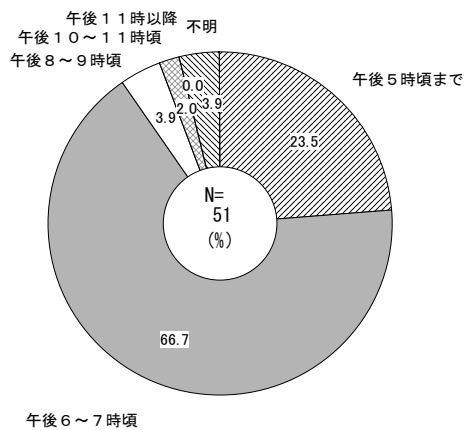
区の施設で過ごした後の帰宅時間(中学生)



学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(中学生)

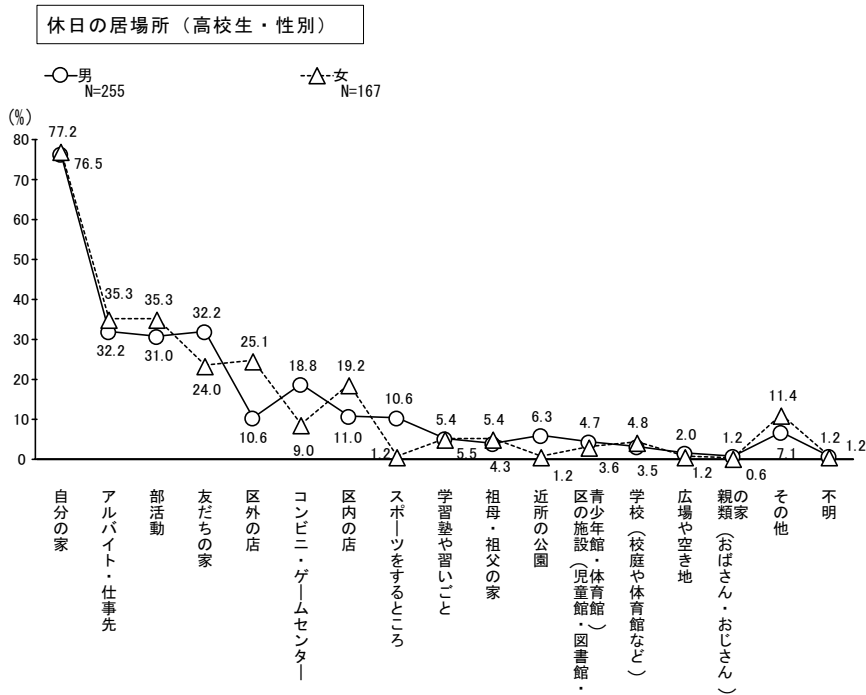
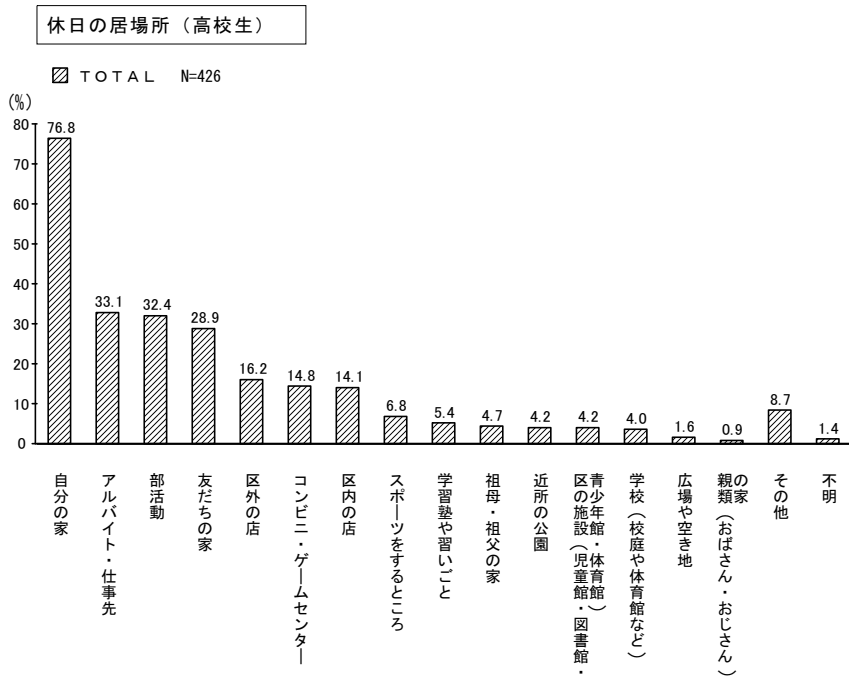


コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(中学生)



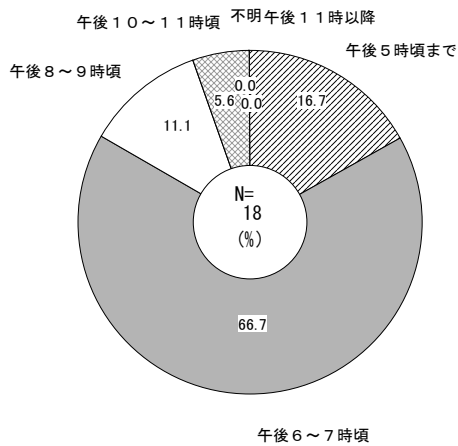
休日の放課後の居場所について高校生に聞いたところ、「自分の家」が76.8%で最も多く、続いて「アルバイト・仕事先」が33.1%、「部活動」が32.4%となっている。

性別で見ると、男女共に同じ傾向となっているが、「友だちの家」については男子生徒、「区外の店」については女子生徒が多くなっている。

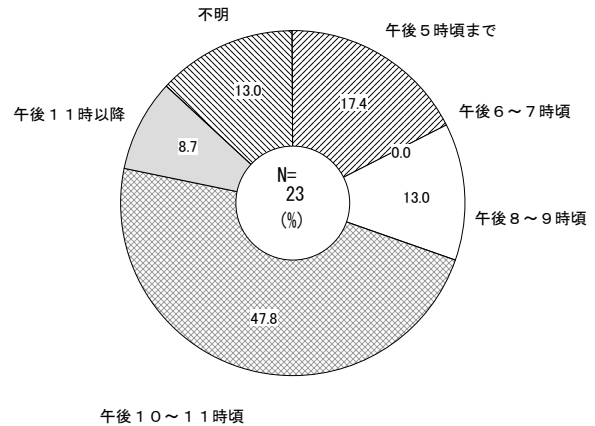


『区の施設で過ごした後の帰宅時間』について見てみると、午後6～7時、『学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、『アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間』については、午後10～11時、そして『コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間』については、午後6～7時、午後10～11時が多くなっている。

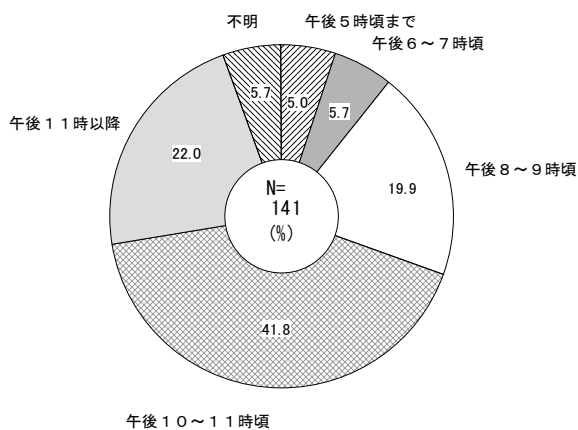
区の施設で過ごした後の帰宅時間(高校生)



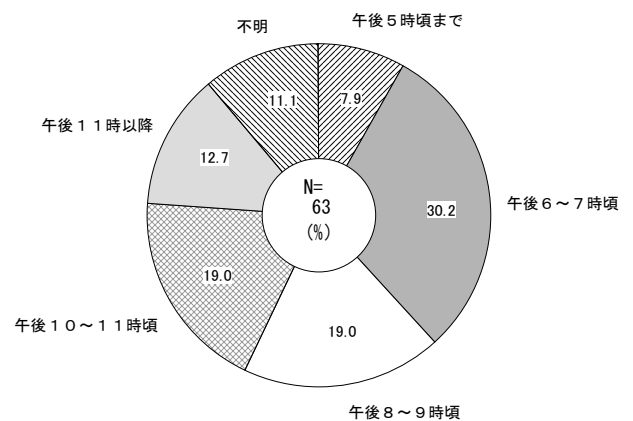
学習塾や習いごとで過ごした後の帰宅時間(高校生)



アルバイト・仕事先で過ごした後の帰宅時間(高校生)



コンビニ・ゲームセンターで過ごした後の帰宅時間(高校生)

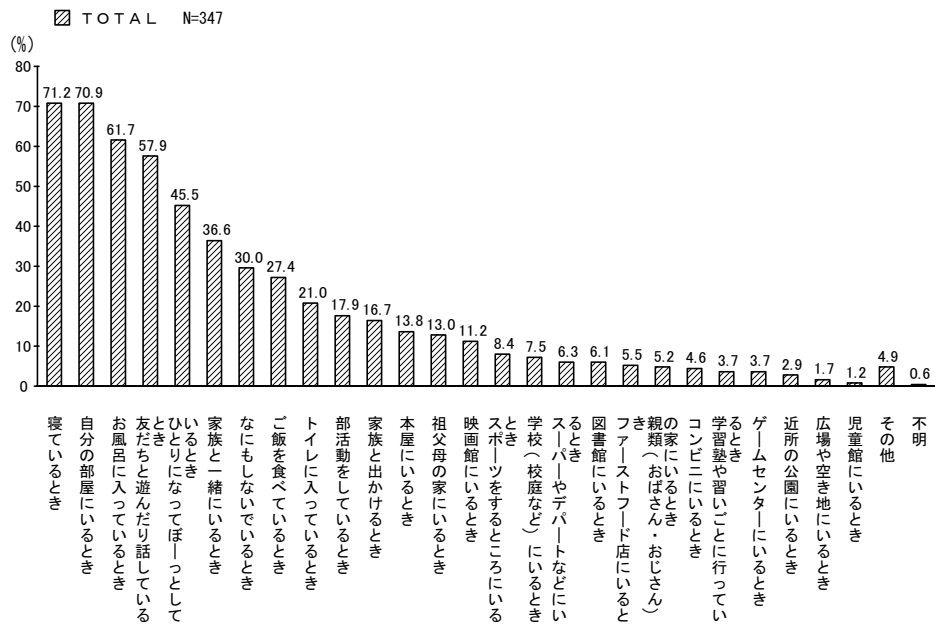


問8 あなたはほっとできるときは、どんなときですか。(複数回答)

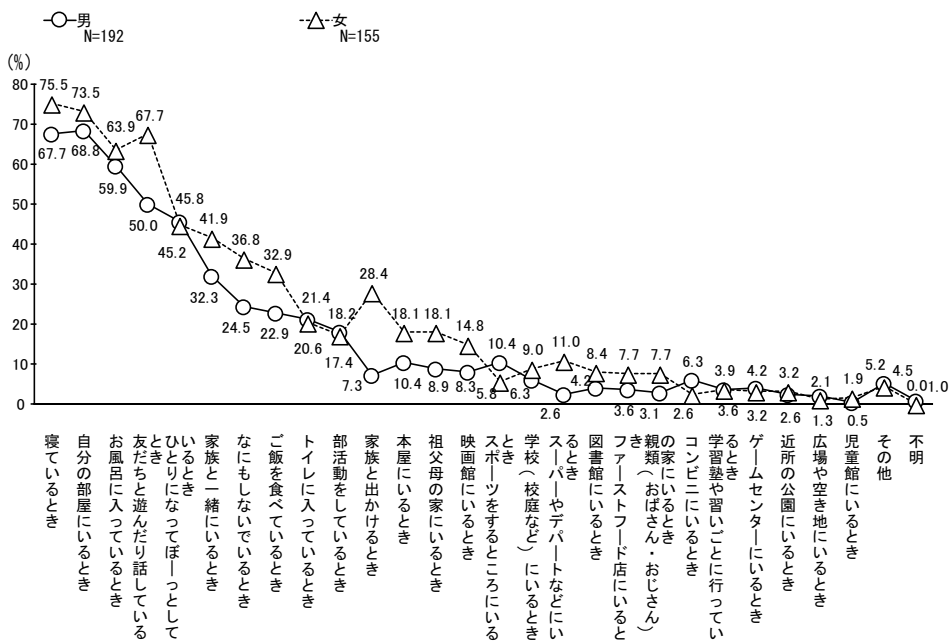
ほっとできる時について中学生に聞いたところ、「寝ているとき」が71.2%で最も多く、続いて「自分の部屋にいるとき」が70.9%、「お風呂に入っているとき」が61.7%となっている。

性別で見ると、全体的には女子生徒の方がより多くの項目を選択しており、特に「友だちと遊んだり話しているとき」などは男子生徒と比べて多くなっている。

ほっとできるとき (中学生)

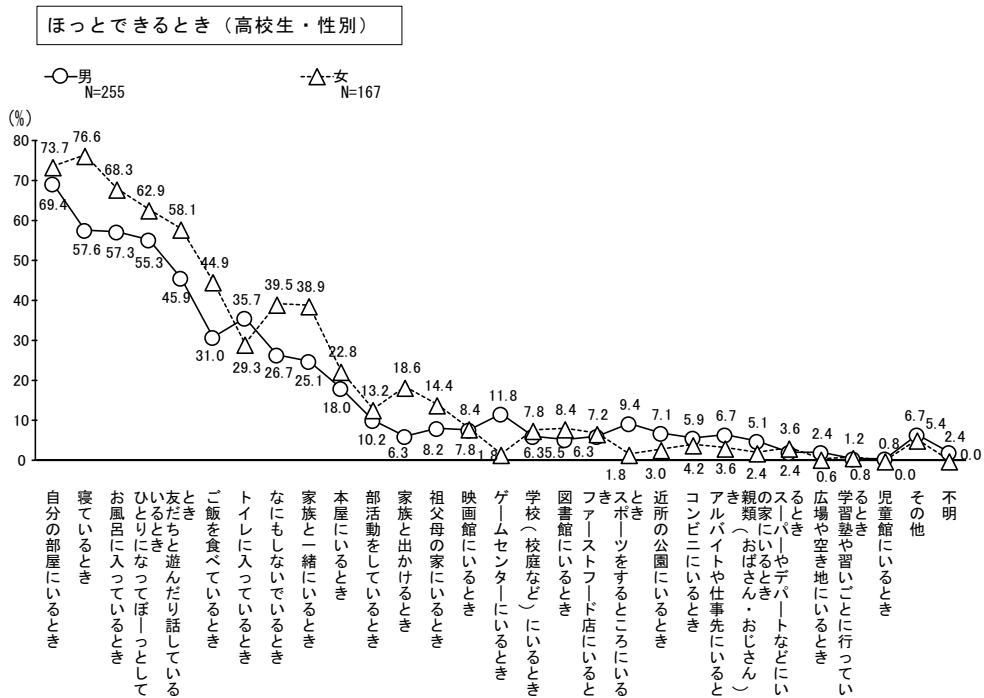
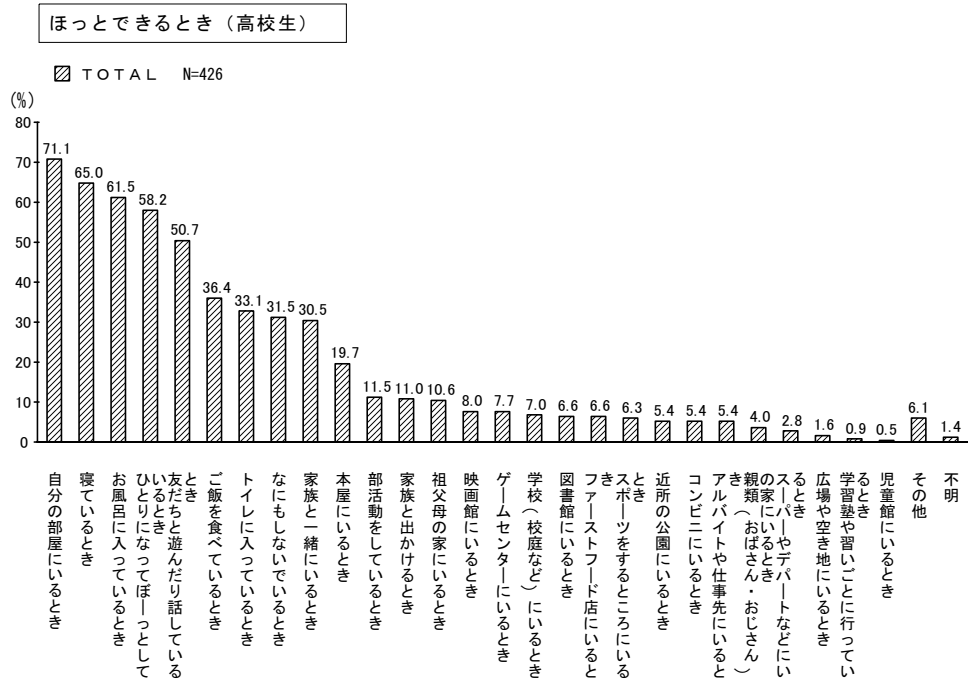


ほっとできるとき (中学生・性別)



ほっとできる時について高校生に聞いたところ、「自分の部屋にいるとき」が71.1%で最も多く、続いて「寝ているとき」が65.0%、「お風呂に入っているとき」が61.5%となっている。

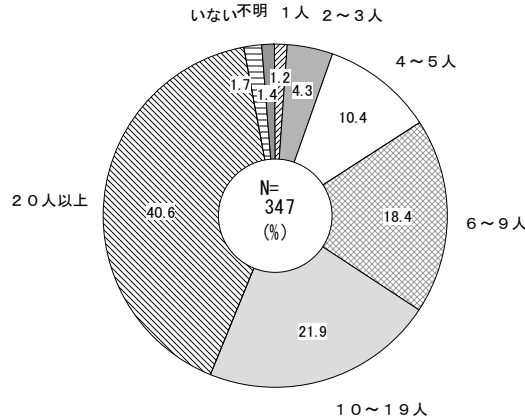
性別で見ると、全体的には女子生徒の方がより多くの項目を選択しており、特に「寝ているとき」「家族と一緒にいるとき」などは男子生徒と比べて多くなっている。



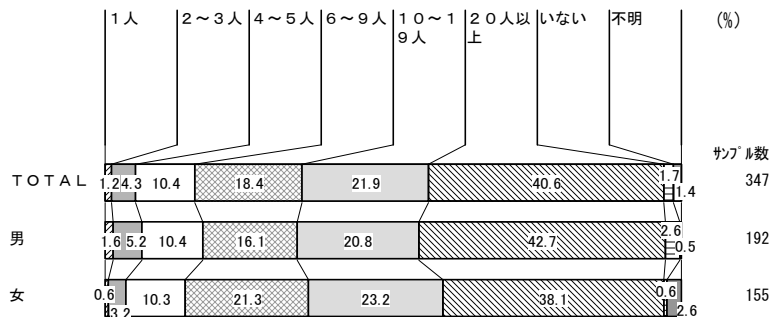
問9 あなたと一緒に遊んだり話したりする友だちが何人くらいいますか。

一緒に遊んだり話したりする友人の数について中学生に聞いたところ、「20人以上」が40.6%、「10～19人」が21.9%で、性別、居住地区別で見ると、いずれも同じ傾向となっている。

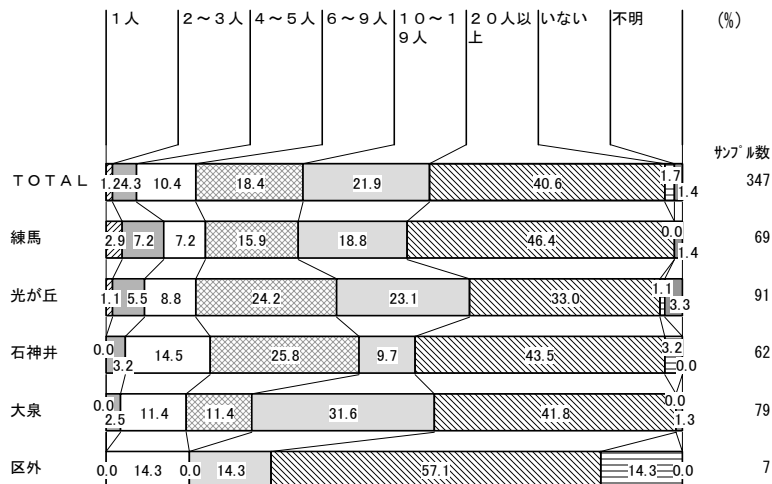
友人の数(中学生)



友人の数(中学生・性別)



友人の数(中学生・居住地区別)

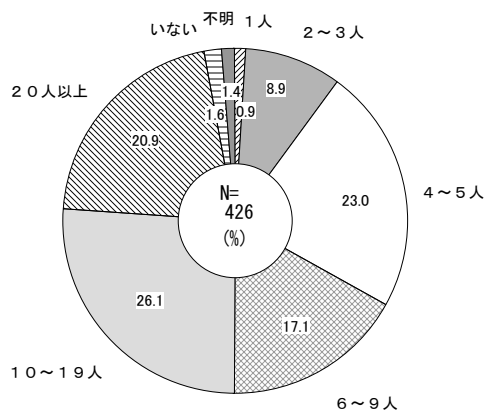


一緒に遊んだり話したりする友人の数について高校生に聞いたところ、「20人以上」が20.9%、「10～19人」が26.1%で、中学生と比較すると少ない。

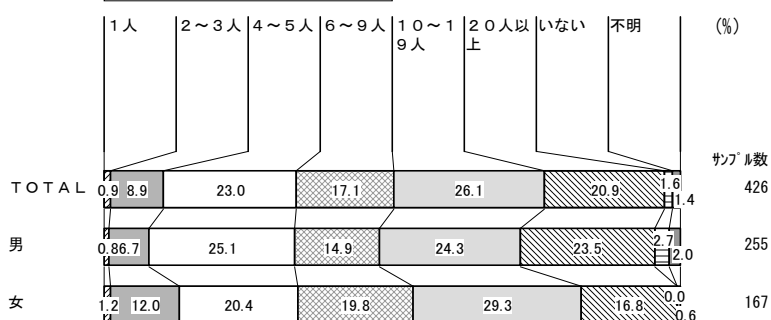
性別で見ると、いずれも同じ傾向となっており、女子生徒の「2～3人」がやや多い。

居住地区別に見ると、いずれの場合もおよそ「10～19人」と「4～5人」が多くなっているが、「板橋区・豊島区」「その他」ではやや少なく、「中野区・杉並区」ではやや多くなっている。

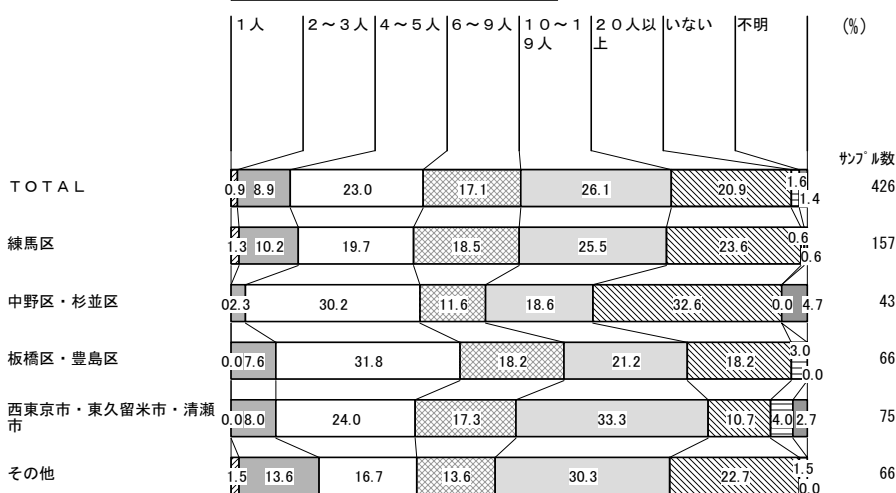
友人の数(高校生)



友人の数(高校生・性別)



友人の数(高校生・居住地別)



問10 あなたは、学校に行きたくないときがありますか。

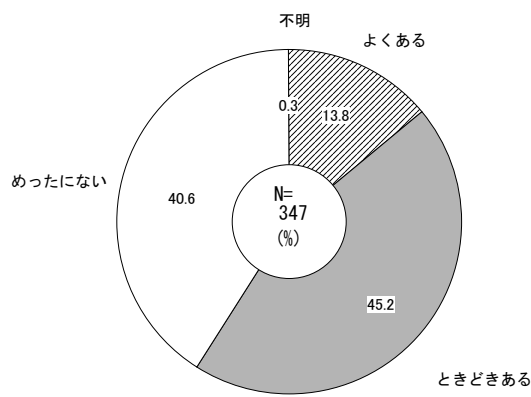
問10(1) どんなときにそうなりますか。(複数回答) (2) そうなったときはどうしましたか。(複数回答)

学校に行きたくなくなる時について中学生に聞いたところ、「よくある」が13.8%、「ときどきある」が45.2%となっており、合計すると59.0%が「ある」と回答している。

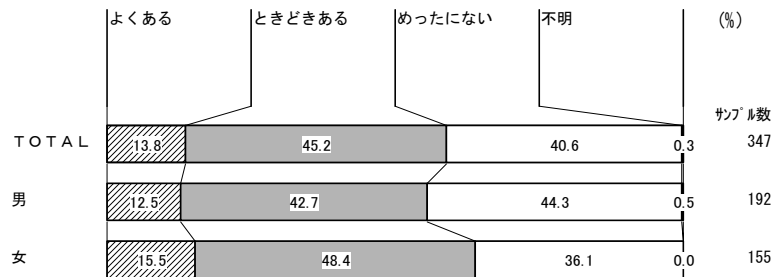
性別で見ると、「女子生徒」が行きたくなくなる時がある割合がやや大きい。

居住地区別に見ると、「区外」と「光が丘」で行きたくなくなる時がある割合がやや大きい。

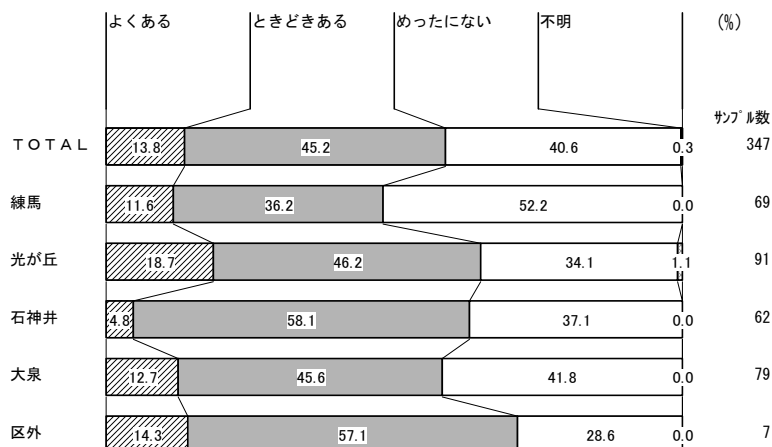
学校に行きたくなくなる時(中学生)



学校に行きたくなくなる時(中学生・性別)

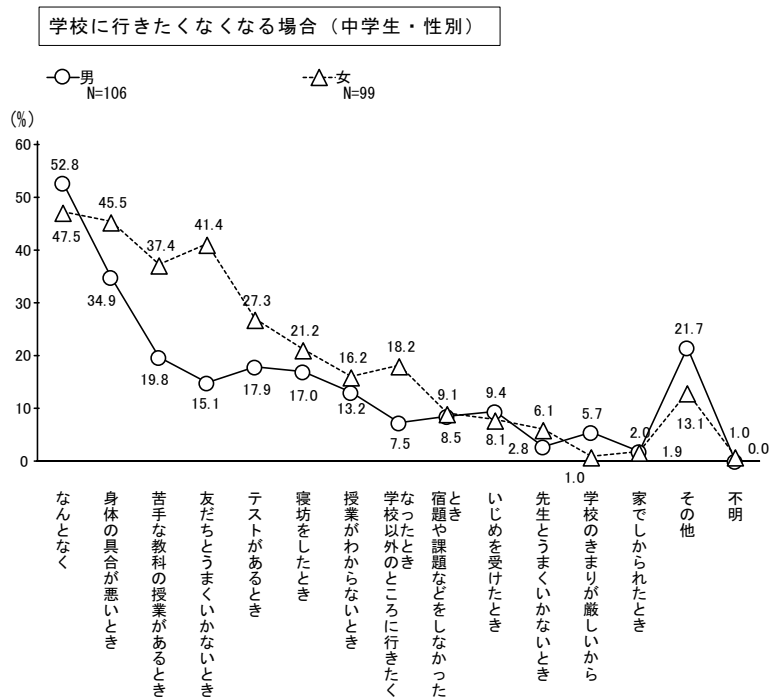
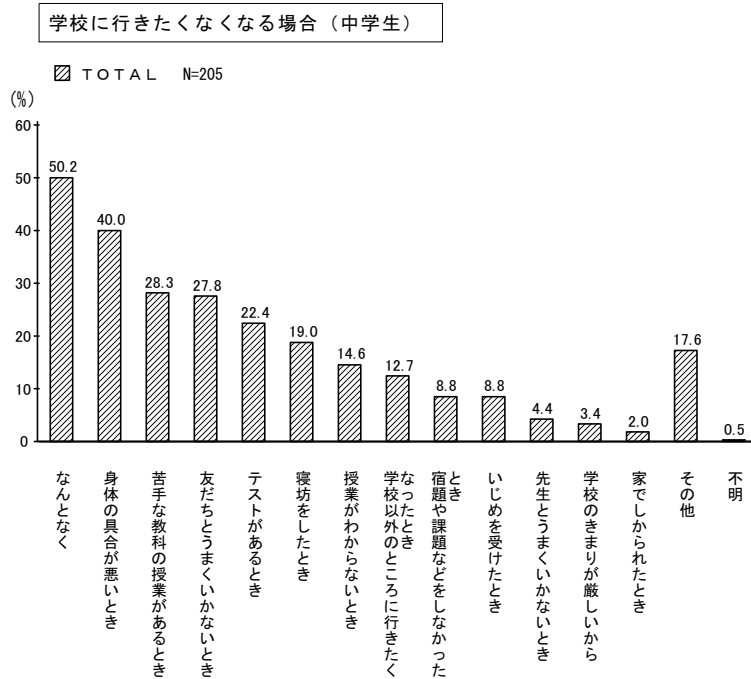


学校に行きたくなくなる時(居住地区別)



学校に行きたくなくなるのが「ある」と回答した人に、どのような場合かについて聞いたところ、「なんとなく」が 50.2%で最も多く、続いて「身体の具合が悪いとき」が 40.0%、「苦手な教科の授業があるとき」が 28.3%となっている。

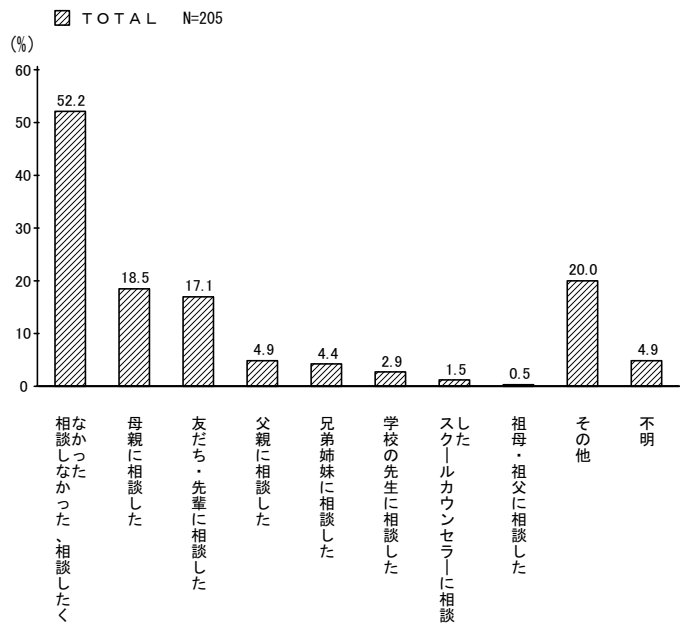
性別で見ると、全体的には女子生徒の回答が多く、「なんとなく」と「身体の具合が悪いとき」以外にも「友だちとうまくいかないとき」についても多くなっている。



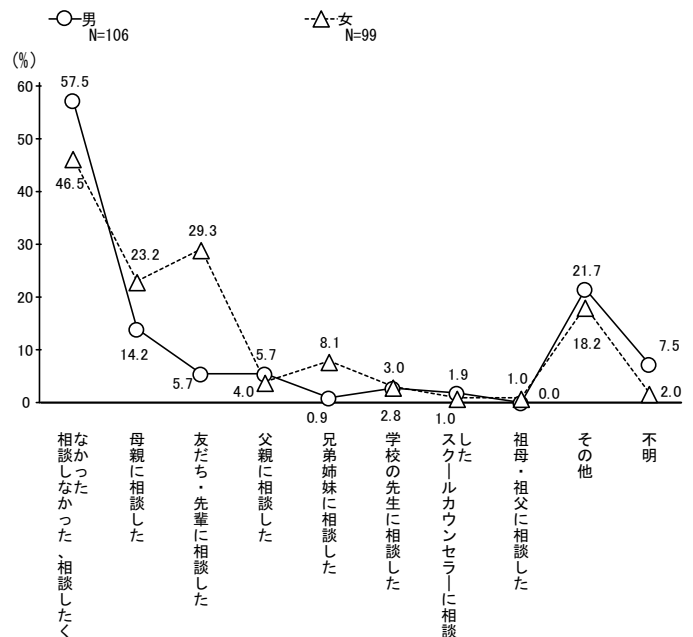
さらに学校に行きたくなくなる時の対処法について聞いたところ、「相談しなかった、相談しなかった」が 52.2%で最も多く、続いて「その他」が 20.0%、「母親に相談した」が 18.5%となっている。なお、『その他』の内容としては「我慢して行った」との回答が多くなっている。

性別で見ると、男女共に「相談しなかった、相談しなかった」が最も多い。「友だち・先輩に相談した」では女子生徒が多いことが分かる。

学校に行きたくなくなる時の対処法（中学生）



学校に行きたくなくなる時の対処法（中学生・性別）

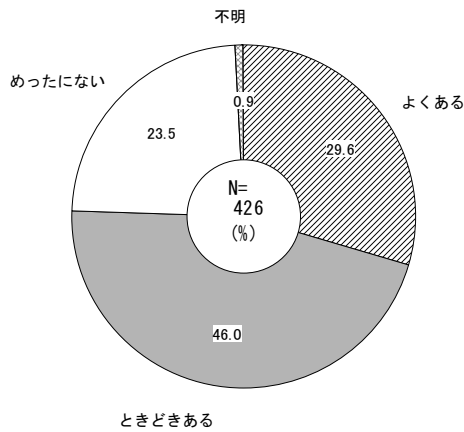


学校に行きたくなくなるタイミングについて高校生に聞いたところ、「よくある」が 29.6%、「ときどきある」が 46.0%となっており、合計すると 75.6%が「ある」と回答している。

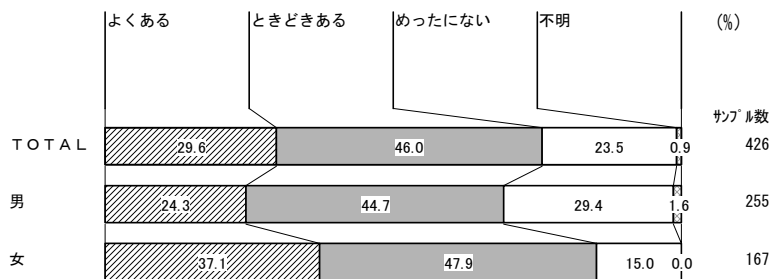
性別で見ると「女子学生」が行きたくなくなることがある割合がやや大きい。

居住地区別に見ると、「西東京市・東久留米市・清瀬市」と「中野区・杉並区」などで行きたくなくなることがある割合がやや大きい。

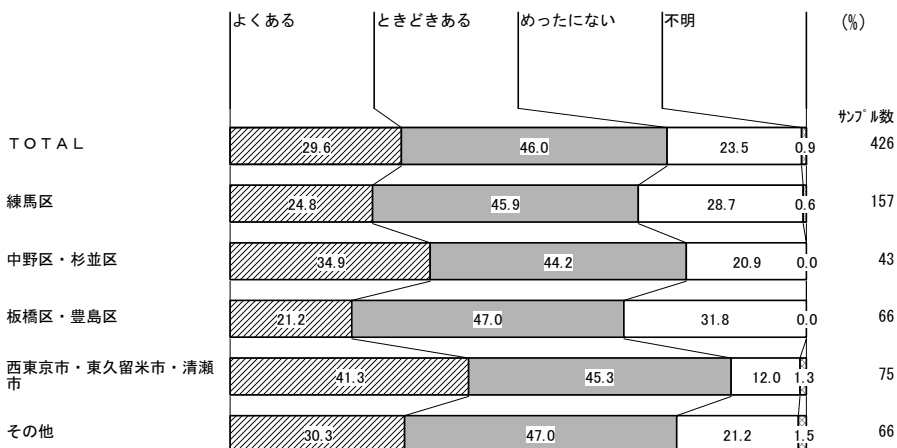
学校に行きたくなくなる時(高校生)



学校に行きたくなくなる時(高校生・性別)

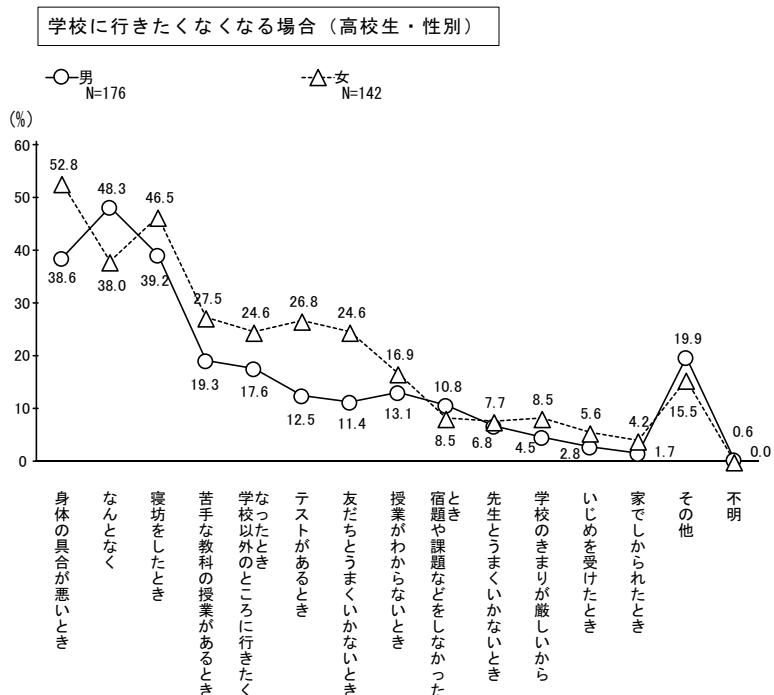
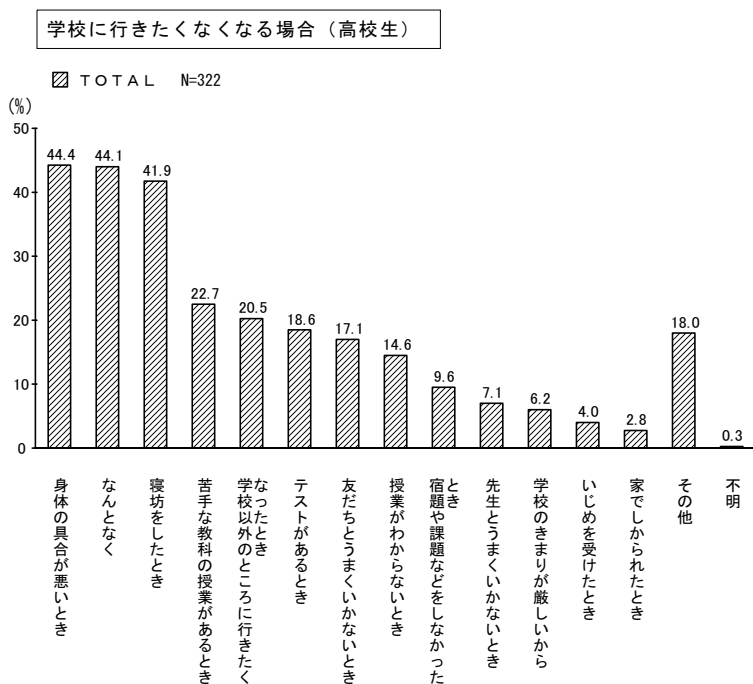


学校に行きたくなくなる時(高校生・居住地別)



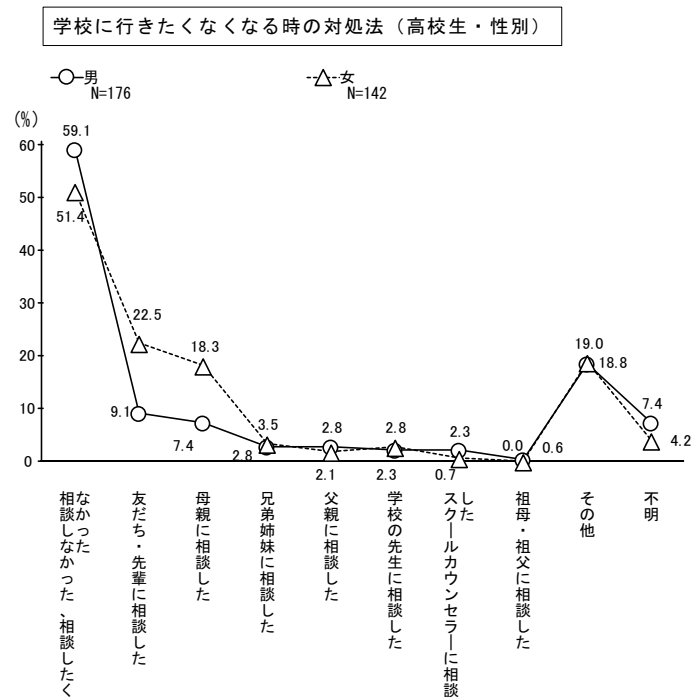
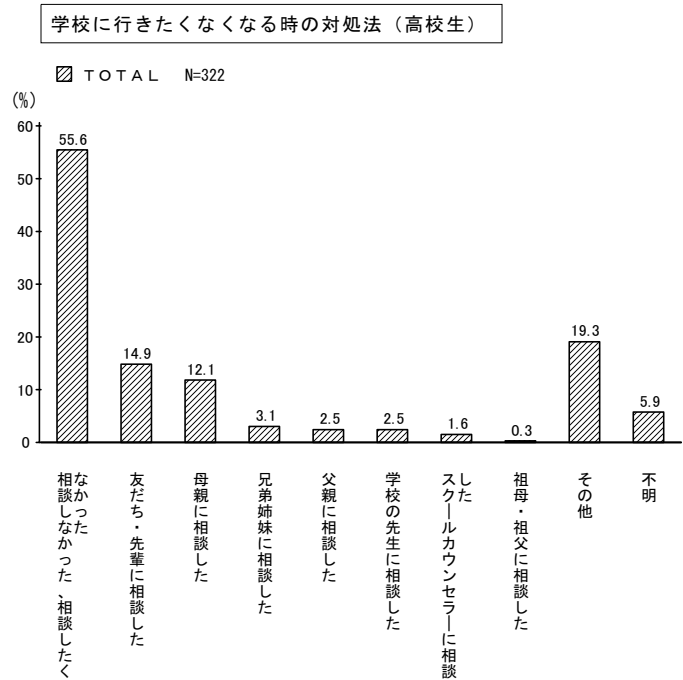
学校に行きたくなくなるのが「ある」と回答した人に、どのような場合かについて聞いたところ、「身体の具合が悪いとき」が44.4%で最も多く、続いて「なんとなく」が44.1%、「寝坊をしたとき」が41.9%となっている。

性別で見ると、「なんとなく」以外は全体的には女子生徒の回答が多くなっており、「身体の具合が悪いとき」「寝坊をしたとき」以外にも「テストがあるとき」「友だちとうまくいかないとき」についてもやや多くなっている。



さらに学校に行きたくなくなる時の対処法について聞いたところ、「相談しなかった、相談しなかった」が 55.6%で最も多く、続いて「その他」が 19.3%、「友だち・先輩に相談した」が 14.9%となっている。

性別で見ると、男女共に「相談しなかった、相談しなかった」が最も多い。「友だち・先輩に相談した」では女子生徒が多いことが分かる。

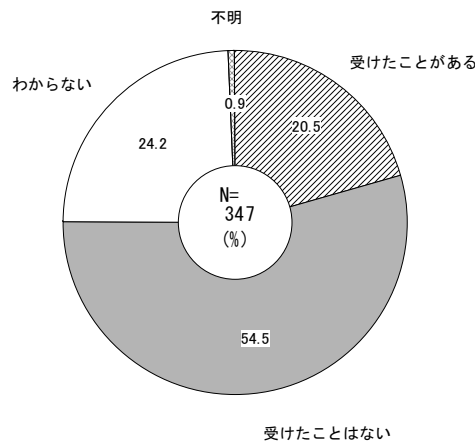


問11 あなたはいじめを受けたことがありますか。

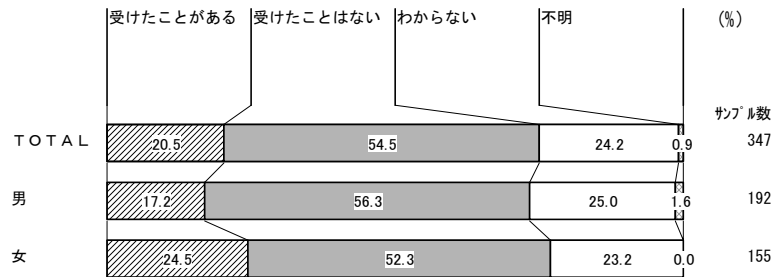
問11 (1) いじめを受けたときはどうしましたか。また、いじめを受けたらどうしますか。(複数回答)

いじめを受けた経験について中学生に聞いたところ、「受けたことがある」は20.5%となっている。性別で見ると、女子生徒がいじめを受けた割合(24.5%)がやや大きくなっている。居住地区別に見ると、「光が丘」で「受けたことがある」がやや多く、「石神井」で少なくなっている。

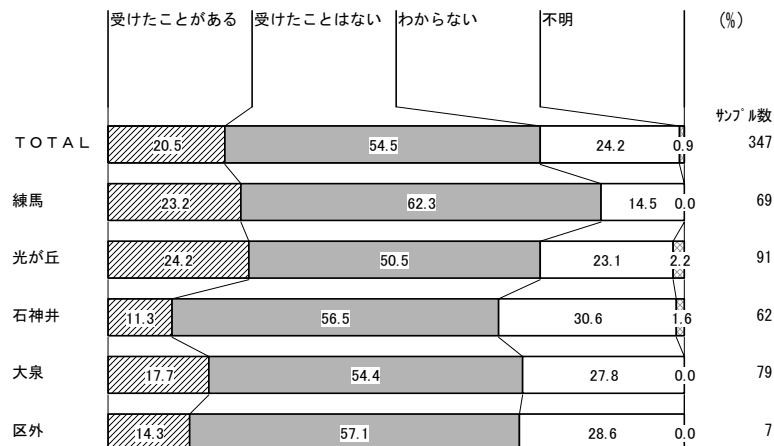
いじめを受けた経験(中学生)



いじめを受けた経験(中学生・性別)

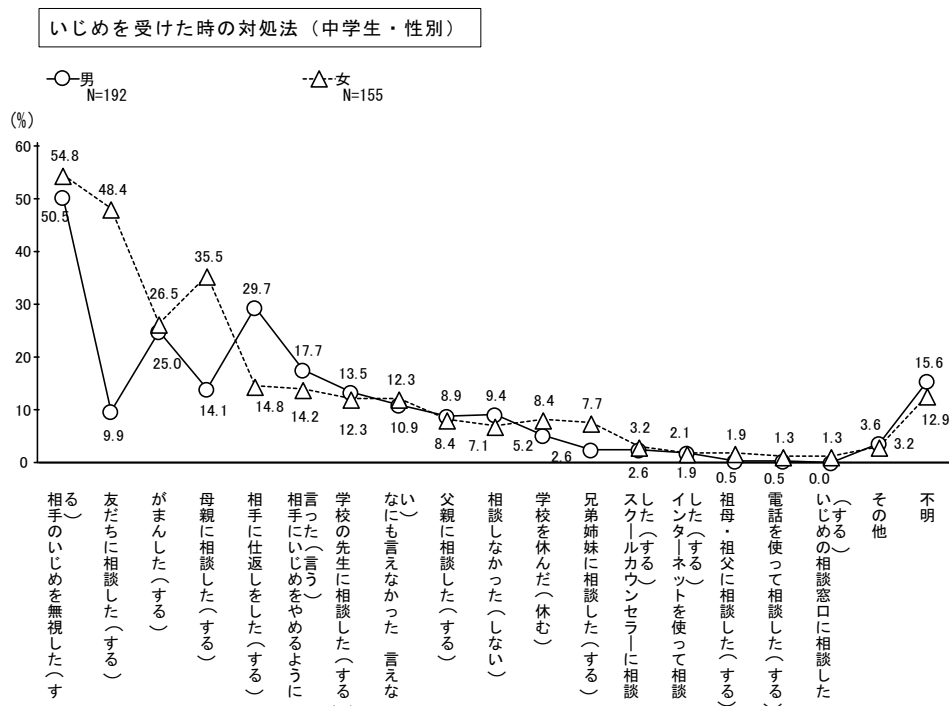
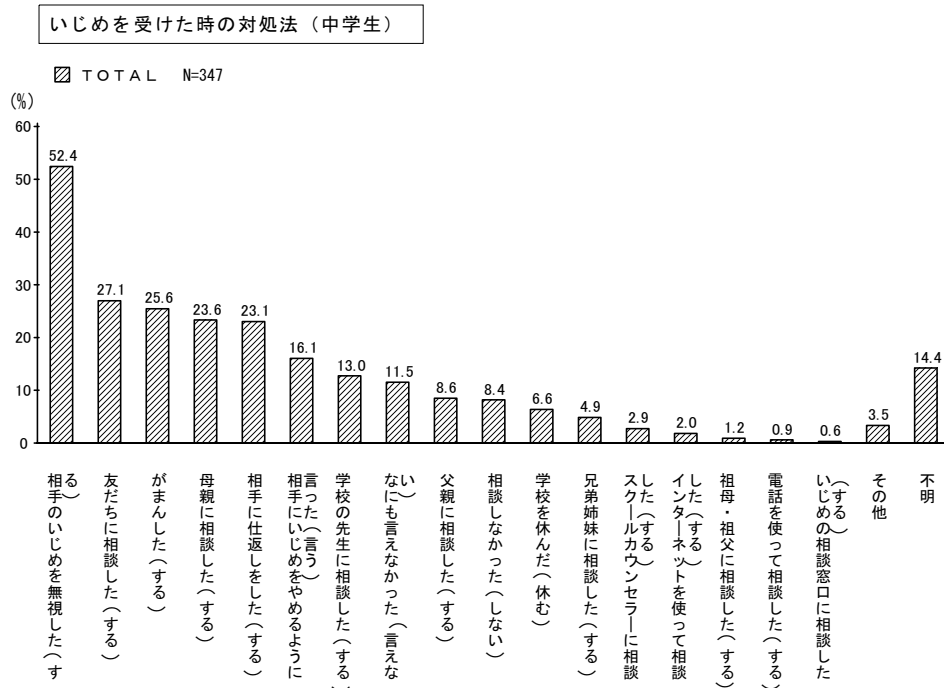


いじめを受けた経験(中学生・居住地区別)



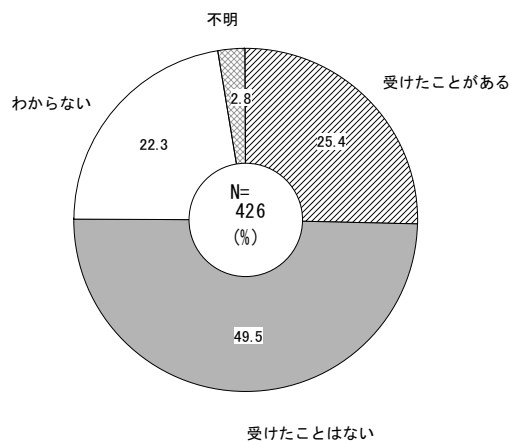
いじめを受けたときの対処法について見てみると、「相手のいじめを無視した（する）」が 52.4%で最も多く、続いて「友だちに相談した（する）」が 27.1%、「がまんした（する）」が 25.6%となっている。

性別で見ると、いずれも「相手のいじめを無視した（する）」が最も多く、男子生徒は続いて「相手に仕返しをした（する）」となっているが、女子生徒では続いて「友だちに相談した（する）」「母親に相談した（する）」となっており、2 番目の対処法には大きな差がある。

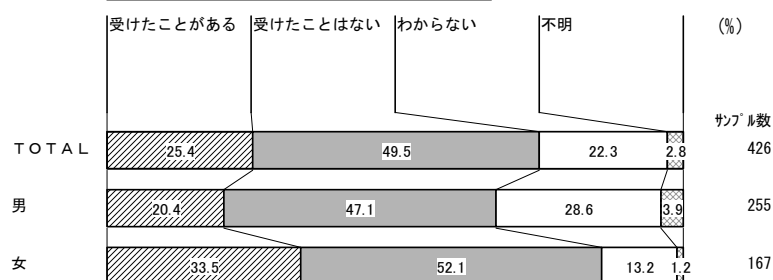


いじめを受けた経験について高校生に聞いたところ、「受けたことがある」は25.4%となっている。性別で見ると、女子生徒がいじめを受けた割合（33.5%）がやや大きくなっている。居住地区別で見ると、地域による大きな違いはない。

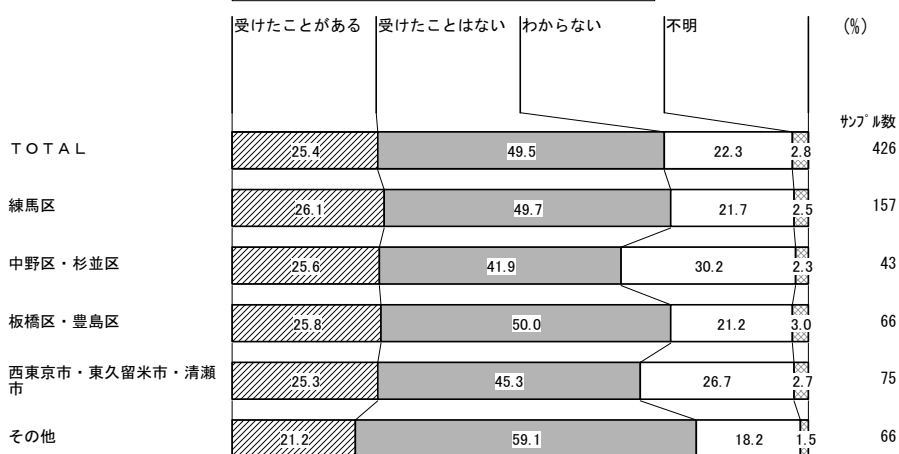
いじめを受けた経験(高校生)



いじめを受けた経験(高校生・性別)

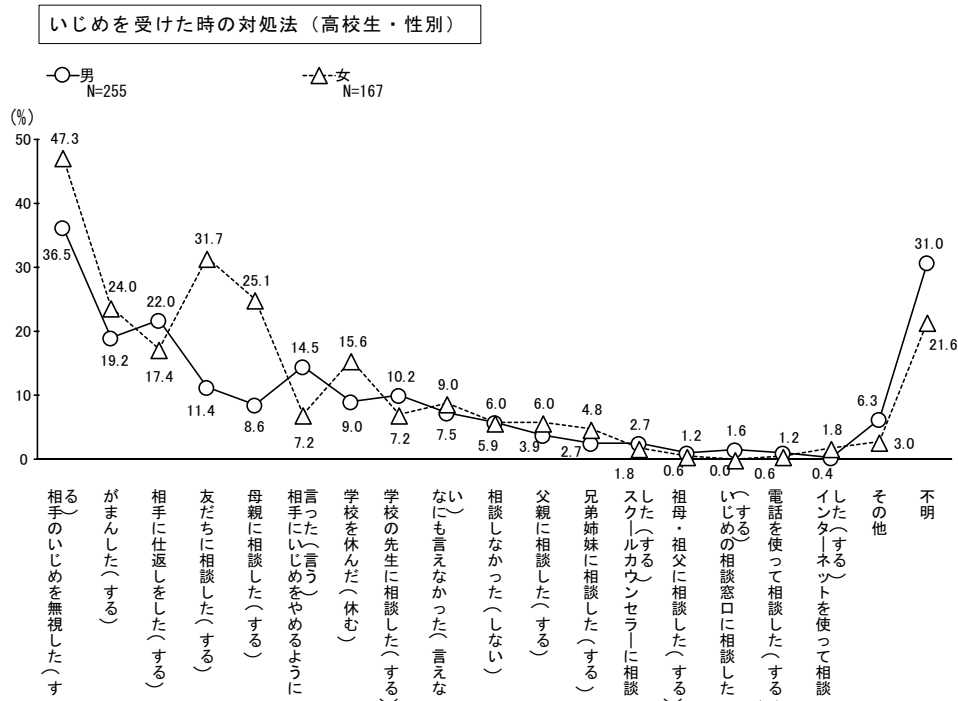
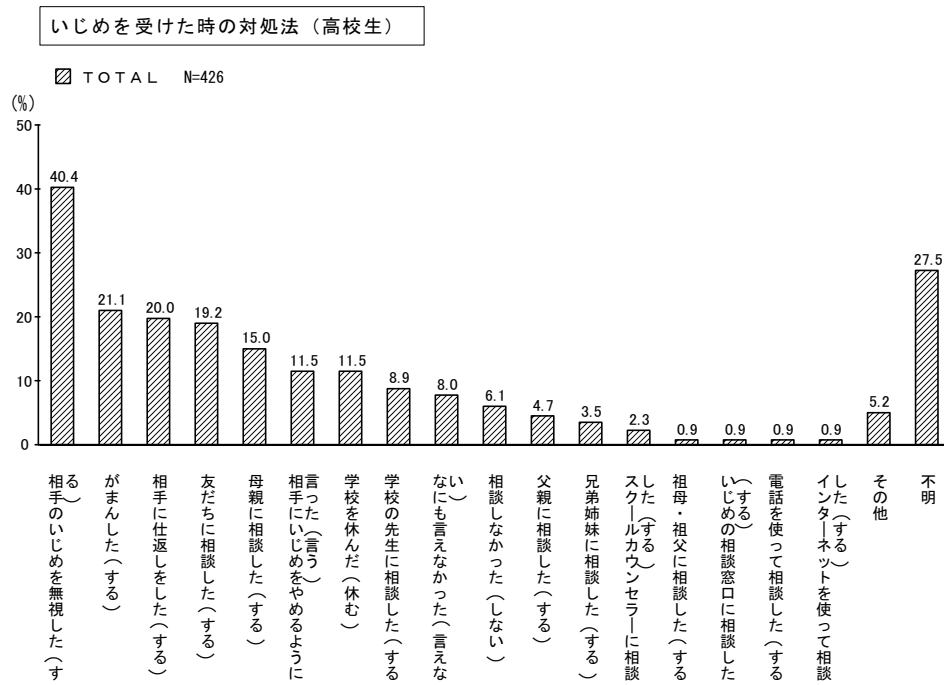


いじめを受けた経験(高校生・居住地別)



いじめを受けたときの対処法について見てみると、「相手のいじめを無視した（する）」が 40.4%で最も多く、続いて「がまんした（する）」が 21.1%、「相手に仕返しをした（する）」が 20.0%となっている。また「不明（無回答）」も多くなっている。

性別で見ると、男女共に「相手のいじめを無視した（する）」が最も多く、女子生徒では「友だちに相談した（する）」「母親に相談した（する）」が男子生徒より多い。



問12 あなたはいじめをしたことがありますか。

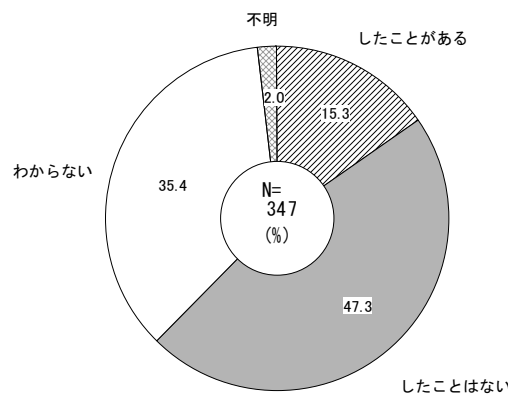
問12 (1) いじめをしたとき(した後)はどんな気分がしましたか。(複数回答)

いじめをした経験について中学生に聞いたところ、「したことがある」は15.3%、また「わからない」も35.4%となっている。

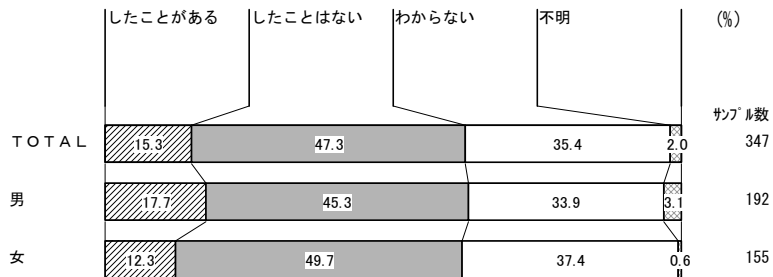
性別で見ると男子生徒がいじめをした経験(17.7%)がやや多くなっている。

居住地区別で見ると、「大泉」と「光が丘」でいじめをした経験がやや大きくなっている。

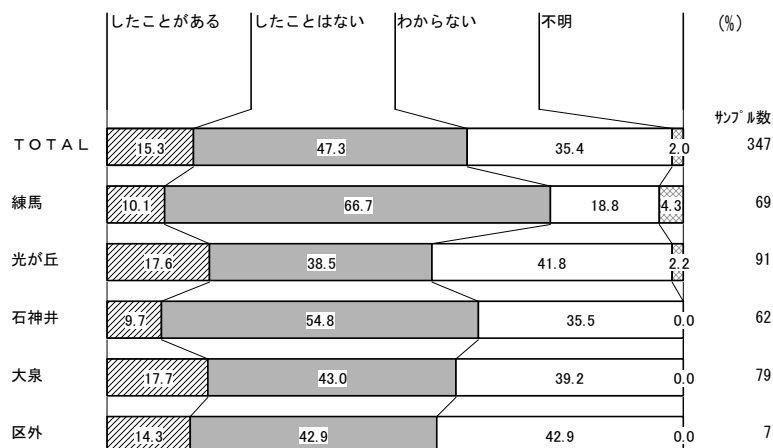
いじめの経験(中学生)



いじめの経験(中学校・性別)

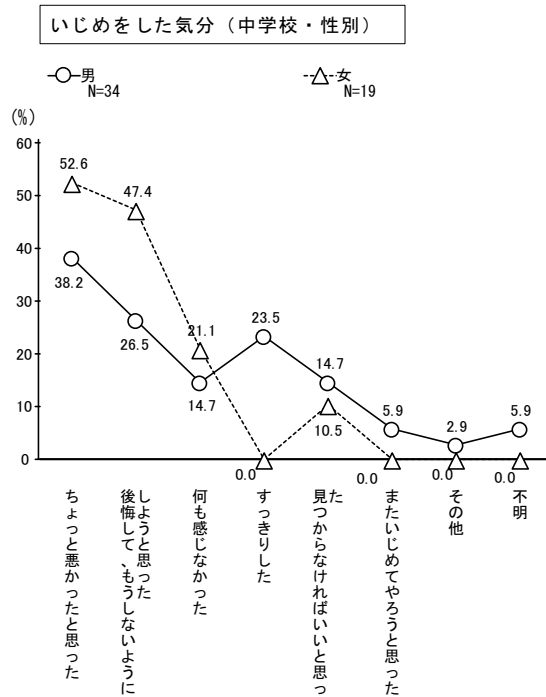
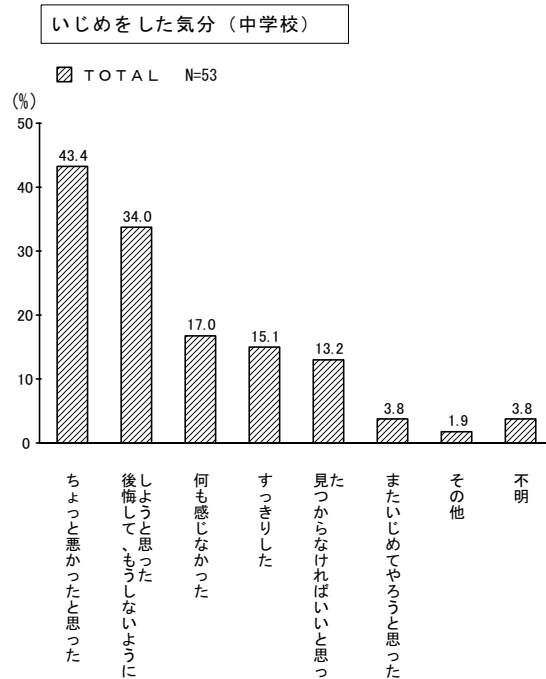


いじめの経験(中学校・居住地区別)



いじめを「したことがある」と回答した人に、その気分を聞いたところ、「ちょっと悪かったと思った」が43.4%で最も多く、続いて「後悔して、もうしないようにしようと思った」が34.0%となっている。

ただし性別で見ると、「すっきりした」なども男子生徒で多くなっている。

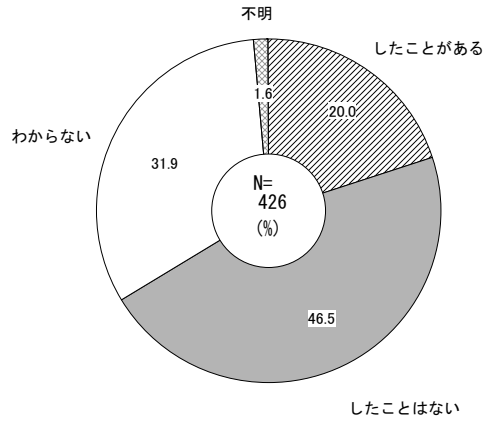


いじめをした経験について高校生に聞いたところ、「したことがある」は20.0%、また「わからない」も31.9%となっている。

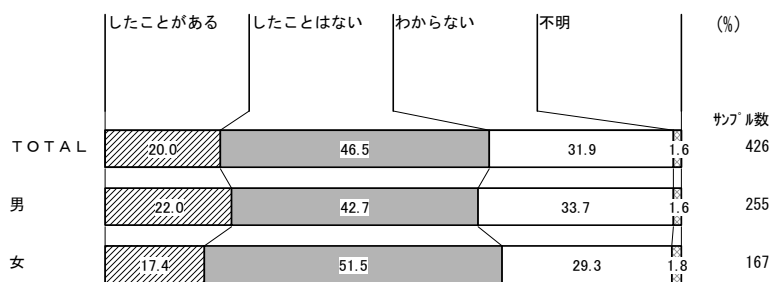
性別で見ると男子生徒がいじめをした経験(22.0%)がやや多くなっている。

居住地区別に見ると、「西東京市・東久留米市・清瀬市」と「中野区・杉並区」などでいじめをしたことがある割合がやや大きい。

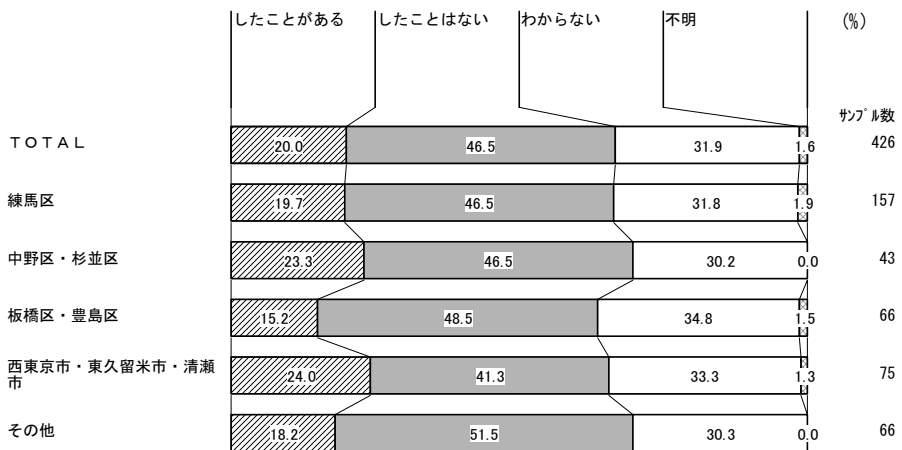
いじめの経験(高校生)



いじめの経験(高校生・性別)

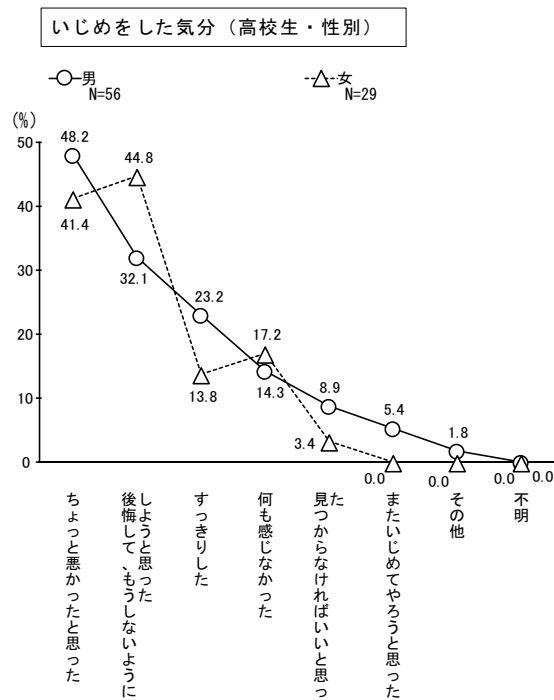
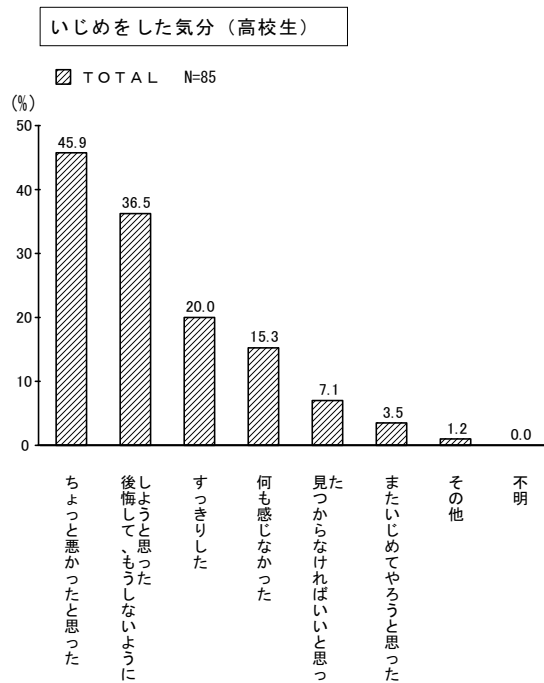


いじめの経験(高校生・居住地別)



いじめを「したことがある」と回答した人に、その気分を聞いたところ、「ちょっと悪かったと思った」が45.9%で最も多く、続いて「後悔して、もうしないようにしようと思った」が36.5%となっている。

ただし性別で見ると、「すっきりした」なども男子生徒でやや多くなっている。

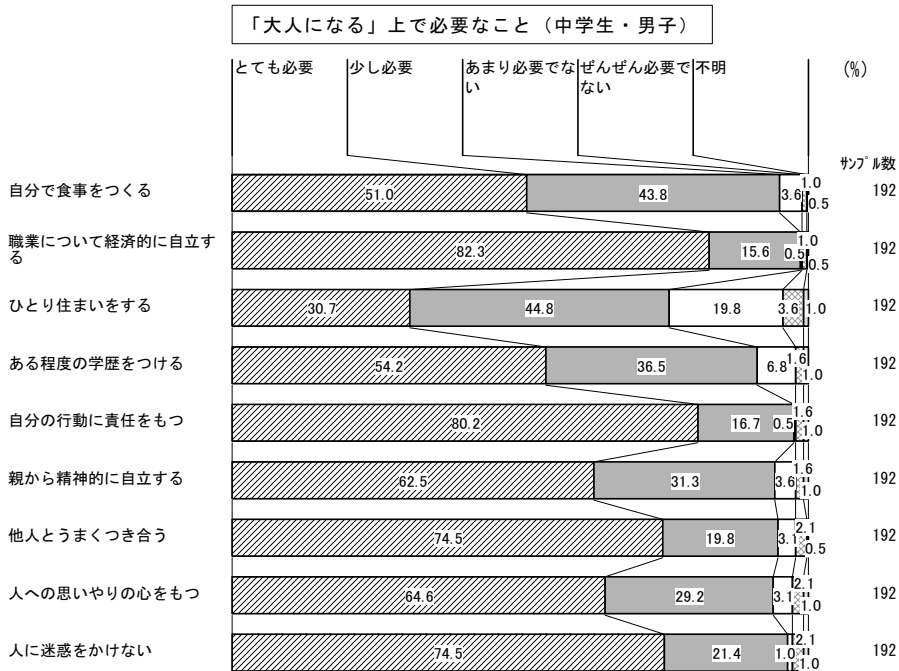
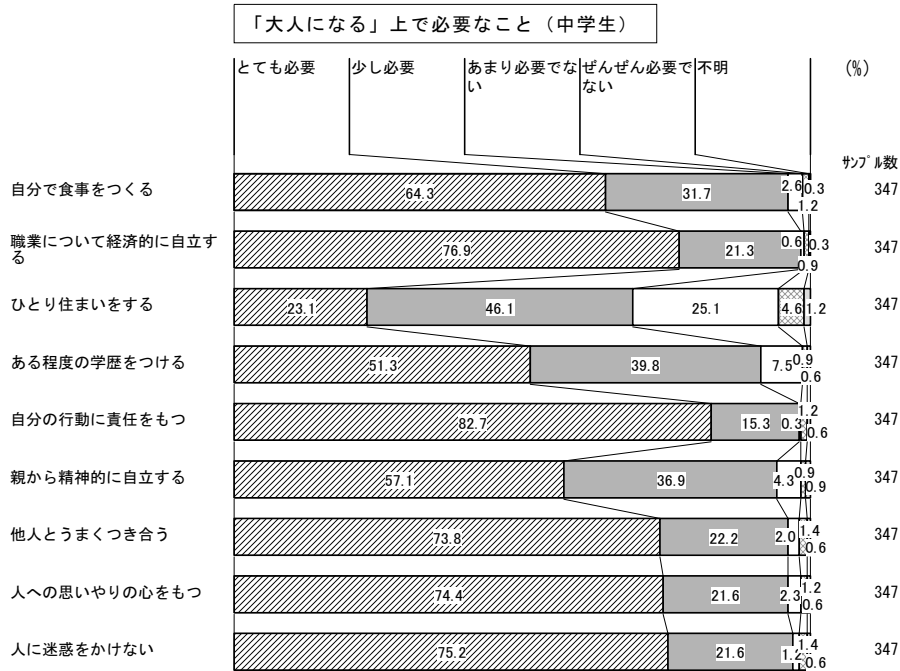


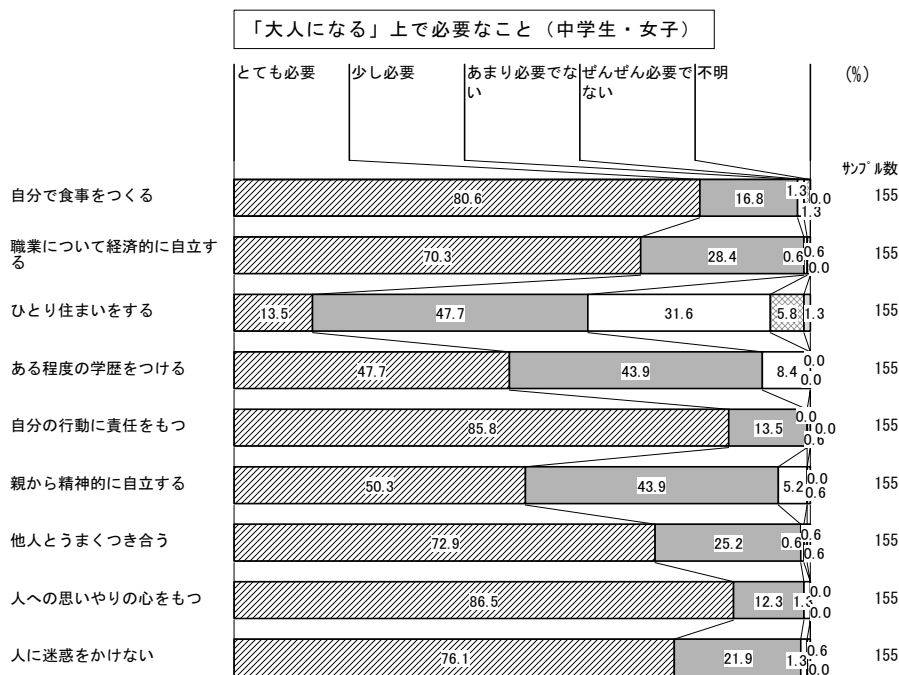
(2) 就労・結婚・育児に関する意識について

問13 あなたは「大人になる」のに、次のようなことはどれくらい必要だと思いますか。最も近いと思うものを1つずつ選んでください。

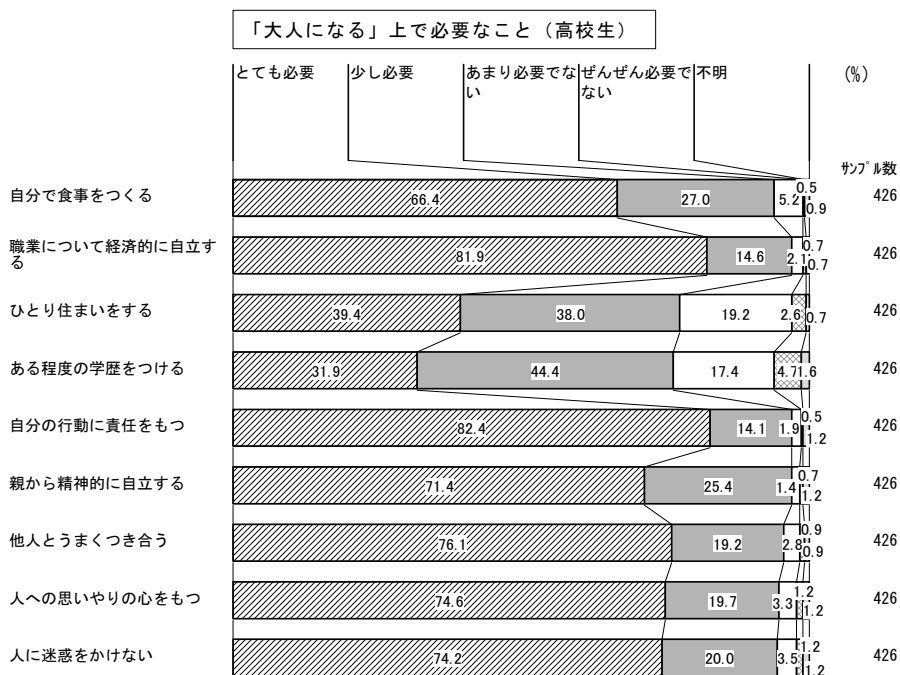
「大人になる」上で必要なことについて様々な視点から中学生に聞いたところ、「自分の行動に責任を持つ」「職業について経済的に自立する」について「とても必要」の割合が大きくなっている。

性別で見ると、男子生徒は「職業について経済的に自立する」「自分の行動に責任を持つ」が多く、女子生徒は「人への思いやりの心をもつ」「自分の行動に責任を持つ」が多くなっている。

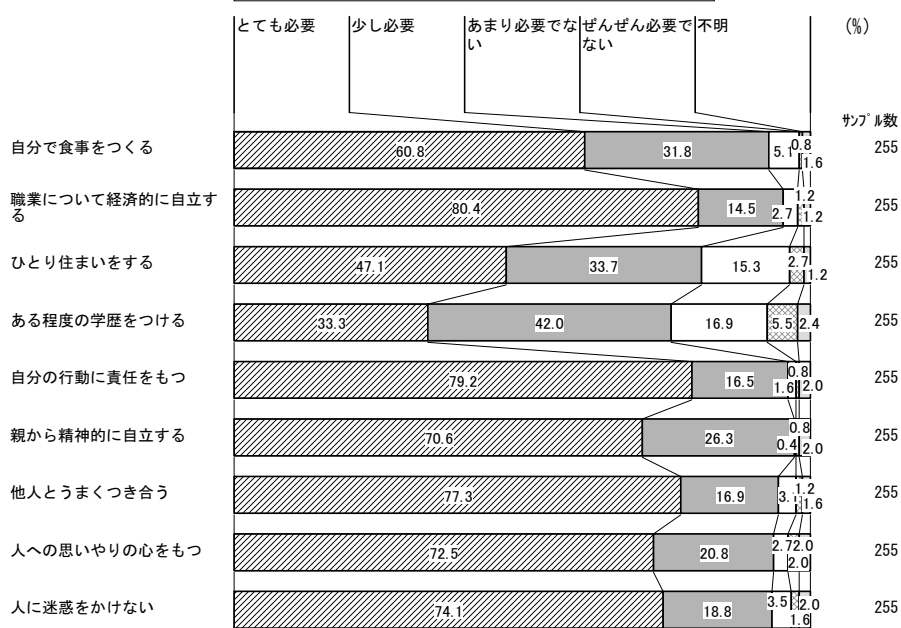




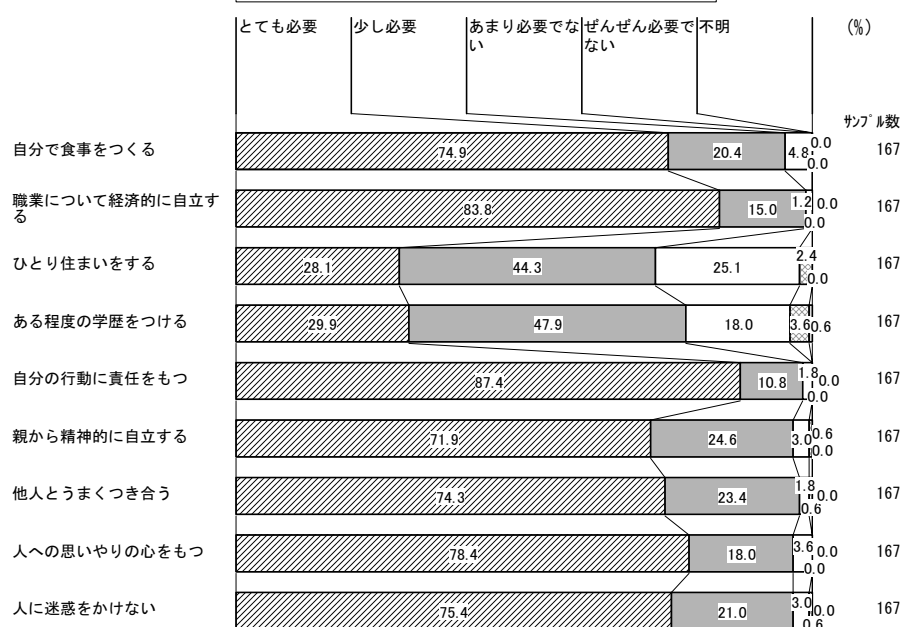
「大人になる」上で必要なことについて様々な視点から高校生に聞いたところ、「自分の行動に責任を持つ」「職業について経済的に自立する」などについて「とても必要」の割合が大きくなっている。性別で見ると、男女共に「職業について経済的に自立する」「自分の行動に責任を持つ」が多くなっている。



「大人になる」上で必要なこと（高校生・男性）



「大人になる」上で必要なこと（高校生・女性）



問 1 4 あなたは将来どんな仕事につきたいですか。

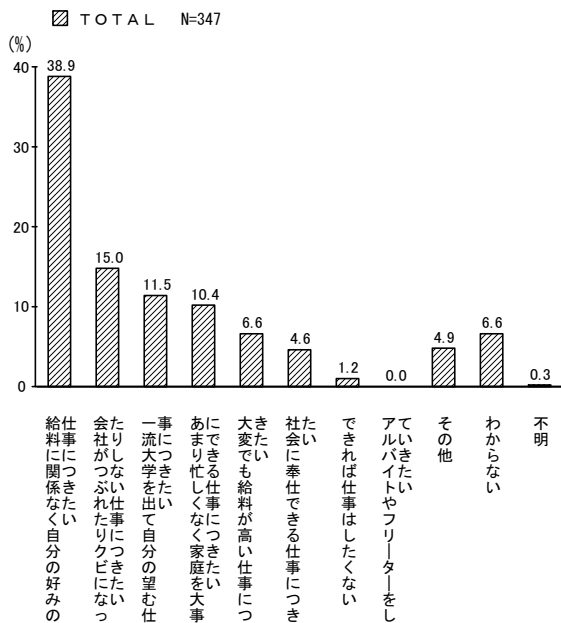
将来つきたい仕事について中学生に聞いたところ、「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が 38.9%で最も多くなっている。

性別で見ると、いずれも「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が最も多く、男子生徒は「会社がつぶれたりクビになったりしない仕事につきたい」なども、女子生徒と比べて多くなっている。

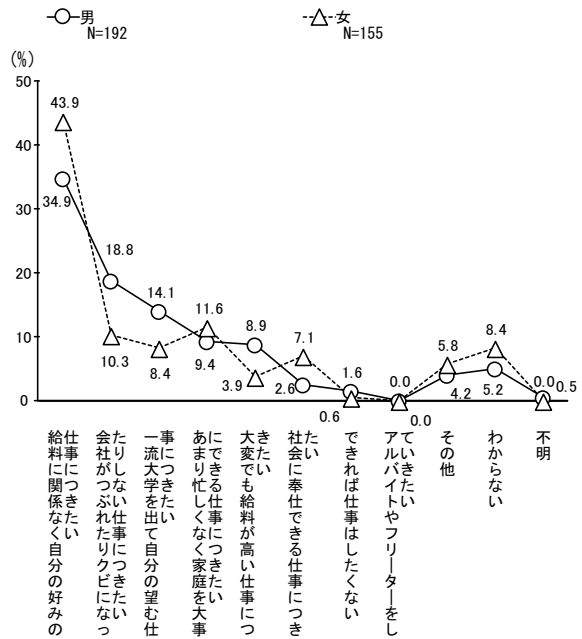
将来つきたい仕事について高校生に聞いたところ、「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が 37.6%で最も多くなっている。

性別で見ると、いずれも「給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい」が最も多くなっており、性別による大きな違いはない。

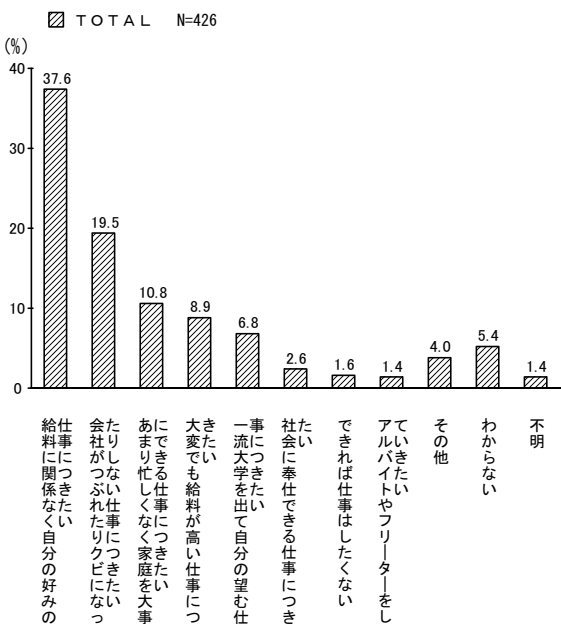
将来つきたい仕事（中学生）



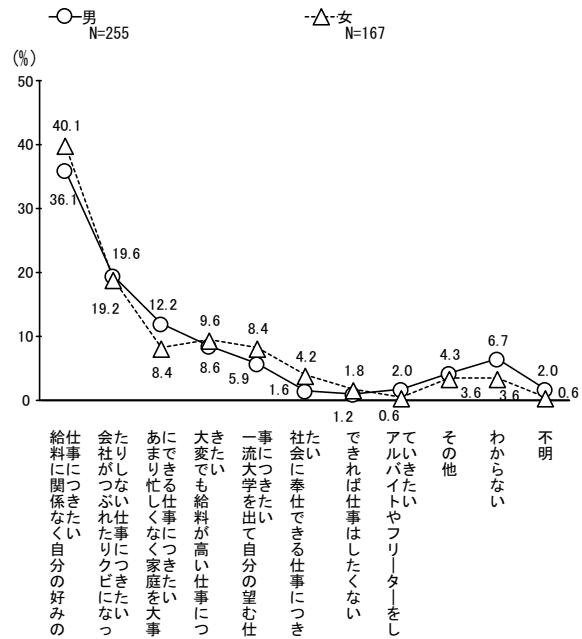
将来つきたい仕事（中学生・性別）



将来つきたい仕事（高校生）

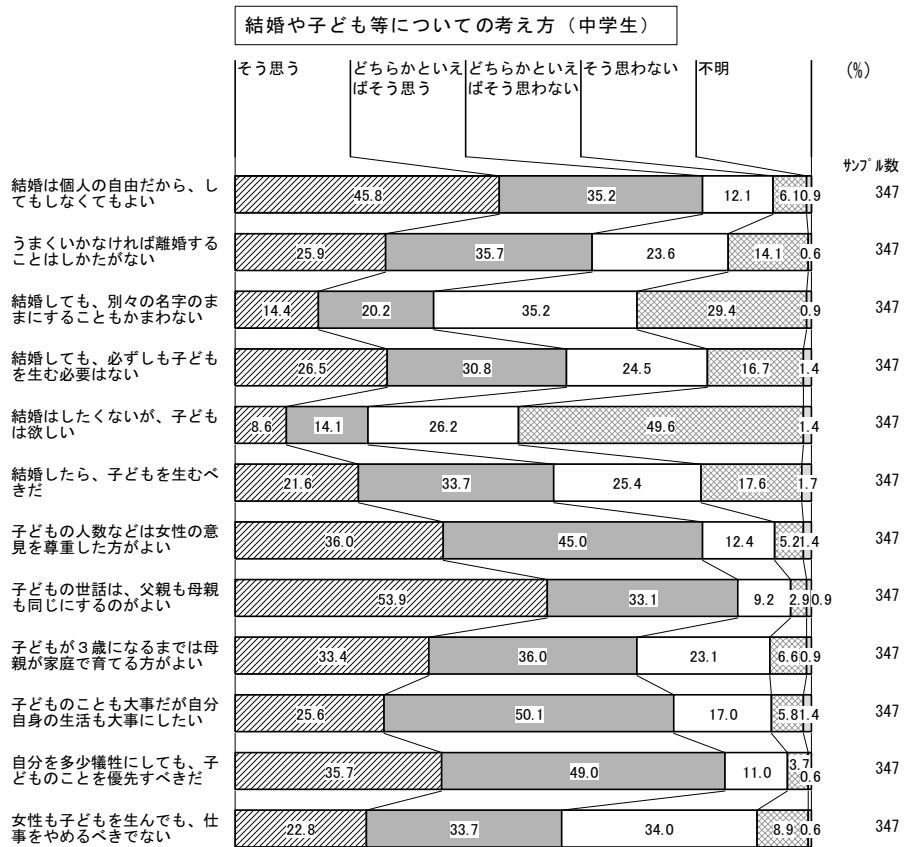


将来つきたい仕事（高校生・性別）

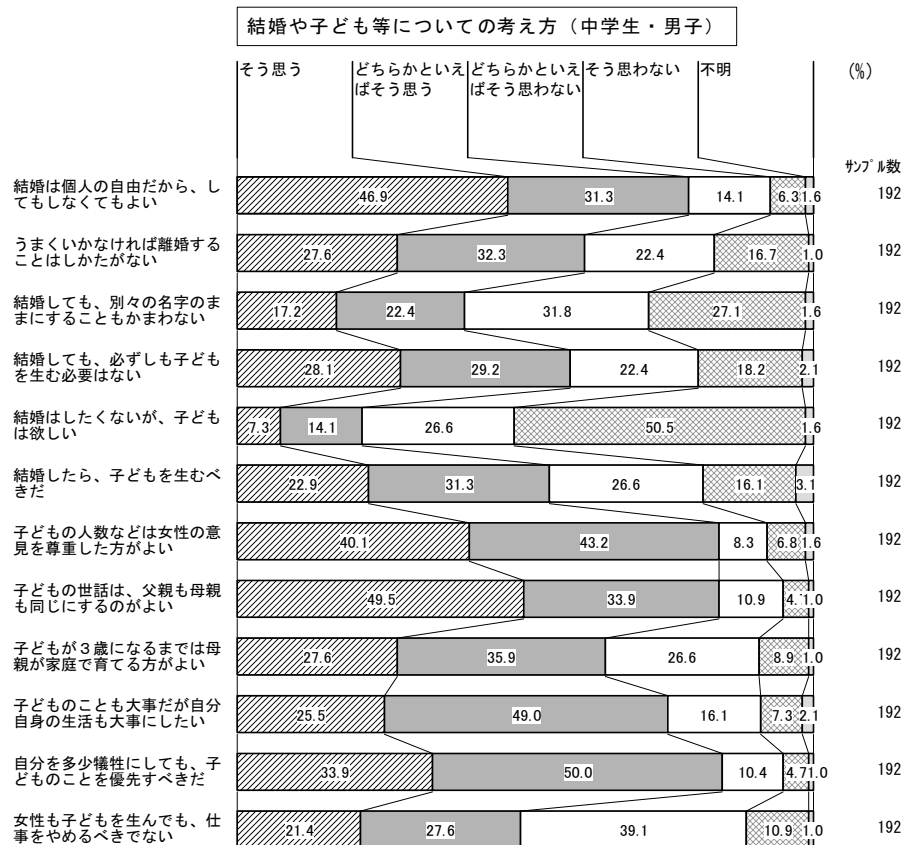


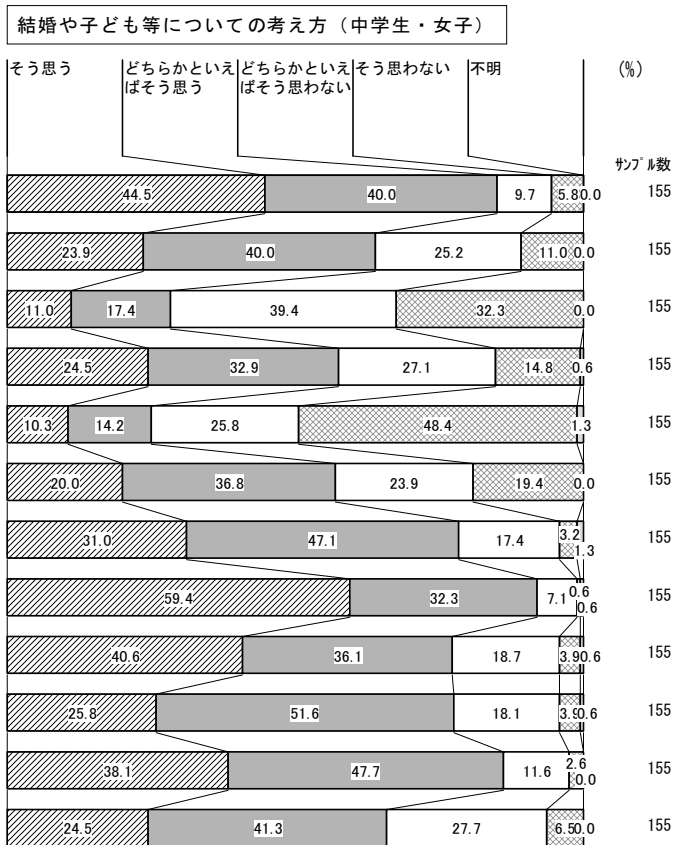
問 15 あなたは次のような考え方について、どう思いますか。

結婚や子ども等についての考え方について、様々な視点から中学生に聞いたところ、「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのが良い」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の割合が大きくなっている。

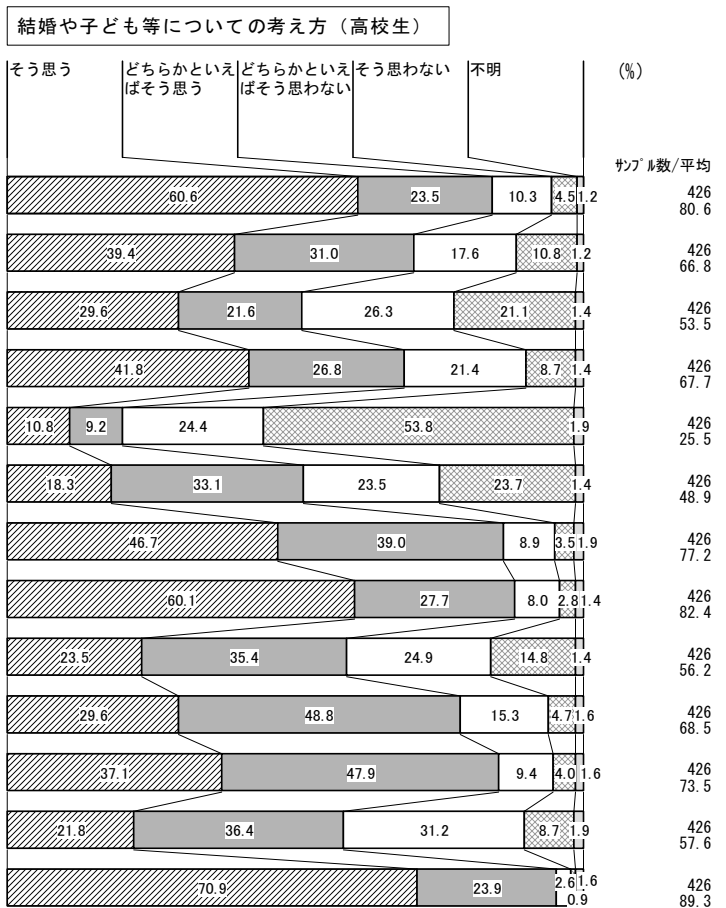


性別で見ると、男女共に「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのが良い」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の割合が大きくなっている。





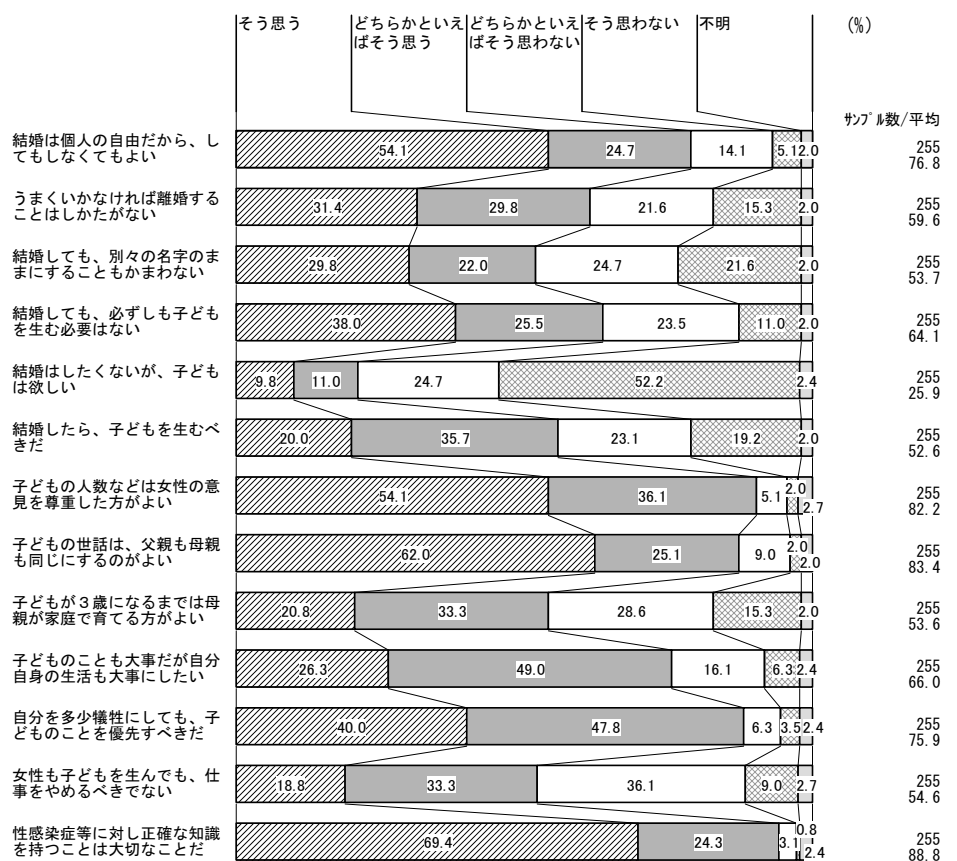
結婚や子ども等についての考え方について、様々な視点から高校生に聞いたところ、「性感染症等に対し正確な知識を持つことは大切なことだ」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」、そして「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい」についての「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の「そうは思わない」の割合が大きくなっている。



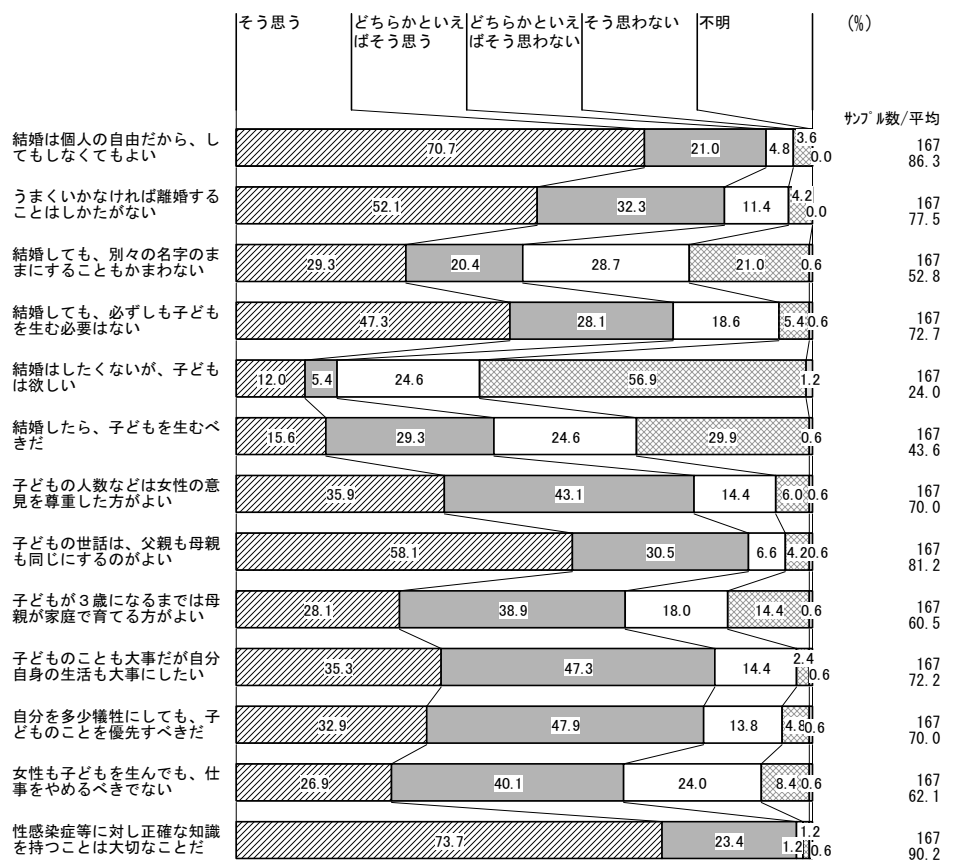
性別で見ると、男女共に「性感染症等に対し正確な知識を持つことは大切なことだ」「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのが良い」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」の「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の「そうは思わない」の割合が大きくなっている。

また男子生徒は「子どもの人数などは女性の意見を尊重したほうがよい」についても「そう思う」の割合が大きくなっている。

結婚や子ども等についての考え方（高校生・男子）



結婚や子ども等についての考え方（高校生・女子）



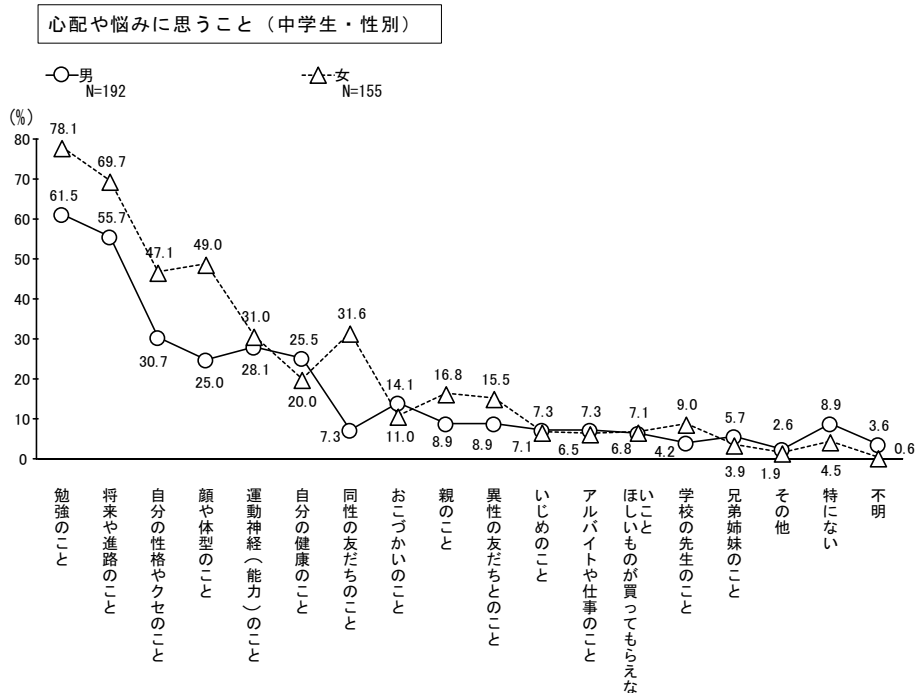
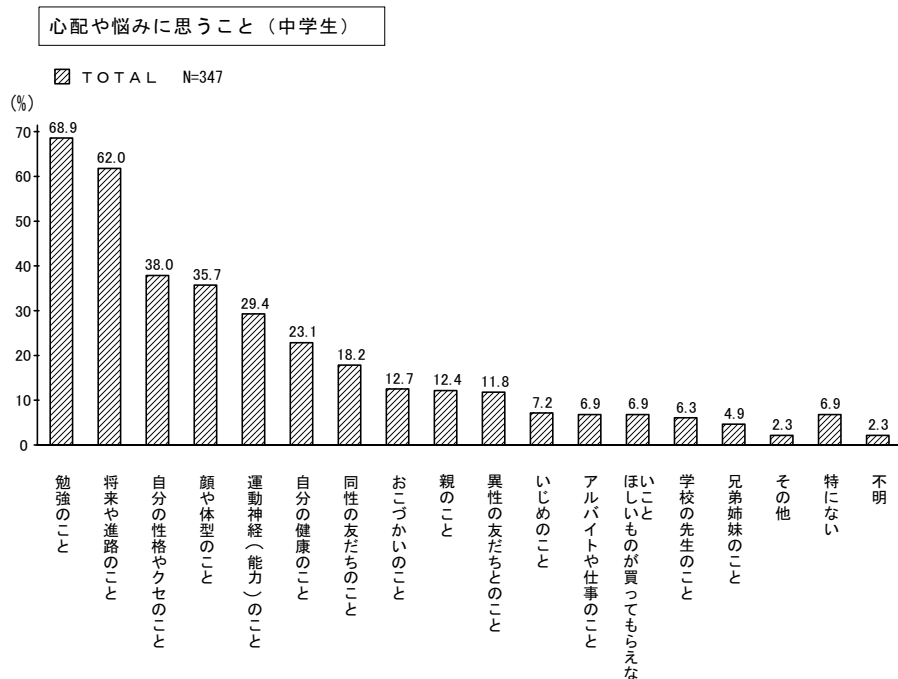
(3) 心配、悩みについて

問16 あなたは心配や悩みに思うことは、どのようなことですか。(複数回答)

問17 あなたは、これまで心配や悩みがあったときに、誰に相談しましたか。(複数回答)

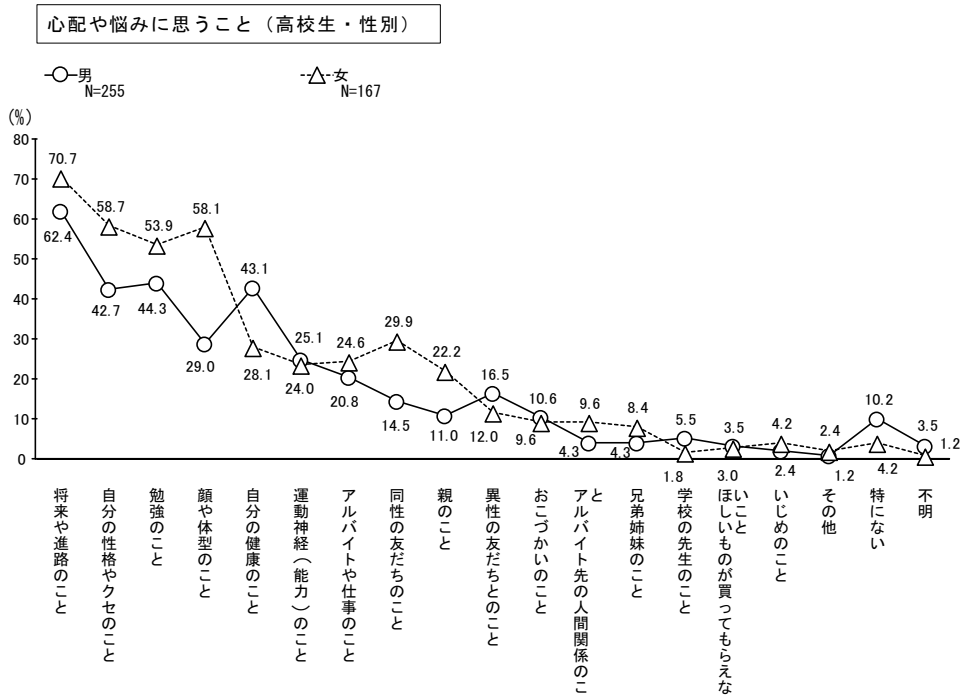
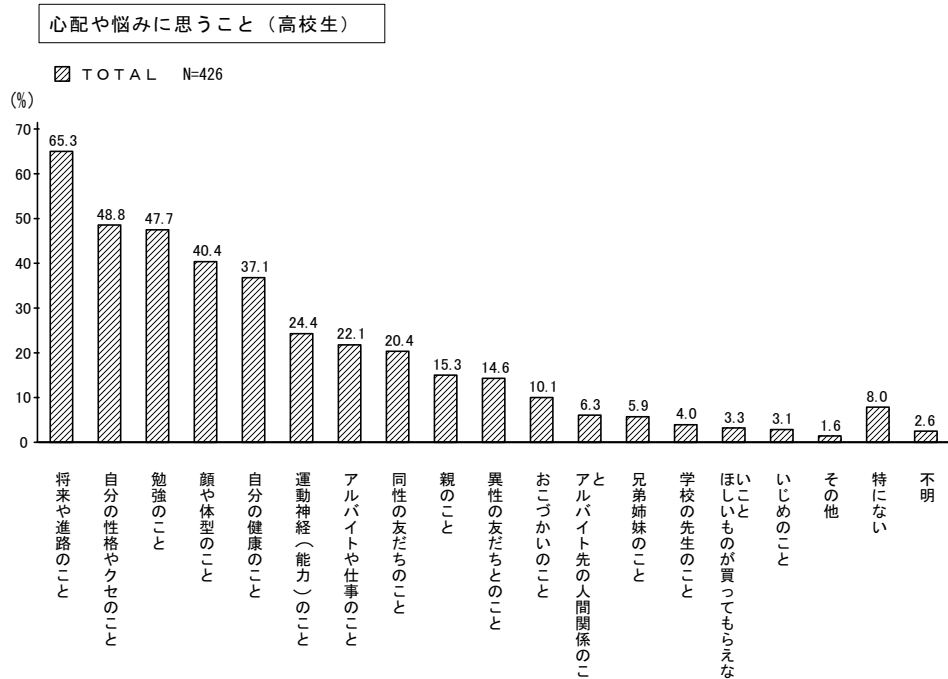
心配な悩みに思うことについて中学生に聞いたところ、「勉強のこと」が68.9%で最も多く、続いて「将来や進路のこと」が62.0%、「自分の性格やクセのこと」が38.0%となっている。

性別に見てみると、男女共に「勉強のこと」が最も多く、全体的には女子生徒の方がより多くの項目を選択している。特に「顔や体型のこと」「自分の性格やクセのこと」「同性の友だちとのこと」については男子生徒と比べて多くなっている。



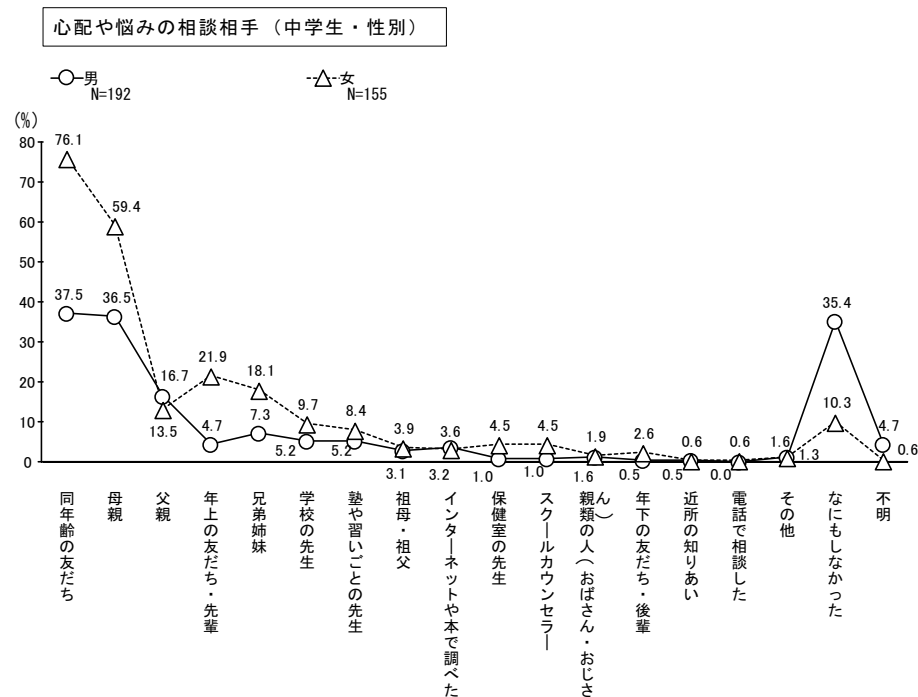
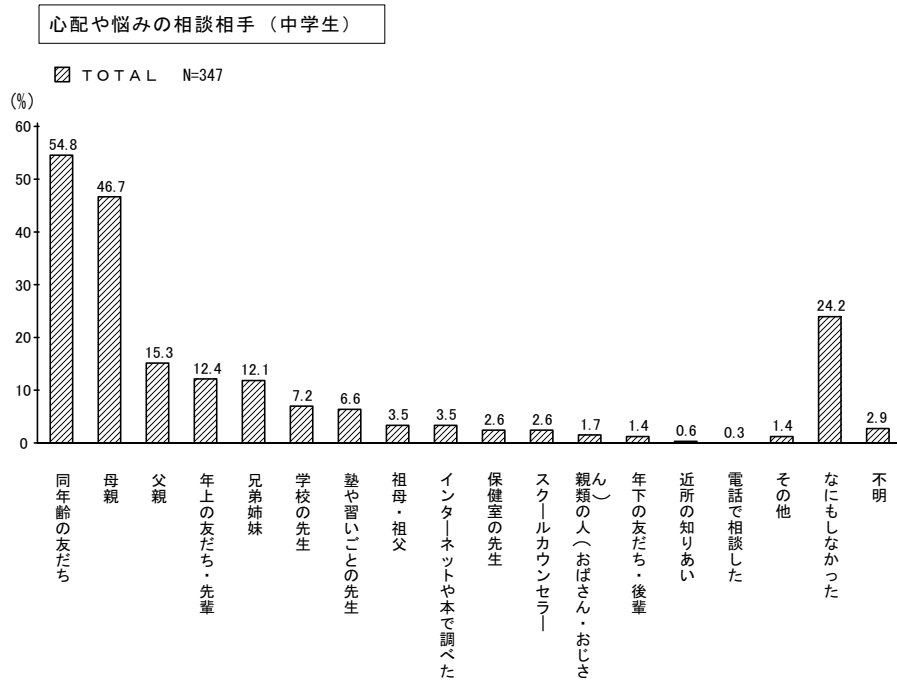
心配な悩みに思うことについて高校生に聞いたところ、「将来や進路のこと」が65.3%で最も多く、続いて「自分の性格やクセのこと」が48.8%、「勉強のこと」が47.7%となっている。

性別に見てみると、男女共に「将来や進路のこと」が最も多く、女子生徒の方がより多くの項目を選択している。特に「自分の性格やクセのこと」「顔や体型のこと」「同性の友だちとのこと」については男子生徒と比べて多くなっている。



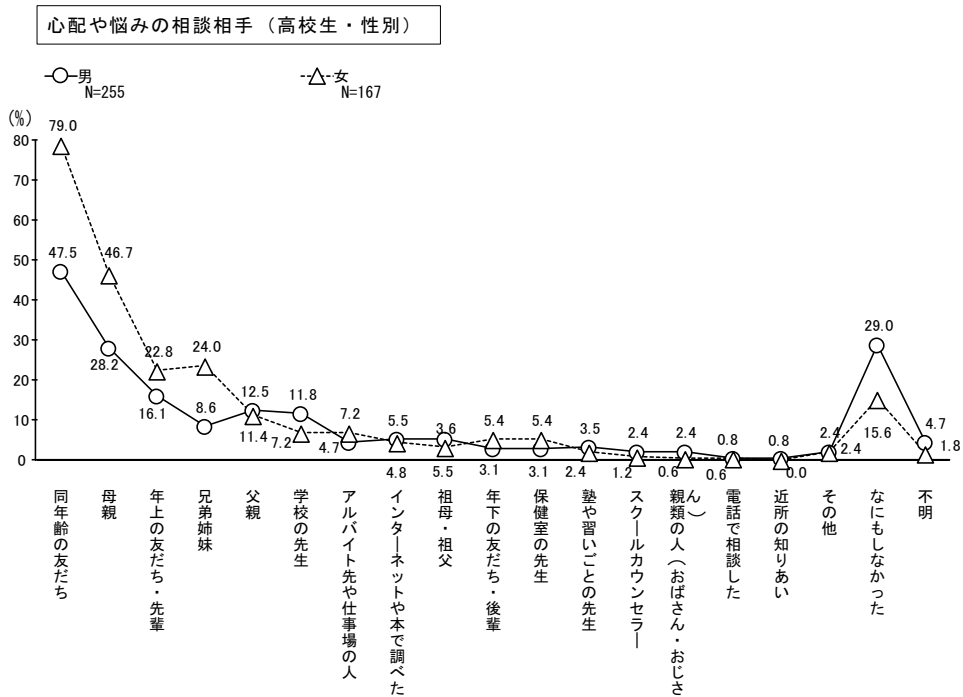
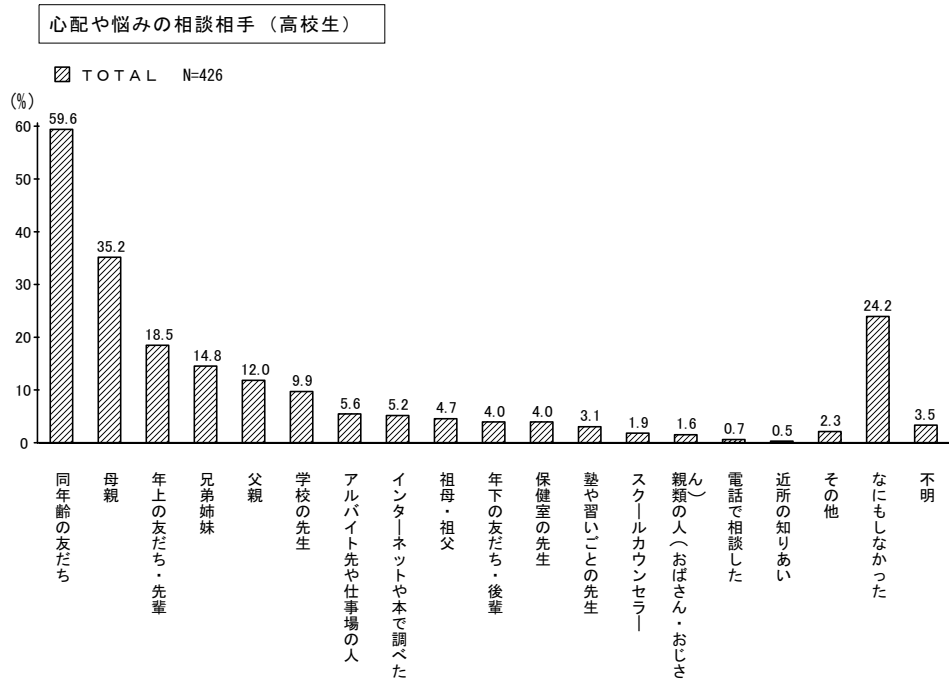
心配や悩みの相談相手について中学生に聞いたところ、「同年齢の友だち」が54.8%で最も多く、続いて「母親」が46.7%となっている。

性別で見ると、男女共に「同年齢の友だち」が最も多く、女子生徒の方がより多くの項目を選択している。一方「なにもしなかった」については男子生徒の方が多くなっている。



心配や悩みの相談相手について高校生に聞いたところ、「同年齢の友だち」が59.6%で最も多くなっており、続いて「母親」が35.2%、「年上の友だち・先輩」が18.5%となっている。

性別で見ると、男女共に「同年齢の友だち」が最も多くなっているが、全体的には女子生徒の回答の方が多くなっている。一方「なにもしなかった」については男子生徒の方が多くなっている。



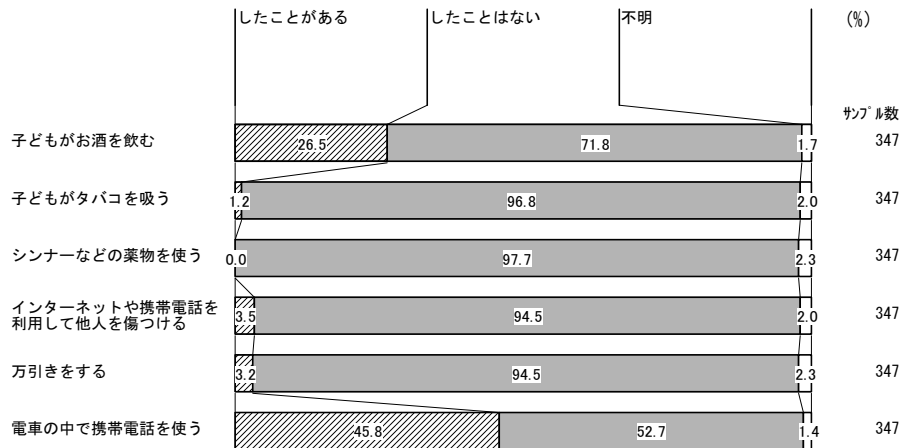
(4) 社会道徳、交通道徳について

問18(1) あなたは、次のようなことをしたことがありますか。

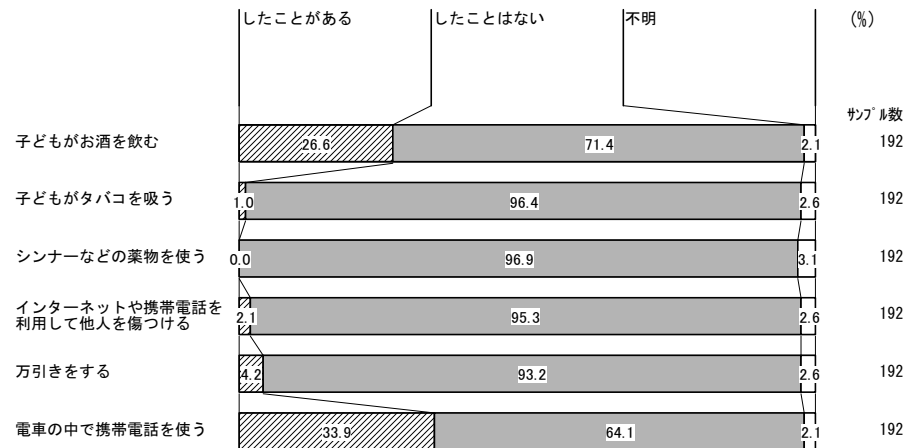
問18(2) また、どのくらいいけないと思いますか。

中学生にお酒やタバコ等の経験について聞いたところ、「電車の中で携帯電話を使う」そして「子どもがお酒を飲む」については「したことがある」割合が大きくなっている。性別で見ると、男女共に「電車の中で携帯電話を使う」そして「子どもがお酒を飲む」が多くなっており、特に『電車の中で携帯電話を使う』については女子生徒が多くなっている。

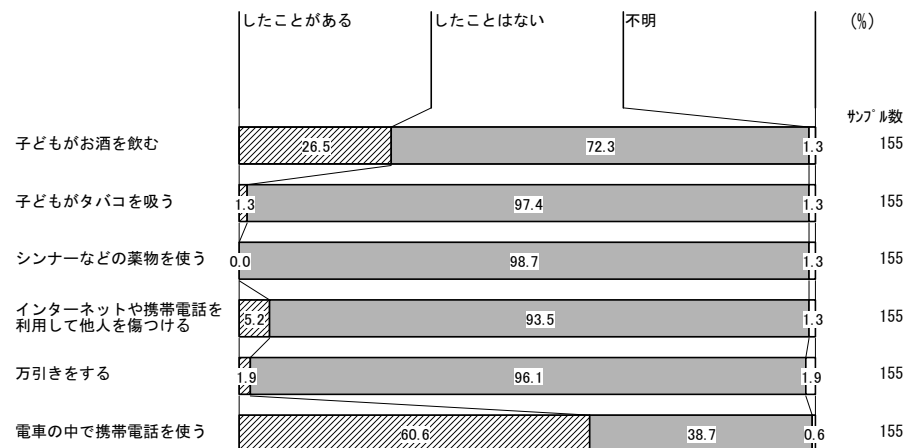
お酒やタバコ等の経験（中学生）



お酒やタバコ等の経験（中学生・男子）

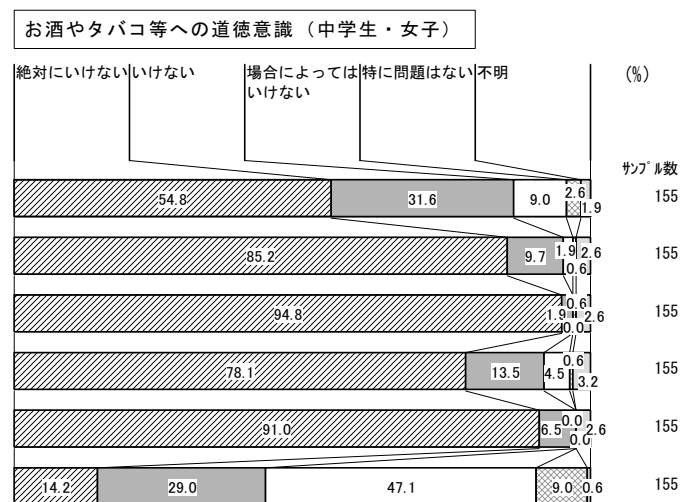
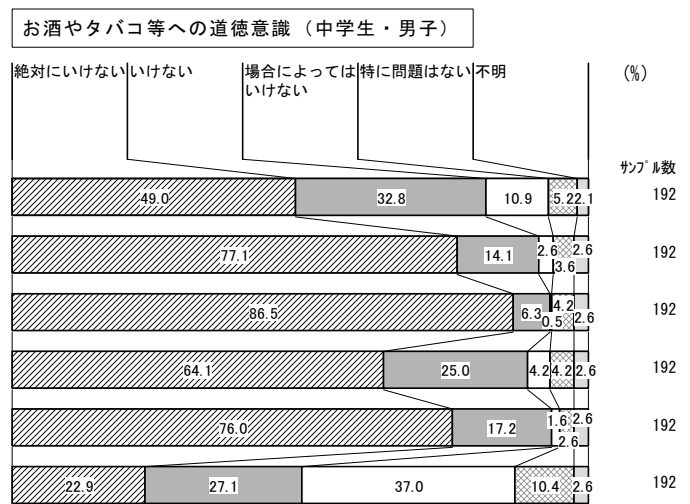
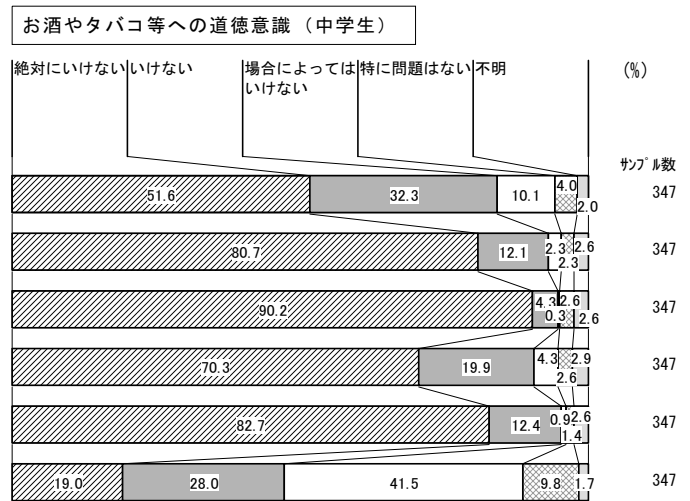


お酒やタバコ等の経験（中学生・女子）



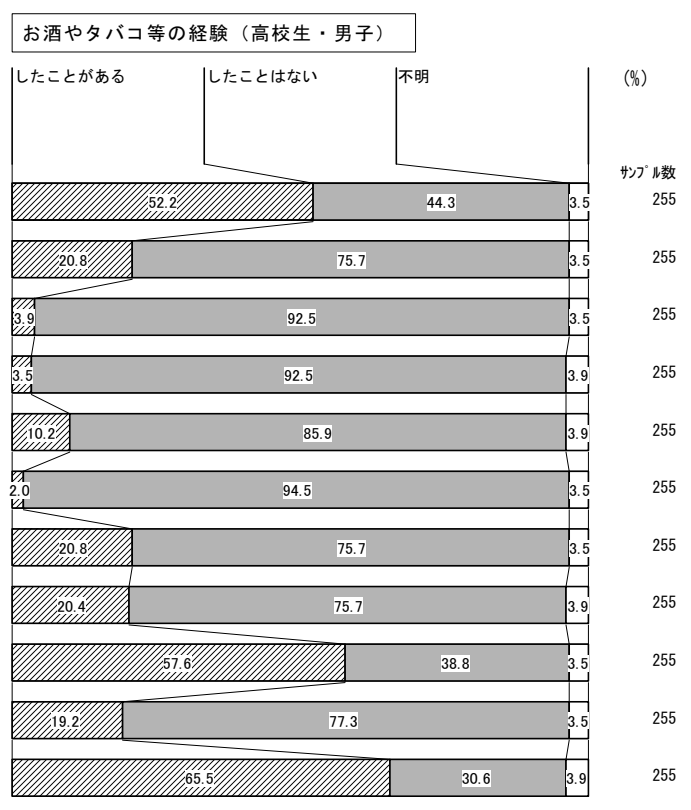
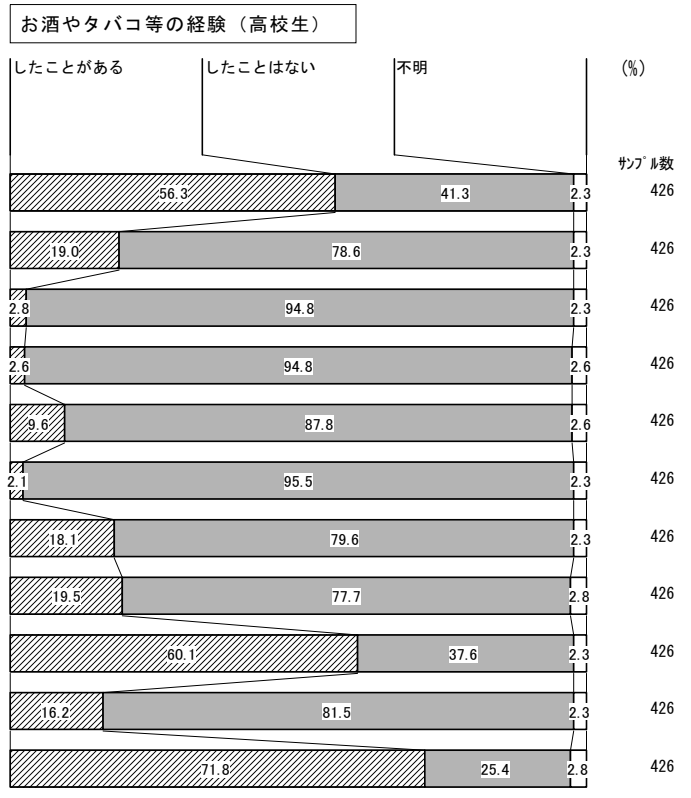
そこで同じ項目でお酒やタバコ等への道徳意識について聞いてみたところ、「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」そして「子どもがタバコを吸う」などについては「絶対にいけない」の割合が大きくなっている。

性別で見ると、男女共に「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」そして「子どもがタバコを吸う」などか多くなっているが、特に女子生徒の意識が高くなっている。

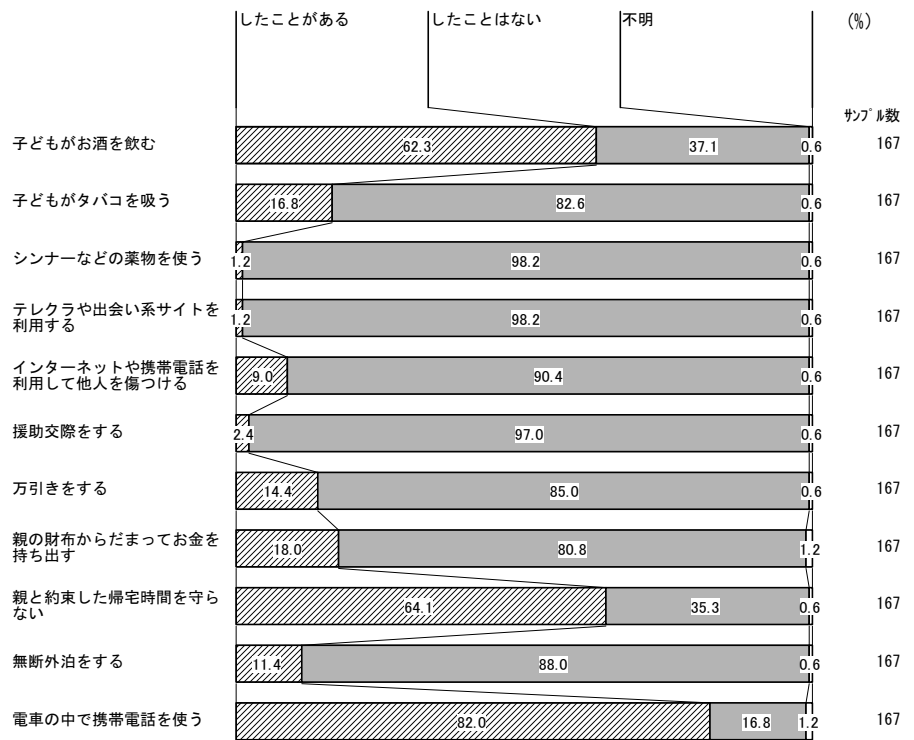


高校生にお酒やタバコ等の経験について聞いたところ、「電車の中で携帯電話を使う」「親と約束した帰宅時間を守らない」、そして「子どもがお酒を飲む」というのは「したことがある」割合が大きくなっている。

性別で見ると、男女共に「電車の中で携帯電話を使う」「親と約束した帰宅時間を守らない」、そして「子どもがお酒を飲む」が多くなっており、特に「電車の中で携帯電話を使う」については女子生徒が多くなっている。



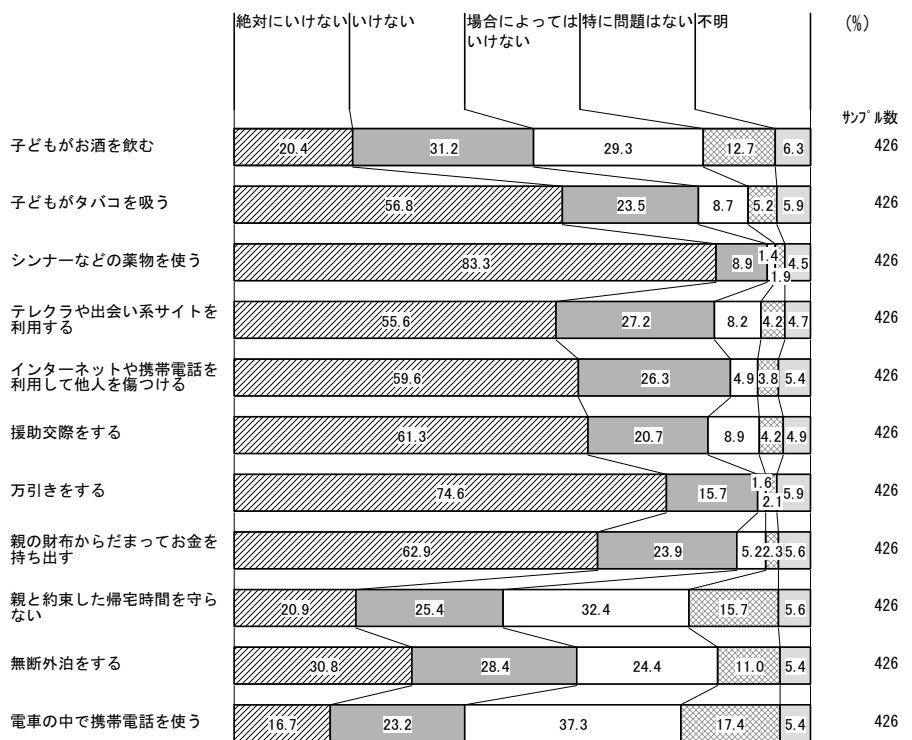
お酒やタバコ等の経験（高校生・女子）



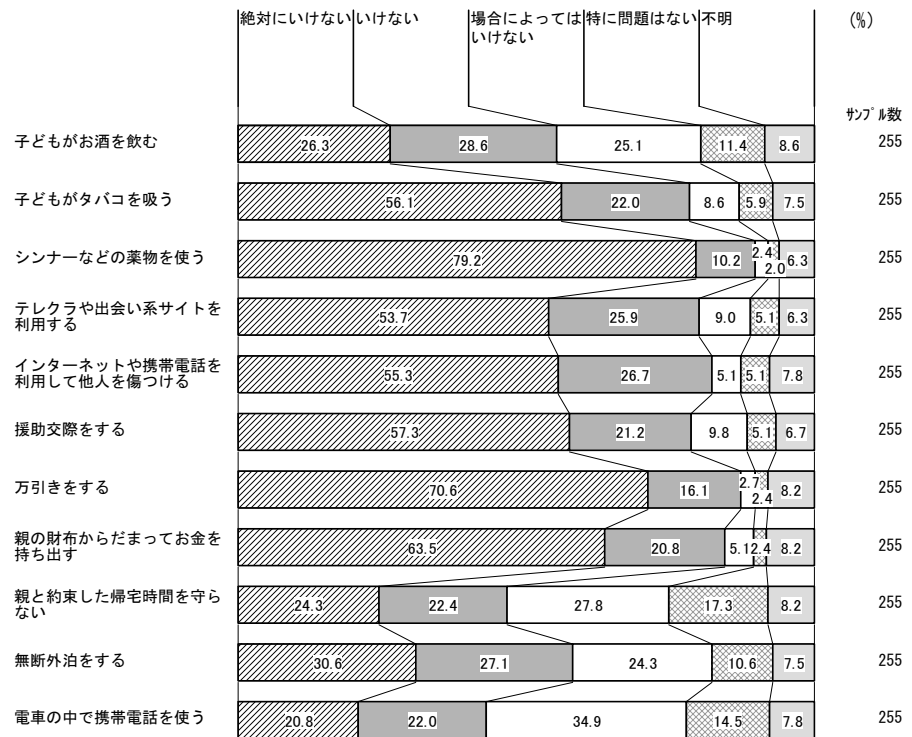
そこで同じ項目でお酒やタバコ等への道徳意識について聞いてみたところ、「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」そして「親の財布からだまってお金を持ち出す」などについては「絶対にいけない」の割合が大きくなっている。

性別で見ると、男女共に「シンナーなどの薬物を使う」「万引きをする」などが多くなっているが、特に女子生徒の意識が高くなっている。

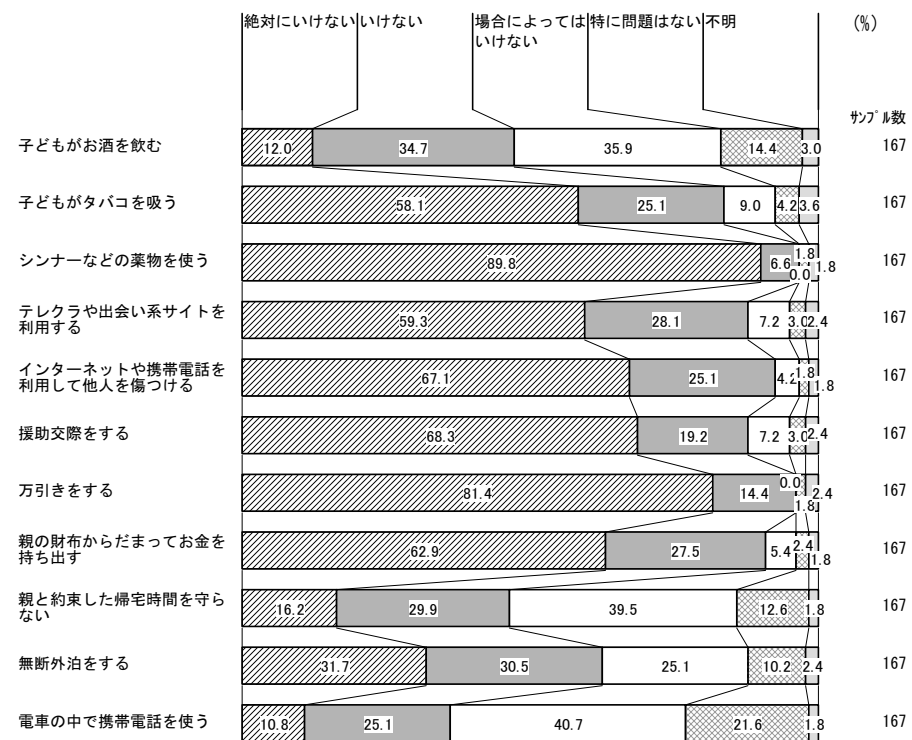
お酒やタバコ等への道徳意識（高校生）



お酒やタバコ等への道徳意識（高校生・男子）

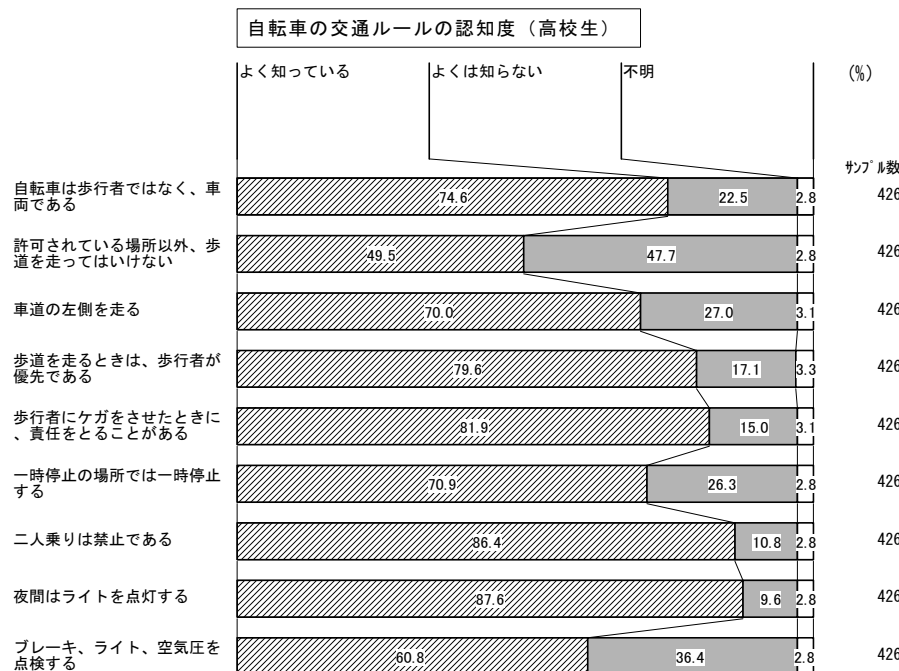
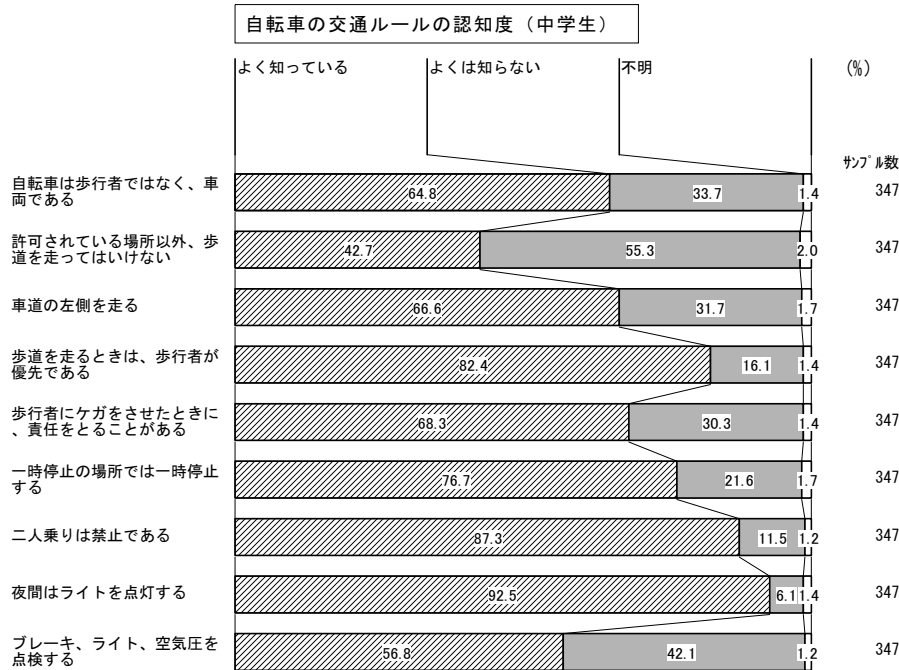


お酒やタバコ等への道徳意識（高校生・女子）

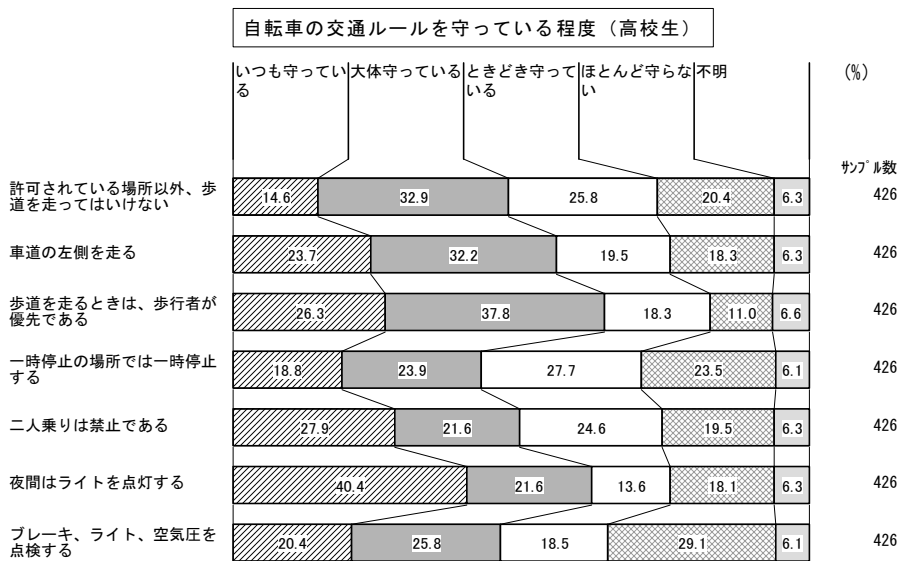
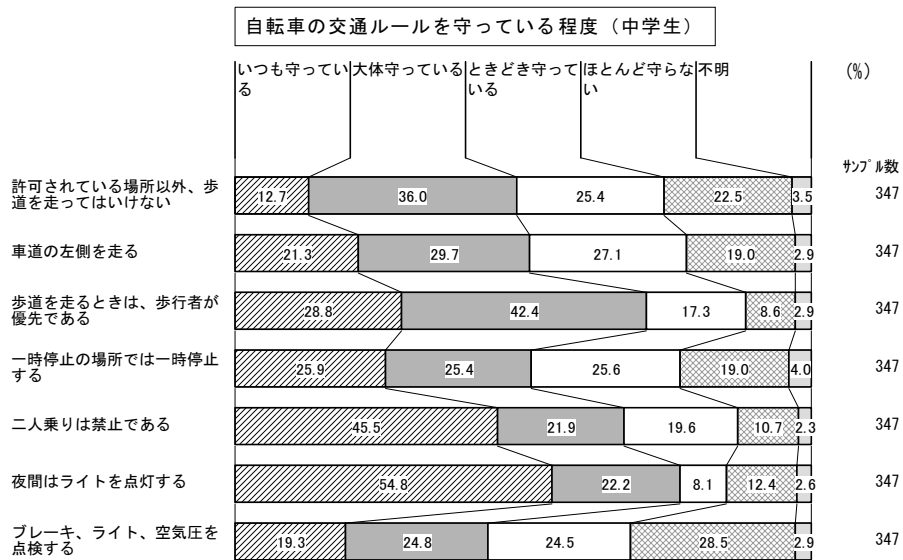


問19(1) あなたは、次の自転車の交通ルールを、よく知っていますか。
 問19(2) また、どのくらい守っていますか。

自転車の各交通ルールの認知度について聞いたところ、中学生、高校生共に「二人乗りは禁止である」「夜間はライトを点灯する」などのルールをよく知っているが、「許可されている場所以外、歩道を走ってはいけない」などは認知が不足している。



自転車の各交通ルールを守っている状況についてそれぞれ聞いたところ、中学生、高校生共に「歩道を走るときは、歩行者が優先である」や「夜間はライトを点灯する」などについては比較的守っているが、「ブレーキ、ライト、空気圧を点検する」「許可されている場所以外、歩道を走ってはいけない」などはあまり守っていない。



(5) 性感染症・薬物について (高校生のみ)

問20 次の性感染症で、あなたが正しく知っているもの(どのような病気で、かかるとどのようなになるか知っているもの)はどれですか。(複数回答)

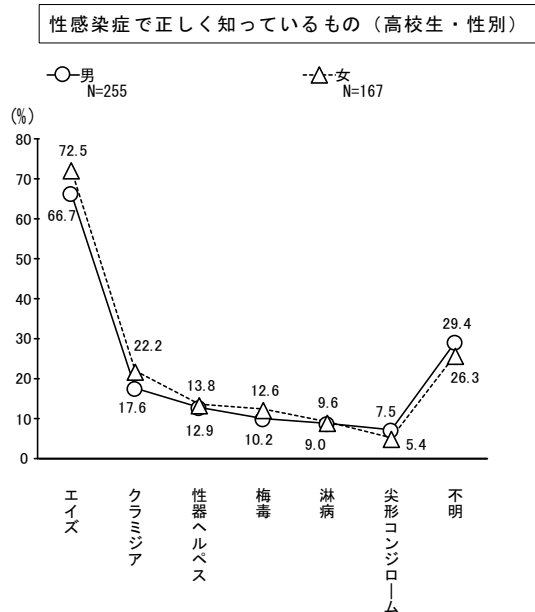
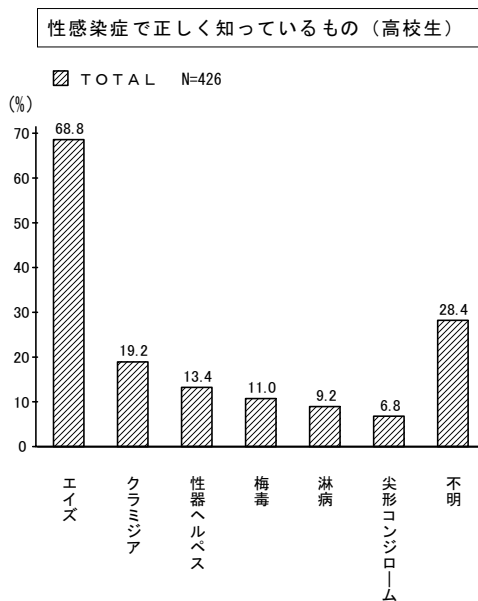
問21 あなたは、性感染症の予防法を知っていますか。

問21(1) 問21で、「1 知っている」と答えた人へ、どんな予防法を知っていますか。

問21(2) 問21で、「1 知っている」と答えた人へ、どこで情報を得ましたか。(複数回答)

性感染症について正しく知っているものについて聞いたところ、「エイズ」が68.8%で最も多く、続いて「クラミジア」が19.2%となっている。

性別で見ると、男女共にほぼ同じ傾向となっているが、女子生徒のほうがやや認知度が高くなっている。



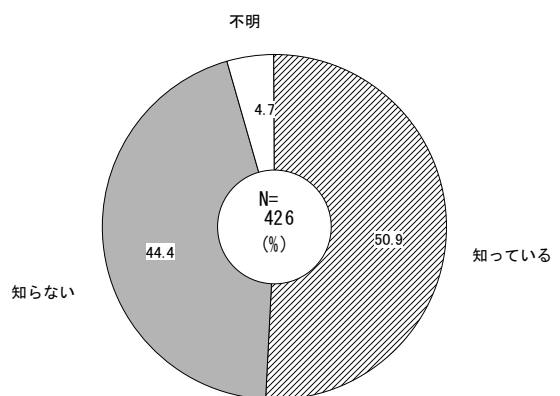
そこで性感染症の予防策について聞いたところ、「知っている」が50.9%となっており、性別では女子生徒の認知度がやや高くなっている。

性感染症の予防策について「知っている」と回答した人に自由回答で具体的に聞いたところ、「コンドーム」が最も多く、続いて「ピル」などとなっており、一部避妊と混同していることが伺える。また「セックスをしない」という回答もいくつか見られた。

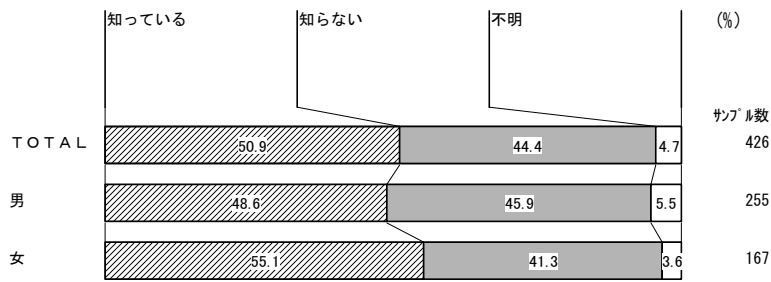
予防法の情報源については「学校の授業」が80.2%で、続いて「本、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなど」が28.6%となっている。

これらの傾向も男女共にほぼ同じであるが、「学校の授業」は女子生徒、「本、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなど」は男子生徒の方が全体的にやや高くなっている。

性感染症の予防策(高校生)

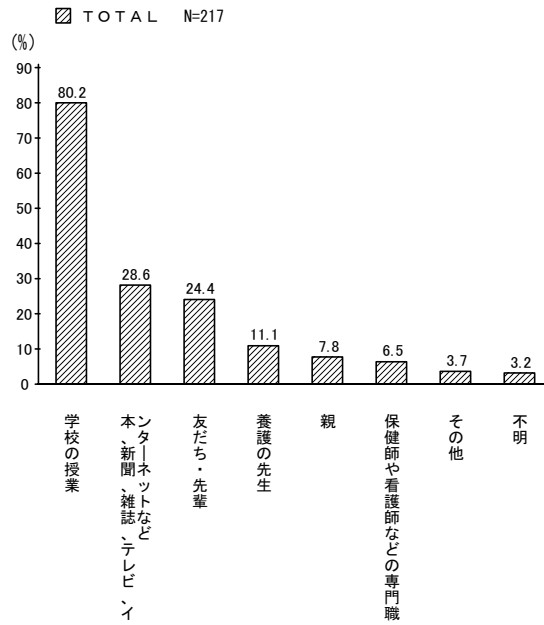


性感染症の予防策（高校生・性別）

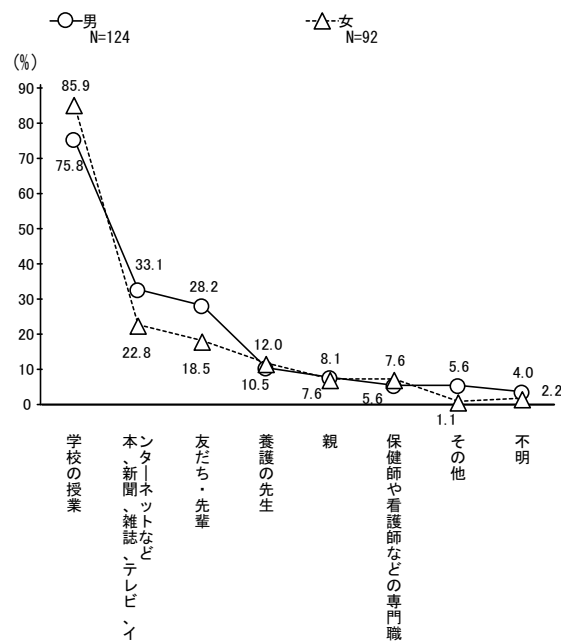


(注) 不明は除く。

予防法の情報源（高校生）



予防法の情報源（高校生・性別）



問22 あなたは、シンナー遊びなど薬物乱用によって、次のようなことが起こることを知っていますか。知っているものをすべて教えてください。(複数回答)

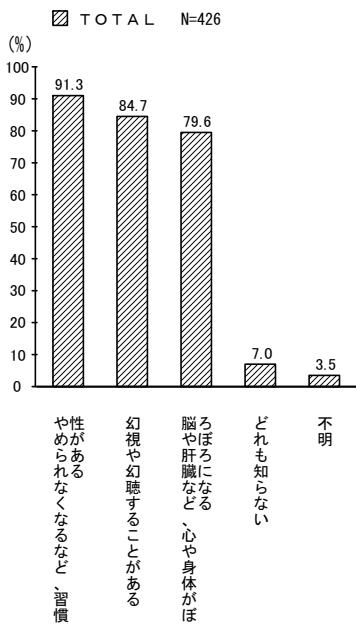
問23 シンナー以外で乱用すると有害な薬物であるとあなたが知っているものは、次のどれですか。(複数回答)

薬物乱用により生ずることについて聞いたところ、「やめられなくなるなど、習慣性がある」「幻視や幻聴することがある」「脳や肝臓など、心や身体がぼろぼろになる」のいずれもが8～9割前後となっており、知識の「正確さ」が伺える。性別で見てもいずれも多く、特に女子生徒が多くなっている。

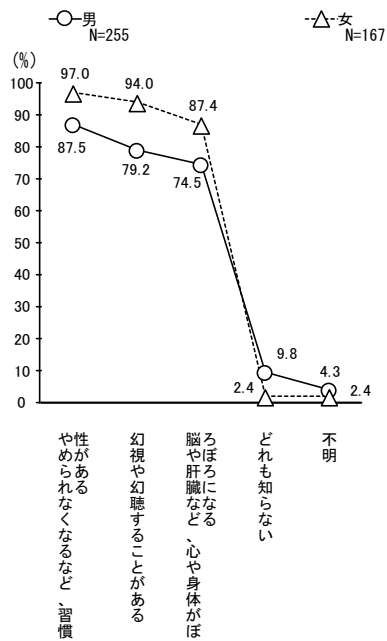
そこで有害な薬物の知識について聞いたところ、「大麻」が88.0%で最も多くなっており、続いて「コカイン」が66.0%、「マジックマッシュルーム」が61.3%となっている。

なお、いずれも性別で見ても同様の傾向となっているが、「エス」などは男子生徒の方が多くなっている。

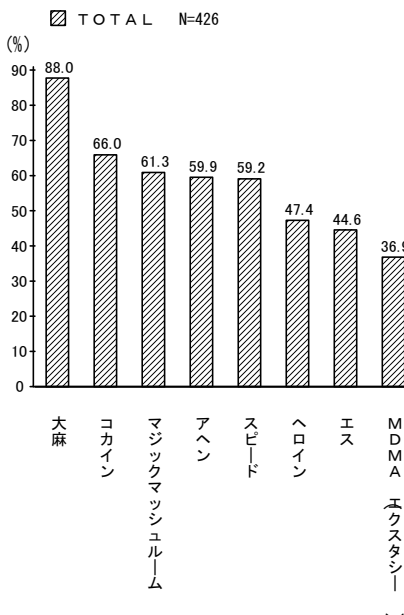
薬物乱用により生ずることの知識 (高校生)



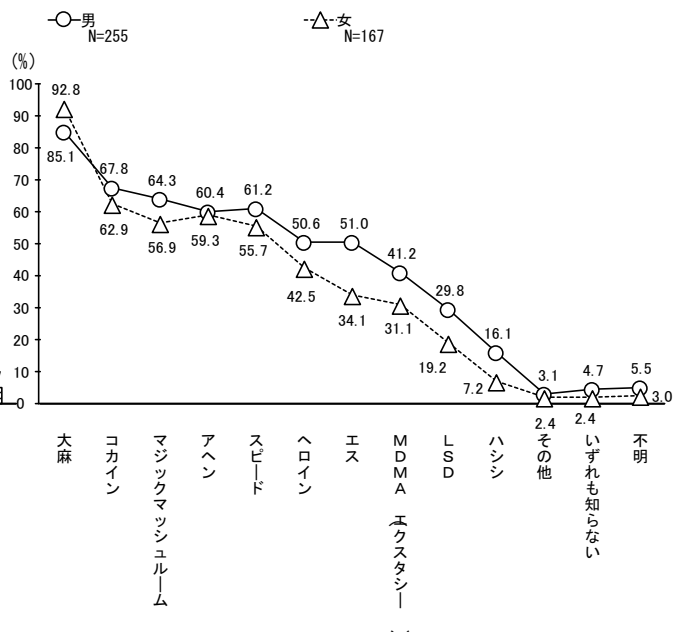
薬物乱用により生ずることの知識 (高校生・性別)



有害な薬物の知識 (高校生)



有害な薬物の知識 (高校生・性別)



(6) 地域との交流について

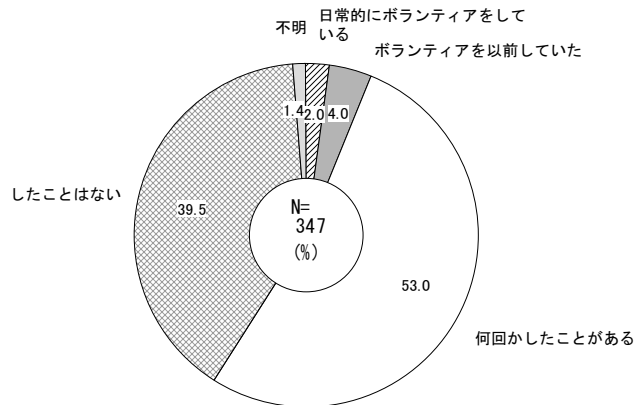
問24 あなたはボランティア活動をしたことがありますか。
問25 あなたが参加したボランティア活動は何ですか。(複数回答)

ボランティア経験について中学生に聞いたところ、「何回かしたことがある」が53.0%、「したことはない」が39.5%となっている。

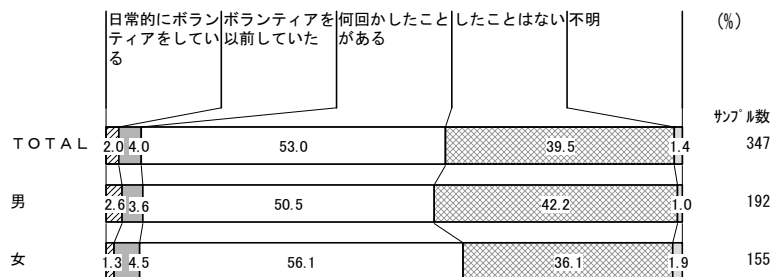
性別で見ると女子生徒の方がやや経験者が多く、男子生徒については「したことはない」が42.2%となっている。

居住地区別に見ると、ほとんどの地区でも「何回かしたことがある」が多くなっているが、「大泉」地区では未経験者がやや多くなっている。

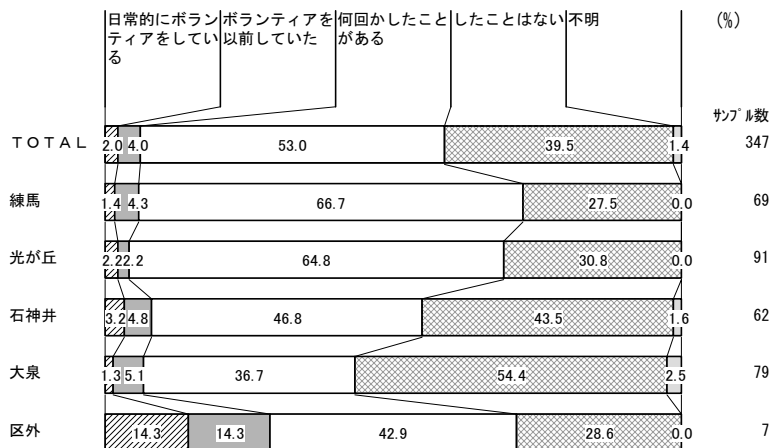
ボランティア経験(中学生)



ボランティア経験 (中学生・性別)



ボランティア経験 (中学生・居住地区別)



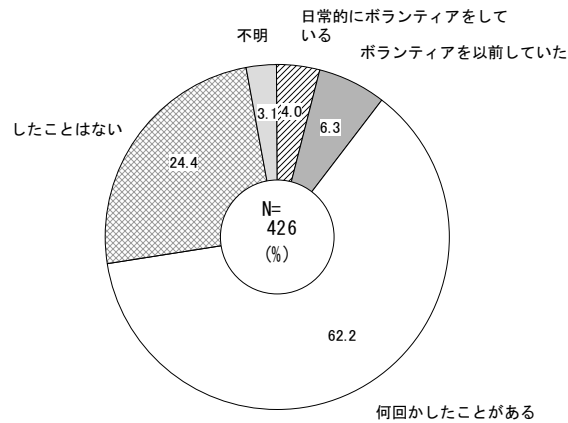
(注) 不明は除く。

ボランティア経験について高校生に聞いたところ、「何回かしたことがある」が62.2%で最も多くなっている。

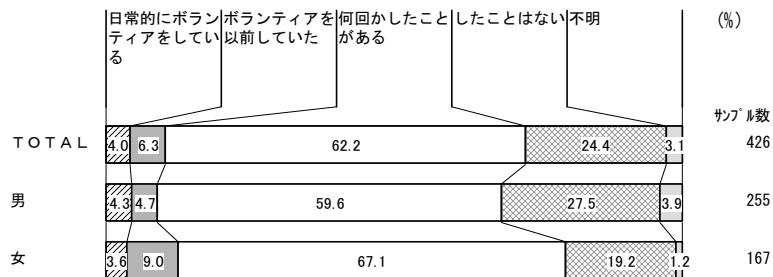
性別で見ると女子生徒の方が経験者が多く、男子生徒については「したことはない」が27.5%となっている。

居住地区別で見ると、「中野区・杉並区」からの生徒は経験者が多くなっているが、「板橋区・豊島区」からの生徒は未経験者がやや多くなっている。

ボランティア経験(高校生)

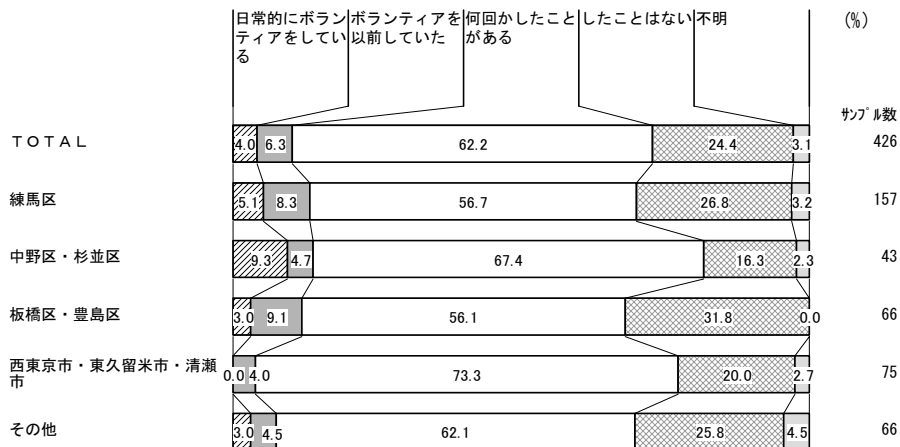


ボランティア経験(高校生・性別)



(注) 不明は除く。

ボランティア経験(高校生・居住地別)



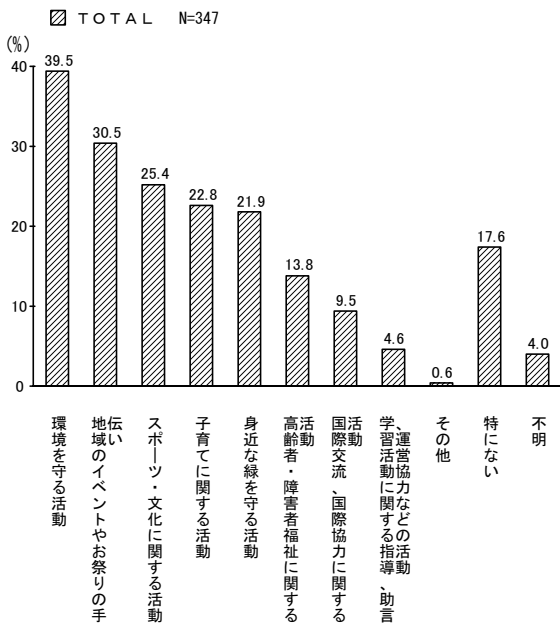
(注) 不明は除く。

参加したいボランティア活動について中学生に聞いたところ、「環境を守る活動」が39.5%で最も多く、続いて「地域のイベントやお祭りの手伝い」が30.5%となっている。

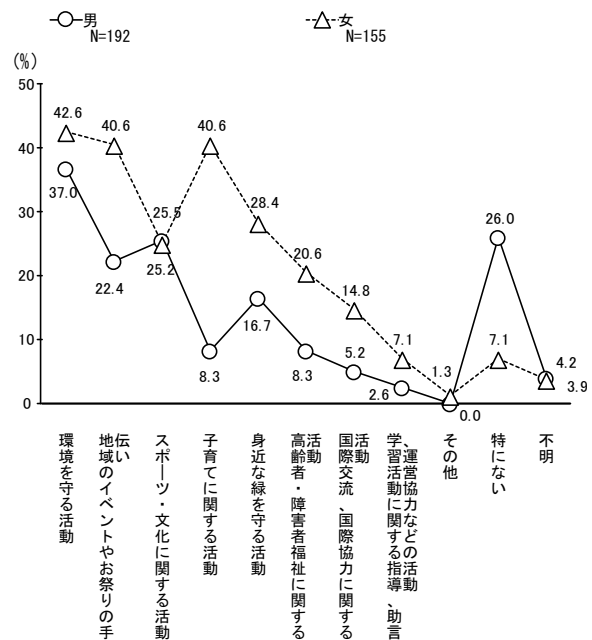
性別で見ると、男女共に「環境を守る活動」が多く、女子生徒については「子育てに関する活動」が2番目に多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「環境を守る活動」の希望が最も多い。練馬地区では「スポーツ・文化に関する活動」などについての希望も、他の地区よりやや多くなっている。

参加したいボランティア活動（中学生）



参加したいボランティア活動（中学生・性別）



参加したいボランティア活動（中学生・居住地区別）

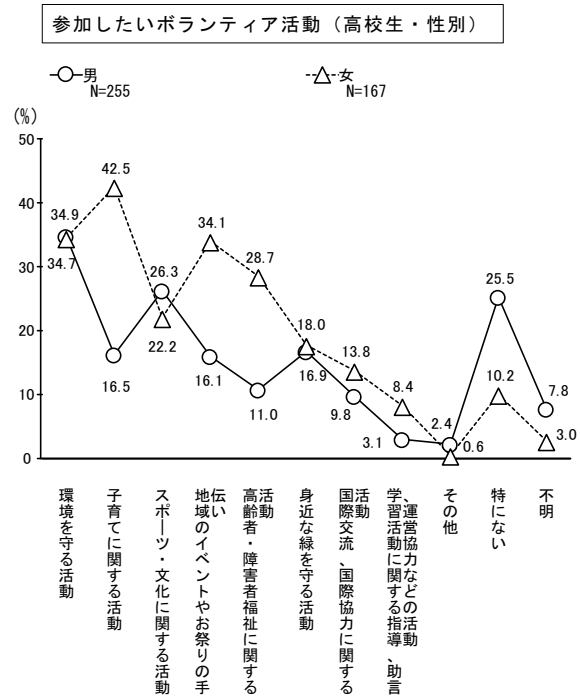
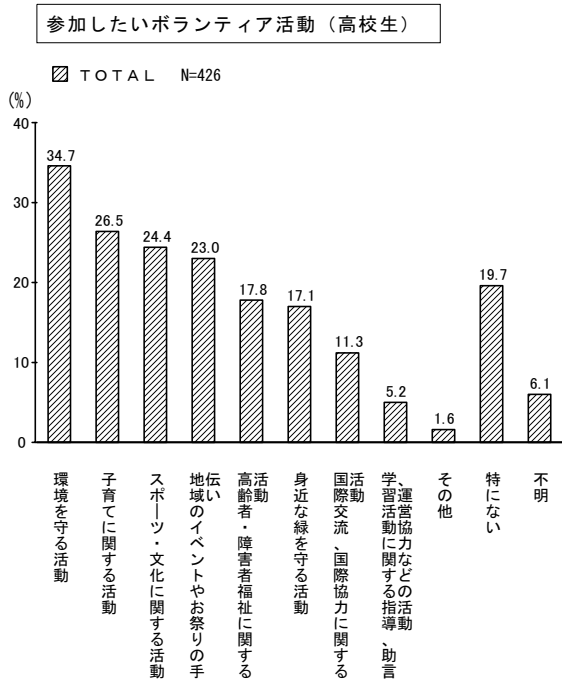
	TOTAL	環境を守る活動	地域のイベントやお祭りの手伝い	スポーツ・文化に関する活動	子育てに関する活動	身近な緑を守る活動	高齢者・障害者福祉に関する活動	国際交流、国際協力に関する活動	学習活動に関する指導、助言などの活動	その他	特にない	不明
TOTAL	347	39.5	30.5	25.4	22.8	21.9	13.8	9.5	4.6	0.6	17.6	4.0
練馬	69	42.0	23.2	39.1	21.7	21.7	13.0	14.5	8.7	0.0	15.9	4.3
光が丘	91	44.0	30.8	19.8	28.6	23.1	15.4	9.9	3.3	0.0	17.6	0.0
石神井	62	40.3	27.4	19.4	27.4	16.1	16.1	9.7	4.8	1.6	14.5	4.8
大泉	79	36.7	36.7	26.6	20.3	25.3	13.9	6.3	2.5	1.3	17.7	5.1
区外	7	57.1	57.1	28.6	28.6	42.9	42.9	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

参加したいボランティア活動について高校生に聞いたところ、「環境を守る活動」が34.7%で最も多く、続いて「子育てに関する活動」が26.5%となっている。

性別で見ると、男子生徒は「環境を守る活動」が最も多く、女子生徒については「子育てに関する活動」が最も多くなっている。

居住地区別に見ると、ほとんどの地区でも「環境を守る活動」の希望が多い。中野区・杉並区からの生徒は「地域のイベントやお祭りの手伝い」などについての希望も、他の地区よりやや多くなっている。



参加したいボランティア活動（高校生・居住地区別）

	TOTAL	環境を守る活動	子育てに関する活動	スポーツ・文化に関する活動	地域のイベントやお祭りの手伝い	高齢者・障害者福祉に関する活動	身近な縁を守る活動	国際交流、国際協力に関する活動	学、習活動に関する指導、助言などの活動	その他	特になし	不明
TOTAL	426	34.7	26.5	24.4	23.0	17.8	17.1	11.3	5.2	1.6	19.7	6.1
練馬区	157	35.0	31.2	26.8	21.7	22.3	18.5	13.4	7.0	1.9	18.5	7.6
中野区・杉並区	43	20.9	27.9	27.9	32.6	14.0	20.9	9.3	7.0	0.0	23.3	4.7
板橋区・豊島区	66	34.8	22.7	18.2	21.2	18.2	16.7	9.1	3.0	3.0	18.2	7.6
西東京市・東久留米市・清瀬市	75	48.0	22.7	21.3	20.0	16.0	20.0	9.3	2.7	0.0	20.0	2.7
その他	66	28.8	24.2	25.8	28.8	12.1	13.6	12.1	6.1	1.5	21.2	4.5

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

問26 あなたのとなり近所とのつきあいはどうですか。

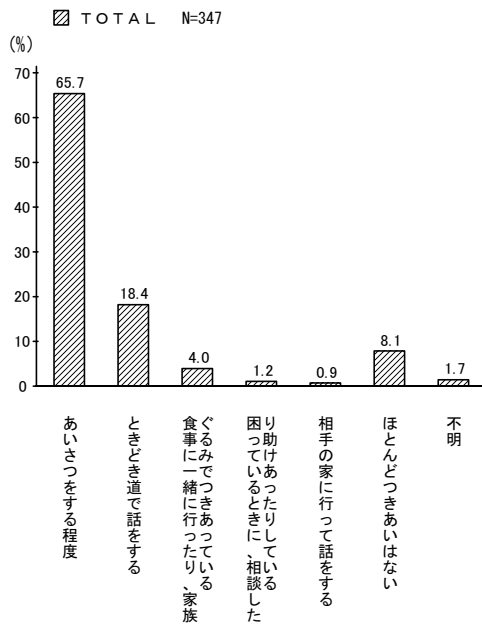
問27 あなたがとなり近所や地域の人たちに特にしてもらいたいことは、どのようなことですか。(3つまで)

となり近所とのつきあいについて中学生に聞いたところ、「あいさつをする程度」が65.7%で最も多く、続いて「ときどき道で話をする」が18.4%となっている。

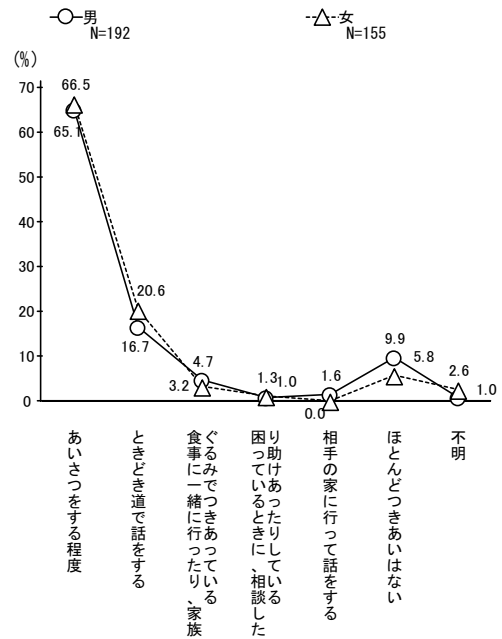
性別で見ると、男女共にほぼ同じ傾向になっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「あいさつをする程度」が最も多く、地区による大きな差は見られない。

近所づきあい（中学生）



近所づきあい（中学生・性別）



近所づきあい(中学生・居住地区別)

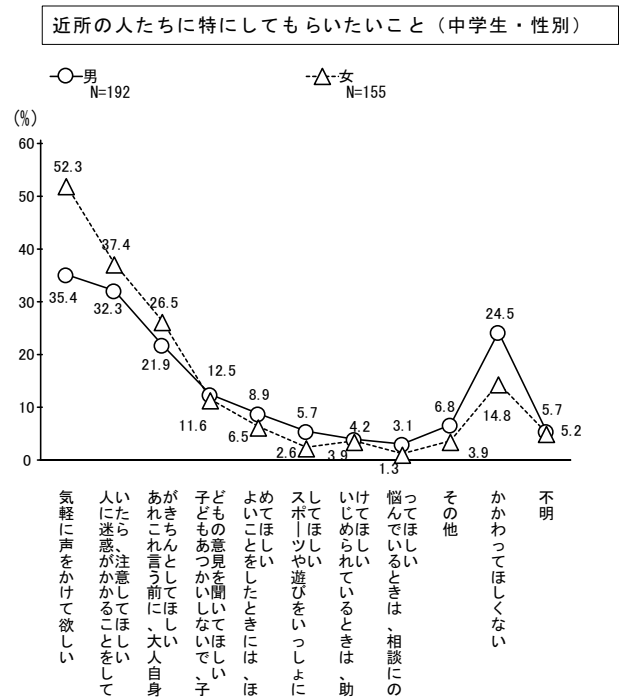
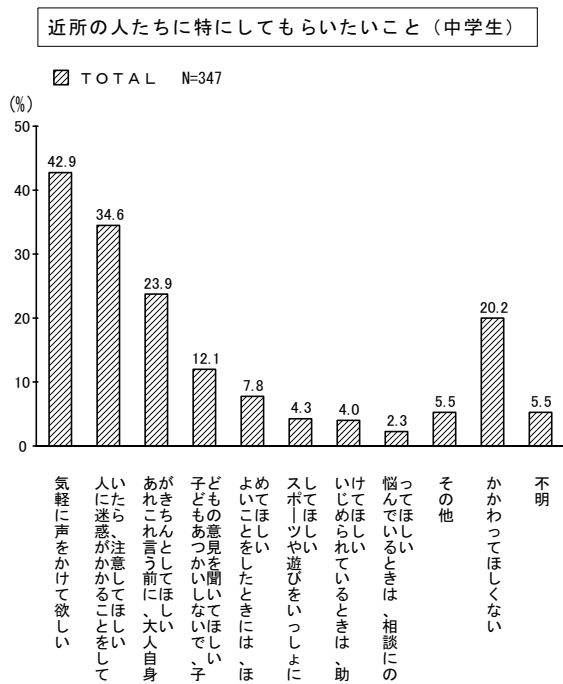
	TOTAL	あいさつをする程度	ときどき道で話をする	あり、家族ぐるみで行ったとき	食事と一緒にみでつたき	談したり助けあったり相	困っているときに、相談	相手の家に行って話を	いほとんどつきあいはな	不明
TOTAL	347	65.7	18.4	4.0	1.2	0.9	8.1	1.7		
練馬	69	65.2	18.8	1.4	0.0	1.4	10.1	2.9		
光が丘	91	67.0	20.9	3.3	2.2	1.1	5.5	0.0		
石神井	62	62.9	19.4	4.8	0.0	1.6	8.1	3.2		
大泉	79	72.2	19.0	2.5	1.3	0.0	5.1	0.0		
区外	7	57.1	14.3	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0		

(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

近所の人たちに特にしてもらいたいことについて聞いたところ、「気軽に声をかけて欲しい」が42.9%で最も多く、続いて「人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい」が34.6%、「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」が23.9%となっている。また「かかわってほしくない」も20.2%でやや多くなっている。

性別で見ると、上位3項目についてはなどでは女子生徒の回答が多く、特に「気軽に声をかけて欲しい」「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」については男子生徒と比べて多くなっている。「かかわってほしくない」は男子生徒の方がやや多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも上位3項目が多く、光が丘地区、大泉地区では「かかわってほしくない」も多くなっている。



近所の人たちに特にしてもらいたいこと(中学生・居住地区別)

	TOTAL	気軽に声をかけて欲しい	人に迷惑がかかることをしていたら、注意して欲しい	あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい	子どもの意見を聞いてほしい	よいことをしたときには、ほめてほしい	スポーツや遊びをいっしょに	してほしい	いじめられているときは、相談にのってほしい	悩んでいるときは、相談にのってほしい	その他	かかわってほしくない	不明
TOTAL	347	42.9	34.6	23.9	12.1	7.8	4.3	4.0	2.3	5.5	20.2	5.5	
練馬	69	55.1	33.3	20.3	8.7	13.0	8.7	2.9	1.4	2.9	15.9	2.9	
光が丘	91	40.7	36.3	18.7	14.3	6.6	3.3	3.3	2.2	5.5	29.7	5.5	
石神井	62	38.7	30.6	30.6	12.9	4.8	3.2	3.2	3.2	6.5	12.9	9.7	
大泉	79	39.2	41.8	25.3	10.1	3.8	3.8	6.3	1.3	6.3	21.5	1.3	
区外	7	42.9	42.9	42.9	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	14.3	

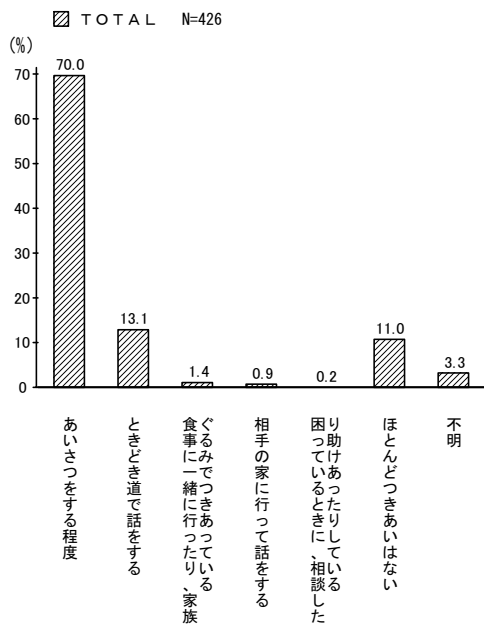
(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

となり近所とのつきあいについて高校生に聞いたところ、「あいさつをする程度」が70.0%で最も多く、続いて「ときどき道で話をする」が13.1%となっている。

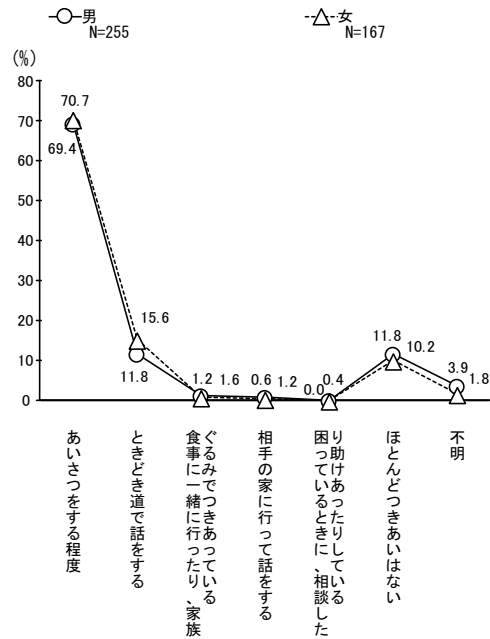
性別で見ると、男女共にほぼ同じ傾向になっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「あいさつをする程度」が最も多く、地区による大きな差は見られない。

近所づきあい（高校生）



近所づきあい（高校生・性別）



近所づきあい（高校生・居住地区別）

	TOTAL	あいさつをする程度	ときどき道で話をする	食事と一緒にいる	相手の家に行つて話をする	困り助けあつたりしているときに、相談した	ほとんどつきあいはない	不明
TOTAL	426	70.0	13.1	1.4	0.9	0.2	11.0	3.3
練馬区	157	74.5	10.8	1.9	0.6	0.0	8.9	3.2
中野区・杉並区	43	79.1	7.0	0.0	2.3	0.0	11.6	0.0
板橋区・豊島区	66	71.2	13.6	3.0	0.0	0.0	12.1	0.0
西東京市・東久留米市・清瀬市	75	68.0	16.0	1.3	1.3	1.3	8.0	4.0
その他	66	59.1	16.7	0.0	0.0	0.0	18.2	6.1

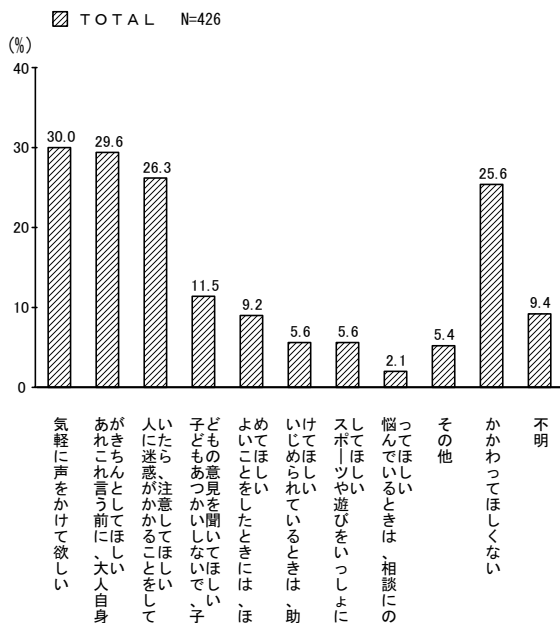
(注) 網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

近所の人たちに特にしてもらいたいことについて聞いたところ、「気軽に声をかけて欲しい」が30.0%で最も多く、続いて「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」が29.6%、「人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい」が26.3%となっている。また「かかわってほしくない」も25.6%でやや多くなっている。

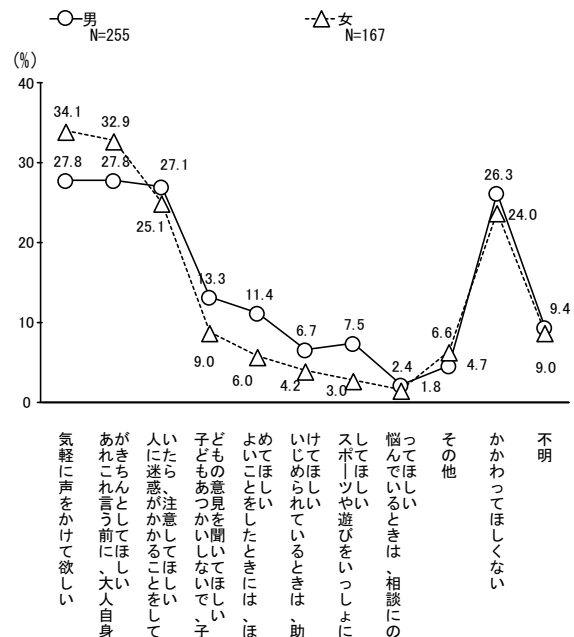
性別で見ると、上位2項目については女子生徒の回答が多くなっている。また「かかわってほしくない」についても男女共に多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも上位3項目が多く、「中野区・杉並区」からの生徒は「人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい」、「板橋区・豊島区」からの生徒は「あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい」についても、他の地区よりやや多くなっている。

近所の人たちに特にしてもらいたいこと（高校生）



近所の人たちに特にしてもらいたいこと（高校生・性別）



近所の人たちに特にしてもらいたいこと(高校生・居住地区別)

	TOTAL	気軽に声をかけて欲しい	あれこれ言う前に、大人自身がきちんとして欲しい	人に迷惑のかかることをしていたら、注意して欲しい	子どもあつかいしないで、子どもあつかいしないで、子どもあつかいしないで	よいことをしたときには、ほめてほしい	いじめられているときは、助けしてほしい	スポーツや遊びをいっしょに	悩んでいるときは、相談の	その他	かかわってほしくない	不明
TOTAL	426	30.0	29.6	26.3	11.5	9.2	5.6	5.6	2.1	5.4	25.6	9.4
練馬区	157	29.3	31.2	29.3	15.9	7.6	7.6	5.1	2.5	5.7	24.2	9.6
中野区・杉並区	43	25.6	25.6	30.2	14.0	14.0	7.0	9.3	0.0	11.6	32.6	2.3
板橋区・豊島区	66	31.8	36.4	27.3	12.1	9.1	6.1	4.5	3.0	4.5	22.7	7.6
西東京市・東久留米市・清瀬市	75	29.3	28.0	21.3	6.7	10.7	2.7	6.7	2.7	1.3	25.3	10.7
その他	66	31.8	22.7	24.2	7.6	4.5	1.5	4.5	1.5	6.1	30.3	10.6

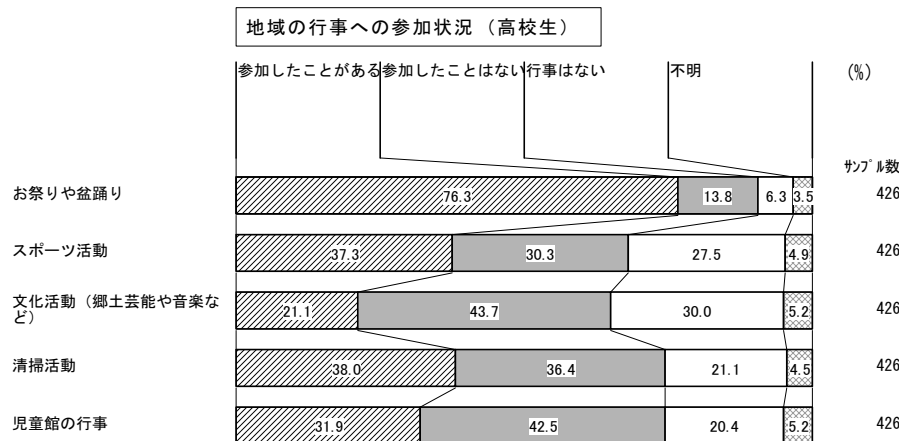
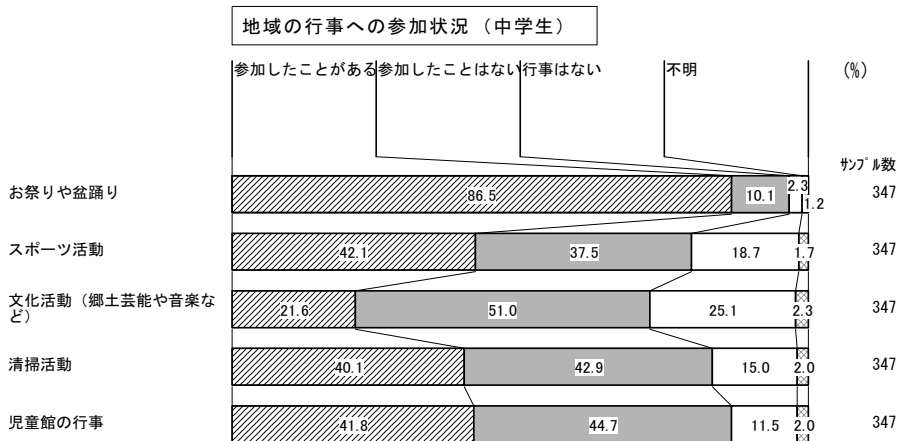
(注)網掛けは30%以上。表側の「不明」は除く。

問 2 8 地域で行っている行事への参加についてお聞きします。

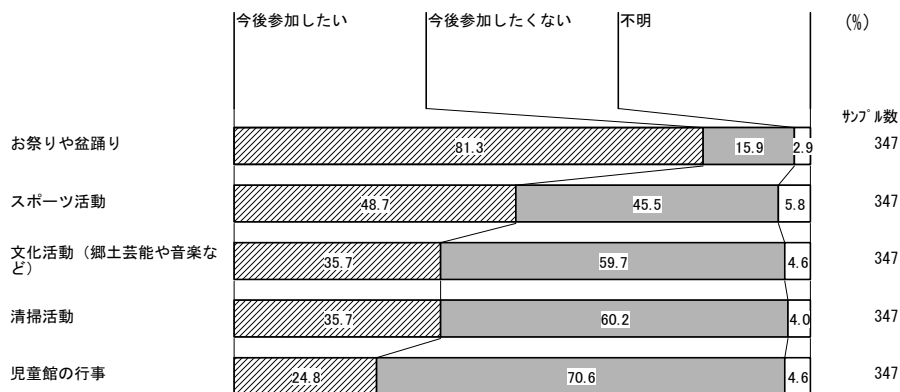
地域で行っている行事への参加状況を聞いたところ、中学生、高校生共に「お祭りや盆踊り」への参加が多くなっている。

地域の行事への今後の参加意向については、中学生、高校生共に「お祭りや盆踊り」への意向が多く、中学生については「スポーツ活動」への意向もやや多くなっている。

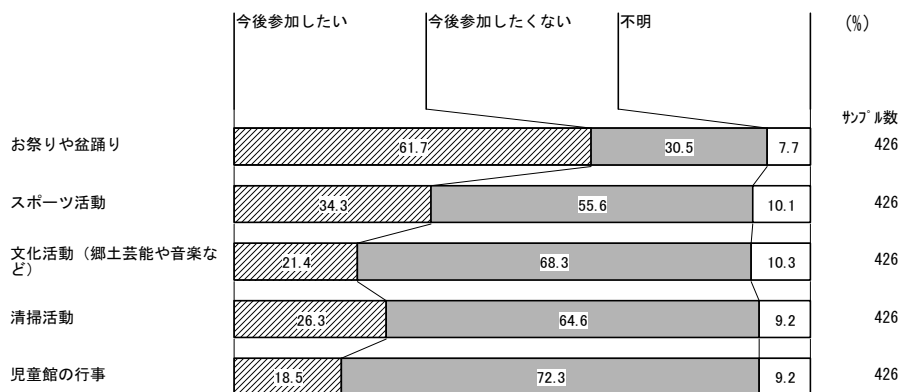
一方、地域の行事へ参加したくないと回答した人（今後の参加希望で1つでも「参加したくない」と回答した生徒）にその理由を聞いたところ、中学生、高校生共に「めんどくさい」が最も多く、続いて「行ってもつまらないから」となっている。



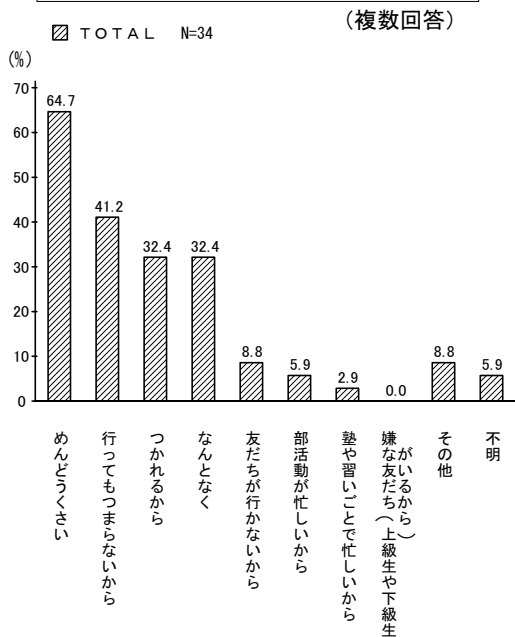
地域の行事への今後の参加意向（中学生）



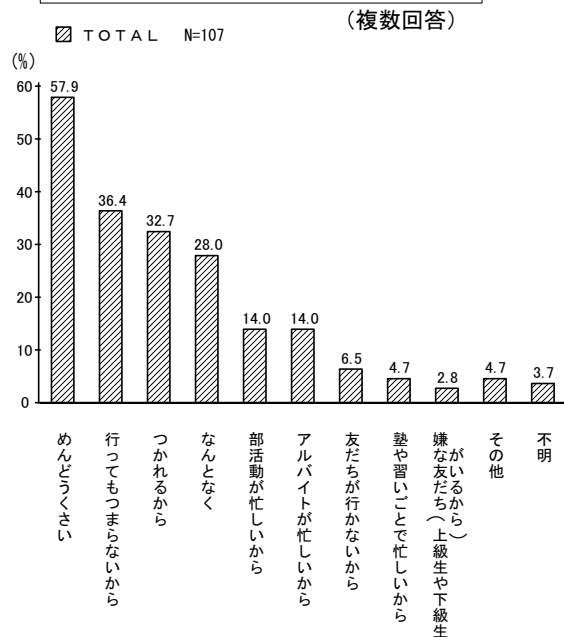
地域の行事への今後の参加意向（高校生）



地域の行事へ参加したくない理由（中学生）



地域の行事へ参加したくない理由（高校生）



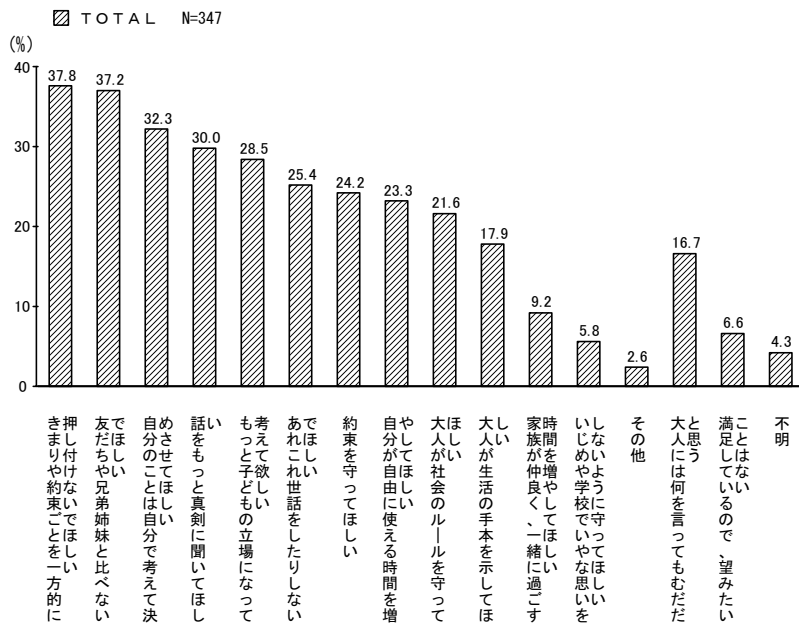
(7) 子どもの権利について

問29 あなたが、子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことを選んでください。(5つまで)
 問30 あなたが、子どもがいやな思いをしないために、特に大切だと思うことは何ですか。(5つまで)

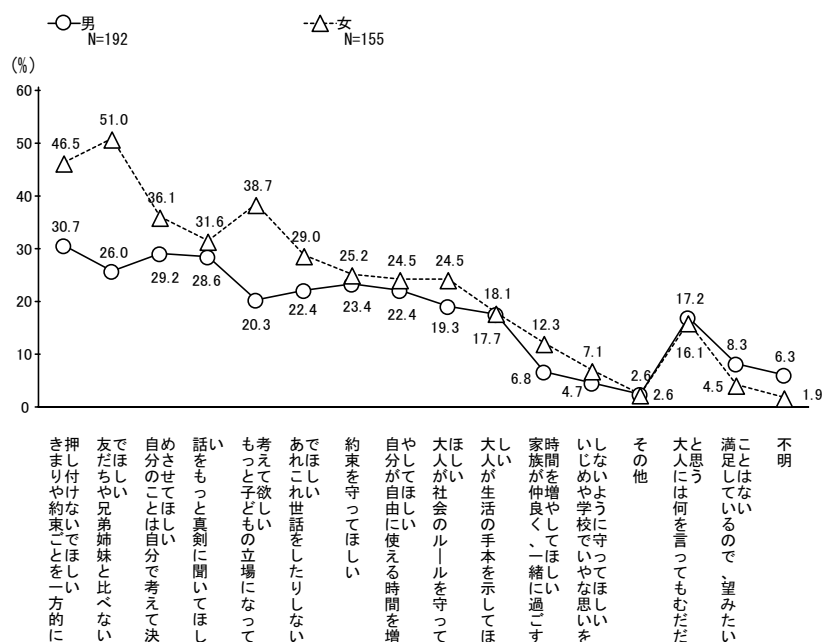
子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことについて中学生に聞いたところ、「きまりや約束事を一方的に押し付けないでほしい」が37.8%で最も多く、続いて「友だちや兄弟姉妹と比べないでほしい」が37.2%、「自分のことは自分で考えて決めさせてほしい」が32.3%となっている。

性別で見ると、全体的に女生徒からの意向が強く、「友だちや兄弟姉妹と比べないでほしい」が最も多く、続いて「きまりや約束事を一方的に押し付けないでほしい」が多くなっている。

子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（中学生）



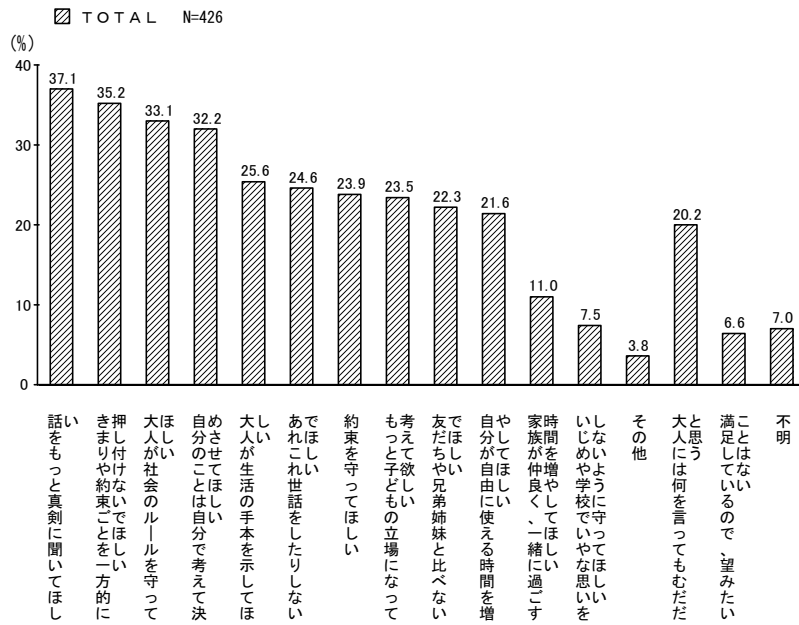
子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（中学生・性別）



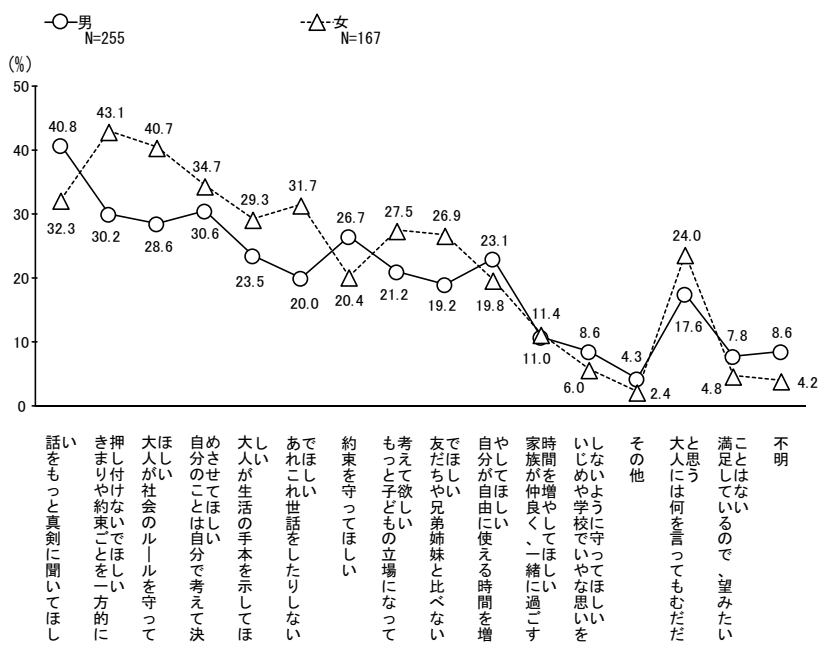
子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことについて高校生に聞いたところ、「話をもっと真剣に聞いてほしい」が37.1%で最も多く、続いて「きまりや約束事を一方的に押し付けしないでほしい」が35.2%、「大人が社会のルールを守ってほしい」が33.1%となっている。

性別で見ると、全体的に女子生徒からの要望が多く、「きまりや約束事を一方的に押し付けしないでほしい」「大人が社会のルールを守ってほしい」が多くなっている。

子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（高校生）



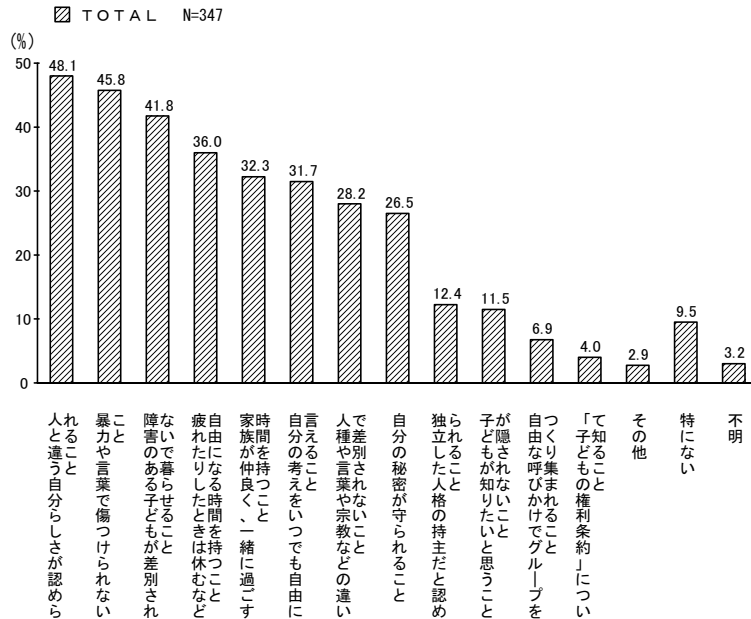
子どもと接するとき大人に心がけて欲しいこと（高校生・性別）



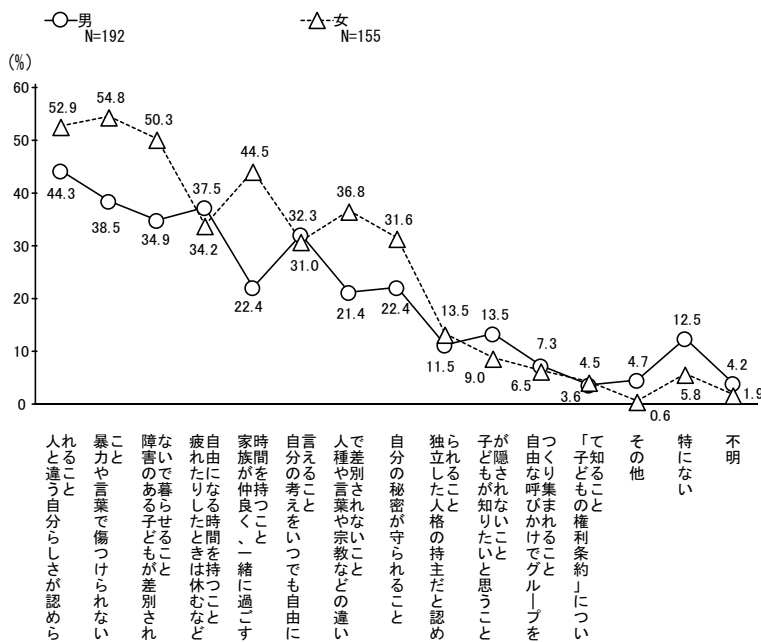
次に子どもがいやな思いをしないために必要なことについて中学生に聞いたところ、「人と違う自分らしさが認められること」が48.1%で最も多く、続いて「暴力や言葉で傷つけられないこと」が45.8%、「障害のある子どもが差別されないで暮らせること」が41.8%となっている。

性別で見ると、全体的に女子生徒の回答が多くなっているが、特に「家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと」などについては男子生徒と比べて女子生徒の回答が多くなっている。

子どもがいやな思いをしないために必要なこと(中学生)



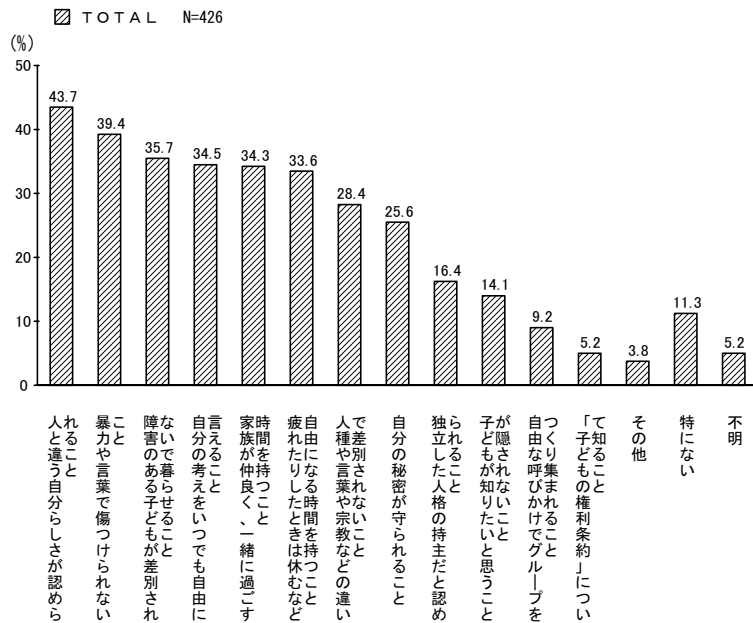
子どもがいやな思いをしないために必要なこと(中学生・性別)



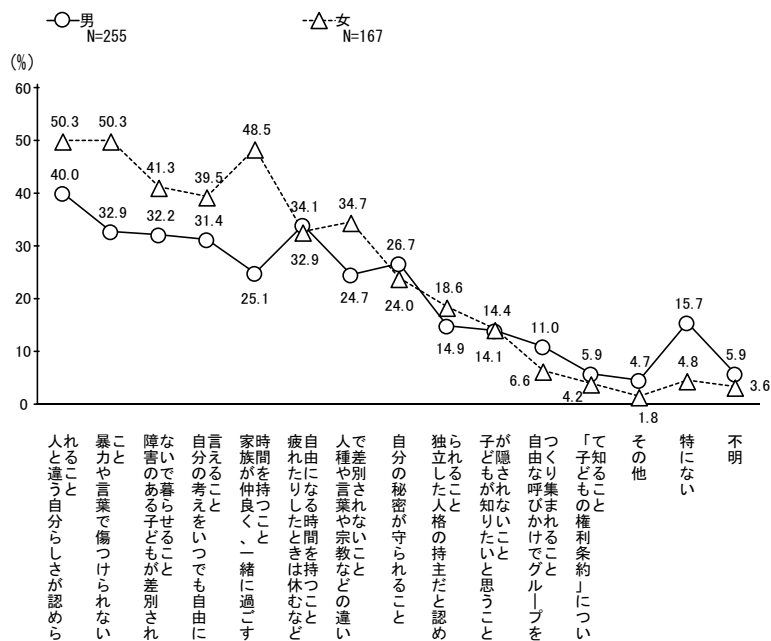
次に子どもがいやな思いをしないために必要なことについて高校生に聞いたところ、「人と違う自分らしさが認められること」が43.7%で最も多く、続いて「暴力や言葉で傷つけられないこと」が39.4%、「障害のある子どもが差別されないで暮らせること」が35.7%となっている。

性別で見ると、全体的に女子生徒の回答が多く、特に「家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと」などについては男子生徒と比べて女子生徒の回答が多くなっている。

子どもがいやな思いをしないために必要なこと(高校生)



子どもがいやな思いをしないために必要なこと(高校生・性別)



IV-4 独身及び子どものいない世帯の調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

区内に居住する独身世帯、子どもがいない世帯の一般区民に対してアンケートを行うことにより、生活実態、結婚や子育て等に関する意見などを把握し、平成21年度「練馬区次世代育成支援対策行動計画（後期）」を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ①家族及び生活について
- ②現在の不安、結婚について
- ③結婚や子育てについて
- ④労働・社会保険等による支援の周知状況
- ⑤地域交流について
- ⑥少子社会に対する考え方について
- ⑦行政サービスへの要望について

(3) 調査仕様

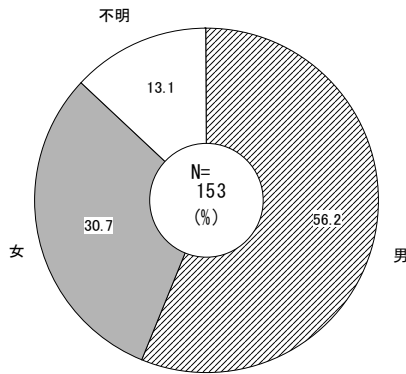
- ①調査地域 区内
- ②調査対象 区内に居住する独身及び子どものいない世帯
- ③標本数 500件（各250件）
- ④抽出方法 住民基本台帳から調査対象の条件をかけて抽出
- ⑤調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑥調査期間 平成21年2月27日～3月13日

(4) 回収数・回収率

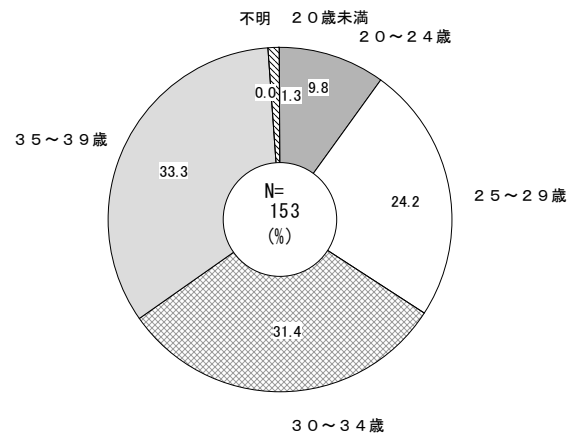
153件 有効回答率=30.6%

(5) 基本属性

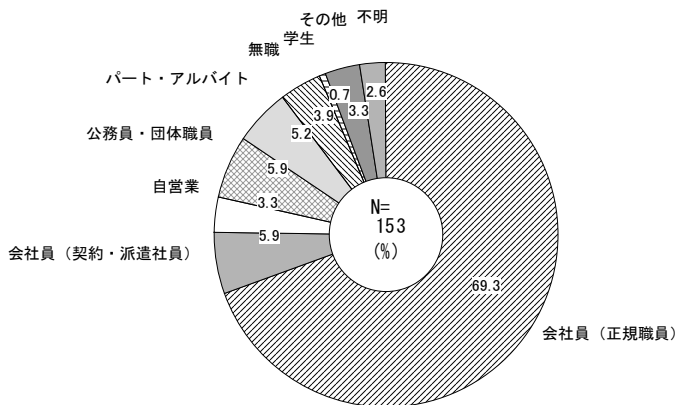
性別



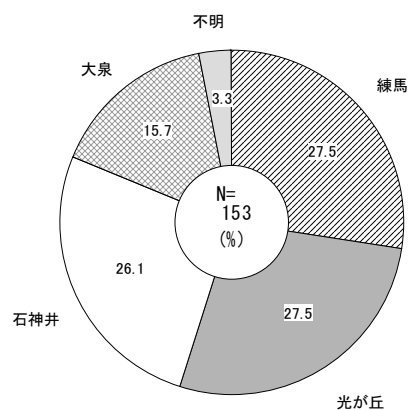
年齢



職業



居住地区



◆本報告書における調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びNで示している。
- 回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の間のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な間のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。

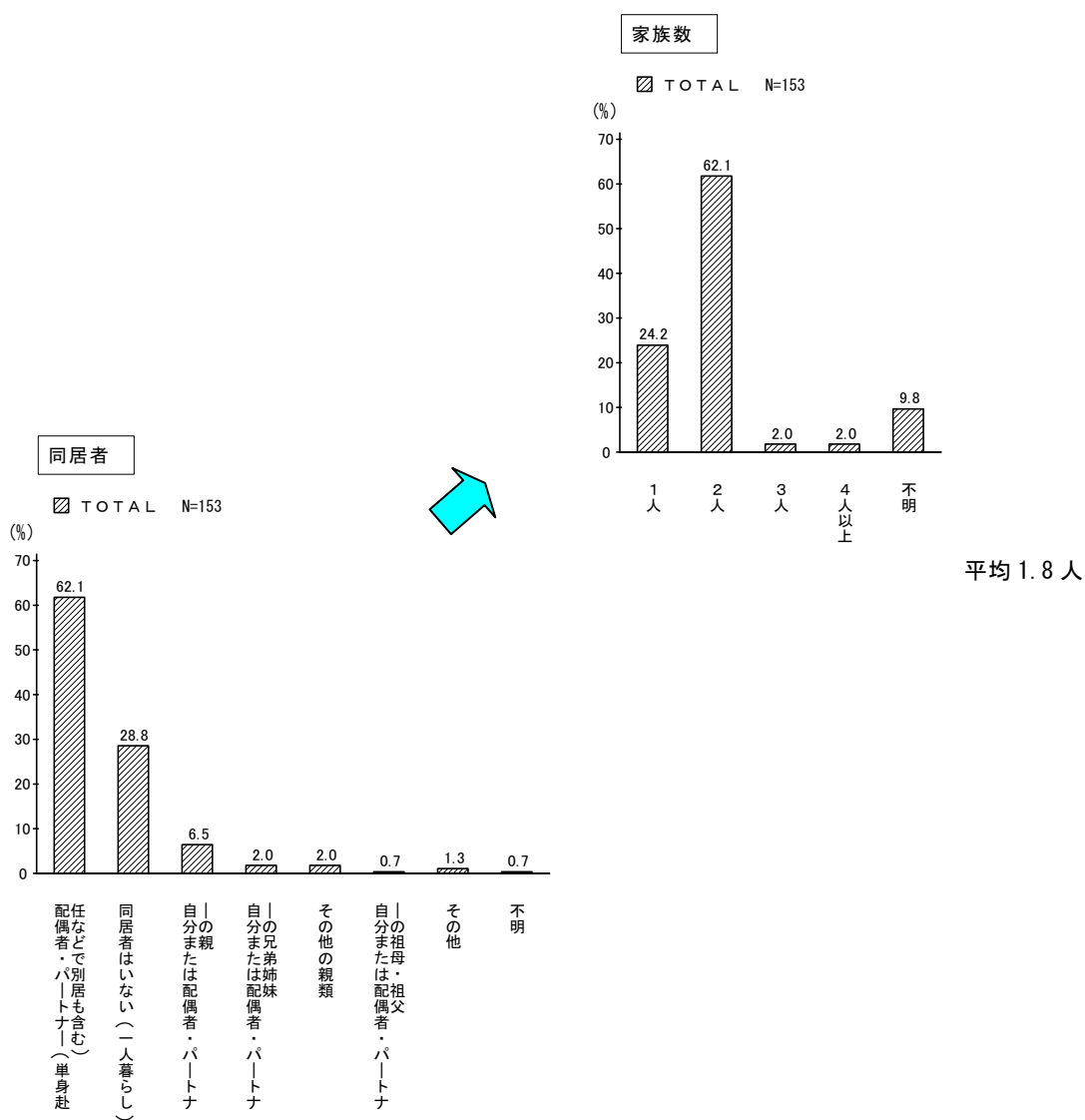
2. 調査結果の概要

(1) 家族及び生活について

問1 同居されている方はどなたですか。あなたを中心にお答えください。(複数回答)

家族について聞くにあたり、はじめに同居者について聞いたところ、「配偶者・パートナー（単身赴任などで別居も含む）」が62.1%で最も多く、続いて「同居者はいない（一人暮らし）」が28.8%となっている。

そこで同居している家族の数を聞いたところ平均1.8人であった。

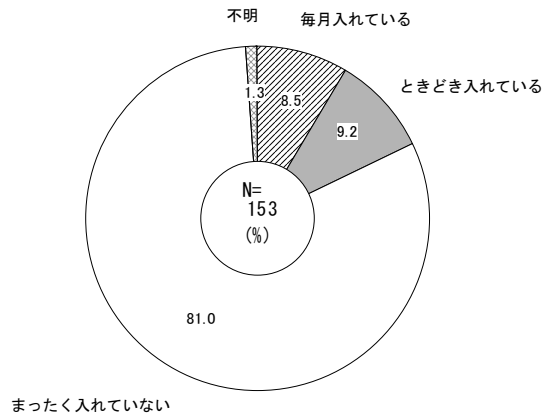


問2 あなたは、親へ生活費（仕送り）を入れていますか。

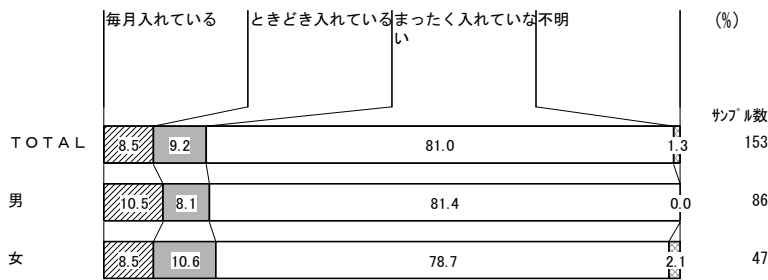
親への生活費（仕送り）について見てみると、「まったく入れていない」が81.0%で最も多くなっている。また「毎月入れている」は8.5%、「ときどき入れている」は9.2%となっている。

性別で見ると、いずれも「まったく入れていない」が多く、性別による大きな差は見られない。

親への生活費（仕送り）



親への生活費（仕送り）（性別）



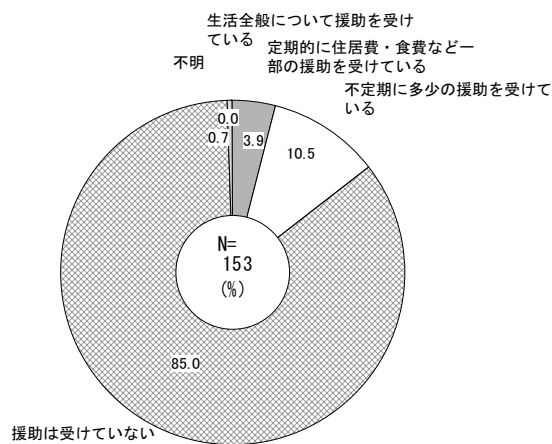
(注) 表側の不明は除く。

問3 あなたは、親から生活費の援助を受けていますか。

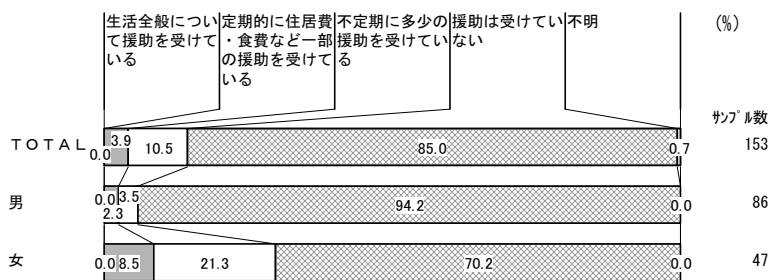
親からの生活費の援助について聞いたところ、「援助は受けていない」が85.0%で最も多く、「不定期に多少の援助を受けている」もやや多くなっている。

性別で見ると、いずれも「援助は受けていない」が最も多く、女性については「不定期に多少の援助を受けている」もやや多くなっている。

親からの生活費の援助について



親からの生活費の援助について（性別）

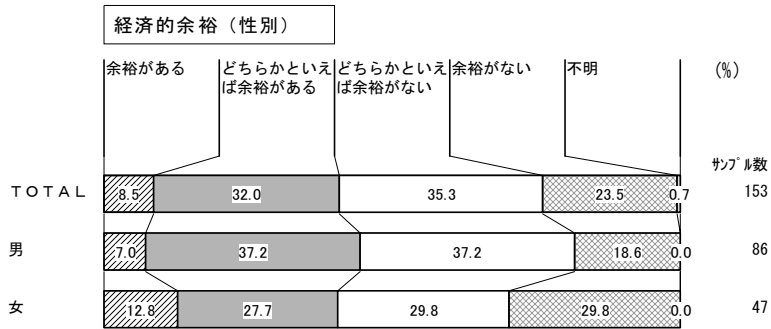
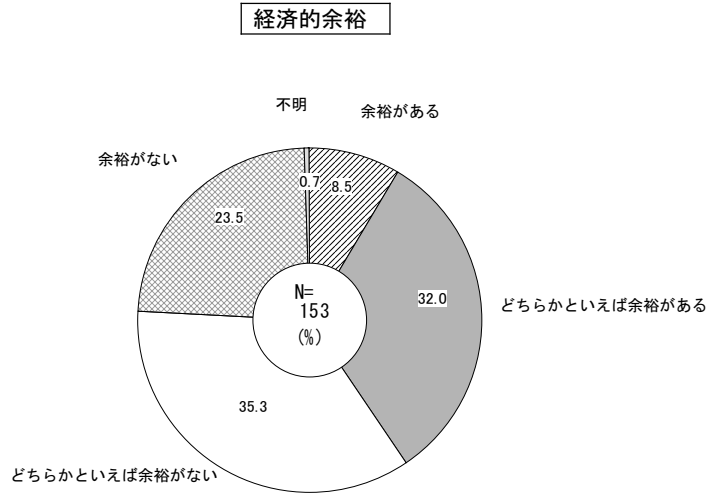


(注) 表側の不明は除く。

問4 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。

経済的余裕について聞いたところ、「どちらかといえば余裕がない」の割合が最も大きく、「どちらかといえば余裕がある」も3割程度を占めている。

性別で見ると、「余裕がない」については女性の方が多くなっている。



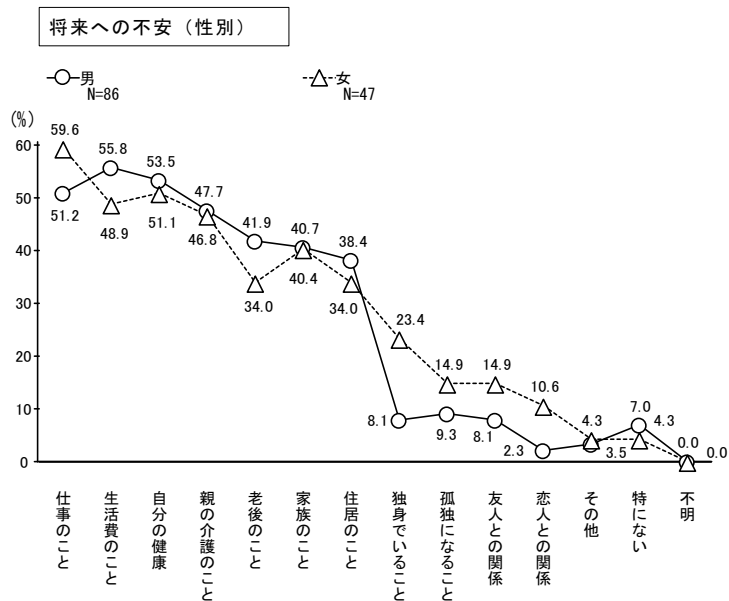
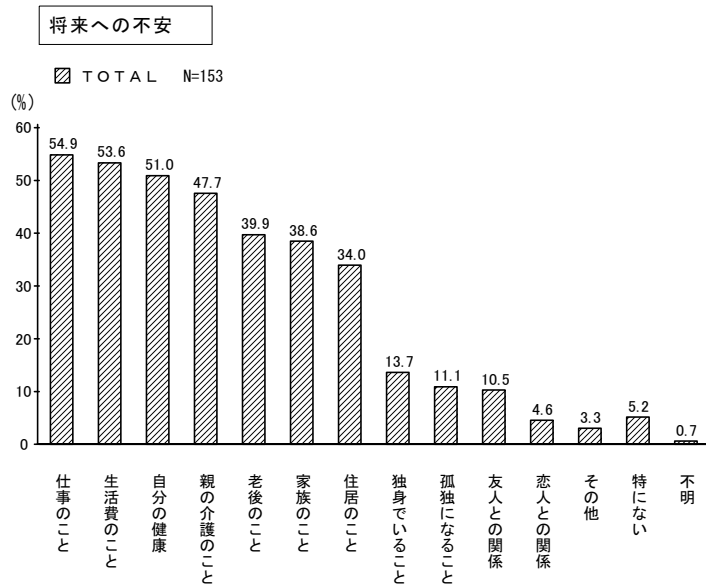
(注) 表側の不明は除く。

(2) 現在の不安、結婚について

問5 あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。(複数回答)

将来の不安について聞いたところ、「仕事のこと」が54.9%で最も多く、続いて「生活費のこと」が53.6%、「自分の健康」が51.0%となっている。

性別で見ると、全体的に男性の回答が多くなっているが、「独身でいること」については女性が多くなっている。



問6 あなたは結婚していますか。

問6(1)「結婚」については、どのような考えをおもちですか。

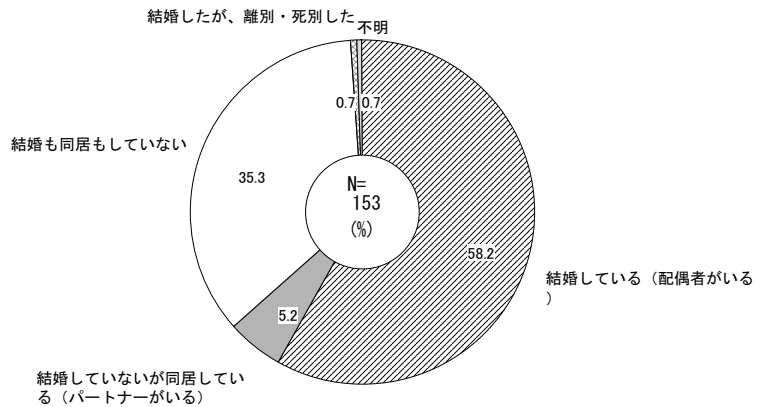
問6(2) 結婚していないのはどうしてですか。(3つまで)

結婚の有無について聞いたところ、「結婚している(配偶者がいる)」が58.2%、「結婚も同居もしていない」が35.3%となっている。

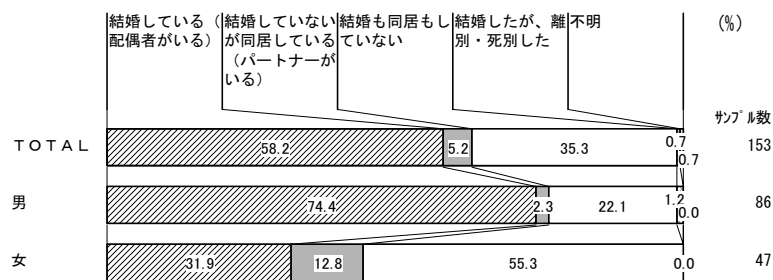
性別で見ると、男性は「結婚している(配偶者がいる)」、女性は「結婚も同居もしていない」が多くなっている。

そこで『結婚も同居もしていない』と回答した人に、結婚に関する考えについて聞いたところ、「いずれは結婚したい」が63.0%となっている。

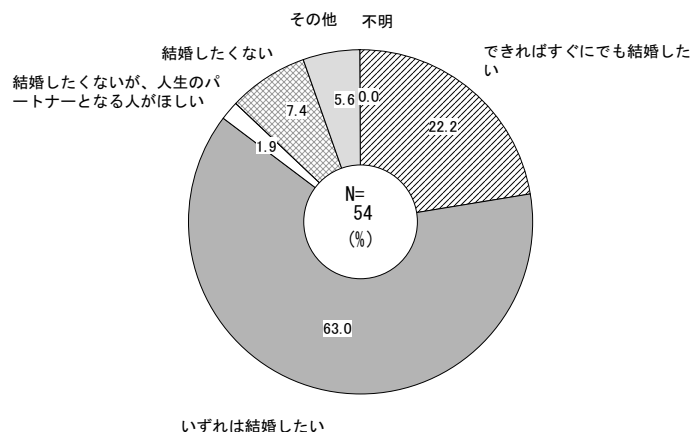
結婚の有無



結婚の有無(性別)

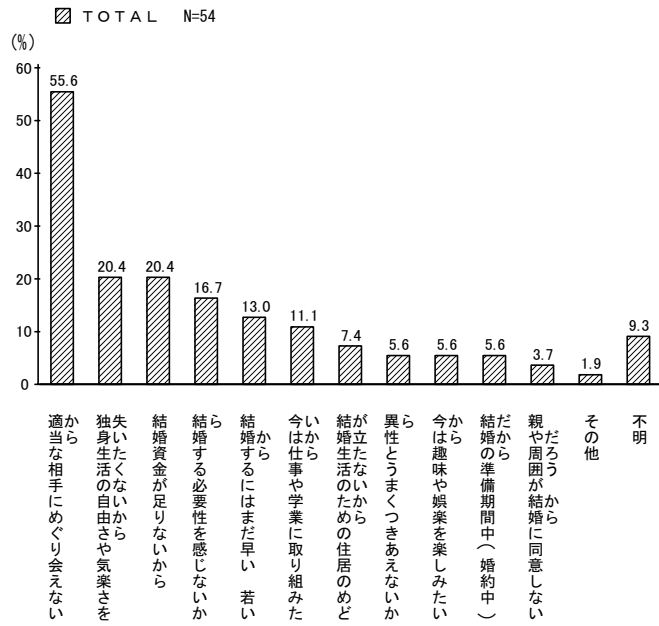


結婚に関する考え



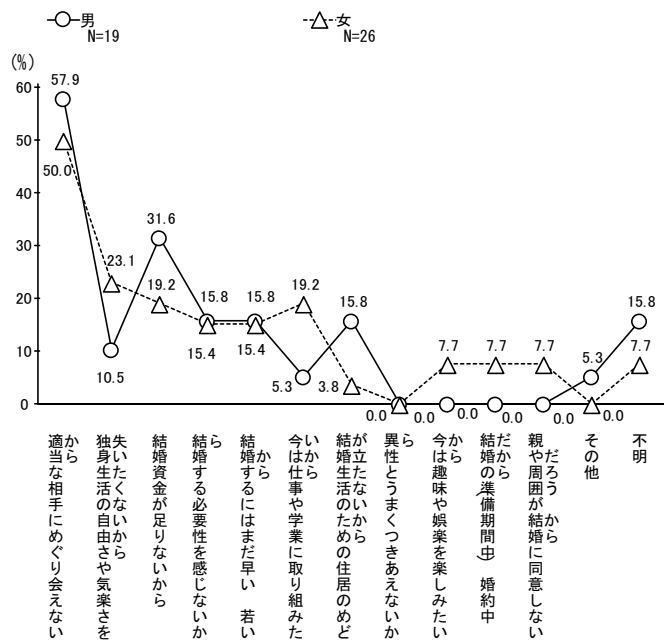
さらに『結婚も同居もしていない』と回答した人に、その理由を聞いたところ、「適当な相手にめぐり会えないから」が55.6%で最も多く、続いて「独身生活の自由さや気軽さを失いたくないから」及び「結婚資金が足りないから」がいずれも20.4%となっている。

結婚も同居もしていない理由



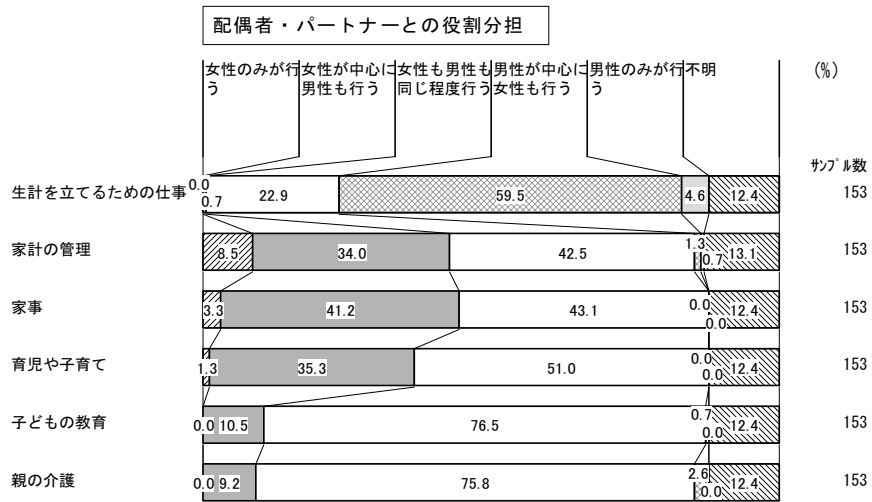
性別で見ると、男女共に「適当な相手にめぐり会えないから」が最も多く、男性では「結婚資金が足りないから」「結婚生活のための住居のめどが立たないから」、女性では「独身生活の自由さや気軽さを失いたくないから」も多くなっている。

結婚も同居もしていない理由（性別）



問7 あなたは、配偶者・パートナーとはどのような役割分担をする方がよいと思いますか。

配偶者・パートナーとの役割分担について、生活の様々な視点で聞いたところ、「家計の管理」「家事」「育児や子育て」などについては主に女性、「生計を立てるための仕事」については主に男性、「親の介護」や「子どもの教育」などについては「女性も男性も同じ程度行う」が多くなっている。



(3) 子育てや結婚について

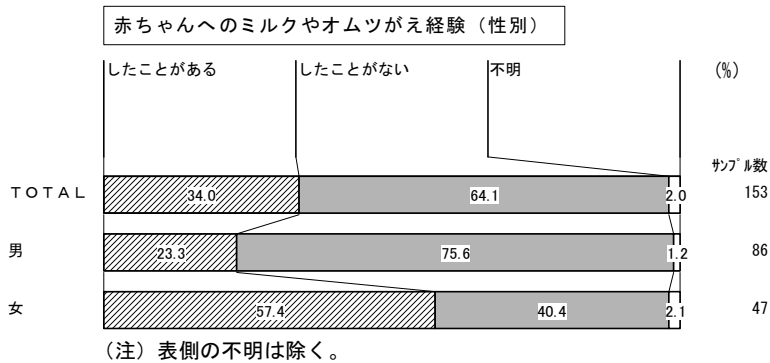
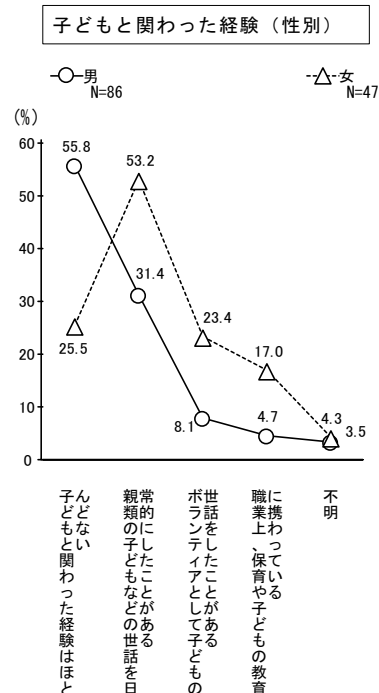
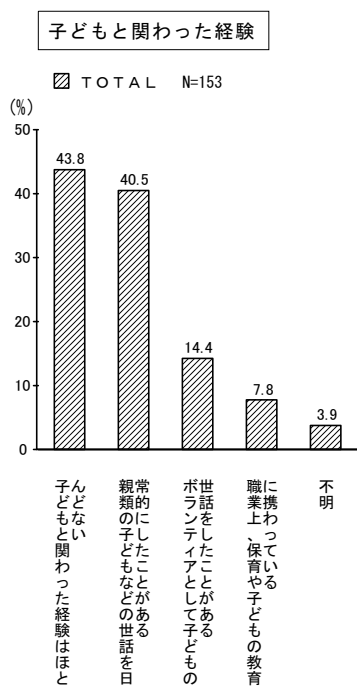
問8 これまでに、子どもに関わったことがありますか。(複数回答)

問9 あなたは赤ちゃんにミルクを飲ませたり、オムツがえなどをしたりしたことがありますか。

子どもに関わった経験について見てみると、「子どもに関わった経験はほとんどない」が43.8%で最も多く、続いて「親類の子どもなどの世話を日常的にしたことがある」が40.5%となっている。

性別で見ると、男性は「子どもに関わった経験はほとんどない」、が多く、「親類の子どもなどの世話を日常的にしたことがある」などについては女性がやや多くなっている。

赤ちゃんへのミルクやオムツがえ経験について聞いたところ、34.0%が経験があると回答しており、性別では「女性」の約6割を占めている。



問10 あなたは、将来子どもを持ちたいと思いますか。

問10(1) 将来子どもを持ちたいと思う理由は何ですか。(複数回答)

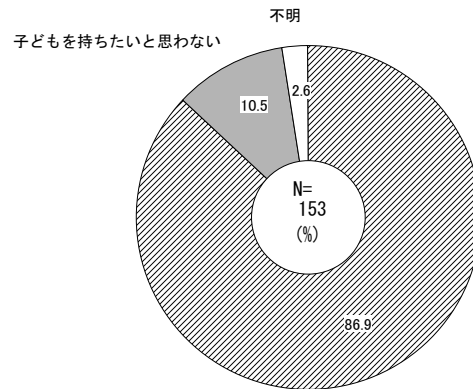
問10(2) 将来子どもを持ちたいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

将来子どもを持ちたいかについて聞いたところ、86.9%が持ちたいと回答している。

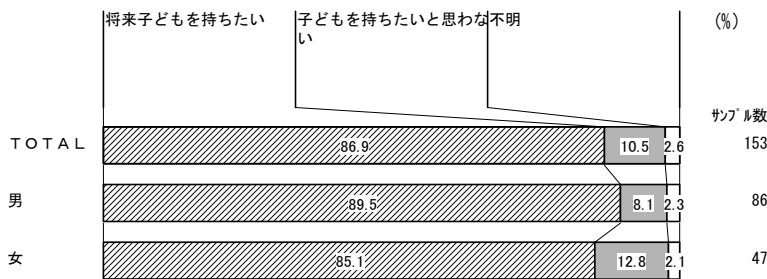
性別で見ると、男性は89.5%が「将来子どもを持ちたい」と回答している。

『子どもを持ちたい』と回答した人にその理由を聞いたところ、「家族の結びつきが強くなるから」が63.2%で最も多く、続いて「子どもを通じて交流が広がるから」が48.9%となっている。

子どもを持ちたいか

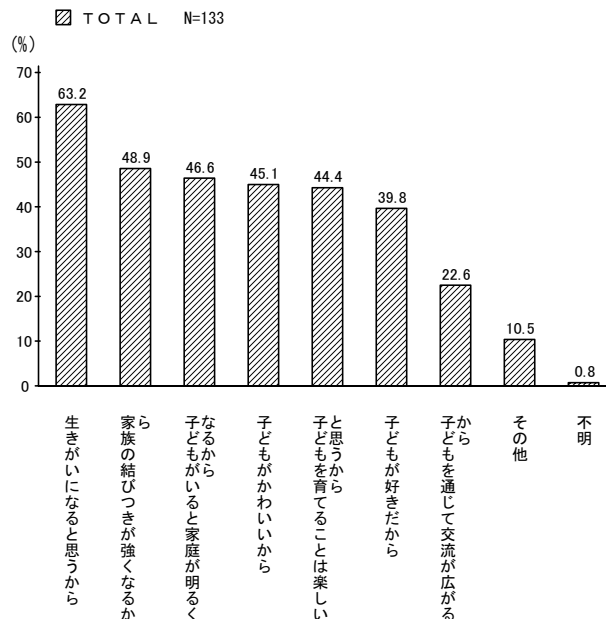


子どもを持ちたいか (性別)

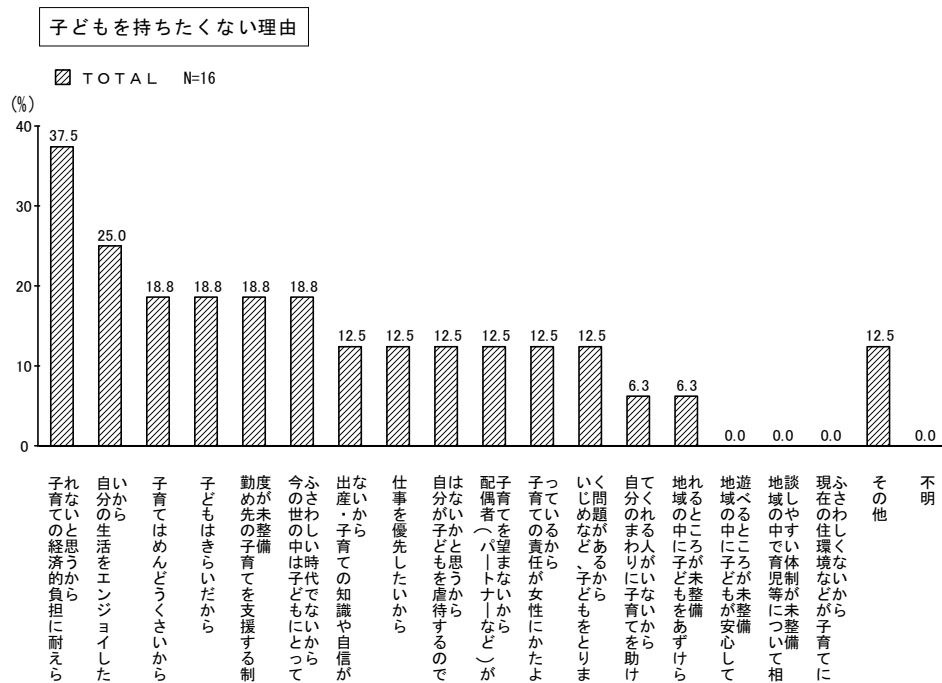


(注) 表側の不明は除く。

子どもを持ちたい理由

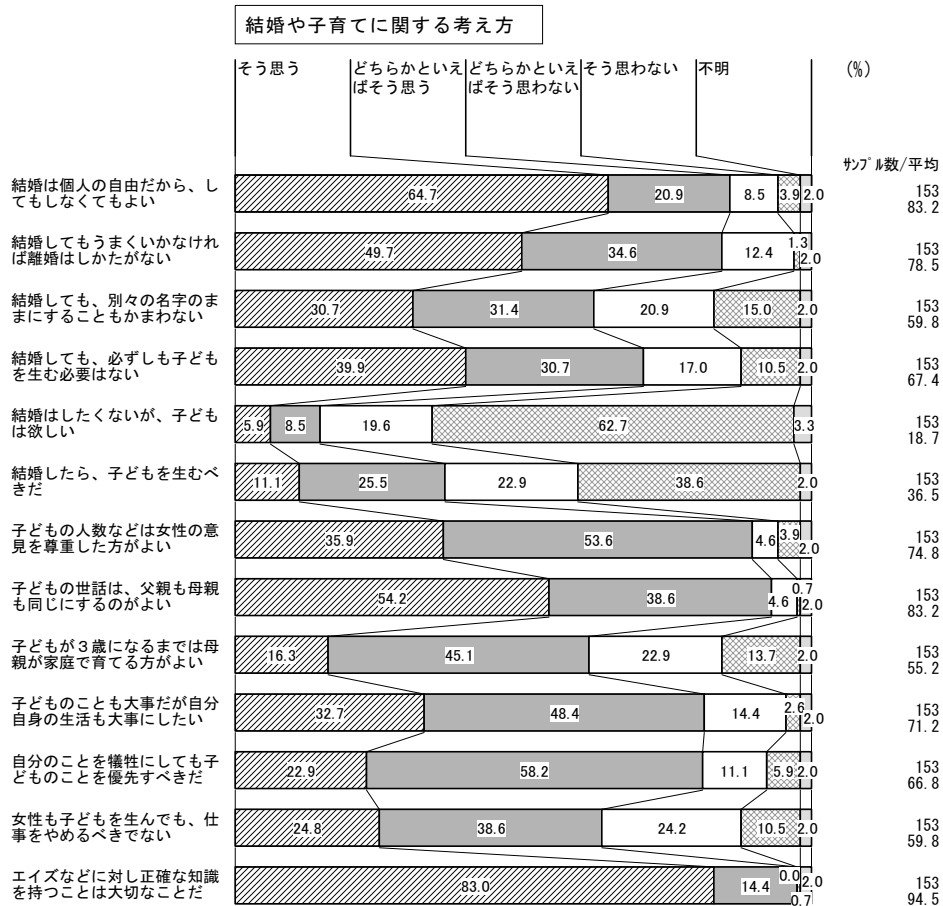


一方『子どもを持ちたいとは思わない』と回答した人にその理由を聞いたところ、「子育ての経済的負担に耐えられないと思うから」が37.5%で最も多く、続いて「自分の生活をエンジョイしたいから」が25.0%となっている。



問 1 1 結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

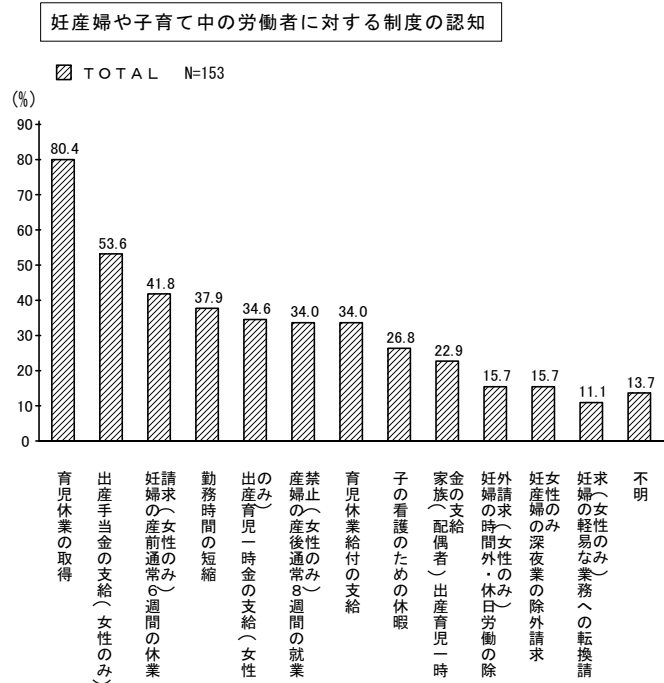
結婚や子ども等についての考え方について、様々な視点から聞いたところ「エイズなどに対し正確な知識を持つことは大切なことだ」「結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい」「子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい」などの「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」「結婚したら、子どもを生むべきだ」の「そうは思わない」の割合が大きくなっている。



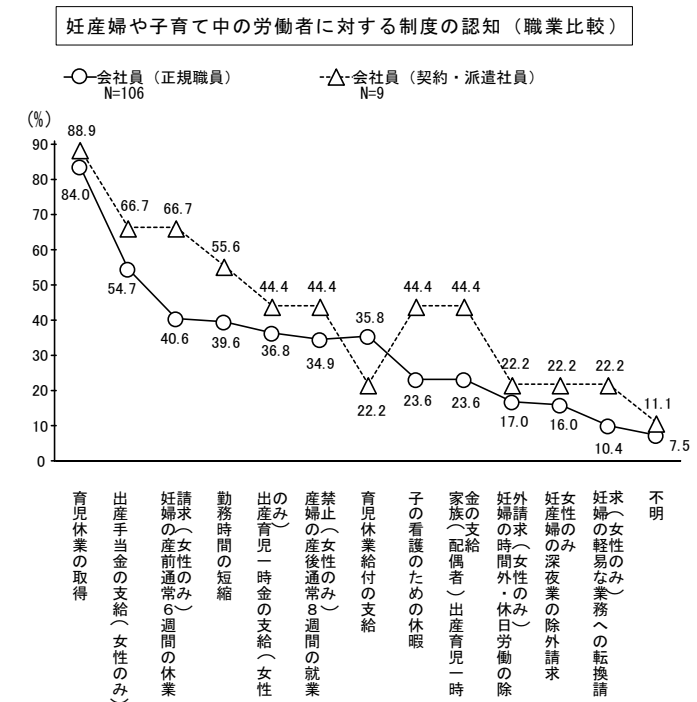
(4) 労働・社会保険等による支援の周知状況について

問12 あなたは、妊産婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保険等による次のような支援があることを知っていますか。(複数回答)

妊産婦や子育て中の労働者に対する制度について知っているものを聞いたところ、「育児休業の取得」が80.4%で最も多く、続いて「出産手当金の支給(女性のみ)」が53.6%となっている。



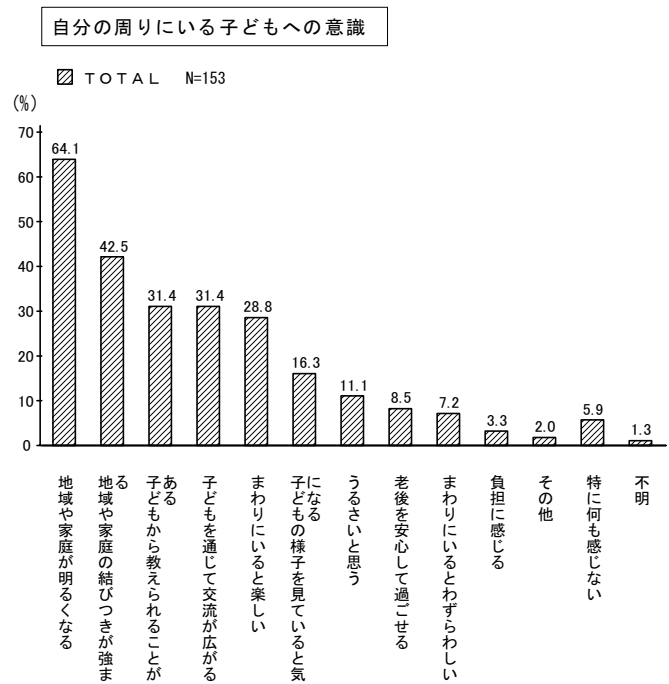
そこで職業による比較を行うと、全体的には「会社員(契約・派遣社員)」の認知度が高い。



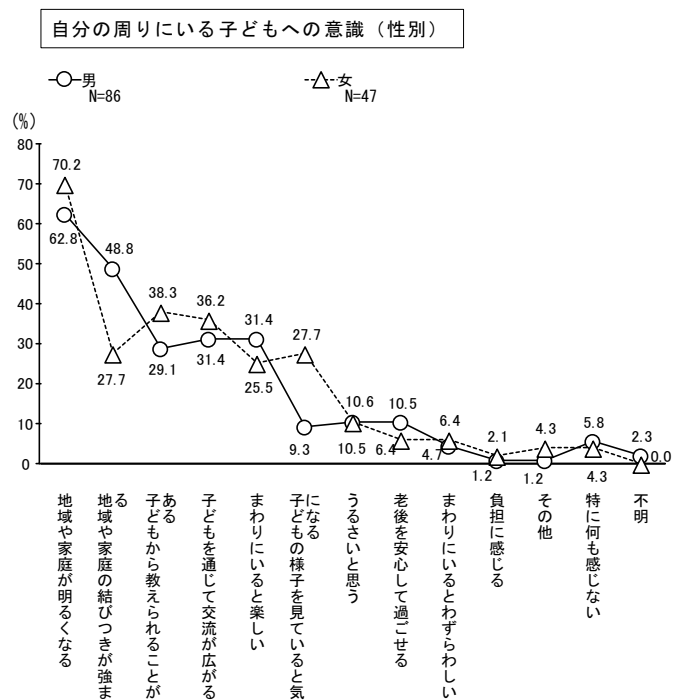
(5) 地域との交流について

問13 あなたは、家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。(3つまで)

自分の周りにいる子どもへの意識について聞いたところ、「地域や家庭が明るくなる」が64.1%で最も多く、続いて「地域や家庭の結びつきが強まる」が42.5%、「子どもから教えられることがある」が31.4%となっている。



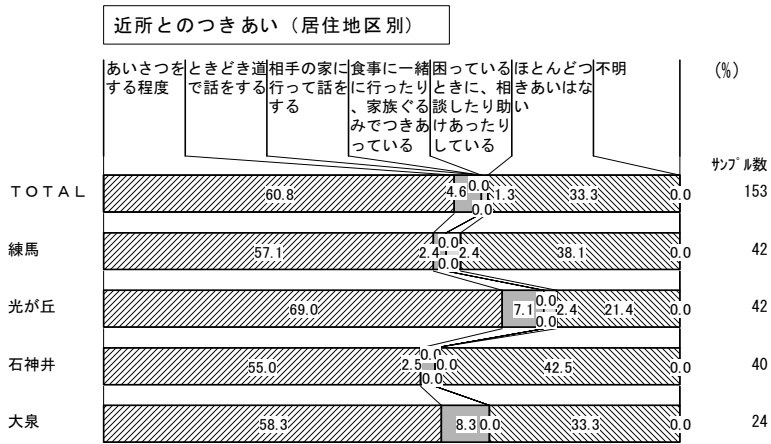
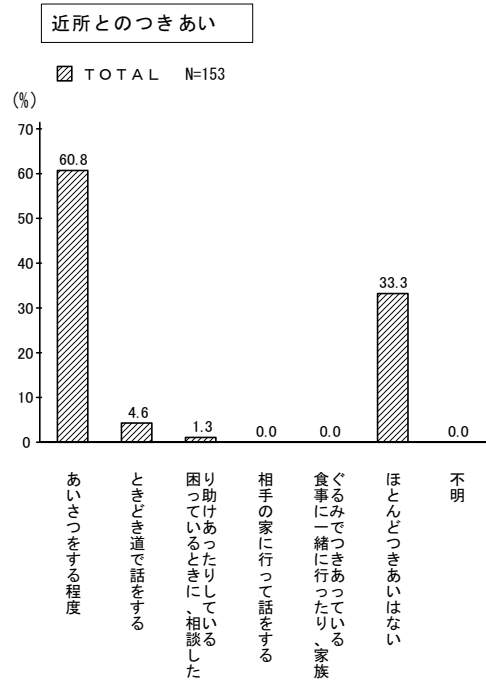
性別で見ると、いずれも「地域や家庭が明るくなる」が最も多く、「地域や家庭の結びつきが強まる」については男性の方がやや多くなっている。



問14 あなたの近所とのつきあいはどうですか。

近所との付き合いについて聞いたところ、「あいさつをする程度」が60.8%となっているが、「ほとんどつきあいはない」も33.3%となっている。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「あいさつをする程度」が多く、「石神井」地区では「ほとんどつきあいはない」も多くとなっている。



(注) 表側の不明は除く。

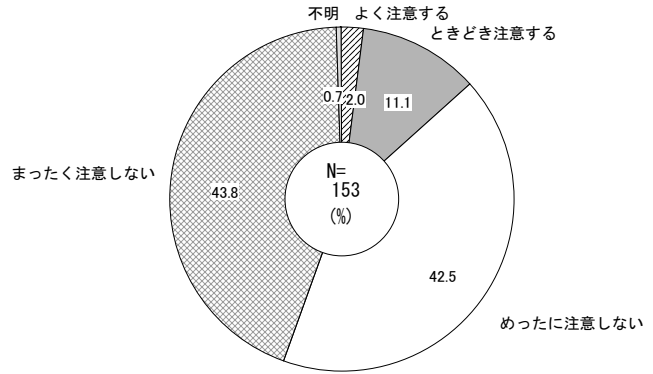
問15 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。

よその子どもへの注意の有無については、「めったに注意しない」が42.5%、「まったく注意しない」が43.8%となっており、8割以上が注意をしないことが分かる。

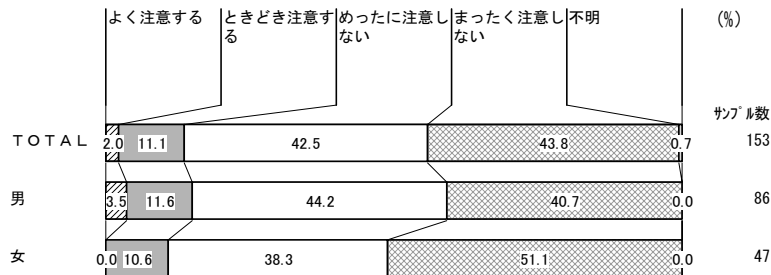
性別で見ると、男女共にあまり注意をしないことが分かる。

居住地区別に見ると、「大泉」地区ではあまり注意をしていない人が多く、「石神井」地区では注意をしている人がやや多くなっている。

よその子どもへの注意

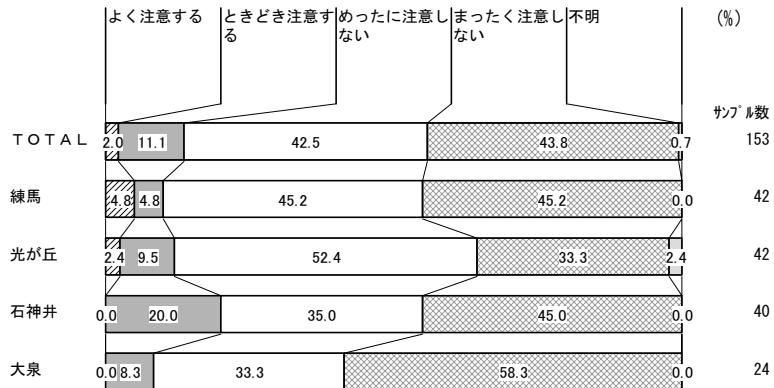


よその子どもへの注意 (性別)



(注) 表側の不明は除く。

よその子どもへの注意 (居住地区別)



(注) 表側の不明は除く。

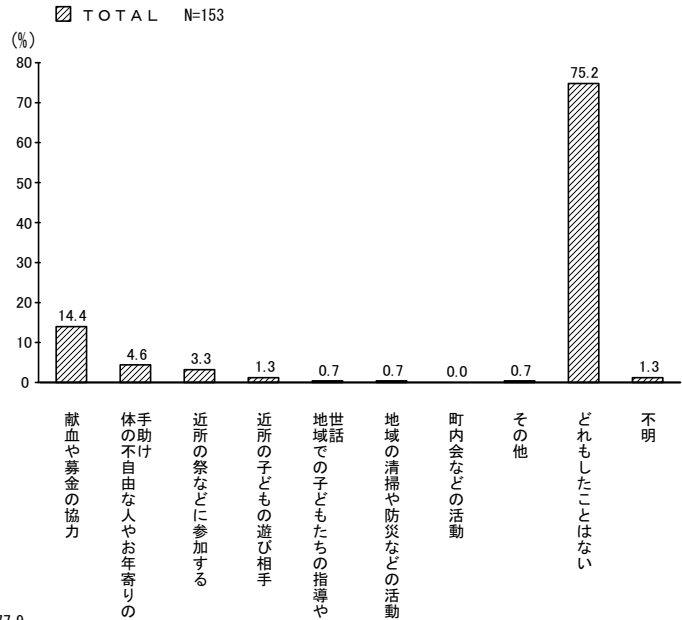
問 1 6 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(複数回答)

1年間で地域活動の経験について見てみると、「どれもしたことはない」が75.2%で最も多く、経験があるものについては、「献血や募金の協力」が14.4%となっている。

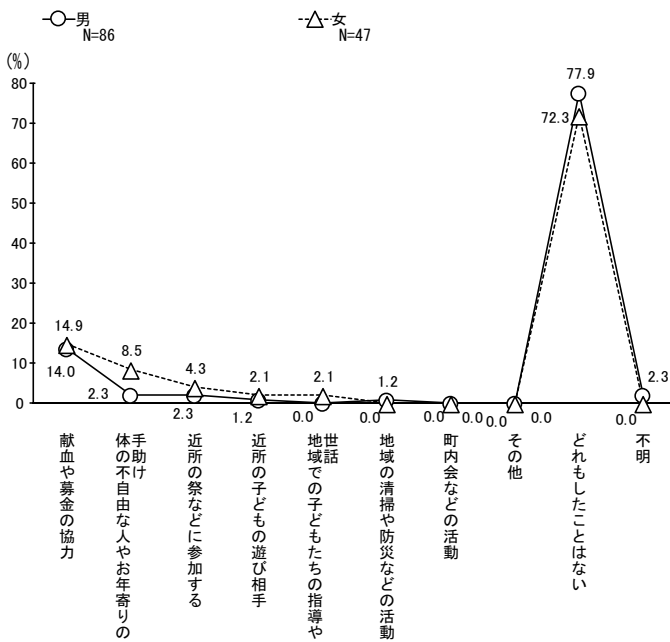
性別で見ると、男女共に「どれもしたことはない」が最も多く、女性については「身体の不自由な人やお年寄りの手助け」もやや多くなっている。

居住地区別に見ると、ほとんどの地区では「どれもしたことはない」が多くなっている。

地域活動の経験（1年間）



地域活動の経験（1年間）（性別）



地域活動の有無（1年間）（居住地区別）

	TOTAL	献血や募金の協力	お年寄りの手助けや身体の不自由な人への加える	近所の祭などに参加する	近所の子どもの遊び相手	地域での子どもたちの指導や世話	地域の清掃や防災などの活動	町内会などの活動	その他	どれもしたことはない	不明
TOTAL	153	14.4	4.6	3.3	1.3	0.7	0.7	0.0	0.7	75.2	1.3
練馬	42	16.7	4.8	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	71.4	0.0
光が丘	42	16.7	2.4	4.8	2.4	2.4	2.4	0.0	0.0	71.4	0.0
石神井	40	12.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	2.5
大泉	24	8.3	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0

(注) 網掛けは30%以上。

問17 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。

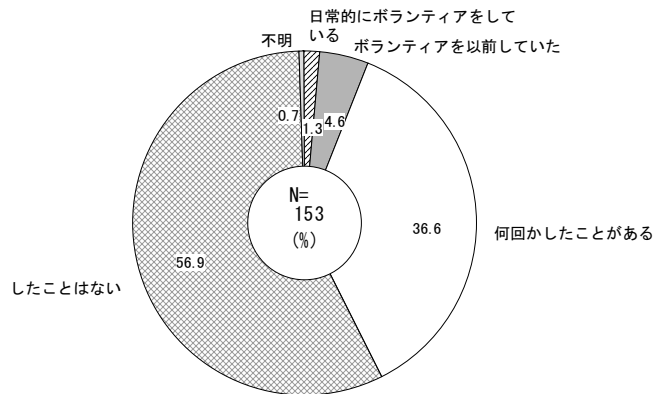
問18 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(複数回答)

ボランティア経験について聞いたところ、「したことはない」は56.9%、「何回かしたことがある」は36.6%となっている。

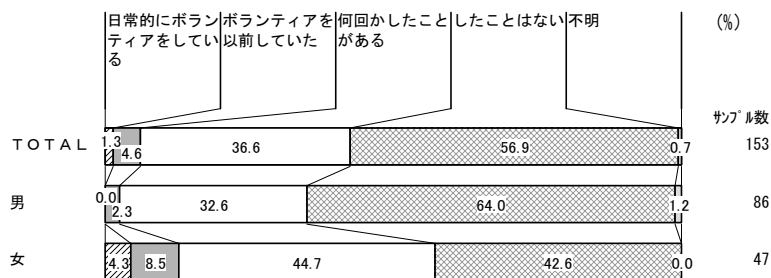
性別で見ると、男性は「したことはない」が6割を超えて多く、女性は「何回かしたことがある」が最も多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「したことはない」が多くなっているが、「練馬」地区では「何回かしたことがある」がやや多くなっている。

ボランティア経験

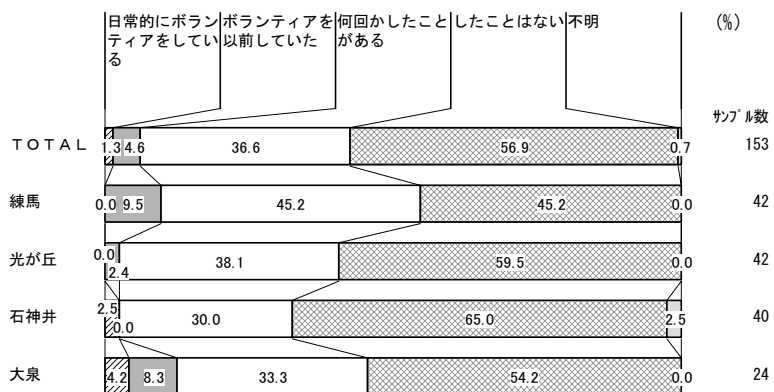


ボランティア経験 (性別)



(注) 表側の不明は除く。

ボランティア経験 (居住地区別)

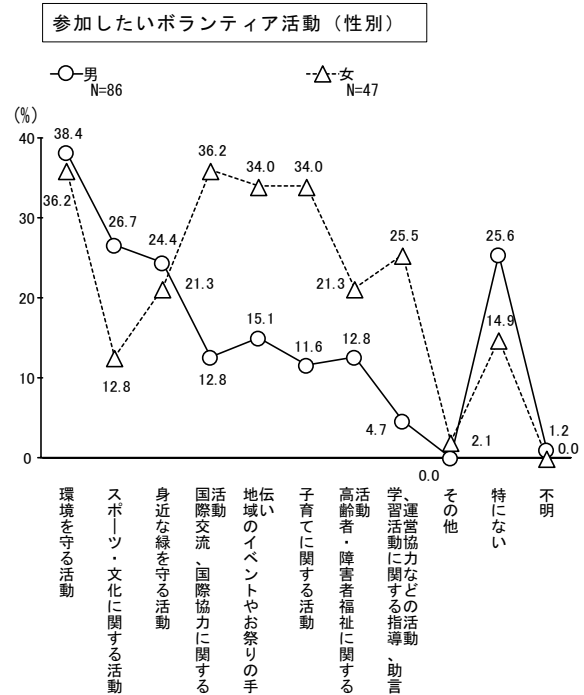
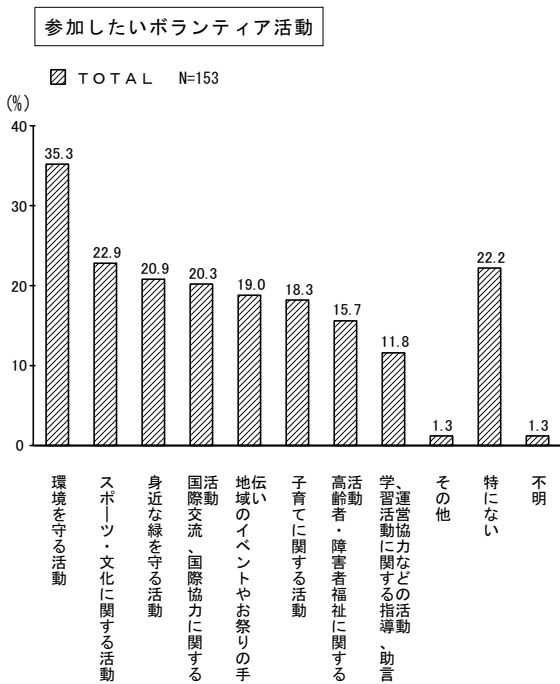


(注) 表側の不明は除く。

そこで参加したいボランティア活動について聞いたところ、「環境を守る活動」が35.3%で最も多く、続いて「スポーツ・文化に関する活動」が22.9%、「特にない」が22.2%となっている。

性別で見ると、男性は「環境を守る活動」や「スポーツ・文化に関する活動」、女性は「国際交流、国際協力に関する活動」「子育てに関する活動」が多くなっている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「環境を守る活動」が多くなっている。



参加意向のあるボランティア活動（居住地区別）

	TOTAL	環境を守る活動	スポーツ・文化に関する活動	身近な緑を守る活動	国際交流、国際協力に関する活動	地域のイベントやお祭りの手伝い	子育てに関する活動	高齢者・障害者福祉に関する活動	学習活動に関する指導、助言	その他	特にない	不明
TOTAL	153	35.3	22.9	20.9	20.3	19.0	18.3	15.7	11.8	1.3	22.2	1.3
練馬	42	38.1	19.0	28.6	33.3	28.6	21.4	14.3	23.8	0.0	19.0	2.4
光が丘	42	28.6	19.0	19.0	16.7	21.4	14.3	9.5	4.8	2.4	28.6	0.0
石神井	40	32.5	22.5	17.5	12.5	10.0	12.5	25.0	12.5	0.0	27.5	2.5
大泉	24	41.7	33.3	16.7	20.8	12.5	25.0	8.3	4.2	4.2	12.5	0.0

(注) 網掛けは30%以上。

問19 あなたは、子どもの安全を確保するために、地域のボランティアパワーによって実施していく学校応援団の活動についてどうお考えになりますか。

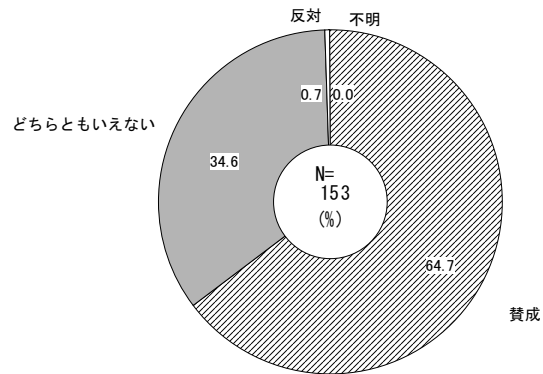
問19(1) 問19で「賛成」と答えた人へ、ボランティアとして活動することができますか。

子どもの安全を確保するために、地域のボランティアパワーによって実施していく学校応援団の活動について聞いたところ、「賛成」は64.7%、「どちらともいえない」は34.6%となっている。

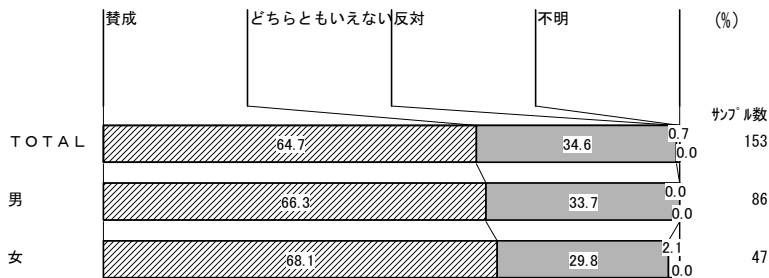
性別で見ると、男女共に「賛成」が6割を超えて多くなっている。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「賛成」が多くなっている。

学校応援団の活動への評価

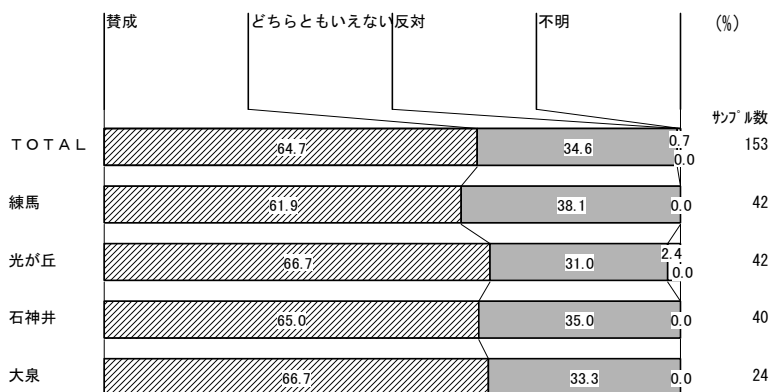


学校応援団の活動への評価 (性別)



(注) 表側の不明は除く。

学校応援団の活動への評価 (居住地区別)



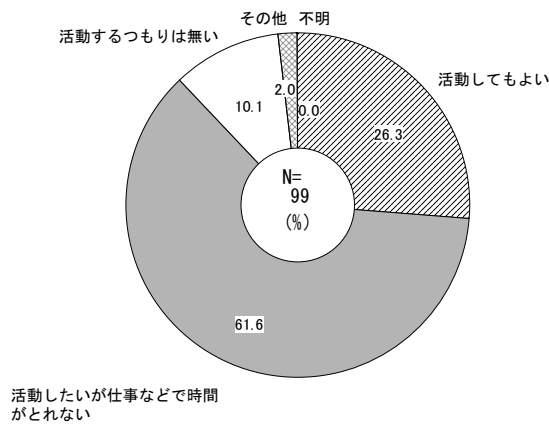
(注) 表側の不明は除く。

『学校応援団の活動について』について「賛成」と回答した人に、ボランティアとしての活動可能性について聞いたところ、「活動したいが、仕事などで時間がとれない」が53.5%で最も多く、続いて「活動してもよい」が31.3%となっている。

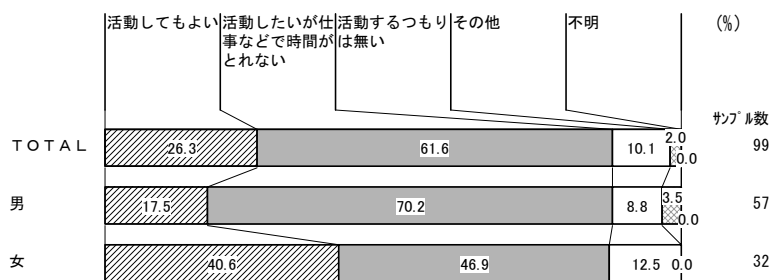
性別で見ると、男性は「活動したいが、仕事などで時間がとれない」が最も多く、女性は「活動してもよい」も多くなっている。

居住地区別に見ると、「練馬」地区などでは「活動したいが、仕事などで時間がとれない」が最も多く、「大泉」地区では「活動してもよい」が最も多くなっている。

ボランティアとしての活動可能性

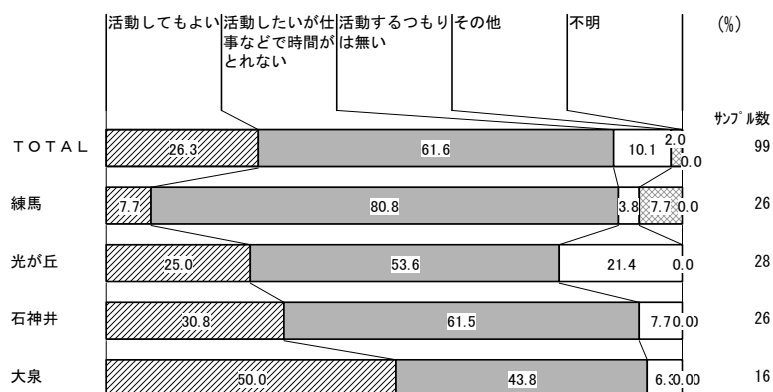


ボランティアとしての活動可能性（性別）



(注) 表側の不明は除く。

ボランティアとしての活動可能性（居住地区別）



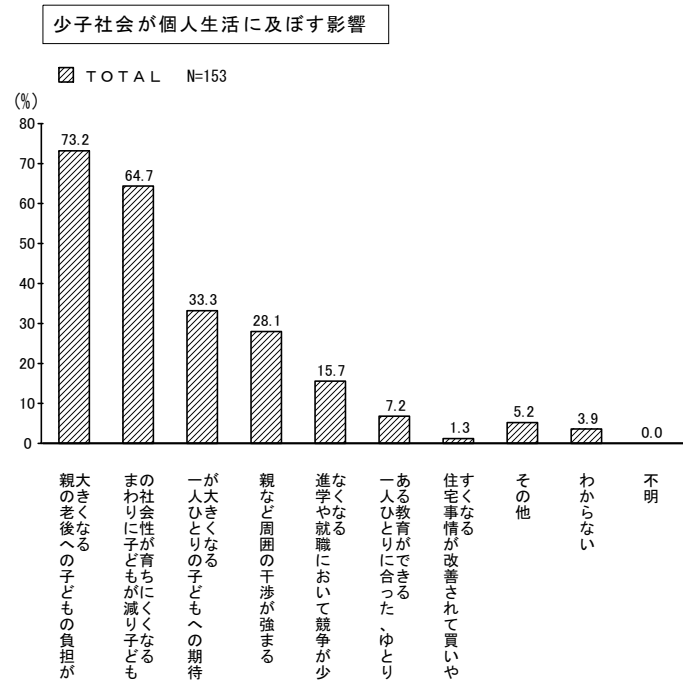
(注) 表側の不明は除く。

(6) 少子社会に対する考え方について

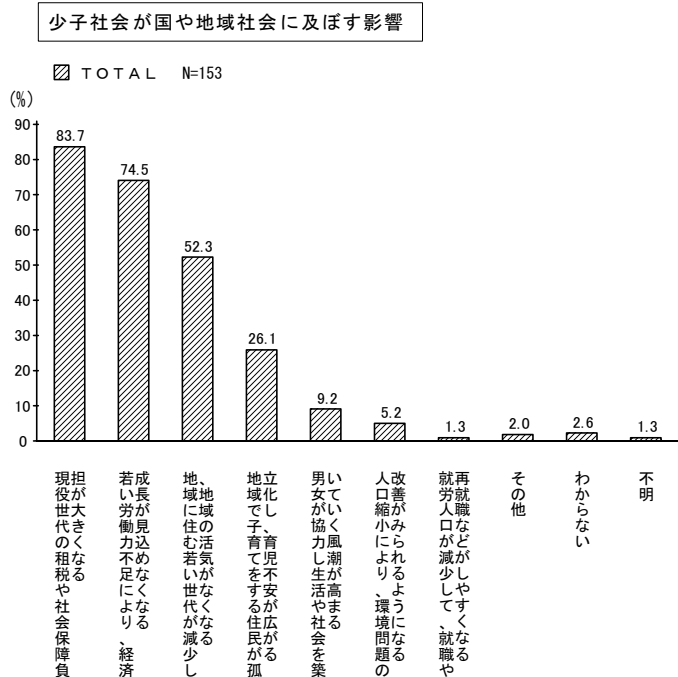
問20 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。（3つまで）

問21 あなたは、少子社会が国や地域社会にはどのような影響を与えますか。（3つまで）

少子化の個人生活への影響については、「親の老後への子どもの負担が大きくなる」が73.2%で最も多く、続いて「まわりに子どもが減り子どもの社会性が育ちにくくなる」が64.7%となっている。



少子化の国、地域社会への影響については、「現役世代の租税や社会保障負担が大きくなる」が83.7%で最も多く、続いて「若い労働力不足により、経済成長が見込めなくなる」が74.5%となっている。



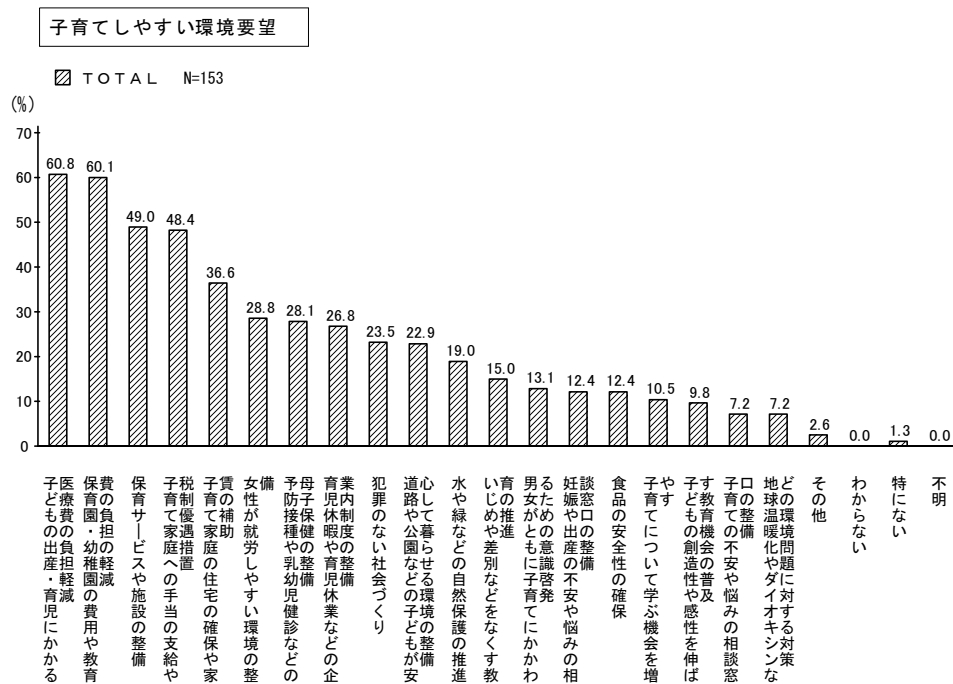
(7) 行政サービス要望について

問2 あなたは、子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていくのがよいと思いますか。(5つまで)

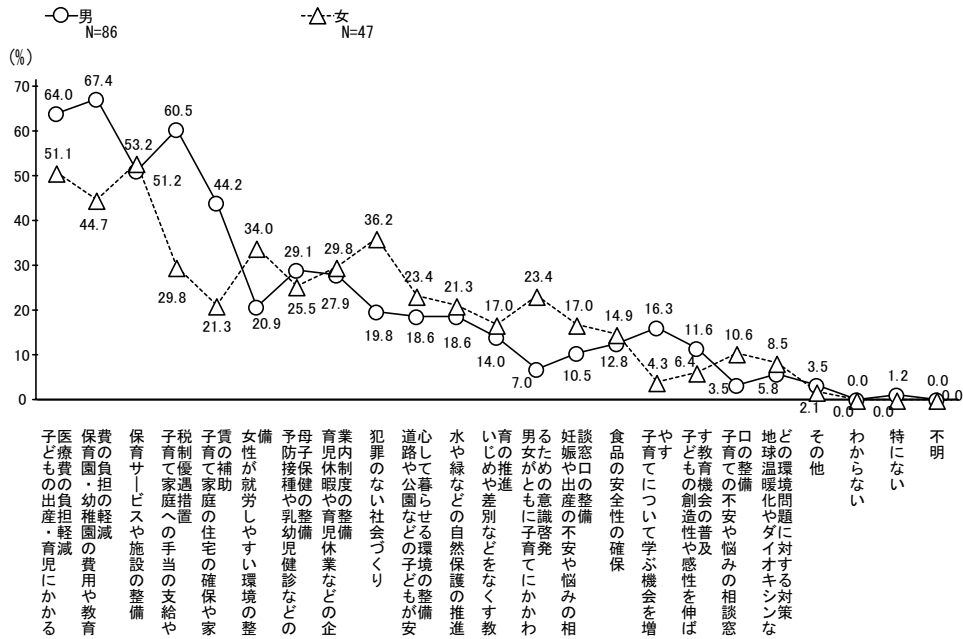
子育てしやすい環境を整備するために必要なことを聞いたところ、「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」が60.8%で最も多く、続いて「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」が60.1%、「保育サービスや施設の整備」が49.0%となっている。

性別で見ると、全体的には男性の方が多くの項目を選択しているが、「女性が就労しやすい環境の整備」「犯罪のない社会づくり」「男女がともに子育てにかかわるための意識啓発」については、女性の方がより多くの項目を選択している。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」「保育サービスや施設の整備」が多くなっているが、特に「大泉」地区ではこれら上位項目についての要望が他の地区よりやや多くなっている。



子育てしやすい環境要望



必要な子育て環境整備 (居住地区別)

	TOTAL	医療費の負担軽減	子どもの出産・育児にかかる	保育園・幼稚園の費用や教育費の負担軽減	保育サービ	スや施設の整備	税制優遇措置	子育て家庭への手当の支給や	子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助	子育て家庭の整備	女性が就労しやすい環境の整備	予防接種や乳幼児健診などの母子保健の整備	業内制度の整備	育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備	犯罪のない社会づくり	心して暮らせる環境の整備	道路や公園などの子どもが安心できる環境の整備	水や緑などの自然保護の推進	育の推進	いじめや差別などをなくす教育の推進	男女がともに子育てにかかわるための意識啓発	妊婦や出産の不安や悩みの相談窓口の整備	食品の安全性の確保	子育てについて学ぶ機会を増やす	子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	どの環境問題に対する対策	地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策	その他	わからない	特にな	不明	
TOTAL	153	60.8	60.1	49.0	48.4	36.6	28.8	28.1	26.8	23.5	22.9	19.0	15.0	13.1	12.4	12.4	12.4	12.4	10.5	9.8	7.2	7.2	2.6	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
練馬	42	54.8	61.9	52.4	47.6	47.6	16.7	19.0	28.6	21.4	14.3	26.2	14.3	14.3	14.3	16.7	7.1	9.5	4.8	9.5	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
光が丘	42	52.4	59.5	54.8	40.5	35.7	38.1	31.0	26.2	21.4	19.0	11.9	16.7	14.3	11.9	9.5	9.5	7.1	4.8	2.4	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
石神井	40	67.5	52.5	35.0	55.0	25.0	40.0	25.0	27.5	17.5	25.0	20.0	10.0	7.5	12.5	12.5	12.5	12.5	5.0	7.5	5.0	7.5	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
大泉	24	70.8	62.5	58.3	45.8	37.5	12.5	41.7	25.0	37.5	33.3	16.7	12.5	8.3	4.2	4.2	4.2	8.3	8.3	8.3	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 網掛けは40%以上のもの。

IV-5 子育て中及び子育て終了世帯の調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

区内に居住する子育て中の世帯、子育て終了世帯の一般区民に対してアンケートを行うことにより、生活実態、結婚や子育て等に関する意見などを把握し、平成21年度「練馬区次世代育成支援対策行動計画（後期）」を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ①家族及び生活について
- ②子育てについて
- ③子育てに関する情報、相談等について
- ④結婚や子育てについて
- ⑤労働・社会保険等による支援の周知状況
- ⑥地域交流について
- ⑦少子社会に対する考え方について
- ⑧行政サービスへの要望について

(3) 調査仕様

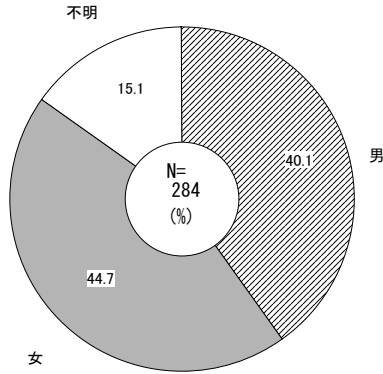
- ①調査地域 区内
- ②調査対象 区内に居住する子育て中世帯（13歳から18歳の末子のいる世帯）及び子育て終了世帯（50歳から65歳の夫婦のみの世帯）
- ③標本数 500件（各250件）
- ④抽出方法 住民基本台帳から調査対象の条件をかけて抽出
- ⑤調査方法 郵送配布、郵送回収
- ⑥調査期間 平成21年2月27日～3月13日

(4) 回収数・回収率

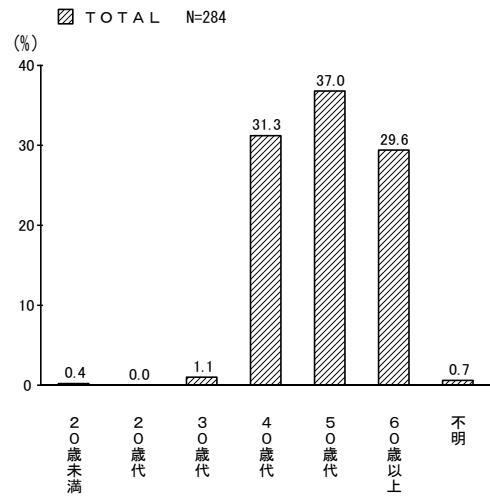
284件 有効回答率=56.8%

(5) 基本属性

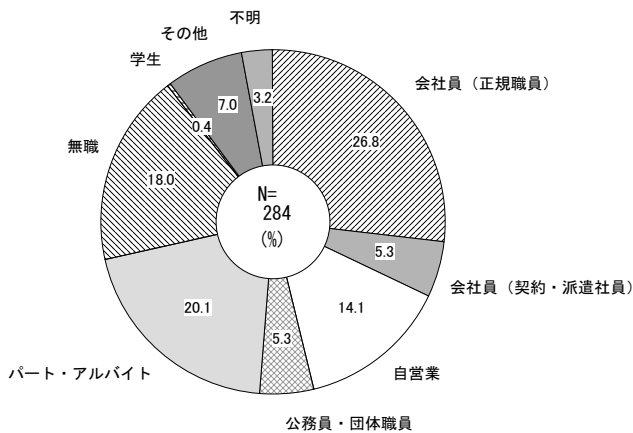
性別



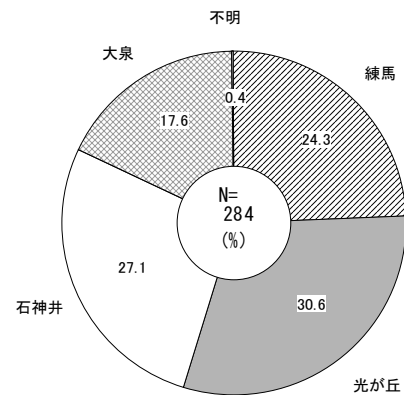
年齢



職業



居住地区



◆本報告書における調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は全体及びNで示している。
- 回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の問のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な問のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。

2. 調査結果の概要

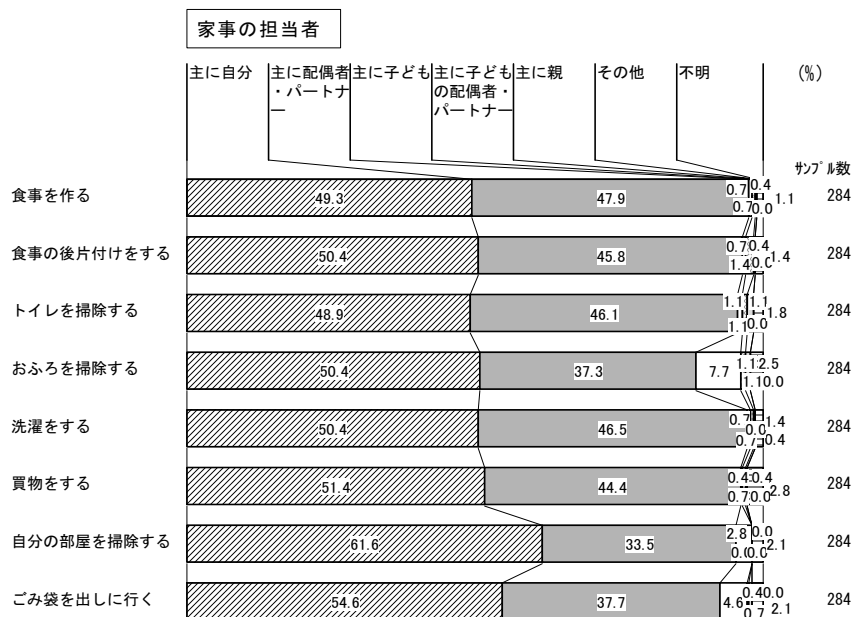
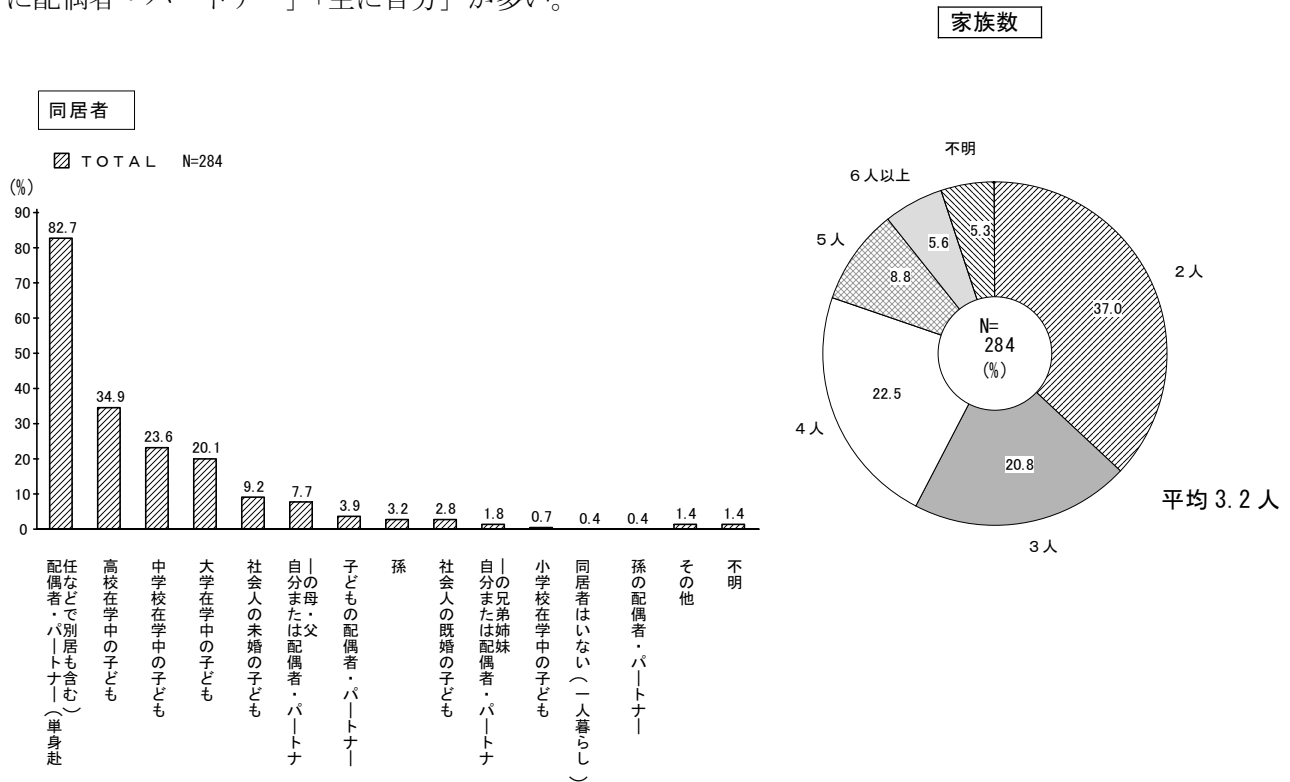
(1) 家族及び生活について

問1 同居されている方はどなたですか。あなたを中心にお答えください。(複数回答)

問1 (1) 次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。

家族について聞くにあたり、はじめに同居者について聞いたところ、「配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)」が82.7%で最も多く、続いて「高校在学中の子ども」が34.9%、「中学校在学中の子ども」が23.6%となっている(同居家族数:平均3.2人)。

また様々な家事の担当者については、全体的に「主に配偶者・パートナー」「主に自分」が多い。



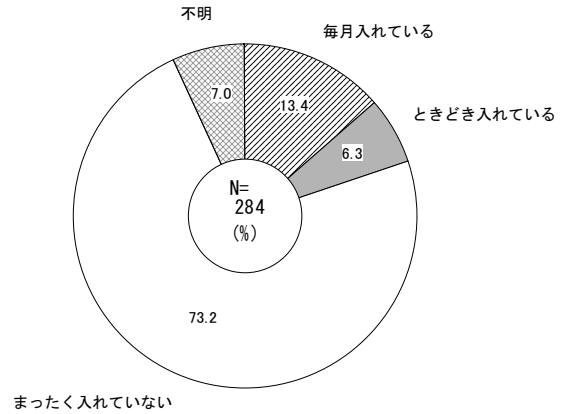
問2 あなたは、子どもへ生活費（仕送り）を入れていますか。

子どもへの生活費（仕送り）について見てみると、「まったく入れていない」が73.2%で最も多くなっている。また「毎月入れている」は13.4%、「ときどき入れている」は6.3%となっている。

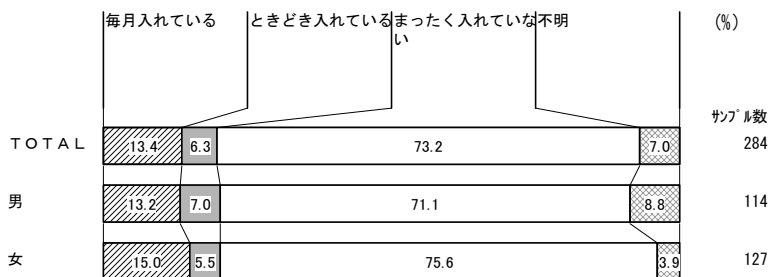
性別で見ると、いずれも「まったく入れていない」が多くなっている。

年齢別に見ると、およそ子どもが高校生前後の年代である「40歳代」では「毎月入れている」がやや多く、「60歳代」になると8割弱が「まったく入れていない」となっている。

子どもへの生活費（仕送り）

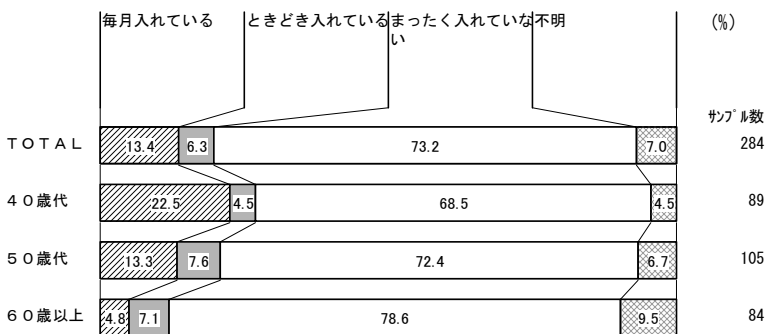


子どもへの生活費（仕送り）（性別）



(注) 表側の不明は除く。

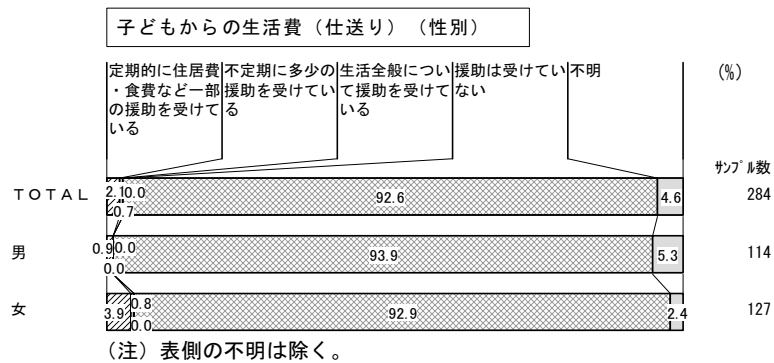
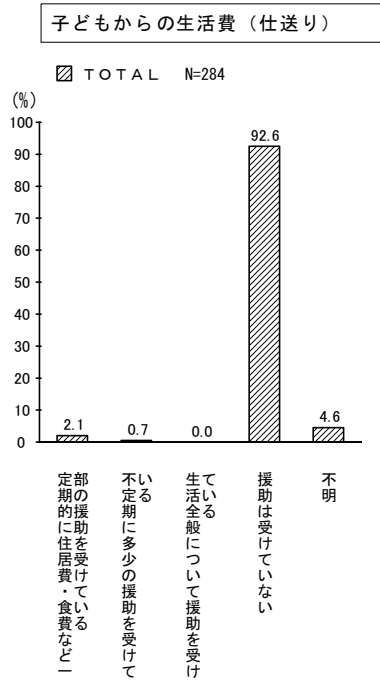
子どもへの生活費（仕送り）（年齢別）



(注) 表側の不明は除く。その他の項目はサンプル数が少ないか無いため除く。

問3 あなたは、子どもから生活費の援助を受けていますか。

子どもからの生活費の援助について聞いたところ、「援助は受けていない」が92.6%を占めている。性別で見ると、いずれも「援助は受けていない」が圧倒的に多くなっている。



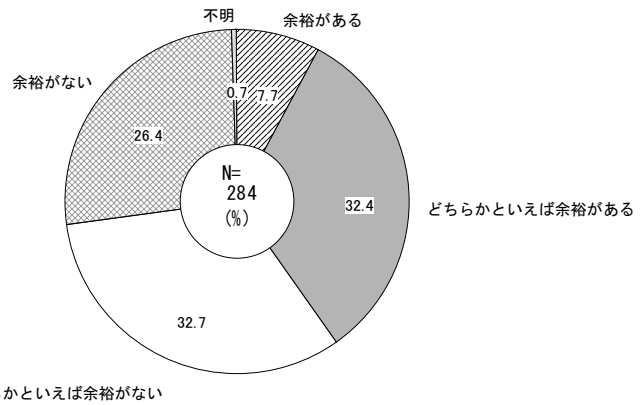
問4 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。

経済的余裕について聞いたところ、「どちらかといえば余裕がある」「どちらかといえば余裕がない」の2つが32%前後でほぼ均等に分かれており、「余裕がない」も26.4%となっている。

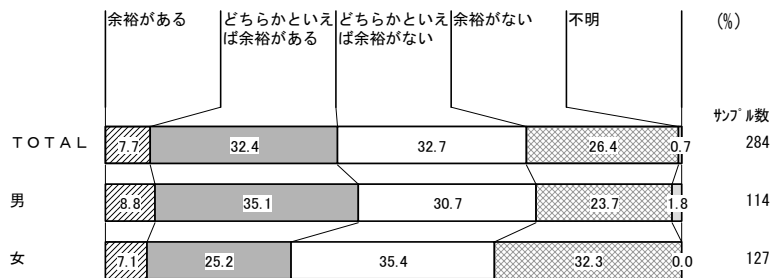
性別で見ると、「余裕がある」「どちらかといえば余裕がある」については男性が多くなっている。

年齢別で見ると、「40歳代」では余裕がないことが分かるが、「60歳代」では余裕がある人の割合が大きくなっている。

経済的余裕

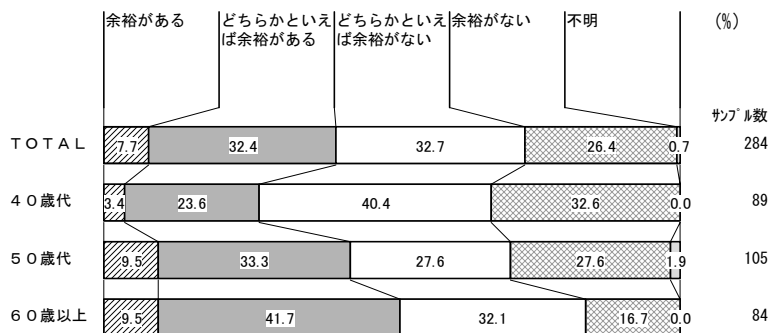


経済的余裕 (性別)



(注) 表側の不明は除く。

経済的余裕 (年齢別)

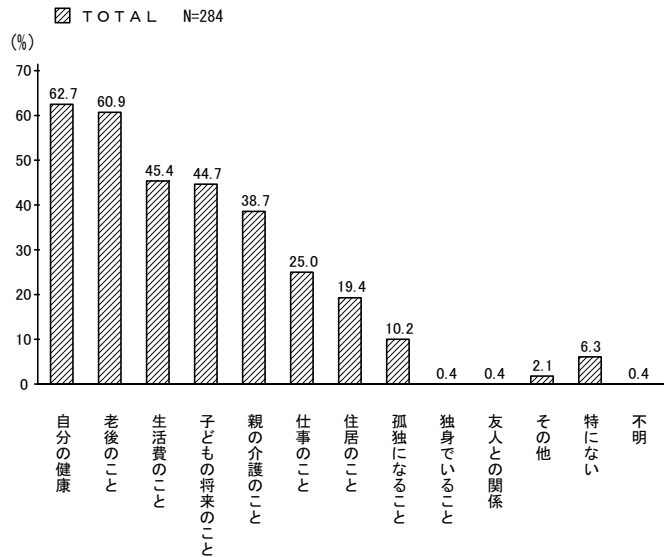


(注) 表側の不明は除く。その他の項目はサンプル数が少ないか無いため除く。

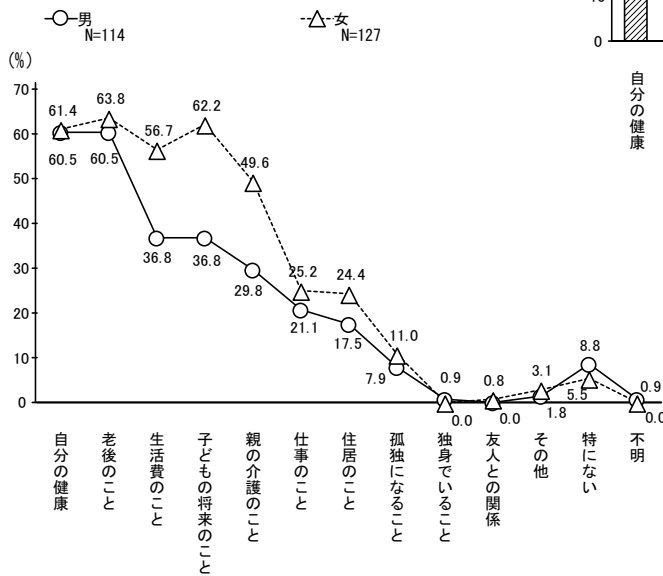
問5 あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。(複数回答)

将来への不安について聞いたところ、「自分の健康」が62.7%で最も多く、続いて「老後のこと」が60.9%、「生活費のこと」が45.4%となっている。
性別で見ると、「生活費のこと」「子どもの将来のこと」や「親の介護のこと」で女性が多くなっている。

将来への不安

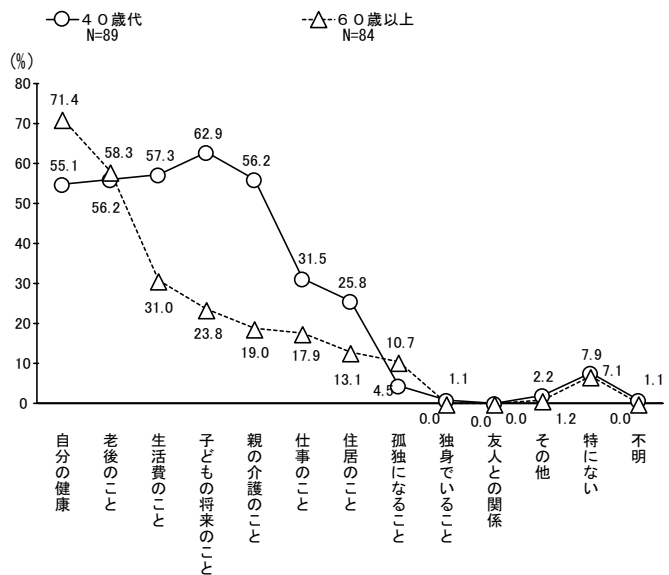


将来への不安 (性別)



およそ中学生、高校生を養育している「40歳代」と、およそ子どもが独立している「60歳代」とで比較すると(以下「年齢比較」)、「40歳代」では「子どもの将来のこと」「生活費のこと」や「親の介護のこと」について不安と感じている割合が多い。

将来への不安 (年齢比較)



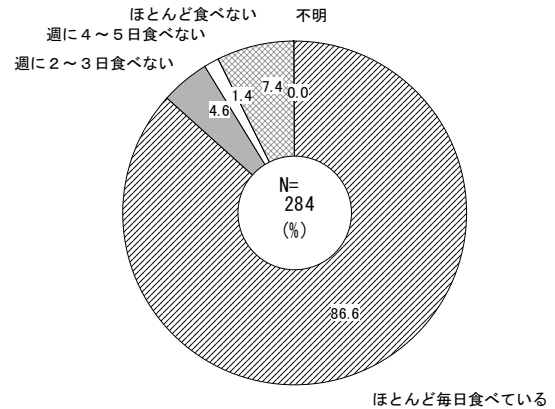
問6 あなたは、朝食をとっていますか。
 問6 (1) その理由は何ですか。

朝食摂取状況については、「ほとんど毎日食べている」が86.6%で、「ほとんど食べない」は7.4%となっている。

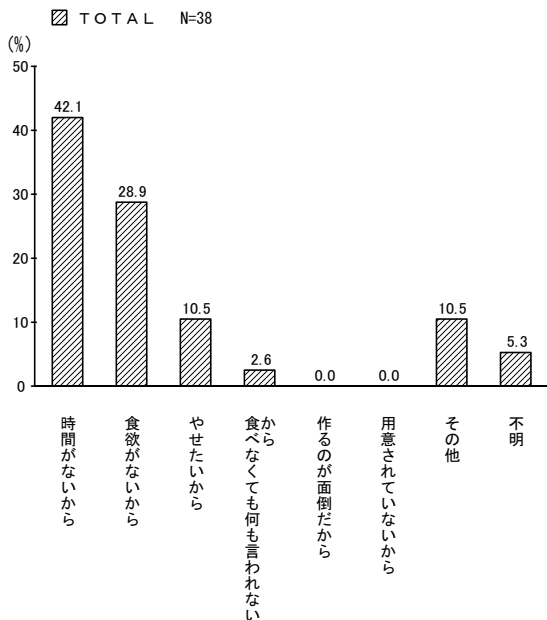
朝食の摂取について「ほとんど毎日食べる」と回答した人以外に、朝食を摂取しない理由について聞いたところ、「時間がないから」が42.1%となっており、続いて「食欲がないから」が28.9%となっている。

朝食摂取状況を性別で見ると、男女共に「ほとんど毎日食べる」が多くなっている。

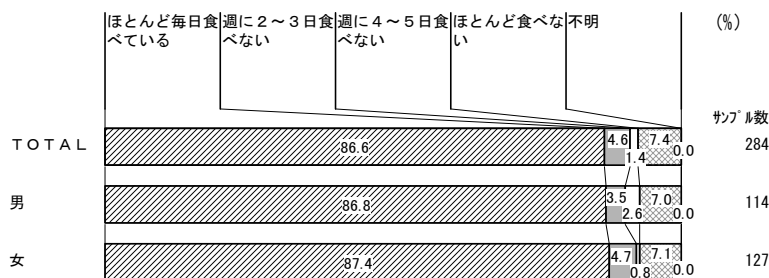
朝食の有無



朝食をとらない理由



朝食の有無 (性別)

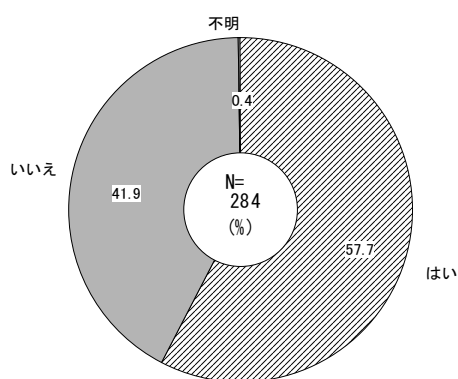


(注) 表側の不明は除く。

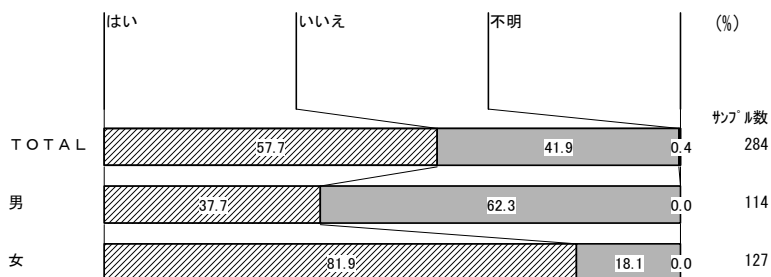
問7 あなたは、間食をしていますか。
問7 (1) 間食ではどのようなものを食べていますか。(3つまで)

間食の有無について聞いたところ、「はい」が57.7%、「いいえ」が41.9%となっている。
 性別で見ると、女性は81.9%が間食をしているが、男性の62.3%はしていない。

間食の有無



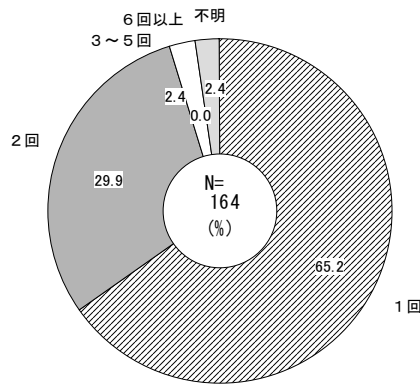
間食の有無 (性別)



(注) 表側の不明は除く。

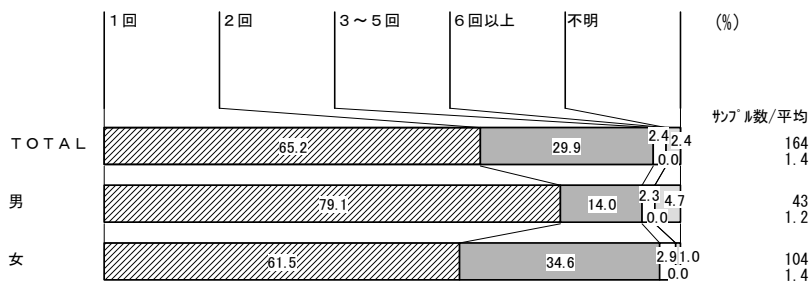
間食の有無で「はい」と回答した人に、1日の回数を聞いたところ平均で1.4回であった。性別で見ると、女性の回数が多いことが分かる（平均1.4回）。

間食の回数(1日)



平均 1.4 回

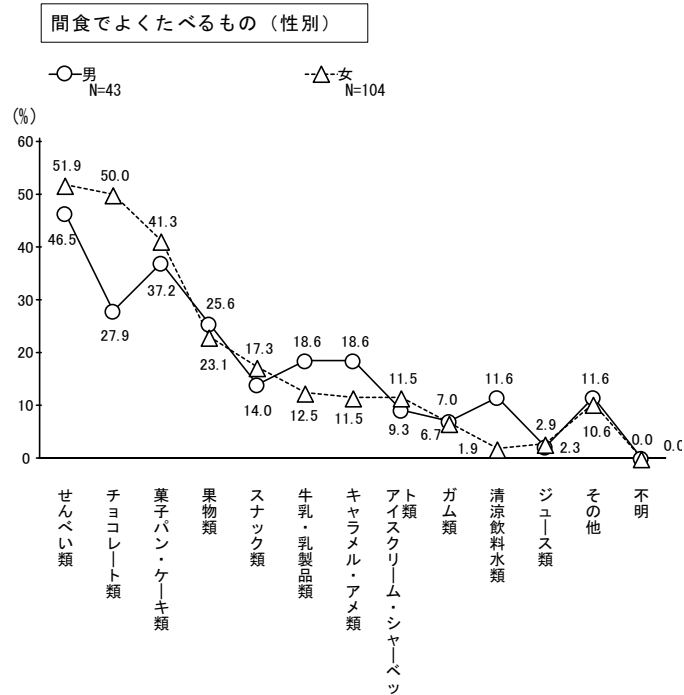
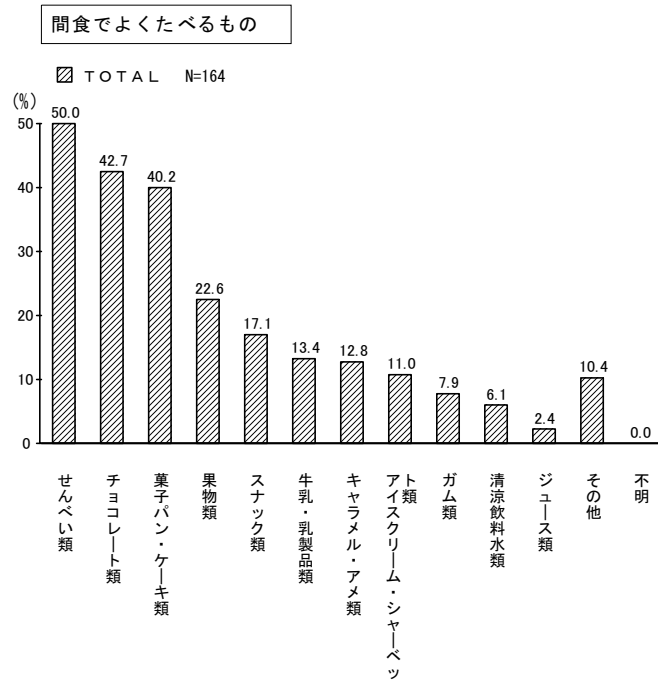
間食の回数 (性別)



(注) 表側の不明は除く。

間食をする人に、間食でよく食べるものについて聞いたところ、「せんべい類」が50.0%で最も多くなっており、続いて「チョコレート類」が42.7%、「菓子パン・ケーキ類」が40.2%などとなっている。

性別で見ると、男女共に「せんべい類」が多くなっているが、女性は「チョコレート類」「菓子パン・ケーキ類」なども同様に多くなっている。



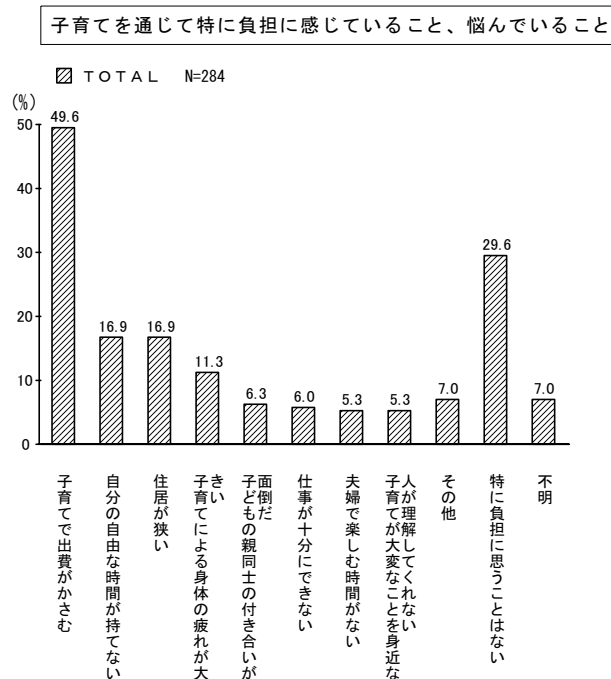
(2) 子育てについて

問8 あなたがこれまでの子育てを通じて、特に負担を感じていること、悩んでいることはどのようなことですか。(複数回答)

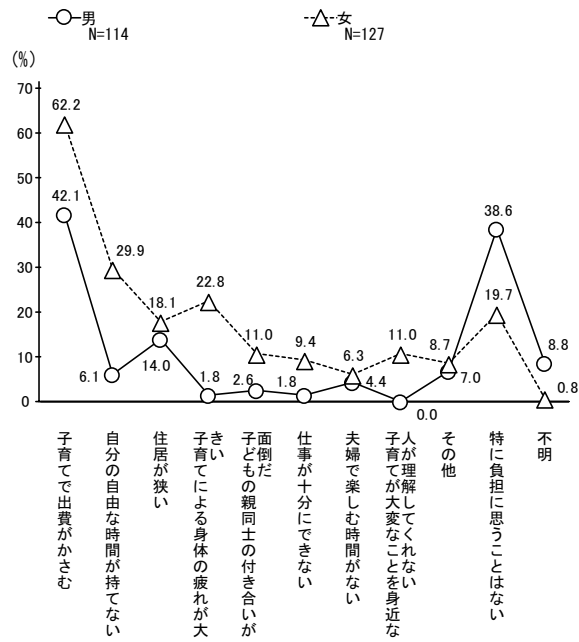
子育てを通じて、特に負担を感じていること、悩んでいることはどのようなことか聞いたところ、「子育てで出費がかさむ」が 49.6%で最も多くなっており、続いて「特に負担に思うことはない」が 29.6%、「自分の自由な時間が持てない」が 16.9%となっている。

性別で見ると、女性の方がより多くの項目を選択している。特に「子育てで出費がかさむ」が顕著となっている。一方、男性については、「子育てで出費がかさむ」の他には「特に負担に思うことはない」が多くなっている。

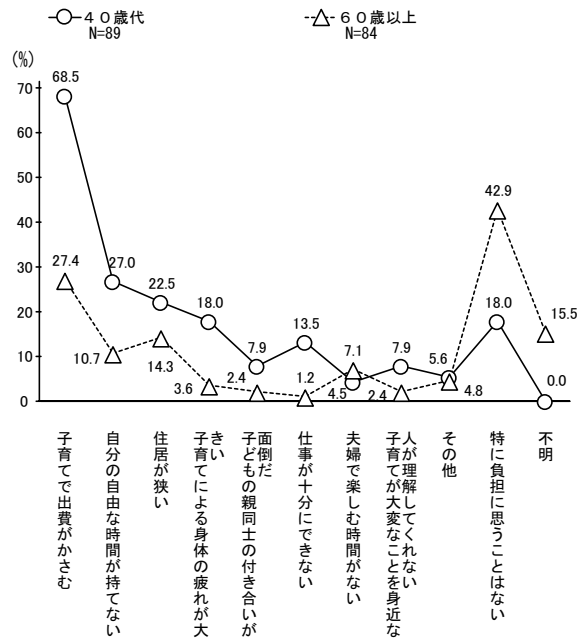
年齢比較で見ると、40歳代では「子育てで出費がかさむ」が顕著となっている。一方、60歳以上については、「特に負担に思うことはない」が多くなっている。



子育てを通じて特に負担に感じていること、悩んでいること（性別）



子育てを通じて特に負担に感じていること、悩んでいること（年齢比較）

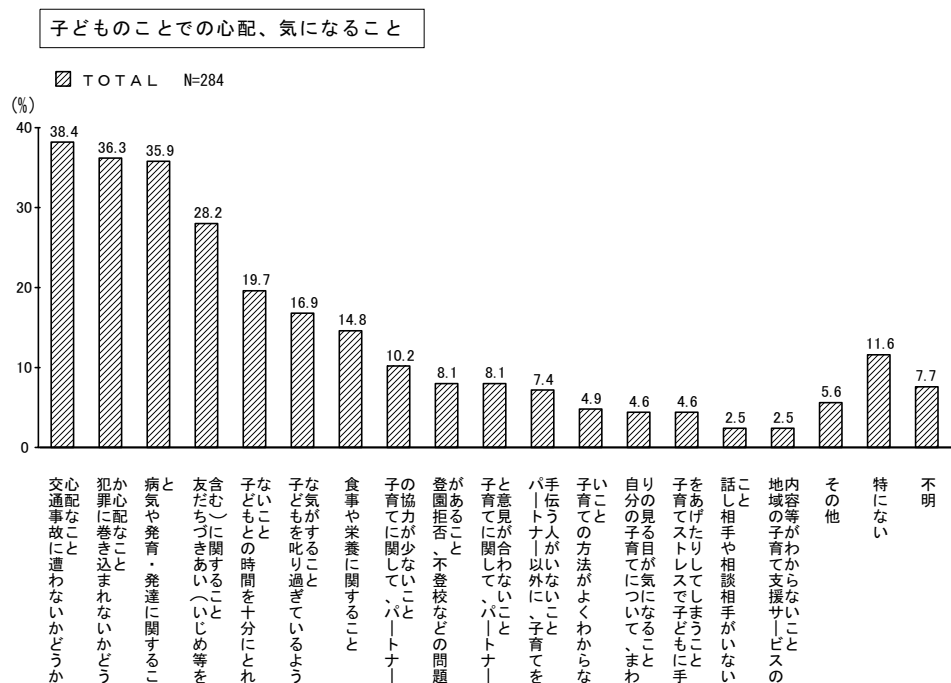


問9 あなたが、これまでに、子どものことで心配に感じたり、気になったりしたのはどのようなことですか。(複数回答)

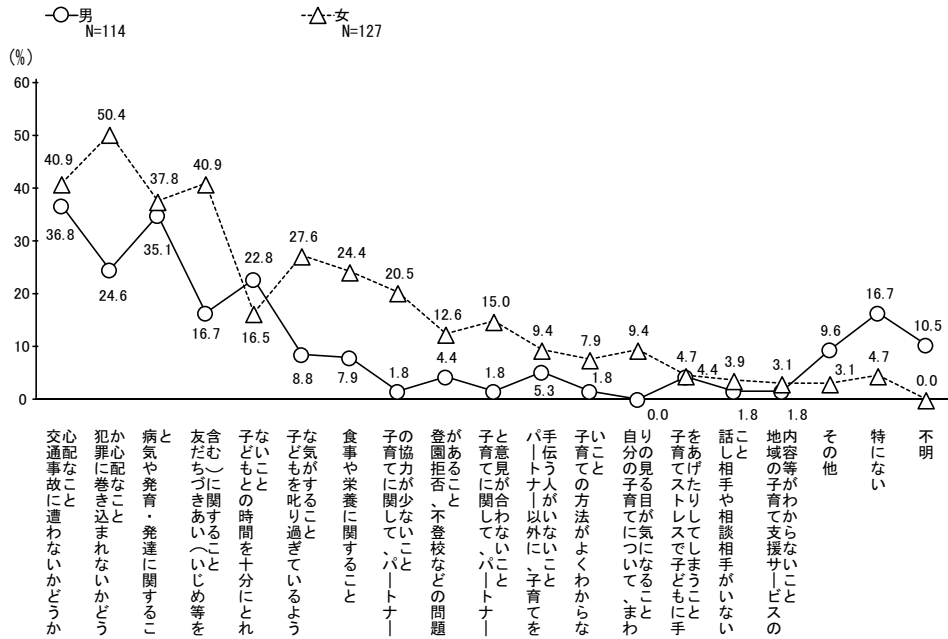
子どものことで心配に感じたり、気になったりしたことについて見てみると、「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」が48.4%で最も多く、続いて「犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと」が36.3%、「病気や発育・発達に関すること」が35.9%となっている。

性別で見ると、男女共に「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」や「病気や発育・発達に関すること」が多くなっているが、女性については「子どもを叱り過ぎているような気がする事」などが多くなっている。

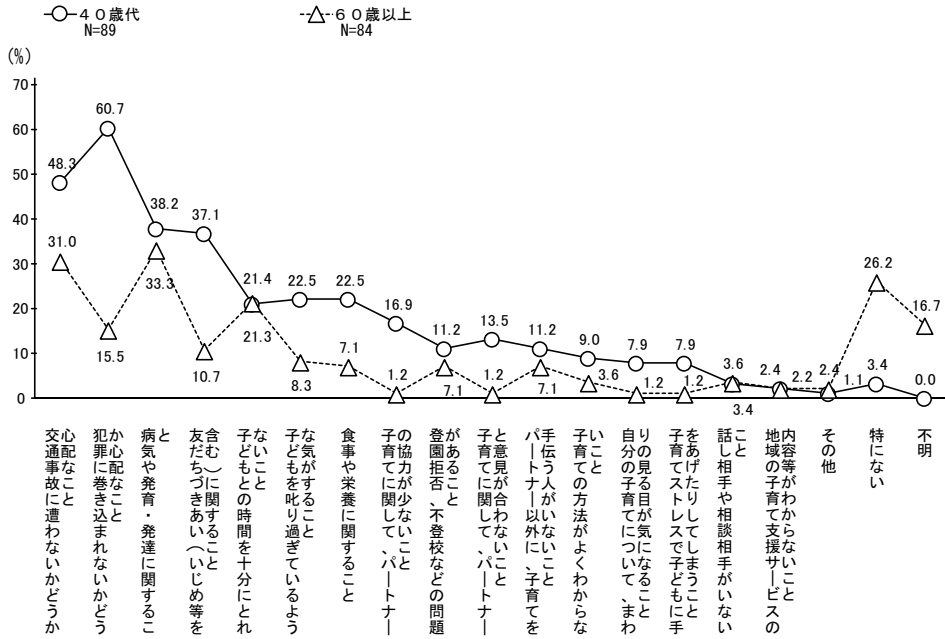
年齢比較で見ると、全体的には40歳代の心配や悩みが多くなっており、特に「犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと」が多い。



子どものことでの心配、気になること（性別）



子どものことでの心配、気になること（年齢比較）

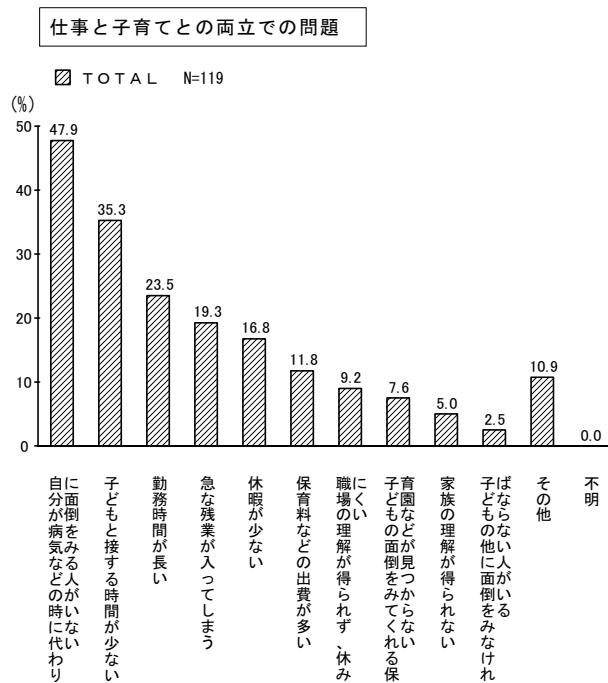


問10 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることはどのようなことですか。(2つまで)

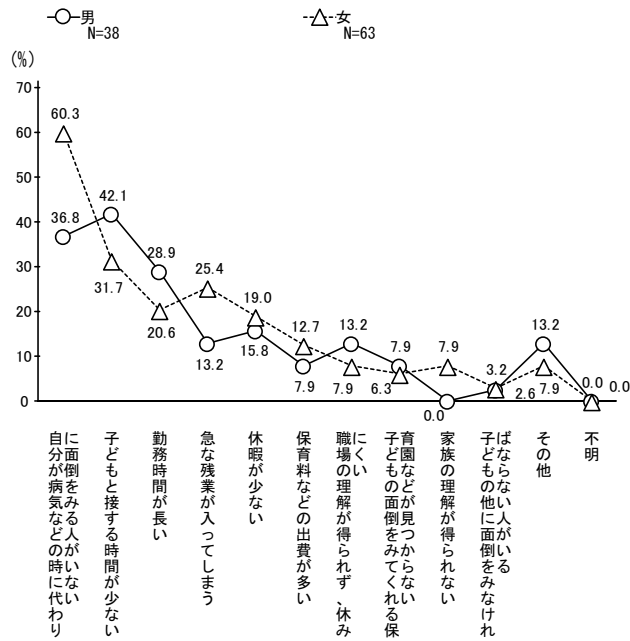
働きながら子育てをしていた人に、仕事と子育てとを両立させる上で大変だと感じていることについて聞いたところ、「自分の病気時などに、変わりに面倒をみる人がいない」が47.9%で最も多く、続いて「子どもと接する時間が少ない」が35.3%となっている。

性別で見ると、女性は「自分の病気時などに、変わりに面倒をみる人がいない」が最も多く、男性は「子どもと接する時間が少ない」が最も多くなっている。

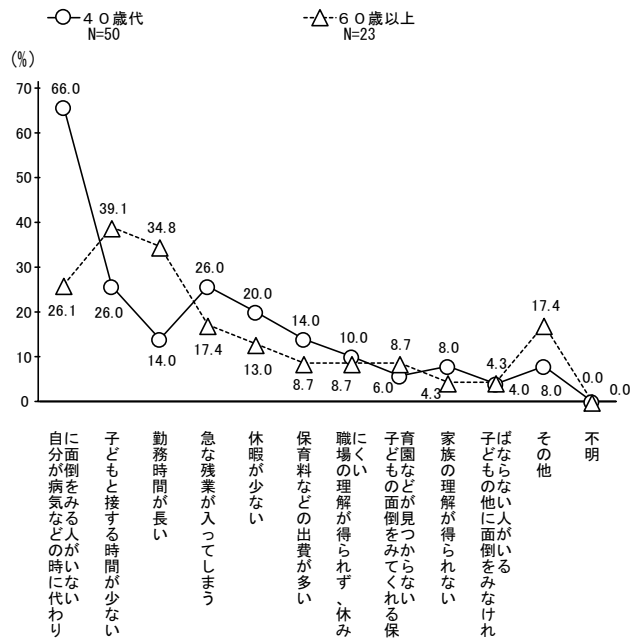
年齢比較で見ると、40歳代については「自分の病気時などに、変わりに面倒をみる人がいない」が最も多く、60歳代については「子どもと接する時間が少ない」が最も多くなっている。



仕事と子育てとの両立での問題（性別）



仕事と子育てとの両立での問題（年齢比較）



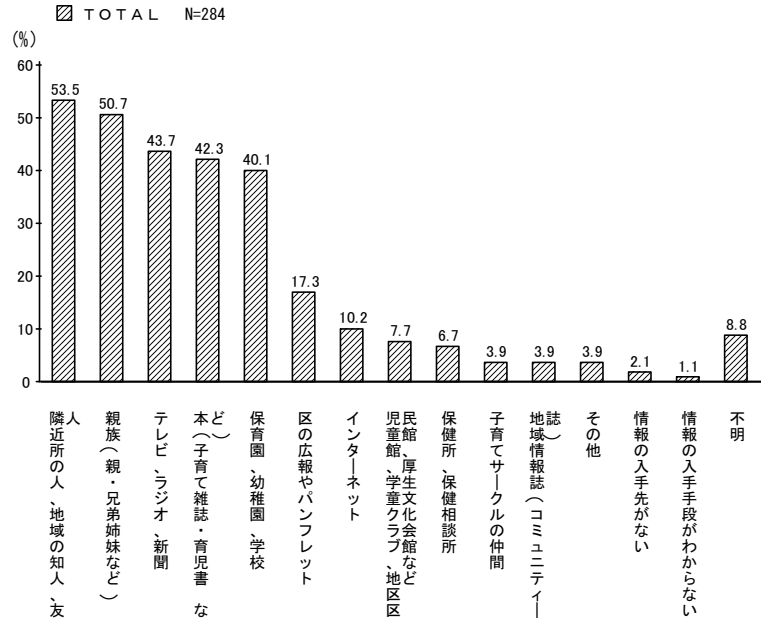
(3) 子育てに関する情報、相談等について

問 1 1 あなたは子育てに関する情報を、どこから入手されてきましたか。(複数回答)

問 1 2 あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談していたのは誰ですか。(複数回答)

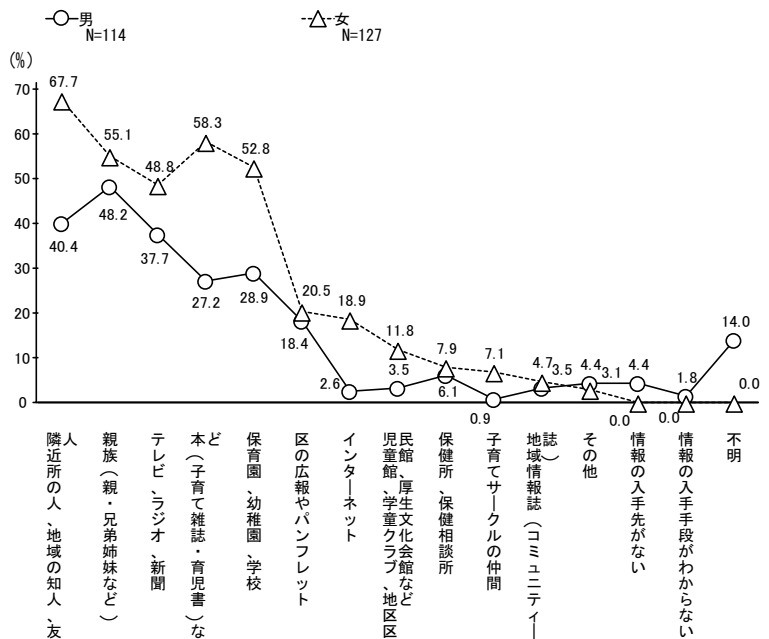
子育てに関する情報の入手先について聞いたところ、「隣近所の人、地域の知人、友人」が53.5%で最も多く、続いて「親族(親・兄弟姉妹など)」が50.7%となっている。

子育てに関する情報入手先

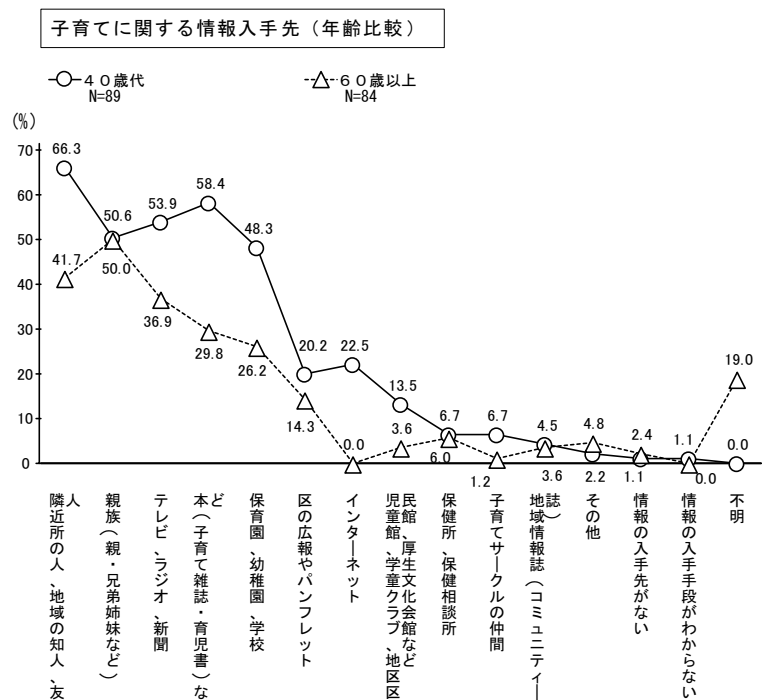


性別で見ると、全体的に女性の方がより多くの項目を選択している。「親族(親・兄弟姉妹など)」については男性の回答もやや多くなっている。

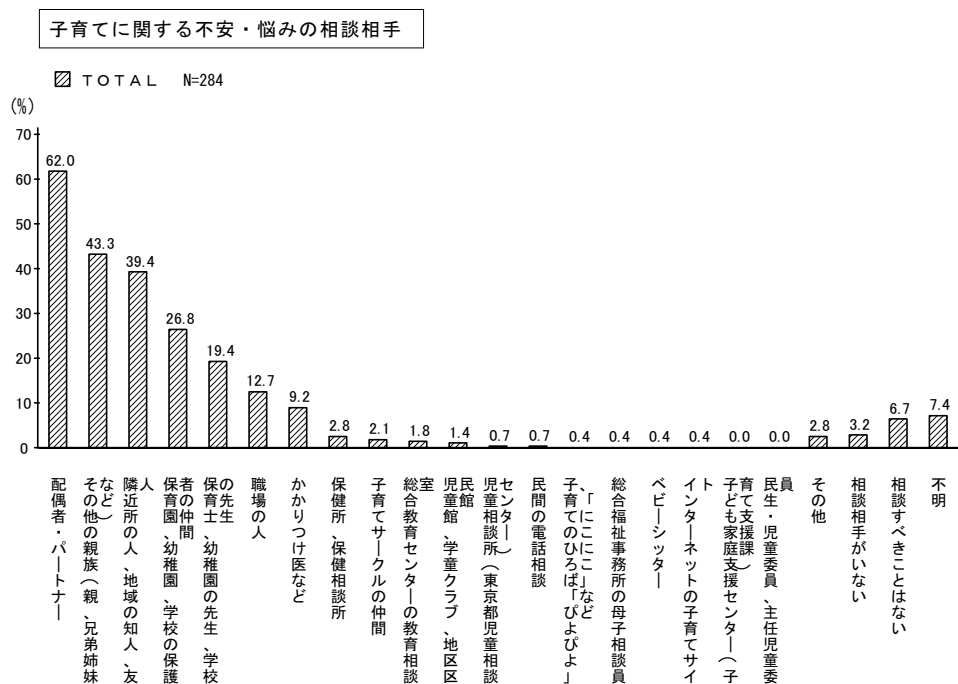
子育てに関する情報入手先(性別)



年齢比較で見ると、全体的に40歳代の方がより多くの項目を選択している。特に「本（子育て雑誌・育児書）など」については大きな開きがある。

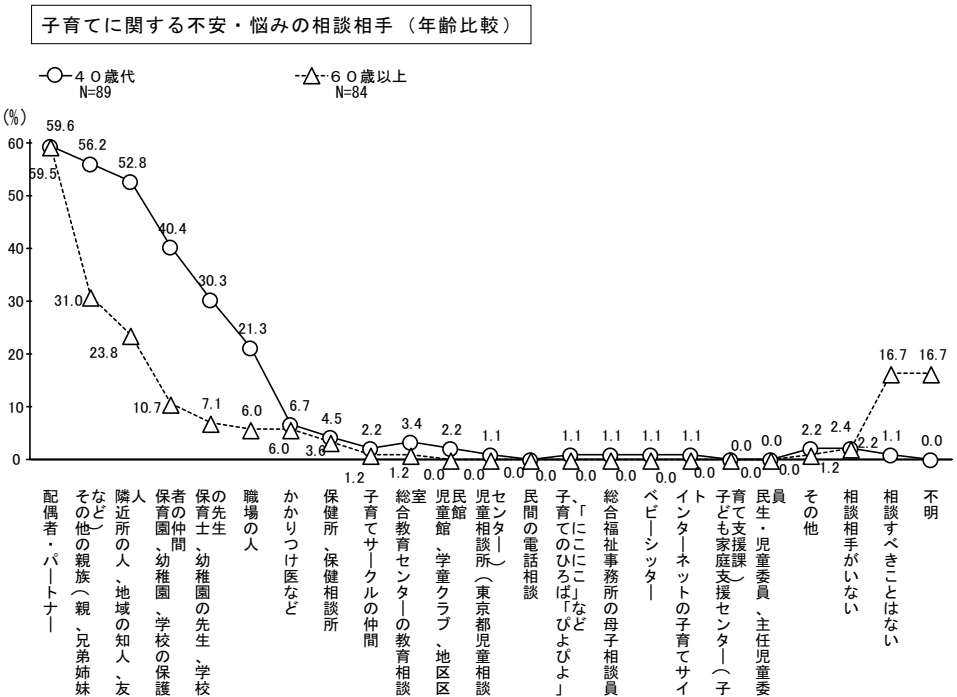
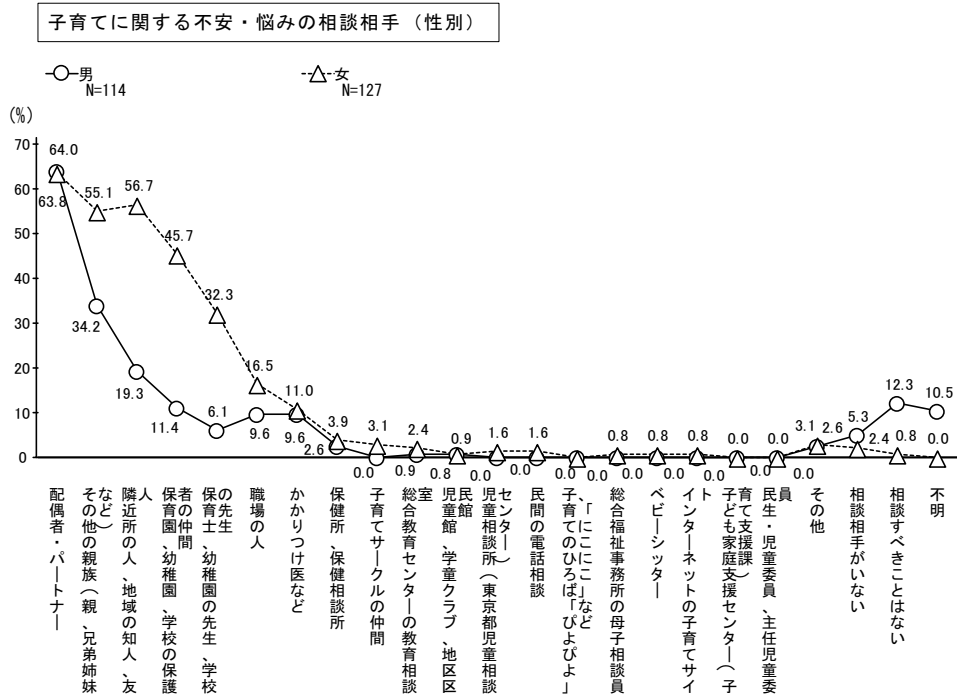


子育てに関する悩みや相談相手については、「配偶者・パートナー」が62.0%で最も多く、続いて「その他の親族（親・兄弟姉妹など）」が43.3%、「隣近所の人、地域の知人、友人」が39.4%となっている。



性別で見ると、女性の方がより多くの項目を選択しており、特に「隣近所の人、地域の知人、友人」については男女差が大きい。

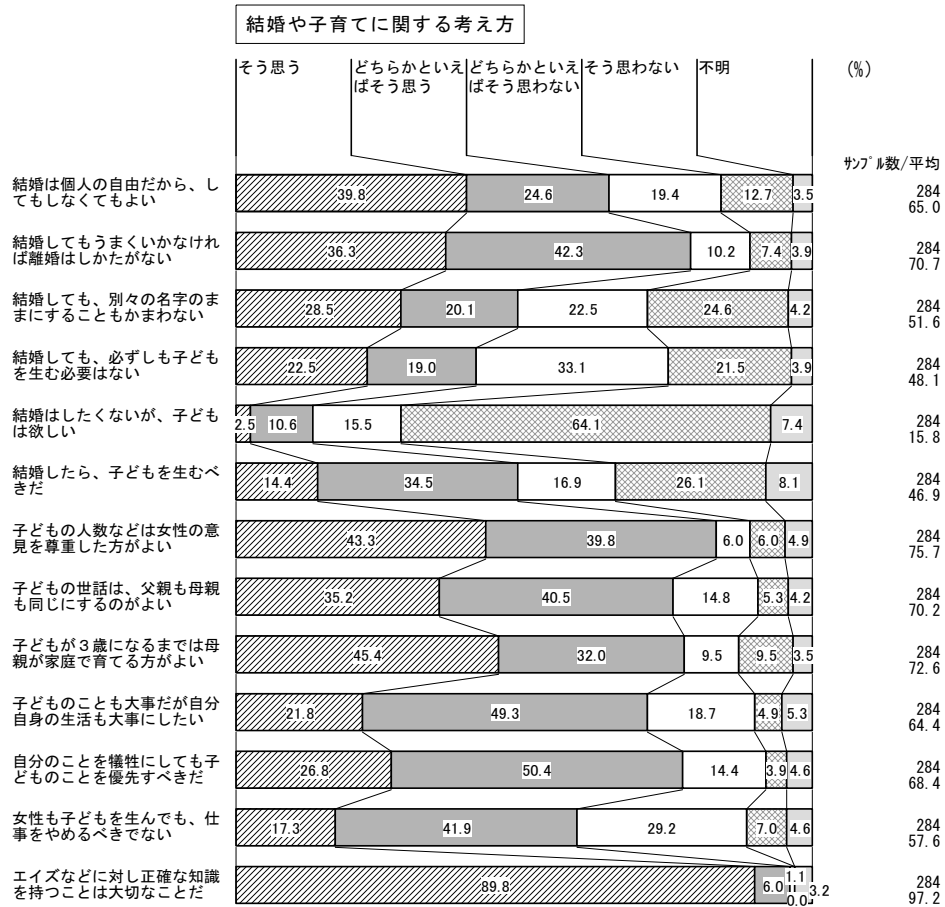
年齢比較で見ると、いずれも「配偶者・パートナー」が最も多く、全体的には40歳代の回答が多くなっており、特に「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」「隣近所の人、地域の知人、友人」「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」についても相談相手として重要な位置を占めていることが分かる。



(4) 結婚や子育てについて意識と労働・社会保険等による支援の周知状況

問13 あなたは、結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

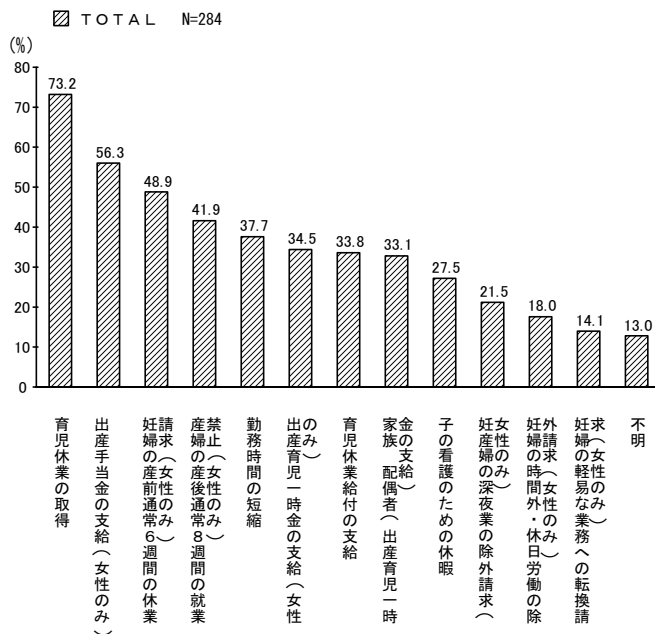
結婚や子ども等についての考え方について、様々な視点から聞いたところ「エイズなどに対し正確な知識を持つことは大切なことだ」「子どもの人数などは情勢の意見などを尊重した方がよい」の「そう思う」、「結婚はしたくないが、子どもは欲しい」の「そうは思わない」の割合がやや大きくなってきている。



問14 あなたは、妊産婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保険等による次のような支援があることを知っていますか。(複数回答)

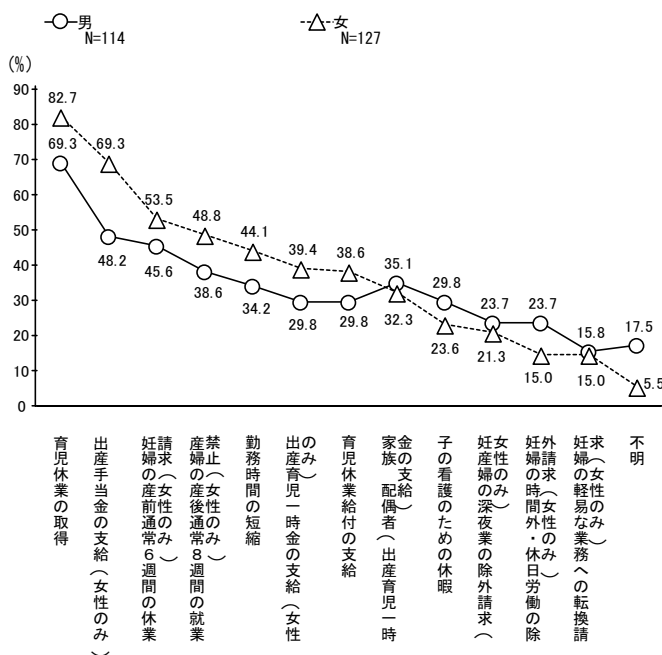
妊産婦や子育て中の労働者に対する制度について知っているものを聞いたところ、「育児休業の取得」が73.2%で最も多く、続いて「出産手当金の支給(女性のみ)」が56.3%となっている。

妊産婦や子育て中の労働者に対する制度の認知



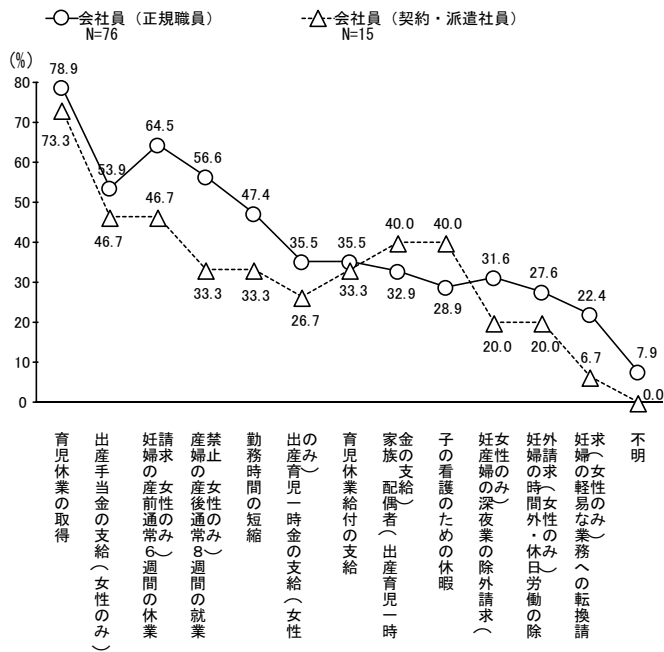
性別で見ると、全体的には女性の方がより多くの項目を選択しており、特に「出産手当金の支給(女性のみ)」や「妊婦の産前通常6週間の休業請求(女性のみ)」などについての認知度が高くなっている。

妊産婦や子育て中の労働者に対する制度の認知



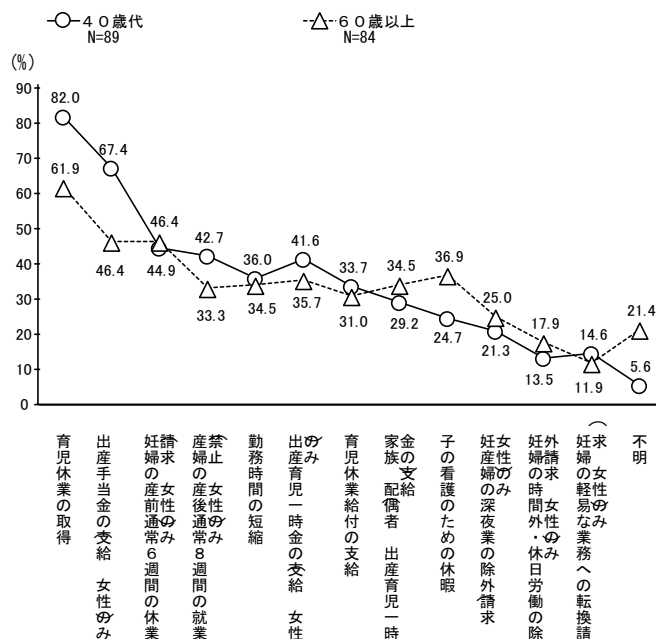
そこで職業による比較を行うと、
全体的には「会社員（正規職員）」
の方が認知度が高い。

妊産婦や子育て中の労働者に対する制度の認知（職業比較）



年齢比較を行うと、全体的には「40歳代」の方が認知度が高い。

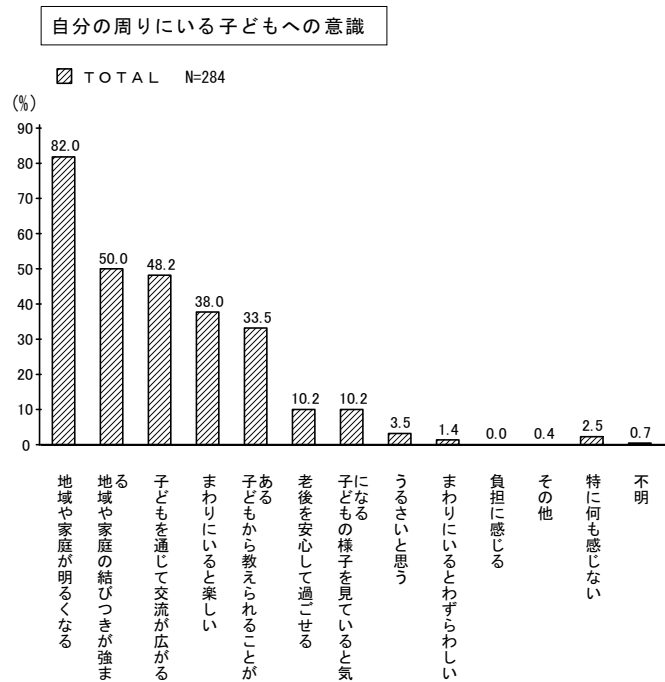
妊産婦や子育て中の労働者に対する制度の認知（年齢比較）



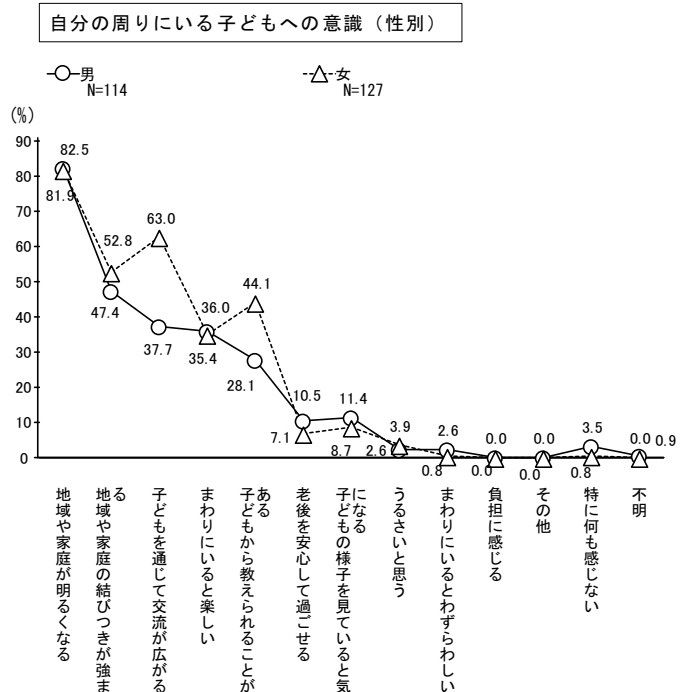
(5) 地域との交流について

問15 あなたは、家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。(3つまで)

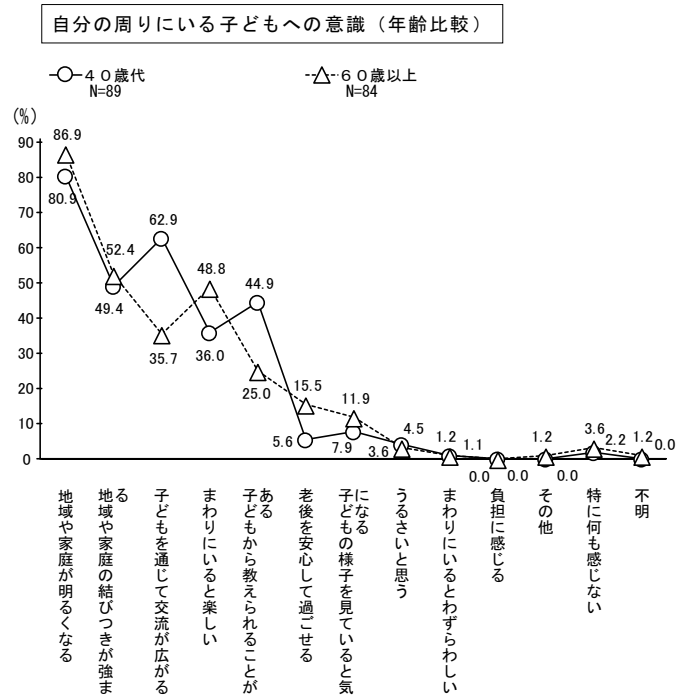
自分の周りにいる子どもへの意識について聞いたところ、「地域や家庭が明るくなる」が82.0%で最も多く、続いて「地域や家庭の結びつきが強まる」が50.0%、「子どもを通じて交流が広がる」が48.2%となっている。



性別で見ると、いずれも「地域や家庭が明るくなる」が最も多く、「子どもを通じて交流が広がる」「子どもから教えられることがある」については女性の方が多くなっている。



年齢比較を行うと、いずれも「地域や家庭が明るくなる」が最も多く、「40歳代」については「子どもを通じて交流が広がる」、「60歳以上」については「まわりにいると楽しい」が多くなっている。



居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「地域や家庭が明るくなる」「地域や家庭の結びつきが強まる」「子どもを通じて交流が広がる」が多くなっている。

自分の周りにいる子どもへの意識（居住地区別）

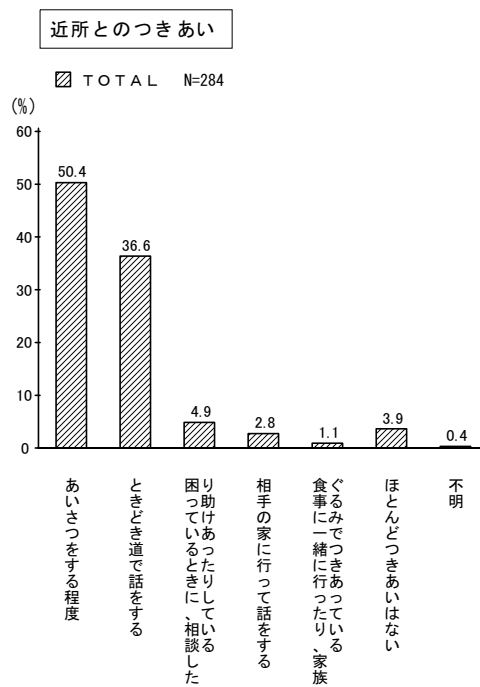
	TOTAL	地域や家庭が明るくなる	地域や家庭の結びつきが強まる	子どもを通じて交流が広がる	まわりにいると楽しい	ある子どもから教えられることがある	老後を安心して過ごせる	子どもの様子を見てみると気になる	うるさいと思う	まわりにいるとわずらわしい	負担に感じる	その他	特に何も感じない	不明
TOTAL	284	82.0	50.0	48.2	38.0	33.5	10.2	10.2	3.5	1.4	0.0	0.4	2.5	0.7
練馬	69	79.7	43.5	53.6	44.9	24.6	8.7	11.6	2.9	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0
光が丘	87	86.2	49.4	48.3	40.2	39.1	9.2	13.8	2.3	0.0	0.0	1.1	1.1	1.1
石神井	77	80.5	58.4	45.5	33.8	27.3	13.0	11.7	5.2	1.3	0.0	0.0	1.3	1.3
大泉	50	82.0	48.0	46.0	32.0	46.0	10.0	0.0	4.0	4.0	0.0	0.0	6.0	0.0

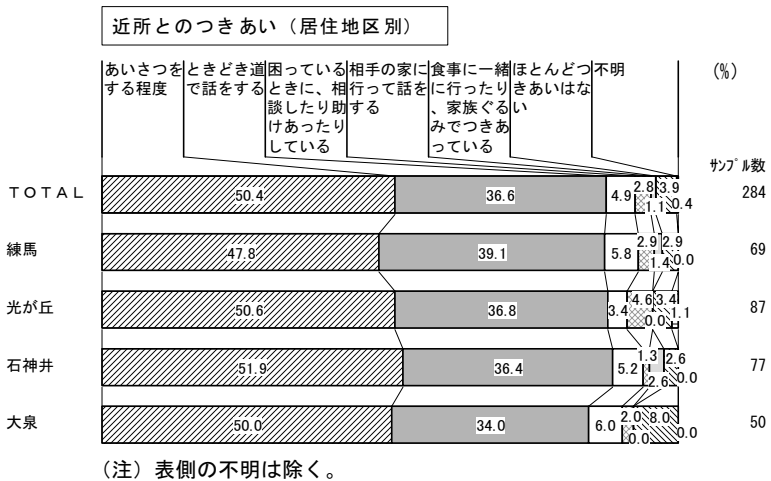
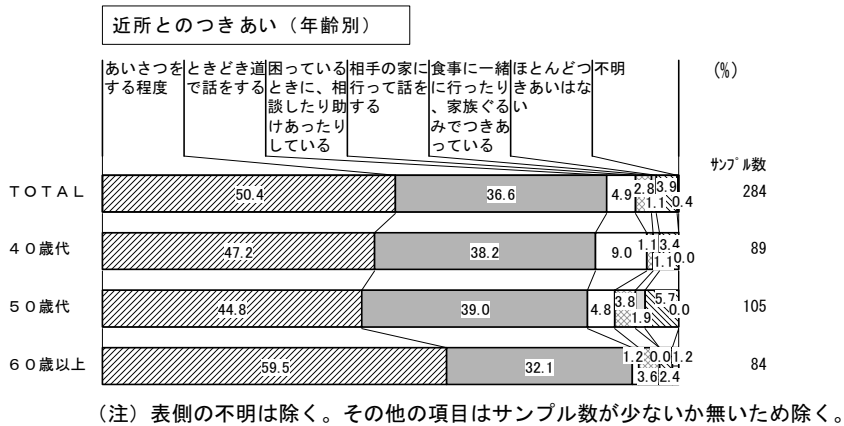
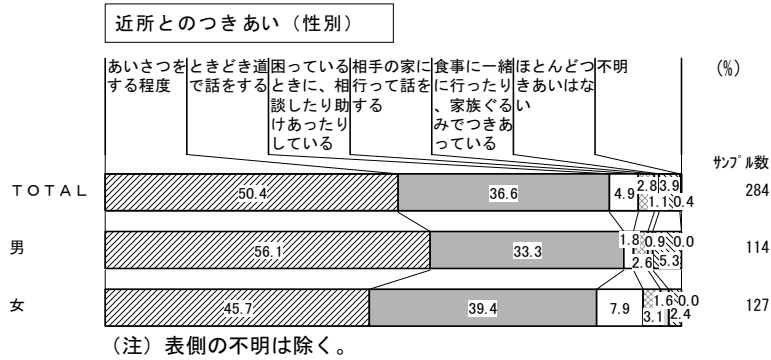
(注) 網掛けは50%以上。表側の不明は除く。

問16 あなたの近所とのつきあいはどうですか。

近所との付き合いについて聞いたところ、「あいさつをする程度」が50.4%、「ときどき道で話をする」が36.6%となっている。

性別、年齢別、居住地区別で見ると、いずれも「あいさつをする程度」や「ときどき道で話をする」が多くなっている。





問17 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。

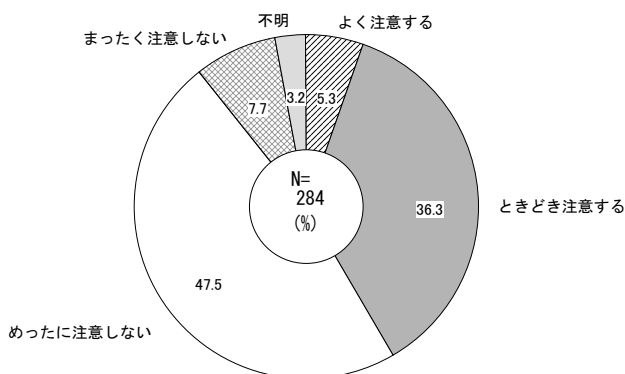
よその子どもへの注意の有無については、「めったに注意しない」が47.5%で、「ときどき注意する」が36.3%となっている。

性別で見ると、女性は「よく注意する」が7.1%、「ときどき注意する」が37.8%で合計すると44.9%が注意している。

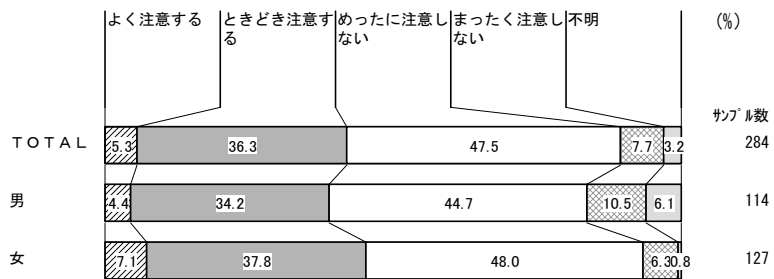
年齢別で見ると、「40歳代」の「よく注意する」が7.9%となっているが、「50歳代」になると「まったく注意しない」が12.4%となっている。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「ときどき注意する」「めったに注意しない」が多いが、「光が丘」地区では「ときどき注意する」がやや多くなっている。

よその子どもへの注意

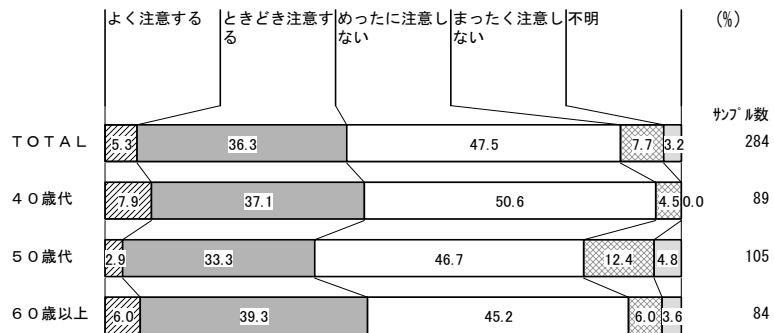


よその子どもへの注意（性別）



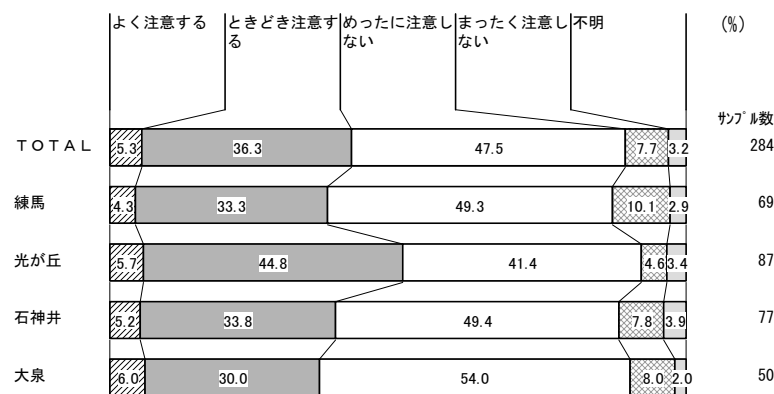
(注) 表側の不明は除く。

よその子どもへの注意（年齢別）



(注) 表側の不明は除く。その他の項目はサンプル数が少ないか無いため除く。

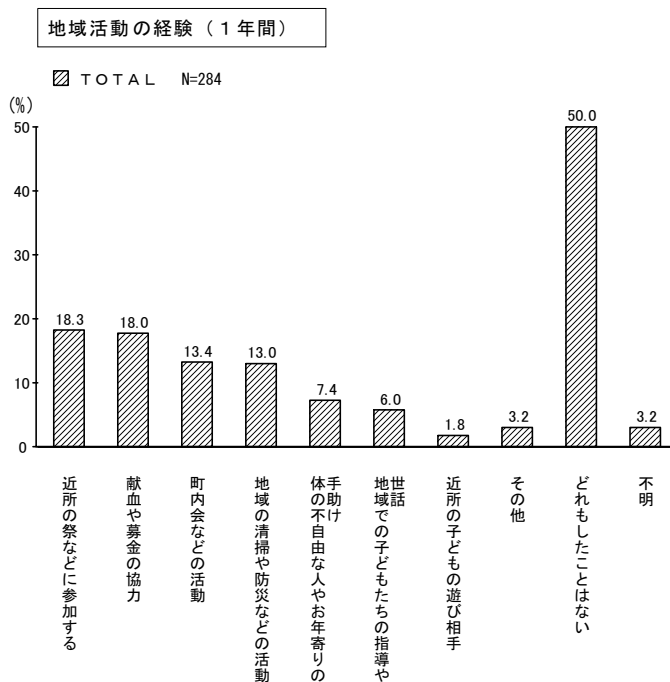
よその子どもへの注意（居住地区別）



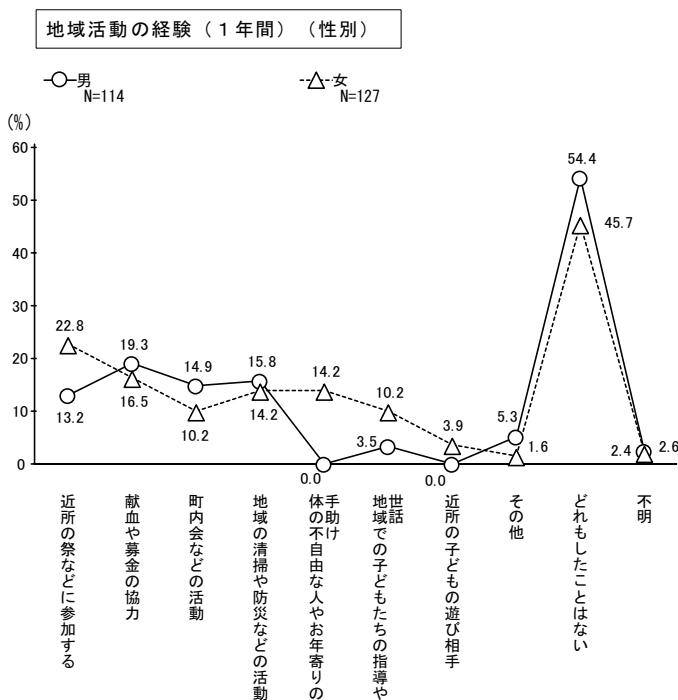
(注) 表側の不明は除く。

問18 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(複数回答)

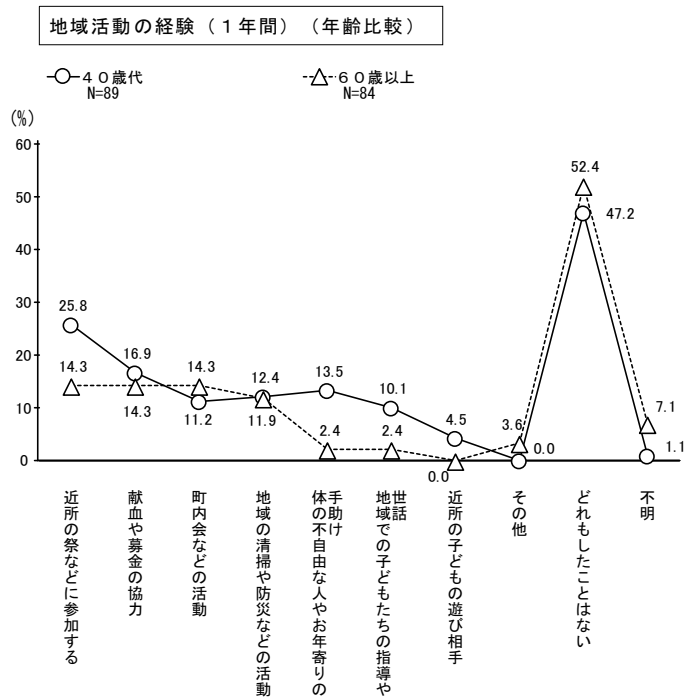
1年間で地域活動の経験について見てみると、「どれもしたことはない」が50.0%で最も多く、経験があるものについては、「近所の祭りなどに参加する」が18.3%、「献血や募金の協力」が18.0%、「町内会などの活動」が13.4%、「地域の清掃や防災などの活動」が13.0%、「体の不自由な人やお年寄りの手助け」が7.4%、「地域での子どもたちの指導や世話」が6.0%、「近所の子どもの遊び相手」が1.8%、「その他」が3.2%となっている。



性別で見ると、いずれも「どれもしたことはない」が圧倒的に多く、女性については「近所の祭りなどに参加する」も多くなっている。



年齢比較を行うと、いずれも「どれもしたことはない」が多いが、「40歳代」については「近所の祭りなどに参加する」が多い。



居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「どれもしたことはない」が多いが、「練馬」地区では「献血や募金の協力」、「大泉」地区では「近所の祭りなどに参加する」が他の地区と比べてやや多くなっている。

地域活動の経験（1年間）（居住地区別）

	TOTAL	近所の祭りなどに参加する	献血や募金の協力	町内会などの活動	地域の清掃や防災などの活動	体の不自由な人やお年寄りの手助け	地域の指導や世話	近所の子どもの遊び相手	その他	どれもしたことはない	不明
TOTAL	284	18.3	18.0	13.4	13.0	7.4	6.0	1.8	3.2	50.0	3.2
練馬	69	18.8	24.6	13.0	8.7	5.8	4.3	2.9	5.8	52.2	1.4
光が丘	87	16.1	17.2	17.2	16.1	4.6	6.9	2.3	2.3	52.9	2.3
石神井	77	19.5	16.9	11.7	14.3	11.7	6.5	0.0	1.3	46.8	2.6
大泉	50	20.0	12.0	10.0	12.0	8.0	6.0	2.0	4.0	46.0	8.0

（注）網掛けは20%以上。表側の不明は除く。

問19 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。

問20 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(複数回答)

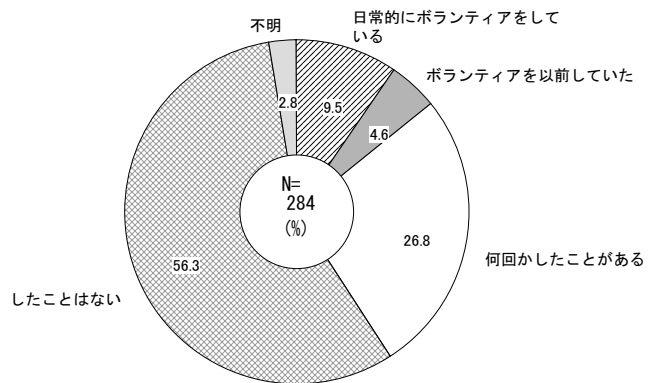
ボランティア経験について聞いたところ、「したことはない」は56.3%、「何回かしたことがある」は26.8%となっている。

性別で見ると、男性は「したことはない」が6割を超えているが、女性は「何回かしたことがある」が34.6%となっている。

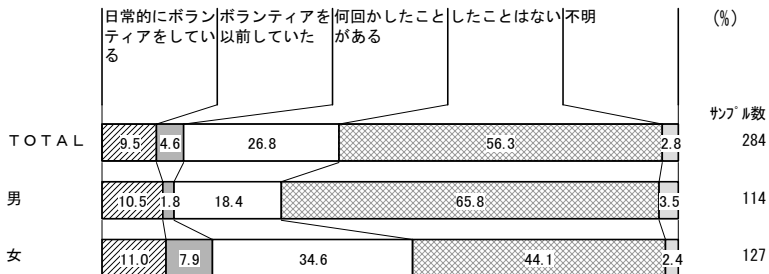
年齢別で見ると、いずれの年代も「したことはない」が最も多いが、「40歳代」については「何回かしたことがある」が4割弱を占めている。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「したことはない」が多いが、「練馬」地区では「日常的にボランティアをしている」、「石神井」地区では「何回かしたことがある」がやや多くなっている。

ボランティア経験

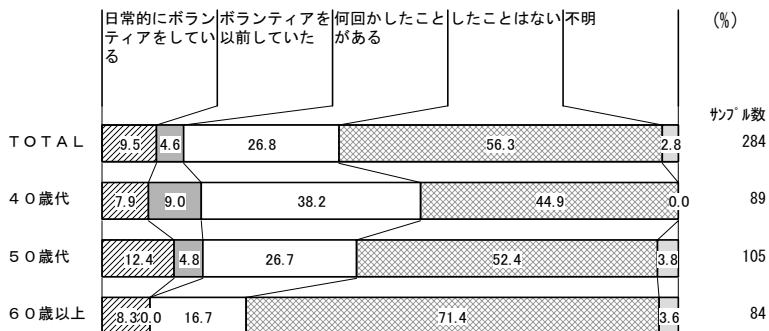


ボランティア経験 (性別)

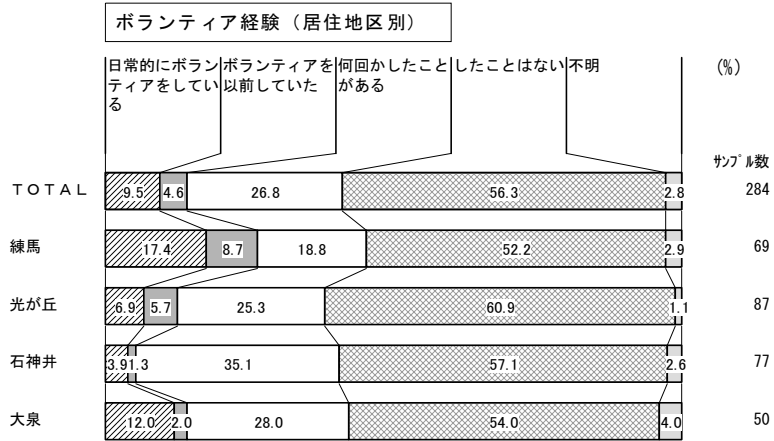


(注) 表側の不明は除く。

ボランティア経験 (年齢別)



(注) 表側の不明は除く。その他の項目はサンプル数が少ないか無いため除く。

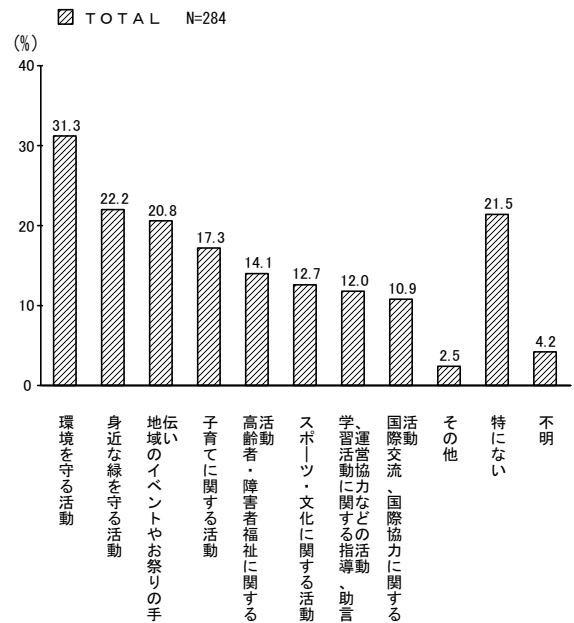


（注）表側の不明は除く。

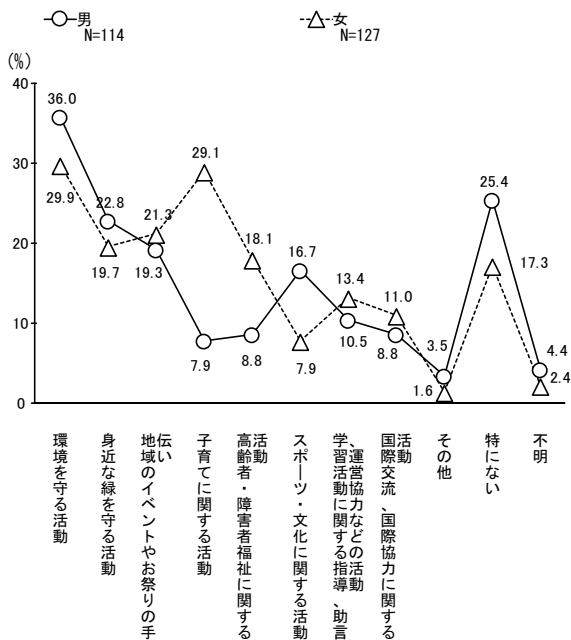
そこで参加したいボランティア活動について聞いたところ、「環境を守る活動」が31.3%で最も多く、続いて「身近な緑を守る活動」が22.2%、「地域のイベントやお祭りの手伝い」が20.8%となっている。

性別で見ると、男性は「環境を守る活動」や「身近な緑を守る活動」、女性は「環境を守る活動」「子育てに関する活動」が多くなっている。

参加したいボランティア活動

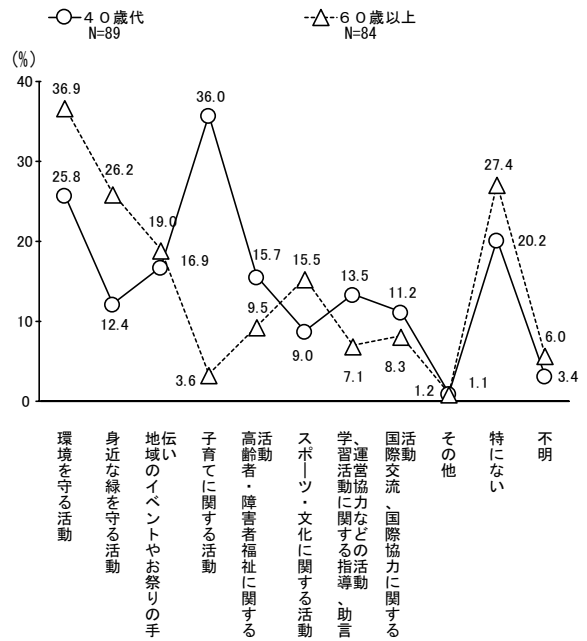


参加したいボランティア活動（性別）



年齢比較を行うと、「60歳以上」は「環境を守る活動」「身近な緑を守る活動」が多いが、「40歳代」については「子育てに関する活動」「環境を守る活動」が多くなっている。

参加したいボランティア活動（年齢比較）



居住地区別に見てみると、いずれの地区でも「環境を守る活動」や「身近な緑を守る活動」「地域のイベントやお祭りの手伝い」が多いが、「大泉」地区では「高齢者・障害者福祉に関する活動」が他の地区と比べて多くなっている。

参加したいボランティア活動（居住地区別）

	TOTAL	環境を守る活動	身近な緑を守る活動	地域のイベントやお祭りの手伝い	子育てに関する活動	高齢者・障害者福祉に関する活動	スポーツ・文化に関する活動	学習活動に関する指導、助言	国際交流、国際協力に関する活動	その他	特になし	不明
TOTAL	284	31.3	22.2	20.8	17.3	14.1	12.7	12.0	10.9	2.5	21.5	4.2
練馬	69	27.5	29.0	24.6	17.4	13.0	17.4	21.7	18.8	1.4	18.8	5.8
光が丘	87	29.9	21.8	18.4	19.5	9.2	10.3	10.3	10.3	4.6	21.8	2.3
石神井	77	33.8	18.2	22.1	16.9	11.7	15.6	7.8	5.2	2.6	23.4	7.8
大泉	50	34.0	18.0	18.0	14.0	26.0	6.0	8.0	10.0	0.0	22.0	0.0

(注) 網掛けは20%以上。表側の不明は除く。

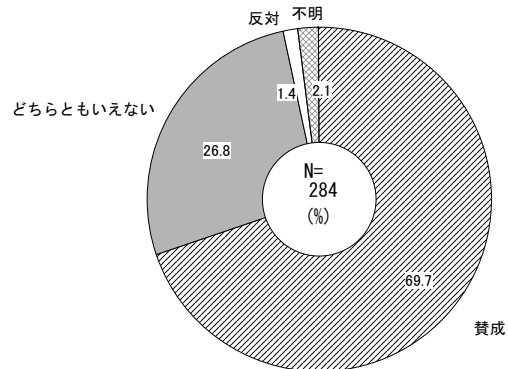
問21 あなたは、子どもの安全を確保するために、地域のボランティアパワーによって実施していく学校応援団の活動についてどうお考えになりますか。
問21(1) 問19で「賛成」と答えた人へ、ボランティアとして活動することができますか。

子どもの安全を確保するために、地域のボランティアパワーによって実施していく学校応援団の活動について聞いたところ、「賛成」は69.7%、「どちらともいえない」は26.8%であった。

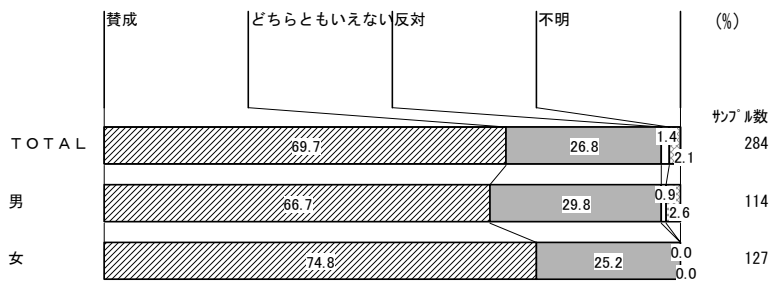
性別で見ると、男女共に「賛成」が7割前後を占めている。

居住地区別に見ると、いずれの地区でも「賛成」が多くなっている。

学校応援団の活動への評価

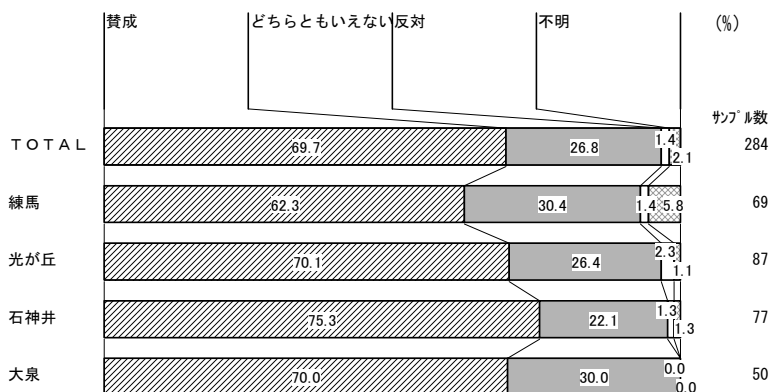


学校応援団の活動への評価 (性別)



(注) 表側の不明は除く。

学校応援団の活動への評価 (居住地区別)



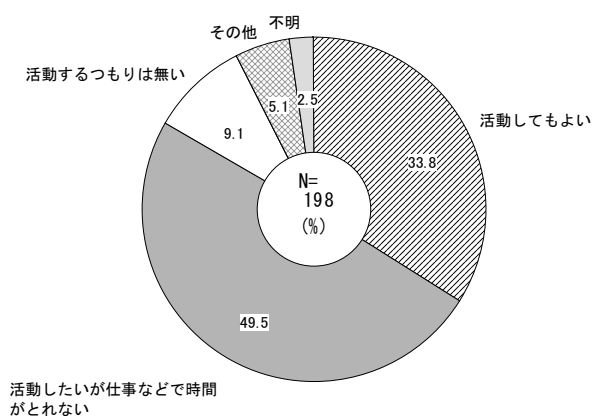
(注) 表側の不明は除く。

『学校応援団の活動について』について「賛成」と回答した人に、ボランティアとしての活動可能性について聞いたところ、「活動したいが、仕事などで時間がとれない」が49.5%で最も多く、続いて「活動してもよい」が33.8%となっている。

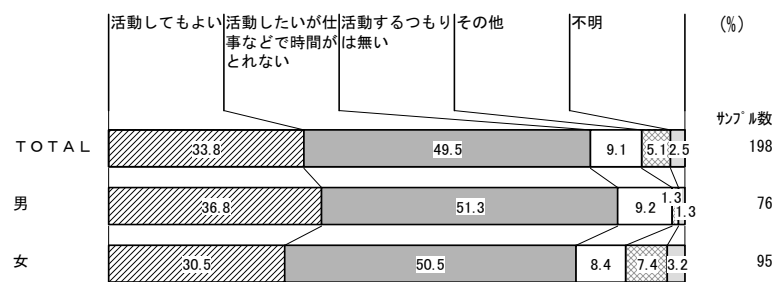
性別で見ると、いずれも「活動したいが、仕事などで時間がとれない」が最も多いが、「活動してもよい」も3割を超えている。

居住地区別に見ると、「練馬」地区などでは「活動したいが、仕事などで時間がとれない」が最も多く、「大泉」地区では「活動してもよい」が最も多くなっている

ボランティアとしての活動可能性

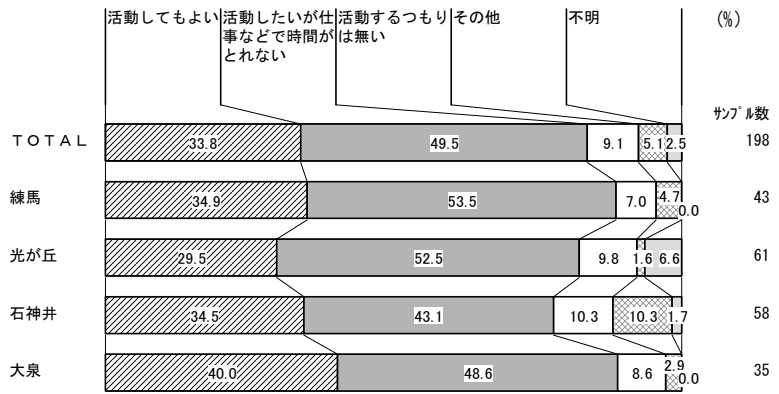


ボランティアとしての活動可能性（性別）



(注) 表側の不明は除く。

ボランティアとしての活動可能性（居住地区別）



(注) 表側の不明は除く。

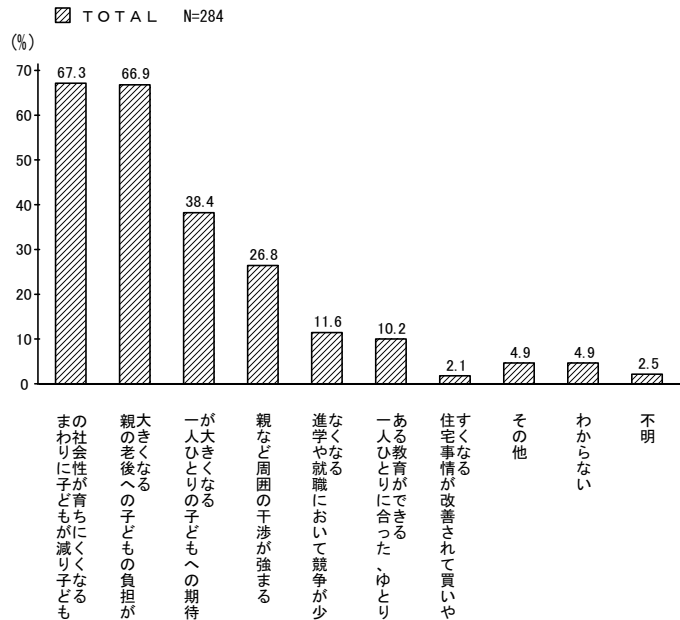
(6) 少子社会に対する考え方について

問22 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。（3つまで）

問23 あなたは、少子社会が国や地域社会にはどのような影響を与えますか。（3つまで）

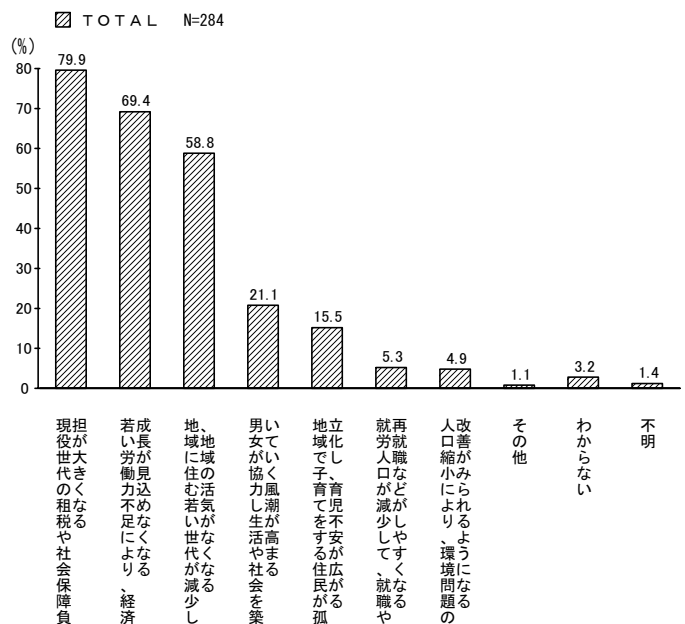
少子化の個人生活への影響については、「まわりに子どもが減り子どもの社会性が育ちにくくなる」が67.3%で最も多く、続いて「親の老後への子どもの負担が大きくなる」が66.9%となっている

少子社会が個人生活に及ぼす影響



少子化の国、地域社会への影響については、「現役世代の租税や社会保障負担が大きくなる」が79.9%で最も多く、続いて「若い労働力不足により、経済成長が見込めなくなる」が69.4%となっている。

少子社会が国や地域社会に及ぼす影響

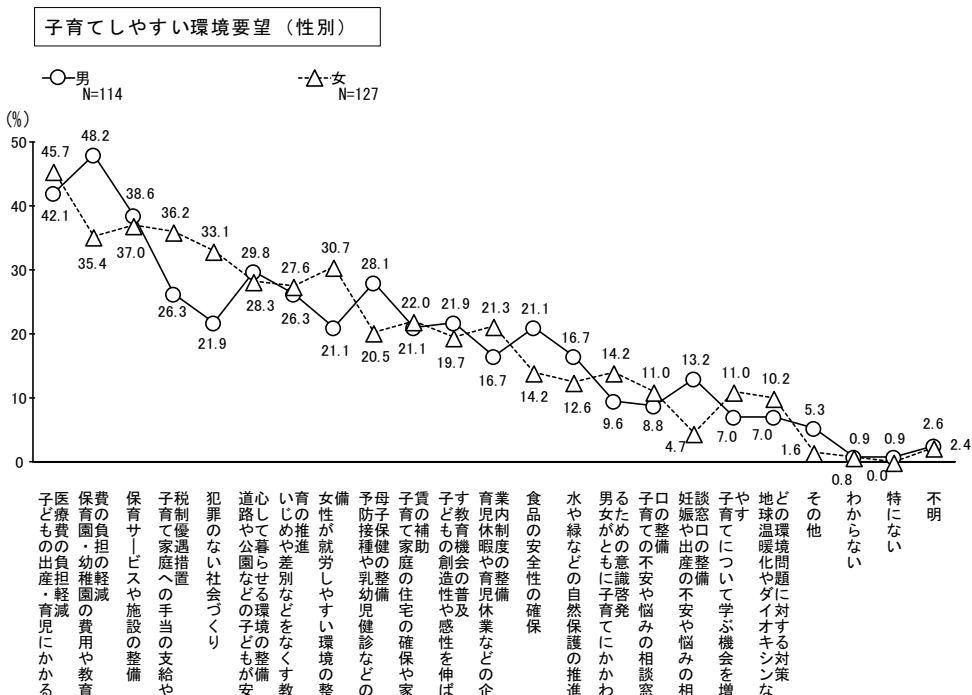
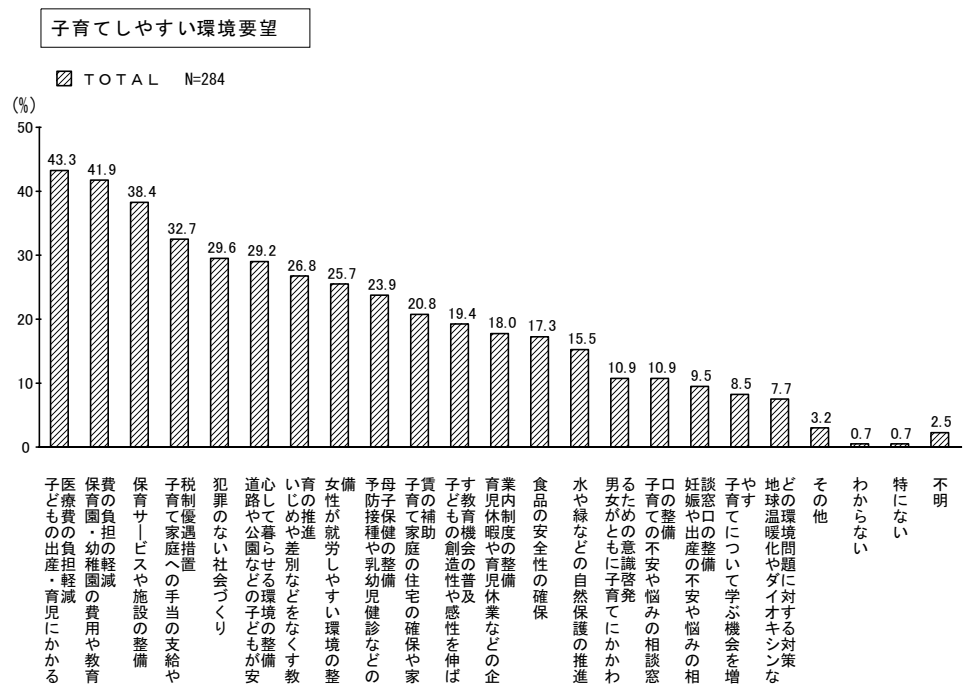


(7) 行政サービス要望について

問 2 4 あなたは子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていくのがよいと思いますか。(5つまで)

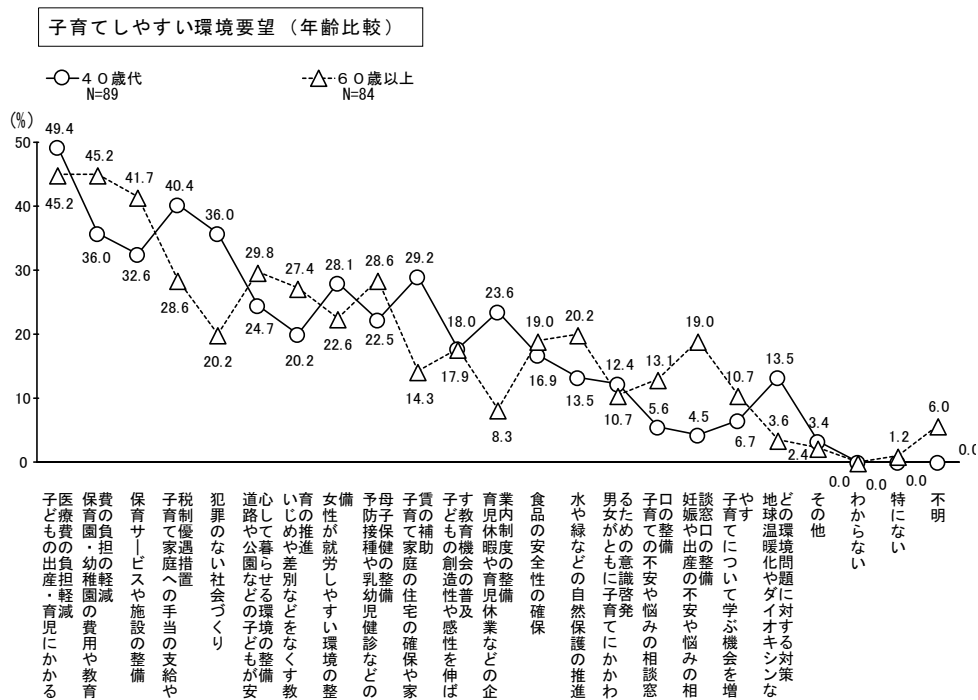
子育てしやすい環境を整備するために必要なことを聞いたところ、「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」が 43.3%で最も多く、続いて「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」が 41.9%、「保育サービスや施設の整備」が 38.4%となっている。

性別で見ると、男性は「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」などの費用負担項目が多く、女性は「子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置」「女性が就労しやすい環境の整備」が多くなっている。



年齢比較を行うと、「60歳以上」は「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」「保育サービスや施設の整備」が多く、「40歳代」は「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」「子育て家庭への手当での支給や税制優遇措置」が多くなっている。

居住地区別で見ると、いずれの地区でも「保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減」「子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減」が多く、「大泉」地区では「いじめや差別などなくす教育の推進」が、他の地区と比べて多くなっている。



子育てしやすい環境要望（居住地区別）

	TOTAL	子どもが出産・育児にかかる医療費の負担軽減	保育園・幼稚園の費用や教育費の負担軽減	保育サービスや施設の整備	税制優遇措置	子育て家庭への手当の支給や保育サービスや施設の整備	犯罪のない社会づくり	道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環境の整備	いじめや差別などをなくす教育の推進	女性が就労しやすい環境の整備	母子保健の整備	予防接種や乳幼児健診などの子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助	子どもの創造性や感性を伸ばす教育機会の普及	業内制度の整備	育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備	食品の安全性の確保	水や緑などの自然保護の推進	子どもの安全確保	男女がともに子育てにかかわるための意識啓発	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備	子育てについて学ぶ機会を増やす	地球温暖化やダイオキシンなどの環境問題に対する対策	その他	わからない	特になし	不明
TOTAL	284	43.3	41.9	38.4	32.7	29.6	29.2	26.8	25.7	23.9	20.8	19.4	18.0	17.3	15.5	10.9	10.9	9.5	8.5	7.7	7.7	7.7	3.2	0.7	0.7	2.5	
練馬	69	46.4	39.1	31.9	33.3	31.9	29.0	21.7	29.0	17.4	17.4	18.8	21.7	15.9	15.9	8.7	8.7	11.6	10.1	7.2	5.8	1.4	0.0	2.9			
光が丘	87	46.0	44.8	49.4	32.2	33.3	24.1	21.8	27.6	25.3	20.7	21.8	19.5	12.6	16.1	9.2	14.9	11.5	4.6	8.0	1.1	0.0	0.0	1.1			
石神井	77	36.4	41.6	36.4	33.8	22.1	39.0	26.0	24.7	27.3	18.2	19.5	22.1	16.9	13.0	11.7	9.1	7.8	11.7	3.9	2.6	1.3	2.6	3.9			
大泉	50	46.0	42.0	32.0	32.0	32.0	22.0	42.0	20.0	26.0	30.0	16.0	4.0	26.0	16.0	16.0	16.0	10.0	6.0	8.0	14.0	4.0	0.0	0.0	2.0		

(注) 網掛けは30%以上。表側の不明は除く。

IV-6 子育て関係施設従事者の調査結果

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

区内の子育て関係施設の従事者に対してアンケートを行うことにより、子育てに関する悩みや不安感、相談方法や情報入手方法に関する実態、子育て支援サービスの認知度・利用意向、家庭・保護者との連携状況等を把握し、平成 21 年度「練馬区次世代育成支援対策行動計画（後期）」を策定するうえでの基礎資料とする。

(2) 調査内容

- ①調査対象者の状況について
- ②子育て支援に関する悩み、不安等について
- ③子育てに関する情報、相談の状況について
- ④子育て支援に関する提携、協力、虐待の状況について

(3) 調査仕様

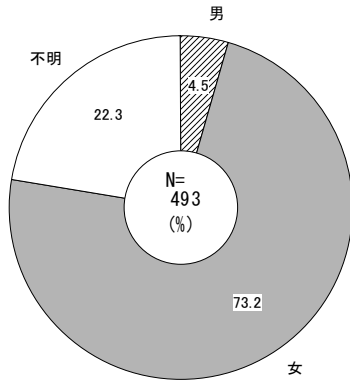
- ①調査地域 区全域
- ②調査対象 区内の子育て関係施設の従事者
- ③標本数 510 件
- ④抽出方法 施設の種別別に従業者数などを勘案し 48 施設抽出
- ⑤調査方法 施設を經由して配付、回収
- ⑥調査期間 平成 21 年 1 月 26 日～2 月 10 日

(4) 回収数・回収率

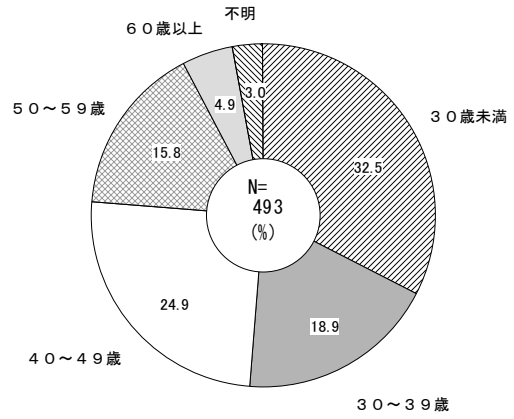
493 件 有効回答率＝96.7%

(5) 基本属性

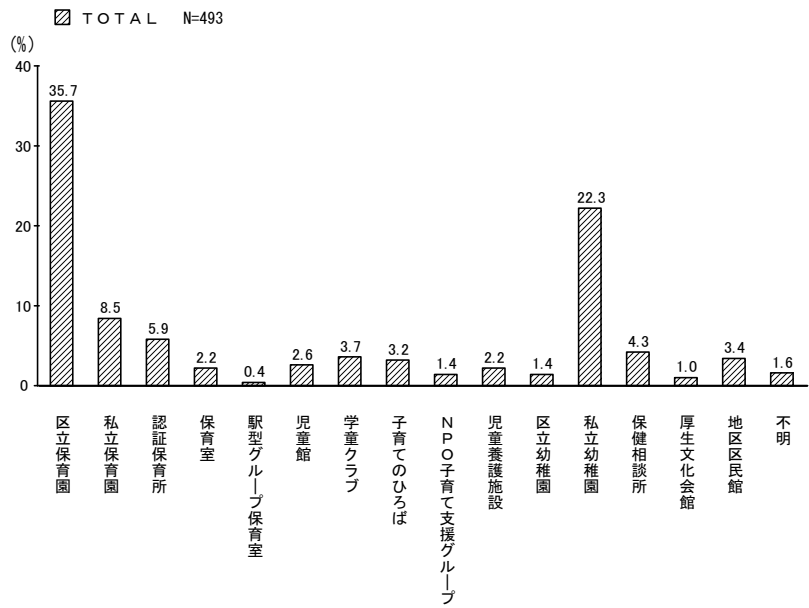
性別



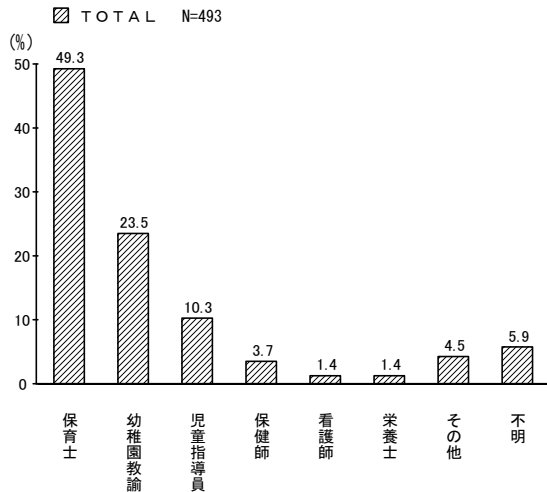
年齢

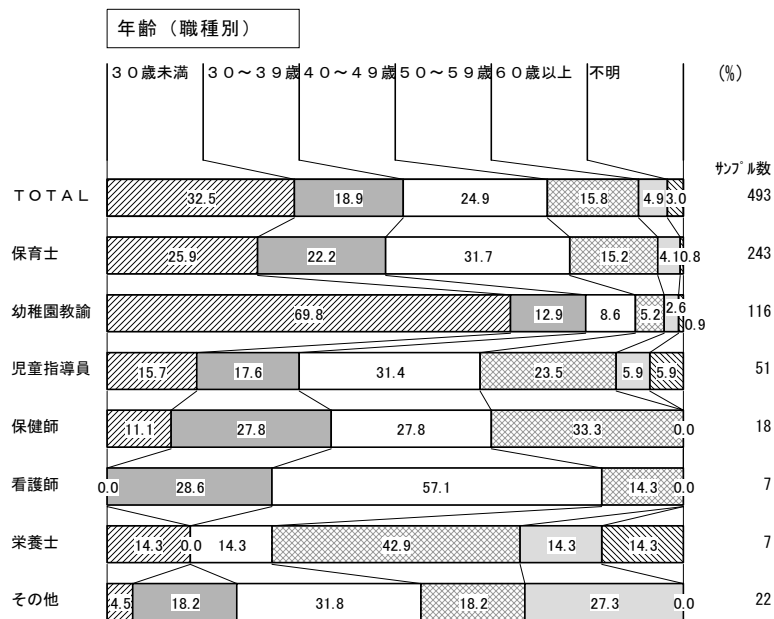


施設



職種





◆本報告書における調査結果の見方

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数は合計及びNで示している。
- 回答率(%)については、小数点以下第2位を四捨五入し、少数第1位までを表示している。このため、その合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。
- 回答には、単数回答(○は1つ)と複数回答(○はいくつでも)の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計は100%を超える場合がある。
- 図表の間のタイトル及び、回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。正式な間のタイトル及び、回答の選択肢は、調査票を参照されたい。

2. 調査結果の概要

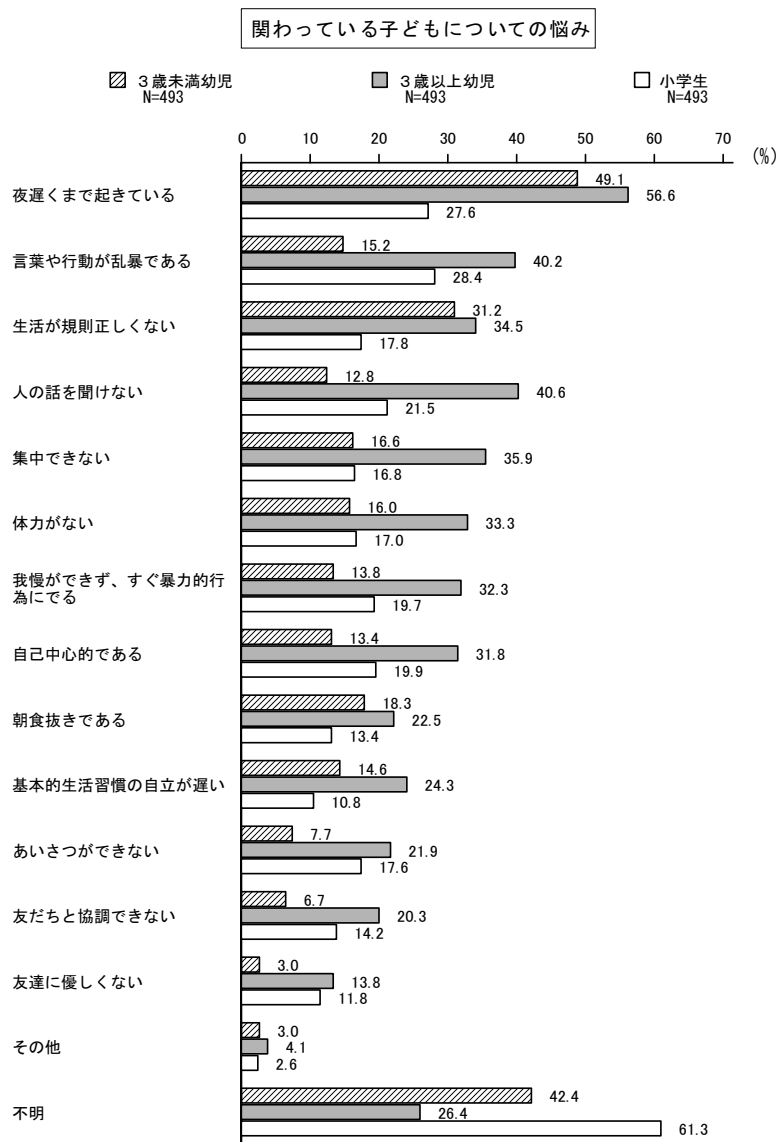
(1) 子育て支援に関する悩み、不安等について

問1 あなたが関わっている子どもに対して、「近頃こんな子どもが増えている」と悩んでいることはありますか。(1) 3歳未満幼児、(2) 3歳以上幼児、(3) 小学生、それぞれについてご記入ください。(複数回答)

それぞれの子育て関係施設で関わっている子どもに対する悩みについて、(1) 3歳未満幼児、(2) 3歳以上幼児、(3) 小学生、それぞれについて聞いたところ、『3歳未満幼児』については、「夜遅くまで起きている」が49.1%で最も多く、続いて「生活が規則正しくない」が31.2%となっている。

『3歳以上幼児』については、同じく「夜遅くまで起きている」が56.6%で最も多く、続いて「人の話を聞けない」が40.6%となっている。

さらに『小学生』については、「言葉や行動が乱暴である」が28.4%で最も多くなっており、続いて「夜遅くまで起きている」が27.6%となっている。

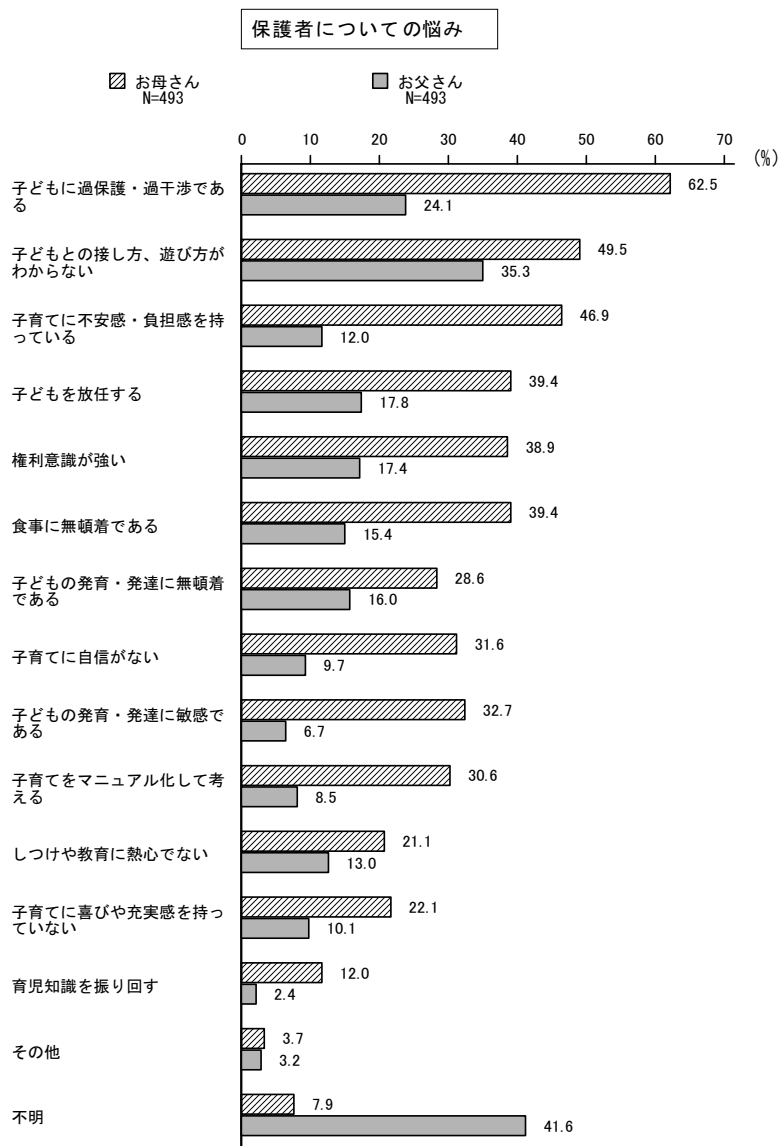


問2 あなたが関わっている子どもの保護者（お母さん、お父さん）に対して、「近頃こんなお母さん、お父さんが増えている」と悩んでいることはありますか。（1）お母さん、（2）お父さん、それぞれについてご記入ください。（複数回答）

それぞれの子育て関係施設で関わっている子どもの保護者（お母さん、お父さん）に対する悩みについて聞いたところ、『お母さん』については、「子どもに過保護・過干渉である」が62.5%、「子どもとの接し方、遊び方がわからない」が49.5%、「子育てに不安感・負担感を持っている」が46.9%となっている。

一方『お父さん』については、「子どもとの接し方、遊び方が分からない」が35.3%で最も多く、続いて「子どもに過保護・過干渉である」が24.1%、「子どもを放任する」が17.8%となっている。

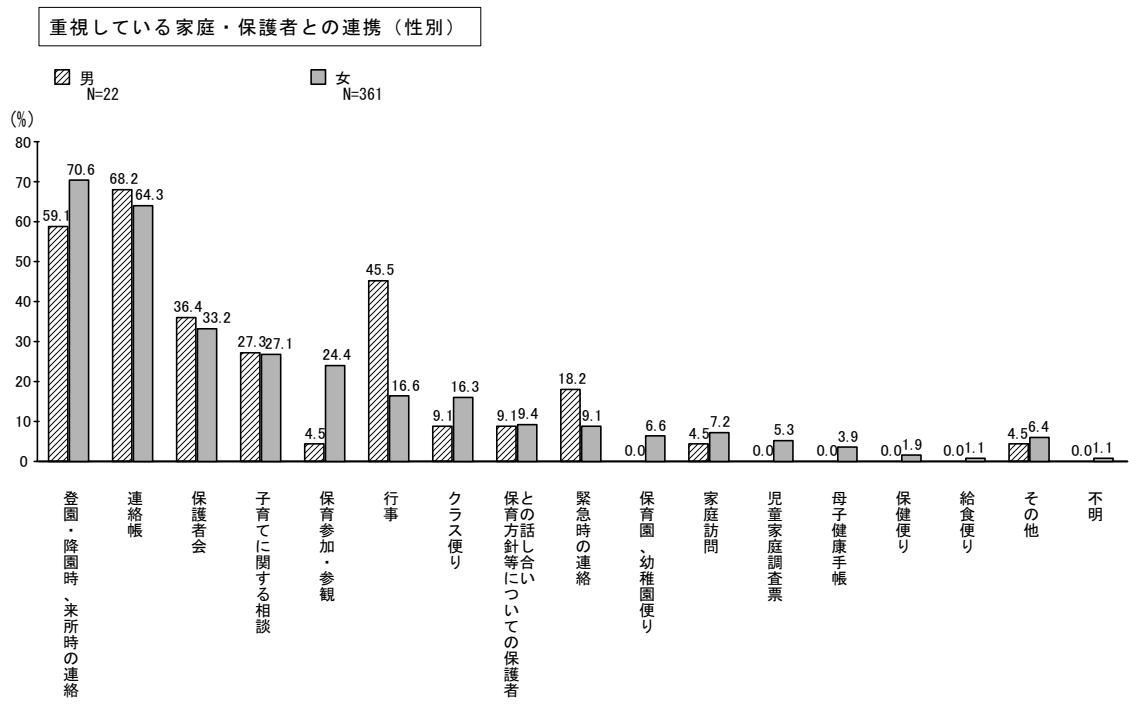
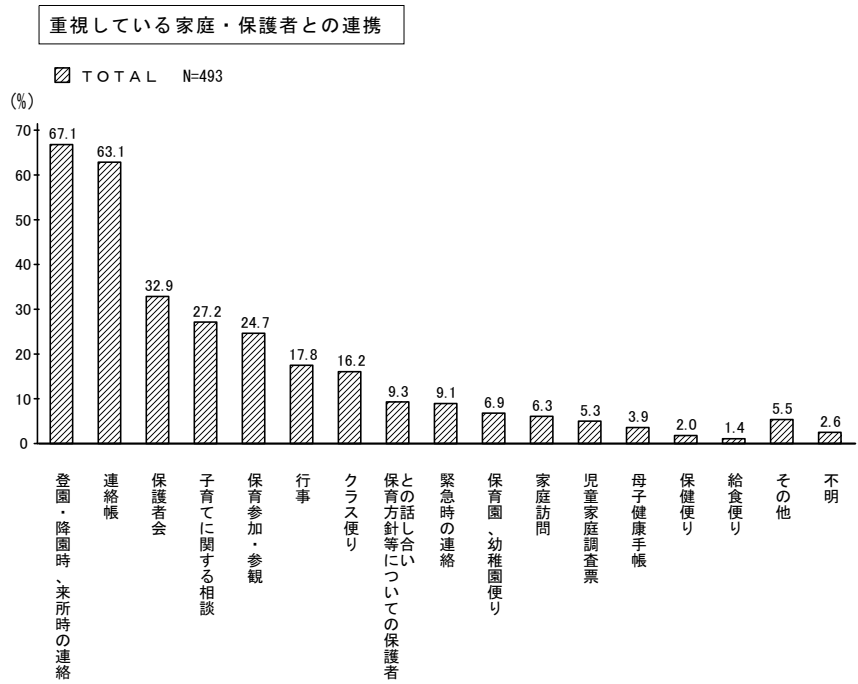
全体的に『お母さん』の方が多くの項目を選択していた。



問3 あなたは、家庭・保護者との連携に関して、どのようなことを重視していますか。（3つ）

家庭・保護者との連携で重視していることについて聞いたところ、「登園・降園時、来所時の連絡」が67.1%で最も多く、続いて「連絡帳」が63.1%、「保護者会」が32.9%などとなっている。

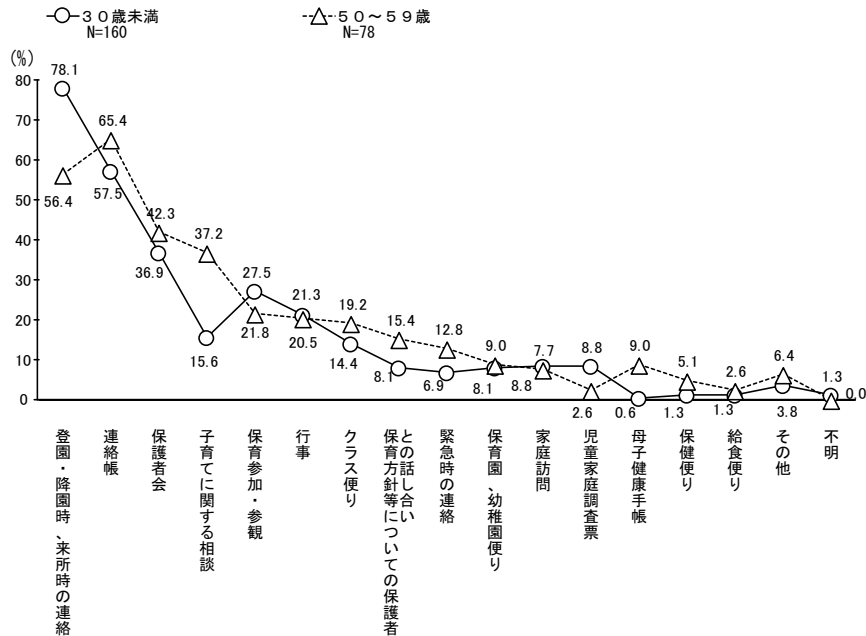
施設従事者の性別（以下「性別」）で見ると、女性は「登園・降園時、来所時の連絡」が最も多く、続いて「連絡帳」となっているが、男性は「連絡帳」が最も多くなっている。



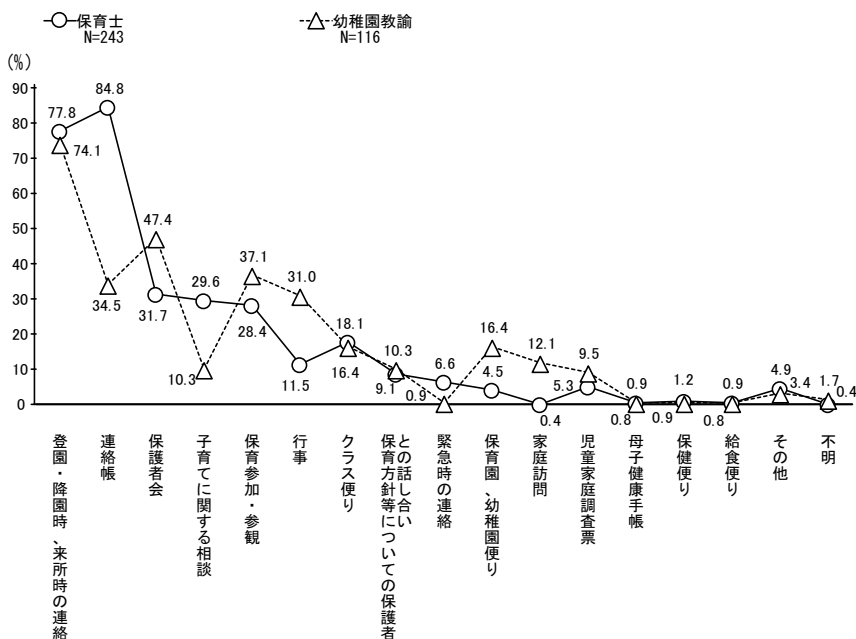
次に若い従事者である「30歳未満」とベテラン年代の従事者である「50～59歳」とで比較すると（以下「年齢比較」）、30歳未満では「登園・降園時、来所時の連絡」が最も多く、続いて「連絡帳」となっているが、50～59歳では「連絡帳」が最も多く、続いて「登園・降園時、来所時の連絡」となっている。

さらに「保育士」と「幼稚園教諭」とで比較したところ（以下「職種比較」）、保育士は「連絡帳」が最も多く、続いて「登園・降園時、来所時の連絡」となっているが、幼稚園教諭については「登園・降園時、来所時の連絡」が最も多く、続いて「保護者会」となっている。

重視している家庭・保護者との連携（年齢比較）



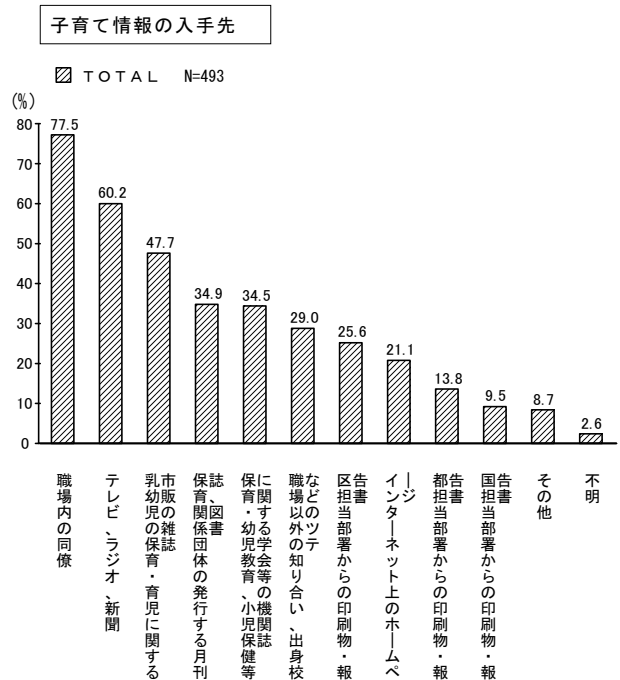
重視している家庭・保護者との連携（職種比較）



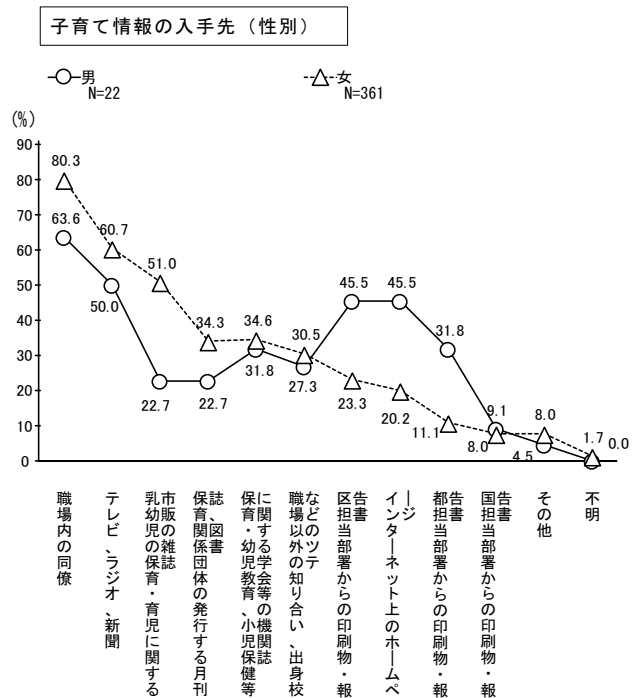
(2) 子育てに関する情報、相談等について

問4 あなたは、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていますか。(複数回答)

子育て情報の入手方法について聞いたところ、「職場内の同僚」が77.5%で最も多く、続いて「テレビ、ラジオ、新聞」が60.2%、「乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌」が47.7%となっている。

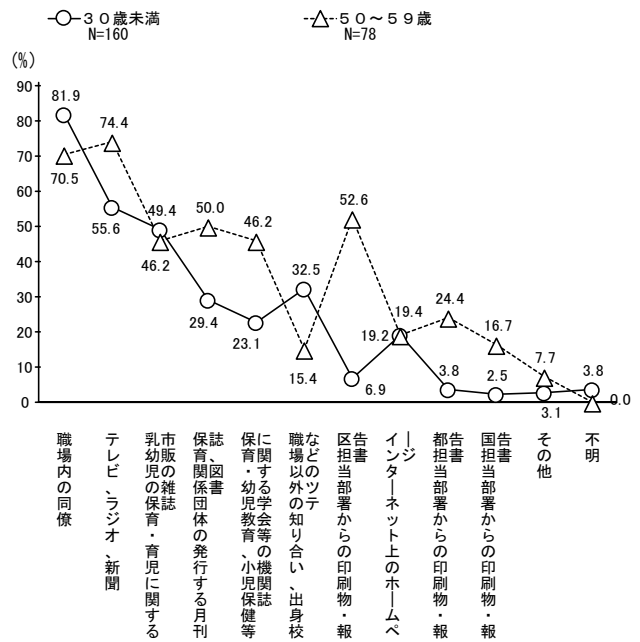


性別で見ると、男女共に「職場内の同僚」が最も多く、続いて「テレビ、ラジオ、新聞」となっているが、男性は「区担当部署からの印刷物・報告書」「インターネット上のホームページ」「都担当部署からの印刷物・報告書」も多くなっている。



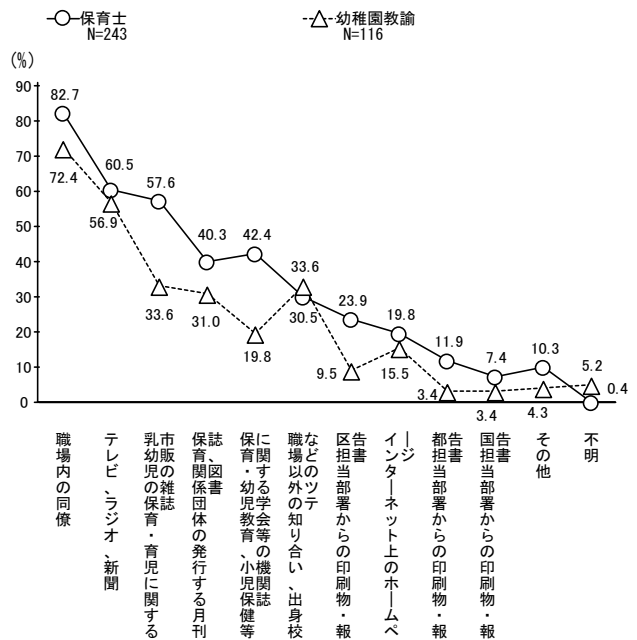
年齢比較を行うと、30歳未満については「職場内の同僚」が最も多く、続いて「テレビ、ラジオ、新聞」となっているが、50～59歳については「テレビ、ラジオ、新聞」が最も多く、続いて「職場内の同僚」「区担当部署からの印刷物・報告書」となっている。

子育て情報の入手先（年齢比較）



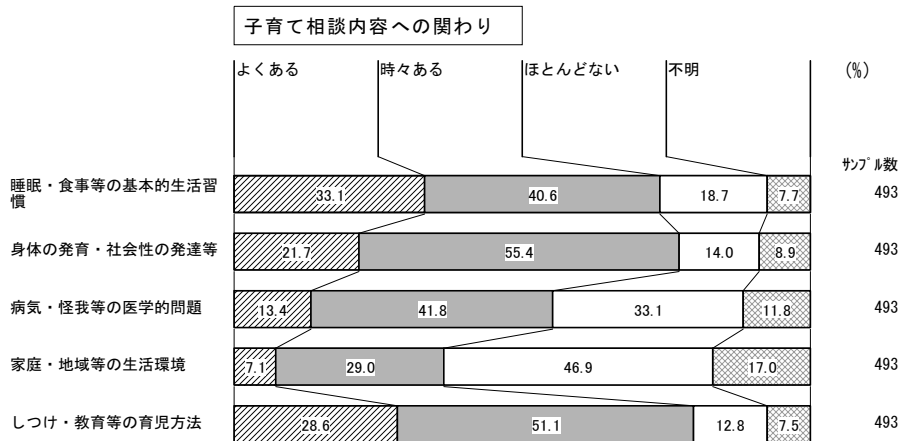
職種比較を行うと、保育士、幼稚園教諭のいずれも「職場内の同僚」が最も多く、続いて「テレビ、ラジオ、新聞」となっている。

子育て情報の入手先（職種比較）



問5 あなたは、次のような子育てについての相談の内容にどの程度関わっていますか。(なお、ここでいう相談とは、入所の問い合わせなどは含まず、育児・子育てに関する相談とします。)

子育てについての様々な相談内容とその頻度について聞いたところ、「しつけ・教育等の育児方法」や「身体の発達・社会性の発達等」「睡眠・食事等の基本的な生活習慣」について「よくある」「時々ある」の割合が大きくなっている。

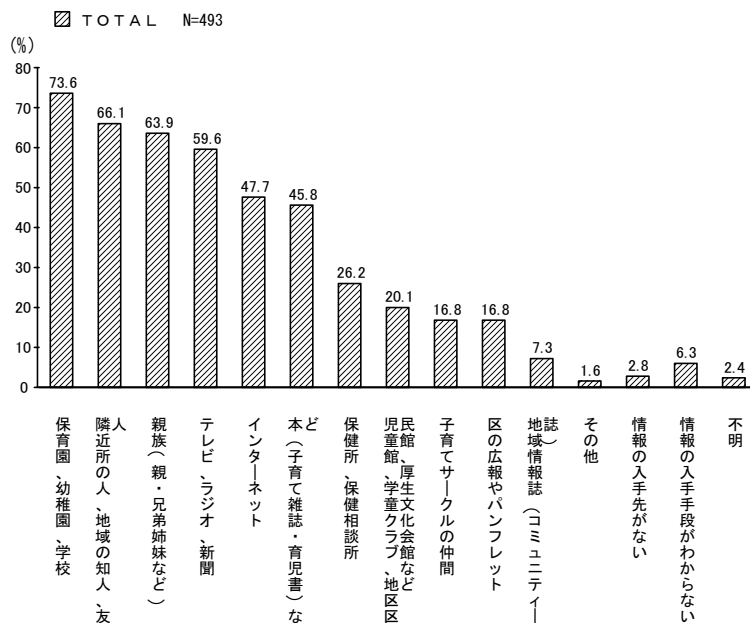


問6 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていると思いますか。(複数回答)

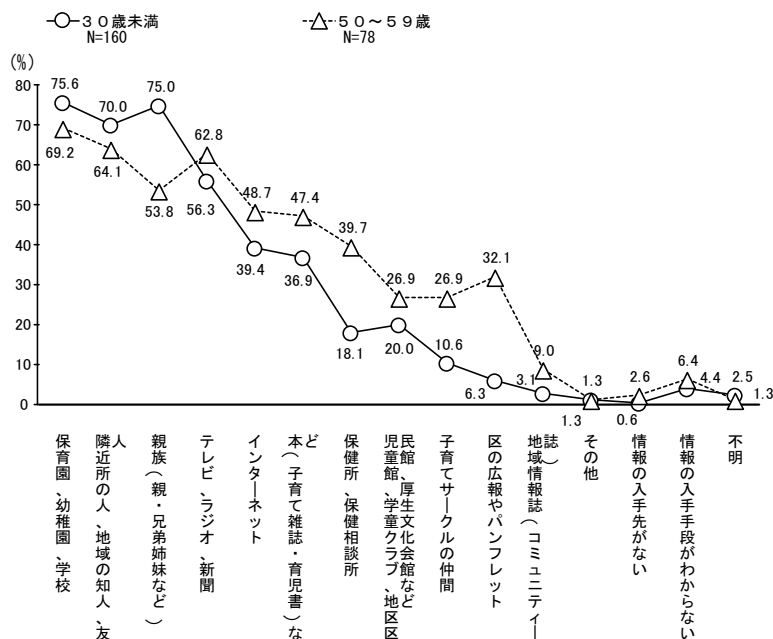
それぞれの子育て関係施設で関わっている子どもの家庭で、想定される子育て情報の入手方法についての聞いたところ、「保育園、幼稚園、学校」が73.6%で最も多く、続いて「隣近所の人、地域の知人、友人」が66.1%となっている。

年齢比較を行うと、いずれも「保育園、幼稚園、学校」が最も多く、30歳未満では「親族・親・兄弟姉妹など」、50～59歳では「隣近所の人、地域の知人、友人」が続いている。

関わっている子どもの家庭での子育て情報入手先予想



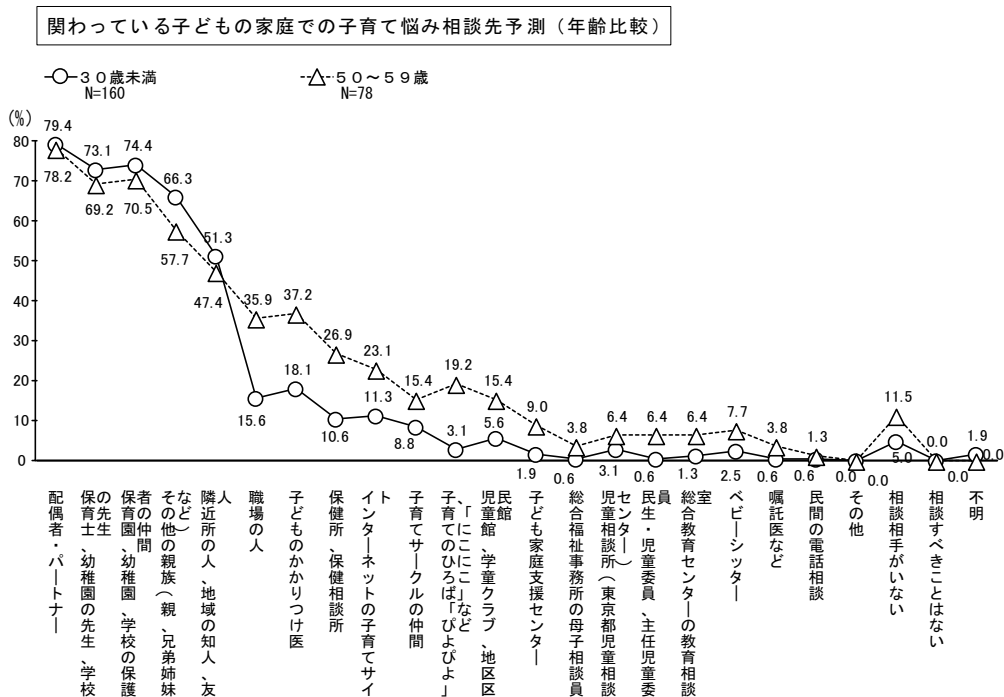
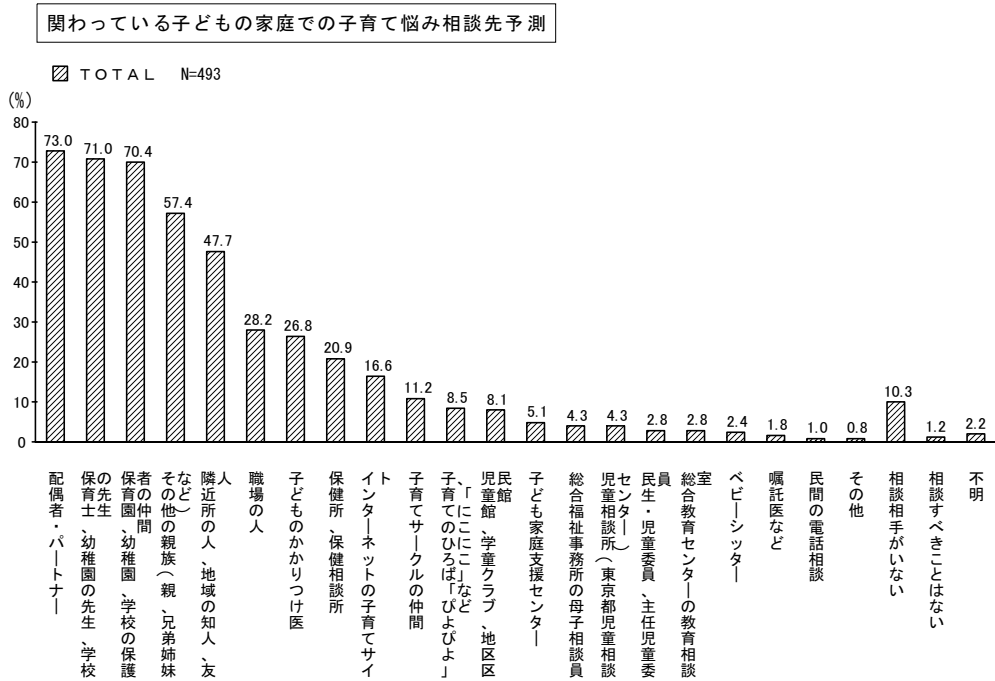
関わっている子どもの家庭での子育て情報入手先予想(年齢比較)



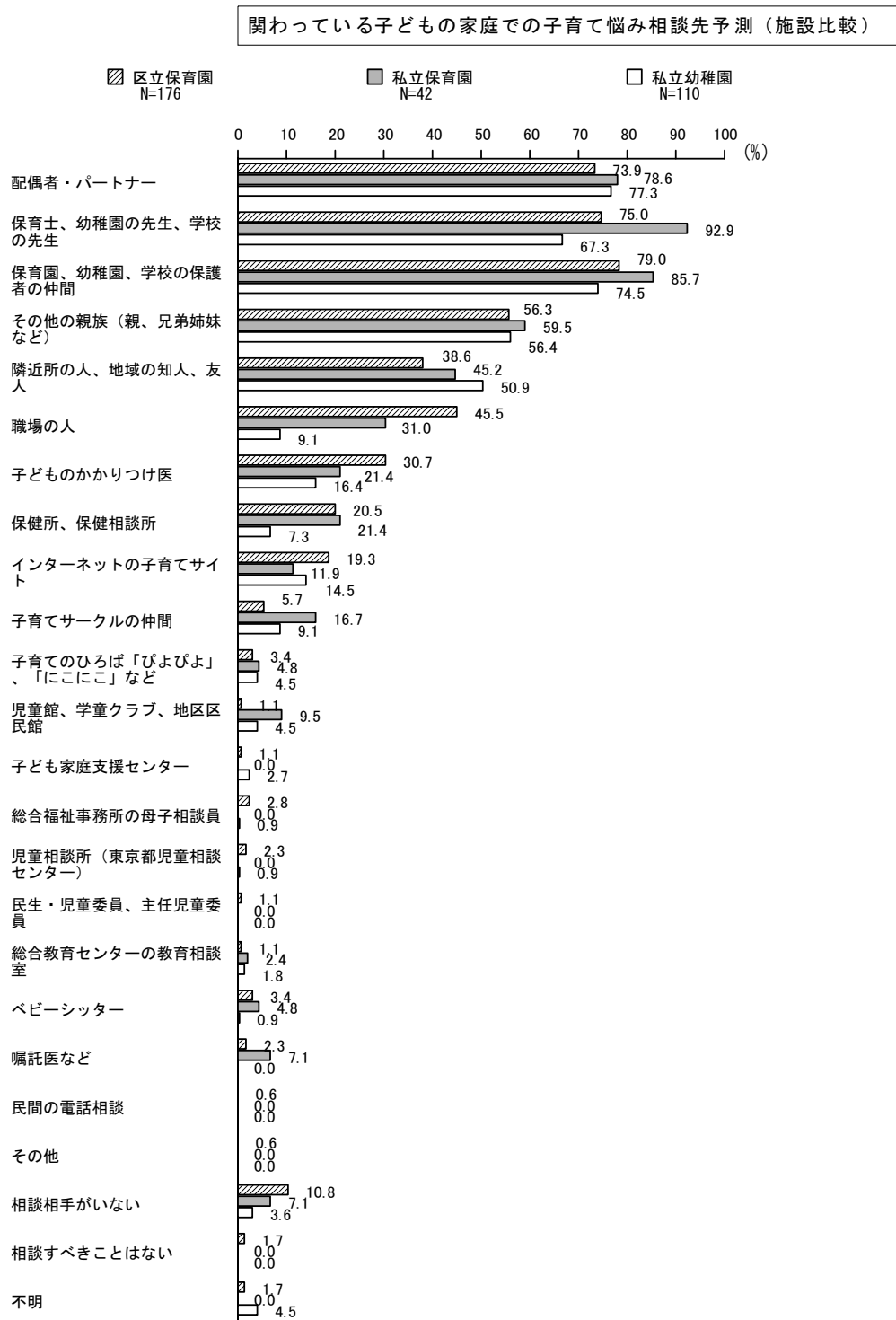
問7 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する悩みや不安などをどこに相談されていると思いますか。(複数回答)

それぞれの子育て関係施設で関わっている子どもの家庭で、想定される子育ての悩みや不安等の相談先について聞いたところ、「配偶者・パートナー」が73.0%で最も多く、続いて「保育士、幼稚園の先生・学校の先生」が71.0%、「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」が70.4%となっている。

年齢比較を行うと、いずれも「配偶者・パートナー」「保育士、幼稚園の先生・学校の先生」そして「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」が多くなっている。



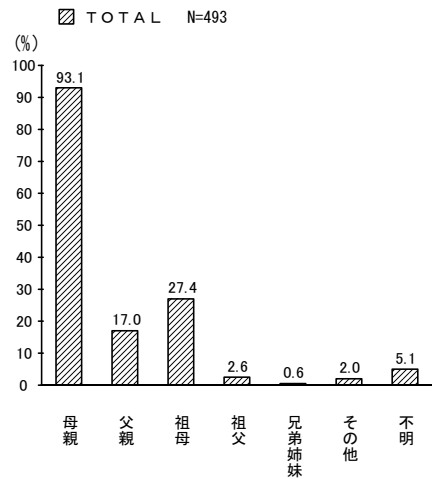
施設比較を行うと、いずれの施設従事者も「配偶者・パートナー」「保育士、幼稚園の先生・学校の先生」そして「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」が多くなっている。



問8 あなたが子育てについての相談を受ける相手は、相談の対象となる子どもからみて、どのような関係の人ですか。(複数回答)

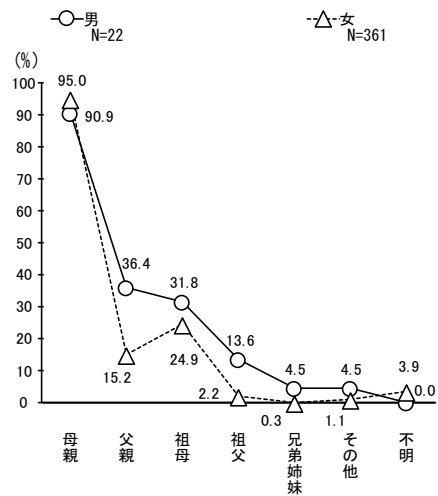
子育てについて相談を受ける相手について聞いたところ、「母親」が93.1%であった。

子育て相談主



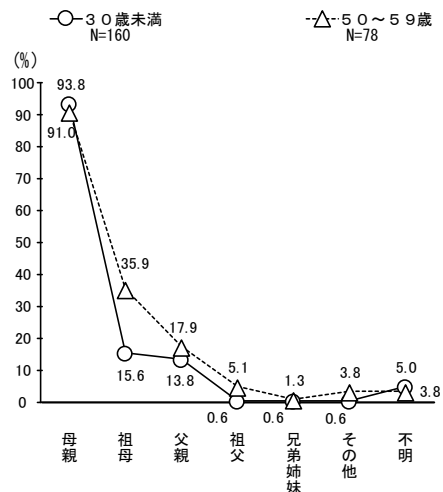
性別で見ると、男女共に「母親」が最も多く、男性については「父親」もやや多くなっている。

子育て相談主(性別)



年代比較を行うと、いずれの年代も「母親」が最も多く、50~59歳については「祖母」も多くなっている。

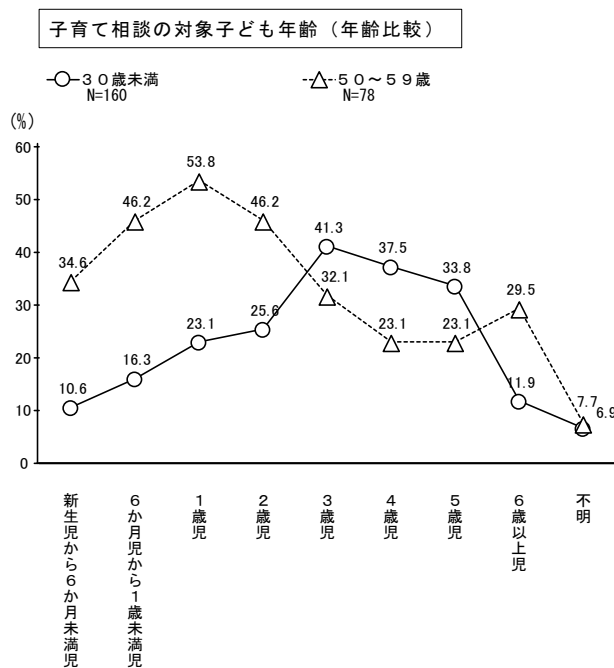
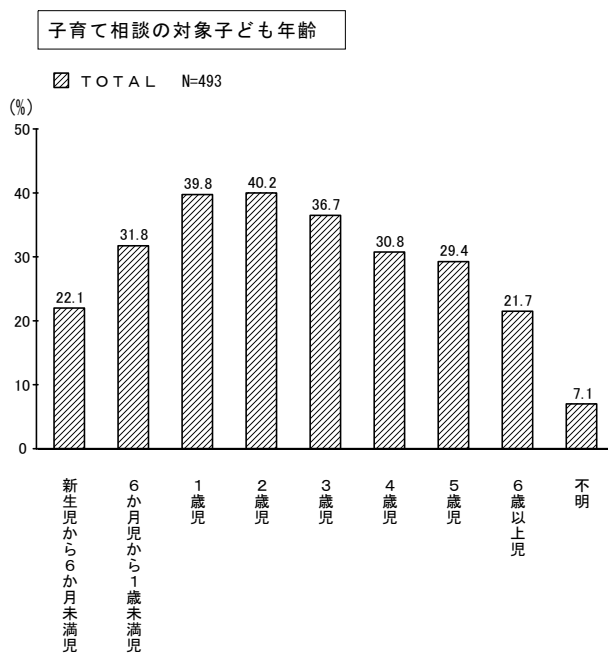
子育て相談主(年齢比較)



問9 子育てについての相談の対象となる子どもの年齢で、多いのはどれですか。(複数回答)

子育てについての相談の対象となる子どもの年齢を聞いたところ、「2歳児」が40.2%で最も多く、続いて「1歳児」が39.8%、「3歳児」が36.7%となっている。

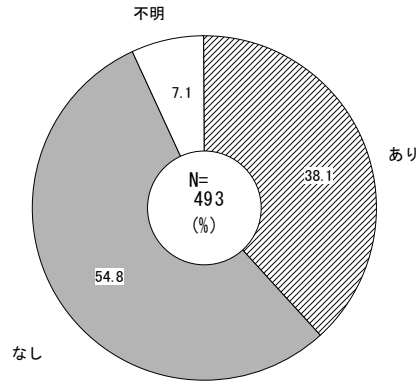
年齢比較をすると、「新生児から6か月未満児」から「2歳児」までは50～59歳、「3歳児」から「5歳児」は30歳未満が多くなっている。



問10 子育てについての相談を進めていく上で、現在直面している問題がありますか。

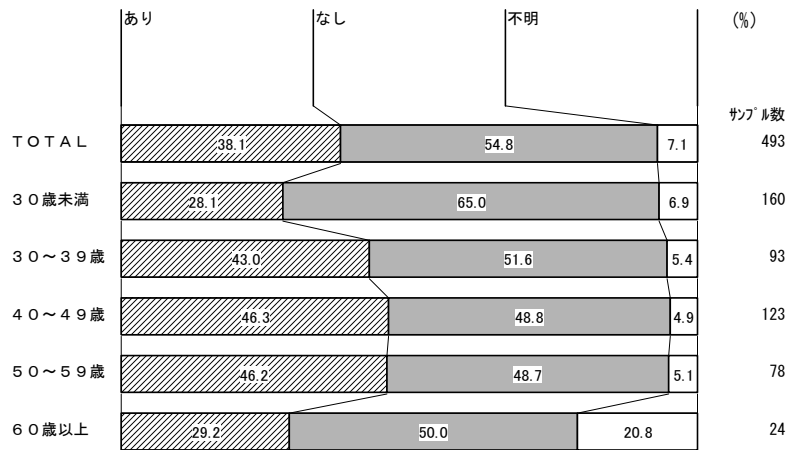
子育てについての相談を進めていく上で、現在直面している問題の有無について聞いたところ、「問題がある」が38.1%、「問題はない」が54.8%となっている。

現在子育て相談を進めていく上での問題



年齢別で見ると、全体的に「なし」が「あり」を上回っているが、30～50歳代では、「問題がある」の割合が大きくなっている。

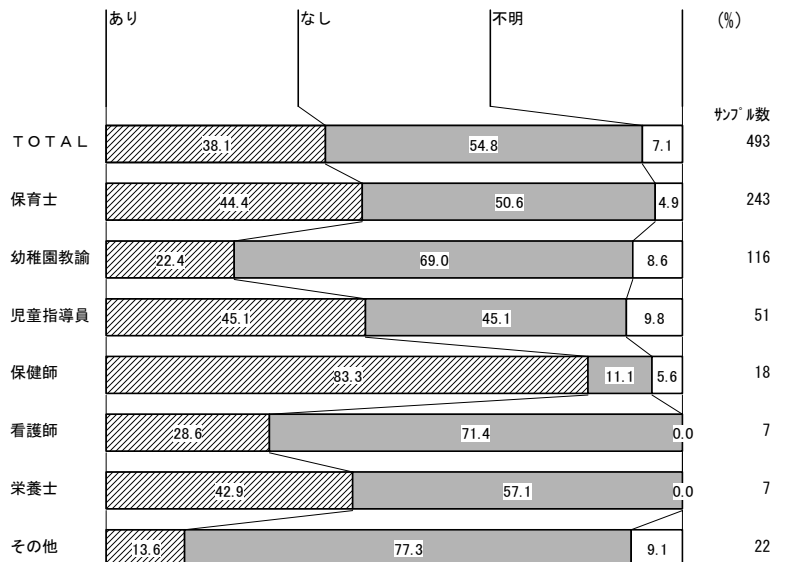
現在子育て相談を進めていく上での問題（年齢別）



(注) 表側の「不明」は除く。

職種別で見ると、「問題がある」と回答している職種は「保健師」が最も割合が大きく、続いて「児童指導員」「保育士」となっている。

現在子育て相談を進めていく上での問題（職種別）



(注) 表側の不明は除く。

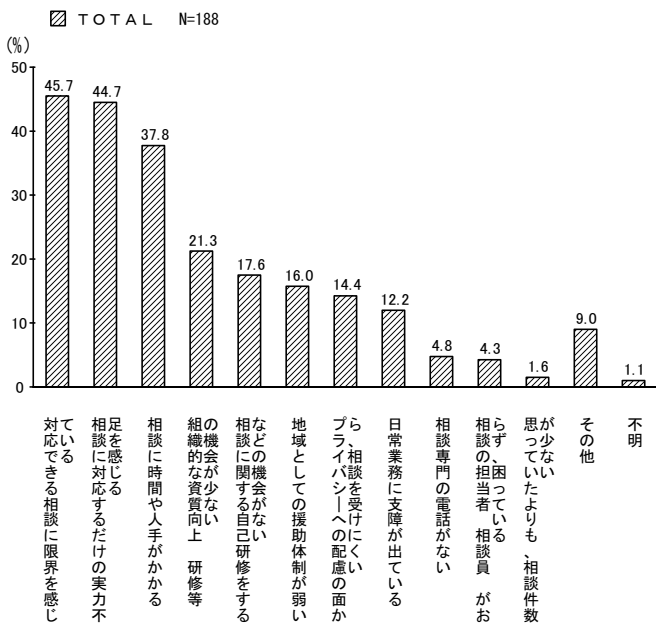
問10(1) 問10で「1 問題がある」と答えた方へ、それはどのような問題ですか。(3つ)

子育てについての相談で問題があると回答した従事者にその内容を聞いたところ、「対応できる相談に限界を感じている」が45.7%で最も多く、続いて「相談に対応するだけの実力不足を感じる」が44.7%となっている。

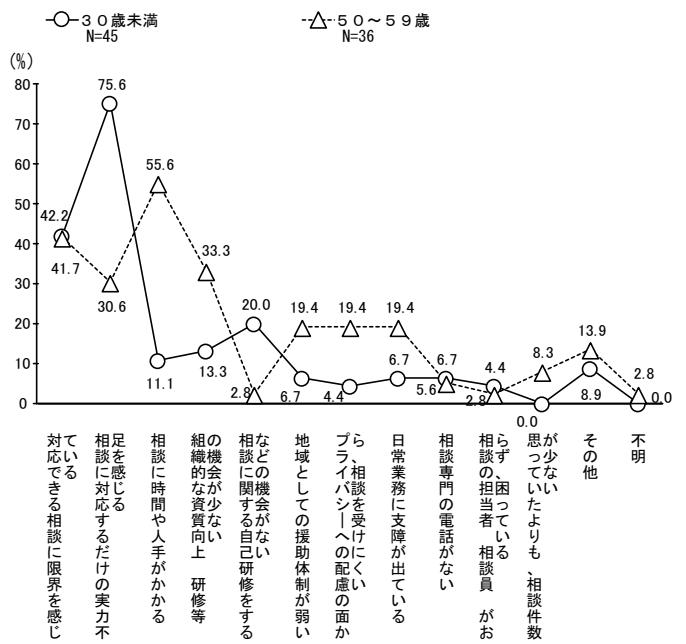
年齢比較を行うと、30歳未満では「相談に対応するだけの実力不足を感じる」が最も多く、50～59歳では「相談に時間や人手がかかる」が最も多くなっている。

職種比較を行うと、いずれも「対応できる相談に限界を感じている」や「相談に対応するだけの実力不足を感じる」が多く、幼稚園教諭では「相談に対応するだけの実力不足を感じる」が特に多くなっている。

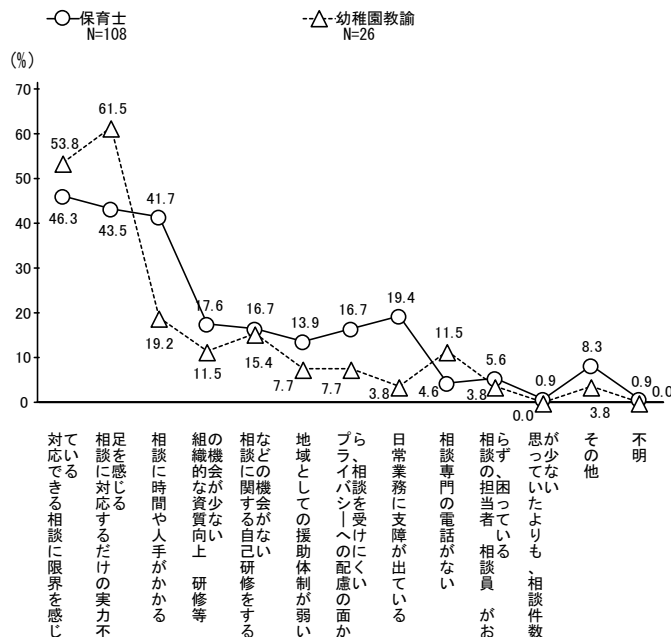
現在子育て相談を進めていく上での問題内容



現在子育て相談を進めていく上での問題内容 (年齢比較)



現在子育て相談を進めていく上での問題内容 (職種比較)

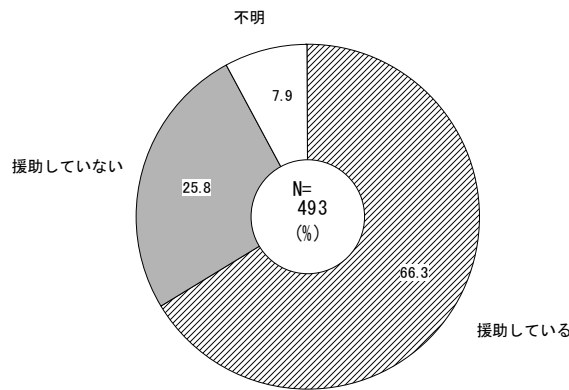


問 1 1 あなたは、子育てについての相談を受けた場合、その後の援助をしていますか。

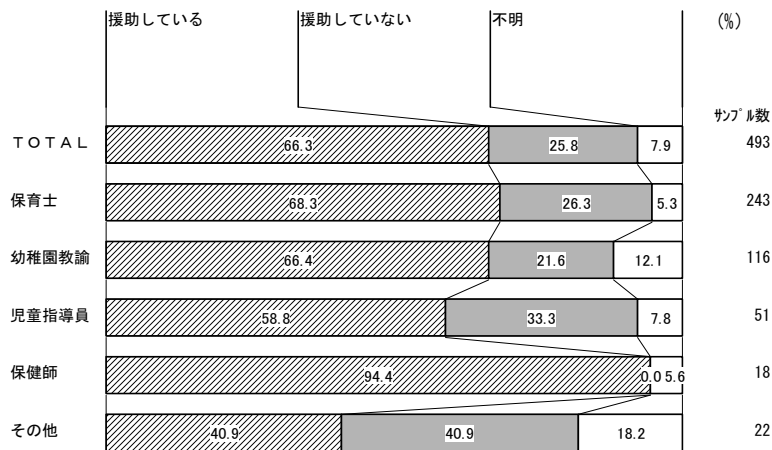
子育て相談を受けた後の援助の有無について聞いたところ、「援助している」が 66.3%、「特に援助していない」が 25.8%となっている。

職種別に見てみると、いずれの職種でも「援助している」が多く、特に「保健師」は9割を超えて対応している。

子育て相談を受けた後の援助



子育て相談を受けた後の援助（職種別）



(注) サンプル数が少ないため表側から「看護師」、「栄養士」は除く。また「不明」も除く。

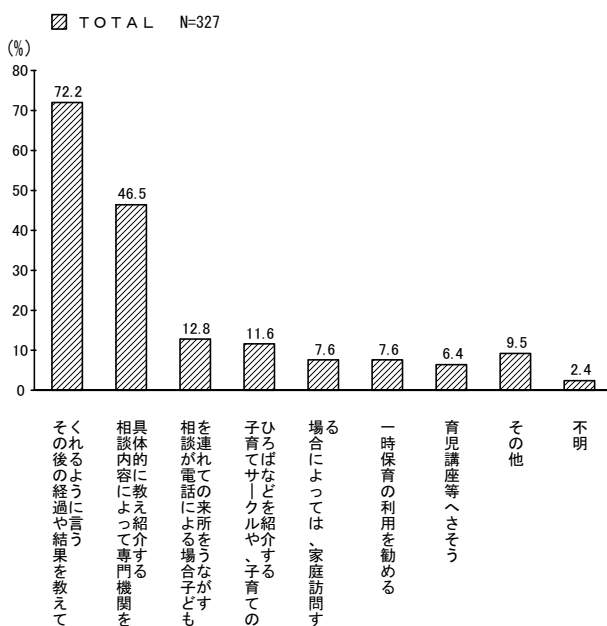
問11(1) 問11で「1 援助している」と答えた方へ、それはどのような援助ですか。(3つ)

子育て相談を受けた後、「援助している」と回答した施設従事者に、援助の内容を聞いたところ、「その後の経過や結果を教えてくださいのように言う」が72.2%で最も多く、続いて「相談内容によって専門機関を紹介する」が46.5%となっている。

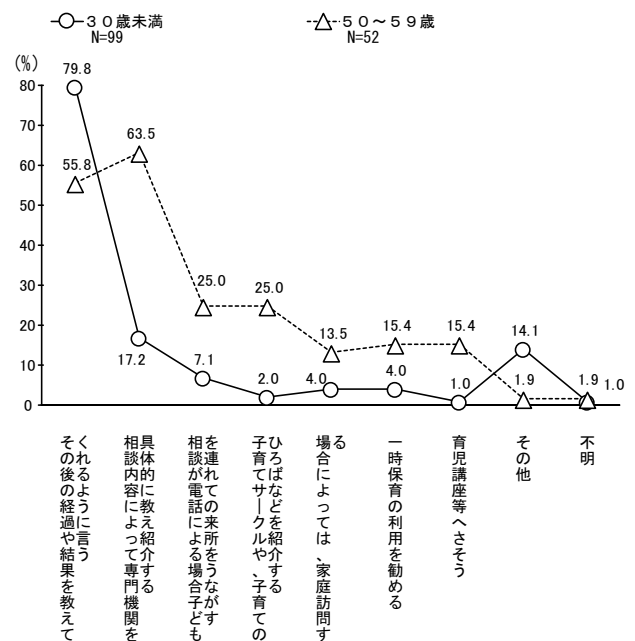
年齢比較を行うと、30歳未満では「その後の経過や結果を教えてくださいのように言う」が最も多く、50～59歳では「相談内容によって専門機関を紹介する」が最も多くなっている。

職種比較を行うと、いずれも「その後の経過や結果を教えてくださいのように言う」や「相談内容によって専門機関を紹介する」が多く、特に保育士は「相談内容によって専門機関を紹介する」が幼稚園教諭と比較すると多くなっている。

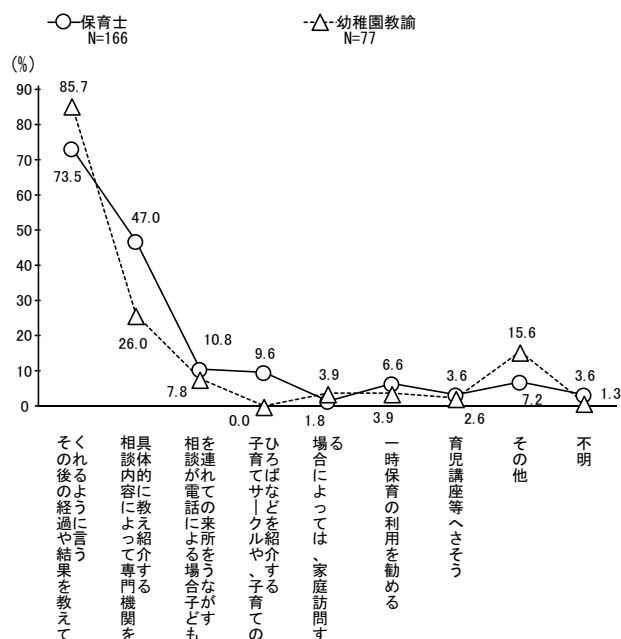
子育て相談を受けた後の援助内容



子育て相談を受けた後の援助内容（年齢比較）



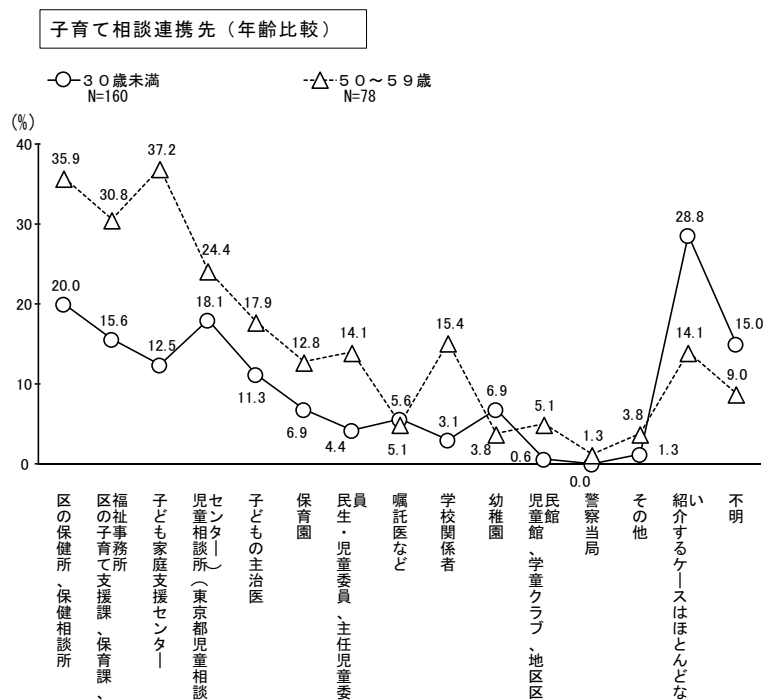
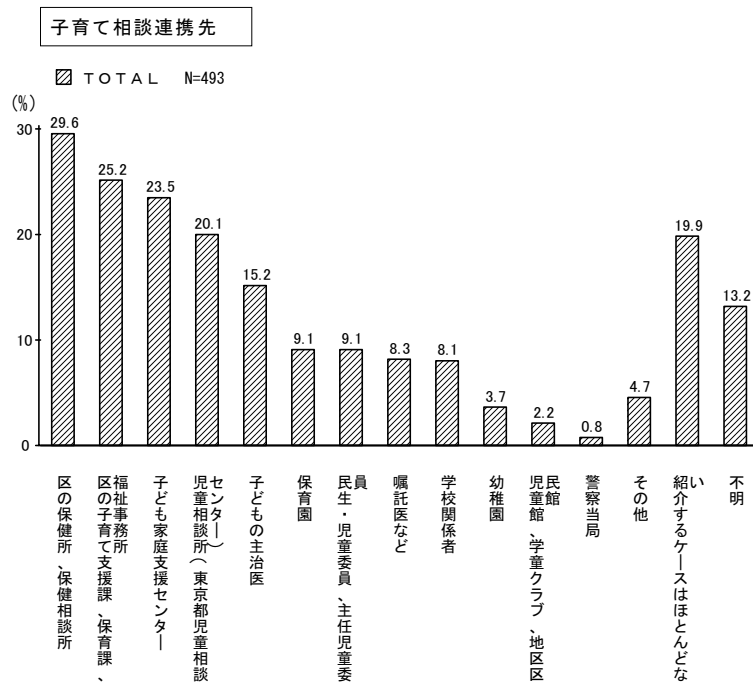
子育て相談を受けた後の援助内容（職種比較）



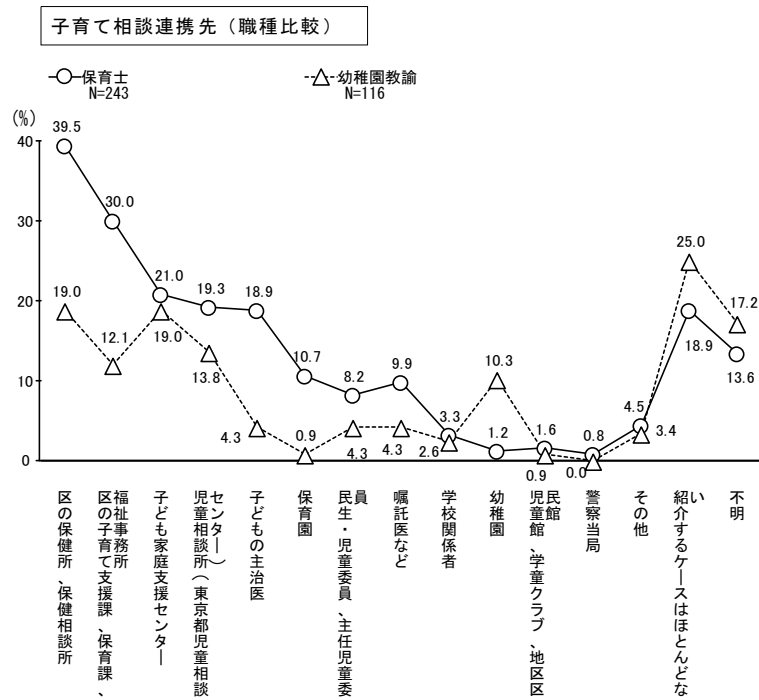
問 1 2 子育てについての相談で、あなたの組織だけで対応できない場合は、次のうちどの機関に紹介するケースが多いですか。（複数回答）

対応できない子育て相談を紹介する機関について聞いたところ、「区の保健所、保健相談所」が 29.6% で最も多く、続いて「区の子育て支援課、保育課、福祉事務所」が 25.2%、「子ども家庭支援センター」が 23.5%となっている。

年齢比較を行うと、全体的に 50～59 歳では紹介する機関の種類が多く、「子ども家庭支援センター」や「区の保健所、保健相談所」をよく紹介している。



職種比較を行うと、保育士は「区の保健所、保健相談所」や「区の子育て支援課、保育課、福祉事務所」、幼稚園教諭は「区の保健所、保健相談所」「子ども家庭支援センター」が多いが、「紹介するケースはほとんどない」が最も多くなっている。



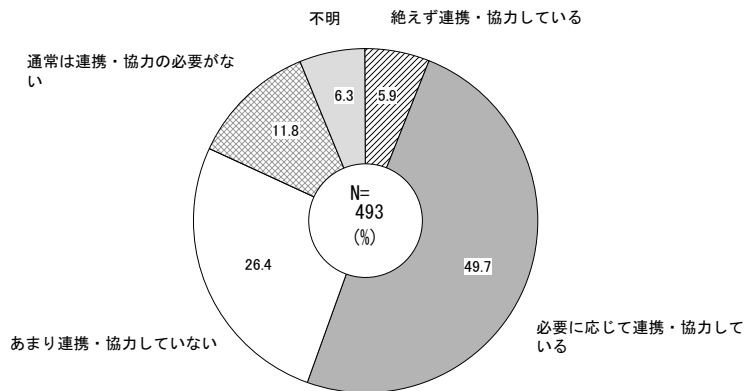
(3) 子育て支援に関する提携・協力、虐待の状況について

問13 あなたは子育て支援活動を行うに当たって、他団体とどの程度、連携・協力を行っていますか。

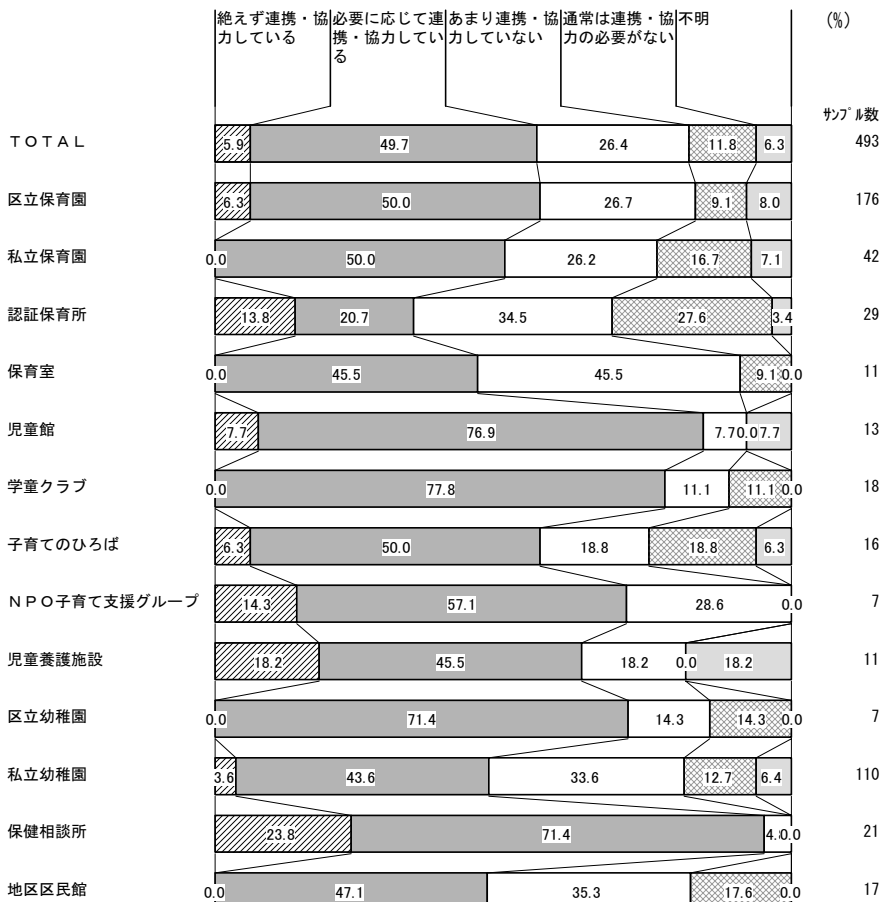
子育て支援活動における他団体との連携状況について聞いたところ、「必要に応じて連携・協力している」が49.7%、「あまり連携・協力していない」が26.4%となっている。

施設別に見てみると、「保健相談所」や「児童館」などでは他の施設との連携・協力が顕著となっている。

子育て支援活動での他団体との連携・協力度合



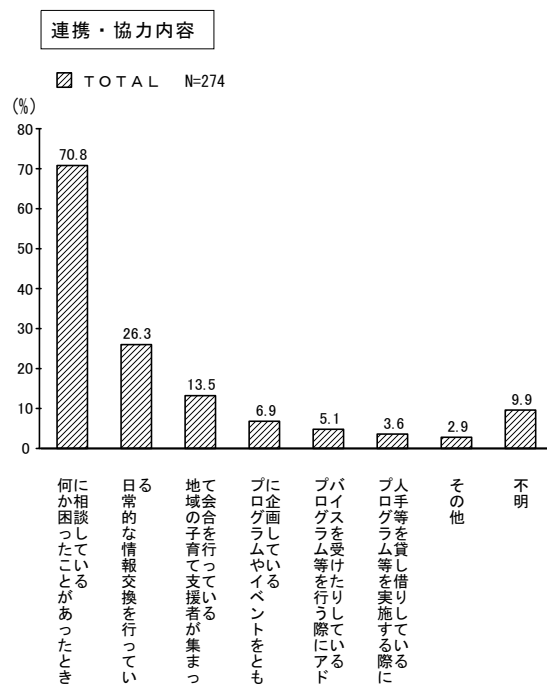
子育て支援活動での他団体との連携・協力度合い (施設別)



(注) サンプル数が少ないため表側から「駅前グループ保育室」、「厚生文化会館」は除く。また「不明」も除く。

問13 (1) 問13で「1 絶えず連携・協力している」「2 必要に応じて連携・協力している」と答えた方へ、連携・協力の内容として多いものをお知らせください。(複数回答)

他団体と連携・協力していると回答した施設従事者に内容を聞いたところ、「何か困ったことがあったときに相談している」が70.8%で最も多く、続いて「日常的な情報交換を行っている」が26.3%、「地域の子育て支援者が集まって会合を行っている」が13.5%となっている。

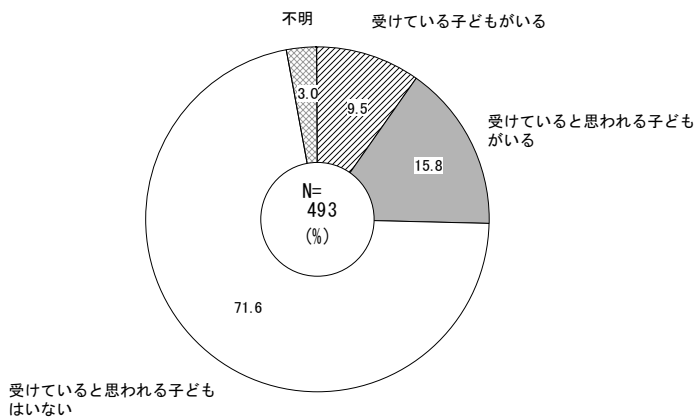


問 1 4 あなたが関わっている子どもの中に、保護者から虐待を受けている子どもがいますか。

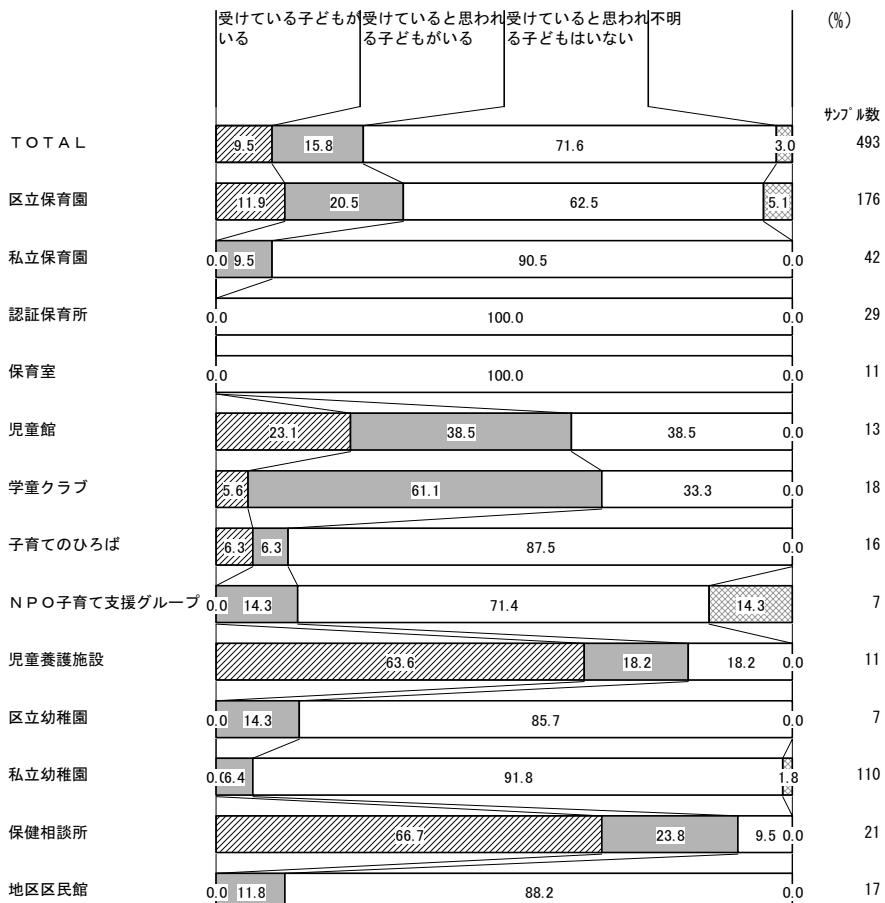
それぞれの子育て関係施設で関わっている子どもが保護者から虐待を受けているかについて聞いたところ、「受けていると思われる子どもはいない」が 71.6%、「受けていると思われる子どもがいる」が 15.8%、そして「受けている子どもがいる」は 9.5%となっている。

施設別に見てみると、受けている子どもは「児童養護施設」や「保健相談所」などで多くなっており、「区立保育園」や「児童館」の一部でも虐待を受けている子どもがいると回答している。

保護者から虐待を受けている子ども



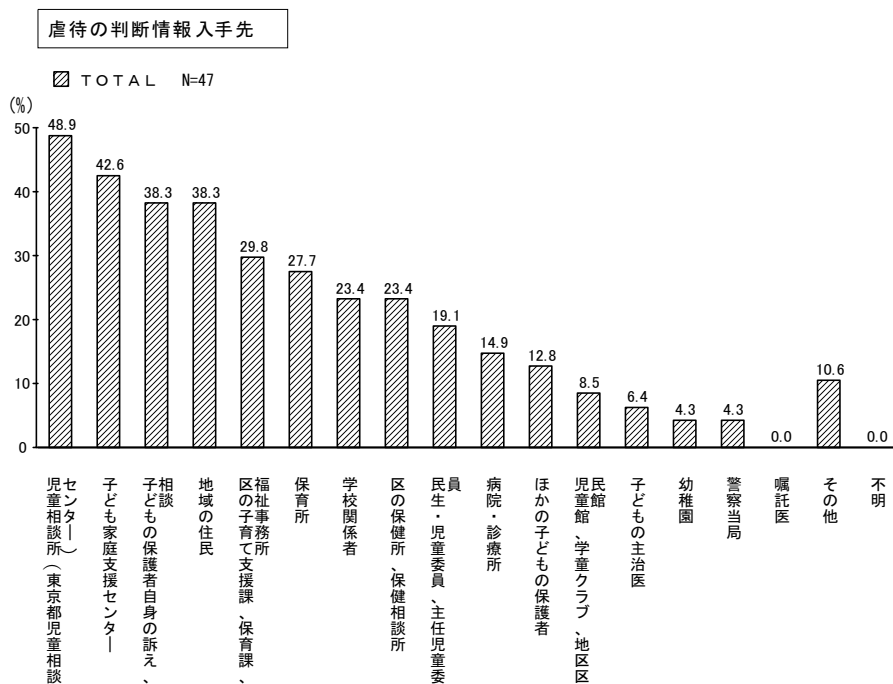
保護者から虐待を受けている子ども (施設別)



(注) サンプル数が少ないため表側から「駅前グループ保育室」「厚生文化会館」は除く。また「不明」も除く。

問14(1) 問14で「1 受けている子どもがいる」と答えた方へ、虐待の判断は主にどのような情報に基づいてなされましたか。(複数回答)

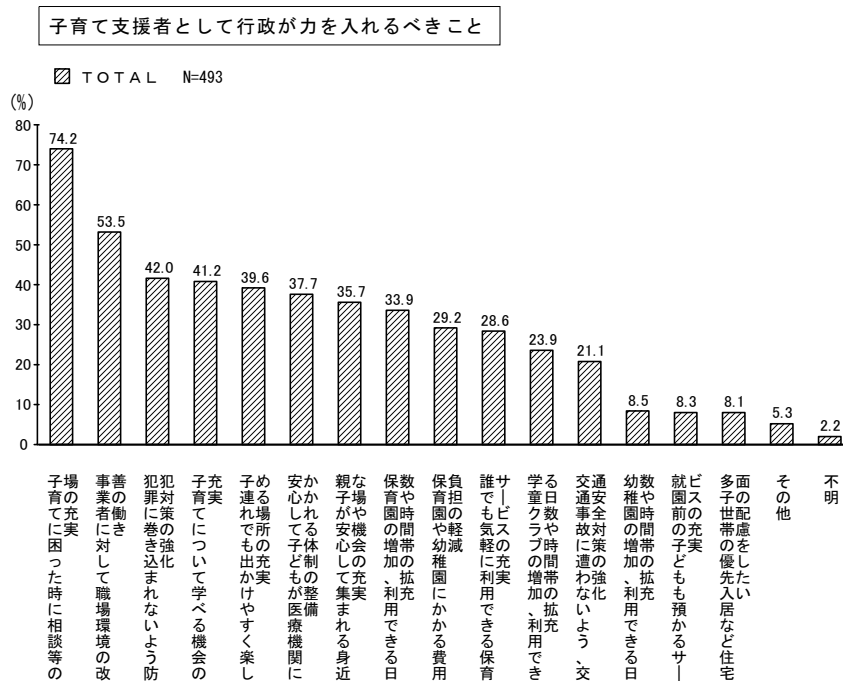
『虐待を受けている子どもがいる』と回答した施設従事者に、虐待を判断する際の情報について聞いたところ、「児童相談所」が48.9%で最も多く、続いて「子ども家庭支援センター」が42.6%、「子どもの保護者自身の訴え、相談」が38.3%となっている。



(4) 行政サービスの重点について

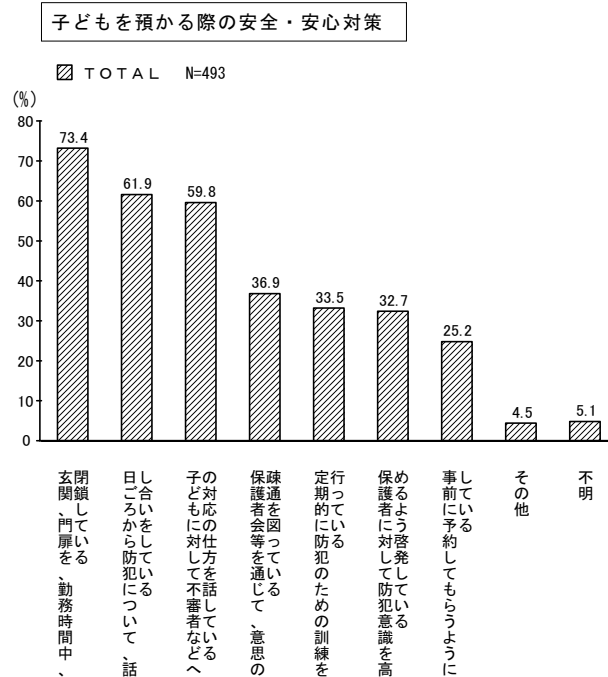
問15 親と子が健やかに育ち合うようにするために、あなたは「子育て支援者」として、行政はどこに力を入れていくといいと思いますか。(複数回答)

親と子が健やかに育ち合うようにするために、行政が力を入れるべき子育て支援の内容について聞いたところ、「子育てに困った時に相談等の場の充実」が74.2%で最も多く、続いて「事業者に対して職場環境の改善の働き」が53.5%、「犯罪に巻き込まれないよう防犯対策を強化」が42.0%となっている。



問16 あなたは、あなたの職場で子どもを預かる際に、その身体の安全を確保し、危険な目に遭わないよう、どのようなことを心がけたり実行したりしていますか。(複数回答)

子どもの安全のために実施していることについて聞いたところ、「玄関・門扉を勤務時間中閉鎖している」が73.4%で最も多く、続いて「日ごろから防犯について話し合いをしている」が61.9%、「子どもに不審者などへの対応の仕方をはなしている」が59.8%となっている。



IV-7 子育て意識の変遷と子育てに関する意識の比較

本調査では、区民及び区内の子育て関係施設従事者に対して、あわせて7種類のアンケート（就学前児童家庭、小学校児童家庭、中学生、高校生、独身及び子どものいない世帯、子育て中及び子育て終了世帯、子育て関係施設従事者）を実施している。その中では、練馬区での次世代育成支援のあり方を検討する際の資料として、①子育てについての意識の変遷は見られるか、②区民間、区民と施設従事者との間に子育てに関する意識の差が見られるかなどについて分析を行った。

以下にその概要を整理する。

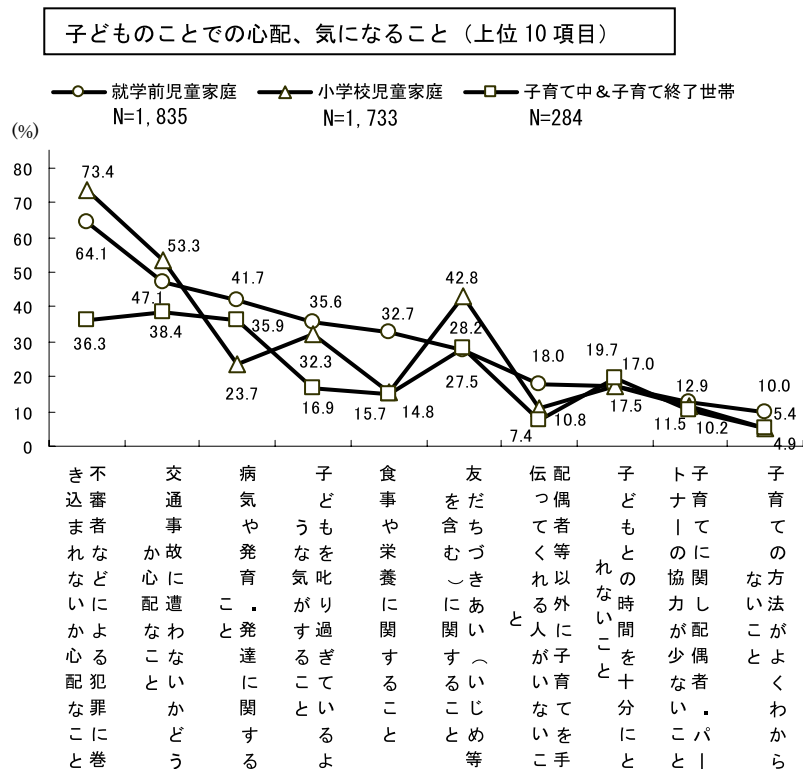
1. 子育て意識の変遷について

①子どものことでの心配、気になることの意識

就学前児童家庭：(問25) あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。
 小学校児童家庭：(問26) あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。
 子育て中及び子育て終了世帯：(問9) あなたが、これまでに、子どものことで心配に感じたり、気になったりしたのはどのようなことですか。

子どものことでの心配、気になることについては、いずれの子育て家庭でも「不審者などによる犯罪に巻き込まれないか心配なこと」「交通事故に遭わないかどうか心配なこと」など安全・安心に関する心配が中心で、小学校児童家庭では特に多くなっている。

また小学校児童家庭では、最近あらためて注目されている「友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」についても多くなっており、特に「いじめ」の問題が重要視されてきていることが分かる。



②結婚や子育てに関する考え方の意識

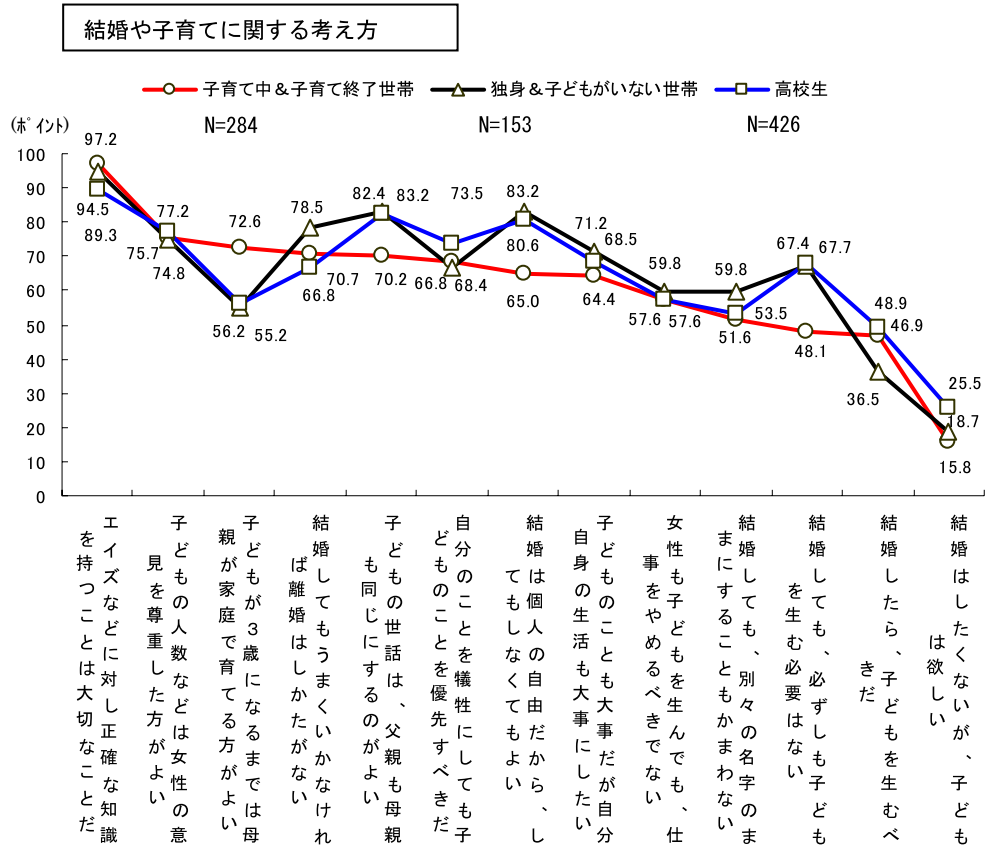
高校生：(問 15) あなたは次のような考え方について、どう思いますか。

独身及び子どもがいない世帯：(問 11) 結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問 13) 結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

結婚や子育てに関する考え方については、全体的に独身及び子どもがいない世帯と高校生がほぼ同様の考え方を持ち、「個人の自由」に対する認識が強くなっている。

ただし、「結婚したら、子どもを生むべきだ」については子育て中及び子育て終了世帯と高校生とがほぼ同意見になっている。



※設問の各項目に対して「そう思う」×100、「どちらかといえばそう思う」×67、「どちらかといえばそう思わない」×33、「そう思わない」×0のようにウェイト付け(得点化)を行った。

③子育てに関する情報入手先の意識

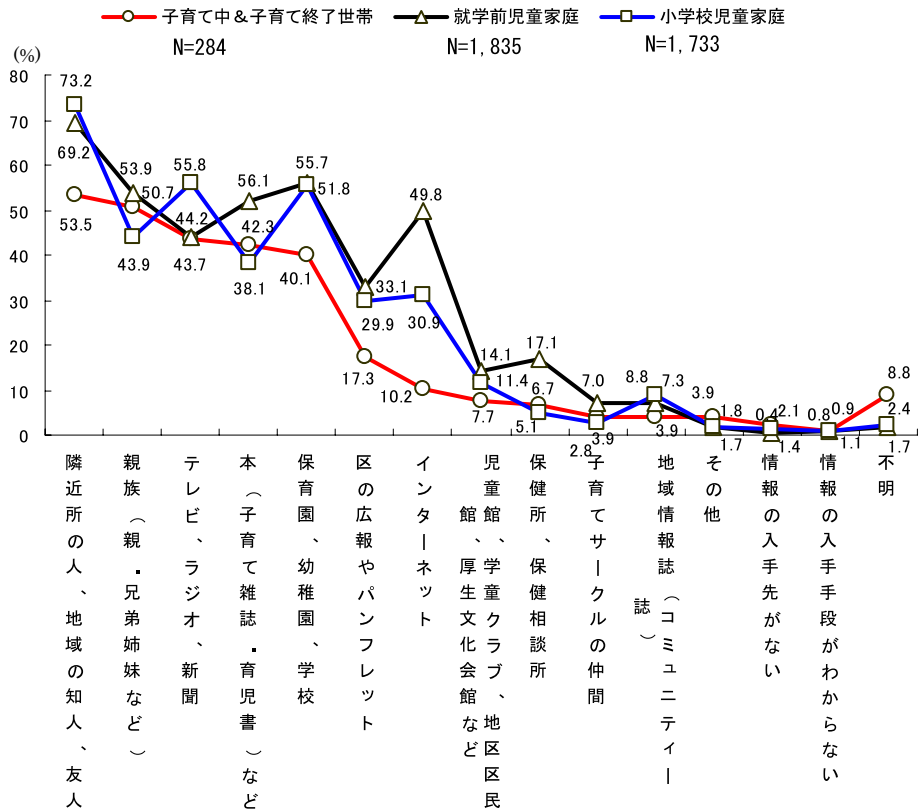
就学前児童家庭：(問 43) あなたは子育てに関する情報を、どのようにして入手していますか。

小学校児童家庭：(問 39) あなたは子育てに関する情報を、どこから入手していますか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問 11) あなたは子育てに関する情報を、どこから入手されていましたか。

子育てに関する情報入手先については、いずれも「隣近所の人、地域の知人、友人」が最も多く、子育て中および子育て終了世帯では「親族(親・兄弟姉妹など)」や「テレビ、ラジオ、新聞」、小学校児童家庭では「テレビ、ラジオ、新聞」、就学前児童家庭では「保育園、幼稚園、学校」や「インターネット」も多い。

子育てに関する情報入手先



④子育てに関する不安・悩みの相談相手の意識

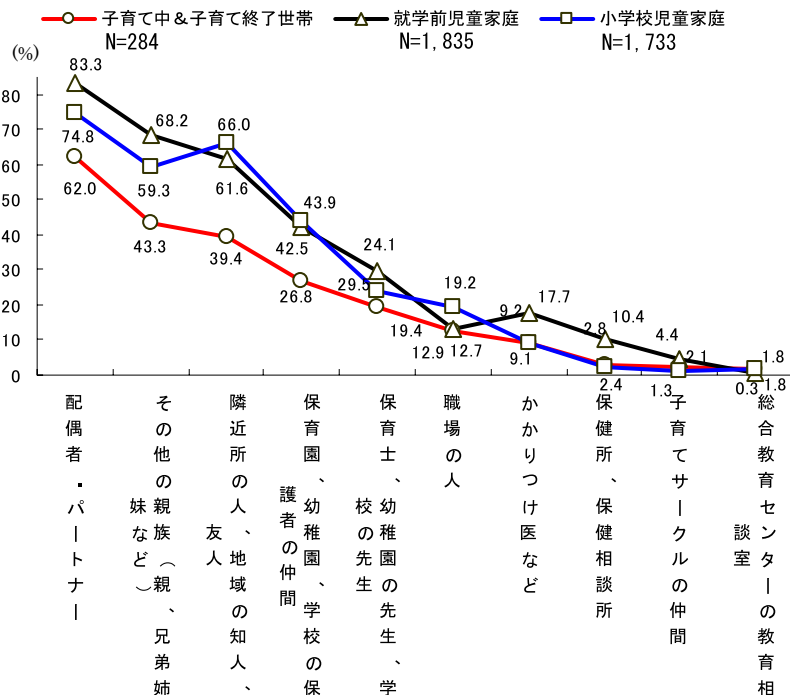
就学前児童家庭：(問 37) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。

小学校児童家庭：(問 28) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問 12) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談していたのは誰ですか。

子育てに関する不安・悩みの相談相手については、いずれの子育て家庭でも「配偶者・パートナー」であるが、小学校児童家庭では「隣近所の人、地域の知人、友人」も多い。

子育てに関する不安・悩みの相談相手（上位 10 項目）



2. 子育てに関する意識の比較について

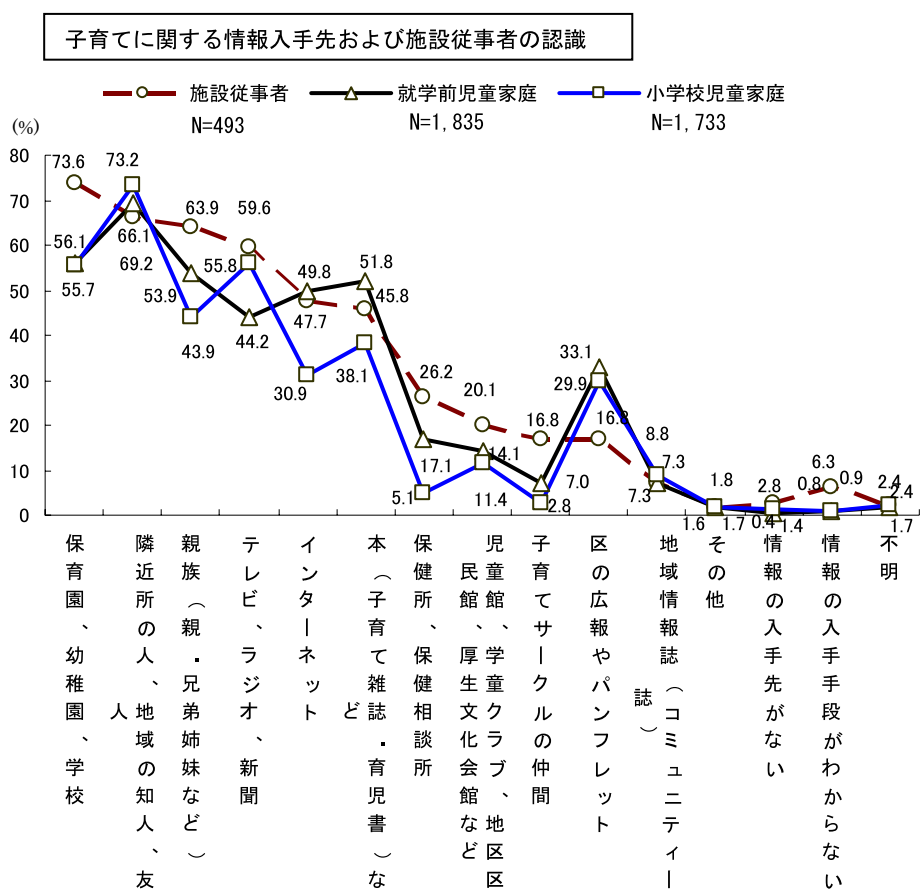
①子育てに関する情報入手先についての意識の比較

就学前児童家庭：(問 43) あなたは子育てに関する情報を、どのようにして入手していますか。

小学校児童家庭：(問 39) あなたは子育てに関する情報を、どこから入手していますか。

子育て関係施設従事者：(問 6) あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていると思いますか。

子育てに関する情報入手先については、施設従事者が主に「保育園、幼稚園、学校」という認識を持っている一方、就学前児童家庭および小学校児童家庭では「隣近所の人、地域の知人、友人」から最も情報を得ていると回答している。



※意識の差が大きいもの

①施設従事者と就学前児童家庭

- 1位 保育園、幼稚園、学校(17.5%差)
- 2位 区の広報やパンフレット(-16.3%差)
- 3位 テレビ、ラジオ、新聞(15.4%差)

②施設従事者と小学校児童家庭

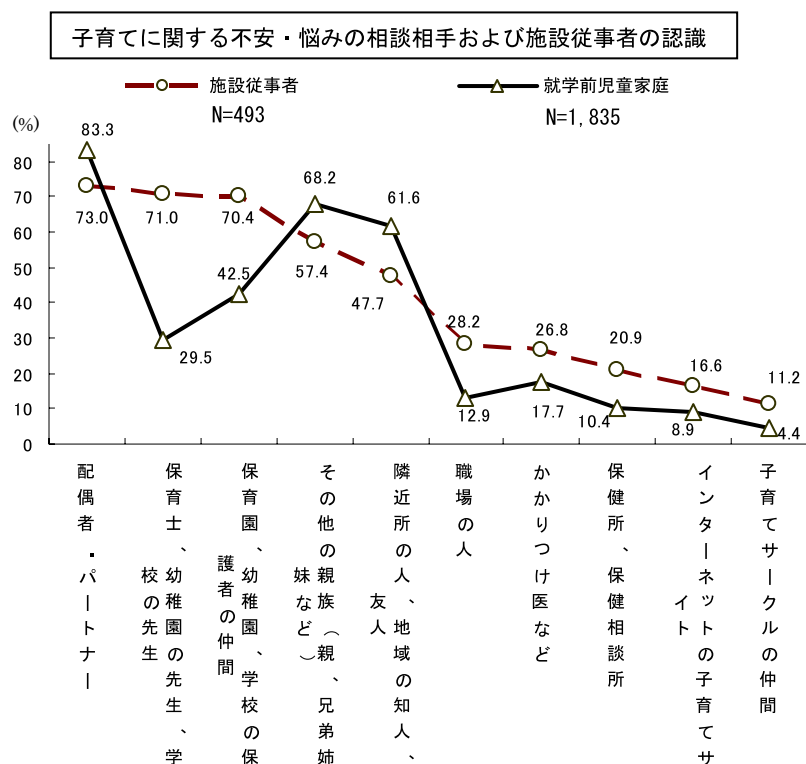
- 1位 保健所、保健相談所(21.1%差)
- 2位 親族(親・兄弟姉妹など)(20.0%差)
- 3位 保育園、幼稚園、学校(17.9%差)

②子育てに関する不安・悩みの相談相手についての意識の比較

就学前児童家庭：(問 44) あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。

子育て関係施設従事者：(問 7) あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する悩みや不安などをどこに相談されていると思いますか。

子育てに関する不安・悩みの相談相手については、いずれも「配偶者・パートナー」が最も多く、施設従事者が自分が関わっている子どもの家庭では「保育士、幼稚園の先生、学校の先生」や「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」という認識を持っている一方、就学前児童家庭では「配偶者・パートナー」以外には「その他の親族(親、兄弟姉妹など)」「隣近所の人、地域の知人、友人」などに相談している。



※意識の差が大きいもの

施設従事者と就学前児童家庭

- 1位 保育士、幼稚園の先生、学校の先生(41.5%差)
- 2位 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間(27.9%差)
- 3位 職場の人(15.3%差)

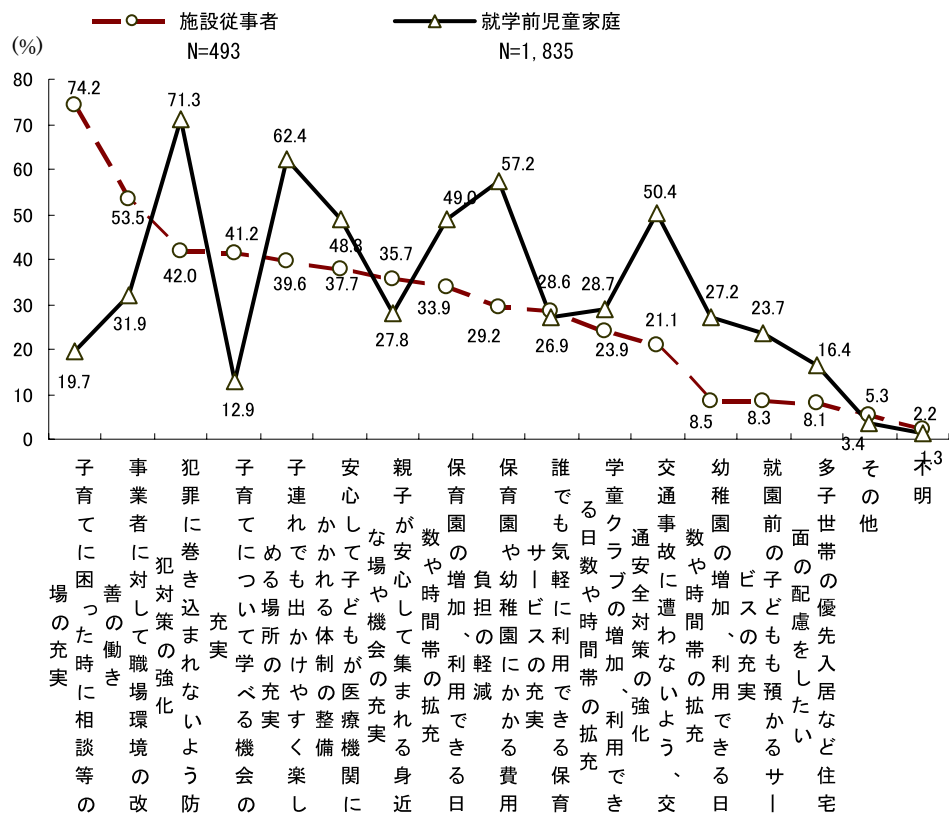
③子育て支援要望 vs 行政が力を入れていくといいと思う子育て支援内容についての意識の比較

就学前児童家庭：(問 51) あなたは親と子が健やかに育ち合うようにするために、子育て支援施策に対して、行政としてどこに力を入れていくといいと思いますか。

子育て関係施設従事者：(問 15) 親と子が健やかに育ち合うようにするために、あなたは「子育て支援者」として、行政はどこに力を入れていくといいと思いますか。

就学前児童家庭が要望する子育て支援サービスと、施設従事者が力を入れていくといいと思う子育て支援サービスについては、施設従事者が「子育てに困った時に相談等の場の充実」や「事業者に対して職場環境の改善の働き」と認識している一方、就学前児童家庭では「犯罪に巻き込まれないよう防犯対策の強化」や「子連れでも出かけやすく楽しめる場所の充実」そして「保育園や幼稚園にかかる費用負担の軽減」などとなっている。

子育て支援要望 vs 行政が力を入れていくといいと思う子育て支援内容



※意識の差が大きいもの(上位5位まで)

施設従事者と就学前児童家庭

1位	子育てに困った時に相談したりする場を作って欲しい	54.5%差
2位	犯罪に巻き込まれないよう防犯対策の強化	-29.3%差
2位	交通事故に遭わないよう、交通安全対策の強化	-29.3%差
4位	子育てについて学べる機会の充実	28.3%差
5位	保育園や幼稚園にかかる費用負担の軽減	-28.0%差

3. 仕事と子育てとの両立意識の比較について

○仕事と子育てとの両立での問題についての意識の比較

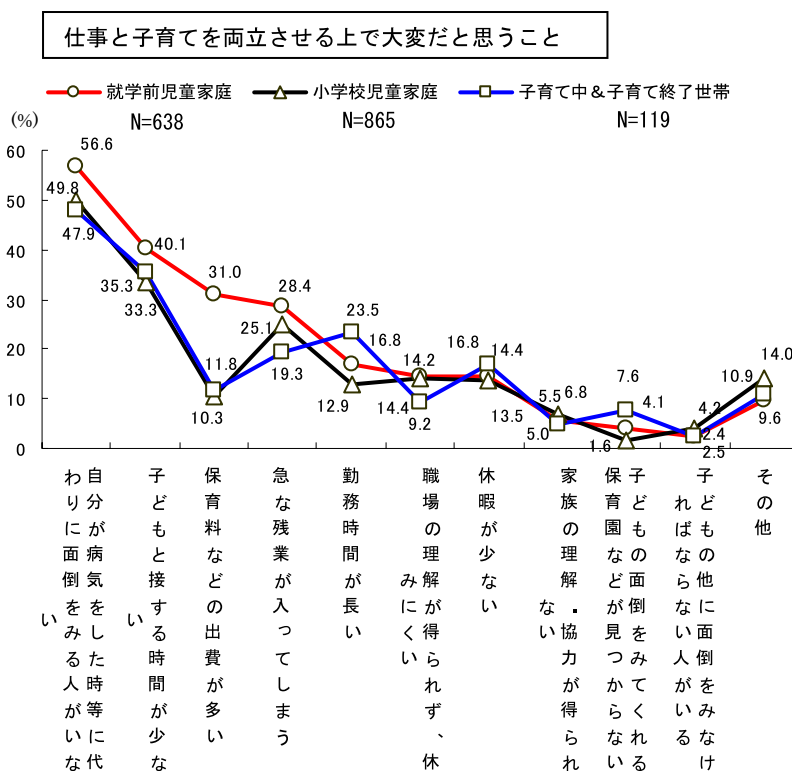
就学前児童家庭：(問 27) あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。

小学校児童家庭：(問 28) あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。

子育て中及び子育て終了世帯：(問 10) あなたが仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることはどのようなことですか。

仕事と子育てとの両立での問題については、いずれも「自分が病気をした時等に代わりに面倒をみる人がいない」が最も多く、特に就学前児童家庭で多くなっている。

また就学前児童家庭では、小学校児童家庭や子育て中及び子育て終了世帯と比べて、「保育料などの出費が多い」が悩みになっている。

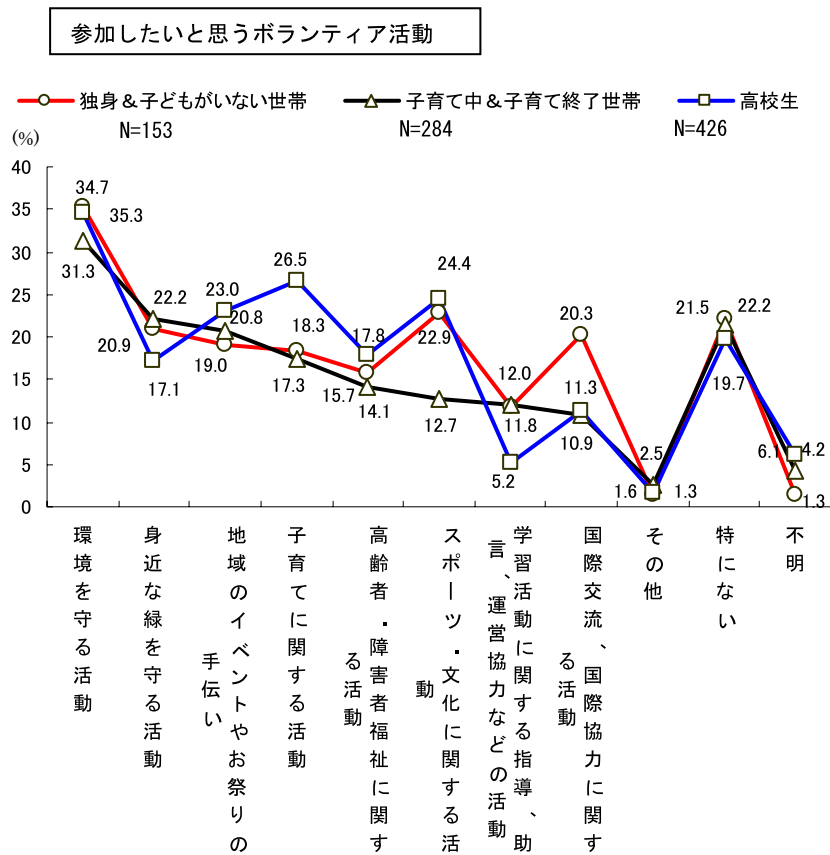


4. ボランティア意識の比較について

○参加したいと思うボランティア活動についての意識の比較

独身及び子どものいない世帯：(問 18) あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。
 子育て中及び子育て終了世帯：(問 20) あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。
 高校生：(問 25) あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。

参加したいと思うボランティア活動については、いずれも「環境を守る活動」が最も多い。
 また「子育てに関する活動」については、「子育て中及び子育て終了世帯」より「高校生」で多くなっている。



資料編（調査票）

練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査

(就学前児童の保護者用)

日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、区では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「練馬区次世代育成支援行動計画(平成17年度～21年度)」(前期5か年計画)を策定し、子育て支援のためのさまざまな事業を実施して70万区民の皆様のご要望に添えるよう努めております。

このたび「練馬区次世代育成支援行動計画(平成22年度～26年度)」(後期5か年計画)を策定するにあたり、区民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握し、「行動計画」に反映するために、「練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査をお願いする方は、区内に在住する小学校就学前の児童の保護者の方です。住民基本台帳から約3,000世帯(人)を無作為抽出により選び出し、今回あなたにアンケートへのご協力をお願いすることとなりました。この調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を行っていくための施策立案の重要な基礎資料となりますので、ご多忙の折とは存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。ご回答を心からお待ちいたしております。

なお、ご回答はすべて無記名です。また、調査結果は統計として集計し、計画の策定のためだけに使用いたします。したがって、個人名が公表されるなど、ご協力いただくことによりご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

平成21年1月

練馬区長 志村 豊志郎

1. この調査票では、**宛て名の保護者の方を「あなた」とします。ご本人がお答えください。**
2. 次ページから順にご記入ください。途中回答により、次に答える問を案内していますので、それに従ってください。
3. ご記入に際して：
 - (1) 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。
 - (2) 時刻の欄は、24時間制(例:「午後4時」は「16時」)でご記入ください。
 - (3) 質問により回答が「1つ」、「いくつでも」など、○の数は質問ごとに指示されています。
 - (4) ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。
 - (5) お名前やご住所を記入する必要はありません。
4. ご記入いただきました調査票は、**2月9日(月曜日)**までに、同封の返信用封筒に入れて投函してください。切手を貼る必要はありません。
5. ご記入方法などについて、わからないことがございましたら、下記にお問い合わせください。

練馬区 健康福祉事業本部 児童青少年部 計画調整担当課

電話： 03-5984-4687 (直通)

担当： 計画調整主査 齋藤・佐藤

1. 封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成（ ）年（ ）月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 父母同居 | 5. 祖母同居 |
| 2. 父同居(ひとり親家庭) | 6. 祖父近居 |
| 3. 母同居(ひとり親家庭) | 7. 祖母近居 |
| 4. 祖父同居 | 8. その他 |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問4-1は、問4で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母等に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等が孫を預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母等の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他（ ）

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他（ ）

問8-1及び問8-2は、問8で「1.有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」、「2.有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

▶問8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。）

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労（1週当たり〔 〕日・1日当たり〔 〕時間）

問8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育サービス（*）が利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない
5. 子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したい
6. その他（ ）

（*）この調査において「保育サービス」とは、【認可保育園、認証保育所、保育室、家庭福祉員（保育ママ）、認定子ども園、事業所内保育施設、その他の保育施設、幼稚園（通常の就園時間）、幼稚園（通常の就園時間を延長して預かるサービス）、ベビーシッター、ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業で、定期的に受けているサービス】としています。
以下の設問も同様の定義です。サービスの説明については、問10-1を参照してください。

問8-3は、問8で「2.有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問8-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

歳になったとき

母親のみなさんすべてにお伺いします。

問9 封筒の宛名のお子さんの出産前後（前後それぞれ1年以内）に離職をしましたか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1. 離職した | (→ 問9-1へ) |
| 2. 継続的に働いていた（転職も含む） | (→ 問10へ) |
| 3. 出産1年前にすでに働いていなかった | (→ 問10へ) |

↓
次頁へ

問9-1は、問9で「1. 離職した」を選ばれた方にお伺いします。「2.」「3.」を選ばれた方は、問10にお進みください。

問9-1 仕事と家庭の両立を支援する保育サービスや環境が整っていたら、就労を継続しましたか。
次の中から、あなたのお考えにもっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 保育サービスが確実に利用できる見込みがあれば、継続して就労していた
2. 職場において育児休業制度等の仕事と家庭の両立支援制度が整い、働き続けやすい環境が整っていれば、継続して就労していた
3. 保育サービスと職場の両立支援環境がどちらも整っていれば、継続して就労していた
4. 家族の考え方(親族の理解が得られない)等就労する環境が整っていれば、継続して就労していた
5. 子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したい
6. いずれにしてもやめていた
7. その他 ()

3. 保育サービスの利用についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問10 封筒のあて名のお子さんの現在の保育サービス(p4の定義参照)の利用の有無についてお伺いします。日頃、定期的にお子さんを預けるサービスを利用していらっしゃいますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 利用している | (→ 問10-1へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問10-4へ) |

問10-1~10-3は、問10で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。

問10-1 封筒の宛名のお子さんは、現在、どのような子育て支援サービスを利用していますか。不定期に利用されるものも含めてお答えください。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。

1. 区立・私立認可保育園(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県の認可を受けたもの)
2. 認証保育所、保育室(認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設)
3. 家庭福祉員(保育ママ)(保育者の家庭等で子どもを預かるサービス(駅型グループ保育室を含む))
4. 認定こども園【共通利用時間みの保育の利用】(保育施設と幼稚園が一体化した施設)
5. 認定こども園【共通利用時間(4時間程度)以上の保育の利用】(保育施設と幼稚園が一体化した施設)
6. 事業所内保育施設(企業が従業員用に運営する施設)
7. その他の保育施設
8. 幼稚園(通常就園時間)
9. 幼稚園の預かり保育(通常就園時間を延長して預かるサービス)
10. ベビーシッター
11. ファミリーサポートセンター(育児支えあい)事業(区民による子どもの預かりサービス)

問10-2及び問10-3は、問10-1で「1.」～「9.」の選択肢を選んだ方にお伺いします。

問10-2 現在の保育サービスの利用状況についてお伺いします。1週あたり何日、1日あたり何時間（何時から何時まで）保育サービス（延長保育なども含めます）を利用しているのでしょうか。枠内に具体的な数字でお答えください。

時間は、必ず 9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

1週あたり 日 1日あたり 時間（ 時～ 時）

問10-3 利用されている理由についてお伺いします。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため
7. その他（ ）

問10-4は、問10で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問10-4 保育サービスを利用していない理由は何ですか。主な理由の番号を1つだけ選んで○をつけてください。

1. （子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 預けたいが、保育サービスに空きがない
5. 預けたいが、経済的な理由でサービスを利用できない
6. 預けたいが延長・夜間等の場所や時間帯の条件が整わない
7. 預けたいが、サービスの質や場所など、納得できるサービスがない
8. 子どもがまだ小さいため。（ 歳くらいになったら預けようと考えている）
9. その他（ ）

サービスの利用希望について、すべての方にお伺いします。

問 1 1 封筒の宛名のお子さんに関して、今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、(利用日数・回数や利用時間が)足りていないと思う保育サービスはどれですか。現在就労していないが、今後就労希望のある方は、就労した場合を想定してお答えください。次の中からあてはまる答えの番号を選んで○をつけてください。

【日中の定期的保育】

1. 区立・私立認可保育園 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県の認可を受けたもの)
2. 認証保育所、保育室 (認可保育園ではないが、自治体が認証・認定した施設)
3. 家庭福祉員(保育ママ) (保育者の家庭等で子どもを預かるサービス (駅型グループ保育室を含む))
4. 認定こども園【共通利用時間のみの保育の利用】(保育施設と幼稚園が一体化した施設)
5. 認定こども園【共通利用時間 (4時間程度)以上の保育の利用】(保育施設と幼稚園が一体化した施設)
6. 事業所内保育施設 (企業が従業員用に運営する施設)
7. その他の保育施設
8. 幼稚園 (通常のが園時間)
9. 幼稚園の預かり保育 (通常のが園時間を延長して預かるサービス)
10. 延長保育
11. ベビーシッター
12. ファミリーサポートセンター (育児支えあい) 事業 (区民による子どもの預かりサービス)

【その他保育】

13. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを預かるサービス)
14. 病児・病後児保育 (子どもの病気時の保育)

【その他】

15. 特にない

問 1 1-1 及び問 1 1-2 は、問 1 1 で「1.」～「11.」の選択肢を選んだ方にお伺いします。選択されたサービスそれぞれについてお答えください。

問 1 1-1 今後の利用希望についてお伺いします。1週あたり何日、1日あたり何時間(何時から何時まで)保育サービス(延長保育なども含めます)を希望しますか。枠内に具体的な数字でお答えください。

時間は必ず 9:00～18:00(例)のように24時間制でご記入ください。

選択したサービス番号

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

選択したサービス番号

1週あたり 日 1日あたり 時間 (時～ 時)

問11-2 サービスを利用したいと考えている理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 現在就労しているが、もっと日数や時間を増やしたい
3. 就労予定がある／求職中である
4. そのうち就労したいと考えている
5. 就労していないが、子どもの教育などのために子どもを預けたい
6. 家族・親族などを介護しなければならない
7. 病気や障害を持っている
8. 学生である／就学したい
9. その他 ()

封筒の宛名のお子さんの土・休日の保育について、すべての方に希望をお伺いします。

問12 封筒のあて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、保育サービスなど（一時的な利用は除きます）の利用希望がありますか。

時間は必ず 9:00～18:00（例）のように24時間制でご記入ください。

※保育サービスなどとは、認可保育園、認証保育所、幼稚園、などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

【土曜日】

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない | } | → | 利用したい時間帯をお答えください。
(<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 時から <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 時まで) |
|---|---|---|---|

【日曜日】

- | | | | |
|---|---|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ほぼ毎週利用したい 2. 月に1～2回は利用したい 3. 利用希望はない | } | → | 利用したい時間帯をお答えください。
(<input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 時から <input style="width: 50px; height: 20px;" type="text"/> 時まで) |
|---|---|---|---|

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします

問14 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある → 年間 <input type="text"/> 日 (理由別)	
① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
② 冠婚葬祭、子どもの親の病気	<input type="text"/> 日
③ 就労	<input type="text"/> 日
2. ない	

問15 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に <input type="text"/> 日くらい利用したい

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします

問16 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む）	(→ 問16-1、2へ)
2. なかった	(→ 問17へ)

問16-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

問16-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。）

1. (同居者を含む) 親族・知人に預けた <input type="text"/> 泊	<table border="1"> <tr> <td>1. 非常に困難</td> <td>2. どちらかという困難</td> <td>3. 特に困難ではない</td> </tr> </table>	1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない		
2. 保育サービス（ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した	<input type="text"/> 泊			
3. 仕方なく子どもも同行させた	<input type="text"/> 泊			
4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊			
5. その他 ()	<input type="text"/> 泊			

7. 来年度就学予定の児童を持つ保護者の方にお伺いします

問17 宛名のお子さんについて、小学校入学以降の放課後の過ごし方について、学童クラブを利用したいと思いませんか。

【学童クラブ…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。】

1. 利用したい → 週 日くらい
2. 利用予定はない

8. すべての方に、ベビーシッターの利用についてお伺いします

問18 ベビーシッターを利用していますか。

1. 利用している (→ 問18-1、2へ)
2. 利用していない (→ 問19へ)

問18-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. その他の目的で利用している

問18-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

9. すべての方に、ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業の利用についてお伺いします

問19 ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業を利用していますか。

1. 利用している (→ 問19-1、2、3へ)
2. 利用していない (→ 問19-4へ)

問19-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をつけください。

1. 主たる保育サービスとして利用している
2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等）
3. 子どもの病気・ケガ等の時に利用している
4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している
5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している
6. 保育施設等の送り迎えに利用している
7. その他の目的で利用している

問19-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

問19-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に 時間くらい増やしたい

問19で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問19-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に 時間くらい利用したい

すべての方にお伺いします。

問20 封筒の宛名のお子さんは、現在、子育てのひろば（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、ぴよぴよ、民設子育てのひろば、児童館の乳幼児を対象とした子育て支援事業）を利用していますか。次の中から、利用されているものに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）をご記入ください。

1. 子育てのひろば（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週あたり（ ）回
2. 学童クラブ室を活用した子育てのひろば「にこにこ」
1週あたり（ ）回
3. 利用していない

問21 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

1. 子育てのひろば（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
1週あたり（ ）回 利用したい
2. 学童クラブ室を活用した子育てのひろば「にこにこ」
1週あたり（ ）回 利用したい
3. 特になし

問20で「3. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問21-1 現在利用していない理由はどのようなことですか。次の中からもっともあてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

1. 利用したいサービスが地域にない
2. 地域のサービスの質に不安がある
3. 地域のサービスの利便性（立地・開催時間・日数等）が悪く利用しづらい
4. 利用料がかかる
5. 自分がサービスの対象者になるのかどうか分からない
6. 時間がない
7. サービスの利用方法（手続き等）がわからない
8. その他（ ）
9. 特に理由はない

問22 サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
記入例	はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	はい <input checked="" type="radio"/> いいえ	はい <input checked="" type="radio"/> いいえ
① 区が主催する母親学級、両親学級、育児教室（離乳食講習会や育児に関する講演会）	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
② 母性健康管理指導事項連絡カード	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
③ 保健相談所のこんにちは赤ちゃん（生後4か月までの全戸訪問）事業	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
④ 保健所、保健相談所の情報・相談サービス	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑤ 家庭教育に関する学級・講座	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑥ 総合教育センターの情報・相談サービス	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑦ 幼稚園の未就園児保育（3歳未満の幼児と保護者どうしが幼稚園で交流するもの）	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑧ 幼稚園の預り保育（幼稚園教育の時間の前後や夏休みなどに預かるもの）	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑨ 保育園や幼稚園の園庭等の開放、ふれあい給食、地域交流	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑩ 子育てのひろば「びよびよ」、「にこにこ」等	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑪ 一時保育（現在は東大泉第三保育園、大泉にじのいる保育園などで実施）	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑫ 病後児保育（現在は練馬区医師会病後児保育センターぱるむ、病児保育室こどもデイケアプリムラなどで実施）	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑬ 児童館、学童クラブ、地区区民館・厚生文化会館の児童室	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑭ 子ども家庭支援センター（練馬、関、光が丘にある子育ての総合相談窓口）	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ
⑮ 区の子育て情報に関するホームページ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ	はい <input type="radio"/> いいえ

10. 育児休業制度の利用についてお伺いします

問23 封筒の宛名のお子さんについて、母親又は父親が育児休業制度を利用なさいましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 母親が利用した | (→ 問23-1、2へ) |
| 2. 父親が利用した | |
| 3. 母親と父親の両方が利用した | |
| 4. その他 () | |

問23-1及び問23-2は、母親又は父親が育児休業を取得されていた方についてお伺いします。

▶問23-1 育児休業から復帰なさったとき、お子さんの月齢は何ヶ月でしたか。枠内に具体的に数字でご記入下さい。(お子さんが1歳以上の場合も月に換算してお答えください。問23で「3.」とお答えになった方は、最後の育児休業利用者が復帰された時についてお答えください。)

子どもは ヶ月だった

問23-2 育児休業明けに、希望する保育サービス(p4の定義参照)をすぐ利用できましたか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 育児休業期間を調整せずに利用できた | (→ 問23-3へ) |
| 2. 育児休業期間を調整したので利用できた | |
| 3. 利用できなかった | (→ 問23-4へ) |
| 4. 希望しなかった | |

▶問23-3 「2. 育児休業期間を調整したので利用できた」を選ばれた方にお伺いします。育児休業明けに希望する保育サービスが確実に利用できたとしたら、育児休業は実際に取得した期間と変わりましたか。あてはまる答えの番号に○をつけ、「2.」及び「3.」を選ばれた方は、枠内に数字でご記入ください。

1. 変わらない 2. 長くした ヶ月 3. 短くした ヶ月

▶問23-4 「3. できなかった」を選ばれた方にお伺いします。どのように対応されましたか。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 希望とは違う認可保育所を利用した | 4. 家族等にみてもらうことで対応した |
| 2. 事業所内の保育サービスを利用した | 5. 仕事を辞めた |
| 3. 上記以外の保育サービスを利用した | |

1 1. 子育てに関する悩みや不安感、職場の配慮、配偶者の育児参加についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問24 あなたは、子育てに関して不安感や負担感などを、どの程度お感じになっていますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. 不安や負担などはまったく感じない |
| 2. なんとなく不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | |

問25 あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子育ての方法がよくわからないこと |
| 4. 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 5. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 6. 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること |
| 7. 子どもが小学校に行きたがらない(行かない)こと |
| 8. 子育てに関して、配偶者・パートナーの協力が少ないこと |
| 9. 子育てに関して、配偶者・パートナーと意見が合わないこと |
| 10. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など、まわりの見目が気になること |
| 11. 配偶者・パートナー以外に、子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 12. 子どもを叱り過ぎているような気がする |
| 13. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと |
| 14. 地域の子育て支援サービスの内容・申し込み方法がよくわからないこと |
| 15. 交通事故に遭わないかどうか心配なこと |
| 16. 不審者などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと |
| 17. その他 () |
| 18. 特にない |

問26 あなたが子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいることは、どのようなことですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------|
| 1. 子育てによる身体の疲れが大きい |
| 2. 子育てで出費がかさむ |
| 3. 自分の自由な時間が持てない |
| 4. 夫婦で楽しむ時間がない |
| 5. 仕事が十分にできない |
| 6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない |
| 7. 子どもの親同士の付き合いが面倒だ |
| 8. 住居が狭い |
| 9. その他 () |
| 10. 特に負担に思うことはない |

就労している方にお伺いします。

→ 就労していない方は、問29へ

問27 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。

(○は主なもの3つまで)

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない
3. 家族の理解・協力が得られない
4. 職場の理解が得られず、休みにくい
5. 子どもの他に面倒をみななければならない人がいる
6. 子どもの面倒をみってくれる学童クラブなどが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. 勤務時間が長い
9. 休暇が少ない
10. 保育料などの出費が多い
11. その他 ()

問28 あなたが仕事と子育てを両立させるために職場に望むことは、どのようなことですか。(○

は主なもの2つまで)

1. 育児休業期間を1年以上に延長する制度
2. 育児休業など現在ある制度を利用しやすい職場の環境づくり
3. 育児休業期間中の賃金保障
4. 企業内の保育施設
5. 短時間勤務やフレックスタイム制度
6. 育児を理由に退職した場合の再雇用制度
7. 在宅勤務制度
8. 仕事や家庭の悩みを相談できる窓口
9. 職場や上司の理解・協力体制
10. その他 ()

すべての方にお伺いします。

問29 あなたの配偶者・パートナーは、育児（おおむね3歳以下）にどのような形で参加していますか（いましたか）。(○はいくつでも)

1. 子どもを入浴させる
2. 子どもの着替えやおむつ交換をする
3. 子どもと一緒に遊ぶ
4. 保育園・幼稚園の送迎をする
5. 食事を作る
6. 食事の後片付けをする
7. 子どもの食事の世話やミルクを飲ませる
8. 子どもを寝かしつける
9. 買い物をする
10. 掃除をする
11. 洗濯をする
12. 相談に乗ってくれる
13. 気遣いをしてくれる
14. 何もしない
15. その他 ()
16. 配偶者・パートナーはいない

(→ 問30へ)

問29-1 配偶者・パートナーの子育てへの参加の仕方に満足していますか（いましたか）。(○は

1つ)

1. 満足している
2. だいたい満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問29-2 あなた自身が配偶者・パートナーに子育てへの参加をして欲しいと思う（思った）ものを挙げてください。（〇はいくつでも）

1. 子どもと一緒に遊ぶ	7. 洗濯をする
2. 通学の送迎をする	8. 相談に乗ってくれる
3. 食事を作る	9. 気遣いをしてくれる
4. 食事の後片付けをする	10. その他
5. 買い物をする	()
6. 掃除をする	11. 特にして欲しいものはない

12. 母子保健、地域医療についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問30 次のそれぞれについて、今のあなたの気持ちに一番あてはまる（あてはまった）ものをお知らせください。（それぞれ〇は1つ）

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①子どもがかわいいと感じる	1	2	3	4
②ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある	1	2	3	4
③子育てに自信が持てないと感じる	1	2	3	4
④ふだんの生活の中でイライラする	1	2	3	4
⑤急に涙もなく泣きたくなる	1	2	3	4
⑥子どもを虐待していると思う	1	2	3	4
⑦眠れないことがある	1	2	3	4
⑧子どもによって自分も成長していると感じる	1	2	3	4
⑨自分の自由な時間が欲しい	1	2	3	4
⑩家計のやりくりが大変である	1	2	3	4
⑪子どもの少しくらいのけがは、運動や精神面の発達に必要である	1	2	3	4

問31 乳幼児健診（4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診）の内容や方法に、満足していますか。（〇は1つ）不満のある方はその内容をご記入ください。

1. 満足している	
2. だいたい満足している	
3. 不満である（具体的に：)

問32 乳幼児健診（4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診）に期待することは、どのようなことですか。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 身体計測の場 | 6. お母さんお父さん同士交流できる場 |
| 2. 病気・異常の早期発見 | 7. 子ども同士が交流できる場 |
| 3. 歯科健診の場 | 8. その他（ ） |
| 4. 栄養相談ができる場 | 9. 特にない |
| 5. 育児相談できる場 | |

問33 宛て名のお子さんのお母さんが妊娠中に、家の中でたばこを吸っている人がいましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|------------|
| 1. 宛て名のお子さんのお母さん | |
| 2. 宛て名のお子さんのお父さん | |
| 3. その他の同居者 | |
| 4. 誰も吸っていない | (→ 問33-2へ) |

問33-1 たばこはどこで吸っていましたか。（問33で2、3を選択した場合）（○は1つ）

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 妊婦と同じ部屋 | 4. ベランダ |
| 2. 妊婦と別室 | 5. 家の中では吸わない |
| 3. 換気扇の下 | 6. その他 |

問33-2 現在、家の中でたばこを吸っている人がいますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|----------|
| 1. 宛名のお子さんのお母さん | |
| 2. 宛名のお子さんのお父さん | |
| 3. その他の同居者 | |
| 4. 誰も吸っていない | (→ 問34へ) |

問33-3 たばこはどこで吸っていましたか。（問33-2で1、2、3を選択した場合）（○は1つ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. お子さんと同じ部屋 | 4. ベランダ |
| 2. お子さんと別室 | 5. 家の中では吸わない |
| 3. 換気扇の下 | 6. その他 |

問34 宛て名のお子さんのお母さんは、妊娠中にお酒を飲んでいましたか。（○は1つ）

- | |
|-------------|
| 1. 飲んでいた |
| 2. やめていた |
| 3. もともと飲まない |

問35 宛て名のお子さんのお母さんは、産後1か月時に次のどれをお子さんに与えていましたか。（○は1つ）

- | |
|--------------|
| 1. 母乳のみ |
| 2. 母乳と人口乳の混合 |
| 3. 人口乳のみ |

問36 (1) 小児科のかかりつけ医を持っていますか。(○は1つ)

また、回答に応じて、(2) かかりつけ医への満足度、(3) かかりつけ医を持っていない理由をお答えください。(それぞれ○は1つ)

<p>1. はい <input type="radio"/></p> <p>(2) かかりつけ医に満足していますか。 (○は1つ)</p> <p>1. 満足している 2. だいたい満足している 3. あまり満足していない 4. 満足していない</p>	<p>2. いいえ <input type="radio"/></p> <p>(3) かかりつけ医を持っていない理由 (○は1つ)</p> <p>1. 小児科ではないが、かかりつけ医はいるから 2. 子どもが丈夫で病気にならないから 3. 近くに適切な病院・医院がないから 4. 必要に応じてかかる病院・医院を決めればよいから 5. かかりつけ医をもつ理由がよくわからないから 6. その他 ()</p>
---	---

問37 (1) 宛名のお子さんは歯科のかかりつけ医を持っていますか。(○は1つ)

<p>1. はい <input type="radio"/></p> <p>(2) かかりつけ歯科医では主にどんな内容のことをしていますか。(○はいくつでも)</p> <p>1. むし歯があるかないかみてもらう 2. フッ素塗布 3. ブラッシング指導</p>	<p>2. いいえ <input type="radio"/></p> <p>4. むし歯の治療 5. 歯の矯正 6. その他 ()</p>
--	---

問38 (1) あなたは、お子さんが休日・夜間に具合が悪くなったとき受診できる小児救急医療機関がありますか。(2) また、それはどこですか。(○はいくつでも、区内か区外を選ぶ)

<p>1. ある <input type="radio"/></p> <p>(2) それはどこですか。(○はいくつでも)</p> <p>1 練馬区夜間救急子どもクリニック、 2 休日急患診療所(練馬、石神井) 3 診療所(医院・クリニック等)(区内 区外) 4 日本大学医学部付属練馬光が丘病院</p>	<p>2. ない <input type="radio"/></p> <p>5 順天堂大学医学部附属練馬病院 6 練馬区外の大学病院 7 国・公立病院 8 上記以外の病院(区内 区外)</p>
---	--

※ 診療所(医院・クリニック等)とは、「19床以下の入院施設があるか、または入院施設がない医療機関」。病院とは、「20床以上の入院施設がある医療機関」のことをいいます。

問39 あなたが、お子さんの休日・夜間の救急医療に一番望むことは何ですか。(○は1つ)

<p>1. かかりつけ医になってもらえる小児科の診療所が欲しい 2. 24時間受診できる救急病院が欲しい 3. 救急病院では必ず小児科医が対応して欲しい 4. 最重症患者まで診られる小児科専門の救急病院が欲しい 5. その他 () 6. 特にない</p>
--

問40 宛て名のお子さんは朝食をとっていますか。宛て名のお子さんが0歳児の場合はお母さんについてお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. ほとんど毎日食べる | (→ 問41へ) |
| 2. 週に2～3日食べない | (→ 問40-1へ) |
| 3. 週に4～5日食べない | (→ 問40-1へ) |
| 4. ほとんど食べない | (→ 問40-1へ) |

問40-1 その理由は何ですか。(〇は主なもの1つ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1. 時間がないから | 3. 食欲がないから |
| 2. 作るのが面倒だから | 4. その他 () |

宛て名のお子さんが1歳以上の方にお聞きします。 → 0歳の方は、問42へ

問41 お子さんに間食を与えていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | (→ 問42へ) |
| 1日に () 回 | | |

問41-1 間食ではどのようなものを与えていますか。(〇はよく食べるもの3つまで)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 菓子パン・ケーキ類 | 7. アイスクリーム・シャーベット類 |
| 2. せんべい類 | 8. 牛乳・乳製品類 |
| 3. スナック類 | 9. ジュース類 |
| 4. キャラメル・アメ類 | 10. 果物類 |
| 5. チョコレート類 | 11. 清涼飲料水類 |
| 6. ガム類 | 12. その他 () |

問42 宛て名のお子さんの事故防止対策を実施していますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. はい | 2. いいえ | (→ 問43へ) |
|-------|--------|----------|

問42-1 どのような事故防止対策を実施していますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1. 子どもを1人で家や車に残さない |
| 2. 自動車に乗るときは、チャイルドシートを後部座席に取り付けて乗せている |
| 3. 浴槽に水をためたままにしない。又は、子どもがひとりで浴室に入れないようにドアに鍵をかけている |
| 4. 医薬品、化粧品、洗剤などは子どもの手の届かないところに置く |
| 5. タバコや灰皿はいつも手の届かないところに置く |
| 6. ピーナッツやあめ玉などは手の届かないところに置く |
| 7. ストーブやヒーターなどには安全柵で囲い、子どもが直接触れないようにしている |
| 8. ポットや炊飯器は子どもの手の届かないところに置く |
| 9. お箸や歯ブラシなどをくわえたまま歩いたり、走らせない |
| 10. ベビー用品やおもちゃを購入するとき、デザインよりも安全性を重視している |
| 11. ベランダや窓のそばに踏み台となるものを置かない |
| 12. 階段に転落防止用の柵を取り付けている |
| 13. すべり台やブランコの安全な乗り方を教えている |
| 14. その他 () |

13. 子育てに関する情報、相談、子育てに関する自主的な活動への参加についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問43 あなたは子育てに関する情報を、どこから入手していますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 親族(親・兄弟姉妹など) | 8. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 2. 隣近所の人、地域の知人、友人 | 9. 本(子育て雑誌・育児書)など |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 10. インターネット |
| 4. 保育園、幼稚園、学校 | 11. 地域情報誌(コミュニティー誌) |
| 5. 児童館、学童クラブ、地区区民館、
厚生文化会館など | 12. その他() |
| 6. 保健所、保健相談所 | 13. 情報の入手先がない |
| 7. 区の広報やパンフレット | 14. 情報の入手手段がわからない |

問44 あなたが身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 12. 総合福祉事務所の母子自立支援員 |
| 2. その他の親族(親、兄弟姉妹など) | 13. 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 | 14. 総合教育センターの教育相談室 |
| 4. 職場の人 | 15. 保健所、保健相談所 |
| 5. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間 | 16. 児童相談所(東京都児童相談センター) |
| 6. 子育てサークルの仲間 | 17. 民間の電話相談 |
| 7. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生 | 18. ベビーシッター |
| 8. かかりつけ医など | 19. インターネットの子育てサイト |
| 9. 子ども家庭支援センター | 20. その他() |
| 10. 児童館、学童クラブ、地区区民館 | 21. 相談相手がいない |
| 11. 子育てのひろば「びよびよ」、「にこにこ」など | 22. 相談すべきことはない |

問45 あなたは子育てに関するサークルなど、自主的な活動に参加していますか。(〇は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 現在参加している |
| 2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい |
| 3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない |
- (→ 問46へ)

問45-1 自主的な活動を進めていくうえで、行政に行って欲しい支援はどのようなことですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 区からの情報提供 | 4. 活動時間中の保育サービス |
| 2. 活動場所の提供(場所貸しなど) | 5. 活動資金助成 |
| 3. 情報発信やPRなどに関する支援(掲示板の開放など) | 6. その他() |

次のページにも質問がございます

14. 公園等の屋外の遊び場、外出の際困ることについてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問46 あなたは家の近くの子どもの屋外の遊び場について、日頃感じていることがありますか。
(○は主なもの3つまで)

1. 近くに遊び場がない
2. 雨の日に遊べる場所がない
3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない
4. 遊具などの種類が充実していない
5. 不衛生である
6. いつも閑散としていて寂しい感じがする
7. 遊具などの設備が古くて危険である
8. 緑などの自然が少ない
9. 遊び場やその周辺の環境が防犯上よくない
10. 遊び場やその周辺の道路が交通安全上よくない
11. 遊び場に行っても、子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない
12. 遊び場に行っても、遊び仲間に入りにくい
13. その他 ()
14. 特に感じることはない

問47 あなたはお子さんとの外出の際、困ると感じたことや困ったと感じたことはありますか。
(○は主なもの3つまで)

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全に心配があること
2. 歩道の段差などが、ベビーカーや自転車の通行の妨げになっていること
3. 交通機関や建物がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. 歩道も自転車が通るなど、安心して歩けないこと
5. 歩道の勾配や舗装材によっては、ベビーカーや小さな子どもにとって安心して歩けないこと
6. トイレがオムツ替えや親子での利用に配慮されていないこと
7. 授乳する場所や必要な設備がないこと
8. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
9. 買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
10. 緑や広い歩道が少ない等、町並みにゆとりや潤いがないこと
11. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪被害に合わないか心配であること
12. 周囲の人が子ども連れを迷惑そうに見ること
13. 荷物や子どもに手を取られて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
14. その他 ()
15. 特に困ること、困ったことはない

問5 1 あなたは親と子が健やかに育ち合うようにするために、子育て支援施策に対して、行政としてどこに力を入れていくといいと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を作って欲しい
4. 保育園を増やしたり、利用できる日数及び時間帯を拡充して欲しい
5. 幼稚園を増やしたり、利用できる日数及び時間帯を拡充して欲しい
6. 時々でよいので幼稚園で、就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かって欲しい
7. 保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 学童クラブを増やしたり、利用できる日数及び時間帯を拡充して欲しい
9. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを養成して欲しい
10. 安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備して欲しい
11. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい
12. 残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい
13. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
14. 交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化して欲しい
15. 不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい
16. その他 ()

問5 2 最後に、これからの保育施策や児童育成施策等に関して、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました
返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。

練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査

(就学児童の保護者用)

日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、区では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「練馬区次世代育成支援行動計画（平成17年度～21年度）」（前期5か年計画）を策定し、子育て支援のためのさまざまな事業を実施して70万区民の皆様のご要望に応えるよう努めております。

このたび、「練馬区次世代育成支援行動計画（平成22年度～26年度）」（後期5か年計画）を策定するにあたり、区民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握し、「行動計画」に反映するために、「練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査をお願いする方は、区内に在住する小学生児童のいる保護者の方です。区内小学校から10校を選び、各学年1クラスずつ6クラスの児童の保護者の方で、今回あなたにアンケートへのご協力をお願いすることとなりました。この調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を行っていくための施策立案の重要な基礎資料となりますので、ご多忙の折とは存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。ご回答を心からお待ちいたしております。

なお、ご回答はすべて無記名です。また、調査結果は統計として集計し、計画の策定のためだけに使用いたします。したがって、個人名が公表されるなど、ご協力いただくことによりご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご協力のほど、よろしく願いいたします。

平成21年1月
練馬区長 志村 豊志郎

1. この調査票では、**宛て名の保護者の方を「あなた」とします。ご本人がお答えください。**
2. 次ページから順にご記入ください。途中回答により、次に答える問を案内していますので、それに従ってください。
3. ご記入に際して：
 - (1) 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。
 - (2) 時刻の欄は、24時間制（例：「午後4時」は「16時」）でご記入ください。
 - (3) 質問により回答が「1つ」、「いくつでも」など、○の数は質問ごとに指示されています。
 - (4) ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。
 - (5) お名前やご住所を記入する必要はありません。
4. ご記入いただきました調査票は、**2月9日（月曜日）**までに、調査票が入っていた封筒に入れ、封をしたうえで、**学校経由で提出**してください。
5. ご記入方法などについて、わからないことがございましたら、下記にお問い合わせください。

練馬区 健康福祉事業本部 児童青少年部 計画調整担当課
電話：03-5984-4687（直通）
担当： 計画調整主査 齋藤・佐藤

1. 封筒のあて名のお子さんご家族の状況についてお伺いします

問1 封筒のあて名のお子さんの生年月をお伺いします。

平成（ ）年（ ）月 生まれ

問2 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（平成20年4月1日現在の年齢）をご記入下さい。

（ ）人 末子の年齢（ ）歳

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についてお伺いします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|----------------|---------|
| 1. 父母同居 | 5. 祖母同居 |
| 2. 父同居(ひとり親家庭) | 6. 祖父近居 |
| 3. 母同居(ひとり親家庭) | 7. 祖母近居 |
| 4. 祖父同居 | 8. その他 |

問4 日頃、お子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- 1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
- 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
- 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
- 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
- 5. いずれもない

問4-1は、問4で「1.」または「2.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-1 祖父母に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- 1. 祖父母が孫を預かることについては、特に問題はない
- 2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
- 3. 祖父母の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. その他

問4-2は、問4で「3.」または「4.」を選ばれた方にお伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、お伺いします。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

- 1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
- 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
- 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 5. その他

問8-1及び問8-2は、問8で「1.有（すぐにでも若しくは1年以内に希望がある）」、「2.有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

▶問8-1 就労希望の形態はどのようなものですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。（パート、アルバイトを希望の方は1週当たり日数及び1日当たり時間も記入してください。）

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労（1週当たり〔 〕日・1日当たり〔 〕時間）

問8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近い答えの番号に1つだけ○をつけてください。

1. 学童クラブなどのサービスが利用できれば就労したい
2. 働きながら子育てできる適当な仕事がない
3. 自分の知識、能力にあう仕事がない
4. 家族の考え方（親族の理解が得られない）等就労する環境が整っていない
5. 子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したい
6. その他（ ）

問8-3は、問8で「2.有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方にお伺いします。

問8-3 宛名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

歳になったとき

3. 学童クラブの利用についてお伺いします

問9 宛名のお子さんについて、現在、学童クラブを利用していますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

【学童クラブ…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下で、子ども（おおむね10歳未満）の生活の場を提供するものです。問9-5の「学校応援団の児童放課後等居場所づくり（ひろば）事業」と連携して実施されている場合があります。】

1. 利用している (→ 問9-1へ)
2. 利用していない (→ 問9-2、3へ)

▶問9-1 上記の問で「1. 利用している」を選ばれた方にお伺いします。宛名のお子さんについて、学童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用していらっしゃる理由について、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

次頁へ

週 日くらい → うち土・日の利用 1. ある
2. ない

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. 家族・親族などを介護しなければならない
4. 病気や障害を持っている
5. 学生である
6. その他（ ）

問9で「2. 利用していない」を選ばれた方にお伺いします。

問9-2 利用していない理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労していないから
2. 就労しているが、学童クラブを知らなかったから
3. 就労しているが、近くに学童クラブがないから
4. 就労しているが、学童クラブに空きがないから
5. 就労しているが、学童クラブの開所時間が短いから
6. 就労しているが、利用料がかかるから
7. 就労しているが、子どもは放課後の習い事をしているから
8. 就労しているが、放課後の短時間ならば、子どもだけでも大丈夫だと思うから
9. 就労しているが、他の施設に預けているから
10. その他 ()

問9-3 宛名のお子さんについて、今後、学童クラブを利用したいとお考えですか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

- | | | | | | |
|-------------|---|----------------------|------|------------|-------|
| 1. 利用したい | 週 | <input type="text"/> | 日くらい | うち土・日の利用希望 | 1. ある |
| 2. 今後も利用しない | | | | | 2. ない |

問9-4 今後、学童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

1. 現在就労している
2. 就労予定がある／求職中である
3. そのうち就労したいと考えている
4. 家族・親族などを介護しなければならない
5. 病気や障害を持っている
6. 学生である／就学したい
7. 就労していないが、子どもの教育などのために預けたい
8. その他 ()

すべての方にお伺いします。

問9-5 地域によっては、学童クラブと連携して行うサービスとして、学校応援団(*)が運営する「児童放課後等居場所づくり(ひろば)事業(*)」がありますが、その利用意向はありますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。(*)の説明は次頁

- | | | |
|---------------|----------|---------------|
| 1. 意向がある | 2. 意向がない | 3. 対象のサービスがない |
| 1. 週1回くらい | | |
| 2. 週2回くらい | | |
| 3. 週3回くらい | | |
| 4. 週4回くらい | | |
| 5. 週5回くらい(毎日) | | |
| 6. ほとんど参加させない | | |
| (→ 問9-6へ) | | |
- 問9-6
理由をお聞かせください。(○は1つ)
1. 学童クラブに入っているため
 2. 塾や習い事、スポーツクラブ等に通っているため
 3. その他 ()

(*) この調査において「児童放課後等居場所づくり（ひろば）事業」とは、すべての子どもを対象に、遊び場の確保や異年齢児の交流等を目的として、区立小学校の校庭や図書室、体育館などを使って、放課後の安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域人材の知識やパワーを活かした企画・運営をするものです。また、「学校応援団」とは、小学校の児童や地域のために、学校設備を有効活用することを目的として、区立小学校に地域の方々の参画を得て設立していく地域主導の組織で、平成22年度中に全小学校に設置する予定です。

問10 宛名のお子さんについてお伺いします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまる答えの番号に○をつけてください。

1. 学童クラブを利用したい
(1. を選ばれた方 → 小学 年生まで利用したい)
2. 学校応援団の児童放課後等居場所づくり（ひろば）事業を利用したい
3. クラブ活動など習い事をさせたい
4. 利用を希望するサービスは特にない
5. その他 ()

4. 宛名のお子さんの病児・病後児の対応についてお伺いします

問11 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

1. あった (→ 問11-1、2へ)
2. なかった (→ 問12へ)

この1年間の、お子さんが病気やケガで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法と、仕事を休んだ日数はどれくらいありましたか。父親、母親等それぞれについてお答えください。

問11-1 この1年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。
(半日程度についても1日としてカウントしてください)

1. 父親が休んだ	<input type="text"/>	日
2. 母親が休んだ	<input type="text"/>	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に預けた	<input type="text"/>	日
4. 就労していない保護者がみた	<input type="text"/>	日
5. 病児・病後児の保育サービスを利用した (保育所で実施しているサービスを含む)	<input type="text"/>	日
6. ベビーシッターを頼んだ	<input type="text"/>	日
7. ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業を利用した	<input type="text"/>	日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/>	日
9. その他 ()	<input type="text"/>	日

問 1 1 - 2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方に伺います。その際、できれば施設に預けたいと思われた日数はどれくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

できれば施設に預けたい 日

5. すべての方に、宛名のお子さんの一時預かりのことについてお伺いします

問 1 2 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や子どもの親の病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日としてカウントしてください）

1. ある → 年間 日
 (理由別)
 ① 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 日
 ② 冠婚葬祭、子どもの親の病気 日
 ③ 就労 日
 2. ない

問 1 3 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思えますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい利用したい

6. すべての方に、宛名のお子さんの宿泊を伴う一時預かりのことについてお伺いします

問 1 4 この1年間に、保護者の用事などにより、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

1. あった（預け先が見つからなかった場合を含む） (→ 問 1 4 - 1、2へ)
 2. なかった (→ 問 1 5へ)

問 1 4 - 1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

問 1 4 - 2 その場合の困難度はどの程度でしたか。
 (あてはまる答えの番号1つに○をつけてください。)

1. (同居者を含む) 親族・知人 に預けた 泊

1. 非常に困難 2. どちらかという困難 3. 特に困難ではない

2. 保育サービス（ショートステイ事業を実施している施設、認可外保育施設、ベビーシッターなど）を利用した 泊

3. 仕方なく子どもも同行させた 泊

4. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 泊

5. その他 () 泊

7. ベビーシッターを利用している方にお伺いします

問15 ベビーシッターを利用していますか。

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 利用している | (→ 問15-1、2へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問16へ) |

問15-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用している |
| 2. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している |
| 3. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している |
| 4. その他の目的で利用している |

問15-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

問15で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問16 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい利用したい

8. すべての方に、ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業の利用についてお伺いします

問17 ファミリーサポートセンター（育児支えあい）事業を利用していますか。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 利用している | (→ 問17-1、2、3へ) |
| 2. 利用していない | (→ 問17-4へ) |

問17-1 どのような目的で利用していらっしゃいますか。あてはまる番号すべてに○をおつけください。

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 主たる保育サービスとして利用している |
| 2. 保育施設等の利用で足りない時間を補う目的で利用している（朝・夕等） |
| 3. 子どもの病気・ケガ等の時に利用している |
| 4. 祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用している |
| 5. 親の冠婚葬祭等や買い物等の外出の際に利用している |
| 6. 保育施設等の送り迎えに利用している |
| 7. その他の目的で利用している |

問17-2 どれくらいの頻度で利用していらっしゃいますか。枠内に数字をご記入ください。

月に 日くらい 1回あたり 時間程度

問17-3 利用日数・回数を増やしたいと思いませんか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

月に	<input type="text"/>	時間くらい増やしたい
----	----------------------	------------

問17で「2. 利用していない」を選んだ方にお伺いします。

問17-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

月に	<input type="text"/>	時間くらい利用したい
----	----------------------	------------

9. 子どもの居場所についてお伺いします

問18 この前の金曜日の放課後、調査対象のお子さんは、どのように過ごしていましたか。下記の選択肢のうちから時間帯ごとに主な過ごし方の番号を記入してください。

(時間帯ごとに数字を1つ選んで記入)

時間帯	13時-14時	14時-15時	15時-16時	16時-17時	17時-18時	18時-19時	19時-20時
回答欄							
選択肢	1. 学校開放、児童放課後等居場所づくり事業、学校のクラブ活動に参加した 2. 学童クラブにいた 3. 塾や習いごと、スポーツクラブに行った 4. 児童館や図書館などの地域の施設にいた 5. 保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした 6. 同居していない祖父母や知人等の大人といた 7. 子どもたちだけで自宅で過ごした 8. 友だちの家に行った 9. 自宅で一人で過ごした 10. 就寝していた 11. その他 ()						

問19 この前の土曜日、調査対象のお子さんは、どのように過ごしていましたか。下記の選択肢のうちから時間帯ごとに主な過ごし方の番号を記入してください。(時間帯ごとに数字を1つ選んで記入)

時間帯	8時-9時	9時-10時	10時-11時	11時-12時	12時-13時	13時-14時	14時-15時	15時-16時	16時-17時	17時-18時	18時-19時	19時-20時
回答欄												
選択肢	1. 学校開放、学校のクラブ活動に参加した 2. 学童クラブにいた 3. 塾や習いごと、スポーツクラブに行った 4. 児童館や図書館などの地域の施設にいた 5. ねりま遊遊スクールに参加した 6. 保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした 7. 同居していない祖父母や知人等の大人といた 8. 子どもたちだけで自宅で過ごした 9. 友だちの家に行った 10. 自宅で一人で過ごした 11. 就寝していた 12. その他 ()											

次のページにも質問がございます

問20 この前の日曜日、調査対象のお子さんは、どのように過ごしていましたか。下記の選択肢のうちから時間帯ごとに主な過ごし方の番号を記入してください。

(時間帯ごとに数字を1つ選んで記入)

時間帯	8時 -9時	9時 -10時	10時 -11時	11時 -12時	12時 -13時	13時 -14時	14時 -15時	15時 -16時	16時 -17時	17時 -18時	18時 -19時	19時 -20時
解答欄												
選択肢	1. クラブ活動、学校開放などで学校にいた 2. 塾や習いごと、スポーツクラブに行った 3. 児童館や図書館などの地域の施設にいた 4. ねりま遊遊スクールに参加した 5. 保護者や祖父母等の同居している家族と過ごした						6. 同居していない祖父母や知人等の大人といた 7. 子どもたちだけで自宅で過ごした 8. 友だちの家に行った 9. 自宅で一人で過ごした 10. 就寝していた 11. その他 ()					

問21 あなたは、身近な地域で子ども同士が交流等を行うことができる場として、どのようなものがあれば望ましいとお考えですか。(〇はいくつでも)

1. 子どもに遊びを教えたり、しつけをしたりしてくれる場
2. 子どもが放課後などに集まって、子ども同士で自主活動などができる場
3. 子どもが土曜日や日曜日・祝日に活動ができたり遊んだりできる場
4. 子ども自身が悩みを相談できる場
5. その他 ()

問22 調査対象のお子さんは、地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 参加したことがある 2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている | <ol style="list-style-type: none"> 3. 参加したことがなく、今後も参加する予定はない (→ 問23へ) |
|---|--|

問22-1 どんな活動ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ活動 2. 文化・音楽活動 3. キャンプ等の野外活動 4. 高齢者訪問等の社会福祉活動 5. ホームステイ等の国際交流活動 | <ol style="list-style-type: none"> 6. 子ども会等青少年団体活動 7. リサイクル活動等の環境分野での社会貢献活動 8. その他 () |
|---|---|

10. 児童館についてお伺いします

問23 区内には、児童館が17館、児童館の機能を有する地区区民館が22館、厚生文化会館が1館あります。これらの施設に対して、あなたはどのように感じていますか。(〇はいくつでも)

1. 利用時間(午前9時～午後5時)を見直して欲しい(具体的に:)
2. 日曜日・祝日も開いて欲しい
3. 施設・設備を改善して欲しい
4. 事業の内容を工夫して欲しい
5. 幼児親子のつどいの場の拡大や、子育てサークルへの支援を充実して欲しい
6. 中高生を対象とした取り組みを充実して欲しい
7. 施設内だけの事業ではなく、施設を拠点とした地域活動を強化して欲しい
8. その他()
9. 現在のままでよい
10. そういった施設を知らない

※児童館：児童館には図書室、工作室、遊戯室などがあり、幼児や小・中学生の室内遊び場となっています。遊びの指導や各種の催しものを行っています。また、幼児とその保育者に絵本の読み聞かせやリズム体操などを行っているほか、子育ての講習会・講演会なども開催しています。

11. 子育て支援サービスの認知度・利用度についてお伺いします

問24 下記のサービスを知っていたり、これまでに利用したことはありますか。また、今後、利用したいと思いませんか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のどちらかに〇をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
記入例	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
① 区が主催する母親学級、両親学級、育児教室(離乳食講習会や育児に関する講演会)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
② 母性健康管理指導事項連絡カード	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
③ 保健相談所のこにちは赤ちゃん(生後4か月までの全戸訪問)事業	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
④ 保健所、保健相談所の情報・相談サービス	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑤ 家庭教育に関する学級・講座(子育て学習講座、ねりま遊遊スクールなど)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑥ 総合教育センターの情報・相談サービス	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑦ 幼稚園の未就園児保育(3歳未満の幼児と保護者どうしが幼稚園で交流するもの)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑧ 幼稚園の預り保育(幼稚園教育の時間の前後や夏休みなどに預かるもの)	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	<input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
⑨ 保育園や幼稚園の園庭等の開放、ふれあい給食、地域交流	<input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> はい	<input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/> いいえ

続き	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
⑩ 子育てのひろば「ぴよぴよ」、「にこにこ」	いいえ はい	いいえ はい	いいえ いいえ
⑪ 一時保育（現在は東大泉第三保育園、大泉にじのいる保育園などで実施）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫ 病後児保育（現在は練馬区医師会病後児保育センターぱるむなどで実施）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬ 児童館、学童クラブ、地区区民館・厚生文化会館の児童室	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭ 子ども家庭支援センター（練馬、関、光が丘にある子育ての総合相談窓口）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮ 区の子育て情報に関するホームページ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

12. 子育てに関する悩みや不安感、職場の配慮、配偶者の育児参加についてお伺いします

すべての方にお伺いします

問25 あなたは子育てに関して不安感や負担などをどの程度お感じになっていますか。（○は1つ）

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 非常に不安や負担を感じる | 4. 不安や負担などはまったく感じない |
| 2. なんとなく不安や負担を感じる | 5. なんともいえない |
| 3. あまり不安や負担などは感じない | |

問26 あなたが子どものことで心配に感じていること、気になっていることは、どのようなことですか。（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1. 病気や発育・発達に関すること |
| 2. 食事や栄養に関すること |
| 3. 子育ての方法がよくわからないこと |
| 4. 子どもとの時間を十分にとれないこと |
| 5. 話し相手や相談相手がいないこと |
| 6. 友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること |
| 7. 子どもが小学校に行きたがらない（行かない）こと |
| 8. 子育てに関して、配偶者・パートナーの協力が少ないこと |
| 9. 子育てに関して、配偶者・パートナーと意見が合わないこと |
| 10. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など、まわりの見目が気になること |
| 11. 配偶者・パートナー以外に、子育てを手伝ってくれる人がいないこと |
| 12. 子どもを叱り過ぎているような気がする |
| 13. 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかったりしてしまうこと |
| 14. 地域の子育て支援サービスの内容・申し込み方法がよくわからないこと |
| 15. 交通事故に遭わないかどうか心配なこと |
| 16. 不審者などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと |
| 17. その他（) |
| 18. 特にない |

問27 あなたが子育てをするうえで特に負担を感じていること、悩んでいることは、どのようなことですか。(〇はいくつでも)

1. 子育てによる身体の疲れが大きい
2. 子育てで出費がかさむ
3. 自分の自由な時間が持てない
4. 夫婦で楽しむ時間がない
5. 仕事が十分にできない
6. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
7. 子どもの親同士の付き合いが面倒だ
8. 住居が狭い
9. その他 ()
10. 特に負担に思うことはない

就労している方にお伺いします。 → 就労していない方は、問30へ

問28 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じることは、どのようなことですか。(〇は主なもの3つまで)

1. 急な残業が入ってしまう
2. 自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない
3. 家族の理解・協力が得られない
4. 職場の理解が得られず、休みにくい
5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる
6. 子どもの面倒をみてくれる学童クラブなどが見つからない
7. 子どもと接する時間が少ない
8. 勤務時間が長い
9. 休暇が少ない
10. 保育料などの出費が多い
11. その他 ()

問29 あなたが仕事と子育てを両立させるために職場に望むことは、どのようなことですか。(〇は主なもの2つまで)

1. 育児休業期間を1年以上に延長する制度
2. 育児休業期間中の賃金保障
3. 企業内の保育施設
4. 短時間勤務やフレックスタイム制度
5. 育児を理由に退職した場合の再雇用制度
6. 在宅勤務制度
7. 仕事や家庭の悩みを相談できる窓口
8. 職場や上司の理解・協力体制
9. その他 ()

すべての方にお伺いします。

問30 あなたの配偶者・パートナーは、子育て(おおむね3歳以下)にどのような形で参加していますか(いましたか)。(〇はいくつでも)

1. 子どもを入浴させる
2. 子どもの着替えやおむつ交換をする
3. 子どもと一緒に遊ぶ
4. 保育園・幼稚園の送迎をする
5. 食事を作る
6. 食事の後片付けをする
7. 子どもの食事の世話やミルクを飲ませる
8. 子どもを寝かしつける
9. 買い物をする
10. 掃除をする
11. 洗濯をする
12. 相談に乗ってくれる
13. 気遣いをしてくれる
14. 何もしない
15. その他 ()
16. 配偶者・パートナーはいない (←問31へ)

問30-1 配偶者・パートナーの子育てへの参加の仕方に満足していますか（いましたか）。

（○は1つ）

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 満足している | 3. あまり満足していない |
| 2. だいたい満足している | 4. 満足していない |

問30-2 あなた自身が配偶者・パートナーに子育てへの参加をして欲しいと思う（思った）ものを挙げてください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 子どもと一緒に遊ぶ | 7. 洗濯をする |
| 2. 通学の送迎をする | 8. 相談に乗ってくれる |
| 3. 食事を作る | 9. 気遣いをしてくれる |
| 4. 食事の後片付けをする | 10. その他 |
| 5. 買い物をする | () |
| 6. 掃除をする | 11. 特にして欲しいものはない |

13. 母子保健、地域医療についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問31 次のそれぞれについて、今のあなたの気持ちに一番あてはまる（あてはまった）ものをお知らせください。（それぞれ○は1つ）

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①子どもがかわいいと感じる	1	2	3	4
②ゆったりした気分で子どもと過ごせる時間がある	1	2	3	4
③子育てに自信が持てないと感じる	1	2	3	4
④ふだんの生活の中でイライラする	1	2	3	4
⑤急に涙もなく泣きなくなる	1	2	3	4
⑥子どもを虐待していると思う	1	2	3	4
⑦眠れないことがある	1	2	3	4
⑧子どもによって自分も成長していると感じる	1	2	3	4
⑨自分の自由な時間が欲しい	1	2	3	4
⑩家計のやりくりが大変である	1	2	3	4
⑪子どもの少くらのけがは、運動や精神面の発達に必要である	1	2	3	4

問32 (1) 小児科のかかりつけ医を持っていますか。(○は1つ)

また、回答に応じて、(2) かかりつけ医への満足度、 (3) かかりつけ医を持っていない理由 をお答えください。(それぞれ○は1つ)

1. はい <input type="radio"/>	2. いいえ <input type="radio"/>
(2) かかりつけ医に満足していますか。 (○は1つ)	(3) かかりつけ医を持っていない理由 (○は1つ)
1. 満足している	1. 小児科ではないが、かかりつけ医はいるから
2. だいたい満足している	2. 子どもが丈夫で病気にならないから
3. あまり満足していない	3. 近くに適切な病院・医院がないから
4. 満足していない	4. 必要に応じてかかる病院・医院を決めればよいから
	5. かかりつけ医をもつ理由がよくわからないから
	6. その他 ()

問33 (1) 宛名のお子さんは歯科のかかりつけ医を持っていますか。(○は1つ)

1. はい <input type="radio"/>	2. いいえ <input type="radio"/>
(2) かかりつけ歯科医では主にどんな内容のことをしていますか。(○はいくつでも)	
1. むし歯があるかないかみてもらう	4. むし歯の治療
2. フッ素塗布	5. 歯の矯正
3. ブラッシング指導	6. その他 ()

問34 (1) あなたは、お子さんが休日・夜間に具合が悪くなったとき受診できる小児救急医療機関がありますか。(2) また、それはどこですか。(○はいくつでも、区内・区外を選ぶ)

1. ある <input type="radio"/>	2. ない <input type="radio"/>
(2) それはどこですか。(○はいくつでも)	
1 練馬区夜間救急子どもクリニック、	5 順天堂大学医学部附属練馬病院
2 休日急患診療所(練馬、石神井)	6 練馬区外の大学病院
3 診療所(医院・クリニック等)(区内 区外)	7 国・公立病院
4 日本大学医学部付属練馬光が丘病院	8 上記以外の病院(区内 区外)
※ 診療所(医院・クリニック等)とは、「19床以下の入院施設があるか、または入院施設がない医療機関」。病院とは、「20床以上の入院施設がある医療機関」のことをいいます。	

問35 あなたが、お子さんの休日・夜間の救急医療に一番望むことは何ですか。(○は1つ)

1. かかりつけ医になってもらえる小児科の診療所が欲しい
2. 24時間受診できる救急病院が欲しい
3. 救急病院では必ず小児科医が対応して欲しい
4. 最重症患者まで診られる小児科専門の救急病院が欲しい
5. その他 ()
6. 特にない

問36 宛て名のお子さんは朝食をとっていますか。(○は1つ)

1. ほとんど毎日食べる	(→ 問37へ)
2. 週に2~3日食べない	(→ 問36-1へ)
3. 週に4~5日食べない	(→ 問36-1へ)
4. ほとんど食べない	(→ 問36-1へ)

問36-1 その理由は何ですか。(○は主なもの1つ)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 食べる時間がないから | 4. 子どもがやせようとして食べないから |
| 2. 用意していないから | 5. 食べなくても注意しないから |
| 3. 子どもの食欲がないから | 6. その他 () |

問37 お子さんに間食を与えていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------|--------|----------|
| 1. はい
1日に () 回 | 2. いいえ | (→ 問38へ) |
|--------------------|--------|----------|

問37-1 間食ではどのようなものを与えていますか。(○はよく食べるもの3つまで)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 菓子パン・ケーキ類 | 7. アイスクリーム・シャーベット類 |
| 2. せんべい類 | 8. 牛乳・乳製品類 |
| 3. スナック類 | 9. ジュース類 |
| 4. キャラメル・アメ類 | 10. 果物類 |
| 5. チョコレート類 | 11. 清涼飲料水類 |
| 6. ガム類 | 12. その他 () |

問38 家の中でたばこを吸っている人がいますか。(○はいくつでも)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. お子さんのお母さん | (→ 問39へ) |
| 2. お子さんのお父さん | |
| 3. その他の同居者 | |
| 4. 誰も吸っていない | |

問38-1 たばこはどこで吸っていますか。(問38で1. 2. 3を選択した場合)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. お子さんと同じ部屋 | 4. ベランダ |
| 2. お子さんとは別室 | 5. 家の中では吸わない |
| 3. 換気扇の下 | 6. その他 |

14. 子育てに関する情報、相談、子育てに関する自主的な活動への参加についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問39 あなたは子育てに関する情報を、どこから入手していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 1. 親族(親・兄弟姉妹など) | 8. テレビ、ラジオ、新聞 |
| 2. 隣近所の人、地域の知人、友人 | 9. 本(子育て雑誌・育児書)など |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 10. インターネット |
| 4. 保育園、幼稚園、学校 | 11. 地域情報誌(コミュニティー誌) |
| 5. 児童館、学童クラブ、地区区民館、
厚生文化会館など | 12. その他 () |
| 6. 保健所、保健相談所 | 13. 情報の入手先がない |
| 7. 区の広報やパンフレット | 14. 情報の入手手段がわからない |

問40 あなたが身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談できるのは誰ですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------|------------------------|
| 1. 配偶者・パートナー | 12. 総合福祉事務所の母子自立支援員 |
| 2. その他の親族(親、兄弟姉妹など) | 13. 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 3. 隣近所の人、地域の知人、友人 | 14. 総合教育センターの教育相談室 |
| 4. 職場の人 | 15. 保健所、保健相談所 |
| 5. 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間 | 16. 児童相談所(東京都児童相談センター) |
| 6. 子育てサークルの仲間 | 17. 民間の電話相談 |
| 7. 保育士、幼稚園の先生、学校の先生 | 18. ベビーシッター |
| 8. かかりつけ医など | 19. インターネットの子育てサイト |
| 9. 子ども家庭支援センター | 20. その他() |
| 10. 児童館、学童クラブ、地区区民館 | 21. 相談相手がいない |
| 11. 子育てのひろば「ぴよぴよ」、
「にこにこ」など | 22. 相談すべきことはない |

問41 あなたは子育てに関するサークルなど、自主的な活動に参加していますか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1. 現在参加している |
| 2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい |
| 3. 現在は参加しておらず、今後も参加するつもりはない |

(→ 問42へ)

問41-1 自主的な活動を進めていくうえで、行政に行って欲しい支援はどのようなことですか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|-----------------|
| 1. 区からの情報提供 | 4. 活動時間中の保育サービス |
| 2. 活動場所の提供(場所貸しなど) | 5. 活動資金助成 |
| 3. 情報発信やPRなどに関する支援(掲示板の開放など) | 6. その他() |

15. 公園等の屋外の遊び場、外出の際困ることについてお伺いします

すべての方にお伺いします

問42 あなたは家の近くの子どもの屋外の遊び場について、日頃感じていることがありますか。

(○は主なもの3つまで)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 近くに遊び場がない |
| 2. 雨の日に遊べる場所がない |
| 3. 思い切り遊ぶために十分な広さがない |
| 4. 遊具などの種類が充実していない |
| 5. 不衛生である |
| 6. いつも閑散としていて寂しい感じがする |
| 7. 遊具などの設備が古くて危険である |
| 8. 緑などの自然が少ない |
| 9. 遊び場やその周辺の環境が防犯上よくない |
| 10. 遊び場やその周辺の道路が交通安全上よくない |
| 11. 遊び場に行っても、子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がいない |
| 12. 遊び場に行っても、遊び仲間に入りにくい |
| 13. その他() |
| 14. 特に感じることはない |

16. 安全、防犯対策についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問43 あなたは、通学路の安全について気になることがありますか。(〇はいくつでも)

1. 交通事故
2. 不審者
3. 犯罪に巻き込まれること
4. その他 ()
5. 特に気になることはない

問44 あなたは、緊急避難場所に関して、今後何が必要だとお考えですか。(〇はいくつでも)

1. 設置目的、利用方法の周知
2. 設置場所の情報提供
3. プレートやステッカーの配布
4. その他 ()

※緊急避難場所：区の各地域には独自の取り組みで子どもが犯罪に巻き込まれそうになったときのかけこみ場所として、「ひまわり110番」、「こども110番」などの名称で緊急避難場所が設置されています。区では表示図柄を統一した「ひまわり110番」のプレートやステッカーを配布しています。

問45 あなたは、携帯電話やインターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取組みとして何が必要だとお考えですか。(〇はいくつでも)

1. 携帯電話、インターネットの正しい利用方法の周知
2. フィルタリング付加の徹底
3. 情報モラル教育講座など啓発講習会の開催
4. 携帯電話、インターネットによる被害についての身近な相談機関
5. その他 ()
6. 特に何も必要ない



問46 あなたは、子どもの防犯に関して、今後何が必要だとお考えですか。(〇はいくつでも)

1. 子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす
2. 防犯に関する知識の周知
3. 防犯のためのグッズや対応の仕方の周知
4. 防犯パトロールの強化
5. その他 ()

問47 子どもの安全を確保するために、あなたがボランティアとして協力していただけることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 散歩のときなどに、近隣のパトロールをする
2. 自分の家に人感センサー付きライトを取り付ける
3. 「ひまわり110番」、「こども110番」などのプレートやステッカーを設置し、緊急避難場所になる
4. 子どもの健全育成のために、地域の行事に参加する
5. その他 ()
6. ボランティアとして協力するつもりはない

問48 (1) あなたは、子どもの安全を確保するために、設立した学校応援団（※問24参照）が、登下校時の交通安全誘導や通学路でのあいさつなどの声かけを、地域のボランティアパワーによって実施していくことについてどうお考えになりますか。（○は1つ）

1. 賛成 2. どちらともいえない		3. 反対	
(2) ボランティアとして活動することができますか。 1. 活動してもよい 2. 活動したいが仕事などで時間がとれない 3. 活動するつもりはない 4. その他 ()		(3) その理由は何ですか。 ()	

17. 少子社会に対する考え方についてお伺いします

すべての方にお伺いします。

問49 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えと思いますか。（○は主なもの3つまで）

1. 一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる 2. 進学や就職において競争が少なくなる 3. 住宅事情が改善されて、買いやすくなる 4. まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる 5. 一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる 6. 親など周囲の干渉が強まる 7. 親の老後への子どもの負担が大きくなる 8. その他 () 9. わからない
--

問50 あなたは、少子社会が国や地域社会にどのような影響を与えと思いますか。（○は主なもの3つまで）

1. 人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる 2. 就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる 3. 女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる 4. 若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる 5. 現役世代の租税や社会保障負担（年金や医療費など）が大きくなる 6. 地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる 7. 地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる 8. その他 () 9. わからない
--

18. 行政サービスへの要望についてお伺いします

問51 あなたは出産、育児に関する区の担当者の対応について、不満に思ったことはありますか。（○は1つ）

1. ある → 問50-1へ	2. ない → 問52へ
----------------	--------------

問5 1-1 どのような点に不満を感じましたか。(〇はいくつでも)

1. 対応が不親切
2. 手続きが煩雑で時間がかかる
3. 保育スペースがない
4. 子育てに関する情報がすぐに得られない
5. 担当者が自分の意見を押しつける
6. その他 ()

問5 2 あなたは親と子が健やかに育ち合うようにするために、子育て支援施策に対して、行政としてどこに力を入れていくといいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を作って欲しい
4. 保育園を増やしたり、利用できる日数及び時間帯を拡充して欲しい
5. 幼稚園を増やしたり、利用できる日数及び時間帯を拡充して欲しい
6. 時々でよいので幼稚園で、就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かって欲しい
7. 保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 学童クラブを増やしたり、利用できる日数及び時間帯を拡充して欲しい
9. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを養成して欲しい
10. 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備して欲しい
11. 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい
12. 残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかけて欲しい
13. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
14. 交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化して欲しい
15. 不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化して欲しい
16. その他 ()

問5 3 最後に、これからの子育て支援施策等に関して、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました
返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。

練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査

(中学生意識調査)

日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、練馬区では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「練馬区次世代育成支援行動計画（平成17年度～21年度）」（前期5か年計画）を策定し、子育て支援のためのさまざまな事業を実施して70万区民の皆様のご要望に応えるよう努めております。

このたび、「練馬区次世代育成支援行動計画（平成22年度～26年度）」（後期5か年計画）を策定するにあたり、区民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握し、「行動計画」に反映するために、「練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査をお願いする方は、区内の中学校に通学する生徒の皆様です。区内中学校から11校を選び、今回アンケートのご協力をお願いすることとなりました。この調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、その趣旨について、ご理解とご協力をいただくとともに回答を心からお待ちいたしております。

なお、回答はすべて無記名です。また、調査結果は統計として集計し、計画作成のためのみに使用いたします。したがって、個人名が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

平成21年1月
練馬区長 志村 豊志郎

1. この調査票では、**調査対象の人を「あなた」とします。本人が答えてください。**
2. 次ページから順に記入してください。途中、回答により、次に答える間を案内していますので、それにしたがってください。
3. **記入の方法：**
 - (1) 回答は、**あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。**
 - (2) 質問により回答が「1つ」、「いくつでも」など、○の数は質問ごとに指定しています。
 - (3) **ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。**
 - (4) **名前や住所を記入する必要はありません。**
4. 記入した調査票は、**2月9日（月曜日）**までに、調査票が入っていた封筒に入れ、封をしたうえで、**学校経由で提出**してください。
5. 学校の先生に中身を見られることはありません。
6. 記入方法などについて、わからないことがあったときは、下記に問い合わせてください。

練馬区 健康福祉事業本部 児童青少年部 計画調整担当課
電話：03-5984-4687（直通）
担当： 計画調整主査 齋藤・佐藤

【F. 調査票記入者の状況】

F 1 あなたは、次のどれに当てはまりますか。(それぞれ○は1つ)

性別	1 男	2 女
----	-----	-----

F 2 あなたのお住まいの町名を書いてください。

<input type="text"/>	(区・市)	<input type="text"/>	町
----------------------	-------	----------------------	---

【1. 家族について】

問 1 あなたは、誰と一緒に住んでいますか。(○はいくつでも)

また、あなたを含めて、一緒に住んでいる人の数を書いてください。(数字を記入)

1 母親	3 兄弟姉妹	5 祖父
2 父親	4 祖母	6 その他 ()
家族全員で <input type="text"/> 人		

問 2 あなたのご両親は、仕事をしていますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 父親	1 している	2 していない	3 父親はいない
(2) 母親	1 している	2 していない	3 母親はいない

【2. 日常の活動・生活・居場所について】

問 3 あなたは、次のようなことを自分でやっていますか。(○はいくつでも)

1 食事をつくる	11 洗濯したり洗濯ものをたたんだりする
2 食卓の準備をする(食器を並べる)	12 自分のクツを洗う
3 食事のあと片付けをする	13 おつかい(買い物)をする
4 トイレ掃除をする	14 妹や弟のめんどうをみる
5 おふろ掃除をする	15 植物やペットの世話をする
6 庭の掃除をする	16 新聞などを取りに行く
7 玄関の掃除をする	17 ゴミ袋を出しに行く
8 自分の部屋の掃除をする	18 その他 ()
9 自分の部屋以外の部屋の掃除をする	19 特に何もしていない
10 ふとんをしいたりたたんだりする	

問 4 あなたは、朝食をとっていますか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日食べる	3 週に4~5日食べない
2 週に2~3日食べない	4 ほとんど食べない

問 4 (1) 問 4で「2~4」と答えた人へ、その理由は何ですか。(○はおもなもの1つ)

1 時間がないから	5 やせたいから
2 作るのが面倒だから	6 食べなくても注意されないから
3 食欲がないから	7 その他 ()
4 用意されていないから	

問 5 あなたは、間食をしていますか。(○は1つ、四角の中に数字を記入)

1 はい	2 いいえ
→ 1日に <input type="text"/> 回	

問5 (1) 問5で「1 はい」と答えた人へ、間食ではどのようなものを食べていますか。

(○はよく食べるもの3つまで)

1 菓子パン・ケーキ類	7 アイスクリーム・シャーベット類
2 せんべい類	8 牛乳・乳製品類
3 スナック類	9 ジュース類
4 キャラメル・アメ類	10 果物類
5 チョコレート類	11 清涼飲料水類
6 ガム類	12 その他 ()

問6 あなたは、平日の学校が終わってから、どこにいることが多いですか。(○は5つまで)

1 自分の家	9 スポーツをするところ
2 祖母・祖父の家	10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)
3 親類 (おばさん・おじさん) の家	11 学習塾や習いごと
4 友だちの家	12 コンビニ、ゲームセンター
5 近所の公園	13 区内の店
6 広場や空き地	14 区外の店
7 学校 (校庭や体育館など)	15 その他 ()
8 部活動	

問6 (1) 問6で「10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)」、「11 学習塾や習いごと」、「12 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。(それぞれ数字を記入)

区の施設で過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
学習塾や習いごとで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
コンビニ、ゲームセンターで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる

問7 あなたは、学校が休みの日、どこにいることが多いですか。(○は5つまで)

1 自分の家	9 スポーツをするところ
2 祖母・祖父の家	10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)
3 親類 (おばさん・おじさん) の家	11 学習塾や習いごと
4 友だちの家	12 コンビニ、ゲームセンター
5 近所の公園	13 区内の店
6 広場や空き地	14 区外の店
7 学校 (校庭や体育館など)	15 その他 ()
8 部活動	

問7 (1) 問7で「10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)」、「11 学習塾や習いごと」、「12 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。(それぞれ数字を記入)

区の施設で過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
学習塾や習いごとで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
コンビニ、ゲームセンターで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる

問8 あなたが「ほっとできるとき」は、どんなときですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 自分の部屋にいるとき | 15 児童館にいるとき |
| 2 ひとりになったとき | 16 図書館にいるとき |
| 3 お風呂に入っているとき | 17 学習塾や習いごとに行っているとき |
| 4 トイレに入っているとき | 18 スポーツをするところにいるとき |
| 5 寝ているとき | 19 スーパーやデパートなどにいるとき |
| 6 ご飯を食べているとき | 20 本屋にいるとき |
| 7 家族と一緒にいるとき | 21 コンビニにいるとき |
| 8 祖父母の家にいるとき | 22 ゲームセンターにいるとき |
| 9 親類(おばさん・おじさん)の家にいるとき | 23 ファーストフード店にいるとき |
| 10 友だちと遊んだり話しているとき | 24 映画館にいるとき |
| 11 近所の公園にいるとき | 25 家族と出かけるとき |
| 12 広場や空き地にいるとき | 26 なにもしていないでいるとき |
| 13 学校(校庭など)にいるとき | 27 その他() |
| 14 部活動をしているとき | |

問9 あなたは、一緒に遊んだり話したりする友だちが何人くらいいますか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|----------|-------|
| 1 1人 | 3 4~5人 | 5 10~19人 | 7 いない |
| 2 2~3人 | 4 6~9人 | 6 20人以上 | |

問10 あなたは、学校に行きたくなくなる時がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 よくある | 2 ときどきある | 3 めったにない |
|--------|----------|----------|

問10(1) 問10で「1 よくある」、「2 ときどきある」と答えた人へ、どんなときにそうなりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1 授業がわからないとき | 8 家でしかられたとき |
| 2 苦手な教科の授業があるとき | 9 いじめを受けたとき |
| 3 テストがあるとき | 10 身体の具合が悪いとき |
| 4 宿題や課題などをしなかったとき | 11 寝坊をしたとき |
| 5 学校のきまりが厳しいから | 12 学校以外のところに行きたくなくなったとき |
| 6 友だちとうまくいかないとき | 13 なんとなく |
| 7 先生とうまくいかないとき | 14 その他() |

問10(2) 問10で「1 よくある」、「2 ときどきある」と答えた人へ、そうなったときはどうしましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 母親に相談した | 6 学校の先生に相談した |
| 2 父親に相談した | 7 スクールカウンセラーに相談した |
| 3 祖母・祖父に相談した | 8 相談しなかった、相談したくなかった |
| 4 兄弟姉妹に相談した | 9 その他() |
| 5 友だち・先輩に相談した | |

問11 あなたは、いじめを受けたことがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1 受けたことがある | 2 受けたことはない | 3 わからない |
|------------|------------|---------|

問 1 1 (1) あなたは、いじめを受けたときどうしましたか。または、いじめを受けたらどうしますか。(○はいくつでも)

1 相手のいじめを無視した (する)	10 学校の先生に相談した (する)
2 相手にいじめをやめるように言った (言う)	11 スクールカウンセラーに相談した (する)
3 相手に仕返しをした (する)	12 いじめの相談窓口で相談した (する)
4 学校を休んだ (休む)	13 電話を使って相談した (する)
5 友だちに相談した (する)	14 インターネットを使って相談した (する)
6 母親に相談した (する)	15 がまんした (する)
7 父親に相談した (する)	16 なんにも言えなかった (言えない)
8 祖母・祖父に相談した (する)	17 相談しなかった (しない)
9 兄弟姉妹に相談した (する)	18 その他 ()

問 1 2 あなたは、いじめをしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 したことがある 2 したことはない (→ 問13へ) 3 わからない (→ 問13へ)

▶ **問 1 2 (1)** 問 1 2 で「1」と答えた人へ、どんな気分がしましたか。(○はいくつでも)

1 すっきりした	5 後悔して、もうしないようにしようと思った
2 またいじめてやろうと思った	6 何も感じなかった
3 見つからなければいいと思った	7 その他 ()
4 ちょっと悪かったと思った	

【3. 将来の仕事・結婚・子育ての意識について】

問 1 3 あなたは、「大人になる」のに、次のようなことはどれくらい必要だと思いますか。最も近いと思うものを1つずつ選んでください。(それぞれ○は1つ)

	1 とても必要	2 少し必要	3 あまり必要でない	4 ぜんぜん必要でない
1 自分で食事をつくる	1	2	3	4
2 職業について経済的に自立する	1	2	3	4
3 ひとり住まいをする	1	2	3	4
4 ある程度の学歴をつける	1	2	3	4
5 自分の行動に責任をもつ	1	2	3	4
6 親から精神的に自立する	1	2	3	4
7 他人とうまくつき合う	1	2	3	4
8 人への思いやりの心をもつ	1	2	3	4
9 人に迷惑をかけない	1	2	3	4

問 1 4 あなたは、将来どんな仕事につきたいですか。(○は1つ)

1 一流大学を出て自分の望む仕事につきたい	5 大変でも給料が高い仕事につきたい
2 給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい	6 社会に奉仕できる仕事につきたい
3 会社がつぶれたりクビになったりしない仕事につきたい	7 アルバイトやフリーターをしていきたい
4 あまり忙しくなく家庭を大事にできる仕事につきたい	8 できれば仕事はしたくない
	9 その他 ()
	10 わからない

問 1 5 あなたは、次のような考え方について、どう思いますか。(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない
1 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	1	2	3	4
2 結婚しても、うまくいかなければ離婚することはしかたがない	1	2	3	4
3 結婚しても、別々の名字のままにすることもかまわない	1	2	3	4
4 結婚しても、必ずしも子どもを生む必要はない	1	2	3	4
5 結婚はしたくないが、子どもは欲しい	1	2	3	4
6 結婚したら、子どもを生むべきだ	1	2	3	4
7 子どもの人数や何歳ごろに生むかを決めるとき、女性（妻）の意見を尊重した方がよい	1	2	3	4
8 子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい	1	2	3	4
9 子どもが3歳になるまでは、母親が家庭で育てる方がよい	1	2	3	4
10 子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい	1	2	3	4
11 自分のことを多少犠牲にしても、子どものことを優先すべきだ	1	2	3	4
12 女性も子どもを生んでも、仕事をやめるべきでない	1	2	3	4

【4. 心配、悩みについて】

問 1 6 あなたが心配や悩みに思うことは、どんなことですか。(○はいくつでも)

1 自分の健康のこと	10 いじめのこと
2 顔や体型のこと	11 同性の友だちのこと
3 自分の性格やクセのこと	12 異性の友だちとのこと
4 運動神経（能力）のこと	13 兄弟姉妹のこと
5 勉強のこと	14 親のこと
6 将来や進路のこと	15 学校の先生のこと
7 アルバイトや仕事のこと	16 その他（ ）
8 おこづかいのこと	17 特にない
9 ほしいものが買ってもらえないこと	

問 1 7 あなたは、これまで心配や悩みがあったときに、誰に相談しましたか。(○はいくつでも)

1 同年齢の友だち	8 親類の人（おばさん・おじさん）	13 塾や習いごとの先生
2 年上の友だち・先輩	9 近所の知りあい	14 電話で相談した
3 年下の友だち・後輩	10 学校の先生	15 インターネットや本で調べた
4 兄弟姉妹	11 保健室の先生	16 その他（ ）
5 母親	12 スクールカウンセラー	17 なにもしなかった
6 父親		
7 祖母・祖父		

【5. 社会道徳、交通道徳について】

問18 (1) あなたは、次のようなことをしたことがありますか。(2) また、どのくらいいけないと思いますか。最も近いと思うものを選んでください。((1)、(2) とともにそれぞれ○は1つ)

	(1) 経験の有無		→	(2) いけないと思う程度			
	1 ある したことが	2 ない したことは		1 絶対に いけない	2 いけない	3 場合によって はいけない	4 特に 問題はない
1 子どもがお酒を飲む	1	2	→	1	2	3	4
2 子どもがタバコを吸う	1	2	→	1	2	3	4
3 シンナーなどの薬物を使う	1	2	→	1	2	3	4
4 テレクラや出会い系サイトを利用する	1	2	→	1	2	3	4
5 インターネットや携帯電話を利用して他人を傷つける	1	2	→	1	2	3	4
6 援助交際をする	1	2	→	1	2	3	4
7 万引きをする	1	2	→	1	2	3	4
8 親の財布からだまってお金を持ち出す	1	2	→	1	2	3	4
9 親と約束した帰宅時間を守らない	1	2	→	1	2	3	4
10 無断外泊をする	1	2	→	1	2	3	4
11 電車の中で携帯電話を使う	1	2	→	1	2	3	4

問19 (1) あなたは、次の自転車の交通ルールを、よく知っていますか。(2) また、どのくらい守っていますか。((1)、(2) とともにそれぞれ○は1つ)

	(1) 認知度		→	(2) 守っている程度			
	1 よく 知っている	2 よく 知らない		1 いつも 守っている	2 大体 守っている	3 ときどき 守らない	4 ほとんど 守らない
1 自転車は歩行者ではなく、車両である	1	2	→				
2 許可されている場所以外、歩道を走ってはいけない	1	2	→	1	2	3	4
3 車道の左側を走る	1	2	→	1	2	3	4
4 歩道を走るときは、歩行者が優先である	1	2	→	1	2	3	4
5 歩行者にケガをさせたときに、責任をとらなければならないことがある	1	2	→				
6 一時停止の場所では一時停止する	1	2	→	1	2	3	4
7 二人乗りは禁止である	1	2	→	1	2	3	4
8 夜間はライトを点灯する	1	2	→	1	2	3	4
9 ブレーキ、ライト、空気圧を点検する	1	2	→	1	2	3	4

【6. 地域との交流について】

問20 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 日常的にボランティアをしている | 3 何回かしたことがある |
| 2 ボランティアを以前していた | 4 したことはない |

問21 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など)
- 2 身近な緑を守る活動(花壇づくりなど)
- 3 子育てに関する活動(保育園での赤ちゃんの世話など)
- 4 高齢者・障害者福祉に関する活動(おとしよりや障害者への介護、給食など)
- 5 スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど)
- 6 学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など)
- 7 国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど)
- 8 地域のイベントやお祭りの手伝い
- 9 その他()
- 10 特になし

問22 あなたの近所とおつきあいはどうですか。(○はおもなもの1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 あいさつをする程度 | 4 食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている |
| 2 ととき道で話をする | 5 困っているときに、相談したり助けあったりしている |
| 3 相手の家に行って話をする | 6 ほとんどつきあいはない |

問23 あなたが近所の人たちに特にしてもらいたいことは、どのようなことですか。

(○はおもなもの3つまで)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 いたずらや危険なこと、人に迷惑がかかることをしていたら、注意してほしい | 7 子どものことをあれこれ言う前に、大人自身がきちんとしてほしい |
| 2 よいことをしたときには、ほめてほしい | 8 子どもあつかいしないで、子どもの意見を聞いてほしい |
| 3 いじめられているときは、助けてほしい | 9 その他() |
| 4 スポーツや遊びをいっしょにしてほしい | 10 かかわってほしくない |
| 5 悩んでいるときは、相談にのってほしい | |
| 6 気軽に声をかけて欲しい | |

問24 地域で行っている行事への参加についてお聞きします。

(1) あなたは、次のような行事に、参加したことがありますか。(2) また、あなたが今後してみたいものはありますか。((1)、(2) とも、行事ごとにそれぞれ○は1つ)

	(1) 今までの参加状況			→	(2) 今後の参加希望	
	1 こ 事 が あ る	2 こ 事 は な い	3 行 事 は な い		1 し た い 今 後 参 加	2 し た く な い 今 後 参 加
1 お祭りや盆踊り	1	2	3	→	1	2
2 スポーツ活動	1	2	3	→	1	2
3 文化活動(郷土芸能や音楽など)	1	2	3	→	1	2
4 清掃活動	1	2	3	→	1	2
5 児童館の行事	1	2	3	→	1	2

問24(3) 問24(2) 今後の参加希望で1つでも「2 したくない」と答えた人へ、なぜ参加したくないのですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 友だちが行かないから | 6 塾や習いごとで忙しいから |
| 2 行ってもつまらないから | 7 なんとなく |
| 3 嫌な友だち(上級生や下級生)がいるから | 8 めんどくさい |
| 4 つかれるから | 9 その他() |
| 5 部活動が忙しいから | |

【7. 子どもの権利について】

問25 あなたが、子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことを選んでください。(〇は5つまで)

- | | |
|---------------------------------|---------------------------------|
| 1 話をもっと真剣に聞いてほしい | 8 自分が自由に使える時間を増やしてほしい |
| 2 ねほりはほり聞いたり、あれこれ世話をしたりしないしてほしい | 9 いじめにあったり学校でいやな思いをしないように守ってほしい |
| 3 自分のことは自分で考えて決めさせてほしい | 10 もっと子どもの立場になって考えて欲しい |
| 4 きまりや約束ごとを一方向的に押し付けないでほしい | 11 大人が社会のルールを守ってほしい |
| 5 約束を守ってほしい | 12 大人が生活の手本を示してほしい |
| 6 友だちや兄弟姉妹と比べないでほしい | 13 その他() |
| 7 家族が仲良く、一緒に過ごす時間を増やしてほしい | 14 大人には何を言ってもむだだと思う |
| | 15 満足しているので、望みたいことはない |

問26 あなたが、子どもがいやな思いをしないために、特に大切だと思うことは何ですか。(〇は5つまで)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 人と違う自分らしさが認められること | 8 子どもが知りたいと思うことが隠されないこと |
| 2 自分の考えをいつでも自由に言えること | 9 家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと |
| 3 遊んだり、疲れたりしたときは休むなど自由になる時間を持つこと | 10 「子どもの権利条約」について知ること |
| 4 障害のある子どもが差別されなくて暮らせること | 11 子どもといえども独立した人格の持主だと認められること |
| 5 人種や言葉や宗教などの違いで差別されないこと | 12 子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること |
| 6 自分の秘密が守られること | 13 その他() |
| 7 暴力や言葉で傷つけられないこと | 14 特になし |

次のページにも質問がございます

問27 最後に、今回のアンケート内容等に関して、意見がありましたら自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。
封筒に入れ、封をしたうえで、学校経由で提出してください。

練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査

(高校生意識調査)

日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、練馬区では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「練馬区次世代育成支援行動計画（平成17年度～21年度）」（前期5か年計画）を策定し、子育て支援のためのさまざまな事業を実施して70万区民の皆様のご要望に応えるよう努めております。

このたび、「練馬区次世代育成支援行動計画（平成22年度～26年度）」（後期5か年計画）を策定するにあたり、区民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握し、「行動計画」に反映するために、「練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査をお願いする方は、区内の高等学校に通学する生徒の皆様です。区内高等学校から5校を選び、今回アンケートのご協力をお願いすることとなりました。この調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を進めるための重要な基礎資料となりますので、その趣旨について、ご理解とご協力をいただくとともに回答を心からお待ちいたしております。

なお、回答はすべて無記名です。また、調査結果は統計として集計し、計画作成のためのみに使用いたします。したがって、個人名が公表されるなど、ご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

平成21年1月

練馬区長 志村 豊志郎

1. この調査票では、**調査対象の人を「あなた」とします。本人が教えてください。**
2. 次ページから順に記入してください。途中、回答により、次に答える問を案内していますので、それにしてください。
3. **記入の方法：**
 - (1) 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。
 - (2) 質問により回答が「1つ」、「いくつでも」など、○の数は質問ごとに指定しています。
 - (3) ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。
 - (4) 名前や住所を記入する必要はありません。
4. 記入した調査票は、**2月9日（月曜日）**までに、調査票が入っていた封筒に入れ、封をしたうえで、**学校経由で提出**してください。
5. 学校の先生に中身を見られることはありません。
6. 記入方法などについて、わからないことがあったときは、下記に問い合わせてください。

練馬区 健康福祉事業本部 児童青少年部 計画調整担当課
電話：03-5984-4687（直通）
担当： 計画調整主査 齋藤・佐藤

【F. 調査票記入者の状況】

F 1 あなたは、次のどれに当てはまりますか。(それぞれ○は1つ)

性別	1 男	2 女
----	-----	-----

F 2 あなたの住所を書いてください。

<input type="text"/>	(区・市)	<input type="text"/>	町
----------------------	-------	----------------------	---

【1. 家族について】

問 1 あなたは、誰と一緒に住んでいますか。(○はいくつでも)

また、あなたを含めて、一緒に住んでいる人の数を書いてください。(数字を記入)

1 母親	3 兄弟姉妹	5 祖父
2 父親	4 祖母	6 その他 ()
家族全員で <input type="text"/> 人		

問 2 あなたのご両親は、仕事をしていますか。(それぞれ○は1つ)

(1) 父親	1 している	2 していない	3 父親はいない
(2) 母親	1 している	2 していない	3 母親はいない

【2. 日常の活動・生活・居場所について】

問 3 あなたは、次のようなことを自分でやっていますか。(○はいくつでも)

1 食事をつくる	11 洗濯したり洗濯ものをたたんだりする
2 食卓の準備をする(食器を並べる)	12 自分のクツを洗う
3 食事のあと片付けをする	13 おつかい(買い物)をする
4 トイレ掃除をする	14 妹や弟のめんどうをみる
5 おふろ掃除をする	15 植物やペットの世話をする
6 庭の掃除をする	16 新聞などを取りに行く
7 玄関の掃除をする	17 ゴミ袋を出しに行く
8 自分の部屋の掃除をする	18 その他 ()
9 自分の部屋以外の部屋の掃除をする	19 特に何もしていない
10 ふとんをしいたりたたんだりする	

問 4 あなたは、朝食をとっていますか。(○は1つ)

1 ほとんど毎日食べる	3 週に4~5日食べない
2 週に2~3日食べない	4 ほとんど食べない

問 4 (1) 問 4で「2~4」と答えた人へ、その理由は何ですか。(○はおもなもの1つ)

1 時間がないから	5 やせたいから
2 作るのが面倒だから	6 食べなくても注意されないから
3 食欲がないから	7 その他 ()
4 用意されていないから	

問 5 あなたは、間食をしていますか。(○は1つ、四角の中に数字を記入)

1 はい	2 いいえ
→ 1日に <input type="text"/> 回	

問5 (1) 問5で「1 はい」と答えた人へ、間食ではどのようなものを食べていますか。

(○はよく食べるもの3つまで)

1 菓子パン・ケーキ類	7 アイスクリーム・シャーベット類
2 せんべい類	8 牛乳・乳製品類
3 スナック類	9 ジュース類
4 キャラメル・アメ類	10 果物類
5 チョコレート類	11 清涼飲料水類
6 ガム類	12 その他 ()

問6 あなたは、平日の学校が終わってから、どこにいることが多いですか。(○は5つまで)

1 自分の家	9 スポーツをするところ
2 祖母・祖父の家	10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)
3 親類 (おばさん・おじさん) の家	11 学習塾や習いごと
4 友だちの家	12 アルバイト・仕事先
5 近所の公園	13 コンビニ、ゲームセンター
6 広場や空き地	14 区内の店
7 学校 (校庭や体育館など)	15 区外の店
8 部活動	16 その他 ()

問6 (1) 問6で「10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)」、「11 学習塾や習いごと」、「12 アルバイト・仕事先」、「13 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。(それぞれ数字を記入)

区の施設で過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
学習塾や習いごとで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
アルバイト・仕事先で過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
コンビニ、ゲームセンターで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる

問7 あなたは、学校が休みの日、どこにいることが多いですか。(○は5つまで)

1 自分の家	9 スポーツをするところ
2 祖母・祖父の家	10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)
3 親類 (おばさん・おじさん) の家	11 学習塾や習いごと
4 友だちの家	12 アルバイト・仕事先
5 近所の公園	13 コンビニ、ゲームセンター
6 広場や空き地	14 区内の店
7 学校 (校庭や体育館など)	15 区外の店
8 部活動	16 その他 ()

問7 (1) 問7で「10 区の施設 (児童館、図書館、青少年館、体育館)」、「11 学習塾や習いごと」、「12 アルバイト・仕事先」、「13 コンビニ、ゲームセンター」と答えた人へ、大体、何時ごろに自分の家へ帰ってきますか。(それぞれ数字を記入)

区の施設で過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
学習塾や習いごとで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
アルバイト・仕事先で過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる
コンビニ、ゲームセンターで過ごした後、	大体、午後	<input type="text"/>	時ごろに自分の家へ帰ってくる

問8 あなたが「ほっとできるとき」は、どんなときですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 自分の部屋にいるとき | 15 児童館にいるとき |
| 2 ひとりになったとき | 16 図書館にいるとき |
| 3 お風呂に入っているとき | 17 学習塾や習いごとに行っているとき |
| 4 トイレに入っているとき | 18 スポーツをするところにいるとき |
| 5 寝ているとき | 19 スーパーやデパートなどにいるとき |
| 6 ご飯を食べているとき | 20 本屋にいるとき |
| 7 家族と一緒にいるとき | 21 コンビニにいるとき |
| 8 祖父母の家にいるとき | 22 ゲームセンターにいるとき |
| 9 親類(おばさん・おじさん)の家にいるとき | 23 ファーストフード店にいるとき |
| 10 友だちと遊んだり話しているとき | 24 映画館にいるとき |
| 11 近所の公園にいるとき | 25 アルバイトや仕事先にいるとき |
| 12 広場や空き地にいるとき | 26 家族と出かけるとき |
| 13 学校(校庭など)にいるとき | 27 なにもしていないでいるとき |
| 14 部活動をしているとき | 28 その他() |

問9 あなたは、一緒に遊んだり話したりする友だちが何人くらいいますか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|----------|-------|
| 1 1人 | 3 4~5人 | 5 10~19人 | 7 いない |
| 2 2~3人 | 4 6~9人 | 6 20人以上 | |

問10 あなたは、学校に行きたくなくなるときがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1 よくある | 2 ときどきある | 3 めったにない |
|--------|----------|----------|

問10(1) 問10で「1 よくある」、「2 ときどきある」と答えた人へ、どんなときにそうなりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 授業がわからないとき | 8 家でしかられたとき |
| 2 苦手な教科の授業があるとき | 9 いじめを受けたとき |
| 3 テストがあるとき | 10 身体の具合が悪いとき |
| 4 宿題や課題などをしなかったとき | 11 寝坊をしたとき |
| 5 学校のきまりが厳しいから | 12 学校以外のところに行きたくなるとき |
| 6 友だちとうまくいかないとき | 13 なんとなく |
| 7 先生とうまくいかないとき | 14 その他() |

問10(2) 問10で「1 よくある」、「2 ときどきある」と答えた人へ、そうなったときはどうしましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1 母親に相談した | 6 学校の先生に相談した |
| 2 父親に相談した | 7 スクールカウンセラーに相談した |
| 3 祖母・祖父に相談した | 8 相談しなかった、相談したくなかった |
| 4 兄弟姉妹に相談した | 9 その他() |
| 5 友だち・先輩に相談した | |

問11 あなたは、いじめを受けたことがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|---------|
| 1 受けたことがある | 2 受けたことはない | 3 わからない |
|------------|------------|---------|

問11(1) あなたは、いじめを受けたときどうしましたか。または、いじめを受けたらどうしますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 相手のいじめを無視した(する) | 10 学校の先生に相談した(する) |
| 2 相手にいじめをやめるように言った(言う) | 11 スクールカウンセラーに相談した(する) |
| 3 相手に仕返しをした(する) | 12 いじめの相談窓口で相談した(する) |
| 4 学校を休んだ(休む) | 13 電話を使って相談した(する) |
| 5 友だちに相談した(する) | 14 インターネットを使って相談した(する) |
| 6 母親に相談した(する) | 15 がまんした(する) |
| 7 父親に相談した(する) | 16 なにも言えなかった(言えない) |
| 8 祖母・祖父に相談した(する) | 17 相談しなかった(しない) |
| 9 兄弟姉妹に相談した(する) | 18 その他() |

問 1 2 あなたは、いじめをしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 したことがある 2 したことはない (→ 問13へ) 3 わからない (→ 問13へ)

→ **問 1 2 (1)** 問 1 2 で「1」と答えた人へ、どんな気分がしましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1 すっきりした | 5 後悔して、もうしないようにしようと思った |
| 2 またいじめてやろうと思った | 6 何も感じなかった |
| 3 見つからなければいいと思った | 7 その他 () |
| 4 ちょっと悪かったと思った | |

【3. 将来の仕事・結婚・子育ての意識について】

問 1 3 あなたは、「大人になる」のに、次のようなことはどれくらい必要だと思いますか。最も近いと思うものを1つずつ選んでください。(それぞれ○は1つ)

	1 とても必要	2 少し必要	3 あまり必要でない	4 ぜんぜん必要でない
1 自分で食事をつくる	1	2	3	4
2 職業について経済的に自立する	1	2	3	4
3 ひとり住まいをする	1	2	3	4
4 ある程度の学歴をつける	1	2	3	4
5 自分の行動に責任をもつ	1	2	3	4
6 親から精神的に自立する	1	2	3	4
7 他人とうまくつき合う	1	2	3	4
8 人への思いやりの心をもつ	1	2	3	4
9 人に迷惑をかけない	1	2	3	4

問 1 4 あなたは、将来どんな仕事につきたいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|----------------------|
| 1 一流大学を出て自分の望む仕事につきたい | 5 大変でも給料が高い仕事につきたい |
| 2 給料に関係なく自分の好みの仕事につきたい | 6 社会に奉仕できる仕事につきたい |
| 3 会社がつぶれたりクビになったりしない仕事につきたい | 7 アルバイトやフリーターをしていきたい |
| 4 あまり忙しくなく家庭を大事にできる仕事につきたい | 8 できれば仕事はしたくない |
| | 9 その他 () |
| | 10 わからない |

次のページにも質問があります

【5. 社会道徳、交通道徳について】

問18 (1) あなたは、次のようなことをしたことがありますか。(2) また、どのくらいいけないと思いますか。最も近いと思うものを選んでください。((1)、(2) とともにそれぞれ○は1つ)

	(1) 経験の有無		→	(2) いけないと思う程度			
	1 ある した ことが	2 ない した ことは		1 絶対 いけない	2 いけない	3 場合 によって はい けない	4 特に 問題 はない
1 子どもがお酒を飲む	1	2	→	1	2	3	4
2 子どもがタバコを吸う	1	2	→	1	2	3	4
3 シンナーなどの薬物を使う	1	2	→	1	2	3	4
4 テレクラや出会い系サイトを利用する	1	2	→	1	2	3	4
5 インターネットや携帯電話を利用して他人を傷つける	1	2		1	2	3	4
6 援助交際をする	1	2	→	1	2	3	4
7 万引きをする	1	2	→	1	2	3	4
8 親の財布からだまってお金を持ち出す	1	2	→	1	2	3	4
9 親と約束した帰宅時間を守らない	1	2	→	1	2	3	4
10 無断外泊をする	1	2	→	1	2	3	4
11 電車の中で携帯電話を使う	1	2	→	1	2	3	4

問19 (1) あなたは、次の自転車の交通ルールを、よく知っていますか。(2) また、どのくらい守っていますか。((1)、(2) とともにそれぞれ○は1つ)

	(1) 認知度		→	(2) 守っている程度			
	1 よく 知っ ている	2 よく は ら ない		1 守 っ て い る	2 大 体 守 っ て い る	3 と き ど き 守 ら ない	4 ほ ん ど 守 ら ない
1 自転車は歩行者ではなく、車両である	1	2	→				
2 許可されている場所以外、歩道を走ってはいけない	1	2	→	1	2	3	4
3 車道の左側を走る	1	2	→	1	2	3	4
4 歩道を走るときは、歩行者が優先である	1	2		1	2	3	4
5 歩行者にケガをさせたときに、責任をとらなければならないことがある	1	2	→				
6 一時停止の場所では一時停止する	1	2	→	1	2	3	4
7 二人乗りは禁止である	1	2	→	1	2	3	4
8 夜間はライトを点灯する	1	2	→	1	2	3	4
9 ブレーキ、ライト、空気圧を点検する	1	2	→	1	2	3	4

【6. 性感染症・薬物について】

問20 次の性感染症で、あなたが正しく知っているもの（どのような病気で、かかるとどのようになるか知っているもの）はどれですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|-------|------------|-------|
| 1 淋病 | 4 クラミジア | 7 その他 |
| 2 梅毒 | 5 性器ヘルペス | () |
| 3 エイズ | 6 尖形コンジローム | |

問21 あなたは、性感染症の予防法を知っていますか。（○は1つ）

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問21(1) 問21で、「1 知っている」と答えた人へ、どんな予防法を知っていますか。知っていることを自由にお書きください。

問21(2) 問21で、「1 知っている」と答えた人へ、どこで情報を得ましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|----------|-------------------------|
| 1 友だち・先輩 | 5 本、新聞、雑誌、テレビ、インターネットなど |
| 2 学校の授業 | 6 保健師や看護師などの専門職 |
| 3 養護の先生 | 7 その他 () |
| 4 親 | |

問22 あなたは、シンナー遊びなど薬物乱用によって、次のようなことが起こることを知っていますか。知っているものをすべて答えてください。（○はいくつでも）

- | |
|---|
| 1 やめられなくなるなど、習慣性がある |
| 2 脳や肝臓など、心や身体がぼろぼろになる |
| 3 実際には何もないのに物が見えたり（幻視）、声が聞こえたり（幻聴）することがある |
| 4 どれも知らない |

問23 シンナー以外で乱用すると有害な薬物であるとあなたが知っているものは、次のどれですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|--------|------------------|-------------|
| 1 コカイン | 6 大麻 | 11 その他 |
| 2 アヘン | 7 ハシシ | () |
| 3 スピード | 8 マジックマッシュルーム | 12 いずれも知らない |
| 4 エス | 9 LSD | |
| 5 ヘロイン | 10 MDMA (エクスタシー) | |

【7. 地域との交流について】

問24 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 日常的にボランティアをしている | 3 何回かしたことがある |
| 2 ボランティアを以前していた | 4 したことはない |

問25 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 環境を守る活動（清掃美化活動、リサイクル活動など） |
| 2 身近な緑を守る活動（花壇づくりなど） |
| 3 子育てに関する活動（保育園での赤ちゃんの世話など） |
| 4 高齢者・障害者福祉に関する活動（おとしよりや障害者への介護、給食など） |
| 5 スポーツ・文化に関する活動（小学生にスポーツを教えるなど） |
| 6 学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動（料理、英語、書道など） |
| 7 国際交流、国際協力に関する活動（通訳、外国人を助けるなど） |
| 8 地域のイベントやお祭りの手伝い |
| 9 その他（ |
| 10 特にない |

問26 あなたの近所とのおつきあいはどうですか。(○はおもなもの1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 あいさつをする程度 | 4 食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている |
| 2 ときどき道で話をする | 5 困っているときに、相談したり助けあったりしている |
| 3 相手の家に行って話をする | 6 ほとんどつきあいはない |

問27 あなたが近所の人たちに特にしてもらいたいことは、どのようなことですか。

(○はおもなもの3つまで)

- | | |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1 いたずらや危険なこと、人に迷惑がかかることをしていたら、注意してほしい | 7 子どものことをあれこれ言う前に、大人自身がきちんとしてほしい |
| 2 よいことをしたときには、ほめてほしい | 8 子どもあつかいしないで、子どもの意見を聞いてほしい |
| 3 いじめられているときは、助けてほしい | 9 その他（ |
| 4 スポーツや遊びをいっしょにしてほしい | 10 かかわってほしくない |
| 5 悩んでいるときは、相談にのってほしい | |
| 6 気軽に声をかけて欲しい | |

問28 地域で行っている行事への参加についてお聞きします。(1) あなたは、次のような行事に、参加したことがありますか。(2) また、あなたが今後してみたいものはありますか。(1)、(2)とも、行事ごとにそれぞれ○は1つ)

	(1) 今までの参加状況			→	(2) 今後の参加希望	
	1 こと が あ る	2 こ と は な い	3 行 事 は な い		1 今 後 参 加 し た い	2 今 後 参 加 し た く な い
1 お祭りや盆踊り	1	2	3	→	1	2
2 スポーツ活動	1	2	3	→	1	2
3 文化活動（郷土芸能や音楽など）	1	2	3	→	1	2
4 清掃活動	1	2	3	→	1	2
5 児童館の行事	1	2	3	→	1	2

問28(3) 問28(2) 今後の参加希望で1つでも「2 したくない」と答えた人へ、なぜ参加したくないのですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 友だちが行かないから | 6 塾や習いごとで忙しいから |
| 2 行ってもつまらないから | 7 アルバイトが忙しいから |
| 3 嫌な友だち(上級生や下級生)がいるから | 8 なんとなく |
| 4 つかれるから | 9 めんどくさい |
| 5 部活動が忙しいから | 10 その他() |

【8. 子どもの権利について】

問29 あなたが、子どもと接するとき、大人にこころがけてほしいことを選んでください。(〇は5つまで)

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| 1 話をもっと真剣に聞いてほしい | 8 自分が自由に使える時間を増やしてほしい |
| 2 ねほりはほり聞いたり、あれこれ世話をしたりしないでほしい | 9 いじめにあったり学校でいやな思いをしないように守ってほしい |
| 3 自分のことは自分で考えて決めさせてほしい | 10 もっと子どもの立場になって考えて欲しい |
| 4 きまりや約束ごとを一方向的に押し付けないでほしい | 11 大人が社会のルールを守ってほしい |
| 5 約束を守ってほしい | 12 大人が生活の手本を示してほしい |
| 6 友だちや兄弟姉妹と比べないでほしい | 13 その他() |
| 7 家族が仲良く、一緒に過ごす時間を増やしてほしい | 14 大人には何を言ってもむだだと思う |
| | 15 満足しているので、望みたいことはない |

問30 あなたが、子どもがいやな思いをしないために、特に大切だと思うことは何ですか。(〇は5つまで)

- | | |
|----------------------------------|---------------------------------|
| 1 人と違う自分らしさが認められること | 8 子どもが知りたいと思うことが隠されないこと |
| 2 自分の考えをいつでも自由に言えること | 9 家族が仲良く、一緒に過ごす時間を持つこと |
| 3 遊んだり、疲れたりしたときは休むなど自由になる時間を持つこと | 10 「子どもの権利条約」について知ること |
| 4 障害のある子どもが差別されなくて暮らせること | 11 子どもといえども独立した人格の持主だと認められること |
| 5 人種や言葉や宗教などの違いで差別されないこと | 12 子どもからの自由な呼びかけでグループをつくり集まれること |
| 6 自分の秘密が守られること | 13 その他() |
| 7 暴力や言葉で傷つけられないこと | 14 特にない |

問31 最後に、今回のアンケート内容等に関して、意見がありましたら自由に書いてください。

ご協力ありがとうございました。
封筒に入れ、封をしたうえで、学校経由で提出してください。

練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査 (独身者および子どものいない世帯調査)

日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、区では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「練馬区次世代育成支援行動計画（平成17年度～21年度）」（前期5か年計画）を策定し、子育て支援のためのさまざまな事業を実施して70万区民の皆様のご要望に応えるよう努めております。

このたび、「練馬区次世代育成支援行動計画（平成22年度～26年度）」（後期5か年計画）を策定するにあたり、区民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握し、「行動計画」に反映するために、「練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査をお願いする方は、区内に在住する独身またはお子さまのいない世帯の方です。住民基本台帳から500世帯（人）を無作為抽出により選び出し、今回あなたにアンケートへのご協力をお願いすることとなりました。この調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を行っていくための施策立案の重要な基礎資料となりますので、ご多忙の折とは存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。ご回答を心からお待ちいたしております。

なお、ご回答はすべて無記名です。また、調査結果は統計として集計し、計画の策定のためだけに使用いたします。したがって、個人名が公表されるなど、ご協力いただくことによりご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

平成21年2月
練馬区長 志村 豊志郎

1. この調査票では、調査対象の方を「あなた」とします。ご本人がお答えください。
2. 次ページから順にご記入ください。途中回答により、次に答える間を案内していますので、それにしたがってください。
3. ご記入に際して：
 - (1) 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。
 - (2) 質問により回答が「1つ」、「いくつでも」など、○の数は質問ごとに指定しています。
 - (3) ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。
 - (4) お名前やご住所を記入する必要はありません。
4. ご記入いただきました調査票は、**3月13日（金曜日）**までに、**同封の返信用封筒に入れて投函**してください。切手を貼る必要はありません。
5. 記入方法などについて、わからないことがございましたら、下記にお問い合わせください。

練馬区 健康福祉事業本部 児童青少年部 計画調整担当課
電話：03-5984-4687（直通）
担当： 計画調整主査 齋藤・佐藤

【F. 調査票記入者の状況】

F 1 初めにあなたご本人のことについてお伺いします。(それぞれ○は1つ)

(1) 性別	1 男	2 女
(2) 年齢 (平成20年4月1日現在)	1 20歳未満	4 30～34歳
	2 20～24歳	5 35～39歳
	3 25～29歳	
(3) 職業	1 会社員(正規職員)	5 パート・アルバイト
	2 会社員(契約・派遣社員)	6 無職
	3 自営業	7 学生
	4 公務員・団体職員	8 その他()

F 2 あなたがお住まいの町名をお書きください。

練馬区

(町)

【1. 家族及び生活について】

問1 同居されている方はどなたですか。あなたを中心にお答えください。

(○はいくつでも、また、四角の中に数字を記入)

1 同居者はいない(一人暮らし)	6 その他の親類
2 配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)	7 その他()
3 自分または配偶者・パートナーの親	
4 自分または配偶者・パートナーの祖母・祖父	家族全員で <input type="text"/> 人
5 自分または配偶者・パートナーの兄弟姉妹	

問1(1) 問1で「3 自分または配偶者・パートナーの親」と答えた方へ、次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。(それぞれ○は1つ)

	1 主に親	2 主に自分	3 親と自分 の分担	4 パートナー 主に配偶	5 その他
1 食事を作る	1	2	3	4	5
2 食事の後片付けをする	1	2	3	4	5
3 トイレを掃除する	1	2	3	4	5
4 お風呂を掃除する	1	2	3	4	5
5 洗濯をする	1	2	3	4	5
6 買物をする	1	2	3	4	5
7 自分の部屋を掃除する	1	2	3	4	5
8 ごみ袋を出しに行く	1	2	3	4	5

問2 あなたは、親へ生活費(仕送り)を入れてありますか。(○は1つ)

1 毎月入れている 2 ときどき入れている 3 まったく入っていない

問3 あなたは、親から生活費の援助を受けていますか。(○は1つ)

1 生活全般について援助を受けている 3 不定期に多少の援助を受けている
2 定期的に住居費・食費など一部の援助を受けている 4 援助は受けていない

問4 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。(○は1つ)

1 余裕がある	3 どちらかといえば余裕がない
2 どちらかといえば余裕がある	4 余裕がない

【2. 現在の不安、結婚について】

問5 あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。(○はいくつでも)

1 自分の健康	6 親の介護のこと	11 恋人との関係
2 生活費のこと	7 家族のこと	12 その他 ()
3 仕事のこと	8 老後のこと	13 特にない
4 住居のこと	9 孤独になること	
5 独身でいること	10 友人との関係	

問6 あなたは、結婚していますか。(○は1つ)

1 結婚している (配偶者がいる)	3 結婚も同居もしていない
2 結婚していないが同居している (パートナーがいる)	4 結婚したが、離別・死別した

問6 (1) 問6で「3 結婚も同居もしていない」と答えた方へ、「結婚」については、どのような考えをお持ちですか。(○は1つ)

1 できればすぐにでも結婚したい	4 結婚したくない
2 いずれは結婚したい	5 その他 ()
3 結婚したくないが、人生のパートナーとなる人がほしい	

問6 (2) 問6で「3 結婚も同居もしていない」と答えた方へ、理由をお聞かせください。(○は主なもの3つまで)

1 結婚するにはまだ早い (若い) から	7 独身生活の自由さや気楽さを失いたくないから
2 結婚する必要性を感じないから	8 結婚資金が足りないから
3 適当な相手にめぐり会えないから	9 結婚生活のための住居のめどが立たないから
4 異性とうまくつきあえないから	10 親や周囲が結婚に同意しない (だろう) から
5 今は仕事や学業に取り組みたいから	11 結婚の準備期間中 (婚約中) だから
6 今は趣味や娯楽を楽しみたいから	12 その他 ()

配偶者・パートナーがいらっしゃる方、また今後持ちたいとお考えの方にお伺いします。

問7 あなたは、配偶者・パートナーとはどのような役割分担をする方がよいと思いますか。

(それぞれ○は1つ)

	1 が女性 が行う のみ	2 も女性 が行う が中心	3 程度 女性も 男性も 同じ	4 も男性 が行う が中心	5 が男性 が行う のみ
1 生計を立てるための仕事	1	2	3	4	5
2 家計の管理	1	2	3	4	5
3 家事	1	2	3	4	5
4 育児や子育て	1	2	3	4	5
5 子どもの教育	1	2	3	4	5
6 親の介護	1	2	3	4	5

【3. 子育てや結婚について】

すべての方にお伺いします。

問8 あなたは、これまでに子どもと関わったことがありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 学校や職場で、ボランティアとして子どもの世話をしたことがある |
| 2 | 兄弟姉妹や親類の子ども、近所の子どもなどの世話を日常的にしたことがある |
| 3 | 職業上、保育や子どもの教育に携わっている(携わったことがある) |
| 4 | 子どもと関わった経験はほとんどない |

問9 あなたは、赤ちゃんにミルクを飲ませたり、オムツがえなどをしたりしたことがありますか。

(〇は1つ)

- | | | | |
|---|---------|---|---------|
| 1 | したことがある | 2 | したことがない |
|---|---------|---|---------|

問10 あなたは、将来子どもを持ちたいと思いますか(〇は1つ)

- | | | | |
|---|------------|---|---------------|
| 1 | 将来子どもを持ちたい | 2 | 子どもを持ちたいと思わない |
|---|------------|---|---------------|

問10(1) 問10で「1 将来子どもを持ちたい」と答えた方へ、理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|--------------------|---|-----------------|
| 1 | 子どもを育てることは楽しいと思うから | 5 | 生きがいになると思うから |
| 2 | 子どもがいると家庭が明るくなるから | 6 | 家族の結びつきが強くなるから |
| 3 | 子どもが好きだから | 7 | 子どもを通じて交流が広がるから |
| 4 | 子どもがかわいいから | 8 | その他() |

問10(2) 問10で「2 子どもを持ちたいと思わない」と答えた方へ、理由は何ですか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|----|--|
| 1 | 出産・子育ての知識や自信がないから |
| 2 | 子育てはめんどくさいから |
| 3 | 子どもはきらいだから |
| 4 | 自分の生活をエンジョイしたいから |
| 5 | 仕事を優先したいから |
| 6 | 自分のまわりに子育てを助けてくれる人がいないから |
| 7 | 自分が子どもを虐待するのではないかと思うから |
| 8 | 配偶者(パートナーなど)が子育てを望まないから |
| 9 | 子育ての責任が女性にかたよっているから |
| 10 | 地域の中に保育園など子どもをあずけられるところが整っていないから |
| 11 | 地域の中に子どもが安心して遊べるところが整っていないから |
| 12 | 地域の中で育児や子育てについて相談しやすい体制が整っていないから |
| 13 | 勤め先の育児休業制度や子育てを支援する制度が整っていないから |
| 14 | 受験競争や企業社会など、今の世の中は子どもにとってふさわしい時代とは思えないから |
| 15 | いじめや差別・不登校など、子どもをとりまく問題があるから |
| 16 | 子育ての経済的負担に耐えられないと思うから |
| 17 | 地球環境の悪化や現在の住環境が子育てにふさわしくないから |
| 18 | その他() |

問 1 1 あなたは、結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない
1 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	1	2	3	4
2 結婚しても、うまくいかなければ離婚することはしかたがない	1	2	3	4
3 結婚しても、別々の名字のままにすることもかまわない	1	2	3	4
4 結婚しても、必ずしも子どもを産む必要はない	1	2	3	4
5 結婚はしたくないが、子どもは欲しい	1	2	3	4
6 結婚したら、子どもを産むべきだ	1	2	3	4
7 子どもの人数や何歳ごろに産むかを決めるとき、女性（妻）の意見を尊重した方がよい	1	2	3	4
8 子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい	1	2	3	4
9 子どもが3歳になるまでは、母親が家庭で育てる方がよい	1	2	3	4
10 子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい	1	2	3	4
11 自分のことを多少犠牲にしても、子どものことを優先すべきだ	1	2	3	4
12 女性は子どもを産んでも、仕事をやめるべきでない	1	2	3	4
13 エイズや性感染症（りん病、梅毒、クラミジア等、性行為を通じて感染する病気）に対して、正確な知識を持つことは大切なことだ	1	2	3	4

【4. 労働・社会保険等による支援の周知状況】

問 1 2 あなたは、妊産婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保険等による次のような支援があることを知っていますか。（○はいくつでも）

1 妊婦の産前通常6週間の休業請求（女性のみ）	7 勤務時間の短縮
2 産婦の産後通常8週間の就業禁止（女性のみ）	8 子の看護のための休暇
3 妊婦の時間外・休日労働の除外請求（女性のみ）	9 育児休業給付の支給
4 妊産婦の深夜業の除外請求（女性のみ）	10 出産手当金の支給（女性のみ）
5 妊婦の軽易な業務への転換請求（女性のみ）	11 出産育児一時金の支給（女性のみ）
6 育児休業の取得	12 家族（配偶者）出産育児一時金の支給

次のページにも質問がございます

【5. 地域交流について】

問13 あなたは、家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 地域や家庭が明るくなる | 7 うるさいと思う |
| 2 地域や家庭の結びつきが強まる | 8 まわりにいるとわずらわしい |
| 3 老後を安心して過ごせる | 9 負担を感じる |
| 4 子どもから教えられることがある | 10 子どもの様子を見てみると気になる |
| 5 まわりにいると楽しい | 11 その他 () |
| 6 子どもを通じて交流が広がる | 12 特に何も感じない |

問14 あなたの近所とおつきあいはどうですか。(○は主なもの1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 あいさつをする程度 | 4 食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている |
| 2 とくどき道で話をする | 5 困っているときに、相談したり助けあったりしている |
| 3 相手の家に行って話をする | 6 ほとんどつきあいはない |

問15 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 よく注意する | 3 めったに注意しない |
| 2 とくどき注意する | 4 まったく注意しない |

問16 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 近所の祭などに参加する | 6 体の不自由な人やお年寄りの手助け |
| 2 町内会などの活動 | 7 献血や募金の協力 |
| 3 地域での子どもたちの指導や世話 | 8 その他 () |
| 4 近所の子ども遊び相手 | 9 どれもしたことはない |
| 5 地域の清掃や防災などの活動 | |

問17 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 日常的にボランティアをしている | 3 何回かしたことがある |
| 2 ボランティアを以前していた | 4 したことはない |

問18 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 環境を守る活動(清掃美化活動、リサイクル活動など) |
| 2 身近な緑を守る活動(花壇づくりなど) |
| 3 子育てに関する活動(保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話など) |
| 4 高齢者・障害者福祉に関する活動(おとしよりや障害者への介護、給食など) |
| 5 スポーツ・文化に関する活動(小学生にスポーツを教えるなど) |
| 6 学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動(料理、英語、書道など) |
| 7 国際交流、国際協力に関する活動(通訳、外国人を助けるなど) |
| 8 地域のイベントやお祭りの手伝い |
| 9 その他 () |
| 10 特にない |

問19 あなたは、子どもの安全を確保するために、地域のボランティアパワーによって実施していく**学校応援団の活動**(※参照)についてどうお考えになりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------------|-------|
| 1. 賛成 | 2. どちらともいえない | 3. 反対 |
|-------|--------------|-------|

問 19 (1) 問 19で「1 賛成」と答えた人へ、ボランティアとして活動することができますか。(○は1つ)。

1. 活動してもよい
2. 活動したいが仕事などで時間がとれない
3. 活動するつもりはない
4. その他 ()

問 19 (2) 問 19で「3 反対」と答えた人へ、その理由は何ですか。

(※)「学校応援団」とは、小学校の児童や地域のために、学校・地域間の人材活用および学校施設の有効活用を図る、地域力を活かして小学校を応援する組織で、PTA や町会・自治会、青少年委員など地域の方々で構成しています。平成 21 年 1 月現在 33 校に設置していますが、平成 22 年度までに全小学校に設置する予定です。

この学校応援団が地域人材を確保し、放課後等の小学校で、遊び、学び、読書などの居場所として児童が過ごせる「児童放課後等居場所づくり（ひろば）事業」や、登下校時の児童安全誘導等を行う「安全管理事業」などを区の委託により実施しています。

また、応援団設置校では、学校教育に支障のない範囲で、学校施設を地域の方々の学習・文化・レクリエーション・スポーツ活動の場として開放する「学校開放事業」も応援団が運営しています。

【6. 少子社会に対する考え方について】

問 20 あなたは、少子社会（＝出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会）が、個人の生活にどのような影響を与えますか。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1 一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる | 5 一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる |
| 2 進学や就職において競争が少なくなる | 6 親など周囲の干渉が強まる |
| 3 住宅事情が改善されて、買いやすくなる | 7 親の老後への子どもの負担が大きくなる |
| 4 まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちににくくなる | 8 その他 () |
| | 9 わからない |

問 21 あなたは、少子社会が国や地域社会にどのような影響を与えますか。

(○は主なもの3つまで)

- 1 人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる
- 2 就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる
- 3 女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる
- 4 若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる
- 5 現役世代の租税や社会保障負担（年金や医療費など）が大きくなる
- 6 地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる
- 7 地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる
- 8 その他 ()
- 9 わからない

次のページにも質問がございます

【7. 行政サービスへの要望について】

問22 あなたは、子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていくのがよいと思いますか。

(○は5つまで)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1 予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実 | 13 子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助 |
| 2 保育サービスや施設の整備 | 14 子どもの創造性や感性を伸ばす教育機
会の普及 |
| 3 妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備 | 15 いじめや差別などをなくす教育の推進 |
| 4 子育てについて学ぶ機会を増やす | 16 犯罪のない社会づくり |
| 5 男女がともに子育てにかかわるための意識啓発 | 17 地球温暖化やダイオキシンなどの環境
問題に対する対策 |
| 6 子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減 | 18 水や緑などの自然保護の推進 |
| 7 保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減 | 19 食品の安全性の確保 |
| 8 子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置 | 20 その他 () |
| 9 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備 | 21 わからない |
| 10 育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備 | 22 特にない |
| 11 女性が就労しやすい環境の整備 (職場の意識改
革や協力など) | |
| 12 道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環
境の整備 | |

問23 最後に、今後の次世代育成等に関して、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。

練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査 (子育て中および子育て終了世帯調査)

日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、区では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「練馬区次世代育成支援行動計画（平成17年度～21年度）」（前期5か年計画）を策定し、子育て支援のためのさまざまな事業を実施して70万区民の皆様のご要望に応えるよう努めております。

このたび、「練馬区次世代育成支援行動計画（平成22年度～26年度）」（後期5か年計画）を策定するにあたり、区民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握し、「行動計画」に反映するために、「練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査をお願いする方は、区内に在住する子育て中または子育てを終了している世帯の方です。住民基本台帳から500世帯（人）を無作為抽出により選び出し、今回あなたにアンケートへのご協力をお願いすることとなりました。この調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を行っていくための施策立案の重要な基礎資料となりますので、ご多忙の折とは存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。ご回答を心からお待ちいたしております。

なお、ご回答はすべて無記名です。また、調査結果は統計として集計し、計画の策定のためだけに使用いたします。したがって、個人名が公表されるなど、ご協力いただくことによりご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご協力のほど、よろしく願いいたします。

平成21年2月
練馬区長 志村 豊志郎

1. この調査票では、**調査対象の方を「あなた」とします。ご本人がお答えください。**
2. 次ページから順にご記入ください。途中回答により、次に答える問を案内していますので、それにしたがってください。
3. **ご記入に際して：**
 - (1) 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。
 - (2) 質問により回答が「1つ」、「いくつでも」など、○の数は質問ごとに指定しています。
 - (3) ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。
 - (4) お名前やご住所を記入する必要はありません。
4. ご記入いただきました調査票は、**3月13日（金曜日）までに、同封の返信用封筒に入れて投函**してください。切手を貼る必要はありません。
5. 記入方法などについて、わからないことがございましたら、下記にお問い合わせください。

練馬区 健康福祉事業本部 児童青少年部 計画調整担当課
電話：03-5984-4687（直通）
担当： 計画調整主査 齋藤・佐藤

【F. 調査票記入者の状況】

F 1 初めにあなたご本人のことについてお伺いします。(それぞれ○は1つ)

(1) 性別	1 男	2 女
(2) 年齢 (平成20年4月1日現在)	1 20歳未満	4 40歳代
	2 20歳代	5 50歳代
	3 30歳代	6 60歳以上
(3) 職業	1 会社員(正規職員)	5 パート・アルバイト
	2 会社員(契約・派遣社員)	6 無職
	3 自営業	7 学生
	4 公務員・団体職員	8 その他()

F 2 あなたがお住まいの町名をお書きください。

練馬区

(町)

【1. 家族及び生活について】

問1 同居されている方はどなたですか。あなたを中心にお答えください。

(○はいくつでも、また、四角の中に数字を記入)

1 同居者はいない(一人暮らし)	10 子どもの配偶者・パートナー
2 配偶者・パートナー(単身赴任などで別居も含む)	11 孫
3 自分または配偶者・パートナーの母・父	12 孫の配偶者・パートナー
4 小学校在学中の子ども	13 自分または配偶者・パートナーの 兄弟姉妹
5 中学校在学中の子ども	14 その他()
6 高校在学中の子ども	家族全員で <input type="text"/> 人
7 大学在学中の子ども	
8 社会人の未婚の子ども	
9 社会人の既婚の子ども	

問1(1) 次のようなことについて、家庭内では誰がしていますか。(それぞれ○は1つ)

	1 主に自分	2 主に配偶者・ パートナー	3 主に子ども	4 主に子ども の配偶者・ パートナ ー	5 主に親	6 その他
1 食事を作る	1	2	3	4	5	6
2 食事の後片付けをする	1	2	3	4	5	6
3 トイレを掃除する	1	2	3	4	5	6
4 お風呂を掃除する	1	2	3	4	5	6
5 洗濯をする	1	2	3	4	5	6
6 買物をする	1	2	3	4	5	6
7 自分の部屋を掃除する	1	2	3	4	5	6
8 ごみ袋を出しに行く	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、子どもへ生活費（仕送り）を入れていますか。（○は1つ）

- 1 毎月入れている 2 ときどき入れている 3 まったく入っていない

問3 あなたは、子どもから生活費の援助を受けていますか。（○は1つ）

- 1 生活全般について援助を受けている 3 不定期に多少の援助を受けている
2 定期的に住居費・食費など一部の援助を受けている 4 援助は受けていない

問4 今のあなたの生活は、経済的に余裕がありますか。（○は1つ）

- 1 余裕がある 3 どちらかといえば余裕がない
2 どちらかといえば余裕がある 4 余裕がない

問5 あなたは、将来への不安にはどんなものがありますか。（○はいくつでも）

- 1 自分の健康 5 独身でいること 9 孤独になること
2 生活費のこと 6 親の介護のこと 10 友人との関係
3 仕事のこと 7 子どもの将来のこと 11 その他（ ）
4 住居のこと 8 老後のこと 12 特にない

問6 あなたは、朝食をとっていますか。（○は1つ）

- 1 ほとんど毎日食べている 3 週に4～5日食べない
2 週に2～3日食べない 4 ほとんど食べない

問6（1） 問6で「2～4」と答えた人へ、その理由は何ですか。（○は主なもの1つ）

- 1 時間がないから 5 やせたいから
2 作るのが面倒だから 6 食べなくても何も言われないから
3 食欲がないから 7 その他（ ）
4 用意されていないから

問7 あなたは、間食をしていますか。（○は1つ、四角の中に数字を記入）

- 1 はい 2 いいえ

→ 1日に 回

問7（1） 問7で「1 はい」と答えた人へ、間食ではどのようなものを食べていますか。

（○はよく食べるもの3つまで）

- 1 菓子パン・ケーキ類 5 チョコレート類 9 ジュース類
2 せんべい類 6 ガム類 10 果物類
3 スナック類 7 アイスクリーム・シャーベット類 11 清涼飲料水類
4 キャラメル・アメ類 8 牛乳・乳製品類 12 その他（ ）

【2. 子育てについて】

問8 あなたがこれまでの子育てを通じて、特に負担を感じていること、悩んでいることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

- 1 子育てによる身体の疲れが大きい 6 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれない
2 子育てで出費がかさむ 7 子どもの親同士の付き合いが面倒だ
3 自分の自由な時間が持てない 8 住居が狭い
4 夫婦で楽しむ時間がない 9 その他（ ）
5 仕事が十分にできない 10 特に負担に思うことはない

問9 あなたが、これまでに、子どものことで心配に感じたり、気になったりしたのはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

- 1 病気や発育・発達に関すること
- 2 食事や栄養に関すること
- 3 子育ての方法がよくわからないこと
- 4 子どもとの時間を十分にとれないこと
- 5 話し相手や相談相手がいないこと
- 6 友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること
- 7 登園拒否、不登校などの問題があること
- 8 子育てに関して、配偶者・パートナーの協力が少ないこと
- 9 子育てに関して、配偶者・パートナーと意見が合わないこと
- 10 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場など、まわりの見目が気になること
- 11 配偶者・パートナー以外に、子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 12 子どもを叱り過ぎているような気がする
- 13 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
- 14 地域の子育て支援サービスの内容・申し込み方法がよくわからないこと
- 15 交通事故に遭わないかどうか心配なこと
- 16 不審者などによる犯罪に巻き込まれないかどうか心配なこと
- 17 その他 ()
- 18 特にない

働きながら子育てをしていた方にお伺いします。

問10 あなたが仕事と子育てを両立させるうえで、大変だと感じることはどのようなことですか。(〇は主なもの2つまで)

- 1 急な残業が入ってしまう
- 2 自分が病気・ケガをした時や子どもが急に病気になった時に、代わりに面倒をみる人がいない
- 3 家族の理解が得られない
- 4 職場の理解が得られず、休みにくい
- 5 子ども他に面倒をみなければならぬ人がいる
- 6 子ども面倒をみってくれる保育園などが見つからない
- 7 子どもと接する時間が少ない
- 8 勤務時間が長い
- 9 休暇が少ない
- 10 保育料などの出費が多い
- 11 その他 ()

【3. 子育てに関する情報、相談等について】

問11 すべての方にお伺いします。あなたは子育てに関する情報を、どこから入手されておりましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------------|--------------------|
| 1 親族(親・兄弟姉妹など) | 8 テレビ、ラジオ、新聞 |
| 2 隣近所の人、地域の知人、友人 | 9 本(子育て雑誌・育児書)など |
| 3 子育てサークルの仲間 | 10 インターネット |
| 4 保育園、幼稚園、学校 | 11 地域情報誌(コミュニティー誌) |
| 5 児童館、学童クラブ、地区区民館、厚生文化会館など | 12 その他 () |
| 6 保健所、保健相談所 | 13 情報の入手先がない |
| 7 区の広報やパンフレット | 14 情報の入手手段がわからない |

問 1 2 あなたは身近な地域で、子育てに関する悩みや不安などを相談していたのは誰ですか。

(○はいくつでも)

1 配偶者・パートナー	12 総合福祉事務所の母子自立支援員
2 その他の親族（親、兄弟姉妹など）	13 民生・児童委員、主任児童委員
3 隣近所の人、地域の知人、友人	14 総合教育センターの教育相談室
4 職場の人	15 保健所、保健相談所
5 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	16 児童相談所（東京都児童相談センター）
6 子育てサークルの仲間	17 民間の電話相談
7 保育士、幼稚園の先生、学校の先生	18 ベビーシッター
8 かかりつけ医など	19 インターネットの子育てサイト
9 子ども家庭支援センター（子育て支援課）	20 その他（ ）
10 児童館、学童クラブ、地区区民館	21 相談相手がいない
11 子育てのひろば「ぴよぴよ」、「民設子育てひろば」、「にこにこ」など	22 相談すべきことはない

【4. 結婚や子育てについて】

問 1 3 あなたは、結婚や子育てに関する次のような考え方についてどう思いますか。

(それぞれ○は1つ)

	1 そう思う	2 どちらかといえば そう思う	3 どちらかといえば そう思わない	4 そう思わない
1 結婚は個人の自由だから、してもしなくてもよい	1	2	3	4
2 結婚しても、うまくいかなければ離婚することはしかたがない	1	2	3	4
3 結婚しても、別々の名字のままにすることもかまわない	1	2	3	4
4 結婚しても、必ずしも子どもを産む必要はない	1	2	3	4
5 結婚はしたくないが、子どもは欲しい	1	2	3	4
6 結婚したら、子どもを産むべきだ	1	2	3	4
7 子ども的人数や何歳ごろに産むかを決めるとき、女性（妻）の意見を尊重した方がよい	1	2	3	4
8 子どもの世話は、父親も母親も同じにするのがよい	1	2	3	4
9 子どもが3歳になるまでは、母親が家庭で育てる方がよい	1	2	3	4
10 子どものことも大事だが、自分自身の生活も大事にしたい	1	2	3	4
11 自分のことを多少犠牲にしても、子どものことを優先すべきだ	1	2	3	4
12 女性も子どもを産んでも、仕事をやめるべきでない	1	2	3	4
13 エイズや性感染症（りん病、梅毒、クラミジア等、性行為を通じて感染する病気）に対して、正確な知識を持つことは大切なことだ	1	2	3	4

【5. 労働・社会保険等による支援の周知状況】

問 1 4 あなたは、妊産婦や子育て中の労働者に対して、労働・社会保険等による次のような支援があることを知っていますか。(○はいくつでも)

1 妊婦の産前通常6週間の休業請求（女性のみ）	7 勤務時間の短縮
2 産婦の産後通常8週間の就業禁止（女性のみ）	8 子の看護のための休暇
3 妊婦の時間外・休日労働の除外請求（女性のみ）	9 育児休業給付の支給
4 妊産婦の深夜業の除外請求（女性のみ）	10 出産手当金の支給（女性のみ）
5 妊婦の軽易な業務への転換請求（女性のみ）	11 出産育児一時金の支給（女性のみ）
6 育児休業の取得	12 家族（配偶者）出産育児一時金の支給

【6. 地域交流について】

問15 あなたは家族や地域社会など、自分の周りに子どもがいることをどう思いますか。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 地域や家庭が明るくなる | 7 うるさいと思う |
| 2 地域や家庭の結びつきが強まる | 8 まわりにいるとわずらわしい |
| 3 老後を安心して過ごせる | 9 負担を感じる |
| 4 子どもから教えられることがある | 10 子どもの様子を見てみると気になる |
| 5 まわりにいると楽しい | 11 その他 () |
| 6 子どもを通じて交流が広がる | 12 特に何も感じない |

問16 あなたの近所とのおつきあいはどうですか。(○は主なもの1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 あいさつをする程度 | 4 食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている |
| 2 ときどき道で話をする | 5 困っているときに、相談したり助けあったりしている |
| 3 相手の家に行って話をする | 6 ほとんどつきあいはない |

問17 あなたは、よその子どものいたずらやいじめなどに対して、注意をしますか。(○は1つ)

- | | |
|------------|-------------|
| 1 よく注意する | 3 めったに注意しない |
| 2 ときどき注意する | 4 まったく注意しない |

問18 あなたは、この1年間で次のような地域活動をしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 近所の祭などに参加する | 6 体の不自由な人やお年寄りの手助け |
| 2 町内会などの活動 | 7 献血や募金の協力 |
| 3 地域での子どもたちの指導や世話 | 8 その他 () |
| 4 近所の子どもの遊び相手 | 9 どれもしたことはない |
| 5 地域の清掃や防災などの活動 | |

問19 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1 日常的にボランティアをしている | 3 何回かしたことがある |
| 2 ボランティアを以前していた | 4 したことはない |

問20 あなたが参加したいと思うボランティア活動は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 環境を守る活動 (清掃美化活動、リサイクル活動など) |
| 2 身近な緑を守る活動 (花壇づくりなど) |
| 3 子育てに関する活動 (保育園での乳幼児の世話、児童館での児童や幼児の世話など) |
| 4 高齢者・障害者福祉に関する活動 (おとしよりや障害者への介護、給食など) |
| 5 スポーツ・文化に関する活動 (小学生にスポーツを教えるなど) |
| 6 学習活動に関する指導、助言、運営協力などの活動 (料理、英語、書道など) |
| 7 国際交流、国際協力に関する活動 (通訳、外国人を助けるなど) |
| 8 地域のイベントやお祭りの手伝い |
| 9 その他 () |
| 10 特にない |

問21 あなたは、子どもの安全を確保するために、地域のボランティアパワーによって実施していく**学校応援団の活動**(※参照)についてどうお考えになりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|--------------|-------|
| 1. 賛成 | 2. どちらともいえない | 3. 反対 |
|-------|--------------|-------|

問 2 1 (1) 問 2 1 で「1 賛成」と答えた人へ、ボランティアとして活動することができますか。(○は1つ)。

1. 活動してもよい
2. 活動したいが仕事などで時間がとれない
3. 活動するつもりはない
4. その他 ()

問 2 1 (2) 問 2 1 で「3 反対」と答えた人へ、その理由は何ですか。

(※)「学校応援団」とは、小学校の児童や地域のために、学校・地域間の人材活用および学校施設の有効活用を図る、地域力を活かして小学校を応援する組織で、PTA や町会・自治会、青少年委員など地域の方々で構成しています。

平成 21 年 1 月現在 33 校に設置していますが、平成 22 年度までに全小学校に設置する予定です。

この学校応援団が地域人材を確保し、放課後等の小学校で、遊び、学び、読書などの居場所として児童が過ごせる「児童放課後等居場所づくり(ひろば)事業」や、登下校時の児童安全誘導等を行う「安全管理事業」などを区の委託により実施しています。

また、応援団設置校では、学校教育に支障のない範囲で、学校施設を地域の方々の学習・文化・レクリエーション・スポーツ活動の場として開放する「学校開放事業」も応援団が運営しています。

【7. 少子社会に対する考え方について】

問 2 2 あなたは、少子社会(=出生率が低下し、子どもの数が減ることにより、将来的には人口規模の縮小が考えられる社会)が、個人の生活にどのような影響を与えと思いますか。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1 一人ひとりに合った、ゆとりある教育ができる | 5 一人ひとりの子どもへの期待が大きくなる |
| 2 進学や就職において競争が少なくなる | 6 親など周囲の干渉が強まる |
| 3 住宅事情が改善されて、買いやすくなる | 7 親の老後への子どもの負担が大きくなる |
| 4 まわりに子どもが減り、子どもの社会性が育ちにくくなる | 8 その他 () |
| | 9 わからない |

問 2 3 あなたは、少子社会が国や地域社会にどのような影響を与えと思いますか。

(○は主なもの3つまで)

- 1 人口規模が縮小することにより、環境問題の改善がみられるようになる
- 2 就労人口が減少して、就職や再就職などがしやすくなる
- 3 女性の社会進出が強まり、男女が協力し合って生活や社会を築いていく風潮が高まる
- 4 若い労働力が不足することにより、経済の活性化や成長が見込めなくなる
- 5 現役世代の租税や社会保障負担(年金や医療費など)が大きくなる
- 6 地域に住む若い世代が減少し、地域の活気がなくなる
- 7 地域で子育てをする住民が孤立化し、育児不安が広がる
- 8 その他 ()
- 9 わからない

【8. 行政サービスへの要望について】

問24 あなたは子育てしやすい環境を整備するために、区はどうしていくのがよいと思いますか。

(○は5つまで)

- | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1 予防接種や乳幼児健診などの母子保健の充実 | 13 子育て家庭の住宅の確保や家賃の補助 |
| 2 保育サービスや施設の整備 | 14 子どもの創造性や感性を伸ばす教育機
会の普及 |
| 3 妊娠や出産の不安や悩みの相談窓口の整備 | 15 いじめや差別などをなくす教育の推進 |
| 4 子育てについて学ぶ機会を増やす | 16 犯罪のない社会づくり |
| 5 男女がともに子育てにかかわるための意識啓発 | 17 地球温暖化やダイオキシンなどの環境
問題に対する対策 |
| 6 子どもの出産・育児にかかる医療費の負担軽減 | 18 水や緑などの自然保護の推進 |
| 7 保育園・幼稚園の費用や教育費の負担の軽減 | 19 食品の安全性の確保 |
| 8 子育て家庭への手当の支給や税制優遇措置 | 20 その他 () |
| 9 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備 | 21 わからない |
| 10 育児休暇や育児休業などの企業内制度の整備 | 22 特にない |
| 11 女性が就労しやすい環境の整備 (職場の意識改
革や協力など) | |
| 12 道路や公園などの子どもが安心して暮らせる環
境の整備 | |

問25 最後に、今後の次世代育成等に関して、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

返信用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。

練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査 (子育て関係施設従事者調査)

日頃より区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、区では、国の「次世代育成支援対策推進法」に基づき、平成17年3月に「練馬区次世代育成支援行動計画（平成17年度～21年度）」（前期5か年計画）を策定し、子育て支援のためのさまざまな事業を実施して70万区民の皆様のご要望に応えるよう努めております。このたび、「練馬区次世代育成支援行動計画（平成22年度～26年度）」（後期5か年計画）を策定するにあたり、区民の皆様の子育てに関する生活実態やご要望・ご意見などを把握し、「行動計画」に反映するために、「練馬区次世代育成支援に関するニーズ調査」を実施することとなりました。

この調査をお願いする方は、区内の子育て関係施設に従事している方です。認可保育園、学童クラブ、幼稚園等46施設を選び出し、今回あなたにアンケートへのご協力をお願いすることとなりました。この調査結果は、皆様の生活に密着した子育て支援を行っていくための施策立案の重要な基礎資料となりますので、ご多忙の折とは存じますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。ご回答を心からお待ちいたしております。

なお、ご回答はすべて無記名です。また、調査結果は統計として集計し、計画の策定のためだけに使用いたします。したがって、個人名が公表されるなど、ご協力いただくことによりご迷惑をおかけすることは決してございません。

ご協力のほど、よろしく願いいたします。

平成21年1月
練馬区長 志村 豊志郎

1. この調査票では、**調査対象の方を「あなた」と**します。ご本人がお答えください。
2. 次ページから順に記入してください。途中、回答により、次に答える問を案内していますので、それにしたがってください。
3. **ご記入に際して：**
 - (1) 回答は、あてはまる項目を選び、その番号を○で囲むものと、文字または数字などを記入するものがあります。
 - (2) 質問により回答が「1つ」、「いくつでも」など、○の数は質問ごとに指定しています。
 - (3) ご記入は、黒か青のボールペンをお使いください。
 - (4) お名前やご住所を記入する必要はありません。
4. 記入した調査票は、**2月9日（月曜日）**までに、調査票が入っていた封筒に入れ、封をし、**施設経由で提出**してください。
5. 記入方法などについて、わからないことがあったときは、下記に問い合わせてください。

練馬区 健康福祉事業本部 児童青少年部 計画調整担当課
電話：03-5984-4687（直通）
担当： 計画調整主査 齋藤・佐藤

【F. 調査対象者の状況】

F 1 初めにあなたご本人のことについてお伺いします。(それぞれ○は1つ)

(1) 性別	1 男	2 女
(2) 年齢 (平成20年4月1日現在)	1 30歳未満	4 50～59歳
	2 30～39歳	5 60歳以上
	3 40～49歳	
(3) 施設の種類	1 区立保育園	9 NPO子育て支援グループ
	2 私立保育園	10 児童養護施設
	3 認証保育所	11 区立幼稚園
	4 保育室	12 私立幼稚園
	5 駅型グループ保育室	13 保健相談所
	6 児童館	14 厚生文化会館
	7 学童クラブ	15 地区区民館
	8 子育てのひろば	
(4) 職種	1 保育士	5 看護師
	2 幼稚園教諭	6 栄養士
	3 児童指導員	7 その他 ()
	4 保健師	

【1. 子育て支援に関する悩み、不安等について】

問1 あなたが関わっている子どもに対して、「近頃こんな子どもが増えている」と悩んでいることはありますか。

(1) 3歳未満幼児、(2) 3歳以上幼児、(3) 小学生、それぞれについてご記入ください。

((1)～(3)とも、それぞれ○はいくつでも)

	(1) 3歳未満幼児 ↓ある場合に○	(2) 3歳以上幼児 ↓ある場合に○	(3) 小学生 ↓ある場合に○
1 言葉や行動が乱暴である	1	2	3
2 友達に優しくない	1	2	3
3 夜遅くまで起きている	1	2	3
4 朝食抜きである	1	2	3
5 生活が規則正しくない	1	2	3
6 自己中心的である	1	2	3
7 友だちと協調できない	1	2	3
8 あいさつができない	1	2	3
9 人の話を聞けない	1	2	3
10 集中できない	1	2	3
11 基本的な生活習慣の自立が遅い	1	2	3
12 体力がない	1	2	3
13 我慢ができず、すぐ暴力的行為にでる	1	2	3
14 その他 ()	1	2	3

問2 あなたが関わっている子どもの保護者（お母さん、お父さん）に対して、「近頃こんなお母さん、お父さんが増えている」と悩んでいることはありますか。

(1) お母さん、(2) お父さん、それぞれについてご記入ください。

((1)、(2)とも、それぞれ○はいくつでも)

	(1) お母さん ↓ある場合に○	(2) お父さん ↓ある場合に○
1 権利意識が強い	1	2
2 子どもに過保護・過干渉である	1	2
3 子どもを放任する	1	2
4 子どもの発育・発達に敏感である	1	2
5 子どもの発育・発達に無頓着である	1	2
6 食事に無頓着である	1	2
7 しつけや教育に熱心でない	1	2
8 子育てに不安感・負担感を持っている	1	2
9 子育てに喜びや充実感を持っていない	1	2
10 子どもとの接し方、遊び方がわからない	1	2
11 子育てに自信がない	1	2
12 子育てをマニュアル化して考える	1	2
13 育児知識を振り回す	1	2
14 その他 ()	1	2

問3 あなたは、家庭・保護者との連携に関して、どのようなことを重視していますか。

(○は主に重視しているもの3つ)

1 児童家庭調査票	9 保育参加・参観
2 母子健康手帳	10 保護者会
3 連絡帳	11 行事
4 保育園、幼稚園便り	12 家庭訪問
5 クラス便り	13 子育てに関する相談
6 保健便り	14 保育方針等についての保護者との話し合い
7 給食便り	15 緊急時の連絡
8 登園・降園時、来所時の連絡	16 その他 ()

【2. 子育てに関する情報、相談の状況について】

問4 あなたは、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていますか。

(○はいくつでも)

1 職場内の同僚	7 乳幼児の保育・育児に関する市販の雑誌
2 職場以外の知り合い、出身校などのツテ	8 保育・幼児教育、小児保健等に関する学会・研究会の機関誌
3 国担当部署からの印刷物・報告書	9 保育関係団体の発行する月刊誌、図書
4 都担当部署からの印刷物・報告書	10 インターネット上のホームページ
5 区担当部署からの印刷物・報告書	11 その他 ()
6 テレビ、ラジオ、新聞	

問5 あなたは、次のような子育てについての相談の内容にどの程度関わっていますか。(なお、ここでいう相談とは、入所の問い合わせなどは含まず、育児・子育てに関する相談とします。)(○はそれぞれ1つ)

	1 よくある	2 時々ある	3 ほとんどない
1 睡眠・食事等の基本的生活習慣	1	2	3
2 身体の発育・社会性の発達等	1	2	3
3 病気・怪我等の医学的問題	1	2	3
4 家庭・地域等の生活環境	1	2	3
5 しつけ・教育等の育児方法	1	2	3
6 その他 ()	1	2	3

問6 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する情報を、どのようにして入手されていると思いますか。(○はいくつでも)

1 親族(親・兄弟姉妹など)	8 テレビ、ラジオ、新聞
2 隣近所の人、地域の知人、友人	9 本(子育て雑誌・育児書)など
3 子育てサークルの仲間	10 インターネット
4 保育園、幼稚園、学校	11 地域情報誌(コミュニティー誌)
5 児童館、学童クラブ、地区区民館、厚生文化会館など	12 その他()
6 保健所、保健相談所	13 情報の入手先がない
7 区の広報やパンフレット	14 情報の入手手段がわからない

問7 あなたが関わっている子どもの家庭では、子育てに関する悩みや不安などをどこに相談されていると思いますか。(○はいくつでも)

1 配偶者・パートナー	12 総合福祉事務所の母子相談員
2 その他の親族(親、兄弟姉妹など)	13 民生・児童委員、主任児童委員
3 隣近所の人、地域の知人、友人	14 総合教育センターの教育相談室
4 職場の人	15 保健所、保健相談所
5 保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間	16 嘱託医など
6 子育てサークルの仲間	17 児童相談所(東京都児童相談センター)
7 保育士、幼稚園の先生、学校の先生	18 民間の電話相談
8 子どものかかりつけ医	19 ベビーシッター
9 子ども家庭支援センター	20 インターネットの子育てサイト
10 児童館、学童クラブ、地区区民館	21 その他()
11 子育てのひろば「ぴよぴよ」、「にこにこ」など	22 相談相手がいない
	23 相談すべきことはない

問8 あなたが子育てについての相談を受ける相手は、相談の対象となる子どもからみて、どのような関係の人ですか。(○はいくつでも)

1 母親	3 祖母	5 兄弟姉妹
2 父親	4 祖父	6 その他()

問9 子育てについての相談の対象となる子どもの年齢で、多いのはどれですか。

(○はいくつでも)

1	新生児から6か月未満児	4	2歳児	7	5歳児
2	6か月児から1歳未満児	5	3歳児	8	6歳以上児
3	1歳児	6	4歳児		

問10 子育てについての相談を進めていく上で、現在直面している問題がありますか。

(○は1つ)

1	問題がある	2	問題はない
---	-------	---	-------

問10(1) 問10で「1 問題がある」と答えた方へ、それはどのような問題ですか。

(○は主なもの3つ)

1	対応できる相談に限界を感じている
2	相談に時間や人手がかかる
3	相談専門の電話がない
4	日常業務に支障が出ている
5	専用の相談室がないために、プライバシーへの配慮の面から、相談を受けにくい
6	相談の担当者(相談員)がおらず、困っている
7	相談に対応するだけの実力不足を感じる
8	相談に関する自己研修をするなどの機会がない
9	専門家による助言指導や事例研究会など、組織的な資質向上(研修等)の機会が少ない
10	困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まって打合せを行うなど、地域としての援助体制が弱い
11	思っていたよりも、相談件数が少ない
12	その他 ()

問11 あなたは、子育てについての相談を受けた場合、その後の援助をしていますか。

(○は1つ)

1	援助している	2	特に援助していない
---	--------	---	-----------

問11(1) 問11で「1 援助している」と答えた方へ、それはどのような援助ですか。

(○は主なもの3つ)

1	相談が電話による場合、子どもを連れての来所をうながす
2	相談内容によって専門機関(保健所、病院、福祉事務所、児童相談所等)を具体的に教え、紹介する
3	依頼者に、その後の経過や結果を教えてくれるように言う
4	場合によっては、家庭訪問する
5	子育てサークルや、子育てのひろばなどを紹介する
6	一時保育の利用を勧める
7	育児講座等へさそう
8	その他 ()

問12 子育てについての相談で、あなたの組織だけで対応できない場合は、次のうちの機関に紹介するケースが多いですか。(○はいくつでも)

1	保育園	8	民生・児童委員、主任児童委員
2	幼稚園	9	区の保健所、保健相談所
3	学校関係者	10	嘱託医など
4	児童館、学童クラブ、地区区民館	11	児童相談所(東京都児童相談センター)
5	子どもの主治医	12	警察当局
6	子ども家庭支援センター	13	その他 ()
7	区の子育て支援課、保育課、福祉事務所	14	紹介するケースはほとんどない

【3. 子育て支援に関する連携、協力、虐待の状況について】

問13 あなたは子育て支援活動を行うに当たって、他団体との程度、連携・協力を行っていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 絶えず連携・協力している | 3 あまり連携・協力していない |
| 2 必要に応じて連携・協力している | 4 通常は連携・協力の必要がない |

問13(1) 問13で「1 絶えず連携・協力している」、「2 必要に応じて連携・協力している」と答えた方へ、連携・協力の内容として多いものをお知らせください。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 日常的な情報交換を行っている |
| 2 何か困ったことがあったときに相談している |
| 3 困難事例に対応する場合、地域の子育て支援者が集まってカンファレンスを行っている |
| 4 プログラムやイベントをともに企画している |
| 5 プログラムやイベントを実施する際に人手等を貸し借りしている |
| 6 プログラムやイベントを行う際にアドバイスを受けたり情報交換している |
| 7 その他 () |

問14 あなたが関わっている子どもの中に、保護者から虐待を受けている子どもがいますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 受けている子どもがいる | 3 受けていると思われる子どもはいない |
| 2 受けていると思われる子どもがいる | |

問14(1) 問14で「1 受けている子どもがいる」と答えた方へ、虐待の判断は主にどのような情報に基づいてなされましたか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 子どもの保護者自身の訴え、相談 | 10 区の子育て支援課、保育課、福祉事務所 |
| 2 ほかに子どもの保護者 | 11 区の保健所、保健相談所 |
| 3 地域の住民 | 12 病院・診療所 |
| 4 保育所 | 13 嘱託医 |
| 5 幼稚園 | 14 児童相談所(東京都児童相談センター) |
| 6 学校関係者 | 15 民生・児童委員、主任児童委員 |
| 7 児童館、学童クラブ、地区区民館 | 16 警察当局 |
| 8 子どもの主治医 | 17 その他 () |
| 9 子ども家庭支援センター(子育て支援課) | |

問15 親と子が健やかに育ち合うようにするために、あなたは「子育て支援者」として、行政はどこに力を入れていくといいと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 児童館など、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会を充実したい |
| 2 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を充実したい |
| 3 子育てに困った時に相談したり情報が得られたりする場を充実したい |
| 4 保育園の増加、保育園を利用できる日数や時間帯を拡充したい |
| 5 幼稚園の増加、幼稚園を利用できる日数や時間帯を拡充したい |
| 6 幼稚園で就園している子どもと一緒に就園前の子どもも預かるサービスを充実したい |
| 7 保育園や幼稚園にかかる費用負担を軽減できるようにしたい |
| 8 学童クラブの増加、学童クラブを利用できる日数や時間帯を拡充したい |
| 9 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスを充実したい |
| 10 安心して子どもが医療機関にかかれる体制を整備したい |
| 11 多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮をしたい |
| 12 残業時間の短縮、年次有給休暇や育児休暇の取得促進など、事業者に対して職場環境の改善を働きかけたい |
| 13 子育てについて学べる機会を充実したい |
| 14 交通事故に遭わないよう、交通安全対策を強化したい |
| 15 不審者などによる犯罪に巻き込まれないよう、防犯対策を強化したい |
| 16 その他 () |

問 16 あなたは、あなたの職場で子どもを預かる際に、その身体の安全を確保し、危険な目に遭わないよう、どのようなことを心がけたり実行したりしていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 玄関、門扉を、勤務時間中、閉鎖している
2 外部の人間が施設を訪れる際には、事前に予約してもらうようにしている
3 職員間で、日ごろから防犯について、話し合いをしている
4 子どもに対して、不審者などへの対応の仕方を話している
5 定期的に、警察関係者などを招いて、防犯のための訓練を行っている
6 保護者に対して、防犯意識を高めるよう、「たより」等を通じて啓発している
7 保護者会等を通じて、意思の疎通を図っている
8 その他 () |
|--|

問 17 最後に、これからの保育施策や児童育成施策等に関して、日常の子育て支援業務を行う中で、下記のような視点について地域で取り組んでいきたいとお考えになっていることがございましたら、ご意見・ご要望等をご自由にお書きください。

(1) 情報の提供、相談に関して	
(2) 他機関との連携・協力に関して	
(3) 区民にもっと活用して欲しいサービス内容やそのための方法に関して	

<p>(4) サービスの 質の向上に関して</p>	
<p>(5) 苦情解決、 利用者保護の仕組 みに関して</p>	
<p>(6) その他</p>	

ご協力ありがとうございました。封筒に入れ、封をし、施設経由でご返送ください。

練馬区次世代育成支援行動計画策定に係るニーズ調査報告書

平成21年3月発行

発行 練馬区健康福祉事業本部児童青少年部計画調整担当課

〒176-8501 東京都練馬区豊玉北6丁目12番1号

TEL 03-3993-1111 (代)

FAX 03-5984-1220

<http://www.city.nerima.tokyo.jp/>
